

小山市子ども・子育て支援事業計画に
関する調査報告書

小山市
令和6年3月

目 次

I 調査概要	1
1 調査の目的	1
2 調査の設計	1
3 回収結果	1
4 報告書の見方	2
II 調査結果	3
1 就学前児童保護者調査	3
①お住いの地域について	3
②封筒の宛名のお子さんご家族の状況について	3
③子育て環境について	6
④宛名のお子さんの保護者の就労状況について	8
⑤宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	18
⑥宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について	27
⑦宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について	33
⑧宛名のお子さんの病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ）	38
⑨宛名のお子さんの不定期的な教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	42
⑩宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方について	48
⑪すべての方に、職場の両立支援制度について	59
⑫すべての方に、子育て支援等について	68
2 就学児童保護者調査	75
①お住いの地域について	75
②封筒の宛名のお子さんご家族の状況について	75
③子育て環境について	78
④宛名のお子さんの保護者の就労状況について	79
⑤宛名のお子さんの病気の際の対応について	88
⑥宛名のお子さんの放課後の過ごし方について	92
⑦すべての方に、子育て支援等について	106
3 小学5年生調査・中学2年生調査・高校生調査	113
①はじめに、あなた自身のことについておたずねします	113
②あなたのふだんの生活や健康のことについておたずねします	115

③学校のことや勉強のことについておたずねします	125
④今の自分のことについておたずねします	132
⑤将来のことについておたずねします	136
⑥悩みについておたずねします	141
⑦ヤングケアラーについておたずねします	143
⑧こども基本法・子どもの権利についておたずねします	145
⑨子どもの意見の取り入れ方についておたずねします	149
4 保護者調査（小学生・中学生・高校生）	150
①お子さんと、調査に回答いただく方（あなた）のことについておたずねします	150
②世帯の状況についておたずねします	152
③家族の健康状態についておたずねします	165
④お子さんのことについておたずねします	167
⑤あなたの世帯の暮らしの状況についておたずねします	174
⑥お子さんのことで相談することや場所についておたずねします	181
⑦子どもの権利についておたずねします	189
5 若者調査	202
①家族や家庭のことについておたずねします	204
②就労や就学状況についておたずねします	209
③日常的に感じることについておたずねします	214
④日常生活についておたずねします	219
⑤今後や将来のことについておたずねします	221
⑥結婚やお子さんのことについておたずねします	224
Ⅲ 調査の分析	233
1 クロス集計の概要	233
2 困窮度による分析	235
①保護者調査の分析	239
②小学生・中学生・高校生調査の分析	244
3 自己肯定感や満足度による分析	262
4 若者調査の男女クロスによる分析	271
Ⅳ 考察	279
1 就学前調査・小学生保護者の前回比較によるまとめ	279

2	小学生・中学生・高校生の年代による傾向のまとめ.....	285
3	生活困窮度によるまとめ	289
①	保護者調査のまとめ	289
②	小学生、中学生、高校生調査のまとめ	290
4	若者調査のまとめ	293
	資料（調査票）	299

I 調査概要

1 調査の目的

子育て中の市民の方々の教育・保育・子育て支援等に関する現在の利用状況や、ご意見・要望等について把握し、「（仮称）第3次小山市子ども・子育て支援事業計画」の策定に伴い、今後の各種子育て支援の整備、市の子育て施策の検討に利用するため、アンケート調査を実施しました。また、子どもの貧困対策の推進や児童虐待防止に関する調査も行い、計画策定の資料とします。

2 調査の設計

調査対象		調査期間	調査方法
1	就学前児童保護者	令和5年12月1日 ～令和5年12月28日	郵送配布・オンライン回答
2	小学1～3年生保護者		各小・中学校へ、 配布・オンライン回答
3	小学5年生児童+保護者（6）		
4	中学2年生児童+保護者（6）		
5	高校2年生徒+保護者（6）	令和5年12月1日 ～令和5年12月28日 (令和6年1月7日)	郵送配布、各高校へ 配布・オンライン回答
7	若者世代18～29歳 ※HP調査も実施	令和5年12月1日 ～令和6年1月12日	郵送配布・オンライン回答

3 回収結果

対象		配布数	回収数	有効回収数	有効回収率
1	就学前児童保護者	3,000	1,406	1,405	46.8%
2	小学1～3年生保護者	4,103	2,031	2,031	49.5%
3	小学5年生	1,399	1,331	1,331	95.1%
4	中学2年生	1,479	1,181	1,181	79.9%
5	高校2年生	1,500	845	841	56.1%
6	小・中・高保護者	4,378	2,098	2,098	47.9%
	内 小学5年生保護者	1,399	765	765	54.7%
	内 中学2年生保護者	1,479	771	771	52.1%
	内 高校2年生保護者	1,500	562	562	37.5%
7	若者世代18～29歳 ※HP調査も実施	3,000	843	843	28.1%

■子どもと保護者の揃った世帯数

対象		子ども・保護者が揃った世帯	子どものみ回答した世帯	保護者のみ回答した世帯	合 計
3	小学5年生	600	731	165	1,496
4	中学2年生	587	594	184	1,365
5	高校2年生	356	485	206	1,047
	学年全体	1,543	1,810	555	3,908

■困窮度分析の有効回答数

対象		子どもの分析数	保護者の分析数
3	小学5年生	587	732
4	中学2年生	571	746
5	高校2年生	314	531
	学年全体	1,472	2,009

4 報告書の見方

- ① 単数回答の設問における各選択肢の回答割合（構成比）は、非該当者を除いた回答者数（「n」で表す当該設問での該当者数）を基数とした百分率(%)で示しています。
各数値は、小数点以下第二位を四捨五入して算出しているため、構成比の合計は 100%にならない場合があります。
- ② 複数回答の設問における各選択肢の回答割合（比率）は、非該当者を除いた回答者数（「n」で表す当該設問での該当者数）を基数とした百分率(%)で示しています。したがって、比率の合計値は 100%以上となります。
- ③ 図や表、本文では、選択肢の一部や数値の一部を省略している場合があります。

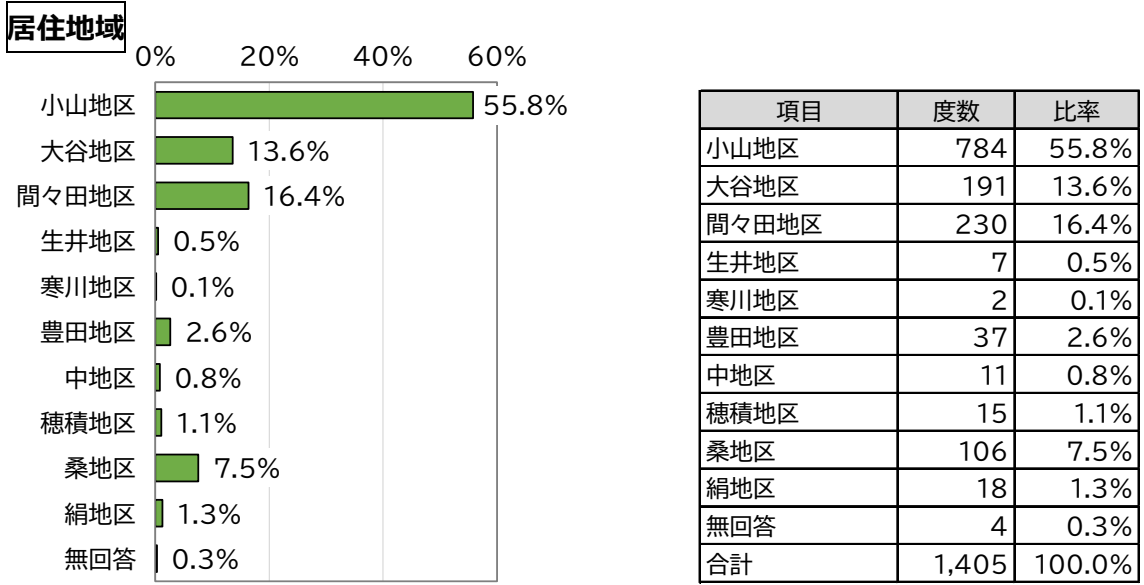
Ⅱ 調査結果

1 就学前児童保護者調査

①お住いの地域について

問1 お住まいの小学校区の番号 1 つを選んでください。

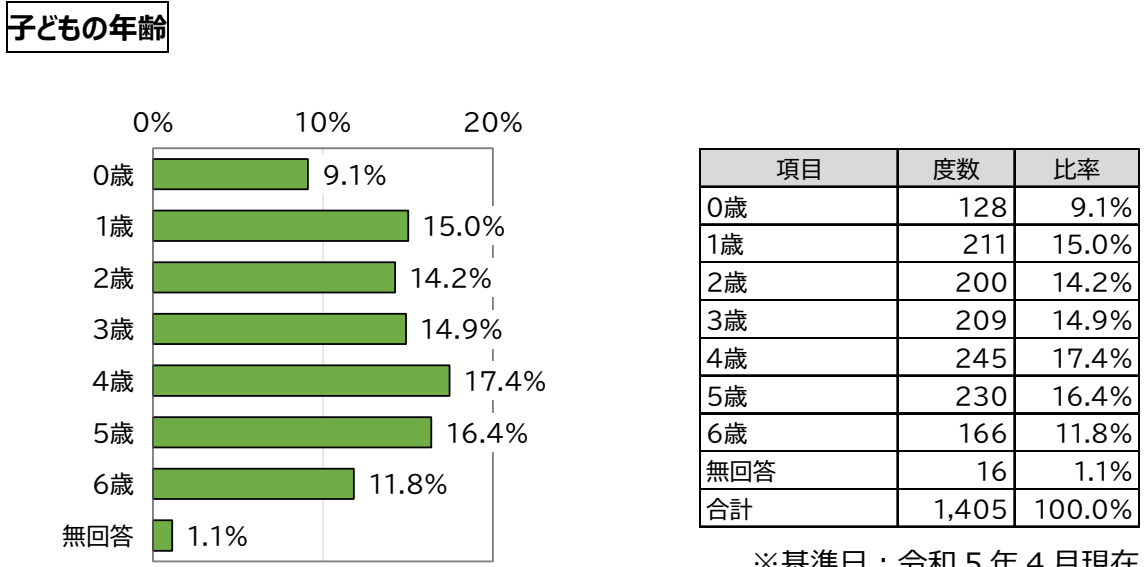
住んでいる小学校区は、「小山地区」が 55.8%と最も多く、次いで「間々田地区」が 16.4%、「大谷地区」が 13.6%となっています。



②封筒の宛名のお子さんご家族の状況について

問2 宛名のお子さんの生年月について、「平成」・「令和」か「西暦」に○をつけ□内に数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。平成・令和・西暦 1235 年 00 月生まれ

お子さんの年齢は、「4 歳」が 17.4%、「5 歳」が 16.4%、「1 歳」が 15.0%となっています。

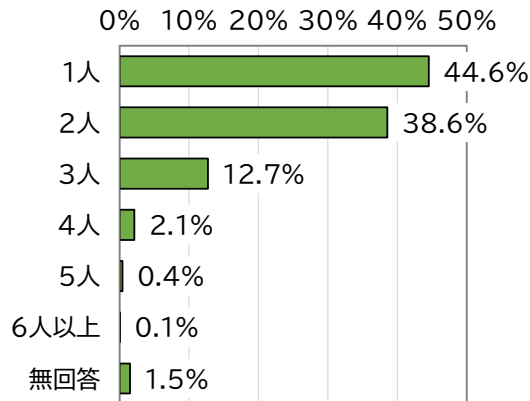


※基準日：令和 5 年 4 月現在

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を□内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月を「平成」・「令和」か「西暦」に○をつけ□内に数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。

きょうだい数

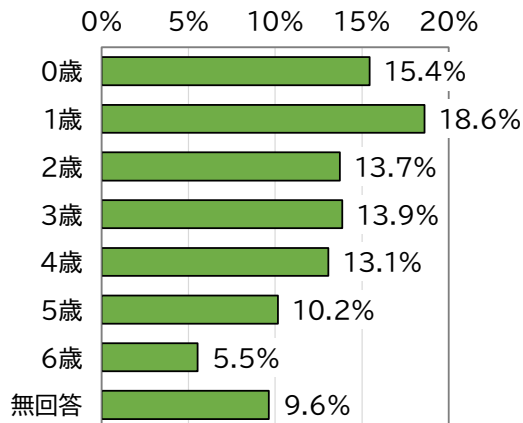
お子さんのきょうだい数は、「1人」が44.6%、「2人」が38.6%、「3人」が12.7%となっています。



項目	度数	比率
1人	626	44.6%
2人	542	38.6%
3人	179	12.7%
4人	30	2.1%
5人	6	0.4%
6人以上	1	0.1%
無回答	21	1.5%
合計	1,405	100.0%

末子の年齢

末子の年齢は、「1歳」が18.6%、「0歳」が15.4%となっています。

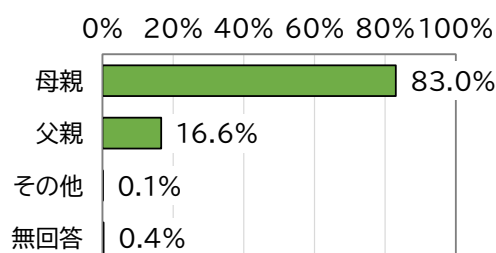


項目	度数	比率
0歳	117	15.4%
1歳	141	18.6%
2歳	104	13.7%
3歳	105	13.9%
4歳	99	13.1%
5歳	77	10.2%
6歳	42	5.5%
無回答	73	9.6%
回答者数	758	100.0%

問4 ご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つを選んでください。

回答した方は、「母親」が83.0%、「父親」が16.6%となっています。

回答者

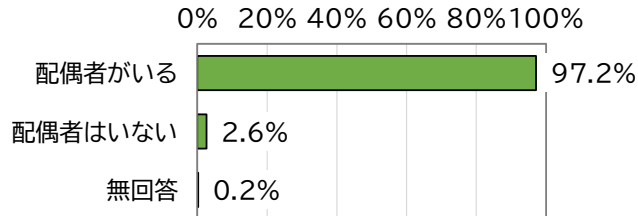


項目	度数	比率
母親	1,166	83.0%
父親	233	16.6%
その他	1	0.1%
無回答	5	0.4%
合計	1,405	100.0%

問5 ご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号 1 つを選んでください。

回答いただいている方の配偶関係は、「配偶者がいる」が 97.2%、「配偶者はいない」が 2.6%となっています。

配偶者の有無

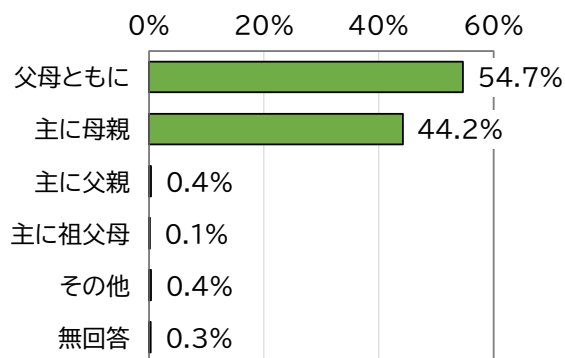


項目	度数	比率
配偶者がいる	1,365	97.2%
配偶者はいない	37	2.6%
無回答	3	0.2%
合計	1,405	100.0%

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号 1 つを選んでください。

お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っている方は、「父母ともに」が 54.7%と最も多く、次いで「主に母親」が 44.2%となっています。

主な子育て従事者



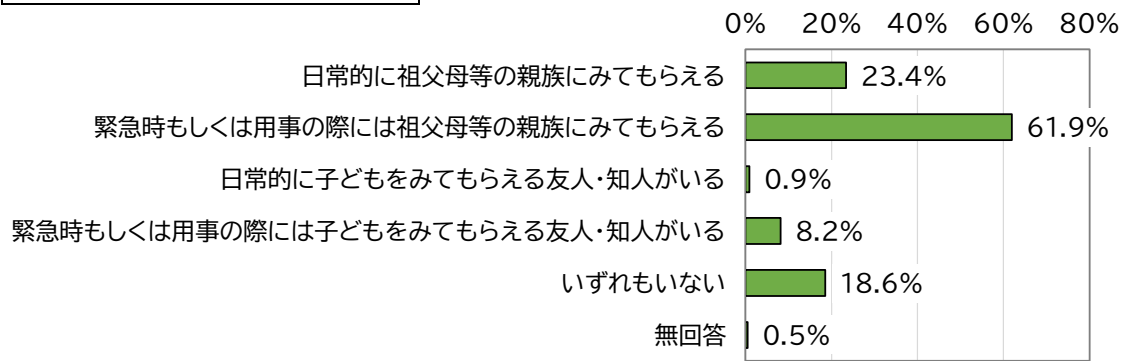
項目	度数	比率
父母ともに	768	54.7%
主に母親	621	44.2%
主に父親	5	0.4%
主に祖父母	2	0.1%
その他	5	0.4%
無回答	4	0.3%
合計	1,405	100.0%

③子育て環境について

問7 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてを選択してください。

お子さんをみてもらえる親族・知人については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が 61.9%と最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が 23.4%となっています。

日頃子どもをみてもらえる人の有無

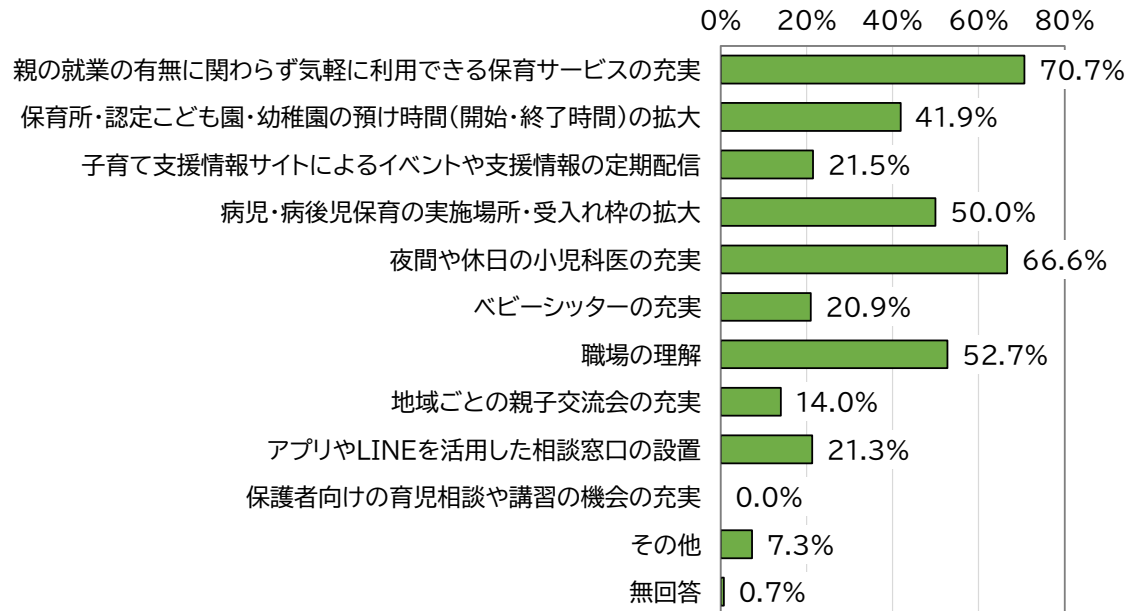


項目	度数	比率
日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	329	23.4%
緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	870	61.9%
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	13	0.9%
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	115	8.2%
いずれもない	261	18.6%
無回答	7	0.5%
回答者数	1,405	

問8 子育て(教育を含む)をする上で、どのようなサポートがあればよいと思いますか。
当てはまる番号すべてを選択してください。

子育て(教育を含む)をする上で、希望するサポートは、「親の就業の有無に関わらず気軽に利用できる保育サービスの充実」が 70.7%と最も多く、次いで「夜間や休日の小児科医の充実」が 66.6%、「職場の理解」が 52.7%となっています。

子育てに必要なサポート



項目	度数	比率
親の就業の有無に関わらず気軽に利用できる保育サービスの充実	993	70.7%
保育所・認定こども園・幼稚園の預け時間(開始・終了時間)の拡大	588	41.9%
子育て支援情報サイトによるイベントや支援情報の定期配信	302	21.5%
病児・病後児保育の実施場所・受入れ枠の拡大	702	50.0%
夜間や休日の小児科医の充実	936	66.6%
ベビーシッターの充実	294	20.9%
職場の理解	741	52.7%
地域ごとの親子交流会の充実	197	14.0%
アプリやLINEを活用した相談窓口の設置	299	21.3%
保護者向けの育児相談や講習の機会の充実	0	0.0%
その他	102	7.3%
無回答	10	0.7%
回答者数	1,405	

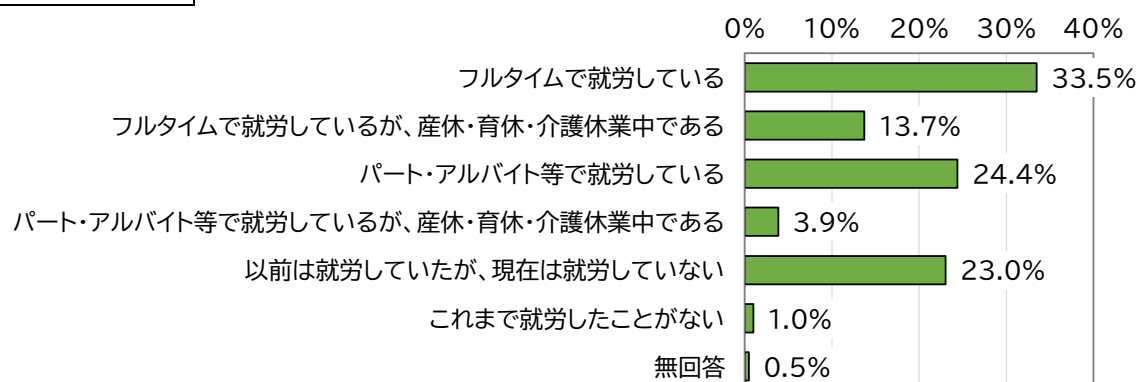
④宛名のお子さんの保護者の就労状況について

問9 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業・家族従事者含む)をうかがいます。次の(1)から(2)-2 までの設問にお答えください。※1:フルタイムは、1週5日程度・1日8時間程度の就労(以下の設問も同様)※2:パート・アルバイト等は、フルタイム以外(以下の設問も同様)

(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号 1 つを選んでください。

現在の就労状況については、「フルタイムで就労している」が33.5%と最も多く、次いで「パート・アルバイト等で就労している」が24.4%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が23.0%となっています。

母親の就労状況



項目	度数	比率
フルタイム※1で就労している	468	33.5%
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	192	13.7%
パート・アルバイト等※2で就労している	341	24.4%
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	54	3.9%
以前は就労していたが、現在は就労していない	322	23.0%
これまで就労したことがない	14	1.0%
無回答	7	0.5%
回答者数	1,398	100.0%

※1：フルタイムは、1週5日程度・1日8時間程度の就労(以下の設問も同様)

※2：パート・アルバイト等は、フルタイム以外(以下の設問も同様)

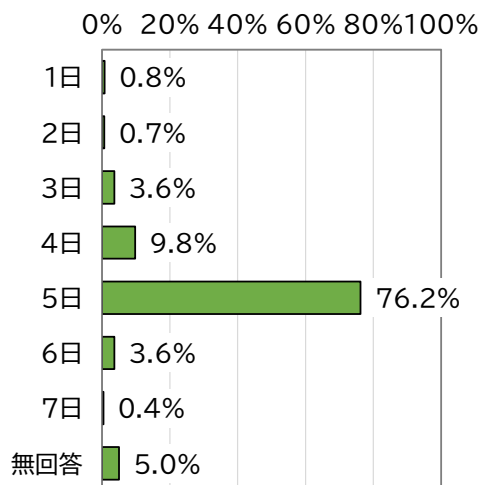
※回答者数は、父子家庭を除いています。

(1)-1(1)で「フルタイムで就労している」～「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」(就労している)を回答した方にうかがいます。

週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。）

1 週当たりの就労日数（母親）

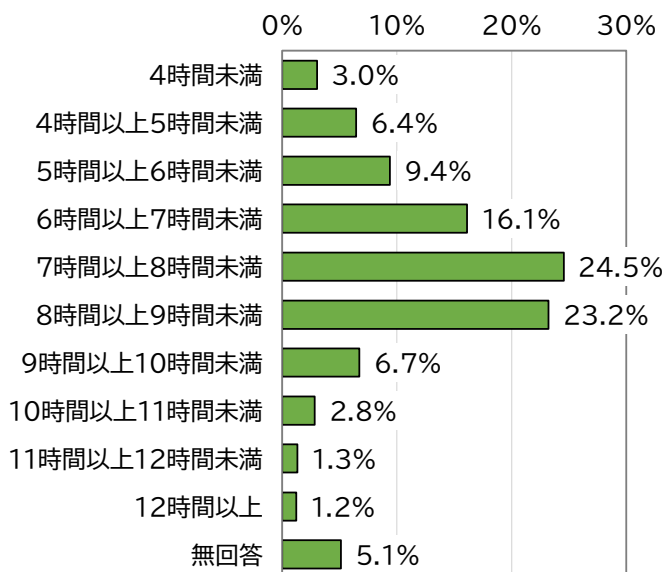
1 週当たりの就労日数は、「5日」が76.2%と最も多く、次いで「4日」が9.8%となっています。



項目	度数	比率
1日	8	0.8%
2日	7	0.7%
3日	38	3.6%
4日	103	9.8%
5日	804	76.2%
6日	38	3.6%
7日	4	0.4%
無回答	53	5.0%
回答者数	1,055	100.0%

1日当たりの就業時間（母親）

1日当たりの就業時間は、「7時間以上8時間未満」が24.5%と最も多く、次いで「8時間以上9時間未満」が23.2%、「6時間以上7時間未満」が16.1%となっています。



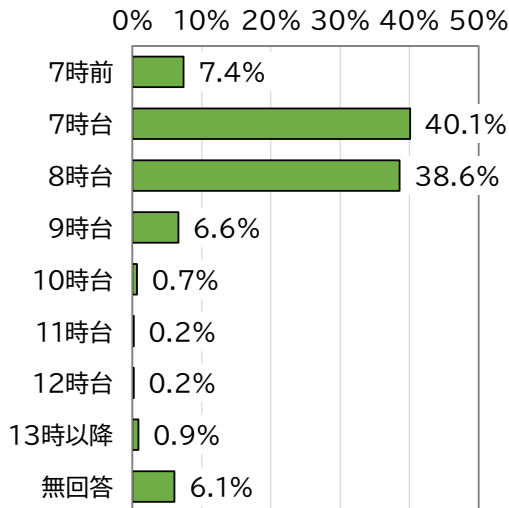
項目	度数	比率
4時間未満	32	3.0%
4時間以上5時間未満	68	6.4%
5時間以上6時間未満	99	9.4%
6時間以上7時間未満	170	16.1%
7時間以上8時間未満	259	24.5%
8時間以上9時間未満	245	23.2%
9時間以上10時間未満	71	6.7%
10時間以上11時間未満	30	2.8%
11時間以上12時間未満	14	1.3%
12時間以上	13	1.2%
無回答	54	5.1%
回答者数	1,055	100.0%

(1)-1(1)で「フルタイムで就労している」～「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」(就労している)を回答した方にうかがいます。

家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（例）08時～18時のように、24時間制でお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。）

家を出る時間（母親）

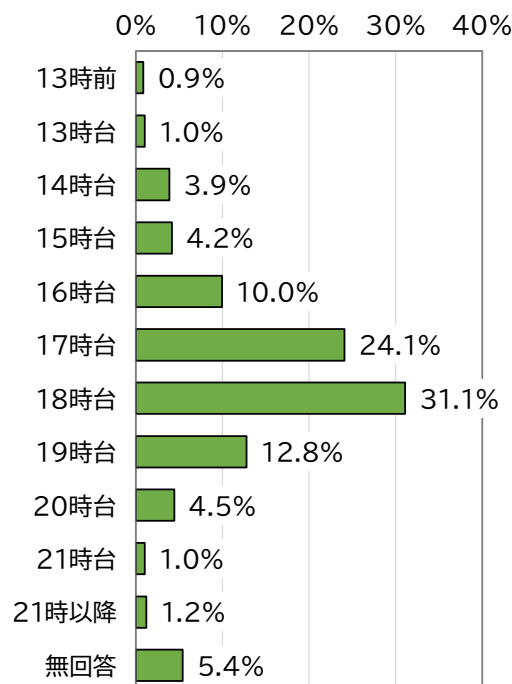
家を出る時間は、「7時台」が40.1%と最も多く、次いで「8時台」が38.6%となっています。



項目	度数	比率
7時前	78	7.4%
7時台	423	40.1%
8時台	407	38.6%
9時台	70	6.6%
10時台	7	0.7%
11時台	2	0.2%
12時台	2	0.2%
13時以降	9	0.9%
無回答	64	6.1%
回答者数	1,055	75.1%

帰宅時間（母親）

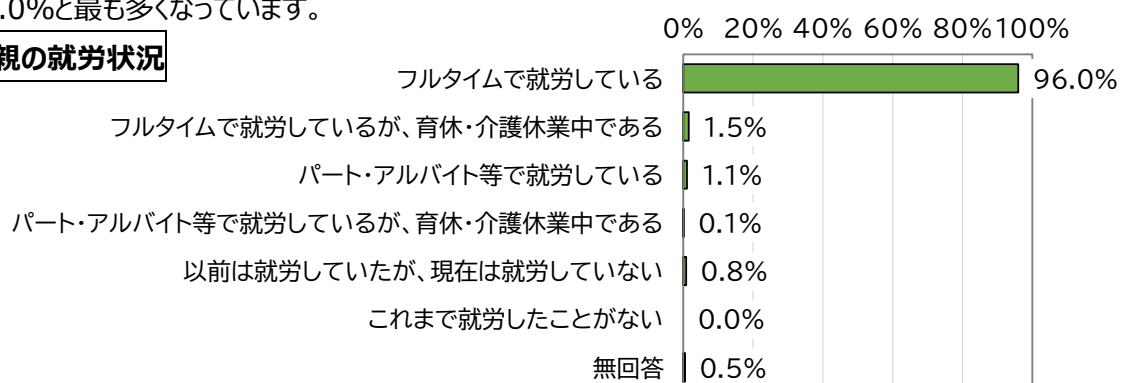
帰宅時間は、「18時台」が31.1%と最も多く、次いで「17時台」が24.1%、「19時台」が12.8%となっています。



項目	度数	比率
13時前	9	0.9%
13時台	11	1.0%
14時台	41	3.9%
15時台	44	4.2%
16時台	105	10.0%
17時台	254	24.1%
18時台	328	31.1%
19時台	135	12.8%
20時台	47	4.5%
21時台	11	1.0%
21時以降	13	1.2%
無回答	57	5.4%
回答者数	1,055	100.0%

(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号 1 つを選んでください。

現在の就労状況については、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が 96.0%と最も多くなっています。

父親の就労状況

項目	度数	比率
フルタイムで就労している	1,310	96.0%
フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である	21	1.5%
パート・アルバイト等で就労している	15	1.1%
パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である	1	0.1%
以前は就労していたが、現在は就労していない	11	0.8%
これまで就労したことがない	0	0.0%
無回答	7	0.5%
回答者数	1,365	100.0%

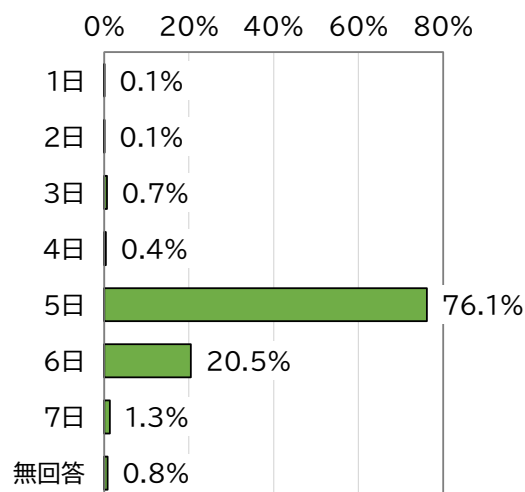
※回答者数は、母子家庭を除いています。

(2)-1(2)で「フルタイムで就労している」～「パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である」(就労している)を回答した方にうかがいます。

週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください（□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字）。

1 週当たりの就労日数（父親）

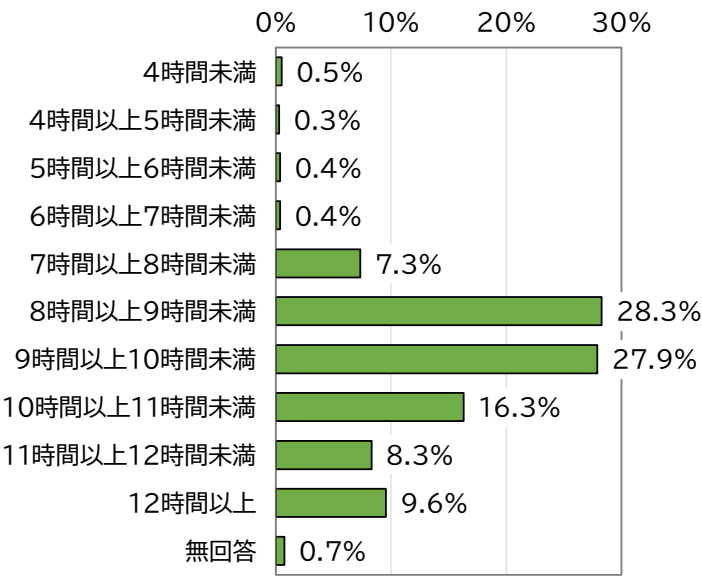
1 週当たりの就労日数は、「5 日」が 76.1%と最も多く、次いで「6 日」が 20.5%となっています。



項目	度数	比率
1日	1	0.1%
2日	1	0.1%
3日	9	0.7%
4日	6	0.4%
5日	1,026	76.1%
6日	276	20.5%
7日	18	1.3%
無回答	11	0.8%
回答者数	1,348	100.0%

1 日当たりの就労時間（父親）

1 日当たりの就労時間は、「8 時間以上 9 時間未満」が 28.3%と最も多く、次いで「9 時間以上 10 時間未満」が 27.9%となっています。



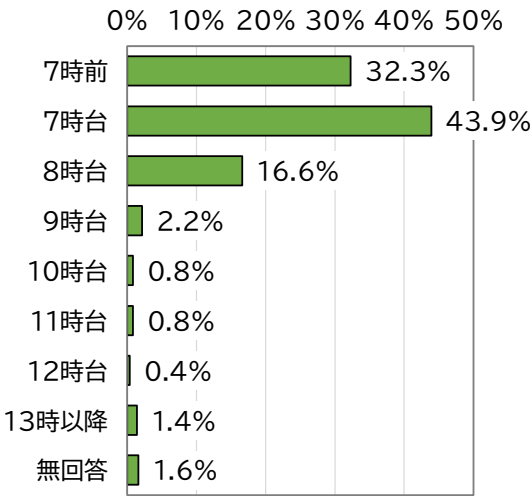
項目	度数	比率
4時間未満	7	0.5%
4時間以上5時間未満	4	0.3%
5時間以上6時間未満	5	0.4%
6時間以上7時間未満	5	0.4%
7時間以上8時間未満	99	7.3%
8時間以上9時間未満	381	28.3%
9時間以上10時間未満	376	27.9%
10時間以上11時間未満	220	16.3%
11時間以上12時間未満	112	8.3%
12時間以上	129	9.6%
無回答	10	0.7%
回答者数	1,348	100.0%

(2)-1(2)で「フルタイムで就労している」～「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」(就労している)を回答した方にうかがいます。

家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（例）0 8 時～ 1 8 時のように、2 4 時間制でお答えください（□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字）。

家を出る時間（父親）

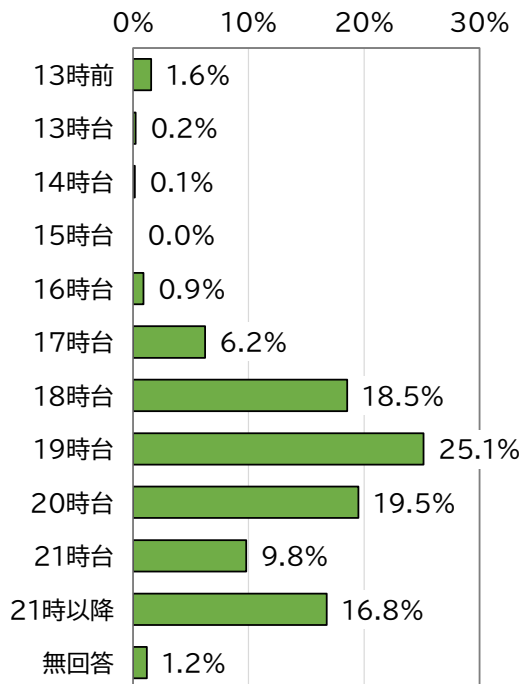
家を出る時間は、「7 時台」が 43.9%と最も多く、次いで「7 時前」が 32.3%となっています。



項目	度数	比率
7時前	435	32.3%
7時台	592	43.9%
8時台	224	16.6%
9時台	29	2.2%
10時台	11	0.8%
11時台	11	0.8%
12時台	5	0.4%
13時以降	19	1.4%
無回答	22	1.6%
回答者数	1,348	100.0%

帰宅時間（父親）

帰宅時間は、「19 時台」が 25.1%と最も多く、次いで「20 時台」が 19.5%、「18 時台」が 18.5%となっています。



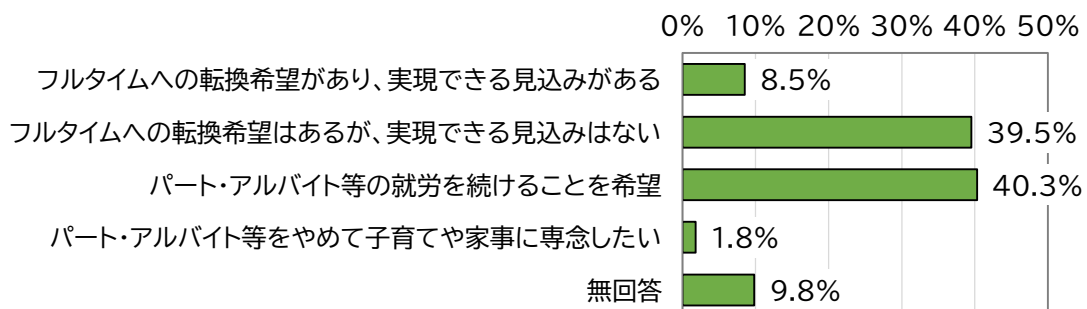
項目	度数	比率
13時前	21	1.6%
13時台	3	0.2%
14時台	2	0.1%
15時台	0	0.0%
16時台	12	0.9%
17時台	84	6.2%
18時台	250	18.5%
19時台	339	25.1%
20時台	263	19.5%
21時台	132	9.8%
21時以降	226	16.8%
無回答	16	1.2%
回答者数	1,348	100.0%

問9の(1)または(2)で「パート・アルバイト等で就労している」「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」(パート・アルバイト等で就労している)を回答した方にうかがいます。該当しない方は、問 11 へお進みください。

問 10 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号 1 つを選んでください。

(1) 母親

フルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 40.3%と最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 39.5%となっています。



項目	度数	比率
フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	33	8.5%
フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	153	39.5%
パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	156	40.3%
パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	7	1.8%
無回答	38	9.8%
回答者数	387	100.0%

(2) 父親

フルタイムへの転換希望は、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 18.8%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」がともに 12.5%となっています。

勤務体系の転換希望（父親）

項目	度数	比率
フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	2	12.5%
フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	3	18.8%
パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	2	12.5%
パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	0	0.0%
無回答	9	56.3%
回答者数	16	100.0%

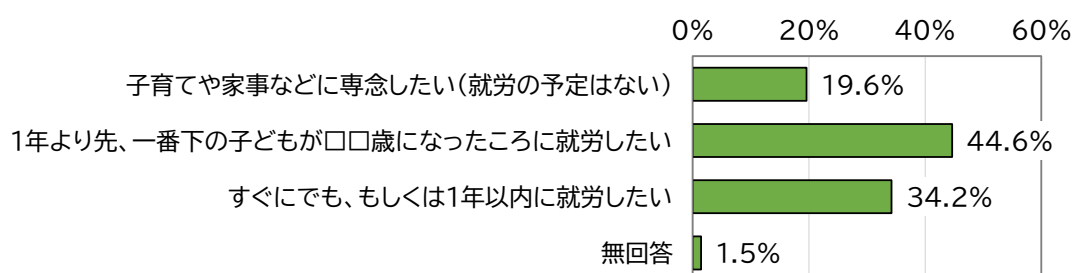
※回答者数が少ない為、表のみ掲載（以下同様）

問9の(1)または(2)で「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまで就労したことがない」(現在は就労していない・今まで就労したことがない)を回答した方にうかがいます。該当しない方は、問 12 へお進みください。

問 11 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください(数字は一桁に一字)。

(1) 母親

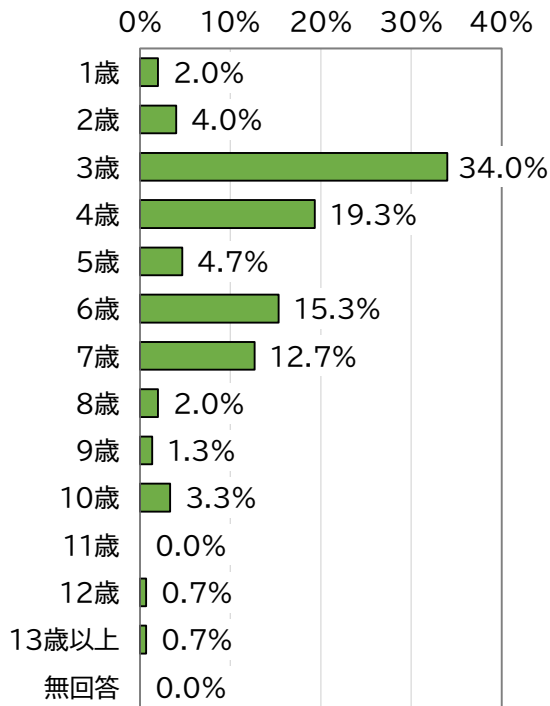
就労したいという希望については、「1 年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」が 44.6%と最も多く、次いで「すぐにでも、もしくは1 年以内に就労したい」が 34.2%、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が 19.6%となっています。

就労意向（母親）

項目	度数	比率
子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	66	19.6%
1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい	150	44.6%
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	115	34.2%
無回答	5	1.5%
回答者数	336	100.0%

一番下の子どもの年齢（母親）

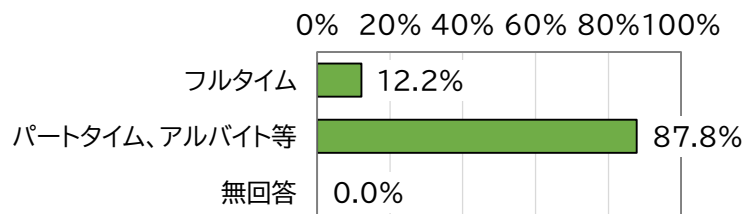
就労するにあたり、希望する一番下の子どもの年齢は、「3歳」が 34.0%と最も多く、次いで「4歳」が 19.3%、「6歳」が 15.3%となっています。



項目	度数	比率
1歳	3	2.0%
2歳	6	4.0%
3歳	51	34.0%
4歳	29	19.3%
5歳	7	4.7%
6歳	23	15.3%
7歳	19	12.7%
8歳	3	2.0%
9歳	2	1.3%
10歳	5	3.3%
11歳	0	0.0%
12歳	1	0.7%
13歳以上	1	0.7%
無回答	0	0.0%
回答者数	150	100.0%

希望する就労形態（母親）

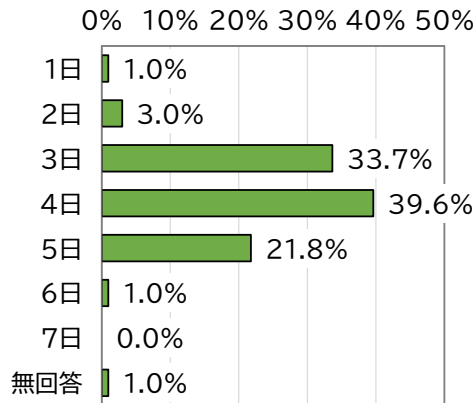
希望する就労形態は、「パートタイム、アルバイト等」が 87.8%と最も多くなっています。



項目	度数	比率
フルタイム	14	12.2%
パートタイム、アルバイト等	101	87.8%
無回答	0	0.0%
回答者数	115	100.0%

希望する1週当たりの就労日数（母親）

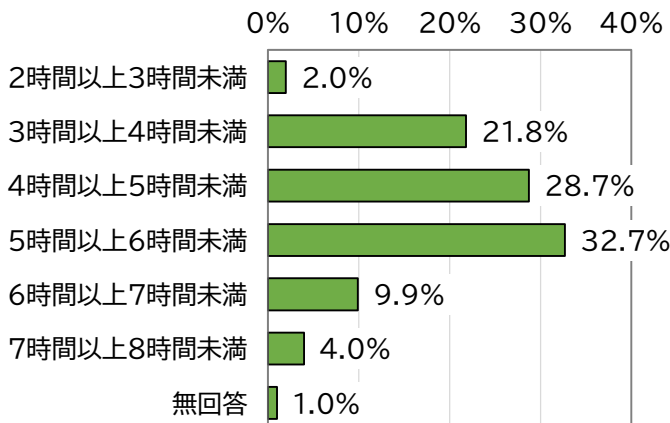
希望する1週当たりの就労日数は、「4日」が39.6%と最も多く、次いで「3日」が33.7%となっています。



項目	度数	比率
1日	1	1.0%
2日	3	3.0%
3日	34	33.7%
4日	40	39.6%
5日	22	21.8%
6日	1	1.0%
7日	0	0.0%
無回答	1	1.0%
回答者数	101	100.0%

希望する1日当たりの就労時間（母親）

希望する1日当たりの就労時間は、「5時間以上6時間未満」が32.7%と最も多く、次いで「4時間以上5時間未満」が28.7%、「3時間以上4時間未満」が21.8%となっています。



項目	度数	比率
2時間以上3時間未満	2	2.0%
3時間以上4時間未満	22	21.8%
4時間以上5時間未満	29	28.7%
5時間以上6時間未満	33	32.7%
6時間以上7時間未満	10	9.9%
7時間以上8時間未満	4	4.0%
無回答	1	1.0%
回答者数	101	100.0%

(2) 父親

就労したいという希望については、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が80.0%となっています。

就労意向（父親）

項目	度数	比率
子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	1	10.0%
1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい	1	10.0%
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	8	80.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	10	100.0%

一番下の子どもの年齢（父親）

回答はありませんでした。

希望する就労形態（父親）

希望する就労形態は、「フルタイム」が62.5%となっています。

項目	度数	比率
フルタイム	5	62.5%
パートタイム、アルバイト等	3	37.5%
回答者数	8	100.0%

希望する1週当たりの就労日数（父親）

希望する1週当たりの就労日数は、「3日」が66.7%となっています。

項目	度数	比率
3日	2	66.7%
5日	1	33.3%
回答者数	3	100.0%

希望する1週当たりの就労時間（父親）

希望する1週当たりの就労時間は、「4時間以上5時間未満」が66.7%となっています。

項目	度数	比率
4時間以上5時間未満	2	66.7%
7時間以上8時間未満	1	33.3%
回答者数	3	100.0%

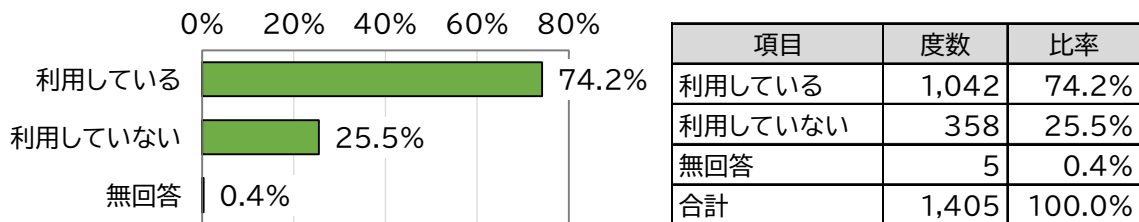
⑤宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問 12-1 に示した事業が含まれます。

問 12 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つを選択してください。

お子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されているかは、「利用している」が 74.2%、「利用していない」が 25.5%となっています。

教育・保育事業の利用

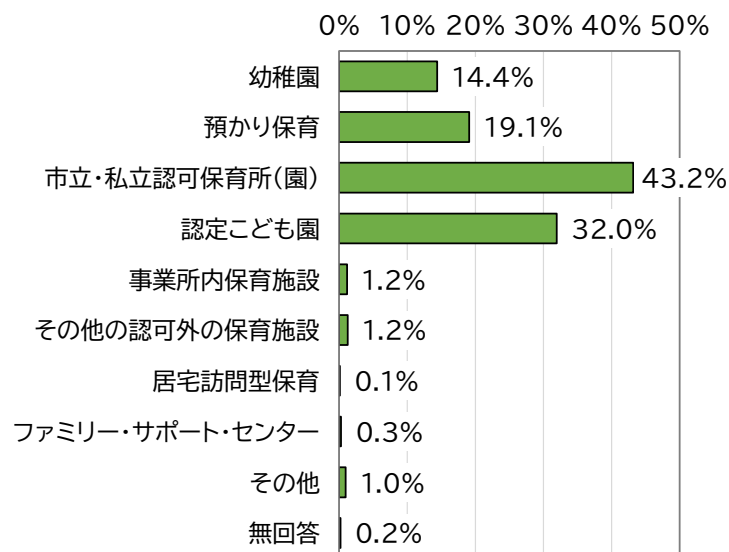


問 12 で「利用している」を回答した方にうかがいます。

問 12-1 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。あてはまる番号すべてを選択してください。

平日の利用している事業教育・保育については、「市立・私立認可保育所（園）（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）」が 43.2%と最も多く、次いで「認定こども園（保護者の就労等に関わらず、幼稚園と保育施設が一体となった施設で子どもを預かるもの）」が 32.0%、「預かり保育（認定こども園・幼稚園）」が 19.1%となっています。

利用している事業



1 就学前児童保護者調査

項目	度数	比率
幼稚園(通常の就園時間の利用)	150	14.4%
預かり保育(認定こども園・幼稚園)	199	19.1%
市立・私立認可保育所(園)(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの)	450	43.2%
認定こども園(保護者の就労等に関わらず、幼稚園と保育施設が一体となった施設で子どもを預かるもの)	333	32.0%
事業所内保育施設(企業が主に従業員用のために運営する施設)	12	1.2%
その他の認可外の保育施設(認可外保育施設:都道府県の認可を受けていないが届出を行った施設で、通常保育、一時預かり等のサービスを提供するもの)	13	1.2%
居宅訪問型保育(ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)	1	0.1%
ファミリー・サポート・センター(育児の援助を行う人と育児の援助を必要とする人が会員の登録をし、お子さんの一時預かりや保育施設の送迎等の相互援助活動を行う事業)	3	0.3%
その他	10	1.0%
無回答	2	0.2%
回答者数	1,042	

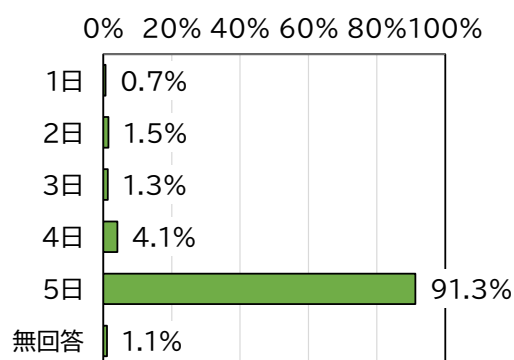
問 12 で「利用している」を回答した方にうかがいます。

問 12-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間(何時から何時まで)かを、□内に具体的な数字でご記入ください(一枠内に数字は一字)。時間は、必ず(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください。

(1) 現在

1 週当たりの事業の利用日数

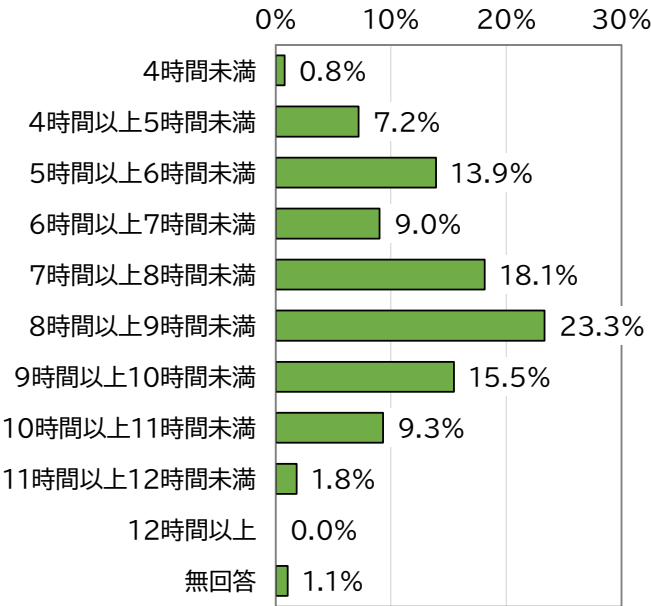
現在の1週当たりの利用日数は、「5日」が91.3%と最も多くなっています。



項目	度数	比率
1日	7	0.7%
2日	16	1.5%
3日	14	1.3%
4日	43	4.1%
5日	951	91.3%
無回答	11	1.1%
回答者数	1,042	100.0%

1 日当たりの事業の利用時間

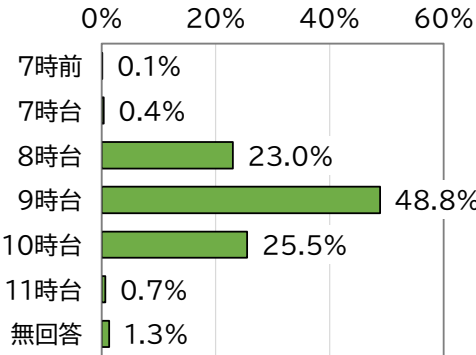
現在の1日当たりの利用時間は、「8時間以上9時間未満」が23.3%と最も多く、「7時間以上8時間未満」が18.1%、「9時間以上10時間未満」が15.5%となっています。



項目	度数	比率
4時間未満	8	0.8%
4時間以上5時間未満	75	7.2%
5時間以上6時間未満	145	13.9%
6時間以上7時間未満	94	9.0%
7時間以上8時間未満	189	18.1%
8時間以上9時間未満	243	23.3%
9時間以上10時間未満	161	15.5%
10時間以上11時間未満	97	9.3%
11時間以上12時間未満	19	1.8%
12時間以上	0	0.0%
無回答	11	1.1%
回答者数	1,042	100.0%

事業の利用開始時間

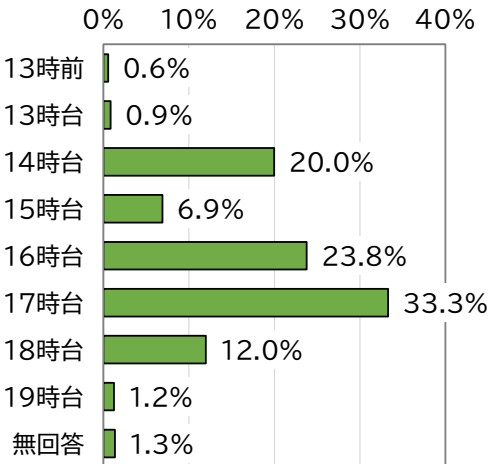
現在の利用開始時間は、「9時台」が48.8%と最も多く、「10時台」が25.5%、「8時台」が23.0%となっています。



項目	度数	比率
7時前	1	0.1%
7時台	4	0.4%
8時台	240	23.0%
9時台	509	48.8%
10時台	266	25.5%
11時台	7	0.7%
無回答	14	1.3%
回答者数	1,042	100.0%

事業の利用終了時間

現在の利用終了時間は、「17時台」が33.3%と最も多く、次いで「16時台」が23.8%、「14時台」が20.0%となっています。

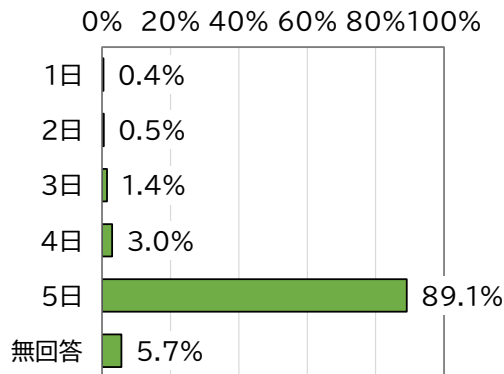


項目	度数	比率
13時前	6	0.6%
13時台	9	0.9%
14時台	208	20.0%
15時台	72	6.9%
16時台	248	23.8%
17時台	347	33.3%
18時台	125	12.0%
19時台	13	1.2%
無回答	14	1.3%
回答者数	1,042	100.0%

(2) 希望

1 週当たりの事業の希望日数

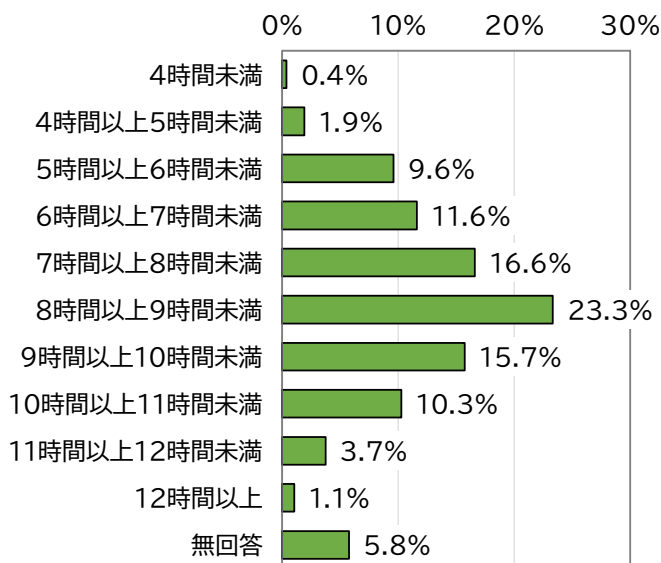
希望する1週当たりの利用日数は、「5日」が89.1%と最も多くなっています。



項目	度数	比率
1日	4	0.4%
2日	5	0.5%
3日	15	1.4%
4日	31	3.0%
5日	928	89.1%
無回答	59	5.7%
回答者数	1,042	100.0%

1 日当たりの事業の希望時間

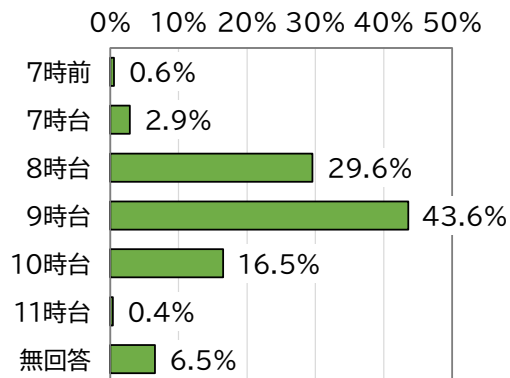
希望する1週当たりの利用時間は、「8時間以上9時間未満」が23.3%と最も多く、次いで「7時間以上8時間未満」が16.6%、「9時間以上10時間未満」が15.7%となっています。



項目	度数	比率
4時間未満	4	0.4%
4時間以上5時間未満	20	1.9%
5時間以上6時間未満	100	9.6%
6時間以上7時間未満	121	11.6%
7時間以上8時間未満	173	16.6%
8時間以上9時間未満	243	23.3%
9時間以上10時間未満	164	15.7%
10時間以上11時間未満	107	10.3%
11時間以上12時間未満	39	3.7%
12時間以上	11	1.1%
無回答	60	5.8%
回答者数	1,042	100.0%

事業の希望開始時間

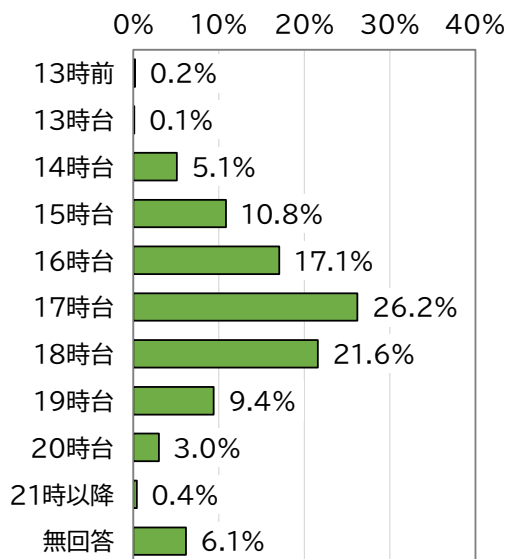
希望する開始時間は、「9 時台」が 43.6%と最も多く、次いで「8 時台」が 29.6%、「10 時台」が 16.5%となっています。



項目	度数	比率
7時前	6	0.6%
7時台	30	2.9%
8時台	308	29.6%
9時台	454	43.6%
10時台	172	16.5%
11時台	4	0.4%
無回答	68	6.5%
回答者数	1,042	100.0%

事業の希望終了時間

希望する終了時間は、「17 時台」が 26.2%と最も多く、次いで「18 時台」が 21.6%、「16 時台」が 17.1%となっています。



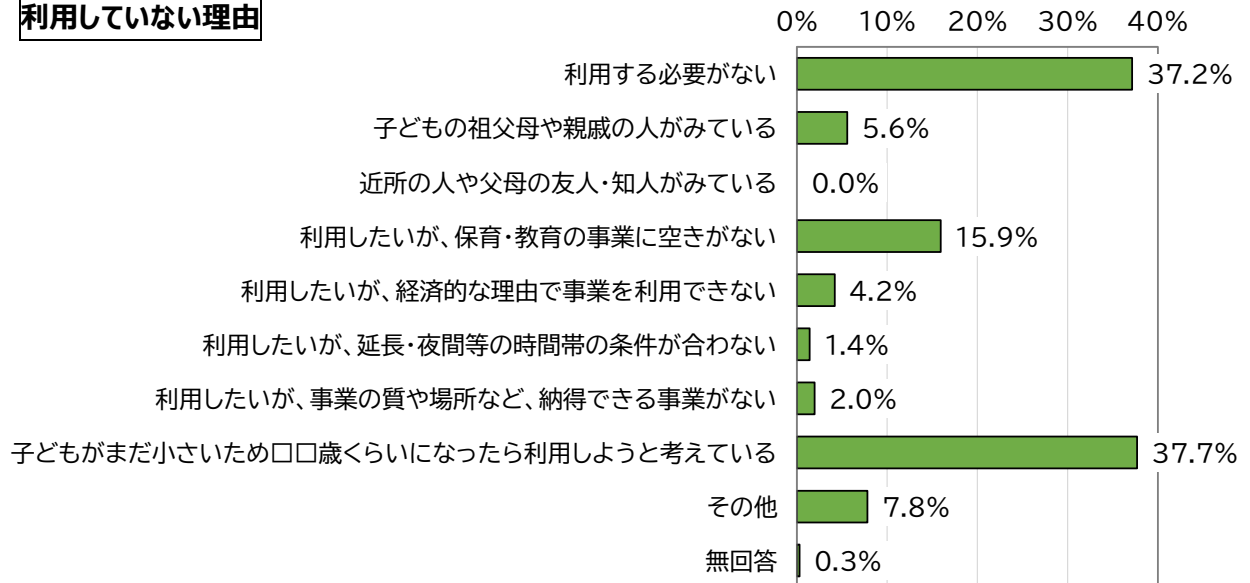
項目	度数	比率
13時前	2	0.2%
13時台	1	0.1%
14時台	53	5.1%
15時台	113	10.8%
16時台	178	17.1%
17時台	273	26.2%
18時台	225	21.6%
19時台	98	9.4%
20時台	31	3.0%
21時以降	4	0.4%
無回答	64	6.1%
回答者数	1,042	100.0%

問 12 で「利用していない」を回答した方にうかがいます。

問 12-3 利用していない理由は何ですか。理由として当てはまる番号すべてを選択してください。

利用していない理由は、「子どもがまだ小さいため□□歳くらいになったら利用しようと考えている」がともに 37.7%と最も多く、次いで「（子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で）利用する必要がない」が 37.2%となっています。

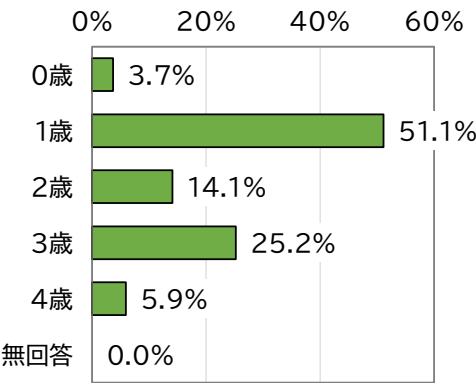
利用していない理由



項目	度数	比率
利用する必要がない(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で)	133	37.2%
子どもの祖父母や親戚の人がみている	20	5.6%
近所の人や父母の友人・知人がみている	0	0.0%
利用したいが、保育・教育の事業に空きがない	57	15.9%
利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない	15	4.2%
利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	5	1.4%
利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない	7	2.0%
子どもがまだ小さいため□□歳くらいになったら利用しようと考えている	135	37.7%
その他	28	7.8%
無回答	1	0.3%
回答者数	358	

事業を利用したい子どもの年齢

希望する子ども年齢は、「1歳」が51.1%と最も多く、「3歳」が25.2%となっています。



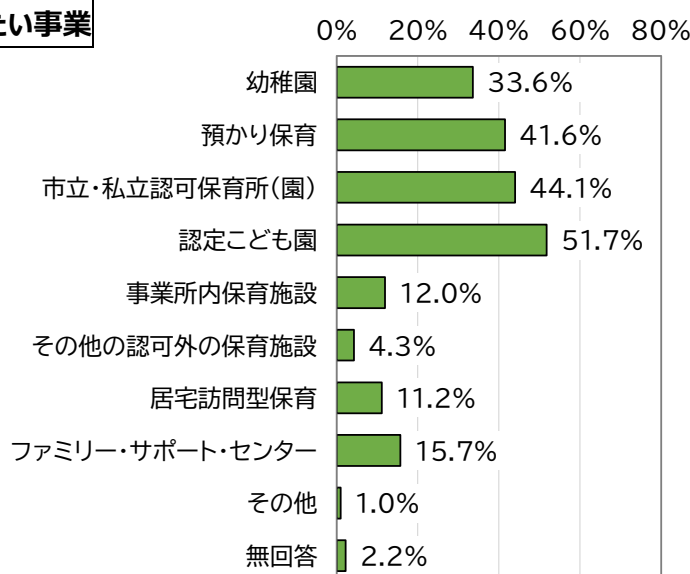
項目	度数	比率
0歳	5	3.7%
1歳	69	51.1%
2歳	19	14.1%
3歳	34	25.2%
4歳	8	5.9%
無回答	0	0.0%
回答者数	135	100.0%

すべての方にうかがいます。

問 13 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてを選択してください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育園の場合、世帯収入に応じた利用額が認定されています。

平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業については、「認定こども園（保護者の就労等に関わらず、幼稚園と保育施設が一体となった施設で子どもを預かるもの）」が 51.7%と最も多く、次いで「市立・私立認可保育所（園）（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）」が 44.1%、「預かり保育（認定こども園・幼稚園）」が 41.6%となっています。

希望の利用したい事業



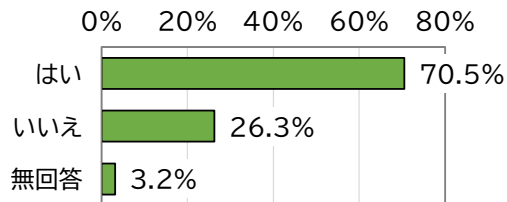
項目	度数	比率
幼稚園(通常の就園時間の利用)	472	33.6%
預かり保育(認定こども園・幼稚園)	584	41.6%
市立・私立認可保育所(園)(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの)	619	44.1%
認定こども園(保護者の就労等に関わらず、幼稚園と保育施設が一体となった施設で子どもを預かるもの)	727	51.7%
事業所内保育施設(企業が主に従業員用のために運営する施設)	168	12.0%
その他の認可外の保育施設(認可外保育施設:都道府県の認可を受けていないが届出を行った施設で、通常保育、一時預かり等のサービスを提供するもの)	60	4.3%
居宅訪問型保育(ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)	157	11.2%
ファミリー・サポート・センター(育児の援助を行う人と育児の援助を必要とする人が会員の登録をし、お子さんの一時預かりや保育施設の送迎等の相互援助活動を行う事業)	221	15.7%
その他	14	1.0%
無回答	31	2.2%
回答者数	1,405	

問 13 で「幼稚園(通常の就園時間の利用)」または「預かり保育(認定こども園・幼稚園)」を選択し、かつ「市立・私立認可保育所(園)(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの)」～「その他」も選択した方にうかがいます。

問 13-1 特に幼稚園(幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む)の利用を強く希望しますか。当てはまる番号を選択してください。

特に幼稚園(幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む)の利用を強く希望するかでは、「はい」が 70.5%、「いいえ」が 26.3%となっています。

幼稚園の預かりの希望

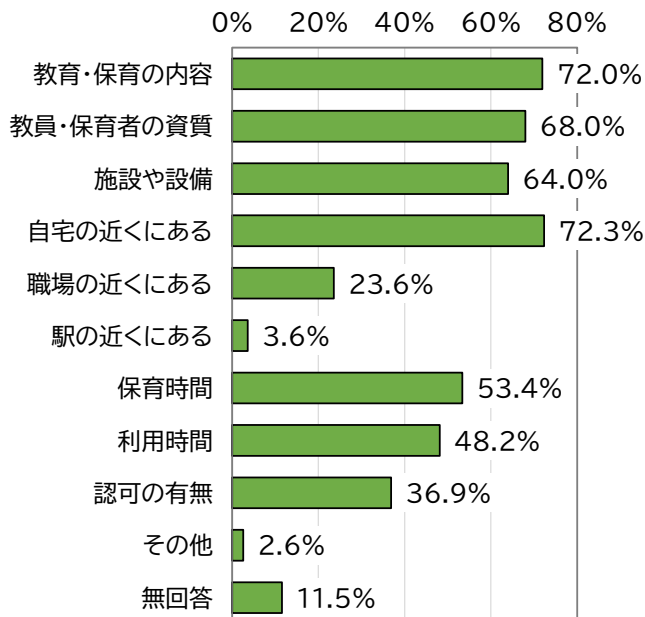


項目	度数	比率
はい	378	70.5%
いいえ	141	26.3%
無回答	17	3.2%
回答者数	536	100.0%

問 13-2 教育・保育事業を利用する上で重視する条件についてうかがいます。当てはまる番号すべてを選択してください。

教育・保育事業を利用する上で重視する条件については、「自宅の近くにある」が 72.3%と最も多く、次いで「教育・保育の内容」が 72.0%、「教員・保育者の資質」が 68.0%となっています。

利用する際の重視する条件



項目	度数	比率
教育・保育の内容	1,011	72.0%
教員・保育者の資質	955	68.0%
施設や設備	899	64.0%
自宅の近くにある	1,016	72.3%
職場の近くにある	331	23.6%
駅の近くにある	51	3.6%
保育時間	750	53.4%
利用時間	677	48.2%
認可の有無	518	36.9%
その他	36	2.6%
無回答	162	11.5%
回答者数	1,405	

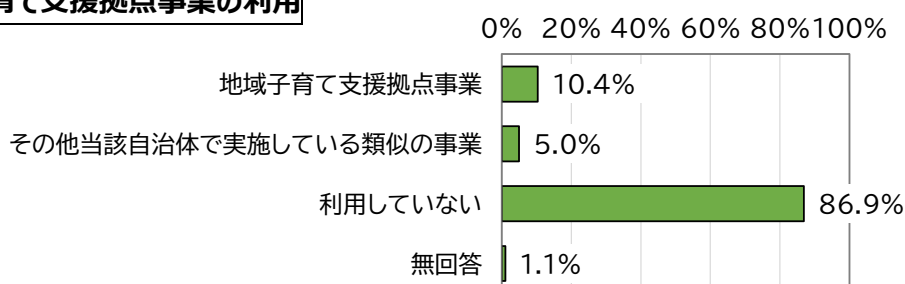
⑥宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

問14 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点（身近な地域における相談や親同士の交流の場）を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてを選択してください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（一枠内に数字は一字）。

現在、地域子育て支援拠点を利用しているかは、「地域子育て支援拠点事業（いちごクラブ・マロンのいえ・ミッキークラブ・えくぼちゃんクラブ・こぐまクラブ・すまいる・にっこりちゃん）」が 10.4%、「その他当該自治体で実施している類似の事業（しらさぎ・うさぎっこ・かるがも・おおやっこ・つむぎっこ・子育てサロン）」が 5.0%となっています。

一方、「利用していない」が 86.9%となっています。

地域子育て支援拠点事業の利用

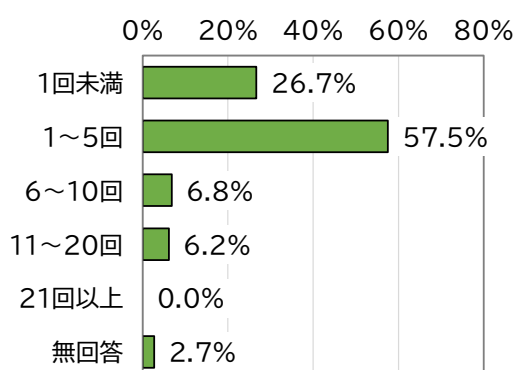


項目	度数	比率
地域子育て支援拠点事業(いちごクラブ・マロンのいえ・ミッキークラブ・えくぼちゃんクラブ・こぐまクラブ・すまいる・にっこりちゃん)	146	10.4%
その他当該自治体で実施している類似の事業(しらさぎ・うさぎっこ・かるがも・おおやっこ・つむぎっこ・子育てサロン)	70	5.0%
利用していない	1,221	86.9%
無回答	15	1.1%
回答者数	1,405	

地域子育て支援拠点事業（いちごクラブ・マロンのいえ・ミッキークラブ・えくぼちゃんクラブ・こぐまクラブ・すまいる・にっこりちゃん）

地域子育て支援拠点事業の1ヶ月当たりの利用回数

地域子育て支援拠点事業（いちごクラブ・マロンのいえ・ミッキークラブ・えくぼちゃんクラブ・こぐまクラブ・すまいる・にっこりちゃん）の1ヶ月当たりの利用回数は、「1～5回」が 57.5%と最も多く、次いで「1回未満」が 26.7%となっています。

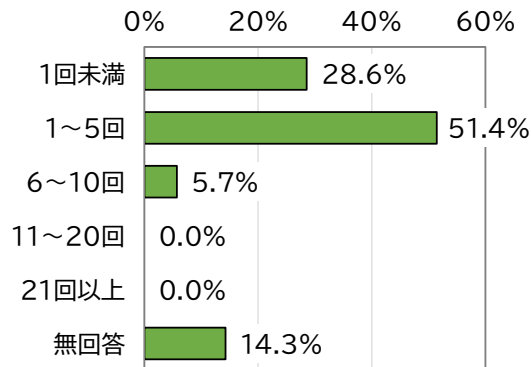


項目	度数	比率
1回未満	39	26.7%
1～5回	84	57.5%
6～10回	10	6.8%
11～20回	9	6.2%
21回以上	0	0.0%
無回答	4	2.7%
回答者数	146	100.0%

その他当該自治体で実施している類似の事業（しらさぎ・うさぎっこ・かるがも・おおやっこ・つむぎっこ・子育てサロン）

類似の事業の1ヶ月当たりの利用回数

その他当該自治体で実施している類似の事業（しらさぎ・うさぎっこ・かるがも・おおやっこ・つむぎっこ・子育てサロン）の1ヶ月当たりの利用回数は、「1～5回」が51.4%と最も多く、次いで「1回未満」が28.6%となっています。

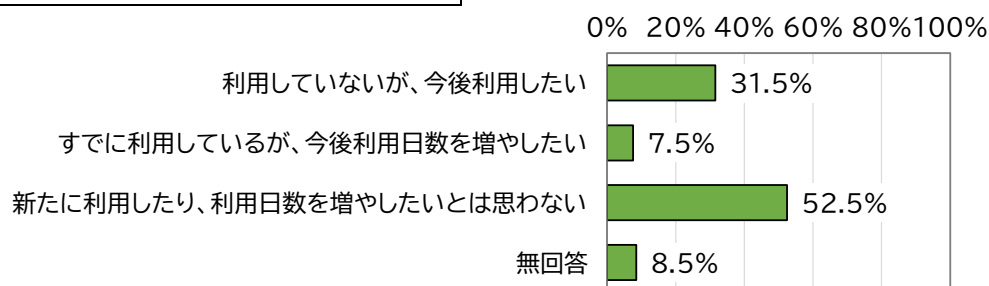


項目	度数	比率
1回未満	20	28.6%
1～5回	36	51.4%
6～10回	4	5.7%
11～20回	0	0.0%
21回以上	0	0.0%
無回答	10	14.3%
回答者数	70	100.0%

問15 問14のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思われませんか。当てはまる番号1つ選択し、おおよその利用回数(頻度)を口内に数字でご記入ください(一枠内に数字は一字)。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

地域子育て支援拠点事業について、今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思うかでは、「利用していないが、今後利用したい」が31.5%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」7.5%、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が52.5%となっています。

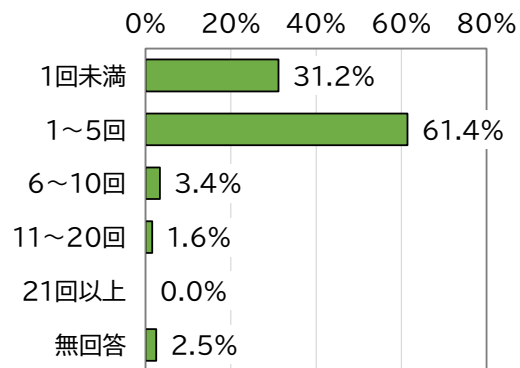
地域子育て支援拠点事業の利用希望



項目	度数	比率
利用していないが、今後利用したい	443	31.5%
すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	106	7.5%
新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	737	52.5%
無回答	119	8.5%
合計	1,405	100.0%

利用していないが、今後利用したい**地域子育て支援拠点事業の1ヶ月当たりの利用希望回数**

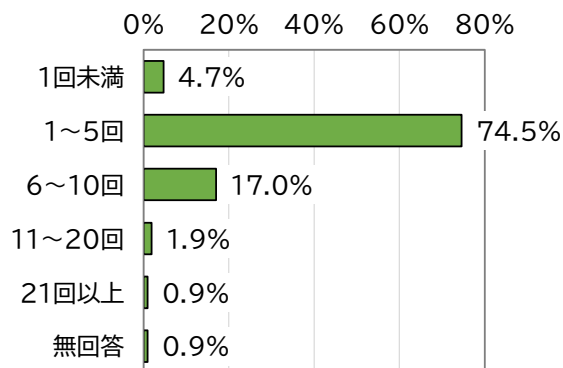
利用していないが、今後利用したいと思う利用回数は、「1～5回」が61.4%と最も多く、次いで「1回未満」が31.2%となっています。



項目	度数	比率
1回未満	138	31.2%
1～5回	272	61.4%
6～10回	15	3.4%
11～20回	7	1.6%
21回以上	0	0.0%
無回答	11	2.5%
回答者数	443	100.0%

すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい**地域子育て支援拠点事業の1ヶ月当たりの更に利用希望回数**

すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたいと思う利用回数は、「1～5回」が74.5%と最も多く、次いで「6～10回」が17.0%となっています。

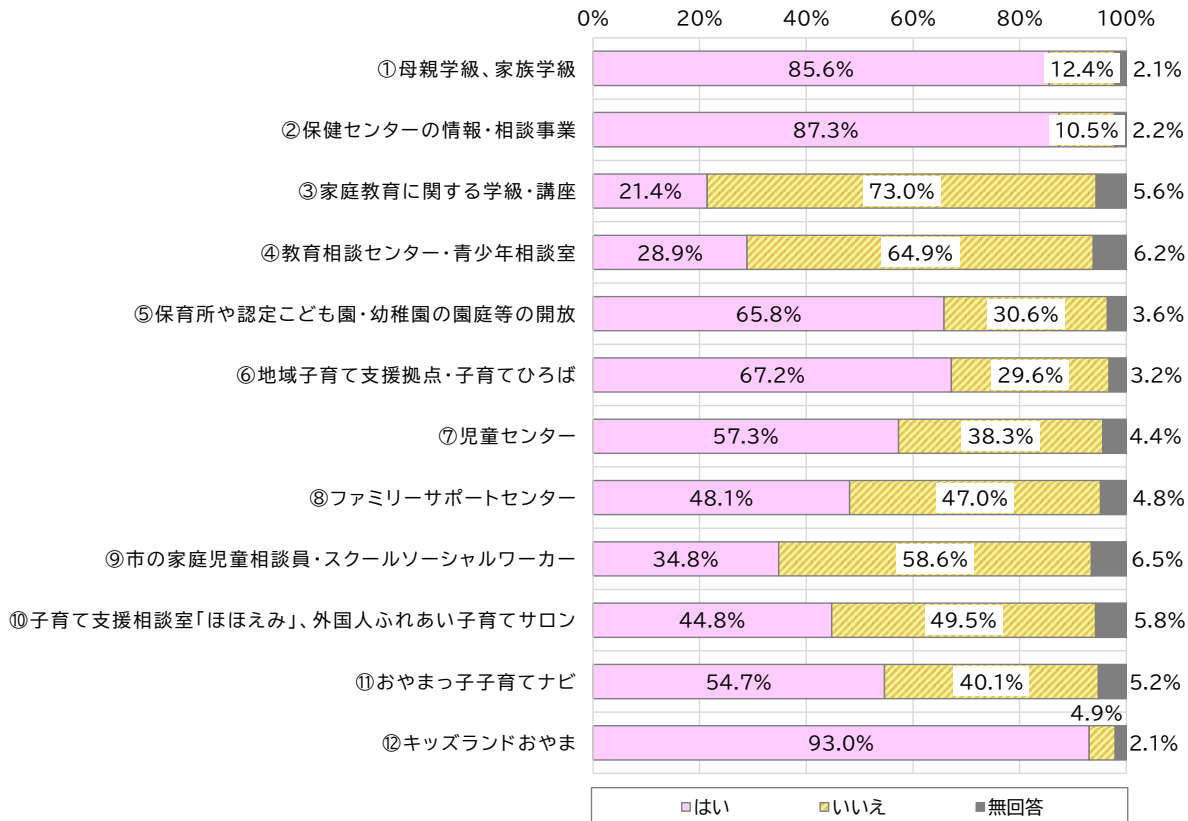


項目	度数	比率
1回未満	5	4.7%
1～5回	79	74.5%
6～10回	18	17.0%
11～20回	2	1.9%
21回以上	1	0.9%
無回答	1	0.9%
回答者数	106	100.0%

問 16 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑫の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて「はい」「いいえ」のいずれかを選択してください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実

知っているもの

事業で知っているものの「はい」では、「⑫キッズランドおやま（小山駅西口「ロブレビル」内）」が93.0%と最も多く、次いで「②保健センターの情報・相談事業（乳幼児健診・相談・教室など）」が87.3%、「①母親学級、家族学級（マタニティクラス）」が85.6%となっています。

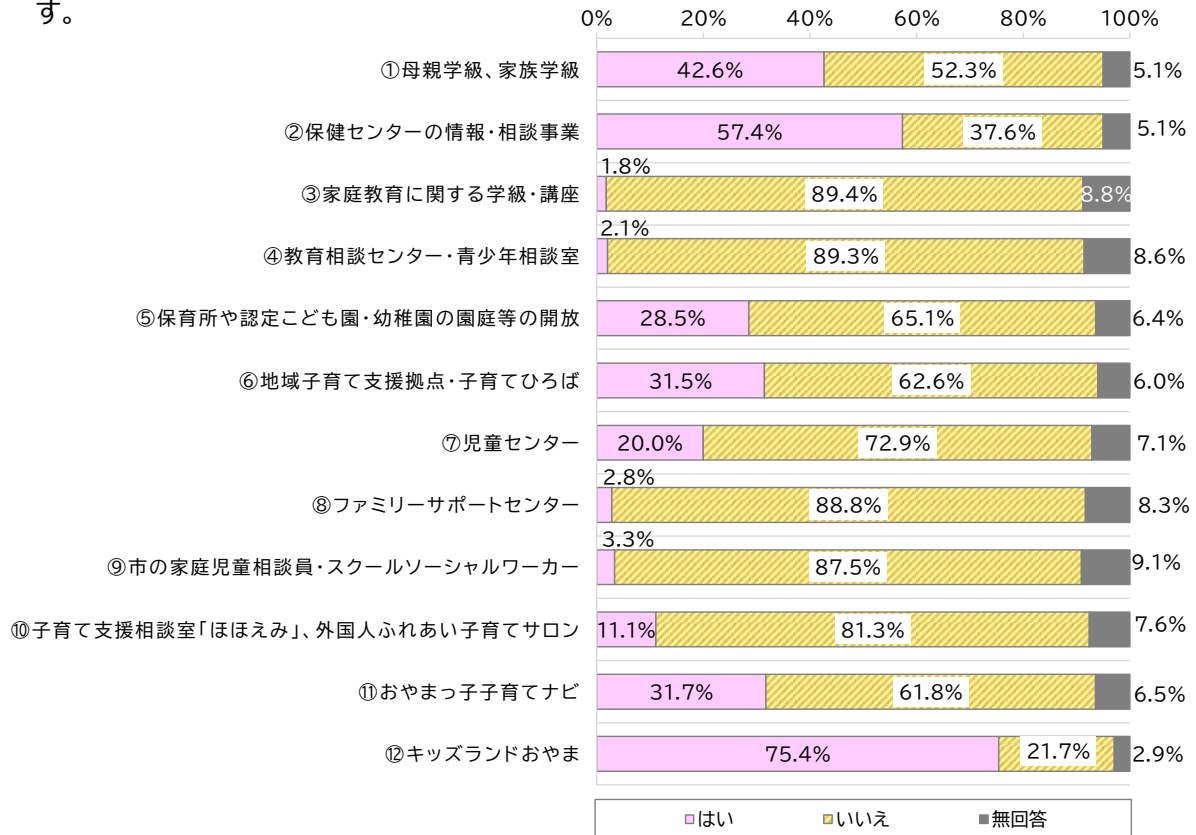


項目(度数)	はい	いいえ	無回答	合計
①母親学級、家族学級(マタニティクラス)	1,202	174	29	1,405
②保健センターの情報・相談事業(乳幼児健診・相談・教室など)	1,227	147	31	1,405
③家庭教育に関する学級・講座	301	1,025	79	1,405
④教育相談センター・青少年相談室	406	912	87	1,405
⑤保育所や認定こども園・幼稚園の園庭等の開放	925	430	50	1,405
⑥地域子育て支援拠点・子育てひろば (身近な地域における相談や親同士の交流の場)	944	416	45	1,405
⑦児童センター	805	538	62	1,405
⑧ファミリーサポートセンター (会員制によるお子さんの一時預かり等の相互援助活動)	676	661	68	1,405
⑨市の家庭児童相談員・スクールソーシャルワーカー	489	824	92	1,405
⑩子育て支援相談室「ほほえみ」、外国人ふれあい子育てサロン (子育て支援情報の提供する施設)	629	695	81	1,405
⑪おやまっ子子育てナビ	768	564	73	1,405
⑫キッズランドおやま(小山駅西口「ロブレビル」内)	1,307	69	29	1,405
項目(比率)	はい	いいえ	無回答	合計
①母親学級、家族学級(マタニティクラス)	85.6%	12.4%	2.1%	100.0%
②保健センターの情報・相談事業(乳幼児健診・相談・教室など)	87.3%	10.5%	2.2%	100.0%
③家庭教育に関する学級・講座	21.4%	73.0%	5.6%	100.0%
④教育相談センター・青少年相談室	28.9%	64.9%	6.2%	100.0%
⑤保育所や認定こども園・幼稚園の園庭等の開放	65.8%	30.6%	3.6%	100.0%
⑥地域子育て支援拠点・子育てひろば (身近な地域における相談や親同士の交流の場)	67.2%	29.6%	3.2%	100.0%
⑦児童センター	57.3%	38.3%	4.4%	100.0%
⑧ファミリーサポートセンター (会員制によるお子さんの一時預かり等の相互援助活動)	48.1%	47.0%	4.8%	100.0%
⑨市の家庭児童相談員・スクールソーシャルワーカー	34.8%	58.6%	6.5%	100.0%
⑩子育て支援相談室「ほほえみ」、外国人ふれあい子育てサロン (子育て支援情報の提供する施設)	44.8%	49.5%	5.8%	100.0%
⑪おやまっ子子育てナビ	54.7%	40.1%	5.2%	100.0%
⑫キッズランドおやま(小山駅西口「ロブレビル」内)	93.0%	4.9%	2.1%	100.0%

1 就学前児童保護者調査

これまでに利用したことがあるもの

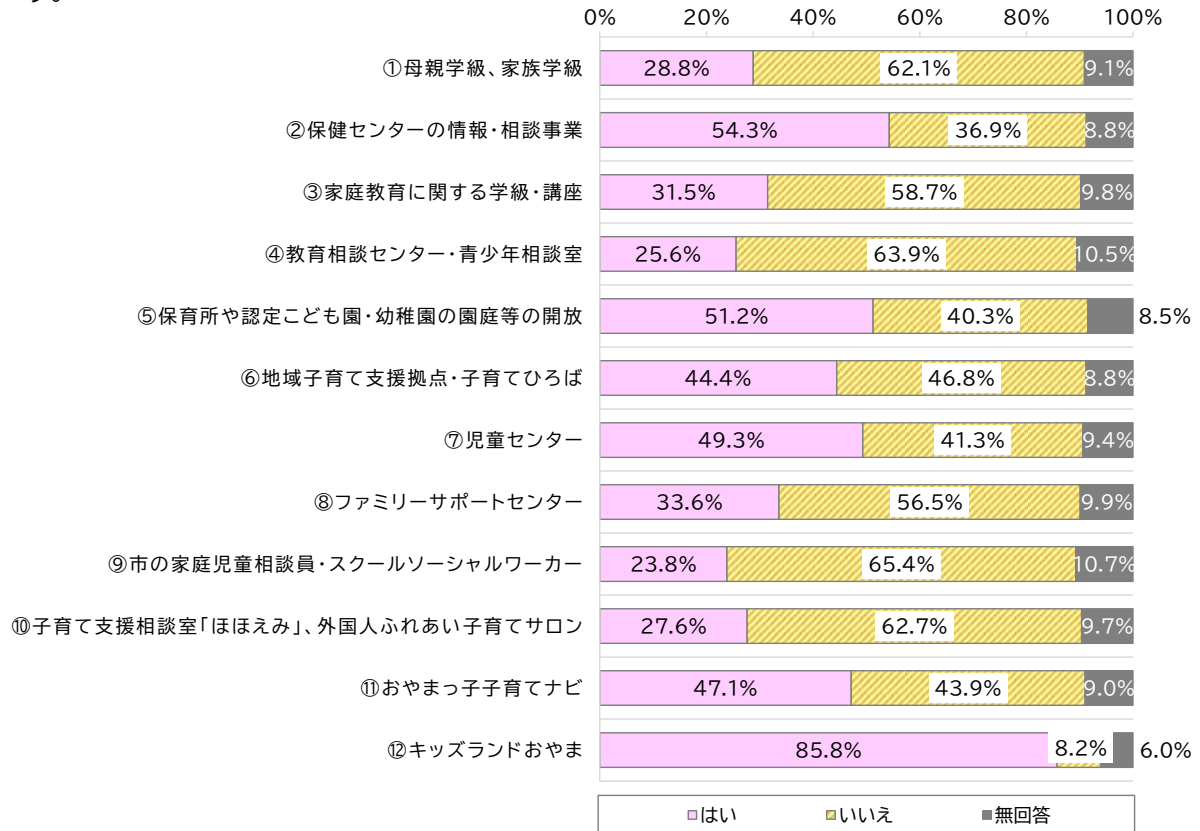
事業でこれまでに利用したことがあるものの「はい」では、「⑫キッズランドおやま（小山駅西口「ロブレビル」内）」が 75.4%と最も多く、次いで「②保健センターの情報・相談事業（乳幼児健診・相談・教室など）」が 57.4%、「①母親学級、家族学級（マタニティクラス）」が 42.6%となっています。



項目(度数)	はい	いいえ	無回答	合計
①母親学級、家族学級(マタニティクラス)	599	735	71	1,405
②保健センターの情報・相談事業(乳幼児健診・相談・教室など)	806	528	71	1,405
③家庭教育に関する学級・講座	25	1,256	124	1,405
④教育相談センター・青少年相談室	29	1,255	121	1,405
⑤保育所や認定こども園・幼稚園の園庭等の開放	401	914	90	1,405
⑥地域子育て支援拠点・子育てひろば (身近な地域における相談や親同士の交流の場)	442	879	84	1,405
⑦児童センター	281	1,024	100	1,405
⑧ファミリーサポートセンター (会員制によるお子さんの一時預かり等の相互援助活動)	40	1,248	117	1,405
⑨市の家庭児童相談員・スクールソーシャルワーカー	47	1,230	128	1,405
⑩子育て支援相談室「ほほえみ」、外国人ふれあい子育てサロン (子育て支援情報の提供する施設)	156	1,142	107	1,405
⑪おやまっ子子育てナビ	446	868	91	1,405
⑫キッズランドおやま(小山駅西口「ロブレビル」内)	1059	305	41	1,405
項目(比率)	はい	いいえ	無回答	合計
①母親学級、家族学級(マタニティクラス)	42.6%	52.3%	5.1%	100.0%
②保健センターの情報・相談事業(乳幼児健診・相談・教室など)	57.4%	37.6%	5.1%	100.0%
③家庭教育に関する学級・講座	1.8%	89.4%	8.8%	100.0%
④教育相談センター・青少年相談室	2.1%	89.3%	8.6%	100.0%
⑤保育所や認定こども園・幼稚園の園庭等の開放	28.5%	65.1%	6.4%	100.0%
⑥地域子育て支援拠点・子育てひろば (身近な地域における相談や親同士の交流の場)	31.5%	62.6%	6.0%	100.0%
⑦児童センター	20.0%	72.9%	7.1%	100.0%
⑧ファミリーサポートセンター (会員制によるお子さんの一時預かり等の相互援助活動)	2.8%	88.8%	8.3%	100.0%
⑨市の家庭児童相談員・スクールソーシャルワーカー	3.3%	87.5%	9.1%	100.0%
⑩子育て支援相談室「ほほえみ」、外国人ふれあい子育てサロン (子育て支援情報の提供する施設)	11.1%	81.3%	7.6%	100.0%
⑪おやまっ子子育てナビ	31.7%	61.8%	6.5%	100.0%
⑫キッズランドおやま(小山駅西口「ロブレビル」内)	75.4%	21.7%	2.9%	100.0%

今後、利用したいと思うもの

今後、利用したいと思うものの「はい」では、「⑫キッズランドおやま（小山駅西口「ロブレビル」内）」が 85.8%と最も多く、次いで「②保健センターの情報・相談事業（乳幼児健診・相談・教室など）」が 54.3%、「⑤保育所や認定こども園・幼稚園の園庭等の開放」が 51.2%となっています。



項目(度数)	はい	いいえ	無回答	合計
①母親学級、家族学級(マタニティクラス)	404	873	128	1,405
②保健センターの情報・相談事業(乳幼児健診・相談・教室など)	763	519	123	1,405
③家庭教育に関する学級・講座	442	825	138	1,405
④教育相談センター・青少年相談室	359	898	148	1,405
⑤保育所や認定こども園・幼稚園の園庭等の開放	720	566	119	1,405
⑥地域子育て支援拠点・子育てひろば (身近な地域における相談や親同士の交流の場)	624	657	124	1,405
⑦児童センター	693	580	132	1,405
⑧ファミリーサポートセンター (会員制によるお子さんの一時預かり等の相互援助活動)	472	794	139	1,405
⑨市の家庭児童相談員・スクールソーシャルワーカー	335	919	151	1,405
⑩子育て支援相談室「ほほえみ」、外国人ふれあい子育てサロン (子育て支援情報の提供する施設)	388	881	136	1,405
⑪おやまっ子子育てナビ	662	617	126	1,405
⑫キッズランドおやま(小山駅西口「ロブレビル」内)	1,205	115	85	1,405
項目(比率)	はい	いいえ	無回答	合計
①母親学級、家族学級(マタニティクラス)	28.8%	62.1%	9.1%	100.0%
②保健センターの情報・相談事業(乳幼児健診・相談・教室など)	54.3%	36.9%	8.8%	100.0%
③家庭教育に関する学級・講座	31.5%	58.7%	9.8%	100.0%
④教育相談センター・青少年相談室	25.6%	63.9%	10.5%	100.0%
⑤保育所や認定こども園・幼稚園の園庭等の開放	51.2%	40.3%	8.5%	100.0%
⑥地域子育て支援拠点・子育てひろば (身近な地域における相談や親同士の交流の場)	44.4%	46.8%	8.8%	100.0%
⑦児童センター	49.3%	41.3%	9.4%	100.0%
⑧ファミリーサポートセンター (会員制によるお子さんの一時預かり等の相互援助活動)	33.6%	56.5%	9.9%	100.0%
⑨市の家庭児童相談員・スクールソーシャルワーカー	23.8%	65.4%	10.7%	100.0%
⑩子育て支援相談室「ほほえみ」、外国人ふれあい子育てサロン (子育て支援情報の提供する施設)	27.6%	62.7%	9.7%	100.0%
⑪おやまっ子子育てナビ	47.1%	43.9%	9.0%	100.0%
⑫キッズランドおやま(小山駅西口「ロブレビル」内)	85.8%	8.2%	6.0%	100.0%

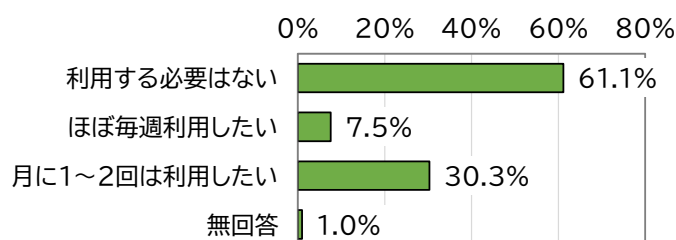
⑦宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問 17 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか(一時的な利用は除きます)。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください(数字は一桁に一字)。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。※教育・保育事業とは、認定こども園・幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

土曜日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望については、「利用する必要はない」が 61.1%、「月に1～2回は利用したい」が 30.3%、「ほぼ毎週利用したい」が 7.5%となっています。

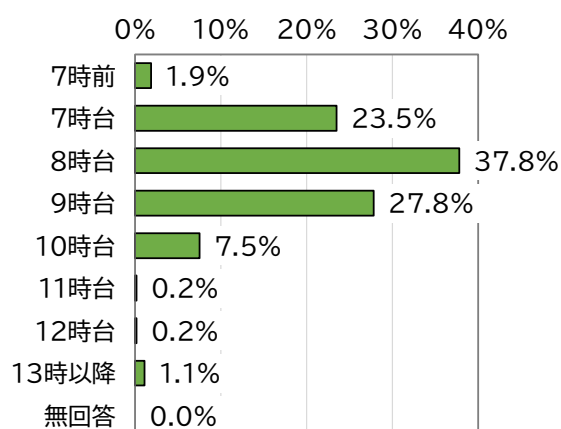
教育・保育事業の利用希望（土曜日）



項目	度数	比率
利用する必要はない	859	61.1%
ほぼ毎週利用したい	106	7.5%
月に1～2回は利用したい	426	30.3%
無回答	14	1.0%
合計	1,405	100.0%

事業の利用したい開始時間（土曜日）

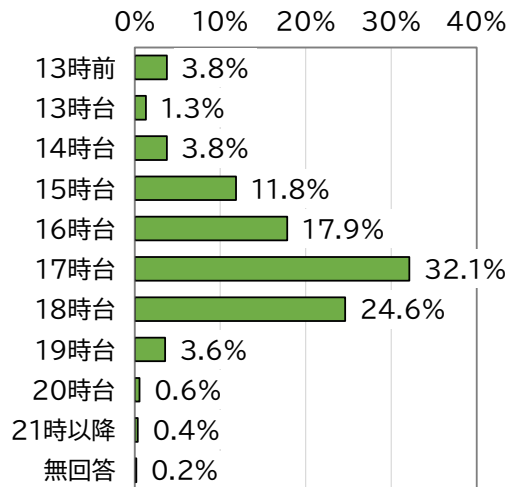
土曜日に、利用したい開始時間は、「8時台」が 37.8%、「9時台」が 27.8%、「7時台」が 23.5%となっています。



項目	度数	比率
7時前	10	1.9%
7時台	125	23.5%
8時台	201	37.8%
9時台	148	27.8%
10時台	40	7.5%
11時台	1	0.2%
12時台	1	0.2%
13時以降	6	1.1%
無回答	0	0.0%
回答者数	532	100.0%

事業の利用したい終了時間（土曜日）

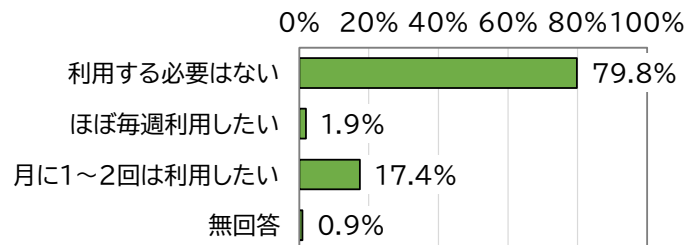
土曜日に、利用したい終了時間は、「17 時台」が 32.1%、「18 時台」が 24.6%、「16 時台」が 17.9%となっています。



項目	度数	比率
13時前	20	3.8%
13時台	7	1.3%
14時台	20	3.8%
15時台	63	11.8%
16時台	95	17.9%
17時台	171	32.1%
18時台	131	24.6%
19時台	19	3.6%
20時台	3	0.6%
21時以降	2	0.4%
無回答	1	0.2%
回答者数	532	100.0%

（２）日曜・祝日

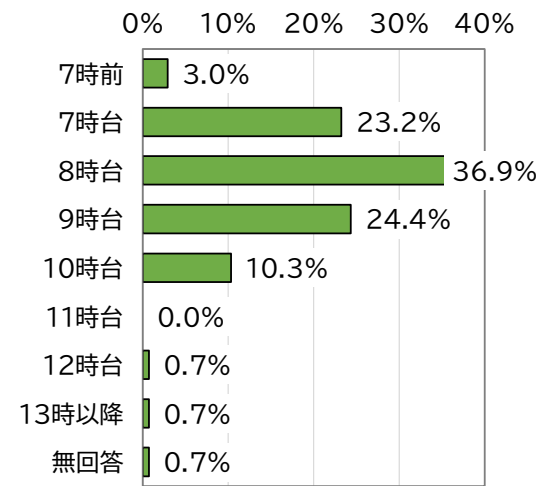
日曜・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望については、「利用する必要はない」が 79.8%、「月に 1 ～ 2 回は利用したい」が 17.4%、「ほぼ毎週利用したい」が 1.9%となっています。

教育・保育事業の利用希望（日曜・祝日）

項目	度数	比率
利用する必要はない	1,121	79.8%
ほぼ毎週利用したい	27	1.9%
月に1～2回は利用したい	244	17.4%
無回答	13	0.9%
合計	1,405	100.0%

事業の利用したい開始時間（日曜・祝日）

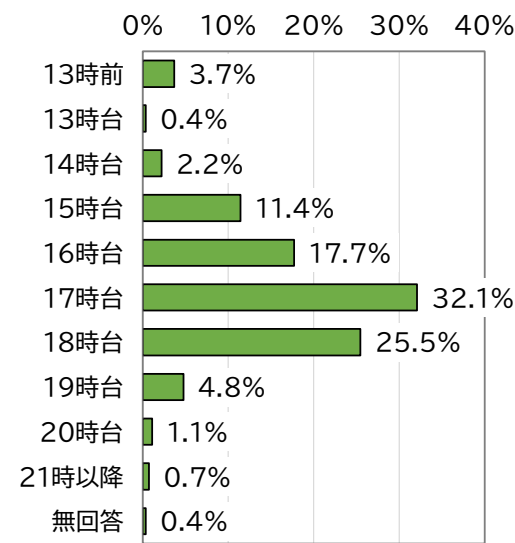
日曜・祝日に、利用したい開始時間は、「8 時台」が 36.9%、「9 時台」が 24.4%、「7 時台」が 23.2%となっています。



項目	度数	比率
7時前	8	3.0%
7時台	63	23.2%
8時台	100	36.9%
9時台	66	24.4%
10時台	28	10.3%
11時台	0	0.0%
12時台	2	0.7%
13時以降	2	0.7%
無回答	2	0.7%
回答者数	271	100.0%

事業の利用したい終了時間（日曜・祝日）

日曜・祝日に、利用したい終了時間は、「17 時台」が 32.1%、「18 時台」が 25.5%、「16 時台」が 17.7%となっています。

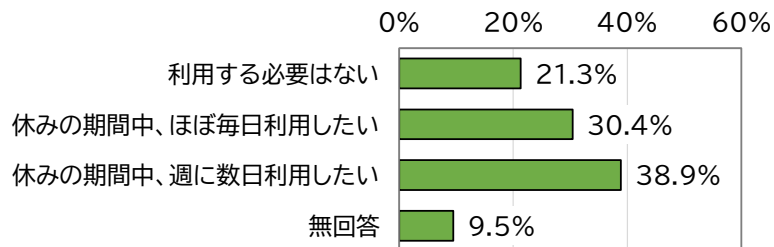


項目	度数	比率
13時前	10	3.7%
13時台	1	0.4%
14時台	6	2.2%
15時台	31	11.4%
16時台	48	17.7%
17時台	87	32.1%
18時台	69	25.5%
19時台	13	4.8%
20時台	3	1.1%
21時以降	2	0.7%
無回答	1	0.4%
回答者数	271	100.0%

問 18 認定こども園(1号)・「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休み期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください(数字は一枠に一字)。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

夏休み・冬休みなど長期の休み期間中の教育・保育事業の利用希望については、「休みの期間中、週に数日利用したい」が 38.9%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が 30.4%、「利用する必要はない」が 21.3%となっています。

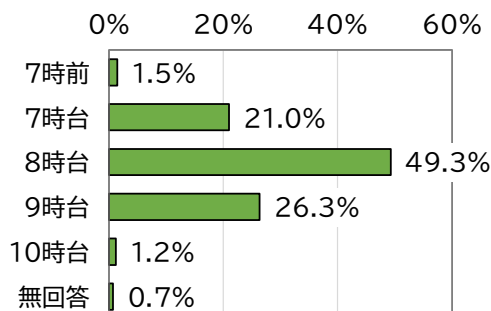
教育・保育事業の利用希望（長期休み期間中）



項目	度数	比率
利用する必要はない	126	21.3%
休みの期間中、ほぼ毎日利用したい	180	30.4%
休みの期間中、週に数日利用したい	230	38.9%
無回答	56	9.5%
回答者数	592	100.0%

事業の利用したい開始時間（長期休み期間中）

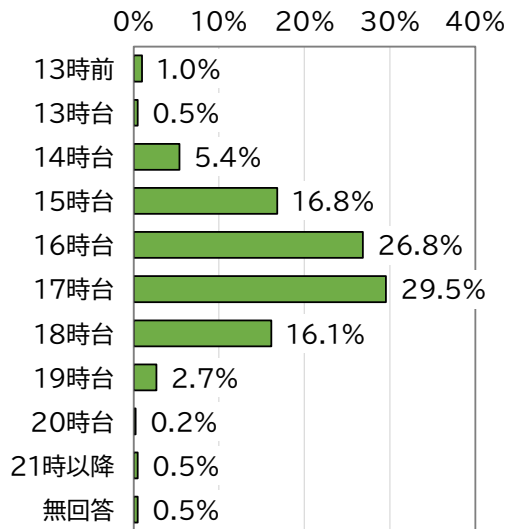
夏休み・冬休みなど長期の休み期間中に、利用したい開始時間は、「8時台」が 49.3%、「9時台」が 26.3%、「7時台」が 21.0%となっています。



項目	度数	比率
7時前	6	1.5%
7時台	86	21.0%
8時台	202	49.3%
9時台	108	26.3%
10時台	5	1.2%
無回答	3	0.7%
回答者数	410	100.0%

事業の利用したい終了時間（長期休み期間中）

夏休み・冬休みなど長期の休み期間中に、利用したい終了時間は、「17 時台」が 29.5%、「16 時台」が 26.8%、「15 時台」が 16.8%、「18 時台」が 16.1%となっています。



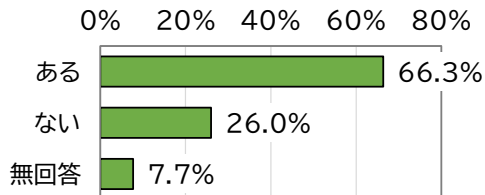
項目	度数	比率
13時前	4	1.0%
13時台	2	0.5%
14時台	22	5.4%
15時台	69	16.8%
16時台	110	26.8%
17時台	121	29.5%
18時台	66	16.1%
19時台	11	2.7%
20時台	1	0.2%
21時以降	2	0.5%
無回答	2	0.5%
回答者数	410	100.0%

⑧宛名のお子さんの病気の際の対応について(平日の教育・保育を利用する方のみ)

問 19 幼稚園や保育園などの「平日の定期的な教育・保育の事業」を利用している保護者の方にうかがいます。利用していらない方は、問 20 にお進みください。この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガなどの理由により利用しなかったことはありますか。

お子さんが病気やケガなどの理由により、幼稚園や保育園などの「平日の定期的な教育・保育の事業」を利用しなかったことはあるかでは、「ある」が 66.3%、「ない」が 26.0%となっています。

病気やケガで事業を利用しなかったこと



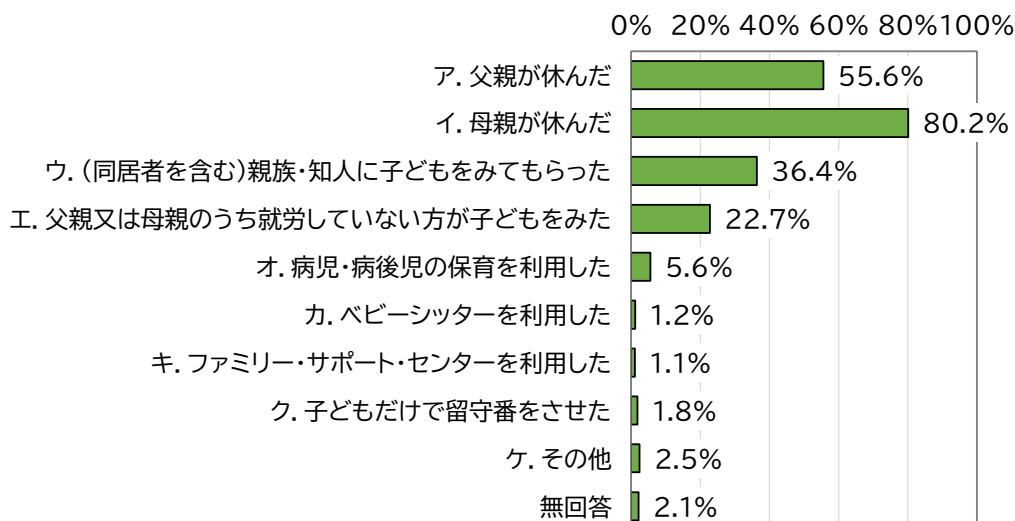
項目	度数	比率
ある	932	66.3%
ない	365	26.0%
無回答	108	7.7%
合計	1,405	100.0%

問 19 で「ある」を選択した方にうかがいます。

問 19-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてを選択し、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一桁に一字)。※「キ. ファミリー・サポート・センター」には「病児・緊急対応強化事業」による利用も含まれます。

お子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合の1年間に行った対処方法は、「イ. 母親が休んだ」が 80.2%と最も多く、次いで「ア. 父親が休んだ」が 55.6%、「ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」が 36.4%となっています。

病気やケガの際の対処方法



1 就学前児童保護者調査

項目	度数	比率
ア. 父親が休んだ	518	55.6%
イ. 母親が休んだ	747	80.2%
ウ. (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	339	36.4%
エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	212	22.7%
オ. 病児・病後児の保育を利用した	52	5.6%
カ. ベビーシッターを利用した	11	1.2%
キ. ファミリー・サポート・センターを利用した	10	1.1%
ク. 子どもだけで留守番をさせた	17	1.8%
ケ. その他	23	2.5%
無回答	20	2.1%
回答者数	932	

病気やケガの際の1年間の対処日数

1年間の対処日数は、「ア. 父親が休んだ」で、「1日～3日」が54.1%、「ウ. (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」で、「1日～3日」が44.0%、「イ. 母親が休んだ」で、「8日～10日」が29.3%となっています。

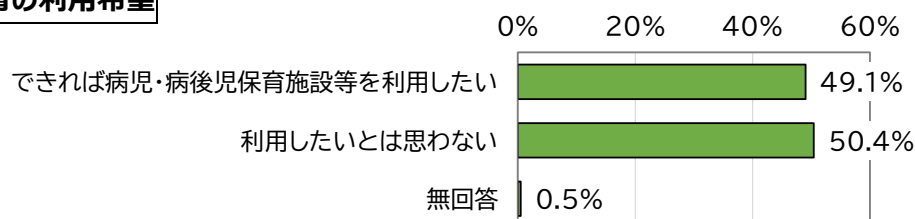
項目(度数)	ア. 父親が休んだ	イ. 母親が休んだ	ウ. (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	オ. 病児・病後児の保育を利用した	カ. ベビーシッターを利用した	キ. ファミリー・サポート・センターを利用した	ク. 子どもだけで留守番をさせた	ケ. その他
1日～3日	280	102	149	43	31	10	9	12	11
4日～7日	144	186	93	43	11	1	0	3	3
8日～10日	69	219	59	51	5	0	0	1	3
11日～20日	0	148	31	37	3	0	0	1	4
21日～30日	22	51	4	13	0	0	0	0	1
31日以上	1	41	3	25	2	0	1	0	1
無回答	2	0	0	0	0	0	0	0	0
回答者数	518	747	339	212	52	11	10	17	23
項目(比率)	ア. 父親が休んだ	イ. 母親が休んだ	ウ. (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	オ. 病児・病後児の保育を利用した	カ. ベビーシッターを利用した	キ. ファミリー・サポート・センターを利用した	ク. 子どもだけで留守番をさせた	ケ. その他
1日～3日	54.1%	13.7%	44.0%	20.3%	59.6%	90.9%	90.0%	70.6%	47.8%
4日～7日	27.8%	24.9%	27.4%	20.3%	21.2%	9.1%	0.0%	17.6%	13.0%
8日～10日	13.3%	29.3%	17.4%	24.1%	9.6%	0.0%	0.0%	5.9%	13.0%
11日～20日	0.0%	19.8%	9.1%	17.5%	5.8%	0.0%	0.0%	5.9%	17.4%
21日～30日	4.2%	6.8%	1.2%	6.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%
31日以上	0.2%	5.5%	0.9%	11.8%	3.8%	0.0%	10.0%	0.0%	4.3%
無回答	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
回答者数	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問 19-1 で「ア. 父親が休んだ」「イ. 母親が休んだ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 19-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つを選択し、日数についても口内に数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったかでは、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 49.1%、「利用したいとは思わない」が 50.4%となっています。

病児保育の利用希望

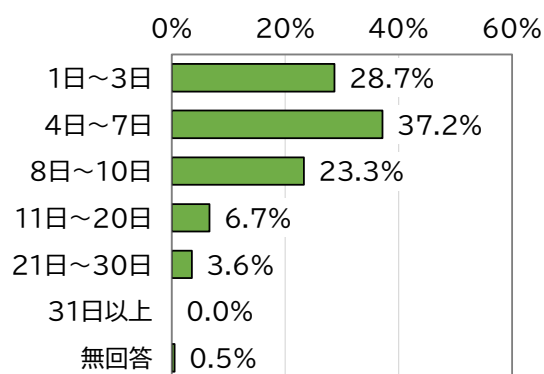


項目	度数	比率
できれば病児・病後児保育施設等を利用したい	390	49.1%
利用したいとは思わない	401	50.4%
無回答	4	0.5%
回答者数	795	100.0%

できれば病児・病後児保育施設等を利用したい

病児保育の利用したい日数

利用したい日数は、「4 日～7 日」が 37.2%と最も多く、次いで「1 日～3 日」が 28.7%、「8～10 日」が 23.3%となっています。



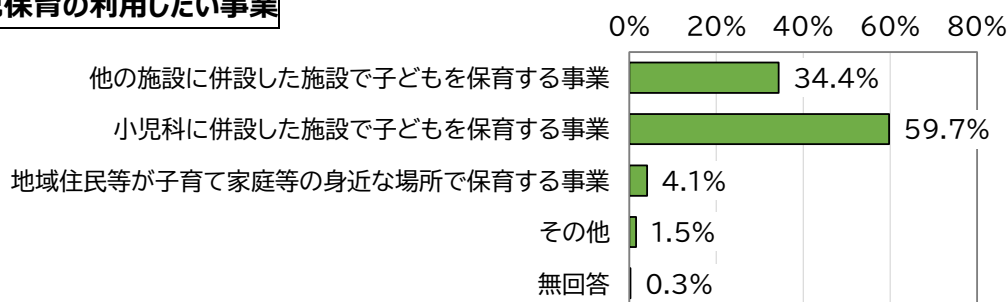
項目	度数	比率
1日～3日	112	28.7%
4日～7日	145	37.2%
8日～10日	91	23.3%
11日～20日	26	6.7%
21日～30日	14	3.6%
31日以上	0	0.0%
無回答	2	0.5%
回答者数	390	100.0%

問 19-2 で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」を選択した方にうかがいます。

問 19-3 子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか、当てはまる番号1つを選択してください。

子どもを預ける場合、望ましいと思う事業形態では、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 59.7%と最も多く、次いで「他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」が 34.4%となっています。

病児保育の利用したい事業



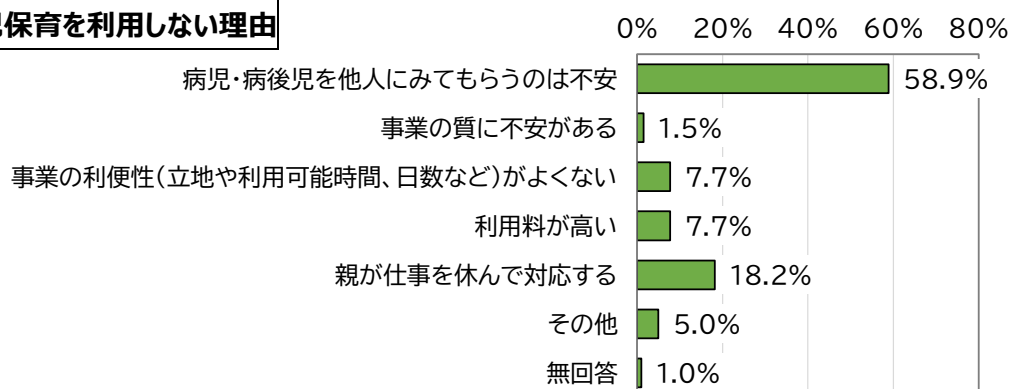
項目	度数	比率
他の施設(例:幼稚園・保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業	134	34.4%
小児科に併設した施設で子どもを保育する事業	233	59.7%
地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)	16	4.1%
その他	6	1.5%
無回答	1	0.3%
回答者数	390	100.0%

問 19-2 で「利用したいとは思わない」を選択した方にうかがいます。

問 19-4 そう思われる理由について当てはまる番号すべてを選択してください。

利用したいとは思わない理由では、「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が 58.9%と最も多く、次いで「親が仕事を休んで対応する」が 18.2%となっています。

病児保育を利用しない理由



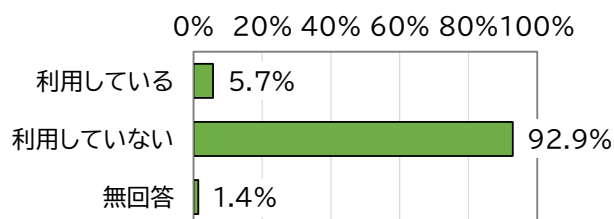
項目	度数	比率
病児・病後児を他人にみてもらうのは不安	236	58.9%
事業の質に不安がある	6	1.5%
事業の利便性(立地や利用可能時間、日数など)がよくない	31	7.7%
利用料が高い	31	7.7%
親が仕事を休んで対応する	73	18.2%
その他	20	5.0%
無回答	4	1.0%
回答者数	401	

⑨宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 20 宛名のお子さんについて、不定期(親の通院、就労等)で利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてを選択し、一年間の利用日数(おおよそ)も口内に数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。

不定期(親の通院、就労等)で利用している事業はあるかでは、「利用している」が 5.7%、「利用していない」が 92.9%となっています。

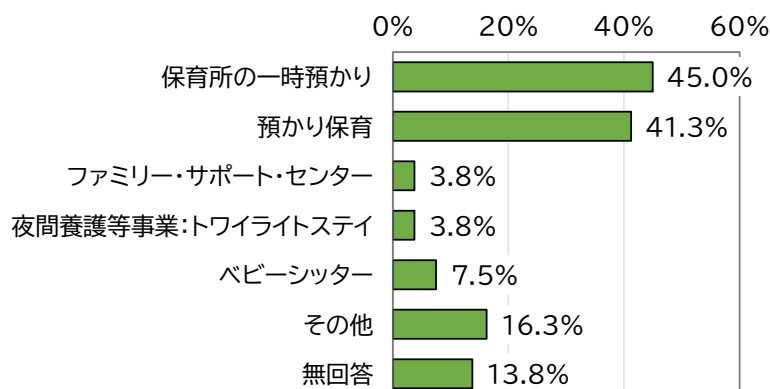
事業の不定期利用の有無



項目	度数	比率
利用している	80	5.7%
利用していない	1,305	92.9%
無回答	20	1.4%
合計	1,405	100.0%

利用している事業

利用している事業では、「保育所の一時預かり」が 45.0%と最も多く、次いで「預かり保育(認定こども園・幼稚園)」が 41.3%となっています。



項目	度数	比率
保育所の一時預かり	36	45.0%
預かり保育(認定こども園・幼稚園)	33	41.3%
ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)	3	3.8%
夜間養護等事業:トワイライトステイ(児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業)	3	3.8%
ベビーシッター	6	7.5%
その他	13	16.3%
無回答	11	13.8%
回答者数	80	

事業の1年間の利用日数

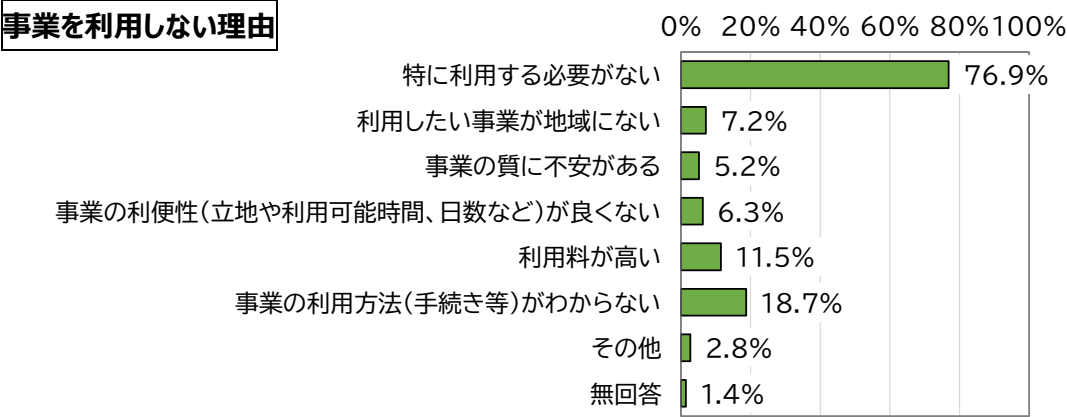
利用日数は、「保育所の一時預かり」では、「1日～3日」が38.9%、「預かり保育（認定こども園・幼稚園）」では、「4日～7日」が27.3%となっています。

項目(度数)	保育所の一時預かり	預かり保育 (認定こども園・幼稚園)	ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)	夜間養護等事業	ベビーシッター	その他
1日～3日	14	5	3	3	3	4
4日～7日	12	9	0	0	1	4
8日～10日	5	6	0	0	1	3
11日～20日	2	7	0	0	0	1
21日～30日	1	2	0	0	0	1
31日以上	2	4	0	0	1	0
無回答	0	0	0	0	0	0
回答者数	36	33	3	3	6	13
項目(比率)	保育所の一時預かり	預かり保育 (認定こども園・幼稚園)	ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)	夜間養護等事業	ベビーシッター	その他
1日～3日	38.9%	15.2%	100.0%	100.0%	50.0%	30.8%
4日～7日	33.3%	27.3%	0.0%	0.0%	16.7%	30.8%
8日～10日	13.9%	18.2%	0.0%	0.0%	16.7%	23.1%
11日～20日	5.6%	21.2%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%
21日～30日	2.8%	6.1%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%
31日以上	5.6%	12.1%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
回答者数	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問 20 で「利用していない」を選択した方にうかがいます。

問 20-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてを選択してください。

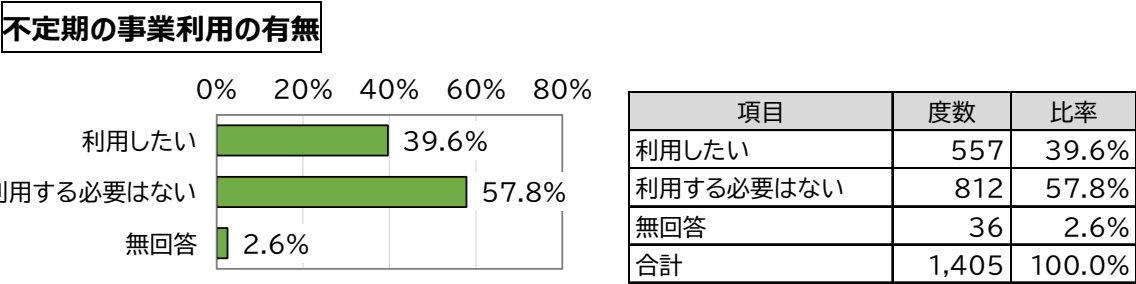
現在利用していない理由は、「特に利用する必要がない」が 76.9%と最も多く、次いで「事業の利用方法（手続き等）がわからない」が 18.7%となっています。



項目	度数	比率
特に利用する必要がない	1,004	76.9%
利用したい事業が地域にない	94	7.2%
事業の質に不安がある	68	5.2%
事業の利便性(立地や利用可能時間、日数など)が良くない	82	6.3%
利用料が高い	150	11.5%
事業の利用方法(手続き等)がわからない	244	18.7%
その他	36	2.8%
無回答	18	1.4%
回答者数	1,305	

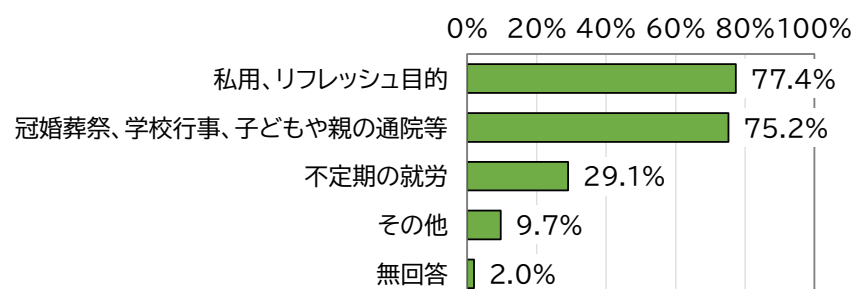
問 21 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日ぐらい事業を利用する必要があると思われますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてを選択し、必要な日数をご記入ください(利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字)。なお事業の利用に当たっては一定の利用料がかかります。

私用、親の通院、不定期の就労等の目的で利用する必要があるかは、「利用したい」が 39.6%、「利用する必要はない」が 57.8%となっています。



事業を利用したい理由

利用したい理由は、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が 77.4%と最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が 75.2%となっています。



項目	度数	比率
私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的	431	77.4%
冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等	419	75.2%
不定期の就労	162	29.1%
その他	54	9.7%
無回答	11	2.0%
回答者数	557	

事業を利用したい日数

利用したい日数は、「年間利用日数」では、「11 日～20 日」が最も多くなっています。

また、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」では、「4 日～7 日」が 37.9%、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」では、「4 日～7 日」が 30.9%となっています。

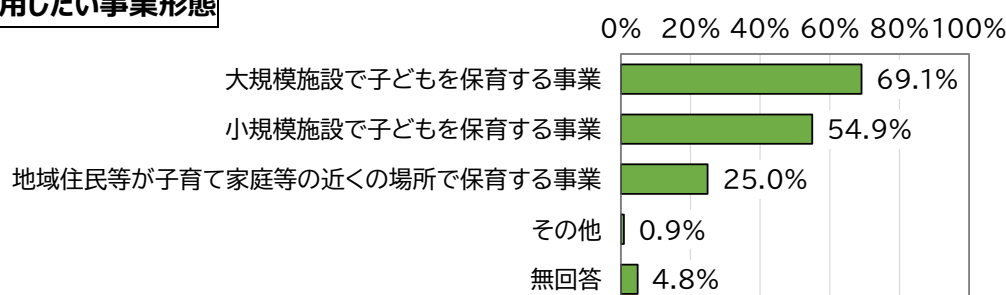
項目(度数)	年間 利用日数	私用(買物、 子ども(兄 弟姉妹を 含む)や親 の習い事 等)、リフ レッシュ 目的	冠婚葬祭、 学校行事、 子ども(兄 弟姉妹を 含む)や親 の通院等	不定期の 就労	その他
1日～3日	60	114	143	35	14
4日～7日	106	133	159	40	19
8日～10日	105	58	0	35	13
11日～20日	142	91	101	22	3
21日～30日	57	17	7	8	1
31日以上	76	18	9	22	4
無回答	11	0	0	0	0
回答者数	557	431	419	162	54
項目(比率)	年間 利用日数	私用(買物、 子ども(兄 弟姉妹を 含む)や親 の習い事 等)、リフ レッシュ 目的	冠婚葬祭、 学校行事、 子ども(兄 弟姉妹を 含む)や親 の通院等	不定期の 就労	その他
1日～3日	10.8%	26.5%	34.1%	21.6%	25.9%
4日～7日	19.0%	30.9%	37.9%	24.7%	35.2%
8日～10日	18.9%	13.5%	0.0%	21.6%	24.1%
11日～20日	25.5%	21.1%	24.1%	13.6%	5.6%
21日～30日	10.2%	3.9%	1.7%	4.9%	1.9%
31日以上	13.6%	4.2%	2.1%	13.6%	7.4%
無回答	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
回答者数	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問 21 で、「利用したい」を選択した方にうかがいます。

問 21-1 問 21 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われるか。当てはまる番号すべてを選択してください。

お子さんを預ける場合の望ましい事業形態は、「大規模施設で子どもを保育する事業（例：保育所・認定こども園等）」が 69.1%、「小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域子育て支援拠点等）」が 54.9%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）」が 25.0%となっています。

利用したい事業形態

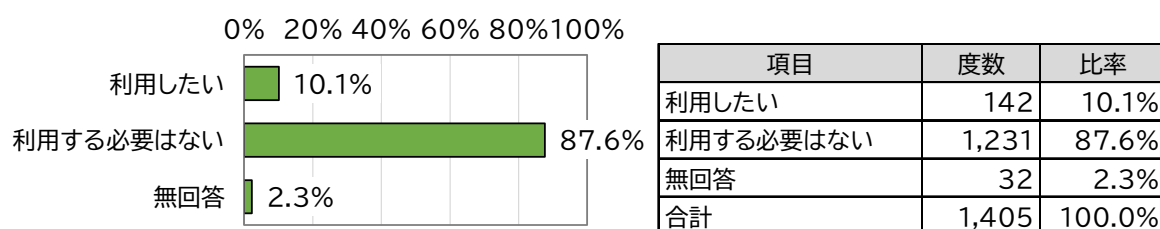


項目	度数	比率
大規模施設で子どもを保育する事業(例:保育所・認定こども園等)	385	69.1%
小規模施設で子どもを保育する事業(例:地域子育て支援拠点等)	306	54.9%
地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)	139	25.0%
その他	5	0.9%
無回答	27	4.8%
回答者数	557	

問 22 宛名のお子さんについて、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族(兄弟姉妹含む)の育児疲れや育児不安、病気など)により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業(ショートステイ)(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)の利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてを選択し、必要な泊数をご記入ください(利用したい泊数の合計と、目的別の内訳の泊数を□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)。なお事業の利用に当たっては、一定の利用料がかかります。

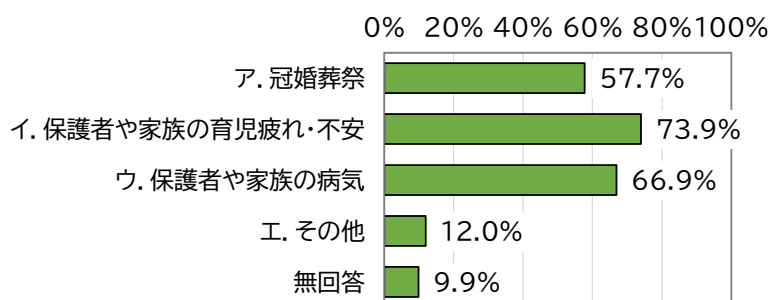
保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族(兄弟姉妹含む)の育児疲れや育児不安、病気など)により、泊りがけで家族以外に預ける必要があるかは、「利用したい」が 10.1%、「利用する必要はない」が 87.6%となっています。

利用したい事業形態



利用したい預ける理由

預ける理由では、「イ. 保護者や家族の育児疲れ・不安」が 73.9%と最も多く、次いで「ウ. 保護者や家族の病気」が 66.9%、「ア. 冠婚葬祭」が 57.7%となっています。



項目	度数	比率
ア. 冠婚葬祭	82	57.7%
イ. 保護者や家族の育児疲れ・不安	105	73.9%
ウ. 保護者や家族の病気	95	66.9%
エ. その他	17	12.0%
無回答	14	9.9%
回答者数	142	

事業に預けたい泊数と理由

預けたい泊数は、「年間利用日数」では、「4泊～7泊」が 25.4%と最も多くなっています。また、「ア. 冠婚葬祭」の「1泊～3泊」が 82.9%となっています。

項目(度数)	年間 利用泊数	ア. 冠婚葬 祭	イ. 保護者 や家族の 育児疲れ・ 不安	ウ. 保護者 や家族の 病気	エ. その他
1泊～3泊	33	68	61	55	6
4泊～7泊	36	12	32	31	7
8泊～10泊	25	2	8	6	4
11泊～20泊	29	0	2	3	0
21泊～30泊	2	0	2	0	0
31泊以上	3	0	0	0	0
無回答	14	0	0	0	0
回答者数	142	82	105	95	17
項目(比率)	年間 利用泊数	ア. 冠婚葬 祭	イ. 保護者 や家族の 育児疲れ・ 不安	ウ. 保護者 や家族の 病気	エ. その他
1泊～3泊	23.2%	82.9%	58.1%	57.9%	35.3%
4泊～7泊	25.4%	14.6%	30.5%	32.6%	41.2%
8泊～10泊	17.6%	2.4%	7.6%	6.3%	23.5%
11泊～20泊	20.4%	0.0%	1.9%	3.2%	0.0%
21泊～30泊	1.4%	0.0%	1.9%	0.0%	0.0%
31泊以上	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
回答者数	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

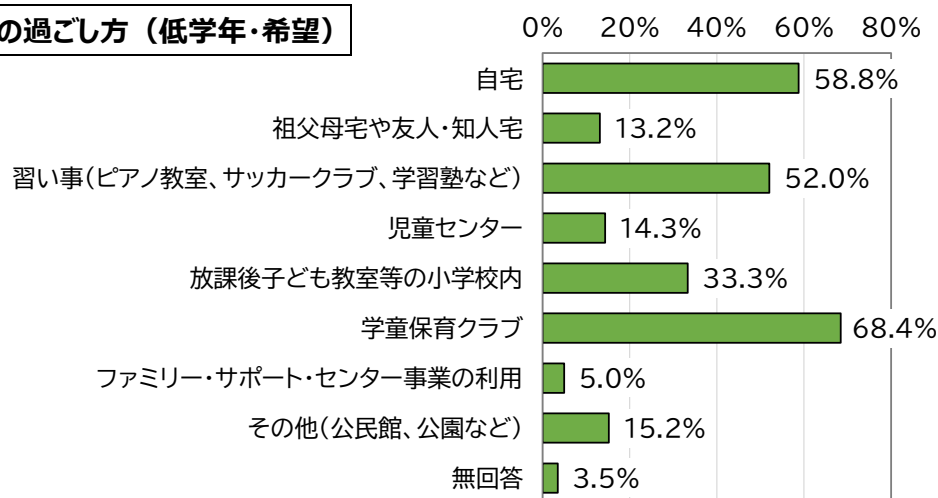
⑩宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方について

5歳以上の方

問 23 宛名のお子さんについて、小学校低学年(1～3年生)のうちは、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてを選択し、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後子ども教室等小学校内」、「学童保育クラブ」の場合には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。時間は必ず(例)18時のように24時間制でご記入ください(数字は一桁に一字)。

小学校低学年(1～3年生)のうちの放課後(平日の小学校終了後)の時間の過ごし方については、「学童保育クラブ」が68.4%と最も多く、次いで「自宅」が58.8%、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が52.0%となっています。

放課後の過ごし方(低学年・希望)



項目	度数	比率
自宅	201	58.8%
祖父母宅や友人・知人宅	45	13.2%
習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	178	52.0%
児童センター	49	14.3%
放課後子ども教室※1等の小学校内	114	33.3%
学童保育クラブ※2	234	68.4%
ファミリー・サポート・センター事業※3の利用	17	5.0%
その他(公民館、公園など)	52	15.2%
無回答	12	3.5%
回答者数	342	

※回答者数は、5歳以上の回答のみ

- ※1:「放課後子ども教室」:地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取り組みです。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。
- ※2:「学童保育クラブ」:保護者が就労等により昼間家庭にいない場合(放課後や夏休み等)などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。
- ※3:「ファミリー・サポート・センター事業」:育児の援助を行う人と育児の援助を必要とする人が会員の登録をし、お子さんの一時預かりや保育施設の送迎等の相互援助活動を行う事業です。

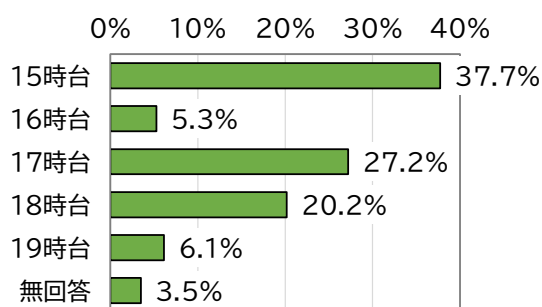
希望する利用日数（低学年）

希望する日数では、「学童保育クラブ」の「5日」が72.2%、「自宅」の「5日」が62.7%となっています。

項目(度数)	自宅	祖父母宅 や友人・知 人宅	習い事(ピ アノ教室、 サッカーク ラブ、学習 塾など)	児童セン ター	放課後子 ども教室	学童保育 クラブ	ファミ リー・サ ポート・セ ンター事業 の利用	その他(公 民館、公園 など)
1日	15	19	77	9	30	1	5	14
2日	24	13	70	7	22	9	3	21
3日	21	3	26	4	21	37	5	10
4日	15	1	4	5	3	18	0	0
5日	126	9	1	24	38	169	4	7
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
回答者数	201	45	178	49	114	234	17	52
項目(比率)	自宅	祖父母宅 や友人・知 人宅	習い事(ピ アノ教室、 サッカーク ラブ、学習 塾など)	児童セン ター	放課後子 ども教室	学童保育 クラブ	ファミ リー・サ ポート・セ ンター事業 の利用	その他(公 民館、公園 など)
1日	7.5%	42.2%	43.3%	18.4%	26.3%	0.4%	29.4%	26.9%
2日	11.9%	28.9%	39.3%	14.3%	19.3%	3.8%	17.6%	40.4%
3日	10.4%	6.7%	14.6%	8.2%	18.4%	15.8%	29.4%	19.2%
4日	7.5%	2.2%	2.2%	10.2%	2.6%	7.7%	0.0%	0.0%
5日	62.7%	20.0%	0.6%	49.0%	33.3%	72.2%	23.5%	13.5%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
回答者数	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

希望する終了時間（放課後子ども教室・低学年）

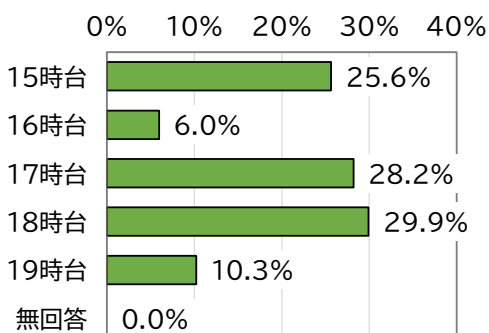
希望する下校時から終了時間では、「15 時台」が 37.7%と最も多く、次いで「17 時台」が 27.2%、「18 時台」が 20.2%となっています。



項目	度数	比率
15時台	43	37.7%
16時台	6	5.3%
17時台	31	27.2%
18時台	23	20.2%
19時台	7	6.1%
無回答	4	3.5%
回答者数	114	100.0%

希望する終了時間（学童保育クラブ・低学年）

希望する下校時から終了時間では、「18 時台」が 29.9%と最も多く、次いで「17 時台」が 28.2%、「15 時台」が 25.6%となっています。

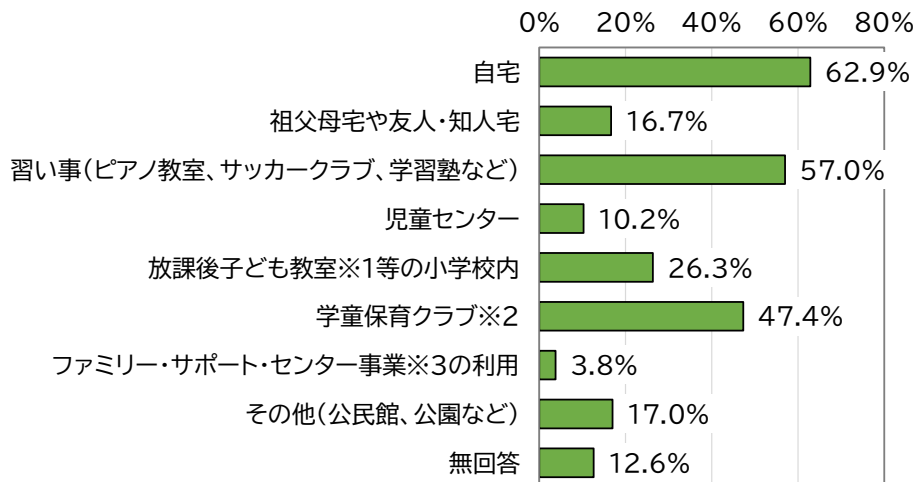


項目	度数	比率
15時台	60	25.6%
16時台	14	6.0%
17時台	66	28.2%
18時台	70	29.9%
19時台	24	10.3%
無回答	0	0.0%
回答者数	234	100.0%

問 24 宛名のお子さんについて、小学校高学年(4～6年生)のうちは、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてを選択し、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後子ども教室等小学校内」、「学童保育クラブ」の場合には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。時間は必ず(例)18時のように24時間制でご記入ください(数字は一枠に一字)。※だいが先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

小学校高学年(4～6年生)のうちの放課後(平日の小学校終了後)の時間の過ごし方については、「自宅」が62.9%と最も多く、次いで、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が57.0%、「学童保育クラブ」が47.4%となっています。

放課後の過ごし方(高学年・希望)



項目	度数	比率
自宅	215	62.9%
祖父母宅や友人・知人宅	57	16.7%
習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	195	57.0%
児童センター	35	10.2%
放課後子ども教室等の小学校内	90	26.3%
学童保育クラブ	162	47.4%
ファミリー・サポート・センター事業※3の利用	13	3.8%
その他(公民館、公園など)	58	17.0%
無回答	43	12.6%
回答者数	342	

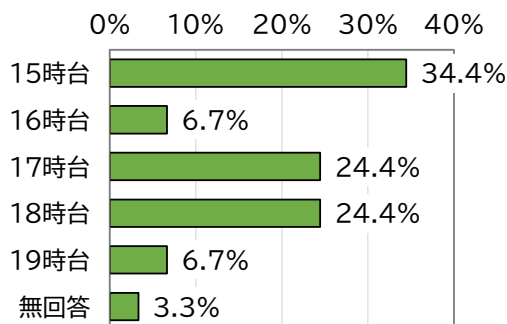
希望する利用日数（高学年）

希望する日数では、「学童保育クラブ」の「5日」が 60.5%、「自宅」の「5日」が 53.5%となっています。

項目(度数)	自宅	祖父母宅 や友人・知 人宅	習い事(ピ アノ教室、 サッカーク ラブ、学習 塾など)	児童セン ター	放課後子 ども教室	学童保育 クラブ	ファミ リー・サ ポート・セ ンター事業 の利用	その他(公 民館、公園 など)
1日	17	19	66	10	24	6	6	15
2日	29	19	94	14	20	19	4	23
3日	38	8	26	2	17	28	2	12
4日	16	2	4	1	4	11	1	0
5日	115	9	5	8	25	98	0	8
回答者数	215	57	195	35	90	162	13	58
項目(比率)	自宅	祖父母宅 や友人・知 人宅	習い事(ピ アノ教室、 サッカーク ラブ、学習 塾など)	児童セン ター	放課後子 ども教室	学童保育 クラブ	ファミ リー・サ ポート・セ ンター事業 の利用	その他(公 民館、公園 など)
1日	7.9%	33.3%	33.8%	28.6%	26.7%	3.7%	46.2%	25.9%
2日	13.5%	33.3%	48.2%	40.0%	22.2%	11.7%	30.8%	39.7%
3日	17.7%	14.0%	13.3%	5.7%	18.9%	17.3%	15.4%	20.7%
4日	7.4%	3.5%	2.1%	2.9%	4.4%	6.8%	7.7%	0.0%
5日	53.5%	15.8%	2.6%	22.9%	27.8%	60.5%	0.0%	13.8%
回答者数	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

希望する終了時間（放課後子ども教室等・高学年）

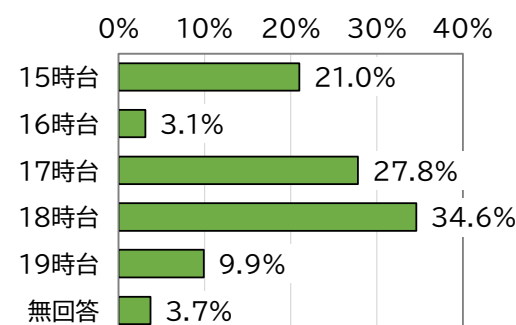
希望する下校時から終了時間では、「15 時台」が 34.4%と最も多く、次いで「17 時台」「18 時台」がともに 24.4%となっています。



項目	度数	比率
15時台	31	34.4%
16時台	6	6.7%
17時台	22	24.4%
18時台	22	24.4%
19時台	6	6.7%
無回答	3	3.3%
回答者数	90	100.0%

希望する終了時間（学童保育クラブ・高学年）

希望する下校時から終了時間では、「18 時台」が 34.6%と最も多く、次いで「17 時台」が 27.8%、「15 時台」が 21.0%となっています。



項目	度数	比率
15時台	34	21.0%
16時台	5	3.1%
17時台	45	27.8%
18時台	56	34.6%
19時台	16	9.9%
無回答	6	3.7%
回答者数	162	100.0%

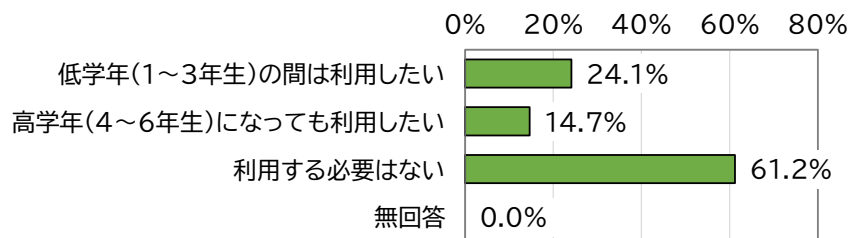
問 23 または問 24 で、「学童保育クラブ」を回答した方にうかがいます。

問 25 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育クラブの利用希望はありますか。(1)(2)それぞれについて、当てはまる番号 1 つを選んでください。また利用したい時間帯を、□内に(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください(数字は一枠に一字)。

(1) 土曜日

土曜日に、学童保育クラブの利用希望については、「低学年（１～３年生）の間は利用したい」が 24.1%、「高学年（４～６年生）になっても利用したい」が 14.7%、「利用する必要はない」が 61.2%となっています。

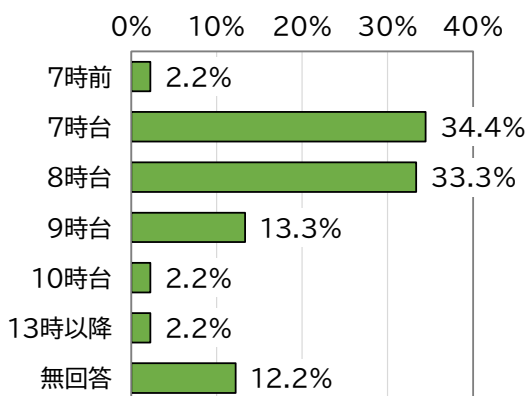
学童保育クラブの利用希望（土曜日）



項目	度数	比率
低学年(1～3年生)の間は利用したい	56	24.1%
高学年(4～6年生)になっても利用したい	34	14.7%
利用する必要はない	142	61.2%
無回答	0	0.0%
回答者数	232	100.0%

希望する開始時間（土曜日）

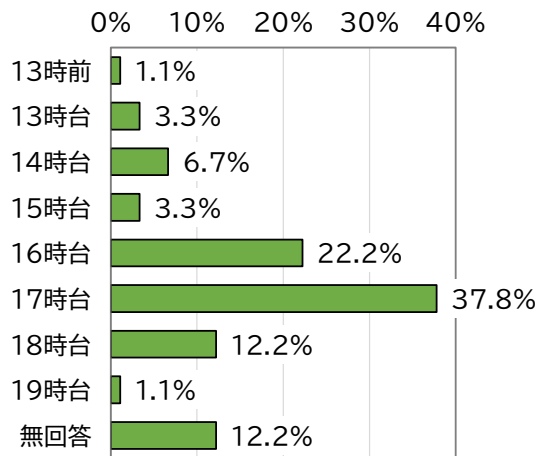
希望する開始時間では、「7 時台」が 34.4%と最も多く、次いで「8 時台」が 33.3%となっています。



項目	度数	比率
7時前	2	2.2%
7時台	31	34.4%
8時台	30	33.3%
9時台	12	13.3%
10時台	2	2.2%
13時以降	2	2.2%
無回答	11	12.2%
回答者数	90	100.0%

希望する終了時間（土曜日）

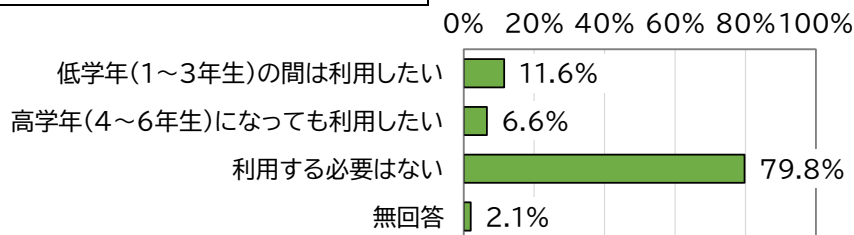
希望する終了時間では、「17 時台」が 37.8%と最も多く、次いで「16 時台」が 22.2%となっています。



項目	度数	比率
13時前	1	1.1%
13時台	3	3.3%
14時台	6	6.7%
15時台	3	3.3%
16時台	20	22.2%
17時台	34	37.8%
18時台	11	12.2%
19時台	1	1.1%
無回答	11	12.2%
回答者数	90	100.0%

（２）日曜日・祝日

日曜日・祝日に、学童保育クラブの利用希望については、「低学年（１～３年生）の間は利用したい」が 11.6%、「高学年（４～６年生）になっても利用したい」が 6.6%、「利用する必要はない」が 79.8%となっています。

学童保育クラブの利用希望（日曜日・祝日）

項目	度数	比率
低学年(1～3年生)の間は利用したい	28	11.6%
高学年(4～6年生)になっても利用したい	16	6.6%
利用する必要はない	193	79.8%
無回答	5	2.1%
回答者数	242	100.0%

希望する開始・終了時間（日曜日・祝日）

希望する開始時間では、「7 時台」「8 時台」がともに 34.1%となっています。

希望する終了時間では、「18 時台」が 43.2%、「17 時台」が 29.5%となっています。

【開始時間】

項目	度数	比率
7時前	3	6.8%
7時台	15	34.1%
8時台	15	34.1%
9時台	5	11.4%
無回答	5	11.4%
回答者数	44	100.0%

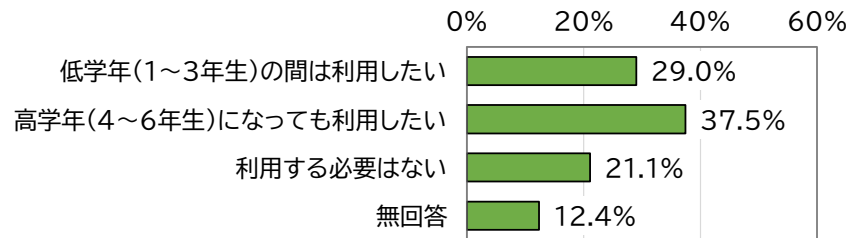
【終了時間】

項目	度数	比率
13時前	1	2.3%
14時台	1	2.3%
15時台	1	2.3%
16時台	1	2.3%
17時台	13	29.5%
18時台	19	43.2%
19時台	3	6.8%
無回答	5	11.4%
回答者数	44	100.0%

問 26 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休み期間中の学童保育クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号 1 つを選んでください。また利用したい時間帯を、口内に(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください(数字は一桁に一字)。

夏休み・冬休みなどの長期の休み期間中の学童保育クラブの利用希望については、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が29.0%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が37.5%、「利用する必要はない」が21.1%となっています。

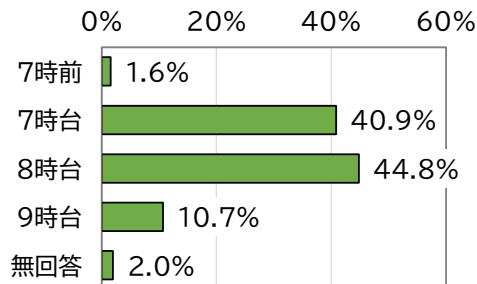
学童保育クラブの利用希望（長期の休み期間中）



項目	度数	比率
低学年(1～3年生)の間は利用したい	110	29.0%
高学年(4～6年生)になっても利用したい	142	37.5%
利用する必要はない	80	21.1%
無回答	47	12.4%
回答者数	379	100.0%

希望する開始時間（長期の休み期間中）

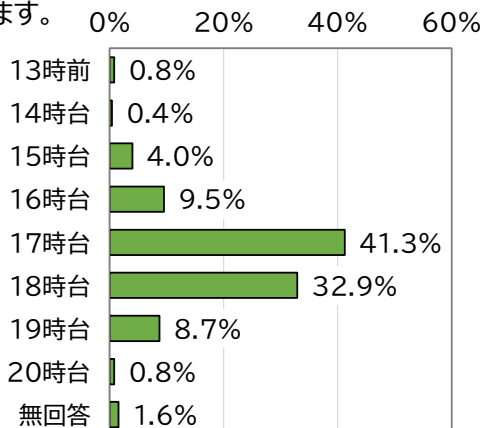
希望する開始時間では、「8 時台」が44.8%と最も多く、次いで「7 時台」が40.9%となっています。



項目	度数	比率
7時前	4	1.6%
7時台	103	40.9%
8時台	113	44.8%
9時台	27	10.7%
無回答	5	2.0%
回答者数	252	100.0%

希望する終了時間（長期の休み期間中）

希望する終了時間では、「17 時台」が41.3%と最も多く、次いで「18 時台」が32.9%となっています。



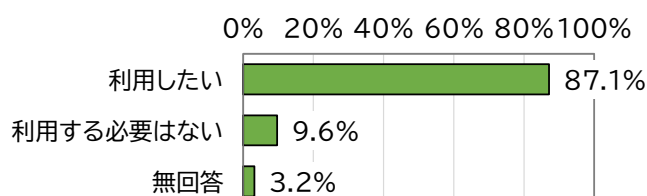
項目	度数	比率
13時前	2	0.8%
14時台	1	0.4%
15時台	10	4.0%
16時台	24	9.5%
17時台	104	41.3%
18時台	83	32.9%
19時台	22	8.7%
20時台	2	0.8%
無回答	4	1.6%
回答者数	252	100.0%

問 27 宛名のお子さんについて、保護者の就労している、就労していないに関わらず、児童が放課後等に大人の目に見守られて安全に過ごせる居場所が小学校にあったら、利用したいですか。それぞれについて、当てはまる番号 1 つを選んでください。また、利用したい場合は、希望する週当たり日数、利用したい時間帯を、□内に(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください(数字は一枠に一字)。

(1) 平日(月曜日から金曜日)

平日の利用の有無は、「利用したい」が 87.1%、「利用する必要はない」が 9.6%となっています。

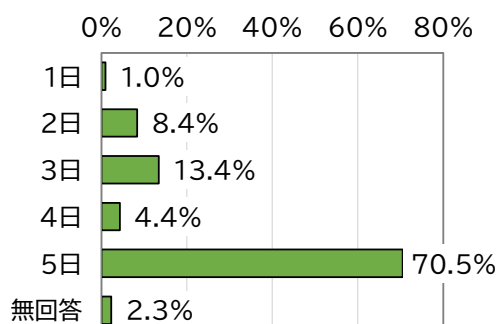
小学校の居場所利用の有無(平日の放課後)



項目	度数	比率
利用したい	298	87.1%
利用する必要はない	33	9.6%
無回答	11	3.2%
回答者数	342	100.0%

希望する利用日数(平日の放課後)

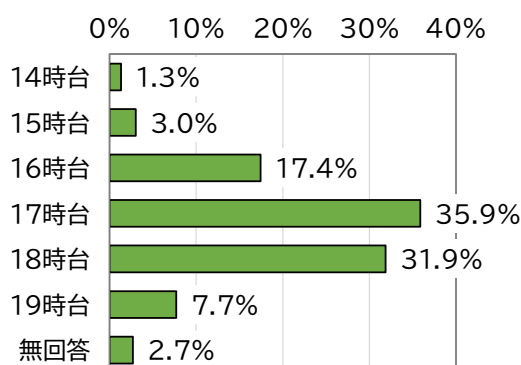
平日の希望する利用日数は、「5日」が 70.5%と最も多くなっています。



項目	度数	比率
1日	3	1.0%
2日	25	8.4%
3日	40	13.4%
4日	13	4.4%
5日	210	70.5%
無回答	7	2.3%
回答者数	298	100.0%

希望する終了時間(平日の放課後)

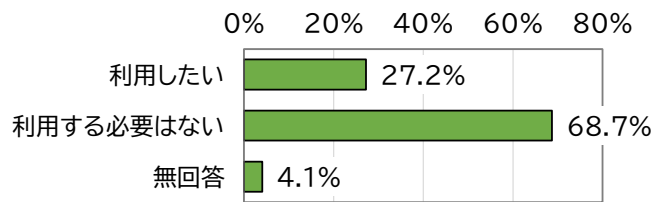
平日の希望する下校時から終了時間は、「17時台」が 35.9%と最も多く、次いで「18時台」が 31.9%となっています。



項目	度数	比率
14時台	4	1.3%
15時台	9	3.0%
16時台	52	17.4%
17時台	107	35.9%
18時台	95	31.9%
19時台	23	7.7%
無回答	8	2.7%
回答者数	298	100.0%

(2) 土曜日

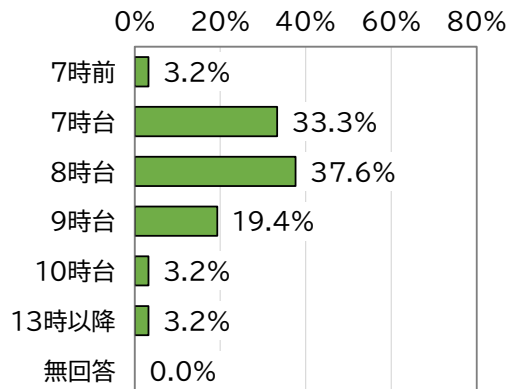
土曜日の利用の有無は、「利用したい」が 27.2%、「利用する必要はない」が 68.7%となっています。

小学校の居場所利用の有無（土曜日）

項目	度数	比率
利用したい	93	27.2%
利用する必要はない	235	68.7%
無回答	14	4.1%
回答者数	342	100.0%

希望する開始時間（土曜日）

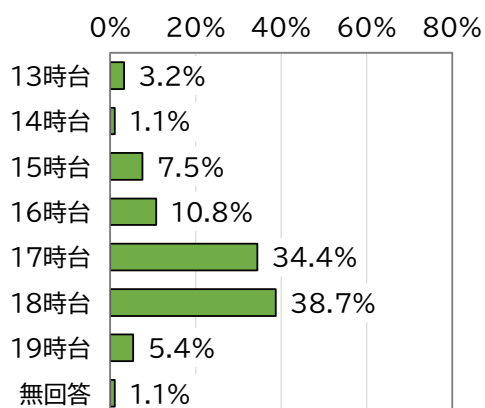
土曜日の希望する開始時間は、「8 時台」が 37.6%と最も多く、次いで「7 時台」が 33.3%となっています。



項目	度数	比率
7時前	3	3.2%
7時台	31	33.3%
8時台	35	37.6%
9時台	18	19.4%
10時台	3	3.2%
13時以降	3	3.2%
無回答	0	0.0%
回答者数	93	100.0%

希望する終了時間（土曜日）

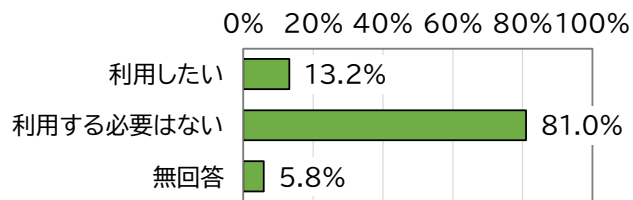
土曜日の希望する終了時間は、「18 時台」が 38.7%と最も多く、次いで「17 時台」が 34.4%となっています。



項目	度数	比率
13時台	3	3.2%
14時台	1	1.1%
15時台	7	7.5%
16時台	10	10.8%
17時台	32	34.4%
18時台	36	38.7%
19時台	5	5.4%
無回答	1	1.1%
回答者数	93	100.0%

(3) 日曜日・祝日

日曜日・祝日の利用の有無は、「利用したい」が13.2%、「利用する必要はない」が81.0%となっています。

小学校の居場所利用の有無（日曜日・祝日）

項目	度数	比率
利用したい	45	13.2%
利用する必要はない	277	81.0%
無回答	20	5.8%
回答者数	342	100.0%

希望する開始時間（日曜日・祝日）

日曜日・祝日の希望する開始時間は、「8時台」が40.0%、「7時台」が31.1%となっています。

項目	度数	比率
7時前	2	4.4%
7時台	14	31.1%
8時台	18	40.0%
9時台	8	17.8%
10時台	1	2.2%
13時以降	2	4.4%
回答者数	45	100.0%

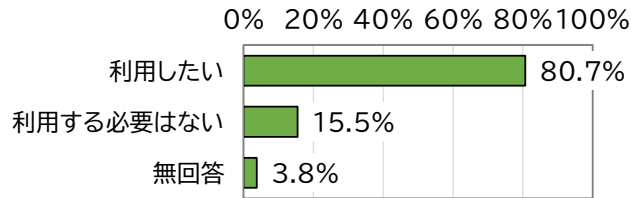
希望する終了時間（日曜日・祝日）

日曜日・祝日の希望する終了時間は、「18時台」が37.8%、「17時台」が35.6%となっています。

項目	度数	比率
14時台	1	2.2%
15時台	1	2.2%
16時台	5	11.1%
17時台	16	35.6%
18時台	17	37.8%
19時台	5	11.1%
回答者数	45	100.0%

（４）長期の休み期間中（夏休み・冬休みなど）

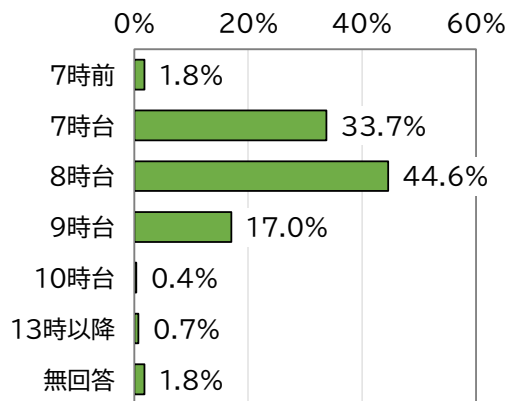
長期の休み期間中（夏休み・冬休みなど）の利用の有無は、「利用したい」が 80.7%、「利用する必要はない」が 15.5%となっています。

小学校の居場所利用の有無（長期の休み期間中）

項目	度数	比率
利用したい	276	80.7%
利用する必要はない	53	15.5%
無回答	13	3.8%
回答者数	342	100.0%

希望する開始時間（長期の休み期間中）

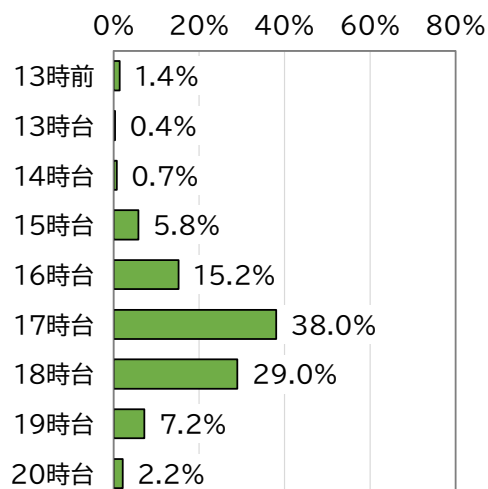
長期の休み期間中（夏休み・冬休みなど）の希望する開始時間は、「8 時台」が 44.6%と最も多く、次いで「7 時台」が 33.7%となっています。



項目	度数	比率
7時前	5	1.8%
7時台	93	33.7%
8時台	123	44.6%
9時台	47	17.0%
10時台	1	0.4%
13時以降	2	0.7%
無回答	5	1.8%
回答者数	276	100.0%

希望する終了時間（長期の休み期間中）

長期の休み期間中（夏休み・冬休みなど）の希望する終了時間は、「17 時台」が 38.0%と最も多く、次いで「18 時台」が 29.0%となっています。



項目	度数	比率
13時前	4	1.4%
13時台	1	0.4%
14時台	2	0.7%
15時台	16	5.8%
16時台	42	15.2%
17時台	105	38.0%
18時台	80	29.0%
19時台	20	7.2%
20時台	6	2.2%
回答者数	276	100.0%

⑪すべての方に、職場の両立支援制度について

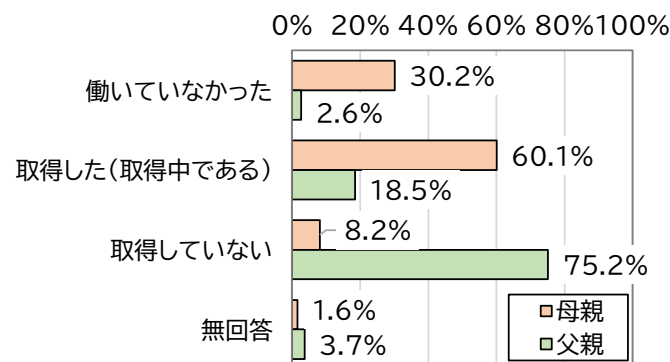
問 28 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つ選択してください。また、取得していない方はその理由をお答えください。

母親

育児休業を取得については、「働いていなかった」が 30.2%、「取得した（取得中である）」が 60.1%、「取得していない」が 8.2%となっています。

父親

育児休業を取得については、「働いていなかった」が 2.6%、「取得した（取得中である）」が 18.5%、「取得していない」が 75.2%となっています。

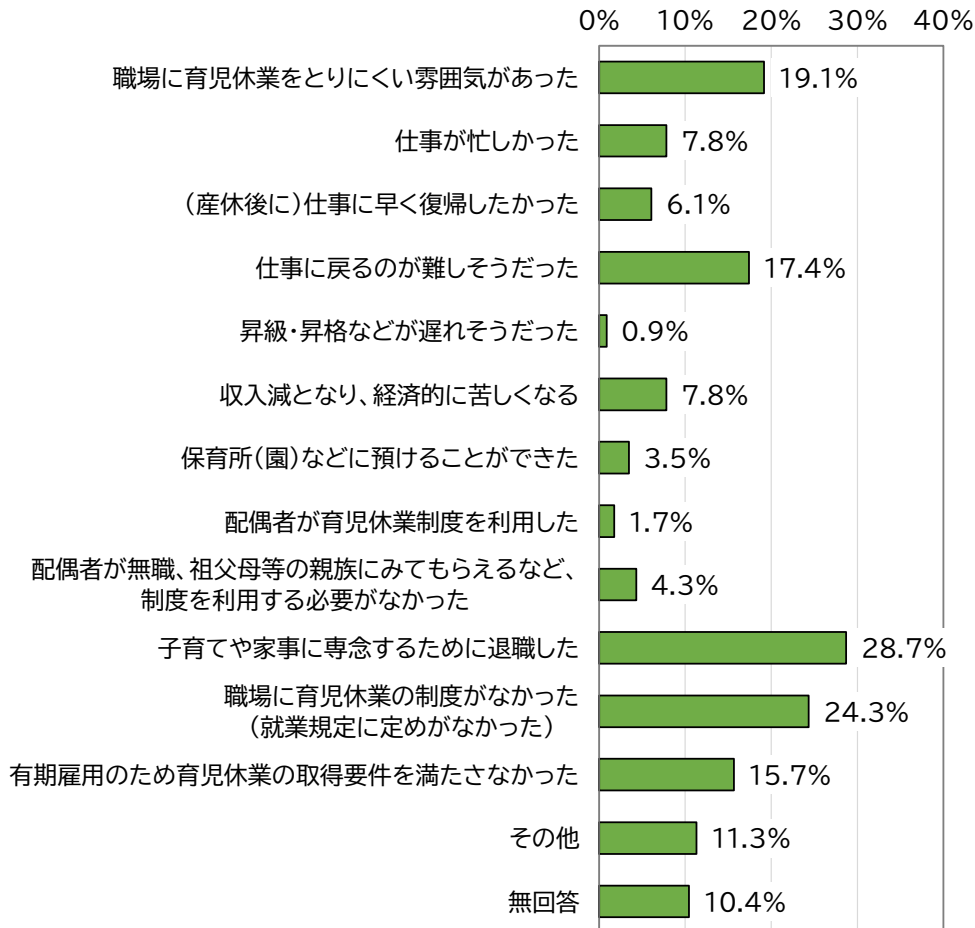
育児休業の取得状況(母親・父親)

項目	母親		父親	
	度数	比率	度数	比率
働いていなかった	424	30.2%	37	2.6%
取得した(取得中である)	844	60.1%	260	18.5%
取得していない	115	8.2%	1,056	75.2%
無回答	22	1.6%	52	3.7%
合計	1,405	100.0%	1,405	100.0%

母親の取得していない理由

取得していない理由では、「子育てや家事に専念するために退職した」が 28.7%と最も多く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規定に定めがなかった）」が 24.3%、「職場に育児休業をとりにくい雰囲気があった」が 19.1%となっています。

取得していない理由（母親）

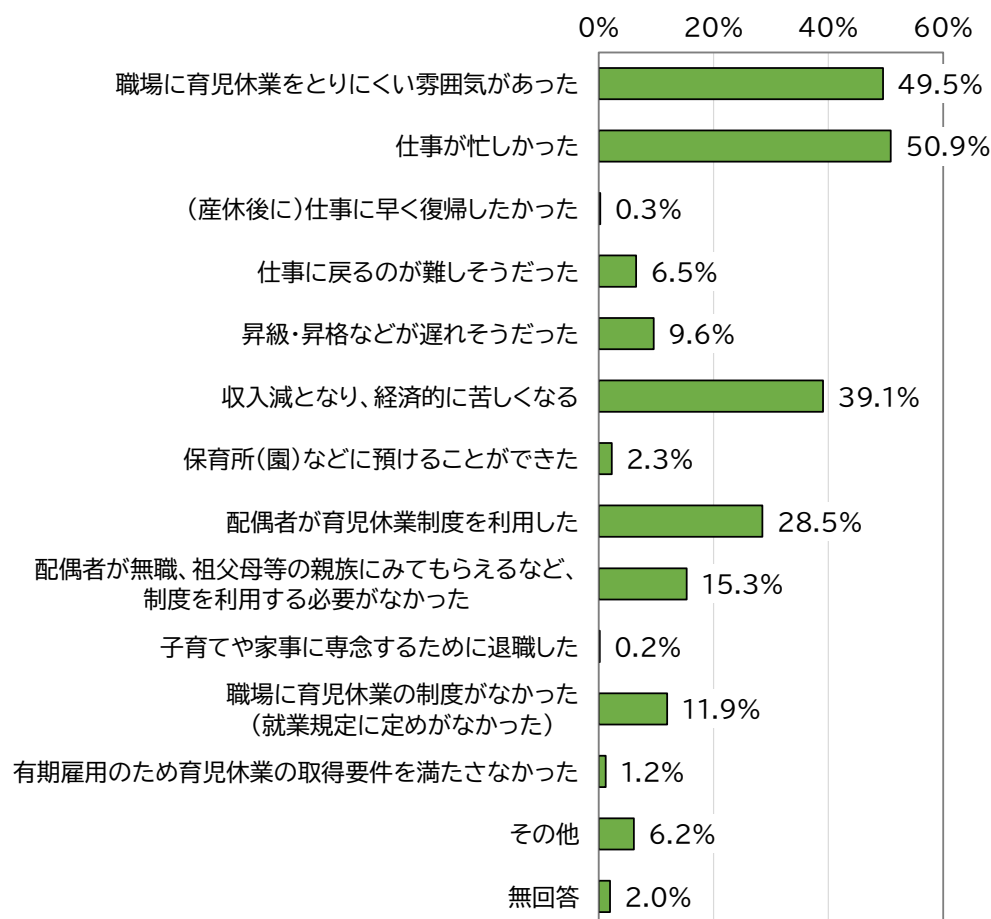


項目	度数	比率
職場に育児休業をとりにくい雰囲気があった	22	19.1%
仕事が忙しかった	9	7.8%
（産休後に）仕事に早く復帰したかった	7	6.1%
仕事に戻るのが難しそうだった	20	17.4%
昇級・昇格などが遅れそうだった	1	0.9%
収入減となり、経済的に苦しくなる	9	7.8%
保育所（園）などに預けることができた	4	3.5%
配偶者が育児休業制度を利用した	2	1.7%
配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	5	4.3%
子育てや家事に専念するために退職した	33	28.7%
職場に育児休業の制度がなかった（就業規定に定めがなかった）	28	24.3%
有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	18	15.7%
その他	13	11.3%
無回答	12	10.4%
回答者数	115	

父親の取得していない理由

取得していない理由では、「仕事が忙しかった」が 50.9%と最も多く、次いで「職場に育児休業をとりにくい雰囲気があった」が 49.5%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が 39.1%となっています。

取得していない理由（父親）



項目	度数	比率
職場に育児休業をとりにくい雰囲気があった	523	49.5%
仕事が忙しかった	537	50.9%
(産休後に)仕事に早く復帰したかった	3	0.3%
仕事に戻るのが難しそうだった	69	6.5%
昇級・昇格などが遅れそうだった	101	9.6%
収入減となり、経済的に苦しくなる	413	39.1%
保育所(園)などに預けることができた	24	2.3%
配偶者が育児休業制度を利用した	301	28.5%
配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	162	15.3%
子育てや家事に専念するために退職した	2	0.2%
職場に育児休業の制度がなかった(就業規定に定めがなかった)	126	11.9%
有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	13	1.2%
その他	65	6.2%
無回答	21	2.0%
回答者数	1,056	

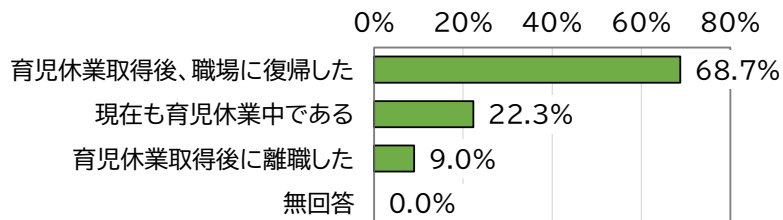
問 28 で「取得した(取得中である)」を回答した方にうかがいます。

問 28-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つを選択してください。

(1) 母親

育児休業取得後に職場へ復帰については、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 68.7%、「現在も育児休業中である」が 22.3%、「育児休業取得後に離職した」が 9.0%となっています。

育児休業取得後の職場復帰（母親）

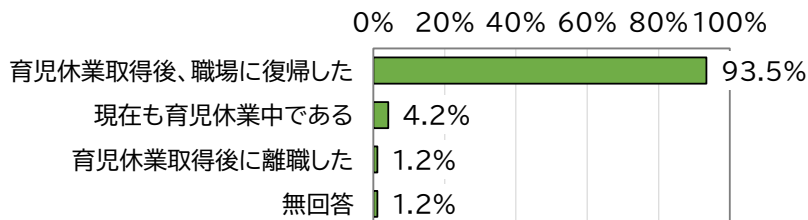


項目	度数	比率
育児休業取得後、職場に復帰した	580	68.7%
現在も育児休業中である	188	22.3%
育児休業取得後に離職した	76	9.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	844	100.0%

(2) 父親

育児休業取得後に職場へ復帰については、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 93.5%、「現在も育児休業中である」が 4.2%、「育児休業取得後に離職した」が 1.2%となっています。

育児休業取得後の職場復帰（父親）



項目	度数	比率
育児休業取得後、職場に復帰した	243	93.5%
現在も育児休業中である	11	4.2%
育児休業取得後に離職した	3	1.2%
無回答	3	1.2%
回答者数	260	100.0%

問 28-1で「育児休業取得後、職場に復帰した」を回答した方にうかがいます。

問 28-2 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月の時に職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、お子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に具体的な数字でご記入ください。（一枠内に数字は一字）。

（１）母親

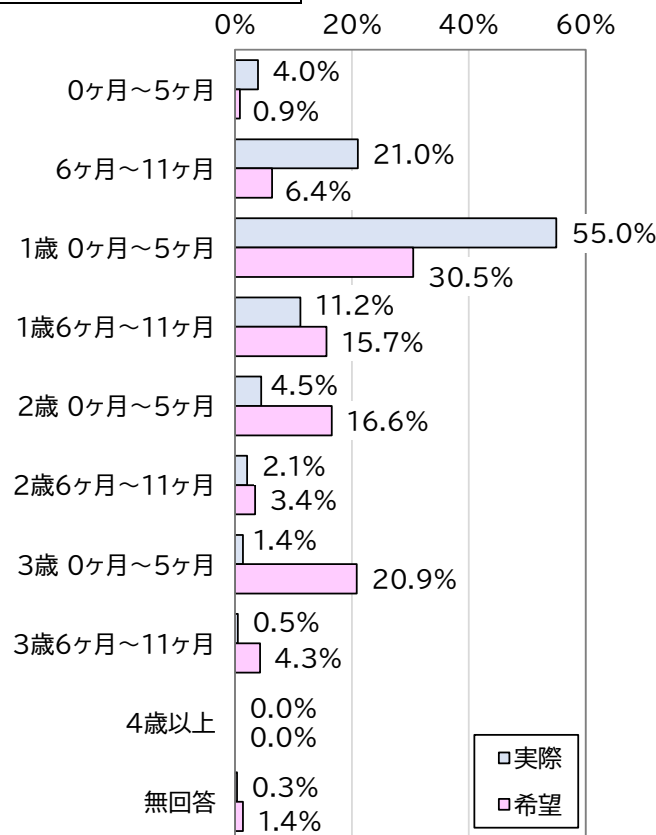
実際の取得期間

実際の取得期間では、「1 歳 0ヶ月～5 ヶ月」が 55.0%と最も多く、次いで「6 ヶ月～11 ヶ月」が 21.0%となっています。

希望の取得期間

希望の取得期間では、「1 歳 0ヶ月～5 ヶ月」が 30.5%と最も多く、次いで「3 歳 0ヶ月～5 ヶ月」が 20.9%となっています。

（母親）育児休業の取得期間（実際・希望）



項目	実際		希望	
	度数	比率	度数	比率
0ヶ月～5ヶ月	23	4.0%	5	0.9%
6ヶ月～11ヶ月	122	21.0%	37	6.4%
1歳 0ヶ月～5ヶ月	319	55.0%	177	30.5%
1歳6ヶ月～11ヶ月	65	11.2%	91	15.7%
2歳 0ヶ月～5ヶ月	26	4.5%	96	16.6%
2歳6ヶ月～11ヶ月	12	2.1%	20	3.4%
3歳 0ヶ月～5ヶ月	8	1.4%	121	20.9%
3歳6ヶ月～11ヶ月	3	0.5%	25	4.3%
4歳以上	0	0.0%	0	0.0%
無回答	2	0.3%	8	1.4%
回答者数	580	100.0%	580	100.0%

(2) 父親

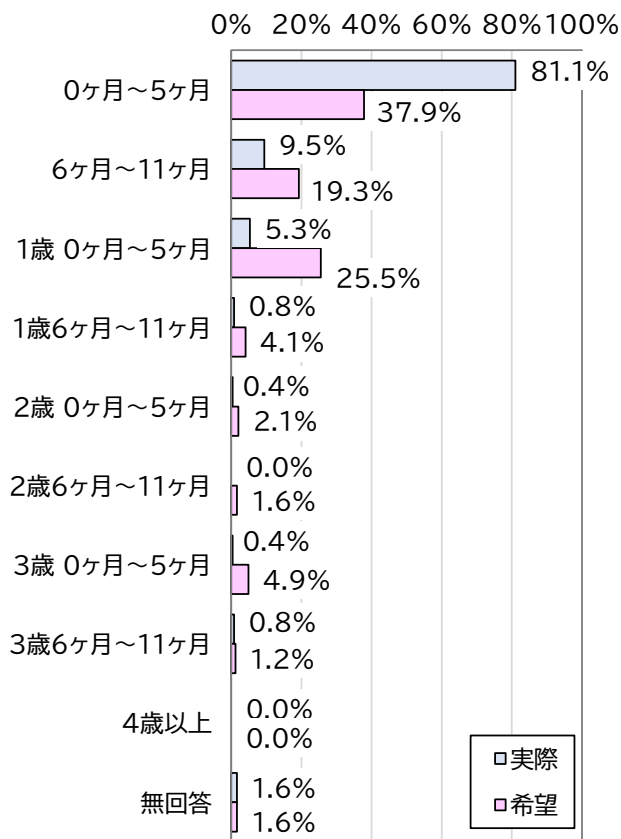
実際の取得期間

実際の取得期間では、「0ヶ月～5ヶ月」が81.1%と最も多くなっています。

希望の取得期間

希望の取得期間では、「0ヶ月～5ヶ月」が37.9%と最も多く、次いで「1歳 0ヶ月～5ヶ月」が25.5%となっています。

(父親) 育児休業の取得期間（実際・希望）



項目	実際		希望	
	度数	比率	度数	比率
0ヶ月～5ヶ月	197	81.1%	92	37.9%
6ヶ月～11ヶ月	23	9.5%	47	19.3%
1歳 0ヶ月～5ヶ月	13	5.3%	62	25.5%
1歳6ヶ月～11ヶ月	2	0.8%	10	4.1%
2歳 0ヶ月～5ヶ月	1	0.4%	5	2.1%
2歳6ヶ月～11ヶ月	0	0.0%	4	1.6%
3歳 0ヶ月～5ヶ月	1	0.4%	12	4.9%
3歳6ヶ月～11ヶ月	2	0.8%	3	1.2%
4歳以上	0	0.0%	0	0.0%
無回答	4	1.6%	4	1.6%
回答者数	243	100.0%	243	100.0%

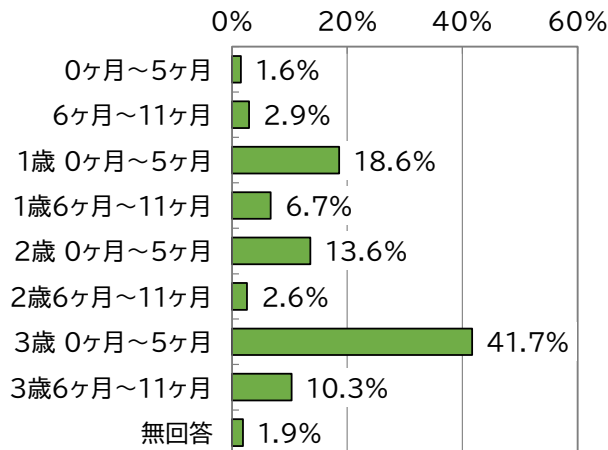
問 28-1で「育児休業取得後、職場に復帰した」を回答した方にうかがいます。

問 28-3 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に具体的な数字でご記入ください。(一枠内に数字は一字)。

(1) 母親

育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、希望する時期では、「3歳 0ヶ月～5ヶ月」が41.7%と最も多く、次いで「1歳 0ヶ月～5ヶ月」が18.6%、「2歳 0ヶ月～5ヶ月」が13.6%となっています。

3歳までの育児休暇の取得希望期間（母親）

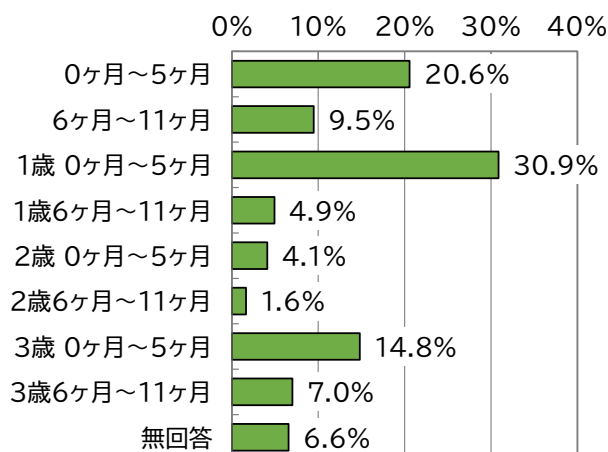


項目	度数	比率
0ヶ月～5ヶ月	9	1.6%
6ヶ月～11ヶ月	17	2.9%
1歳 0ヶ月～5ヶ月	108	18.6%
1歳6ヶ月～11ヶ月	39	6.7%
2歳 0ヶ月～5ヶ月	79	13.6%
2歳6ヶ月～11ヶ月	15	2.6%
3歳 0ヶ月～5ヶ月	242	41.7%
3歳6ヶ月～11ヶ月	60	10.3%
無回答	11	1.9%
回答者数	580	100.0%

(2) 父親

育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、希望する時期では、「1歳 0ヶ月～5ヶ月」が30.9%と最も多く、次いで、「0ヶ月～5ヶ月」が20.6%、「3歳 0ヶ月～5ヶ月」が14.8%となっています。

3歳までの育児休暇の取得希望期間（父親）



項目	度数	比率
0ヶ月～5ヶ月	50	20.6%
6ヶ月～11ヶ月	23	9.5%
1歳 0ヶ月～5ヶ月	75	30.9%
1歳6ヶ月～11ヶ月	12	4.9%
2歳 0ヶ月～5ヶ月	10	4.1%
2歳6ヶ月～11ヶ月	4	1.6%
3歳 0ヶ月～5ヶ月	36	14.8%
3歳6ヶ月～11ヶ月	17	7.0%
無回答	16	6.6%
回答者数	243	100.0%

問 28-2で実際の復帰時期と希望の時期が異なる方にうかがいます。

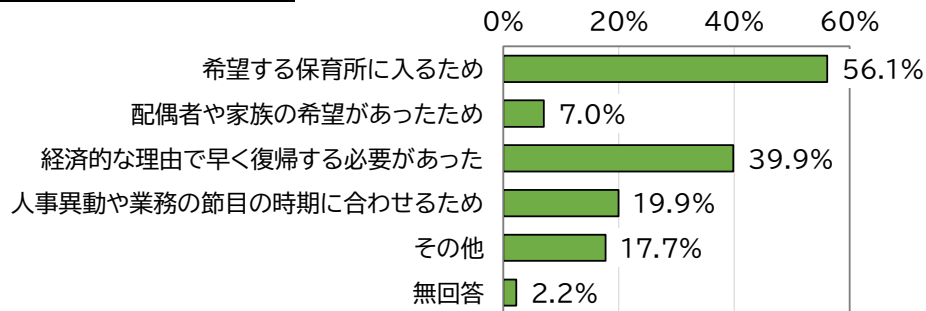
問 28-4 希望の時期に職場復帰した理由についてうかがいます。

(1)「希望」より早く復帰した方※当てはまる番号すべてを選択してください。

①母親

「希望」より早く復帰した方では、「希望する保育所に入るため」が 56.1%と最も多く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が 39.9%となっています。

早く職場復帰した理由（母親）

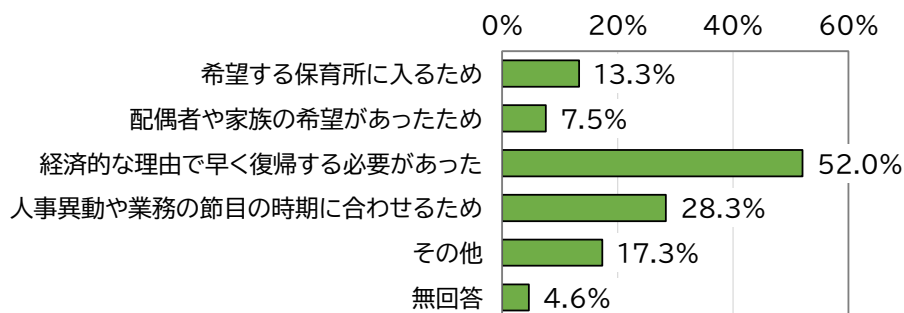


項目	度数	比率
希望する保育所に入るため	152	56.1%
配偶者や家族の希望があったため	19	7.0%
経済的な理由で早く復帰する必要があった	108	39.9%
人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	54	19.9%
その他	48	17.7%
無回答	6	2.2%
回答者数	271	

②父親

「希望」より早く復帰した方では、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が 52.0%と最も多く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が 28.3%となっています。

早く職場復帰した理由（父親）



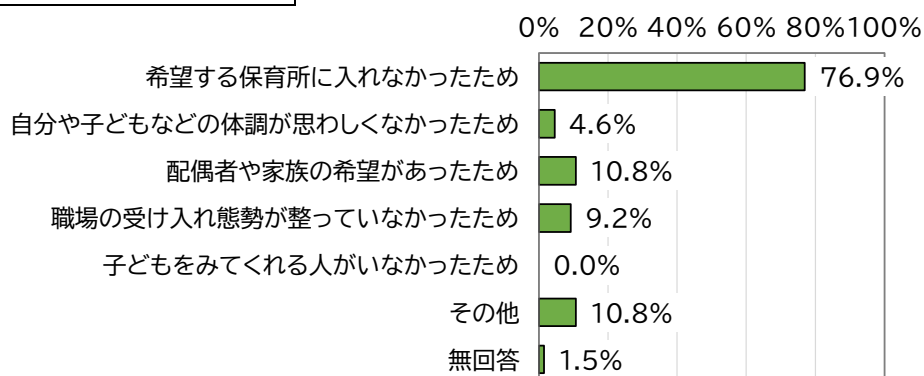
項目	度数	比率
希望する保育所に入るため	23	13.3%
配偶者や家族の希望があったため	13	7.5%
経済的な理由で早く復帰する必要があった	90	52.0%
人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	49	28.3%
その他	30	17.3%
無回答	8	4.6%
回答者数	173	

(2) 「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてを選択してください。

①母親

「希望」より遅く復帰した方では、「希望する保育所に入れなかったため」が 76.9%と最も多く、次いで「配偶者や家族の希望があったため」が 10.8%となっています。

遅く職場復帰した理由（母親）



項目	度数	比率
希望する保育所に入れなかったため	50	76.9%
自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため	3	4.6%
配偶者や家族の希望があったため	7	10.8%
職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	6	9.2%
子どもをみてる人がいなかったため	0	0.0%
その他	7	10.8%
無回答	1	1.5%
回答者数	65	

②父親

「希望」より遅く復帰した方では、「職場の受け入れ態勢が整っていなかったため」が 50.0%となっています。

遅く職場復帰した理由（父親）

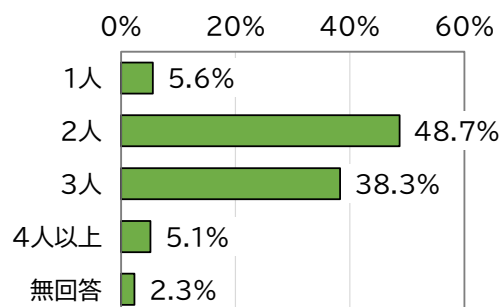
項目	度数	比率
希望する保育所に入れなかったため	0	0.0%
自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため	0	0.0%
配偶者や家族の希望があったため	0	0.0%
職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	1	50.0%
子どもをみてる人がいなかったため	0	0.0%
その他	0	0.0%
無回答	1	50.0%
回答者数	2	

⑫すべての方に、子育て支援等について

問 29 あなたにとっての理想のお子さんの人数をお答えください。当てはまる番号 1 つを選んでください。

理想のお子さんの人数は、「2人」が 48.7%、「3人」が 38.3%となっています。

理想のお子さんの人数



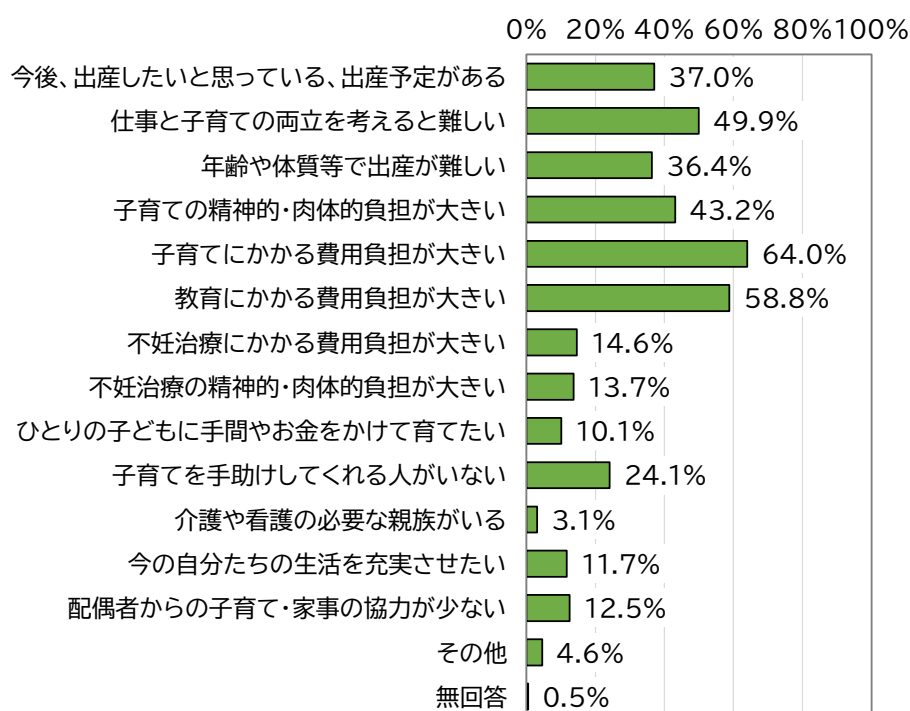
項目	度数	比率
1人	78	5.6%
2人	684	48.7%
3人	538	38.3%
4人以上	72	5.1%
無回答	33	2.3%
合計	1,405	100.0%

問 29 で、理想のお子さんの人数より現実のお子さんの人数が少ない方にうかがいます。

問 29-1 その理由を次のうちからお答えください。当てはまる番号すべてを選択してください。

理想のお子さんの人数より現実のお子さんの人数が少ない理由では、「子育てにかかる費用負担が大きい」が 64.0%と最も多く、次いで「教育にかかる費用負担が大きい」が 58.8%、「仕事と子育ての両立を考えると難しい」が 49.9%となっています。

理想よりお子さんが少ない理由



1 就学前児童保護者調査

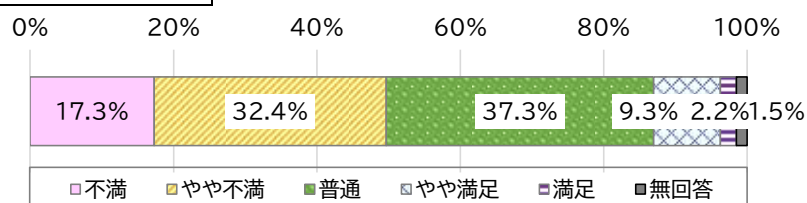
項目	度数	比率
今後、出産したいと思っている、出産予定がある	301	37.0%
仕事と子育ての両立を考えると難しい	406	49.9%
年齢や体質等で出産が難しい	296	36.4%
子育ての精神的・肉体的負担が大きい	351	43.2%
子育てにかかる費用負担が大きい	520	64.0%
教育にかかる費用負担が大きい	478	58.8%
不妊治療にかかる費用負担が大きい	119	14.6%
不妊治療の精神的・肉体的負担が大きい	111	13.7%
ひとりの子どもに手間やお金をかけて育てたい	82	10.1%
子育てを手助けしてくれる人がいない	196	24.1%
介護や看護の必要な親族がいる	25	3.1%
今の自分たちの生活を充実させたい	95	11.7%
配偶者からの子育て・家事の協力が少ない	102	12.5%
その他	37	4.6%
無回答	4	0.5%
回答者数	813	

問 30 小山市における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号 1 つを選んでください。

小山市における子育ての環境や支援への満足度については、「やや満足」「満足」を合わせた『満足』は、11.5%となっています。

一方、「不満」「やや不満」を合わせた『不満』は、49.7%となっています。また、「普通」は、37.3%となっています。

小山市の子育て環境の満足度

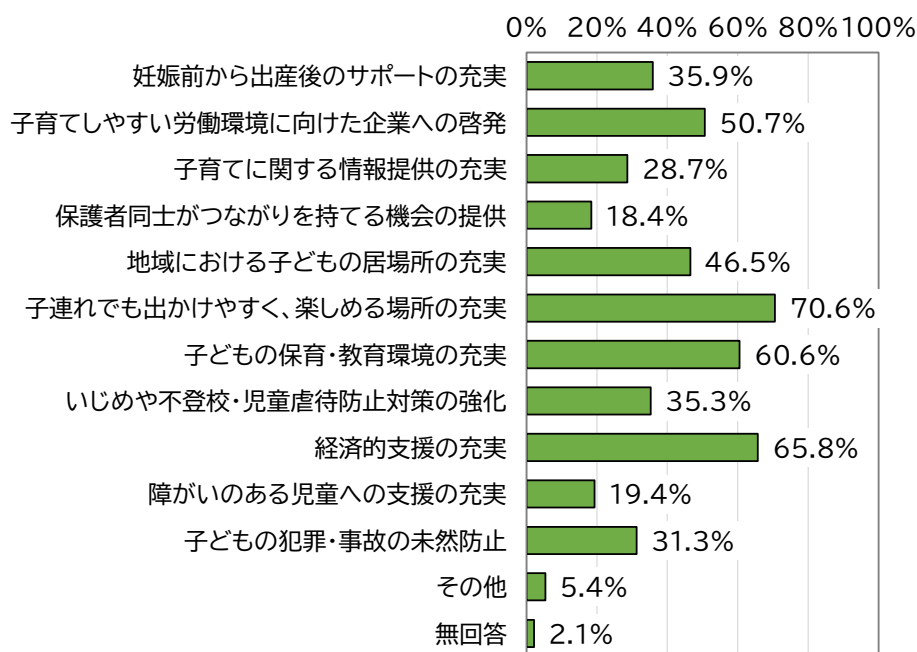


	不満	やや不満	普通	やや満足	満足	無回答	合計
度数	243	455	524	131	31	21	1,405
比率	17.3%	32.4%	37.3%	9.3%	2.2%	1.5%	100.0%

問 31 子育てをするうえで、どのような支援の充実を図ってほしいですか。当てはまる番号すべてを選択してください。

子育てをするうえで、充実を図ってほしい支援は、「子連れでも出かけやすく、楽しめる場所の充実」が70.6%と最も多く、次いで「経済的支援の充実」が65.8%、「子どもの保育・教育環境の充実」が60.6%となっています。

充実して欲しい子育ての支援



項目	度数	比率
妊娠前から出産後のサポートの充実	504	35.9%
子育てしやすい労働環境に向けた企業への啓発	712	50.7%
子育てに関する情報提供の充実	403	28.7%
保護者同士がつながりを持てる機会の提供	259	18.4%
地域における子どもの居場所の充実	654	46.5%
子連れでも出かけやすく、楽しめる場所の充実	992	70.6%
子どもの保育・教育環境の充実	851	60.6%
いじめや不登校・児童虐待防止対策の強化	496	35.3%
経済的支援の充実	924	65.8%
障がいのある児童への支援の充実	272	19.4%
子どもの犯罪・事故の未然防止	440	31.3%
その他	76	5.4%
無回答	30	2.1%
回答者数	1,405	

問 32 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

記述をカテゴリに分け、件数をカウントしました。総件数は 532 件、その内教育・保育や預かりについての意見が 164 件、経済的・金銭的支援、補助金などが 127 件となっています。

カテゴリ	件数
教育・保育、預かりについて	164
経済的・金銭的支援、補助金について	127
公園、遊び場、居場所、安全について	86
子育て支援、ひとり親支援について	49
病院、病児病後児、検診、健診について	42
学童、放課後児童、児童館について	23
土日、長期休暇について	17
アンケートについて	13
仕組みづくりについて	11
小学校、中学校、スクールバスについて	8
いじめ、虐待について	5
その他	39
回答者数	532

【自由記述おもな内容】

教育・保育、預かりについて

- 母親が就労していなくても、保育園に預けられる環境にしてほしい
- 保育園、幼稚園等の受け入れ人数が少ない
- 保育園、幼稚園での教育や園での過ごし方に格差がでない事が必要かと思います
- 小山市独自でも保育が必要な児を受け入れてほしい、一年以内で仕事復帰しないと退園する期間を延ばしてほしい
- 兄弟が同じ保育園に入れるようにしてほしいです。入れないかも、と言われると不安になります

経済的・金銭的支援、補助金について

- 副食費を無償にしてほしい。第 2 子以降保育料無償。紙おむつを 1、2 歳まで無料化(ギフト券などにする)
- 予防接種などの料金が低い、人数がいる家庭は負担が大きすぎてできない
- 新しく施設とかサービスを作るとかではなく、とにかく毎月支払わなければならない保育料を全員無償化してほしい。次また産もうと思えない
- やはり出産、子育てにはお金がかかり今の児童手当等も大変助かりますがもう少し支援があると子育てを不安なくできるかと思います。
- 妊娠中はおバスの利用を無料にしてほしい。タクシー利用券も何枚かほしい。車がないと生活できないため、産まれる直前まで運転していた

公園、遊び場、居場所、安全について

- 子育て中に孤独感を感じる事があります。孤独感を感じさせないサポート体制があると、良いのですが、外へ発信出来ない人もいると思う
- 子供が遊べる場所がすくないので増やしてほしい

- 歩道のない道路で通学している児童がいる。(道路の整備拡充。) 所得によって児童手当が減少するが、公平な金額にしてほしい。保育料も同じ。休日遊べる大きな公園の充実。車で移動して結城や下野など近隣の大きな公園によく行きます
- キッズランドを市内の人は、安くするもしくはフリータイムで遊べるようにする。公園の遊具を増やす
- キッズランドや他の市にあるような、低年齢から小学生まで年齢に合わせた遊具がある公園、施設をもっと充実させてほしい。遊びに行こうと思っても、小山よりも他の場所を検討してしまう

子育て支援・ひとり親支援について

- ひとり親の支援を強化してほしい
- 他の市に比べて支援が少ない。他の市の支援の方が魅力を感じる。所得制限等なく子どもをもうひとり産んでもいいなと思うような制度がほしい
- 小山市は通勤族が多く、近くに実家や義実家のサポートが得られない家庭も多くあると感じる。そのような人も子育てしやすいような環境が整うと幸福度は上がると思う
- 母子家庭の支援が少ない
- 子ども達がのびのび育ち、親も安心して子育てが出来る環境づくりを目指して欲しいです

病院、病児病後児、検診、健診について

- 市内の小児科の予約が取れず急な発熱時に困ります
- 小児科はとにかく混んでいて基本的に予約がとれない。診てもらえない。薬がもらえない
- 小児科併設の病後児保育を利用しようとしたが、開始時間が遅く仕事に間に合わない
- 産科が少ない為、通院に時間がかかること、選択肢が少ないことも問題だと思います
- 低価格で預けられる病児保育の施設が少ないように感じるので今後でも増えていけば良いと思う

学童、放課後児童、児童館について

- こども園で保育認定の定員があり、フルタイムで働けない。補助額を超える時間を預けてまで数時間の労働を増やそうとは思わない。学童利用料金が高いため時短パートだと負担が多い
- 保育士、学童保育クラブの指導員の方々の待遇改善
- 学童の新設拡充と公共施設の清潔感をより増幅してほしい
- なぜ、祖父母が近くにいと、保育者がいることになるのか。なぜすべての学校内か、となりに学童がないのか
- 保育所や学童に入所希望をしても入れなかった経験があります。子育てしながら働き続けられる環境の整備を進めていただきたいです

土日、長期休暇について

- 土日祝日の保育(園児・児童とも)を充実していただきたいです
- 学童保育、長期休暇のみ利用を可能にしてほしい
- 夏休みのような長期休みの時に預ける先がありません。小学校 6 年生までは長時間一人は心配です
- お盆や年末年始の長期休暇の保育の充実
- 土曜保育を利用したいという人が多くいる中、保育士さんが少なく利用したくても出来ない人がたくさんいるのでどうにかしてほしい

アンケートについて

- このアンケートもあと何問など書いてほしかったです。時間なくて後半は回答していません
- このアンケートは大変読みにくく、文章が分かりにくい。正直子どもの面倒を見ながらできなかった。子どもが寝てから、アンケート回答したが、時間がかかり夜遅くになった。そう言った面の配慮にも欠けていると感じた
- 大々的なアンケートの実施ありがとうございます
- 二人の子育てして忙しいのにこんなアンケートを書かせる行政の感覚がわからない。支援センターとかに

自分たちの足で出向いてアンケートなりをすべきなのは？

- 今回のアンケートも大変な時間を割いているのだから、果たしてこちらにも分かる形で改善されるのだろうかと思っている。

仕組みづくりについて

- 出産で仕事を辞めてしまうと、仕事を探そうにも預け先が決まらず仕事ができない。もう少し柔軟に(申請や預ける条件)対応してもらいたい。預け先が増えないと子供の数が増えない、保育士さんの給与を上げないと人も増えない。根本的な底上げを早急をお願いしたい
- ファミサポの登録や利用をオンライン上で完了させるような、簡潔なシステムにしていきたいです。多胎児育児等のマイノリティ家庭にも利用しやすい支援、理解を期待します
- 他の自治体と同じような支援態勢を構築してください
- ベビーシッター紹介制度や、認可制度があると安心して自宅で預けられる
- 子どもにお金をかけない、自治体、国に未来はないと思います。昭和時代から変わらない学校教育のあり方や環境の見直す必要があると感じます。時代にあった教育をしてほしいです。世界の教育から比べて日本は遅れているというか、独特すぎるのに

小学校、中学校、スクールバスについて

- 公立の小学校が選択できる様になればいいと思います
- 小学校が古いので新しくしてほしい(小山二小)
- 小学校は学区外でも選択できるようにしてほしい。少人数校は合併してほしい
- 一部の小学校ではバス通学になっていますが、間々田東小の住んでいる地域は子供の足で徒歩 40 分以上かかります。いくらボランティアの方が登下校立っていても、登下校ずっとは見ていてくれません。近所もパートに出ているママさんばかりで心配は同じかと思います。周りは畑や田んぼ、林、道は狭く危ないのでバス通学になることを期待したいです
- 子供の安全な環境のために国道 4 号線沿いにガードレールの設置をして頂きたいです。羽川小学校に通学するにあたり車通りが多く、不安です。

いじめ、虐待について

- 福島県がとても上手に魅力的なサポート、支援、遊べる施設の提供をしています。子供たちにとっても親にとっても魅力的で、実際に利用している人たちも多かったです。また、遊べる施設で働いていた方たちはシルバー世代が多かったように思います。それも含めとても上手で魅力的だなと感じました。移住したいと思う程に。若い子育て世代も多いなと感じました。これだけサポートが整っていたら少しは子育てしやすくなり虐待や殺害、親の自殺やうつなどもだいぶ減るのではないかと思います。
- 支援に関して、第一子は何歳になっても第一子。それは何歳になっても変わらないと思います。子供の年齢で公平、不公平があってはならないのではないのでしょうか。学校でのいじめや嫌がらせなどに対して、真剣に向き合ってくれる先生と、表面上での対応しか出来ない先生がはっきりしている。言葉ではなんとも言えるけれど、行動に起こしてくれる先生はほんの一握り。心から信頼できません
- いじめや不登校の防止や対策の強化及び、職員の方々の質の向上を早急に講じていただきたい
- 虐待は、未成年の子供だけに重きをおいていると思いますが、その子供らが大人になっても引きずっているものはあります。それを国が介入するなりして生きやすい環境になればと願います
- 学校、家庭以外にも子どもの居場所があると良いと思う。いじめ問題が起こった時に対応を学校や親任せにするのではなく、市でも積極的に介入し、弁護士費用の援助やカウンセリングなど精神的なケア等、本人や家庭が利用できる制度を充実させ、子どもが安心して学校に通えるように援助してほしい

その他

- 小山市在住の出産した方に、市内にはいろいろなサービスがあるんだとわかりやすくまとめた本などがあると良いのかなと思いました(すでにあったらごめんなさい)

1 就学前児童保護者調査

- こどもが安心して生きやすい社会にしてほしい
- トイレに関して、スーパーやレストラン・個室にオムツ台をいれてほしいと、子供が赤ちゃんの時強く感じていた
- 同じ世代の子の関わりが少ない
- 英語教育に力を入れていただきたいです。今後子供たちには重要になると思いますので、国際的な環境を身近に作っていただきたいです

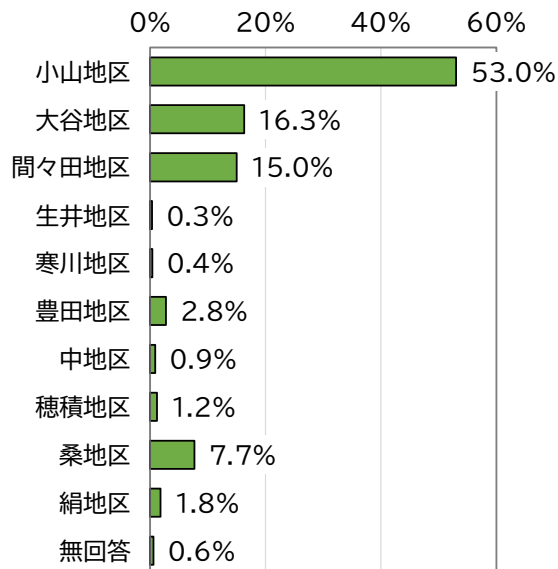
2 就学児童保護者調査

①お住いの地域について

問1 お住まいの地区で当てはまる番号 1 つを選んでください。※ご不明な場合は、最寄りの出張所を目安に回答してください。

住んでいる小学校区は、「小山地区」が 53.0%と最も多く、次いで「大谷地区」が 16.3%、「間々田地区」が 15.0%となっています。

居住地区



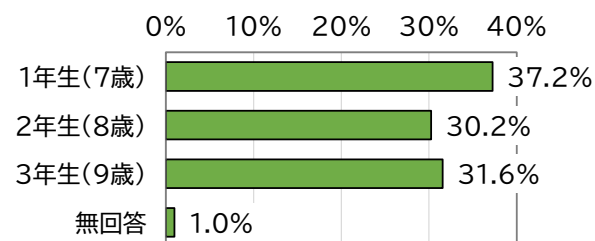
項目	度数	比率
小山地区	1,077	53.0%
大谷地区	331	16.3%
間々田地区	305	15.0%
生井地区	7	0.3%
寒川地区	8	0.4%
豊田地区	56	2.8%
中地区	18	0.9%
穂積地区	24	1.2%
桑地区	156	7.7%
絹地区	37	1.8%
無回答	12	0.6%
合計	2,031	100.0%

②封筒の宛名のお子さんご家族の状況について

問2 宛名のお子さんの生年月について、「平成」か「西暦」に○をつけ□内に数字でご記入ください(数字は一枠に一字)。

お子さんの年齢は、「1年生(7歳)」が37.2%、「2年生(8歳)」が30.2%、「3年生(9歳)」が31.6%となっています。

子どもの学年



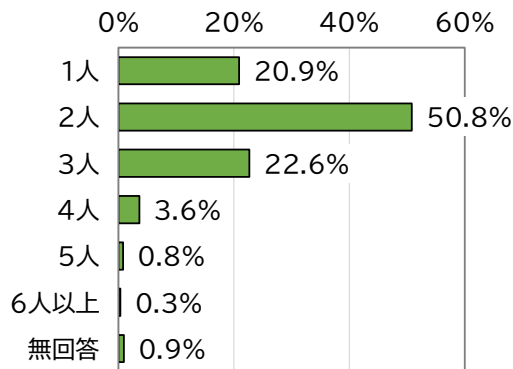
項目	度数	比率
1年生(7歳)	756	37.2%
2年生(8歳)	614	30.2%
3年生(9歳)	641	31.6%
無回答	20	1.0%
合計	2,031	100.0%

※基準日：令和5年4月現在

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月を「平成」か「西暦」に○をつけ口内に数字でご記入ください(数字は一枠に一字)。

きょうだい数

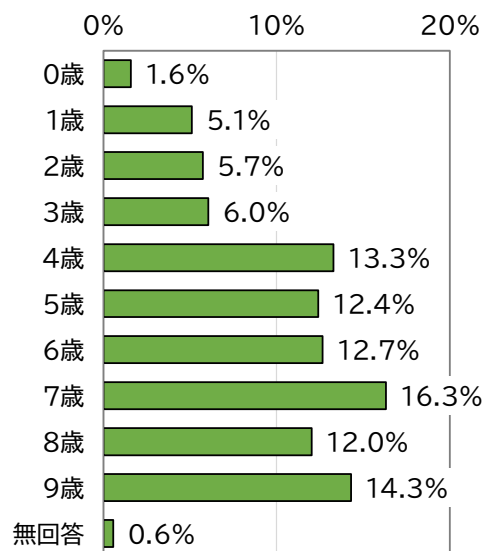
お子さんのきょうだい数は、「2人」が50.8%、「3人」が22.6%、「1人」が20.9%となっています。



項目	度数	比率
1人	424	20.9%
2人	1,032	50.8%
3人	460	22.6%
4人	73	3.6%
5人	16	0.8%
6人以上	7	0.3%
無回答	19	0.9%
合計	2,031	100.0%

末子の年齢

末子の年齢は、「7歳」が16.3%、「9歳」が14.3%、「4歳」が13.3%となっています。

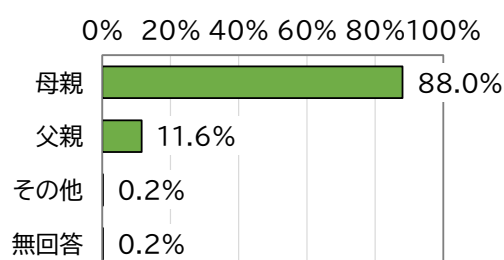


項目	度数	比率
0歳	25	1.6%
1歳	81	5.1%
2歳	91	5.7%
3歳	96	6.0%
4歳	211	13.3%
5歳	197	12.4%
6歳	201	12.7%
7歳	259	16.3%
8歳	191	12.0%
9歳	227	14.3%
無回答	9	0.6%
回答者数	1,588	100.0%

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つを選んでください。

回答した方は、「母親」が88.0%、「父親」が11.6%となっています。

回答者

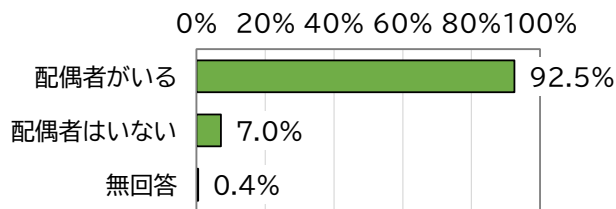


項目	度数	比率
母親	1,788	88.0%
父親	235	11.6%
その他	4	0.2%
無回答	4	0.2%
合計	2,031	100.0%

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号 1 つを選んでください。

回答いただいている方の配偶関係は、「配偶者がいる」が 92.5%、「配偶者はいない」が 7.0%となっています。

配偶者の有無

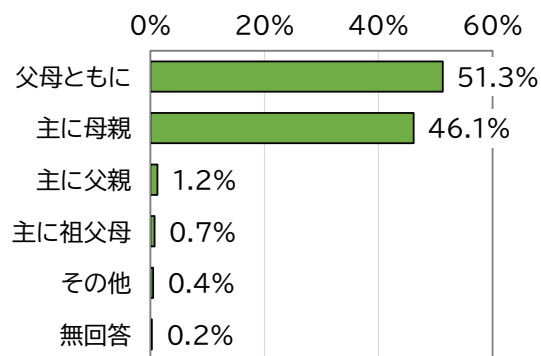


項目	度数	比率
配偶者がいる	1,879	92.5%
配偶者はいない	143	7.0%
無回答	9	0.4%
合計	2,031	100.0%

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号 1 つを選んでください。

お子さんの子育て(教育を含む)を主に行っている方は、「父母ともに」が 51.3%と最も多く、次いで「主に母親」が 46.1%となっています。

主な子育て従事者



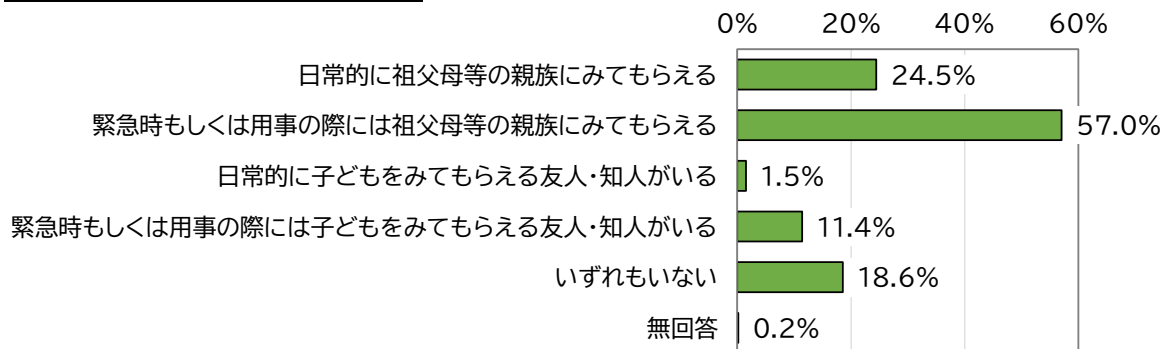
項目	度数	比率
父母ともに	1,041	51.3%
主に母親	937	46.1%
主に父親	25	1.2%
主に祖父母	14	0.7%
その他	9	0.4%
無回答	5	0.2%
合計	2,031	100.0%

③子育て環境について

問7 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてを選択してください。

お子さんをみてもらえる親族・知人については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が 57.0%と最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が 24.5%となっています。

日頃子どもをみてもらえる人の有無



項目	度数	比率
日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	497	24.5%
緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	1,158	57.0%
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	31	1.5%
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	232	11.4%
いずれもない	377	18.6%
無回答	4	0.2%
回答者数	2,031	

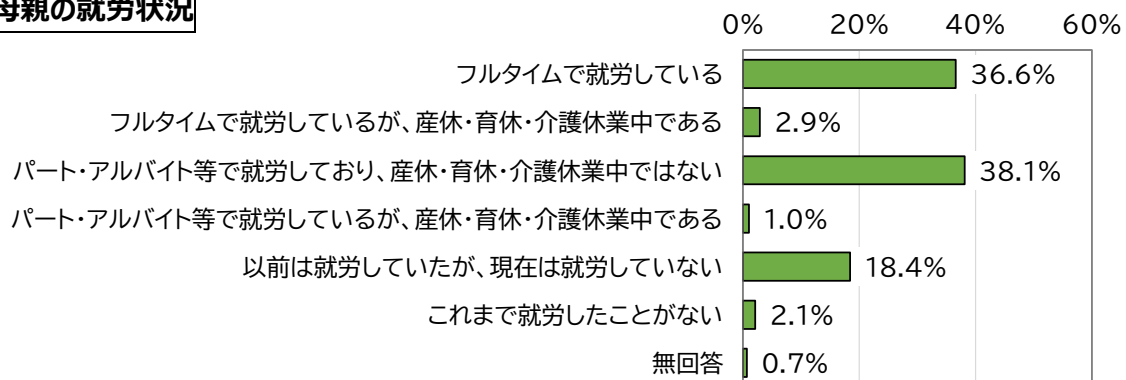
④宛名のお子さんの保護者の就労状況について

問8 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業・家族従事者含む)をうかがいます。次の(1)から(2)-2 までの設問にお答えください。※1:フルタイムは、1週5日程度・1日8時間程度の就労(以下の設問も同様)※2:パート・アルバイト等は、フルタイム以外(以下の設問も同様)

(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号 1 つを選んでください。

現在の就労状況については、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 38.1%と最も多く、次いで「フルタイムで就労している」が 36.6%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 18.4%となっています。

母親の就労状況



項目	度数	比率
フルタイム※1で就労している	737	36.6%
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	59	2.9%
パート・アルバイト等※2で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	767	38.1%
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	21	1.0%
以前は就労していたが、現在は就労していない	371	18.4%
これまで就労したことがない	43	2.1%
無回答	14	0.7%
回答者数	2,012	100.0%

※1：フルタイムは、1週5日程度・1日8時間程度の就労(以下の設問も同様)

※2：パート・アルバイト等は、フルタイム以外(以下の設問も同様)

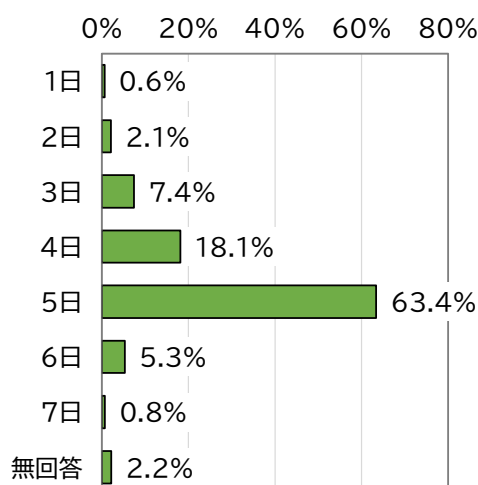
※回答者数は、父子家庭を除いています。

(1)-1(1)で「フルタイムで就労している」～「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」(就労している)を回答した方にうかがいます。

週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。）

1 週当たりの就労日数（母親）

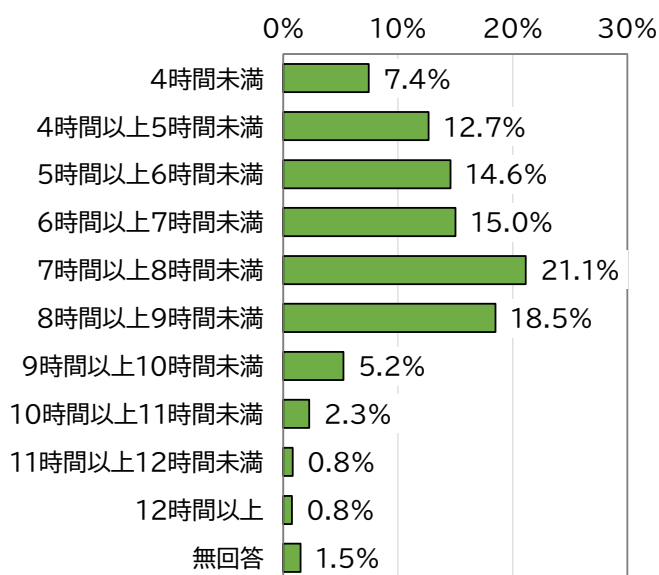
1週当たりの就労日数は、「5日」が63.4%と最も多く、次いで「4日」が18.1%となっています。



項目	度数	比率
1日	10	0.6%
2日	34	2.1%
3日	118	7.4%
4日	287	18.1%
5日	1,004	63.4%
6日	84	5.3%
7日	12	0.8%
無回答	35	2.2%
回答者数	1,584	100.0%

1日当たりの就業時間（母親）

1日当たりの就業時間は、「7時間以上8時間未満」が21.1%と最も多く、次いで「8時間以上9時間未満」が18.5%、「6時間以上7時間未満」が15.0%となっています。



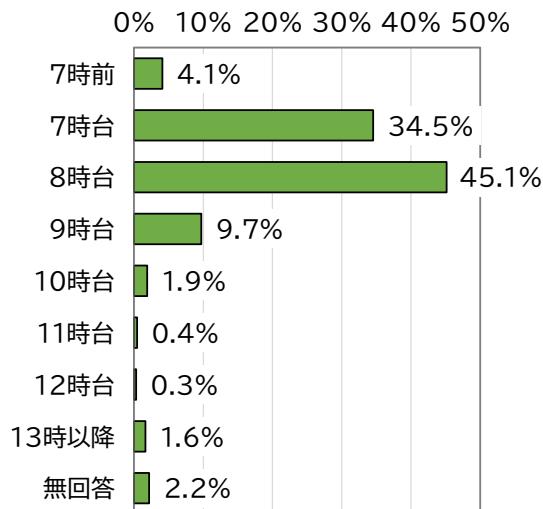
項目	度数	比率
4時間未満	118	7.4%
4時間以上5時間未満	201	12.7%
5時間以上6時間未満	231	14.6%
6時間以上7時間未満	238	15.0%
7時間以上8時間未満	335	21.1%
8時間以上9時間未満	293	18.5%
9時間以上10時間未満	83	5.2%
10時間以上11時間未満	36	2.3%
11時間以上12時間未満	13	0.8%
12時間以上	12	0.8%
無回答	24	1.5%
回答者数	1,584	100.0%

(1)-2(1)で「フルタイムで就労している」～「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」(就労している)を回答した方にうかがいます。

家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（例）08時～18時のように、24時間制でお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。）

家を出る時間（母親）

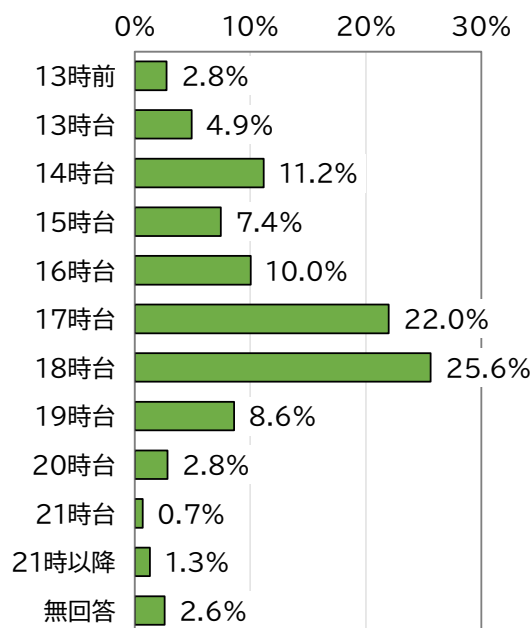
家を出る時間は、「8時台」が45.1%と最も多く、次いで「7時台」が34.5%となっています。



項目	度数	比率
7時前	65	4.1%
7時台	547	34.5%
8時台	715	45.1%
9時台	154	9.7%
10時台	30	1.9%
11時台	7	0.4%
12時台	5	0.3%
13時以降	26	1.6%
無回答	35	2.2%
回答者数	1,584	100.0%

帰宅時間（母親）

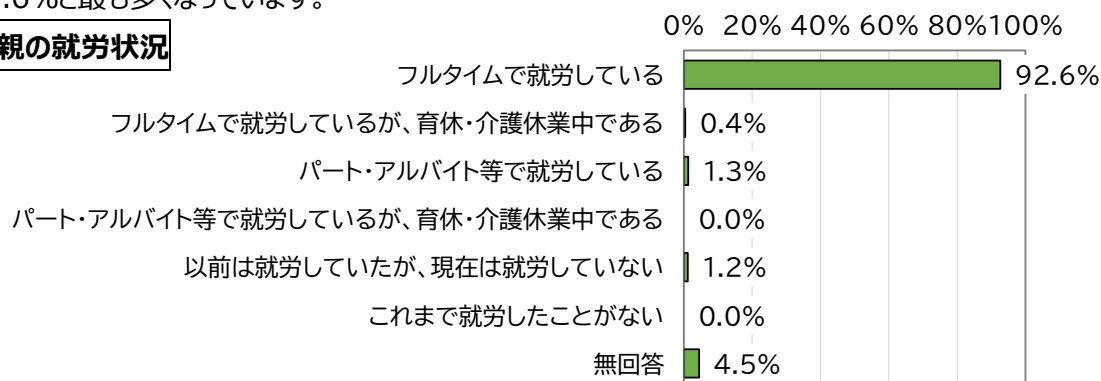
帰宅時間は、「18時台」が25.6%と最も多く、次いで「17時台」が22.0%、「14時台」が11.2%となっています。



項目	度数	比率
13時前	44	2.8%
13時台	78	4.9%
14時台	177	11.2%
15時台	118	7.4%
16時台	159	10.0%
17時台	348	22.0%
18時台	406	25.6%
19時台	136	8.6%
20時台	45	2.8%
21時台	11	0.7%
21時以降	21	1.3%
無回答	41	2.6%
回答者数	1,584	100.0%

(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号 1 つを選んでください。

現在の就労状況については、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が 92.6%と最も多くなっています。

父親の就労状況

項目	度数	比率
フルタイム※1で就労している	1,765	92.6%
フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である	8	0.4%
パート・アルバイト等※2で就労している	25	1.3%
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	0	0.0%
以前は就労していたが、現在は就労していない	23	1.2%
これまで就労したことがない	0	0.0%
無回答	86	4.5%
回答者数	1,907	100.0%

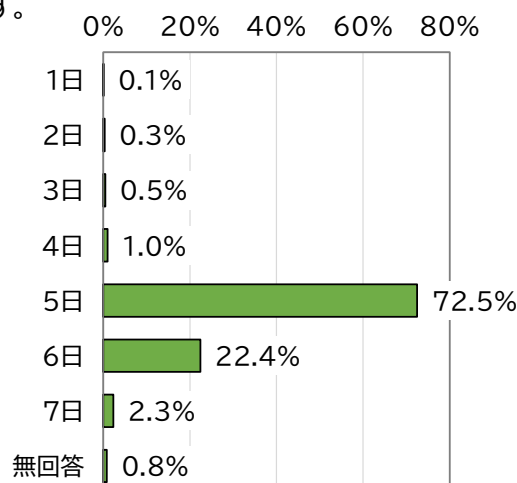
※回答者数は、母子家庭を除いています。

(2)-1(2)で、「フルタイムで就労している」～「パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である」(就労している)を回答した方にうかがいます。

週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください（□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字）。

1 週当たりの就労日数（父親）

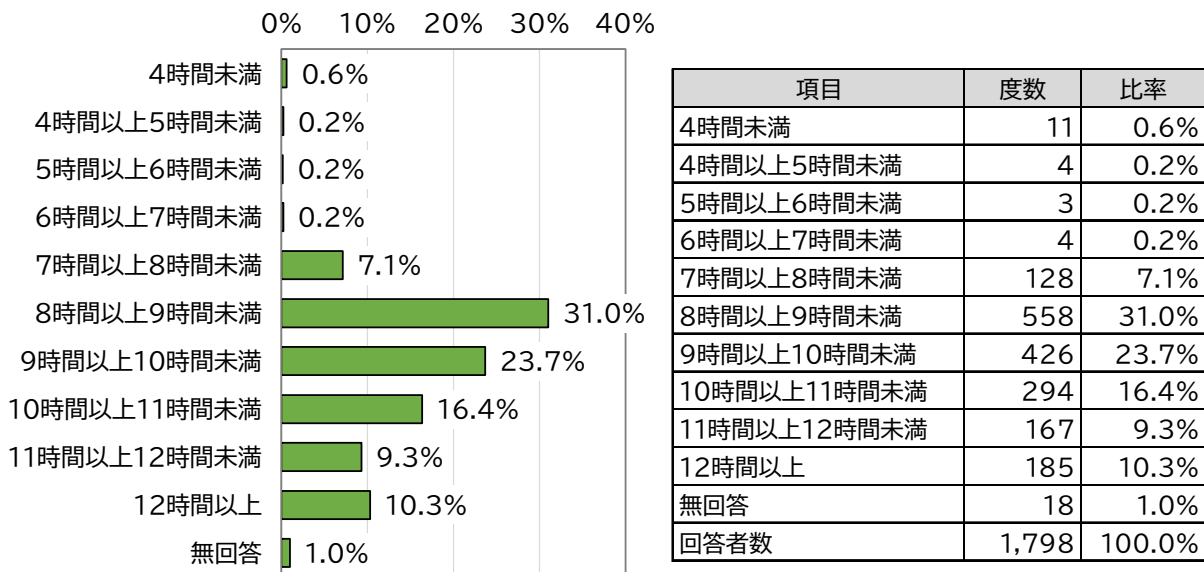
1 週当たりの就労日数は、「5 日」が 72.5%と最も多く、次いで「6 日」が 22.4%となっています。



項目	度数	比率
1日	1	0.1%
2日	6	0.3%
3日	9	0.5%
4日	18	1.0%
5日	1,304	72.5%
6日	403	22.4%
7日	42	2.3%
無回答	15	0.8%
回答者数	1,798	100.0%

1 日当たりの就労時間（父親）

1 日当たりの就労時間は、「8 時間以上 9 時間未満」が 31.0%と最も多く、次いで「9 時間以上 10 時間未満」が 23.7%、「10 時間以上 11 時間未満」が 16.4%となっています。

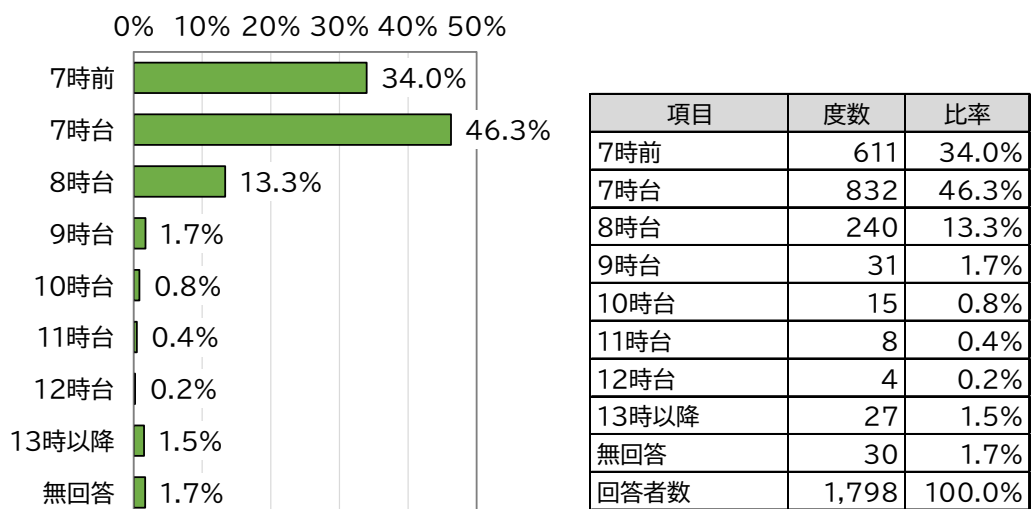


(2)-2(2)で、「フルタイムで就労している」～「パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である」(就労している)を回答した方にうかがいます。

家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（例）0 8 時～1 8 時のように、2 4 時間制でお答えください（□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字）。

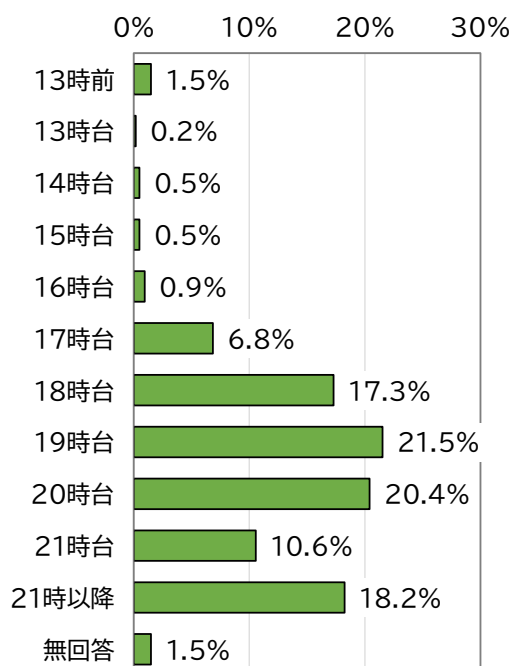
家を出る時間（父親）

家を出る時間は、「7 時台」が 46.3%と最も多く、次いで「7 時前」が 34.0%となっています。



帰宅時間（父親）

帰宅時間は、「19 時台」が 21.5%と最も多く、次いで「20 時台」が 20.4%、「21 時以降」が 18.2%となっています。



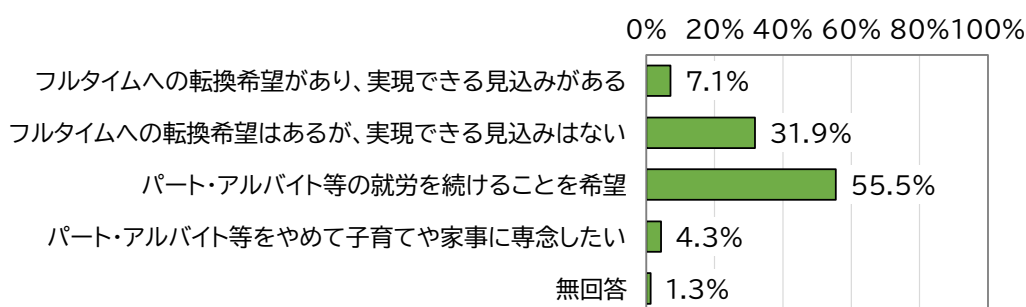
項目	度数	比率
13時前	27	1.5%
13時台	3	0.2%
14時台	9	0.5%
15時台	9	0.5%
16時台	17	0.9%
17時台	123	6.8%
18時台	311	17.3%
19時台	387	21.5%
20時台	367	20.4%
21時台	190	10.6%
21時以降	328	18.2%
無回答	27	1.5%
回答者数	1,798	100.0%

問8の(1)または(2)で「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」(パート・アルバイト等で就労している)を回答した方にうかがいます。該当しない方は、問 11 へお進みください。

問9 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号 1 つを選んでください。

(1) 母親

フルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 55.5%と最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 31.9%となっています。

勤務体系の転換希望（母親）

項目	度数	比率
フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	56	7.1%
フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	251	31.9%
パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	437	55.5%
パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	34	4.3%
無回答	10	1.3%
回答者数	788	100.0%

(2) 父親

フルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 36.8%「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 15.8%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 10.5%となっています。

勤務体系の転換希望（父親）

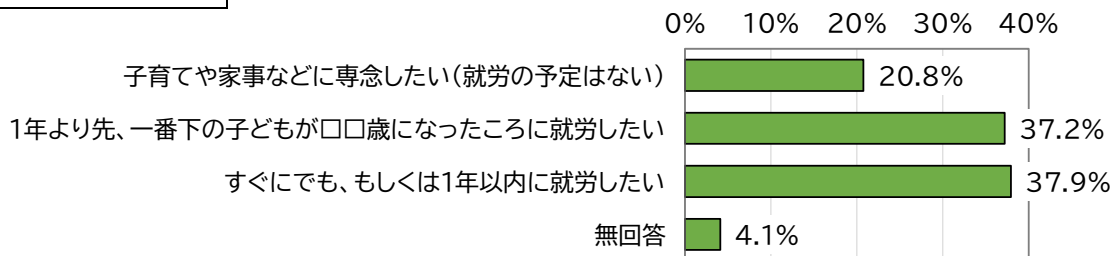
項目	度数	比率
フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	2	10.5%
フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	3	15.8%
パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	7	36.8%
パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	0	0.0%
無回答	7	36.8%
回答者数	19	100.0%

問8の(1)または(2)で「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまで就労したことがない」(現在は就労していない・今まで就労したことがない)を回答した方にうかがいます。該当しない方は、問 11 へお進みください。

問 10 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください(数字は一枠に一字)。

(1) 母親

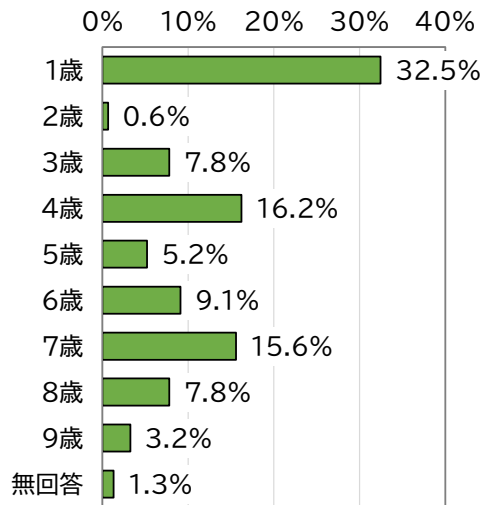
就労したいという希望については、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が 37.9%と最も多く、次いで「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」が 37.2%「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が 20.8%となっています。

就労意向（母親）

項目	度数	比率
子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	86	20.8%
1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい	154	37.2%
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	157	37.9%
無回答	17	4.1%
回答者数	414	100.0%

一番下の子どもの年齢（母親）

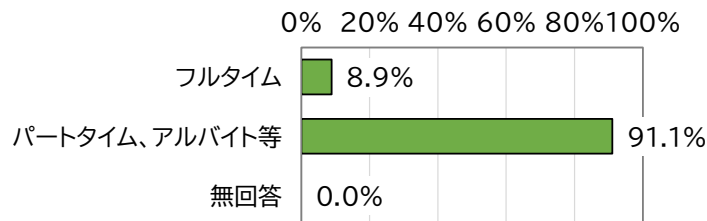
就労するにあたり、希望する一番下の子どもの年齢は、「1 歳」が 32.5%と最も多く、次いで「4 歳」が 16.2%、「7 歳」が 15.6%となっています。



項目	度数	比率
1歳	50	32.5%
2歳	1	0.6%
3歳	12	7.8%
4歳	25	16.2%
5歳	8	5.2%
6歳	14	9.1%
7歳	24	15.6%
8歳	12	7.8%
9歳	5	3.2%
無回答	2	1.3%
回答者数	154	100.0%

希望する就労形態（母親）

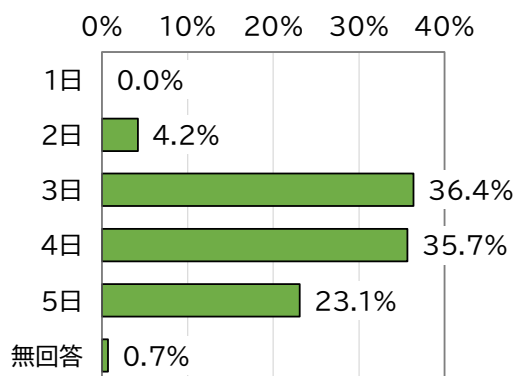
希望する就労形態は、「パートタイム、アルバイト等」が 91.1%と最も多くなっています。



項目	度数	比率
フルタイム	14	8.9%
パートタイム、アルバイト等	143	91.1%
無回答	0	0.0%
回答者数	157	100.0%

希望する1週当たりの就労日数（母親）

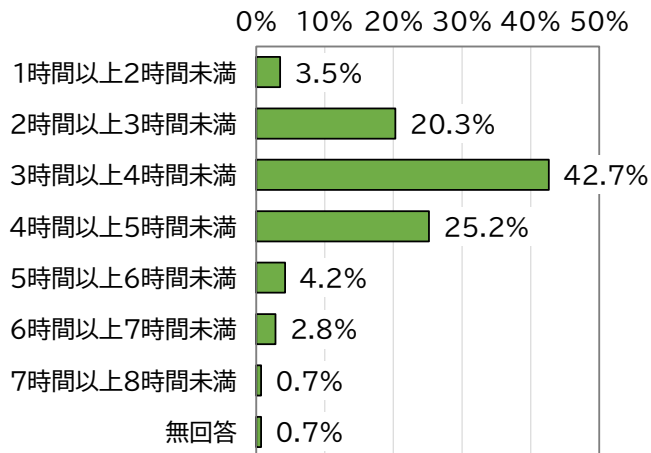
希望する1週当たりの就労日数は、「3 日」が 36.4%と最も多く、次いで「4 日」が 35.7%となっています。



項目	度数	比率
1日	0	0.0%
2日	6	4.2%
3日	52	36.4%
4日	51	35.7%
5日	33	23.1%
無回答	1	0.7%
回答者数	143	100.0%

希望する1日当たりの就労時間（母親）

希望する1日当たりの就労時間は、「3 時間以上 4 時間未満」が 42.7%と最も多く、次いで「4 時間以上 5 時間未満」が 25.2%、「2 時間以上 3 時間未満」が 20.3%となっています。



項目	度数	比率
1時間以上2時間未満	5	3.5%
2時間以上3時間未満	29	20.3%
3時間以上4時間未満	61	42.7%
4時間以上5時間未満	36	25.2%
5時間以上6時間未満	6	4.2%
6時間以上7時間未満	4	2.8%
7時間以上8時間未満	1	0.7%
無回答	1	0.7%
回答者数	143	100.0%

（2）父親

就労したいという希望については、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が47.8%となっています。

就労意向（父親）

項目	度数	比率
子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	7	30.4%
1年より先、一番下の子どもが歳になったところに就労したい	3	13.0%
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	11	47.8%
無回答	2	8.7%
回答者数	23	100.0%

一番下の子どもの年齢（父親）

回答はありませんでした。

希望する就労形態（父親）

希望する就労形態は、「フルタイム」が 75.0%となっています。

項目	度数	比率
フルタイム	9	75.0%
パートタイム、アルバイト等	3	25.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	12	100.0%

希望する1週当たりの就労日数（父親）

希望する1週当たりの就労日数は、「5 日」が 16.7%となっています。

項目	度数	比率
4日	1	8.3%
5日	2	16.7%
無回答	9	75.0%
回答者数	12	100.0%

希望する1週当たりの就労時間（父親）

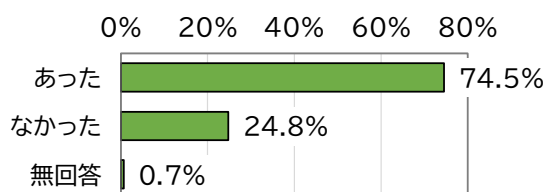
希望する1週当たりの就労時間は、「6時間以上7時間未満」が16.7%となっています。

項目	度数	比率
3時間以上4時間未満	1	8.3%
6時間以上7時間未満	2	16.7%
無回答	9	75.0%
回答者数	12	100.0%

⑤宛名のお子さんの病気の際の対応について

問 11 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで学校を休んだり、学童保育クラブを利用できなかったことはありますか。

お子さんが病気やケガで学校を休んだり、学童保育クラブを利用できなかったことはあるかでは、「あった」が74.5%、「なかった」が24.8%となっています。

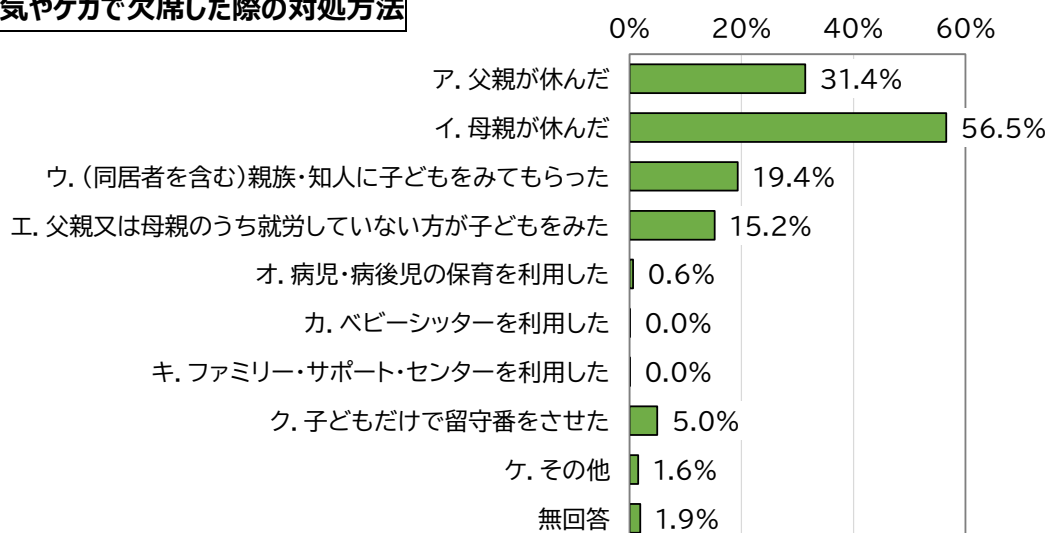
病気やケガで学校等の欠席

項目	度数	比率
あった	1,514	74.5%
なかった	503	24.8%
無回答	14	0.7%
合計	2,031	100.0%

問 11 で、「あった」を選択した方にうかがいます。

問 11-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてを選択し、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一桁に一字)。※「キ. ファミリー・サポート・センター」には「病児・緊急対応強化事業」による利用も含まれます。

お子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合の1年間に行った対処方法は、「イ. 母親が休んだ」が56.5%と最も多く、次いで「ア. 父親が休んだ」が31.4%、「ウ. (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が19.4%となっています。

病気やケガで欠席した際の対処方法

2 就学児童保護者調査

項目	度数	比率
ア. 父親が休んだ	475	31.4%
イ. 母親が休んだ	1,148	56.5%
ウ. (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	393	19.4%
エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	309	15.2%
オ. 病児・病後児の保育を利用した	13	0.6%
カ. ベビーシッターを利用した	1	0.0%
キ. ファミリー・サポート・センターを利用した	1	0.0%
ク. 子どもだけで留守番をさせた	101	5.0%
ケ. その他	32	1.6%
無回答	39	1.9%
回答者数	1,514	

病気やケガの際の1年間の対処日数

1年間の対処日数は、「ア. 父親が休んだ」では、「1日～3日」が72.4%、「イ. 母親が休んだ」、「1日～3日」が36.5%となっています。

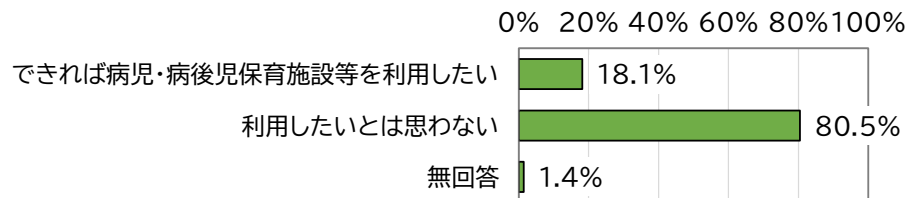
項目(度数)	ア. 父親が休んだ	イ. 母親が休んだ	ウ. (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	オ. 病児・病後児の保育を利用した	カ. ベビーシッターを利用した	キ. ファミリー・サポート・センターを利用した	ク. 子どもだけで留守番をさせた	ケ. その他
1日～3日	344	419	226	95	6	0	1	78	18
4日～7日	101	387	115	110	5	0	0	17	9
8日～10日	26	195	30	52	2	0	0	2	4
11日～20日	2	107	18	31	0	1	0	3	0
21日～30日	1	29	1	11	0	0	0	0	1
31日以上	1	11	3	10	0	0	0	1	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0
回答者数	475	1,148	393	309	13	1	1	101	32
項目(比率)	ア. 父親が休んだ	イ. 母親が休んだ	ウ. (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	オ. 病児・病後児の保育を利用した	カ. ベビーシッターを利用した	キ. ファミリー・サポート・センターを利用した	ク. 子どもだけで留守番をさせた	ケ. その他
1日～3日	72.4%	36.5%	57.5%	30.7%	46.2%	0.0%	100.0%	77.2%	56.3%
4日～7日	21.3%	33.7%	29.3%	35.6%	38.5%	0.0%	0.0%	16.8%	28.1%
8日～10日	5.5%	17.0%	7.6%	16.8%	15.4%	0.0%	0.0%	2.0%	12.5%
11日～20日	0.4%	9.3%	4.6%	10.0%	0.0%	100.0%	0.0%	3.0%	0.0%
21日～30日	0.2%	2.5%	0.3%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.1%
31日以上	0.2%	1.0%	0.8%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
回答者数	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問 11-1 で「ア. 父親が休んだ」「イ. 母親が休んだ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 11-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つを選択し、日数についても口内に数字でご記入ください(数字は一枠に一字)。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったかでは、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 18.1%、「利用したいとは思わない」が 80.5%となっています。

病児保育の利用希望

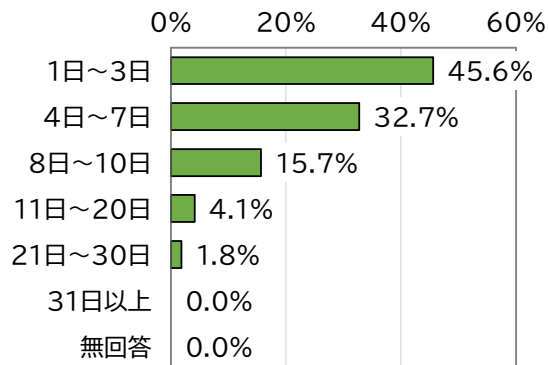


項目	度数	比率
できれば病児・病後児保育施設等を利用したい	217	18.1%
利用したいとは思わない	963	80.5%
無回答	17	1.4%
回答者数	1,197	100.0%

できれば病児・病後児保育施設等を利用したい

病児保育の利用したい日数

利用したい日数は、「1 日～3 日」が 45.6%と最も多く、次いで「4 日～7 日」が 32.7%、「8～10 日」が 15.7%となっています。



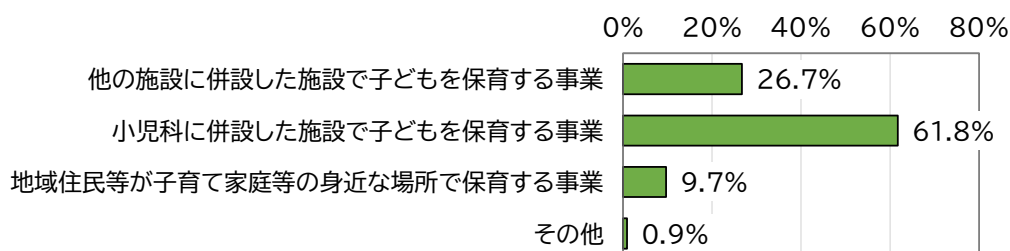
項目	度数	比率
1日～3日	99	45.6%
4日～7日	71	32.7%
8日～10日	34	15.7%
11日～20日	9	4.1%
21日～30日	4	1.8%
31日以上	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	217	100.0%

問 11-2 で、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」を選択した方にうかがいます。

問 11-3 子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか、当てはまる番号1つを選択してください。

子どもを預ける場合、望ましいと思う事業形態では、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 61.8%と最も多く、次いで「他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」が 26.7%となっています。

病児保育の利用したい事業



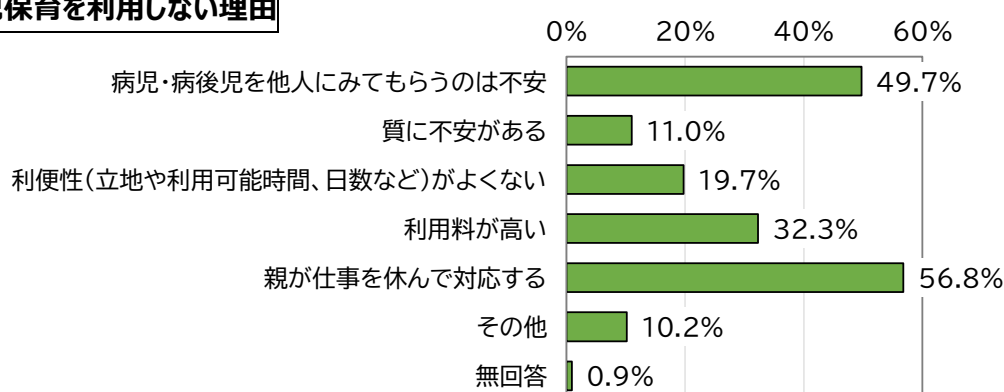
項目	度数	比率
他の施設(例: 幼稚園・保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業	58	26.7%
小児科に併設した施設で子どもを保育する事業	134	61.8%
地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(例: ファミリー・サポート・センター等)	21	9.7%
その他	2	0.9%
回答者数	217	100.0%

問 11-2 で、「利用したいとは思わない」を選択した方にうかがいます。

問 11-4 そう思われる理由について当てはまる番号すべてを選択してください。

利用したいとは思わない理由では、「親が仕事を休んで対応する」が 56.8%と最も多く、次いで「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が 49.7%となっています。

病児保育を利用しない理由



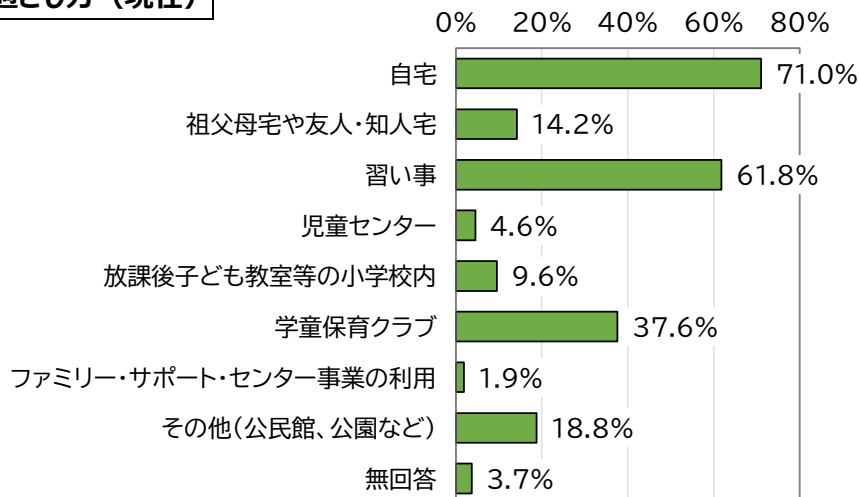
項目	度数	比率
病児・病後児を他人にみてもらうのは不安	479	49.7%
質に不安がある	106	11.0%
利便性(立地や利用可能時間、日数など)がよくない	190	19.7%
利用料が高い	311	32.3%
親が仕事を休んで対応する	547	56.8%
その他	98	10.2%
無回答	9	0.9%
回答者数	963	

⑥宛名のお子さんの放課後の過ごし方について

問 12 宛名のお子さんについて、平日のお子さんの放課後の過ごし方について、当てはまる番号すべてを選択してください。また、「放課後子ども教室等小学校内」、「学童保育クラブ」の場合には、利用時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず(例)18時のように24時間制でご記入ください(数字は一枠に一字)。

お子さんの放課後（平日の小学校終了後）の時間の過ごし方については、「自宅」が 71.0%と最も多く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が 61.8%、「学童保育クラブ」が 37.6%となっています。

放課後の過ごし方（現在）



項目	度数	比率
自宅	1,442	71.0%
祖父母宅や友人・知人宅	288	14.2%
習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	1,255	61.8%
児童センター	93	4.6%
放課後子ども教室※1等の小学校内	194	9.6%
学童保育クラブ※2	764	37.6%
ファミリー・サポート・センター事業※3の利用	38	1.9%
その他(公民館、公園など)	381	18.8%
無回答	75	3.7%
回答者数	2,031	

※1:「放課後子ども教室」:地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取り組みです。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

※2:「学童保育クラブ」:保護者が就労等により昼間家庭にいない場合(放課後や夏休み等)などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。

※3:「ファミリー・サポート・センター事業」:育児の援助を行う人と育児の援助を必要とする人が会員の登録をし、お子さんの一時預かりや保育施設の送迎等の相互援助活動を行う事業です。

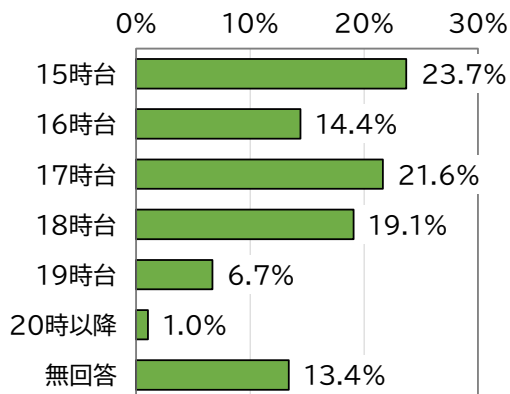
現在の利用日数

利用日数では、「自宅」では、「5日」が58.5%となっています。

項目(度数)	自宅	祖父母宅 や友人・知 人宅	習い事	児童セン ター	放課後子 ども教室 等の小学 校内	学童保育 クラブ	ファミ リー・サ ポート・セ ンター事業 の利用	その他(公 民館、公園 など)
1日	139	108	418	25	36	11	13	138
2日	171	67	429	24	53	41	9	128
3日	195	21	248	16	32	98	9	75
4日	92	19	92	7	15	109	4	16
5日	843	73	68	21	58	505	3	24
無回答	2	0	0	0	0	0	0	0
回答者数	1,442	288	1,255	93	194	764	38	381
項目(比率)	自宅	祖父母宅 や友人・知 人宅	習い事	児童セン ター	放課後子 ども教室 等の小学 校内	学童保育 クラブ	ファミ リー・サ ポート・セ ンター事業 の利用	その他(公 民館、公園 など)
1日	9.6%	37.5%	33.3%	26.9%	18.6%	1.4%	34.2%	36.2%
2日	11.9%	23.3%	34.2%	25.8%	27.3%	5.4%	23.7%	33.6%
3日	13.5%	7.3%	19.8%	17.2%	16.5%	12.8%	23.7%	19.7%
4日	6.4%	6.6%	7.3%	7.5%	7.7%	14.3%	10.5%	4.2%
5日	58.5%	25.3%	5.4%	22.6%	29.9%	66.1%	7.9%	6.3%
無回答	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
回答者数	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

現在の利用終了時間（放課後子ども教室）

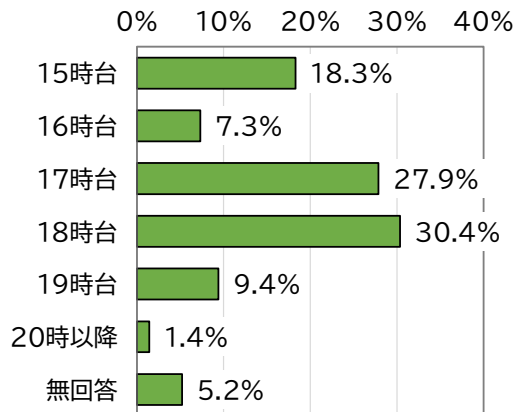
下校時から終了時間では、「15時台」が23.7%と最も多く、次いで「17時台」が21.6%、「18時台」が19.1%となっています。



項目	度数	比率
15時台	46	23.7%
16時台	28	14.4%
17時台	42	21.6%
18時台	37	19.1%
19時台	13	6.7%
20時以降	2	1.0%
無回答	26	13.4%
回答者数	194	100.0%

現在の利用終了時間（学童保育クラブ）

下校時から終了時間では、「18 時台」が 30.4%と最も多く、次いで「17 時台」が 27.9%、「15 時台」が 18.3%となっています。

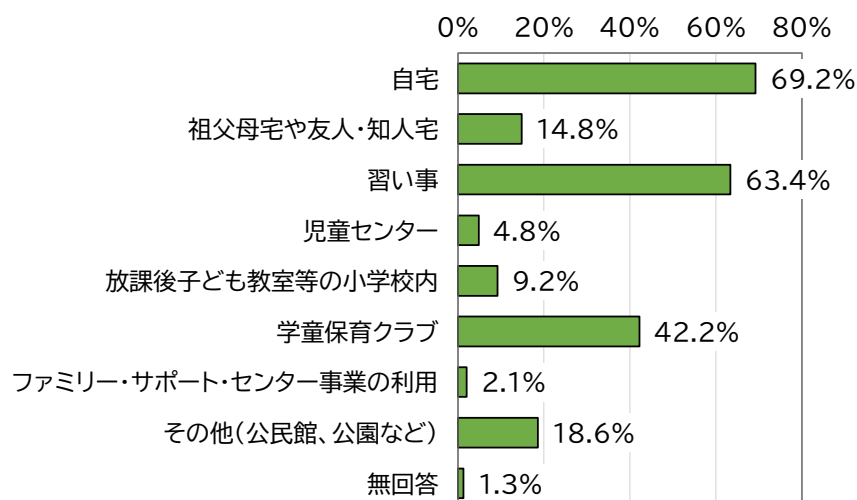


項目	度数	比率
15時台	140	18.3%
16時台	56	7.3%
17時台	213	27.9%
18時台	232	30.4%
19時台	72	9.4%
20時以降	11	1.4%
無回答	40	5.2%
回答者数	764	100.0%

※問 13、問 14 はすべての方にうかがいます。宛名のお子さんが設問の学年に当てはまらない場合も、「希望」としてお答えください。

問 13 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてを選択し、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後子ども教室等小学校内」、「学童保育クラブ」の場合には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。

小学校低学年（1～3年生）のうちの放課後（平日の小学校終了後）の時間の過ごし方については、「自宅」が69.2%と最も多く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が63.4%、「学童保育クラブ」が42.2%となっています。

放課後の過ごし方（低学年・希望）

項目	度数	比率
自宅	1,406	69.2%
祖父母宅や友人・知人宅	301	14.8%
習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	1,288	63.4%
児童センター	98	4.8%
放課後子ども教室等の小学校内	187	9.2%
学童保育クラブ	857	42.2%
ファミリー・サポート・センター事業の利用	42	2.1%
その他(公民館、公園など)	378	18.6%
無回答	27	1.3%
回答者数	2,031	

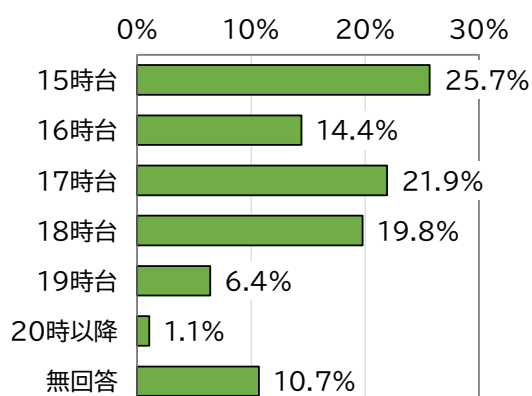
希望する利用日数（低学年）

利用日数では、「自宅」では、「5日」が61.0%となっています。

項目(度数)	自宅	祖父母宅 や友人・知 人宅	習い事	児童セン ター	放課後子 ども教室 等の小学 校内	学童保育 クラブ	ファミ リー・サ ポート・セ ンター事業 の利用	その他(公 民館、公園 など)
1日	164	121	445	30	37	17	16	151
2日	165	69	437	22	49	34	8	121
3日	151	18	246	11	28	101	10	67
4日	68	18	92	10	14	132	4	18
5日	858	75	68	25	59	573	4	21
回答者数	1,406	301	1,288	98	187	857	42	378
項目(比率)	自宅	祖父母宅 や友人・知 人宅	習い事	児童セン ター	放課後子 ども教室 等の小学 校内	学童保育 クラブ	ファミ リー・サ ポート・セ ンター事業 の利用	その他(公 民館、公園 など)
1日	11.7%	40.2%	34.5%	30.6%	19.8%	2.0%	38.1%	39.9%
2日	11.7%	22.9%	33.9%	22.4%	26.2%	4.0%	19.0%	32.0%
3日	10.7%	6.0%	19.1%	11.2%	15.0%	11.8%	23.8%	17.7%
4日	4.8%	6.0%	7.1%	10.2%	7.5%	15.4%	9.5%	4.8%
5日	61.0%	24.9%	5.3%	25.5%	31.6%	66.9%	9.5%	5.6%
回答者数	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

希望する終了時間（放課後子ども教室・低学年）

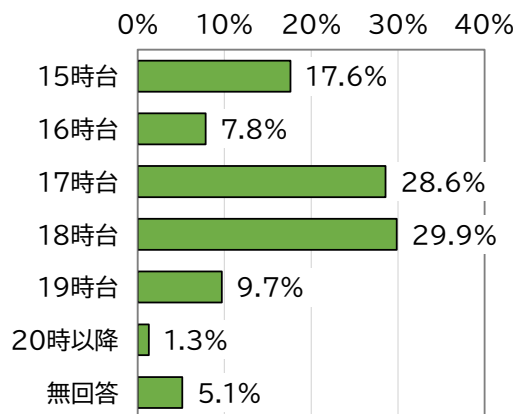
希望する下校時から終了時間では、「15 時台」が 25.7%と最も多く、次いで「17 時台」が 21.9%、「18 時台」が 19.8%となっています。



項目	度数	比率
15時台	48	25.7%
16時台	27	14.4%
17時台	41	21.9%
18時台	37	19.8%
19時台	12	6.4%
20時以降	2	1.1%
無回答	20	10.7%
回答者数	187	100.0%

希望する終了時間（学童保育クラブ・低学年）

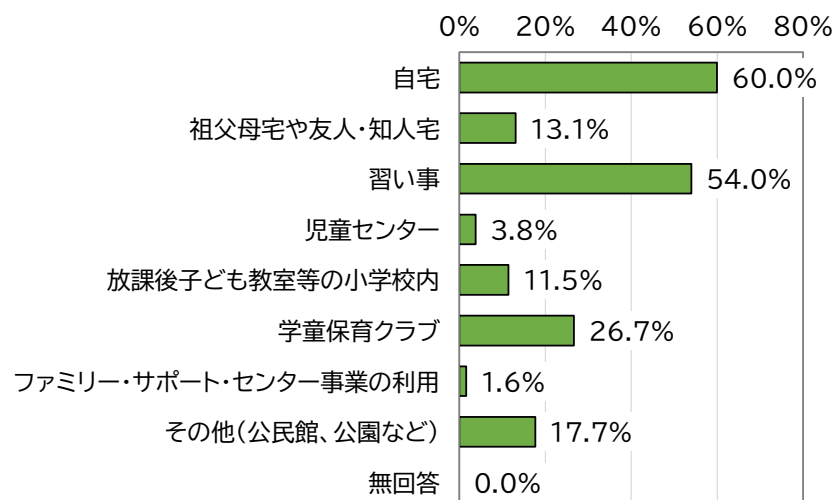
希望する下校時から終了時間では、「18 時台」が 29.9%と最も多く、次いで「17 時台」が 28.6%、「15 時台」が 17.6%となっています。



項目	度数	比率
15時台	151	17.6%
16時台	67	7.8%
17時台	245	28.6%
18時台	256	29.9%
19時台	83	9.7%
20時以降	11	1.3%
無回答	44	5.1%
回答者数	857	100.0%

問 14 宛名のお子さんについて、小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてを選択し、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後子ども教室等小学校内」、「学童保育クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず(例)18時のように24時間制でご記入ください(数字は一桁に一字)。

小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間の過ごし方については、「自宅」が 60.0%と最も多く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が 54.0%、「学童保育クラブ」が 26.7%となっています。

放課後の過ごし方（高学年・希望）

2 就学児童保護者調査

項目	度数	比率
自宅	1,218	60.0%
祖父母宅や友人・知人宅	266	13.1%
習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	1,096	54.0%
児童センター	78	3.8%
放課後子ども教室※1等の小学校内	233	11.5%
学童保育クラブ※2	542	26.7%
ファミリー・サポート・センター事業※3の利用	33	1.6%
その他(公民館、公園など)	359	17.7%
無回答	0	0.0%
回答者数	2,031	

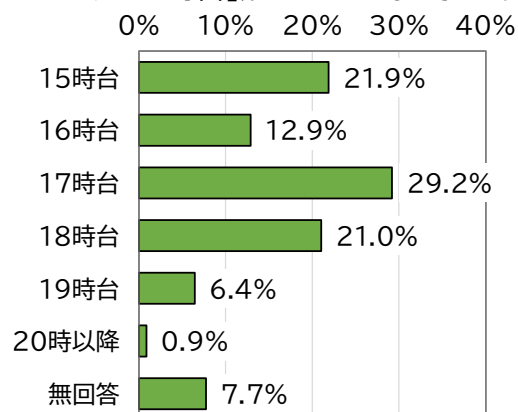
希望する利用日数（高学年）

利用日数では、「自宅」では、「5日」が 57.9%、「学童保育クラブ」では、「5日」が 58.9%となっています。

項目(度数)	自宅	祖父母宅 や友人・知 人宅	習い事	児童セン ター	放課後子 ども教室 等の小学 校内	学童保育 クラブ	ファミ リー・サ ポート・セ ンター事業 の利用	その他(公 民館、公園 など)
1日	105	103	324	26	46	12	14	113
2日	165	70	380	18	51	55	7	136
3日	186	21	242	18	54	92	4	71
4日	57	9	86	4	17	64	3	10
5日	705	63	64	12	65	319	5	29
回答者数	1,218	266	1,096	78	233	542	33	359
項目(比率)	自宅	祖父母宅 や友人・知 人宅	習い事	児童セン ター	放課後子 ども教室 等の小学 校内	学童保育 クラブ	ファミ リー・サ ポート・セ ンター事業 の利用	その他(公 民館、公園 など)
1日	8.6%	38.7%	29.6%	33.3%	19.7%	2.2%	42.4%	31.5%
2日	13.5%	26.3%	34.7%	23.1%	21.9%	10.1%	21.2%	37.9%
3日	15.3%	7.9%	22.1%	23.1%	23.2%	17.0%	12.1%	19.8%
4日	4.7%	3.4%	7.8%	5.1%	7.3%	11.8%	9.1%	2.8%
5日	57.9%	23.7%	5.8%	15.4%	27.9%	58.9%	15.2%	8.1%
回答者数	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

希望する終了時間（放課後子ども教室等・高学年）

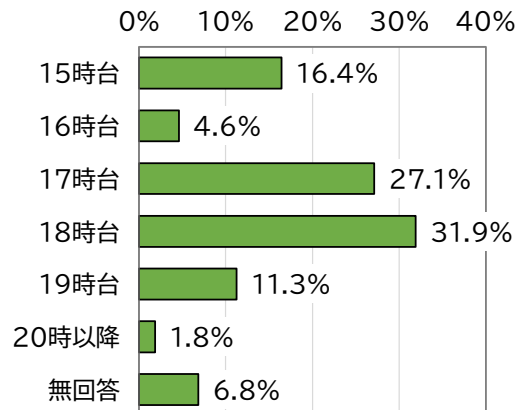
希望する下校時から終了時間では、「17 時台」が 29.2%と最も多く、次いで「15 時台」が 21.9%、「18 時台」が 21.0%となっています。



項目	度数	比率
15時台	51	21.9%
16時台	30	12.9%
17時台	68	29.2%
18時台	49	21.0%
19時台	15	6.4%
20時以降	2	0.9%
無回答	18	7.7%
回答者数	233	100.0%

希望する終了時間（学童保育クラブ・高学年）

希望する下校時から終了時間では、「18 時台」が 31.9%と最も多く、次いで「17 時台」が 27.1%、「15 時台」が 16.4%となっています。



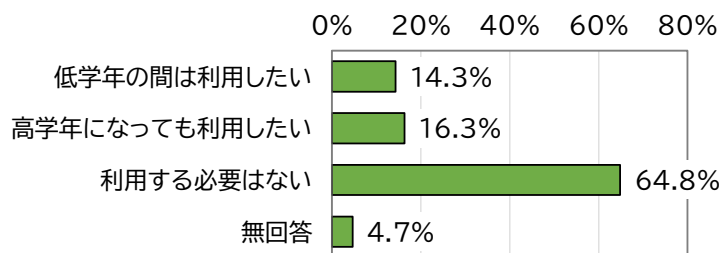
項目	度数	比率
15時台	89	16.4%
16時台	25	4.6%
17時台	147	27.1%
18時台	173	31.9%
19時台	61	11.3%
20時以降	10	1.8%
無回答	37	6.8%
回答者数	542	100.0%

問 13 または問 14 で、「学童保育クラブ」を回答した方にうかがいます。

問 15 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育クラブの利用希望はありますか。(1)(2)それぞれについて、当てはまる番号 1 つを選んでください。また利用したい時間帯を、□内に(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください(数字は一枠に一字)。

(1) 土曜日

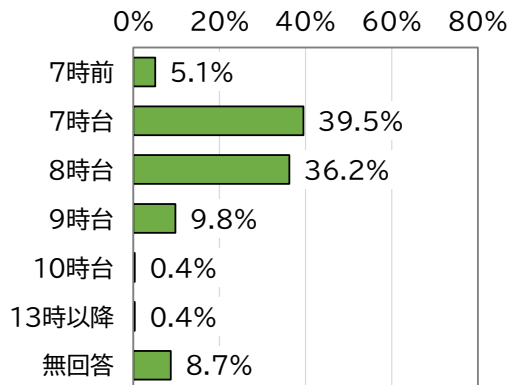
土曜日に、学童保育クラブの利用希望については、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が 14.3%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が 16.3%、「利用する必要はない」が 64.8%となっています。

学童保育クラブの利用希望（土曜日）

項目	度数	比率
低学年(1～3年生)の間は利用したい	129	14.3%
高学年(4～6年生)になっても利用したい	147	16.3%
利用する必要はない	585	64.8%
無回答	42	4.7%
回答者数	903	100.0%

希望する開始時間（土曜日）

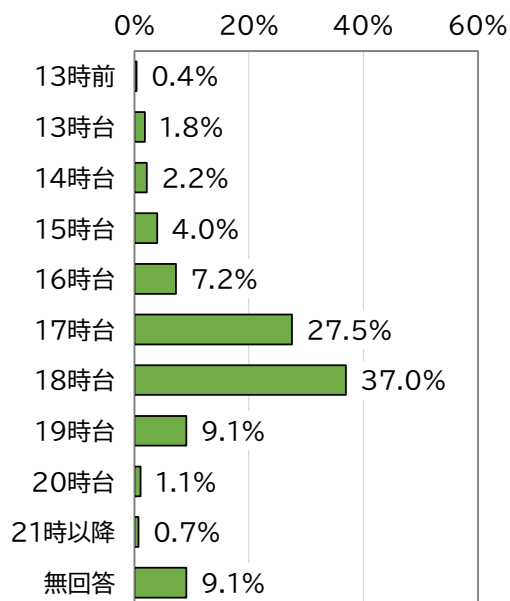
希望する開始時間では、「7 時台」が 39.5%と最も多く、次いで「8 時台」が 36.2%となっています。



項目	度数	比率
7時前	14	5.1%
7時台	109	39.5%
8時台	100	36.2%
9時台	27	9.8%
10時台	1	0.4%
13時以降	1	0.4%
無回答	24	8.7%
回答者数	276	100.0%

希望する終了時間（土曜日）

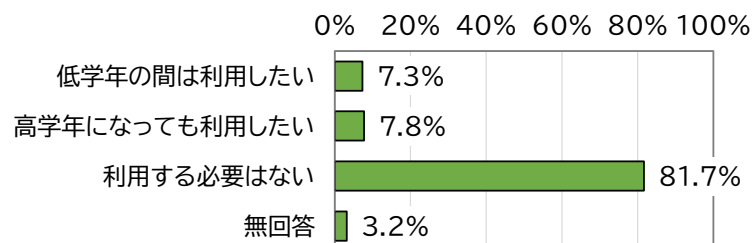
希望する開始時間では、「18 時台」が 37.0%と最も多く、次いで「17 時台」が 27.5%となっています。



項目	度数	比率
13時前	1	0.4%
13時台	5	1.8%
14時台	6	2.2%
15時台	11	4.0%
16時台	20	7.2%
17時台	76	27.5%
18時台	102	37.0%
19時台	25	9.1%
20時台	3	1.1%
21時以降	2	0.7%
無回答	25	9.1%
回答者数	276	100.0%

(2) 日曜日・祝日

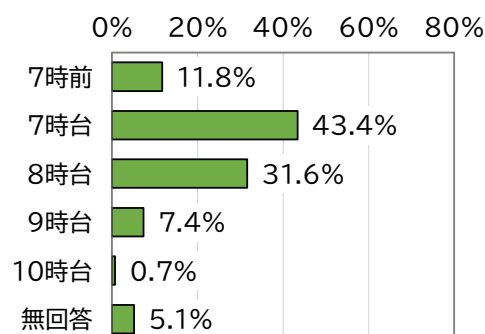
日曜日・祝日に、学童保育クラブの利用希望については、「低学年（１～３年生）の間は利用したい」が 7.3%、「高学年（４～６年生）になっても利用したい」が 7.8%、「利用する必要はない」が 81.7%となっています。

学童保育クラブの利用希望（日曜日・祝日）

項目	度数	比率
低学年(1～3年生)の間は利用したい	66	7.3%
高学年(4～6年生)になっても利用したい	70	7.8%
利用する必要はない	738	81.7%
無回答	29	3.2%
回答者数	903	100.0%

希望する開始時間（日曜日・祝日）

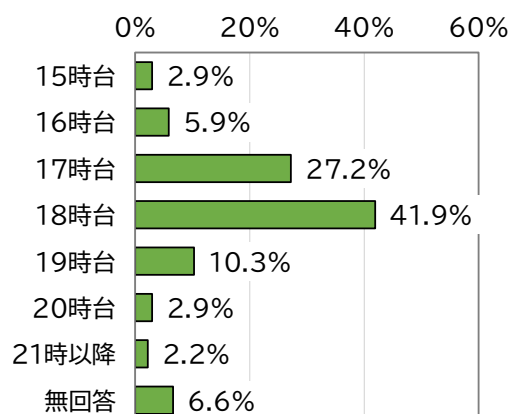
希望する開始時間では、「7 時台」が 43.4%と最も多く、次いで「8 時台」が 31.6%となっています。



項目	度数	比率
7時前	16	11.8%
7時台	59	43.4%
8時台	43	31.6%
9時台	10	7.4%
10時台	1	0.7%
無回答	7	5.1%
回答者数	136	100.0%

希望する終了時間（日曜日・祝日）

希望する終了時間では、「18 時台」が 41.9%と最も多く、次いで「17 時台」が 27.2%となっています。

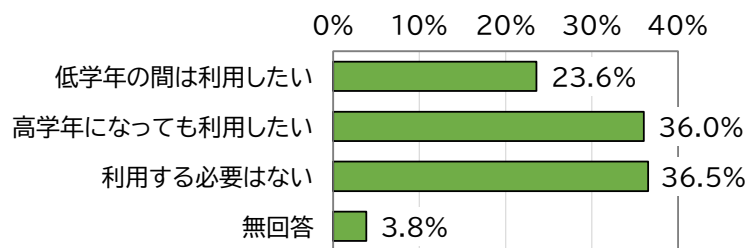


項目	度数	比率
15時台	4	2.9%
16時台	8	5.9%
17時台	37	27.2%
18時台	57	41.9%
19時台	14	10.3%
20時台	4	2.9%
21時以降	3	2.2%
無回答	9	6.6%
回答者数	136	100.0%

問 16 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休み期間中の学童保育クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号 1 つを選んでください。また利用したい時間帯を、□内に(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください(数字は一桁に一字)。

夏休み・冬休みなどの長期の休み期間中の学童保育クラブの利用希望については、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が23.6%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が36.0%、「利用する必要はない」が36.5%となっています。

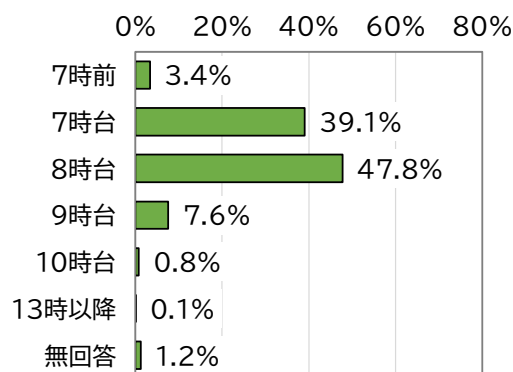
学童保育クラブの利用希望（長期の休み期間中）



項目	度数	比率
低学年(1～3年生)の間は利用したい	479	23.6%
高学年(4～6年生)になっても利用したい	732	36.0%
利用する必要はない	742	36.5%
無回答	78	3.8%
合計	2,031	100.0%

希望する開始時間（長期の休み期間中）

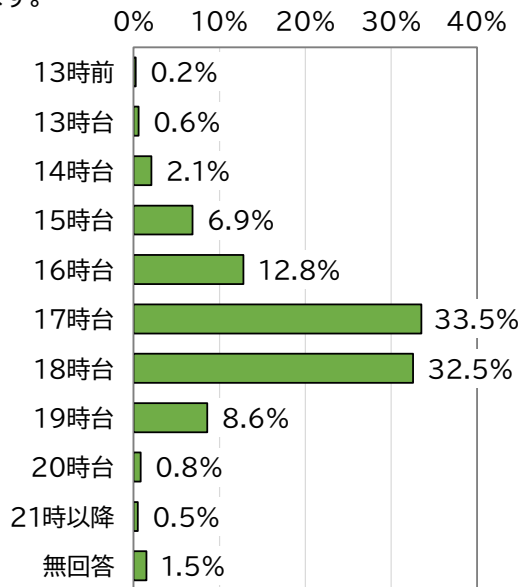
希望する開始時間では、「8時台」が47.8%と最も多く、次いで「7時台」が39.1%となっています。



項目	度数	比率
7時前	41	3.4%
7時台	473	39.1%
8時台	579	47.8%
9時台	92	7.6%
10時台	10	0.8%
13時以降	1	0.1%
無回答	15	1.2%
回答者数	1,211	100.0%

希望する終了時間（長期の休み期間中）

希望する終了時間では、「17 時台」が 33.5%と最も多く、次いで「18 時台」が 32.5%となっています。

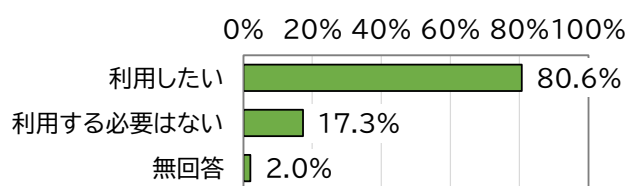


項目	度数	比率
13時前	3	0.2%
13時台	7	0.6%
14時台	25	2.1%
15時台	83	6.9%
16時台	155	12.8%
17時台	406	33.5%
18時台	394	32.5%
19時台	104	8.6%
20時台	10	0.8%
21時以降	6	0.5%
無回答	18	1.5%
回答者数	1,211	100.0%

問 17 宛名のお子さんについて、保護者の就労している、就労していないに関わらず、児童が放課後等に大人の目に見守られて安全に過ごせる居場所が小学校にあったら、利用したいですか。それぞれについて、当てはまる番号 1 つを選んでください。また、利用したい場合は、希望する週当たり日数、利用したい時間帯を、□内に(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください(数字は一枠に一字)。

(1) 平日（月曜日から金曜日）

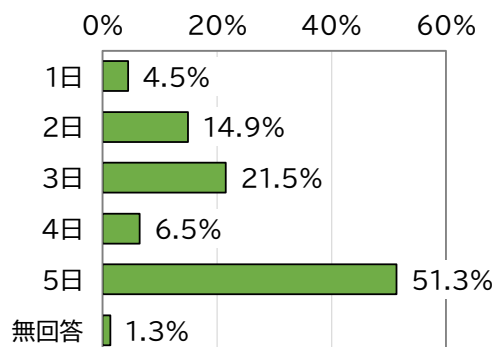
平日の利用の有無は、「利用したい」が 80.6%、「利用する必要はない」が 17.3%となっています。

小学校の居場所利用の有無（平日の放課後）

項目	度数	比率
利用したい	1,638	80.6%
利用する必要はない	352	17.3%
無回答	41	2.0%
合計	2,031	100.0%

希望する利用日数（平日の放課後）

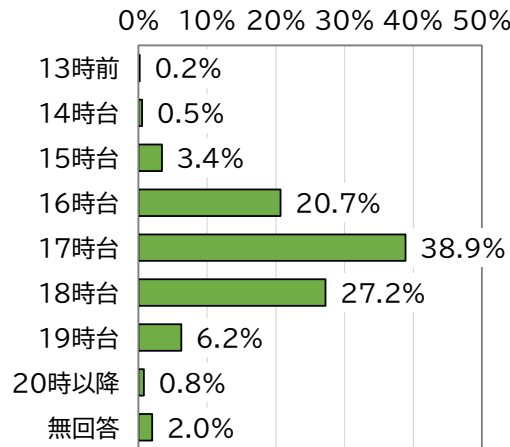
平日の希望する利用日数は、「5 日」が 51.3%と最も多くなっています。



項目	度数	比率
1日	73	4.5%
2日	244	14.9%
3日	352	21.5%
4日	106	6.5%
5日	841	51.3%
無回答	22	1.3%
回答者数	1,638	100.0%

希望する終了時間（平日の放課後）

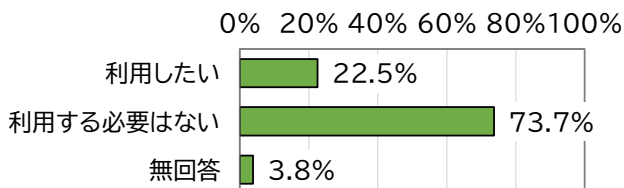
平日の希望する下校時から終了時間は、「17 時台」が 38.9%と最も多く、次いで「18 時台」が 27.2%、「16 時台」が 20.7%となっています。



項目	度数	比率
13時前	3	0.2%
14時台	9	0.5%
15時台	56	3.4%
16時台	339	20.7%
17時台	637	38.9%
18時台	446	27.2%
19時台	102	6.2%
20時以降	13	0.8%
無回答	33	2.0%
回答者数	1,638	100.0%

（２）土曜日

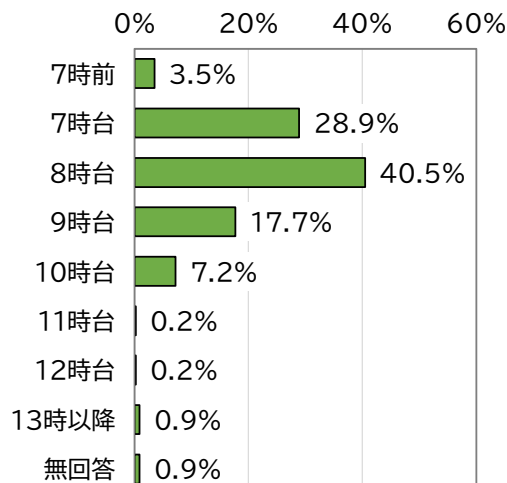
土曜日の利用の有無は、「利用したい」が 22.5%、「利用する必要はない」が 73.7%となっています。

小学校の居場所利用の有無（土曜日）

項目	度数	比率
利用したい	457	22.5%
利用する必要はない	1,496	73.7%
無回答	78	3.8%
合計	2,031	100.0%

希望する開始時間（土曜日）

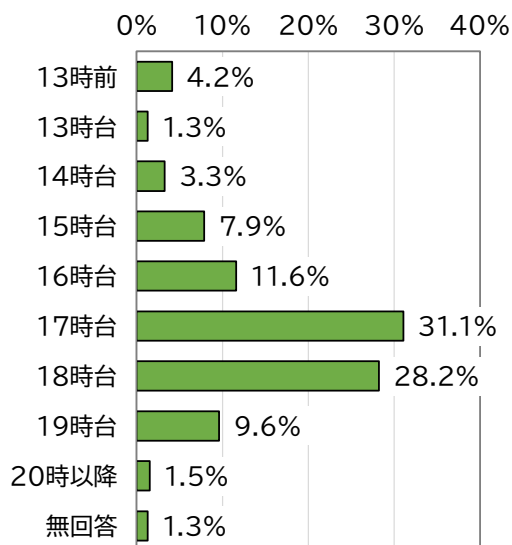
土曜日の希望する開始時間は、「8 時台」が 40.5%と最も多く、次いで「7 時台」が 28.9%となっています。



項目	度数	比率
7時前	16	3.5%
7時台	132	28.9%
8時台	185	40.5%
9時台	81	17.7%
10時台	33	7.2%
11時台	1	0.2%
12時台	1	0.2%
13時以降	4	0.9%
無回答	4	0.9%
回答者数	457	100.0%

希望する終了時間（土曜日）

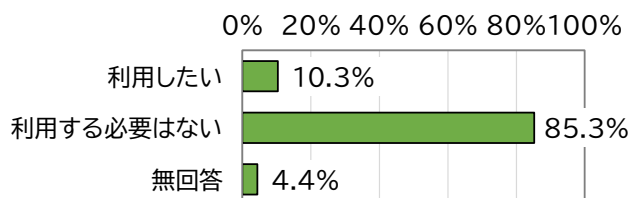
土曜日の希望する終了時間は、「17 時台」が 31.1%と最も多く、次いで「18 時台」が 28.2%となっています。



項目	度数	比率
13時前	19	4.2%
13時台	6	1.3%
14時台	15	3.3%
15時台	36	7.9%
16時台	53	11.6%
17時台	142	31.1%
18時台	129	28.2%
19時台	44	9.6%
20時以降	7	1.5%
無回答	6	1.3%
回答者数	457	100.0%

（3）日曜日・祝日

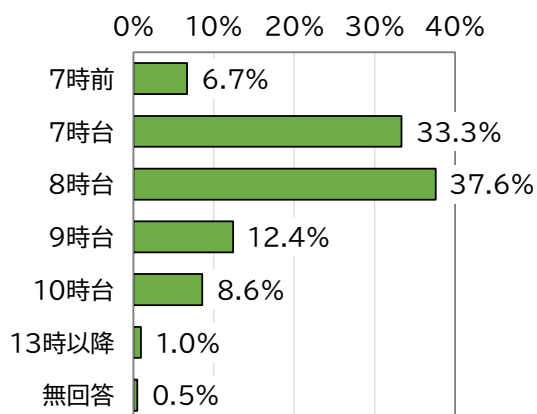
日曜日・祝日の利用の有無は、「利用したい」が 10.3%、「利用する必要はない」が 85.3%となっています。

小学校の居場所利用の有無（日曜日・祝日）

項目	度数	比率
利用したい	210	10.3%
利用する必要はない	1,732	85.3%
無回答	89	4.4%
合計	2,031	100.0%

希望する開始時間（日曜日・祝日）

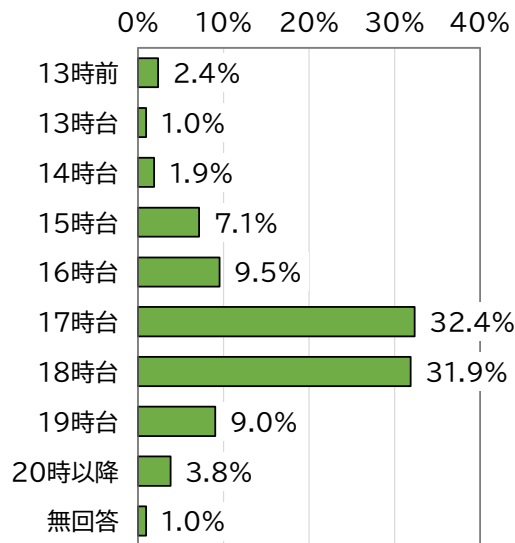
日曜日・祝日の希望する開始時間は、「8 時台」が 37.6%と最も多く、次いで「7 時台」が 33.3%となっています。



項目	度数	比率
7時前	14	6.7%
7時台	70	33.3%
8時台	79	37.6%
9時台	26	12.4%
10時台	18	8.6%
13時以降	2	1.0%
無回答	1	0.5%
回答者数	210	100.0%

希望する終了時間（日曜日・祝日）

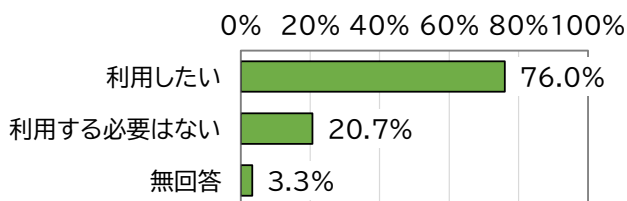
日曜日・祝日の希望する終了時間は、「17 時台」が 32.4%、「18 時台」が 31.9%となっています。



項目	度数	比率
13時前	5	2.4%
13時台	2	1.0%
14時台	4	1.9%
15時台	15	7.1%
16時台	20	9.5%
17時台	68	32.4%
18時台	67	31.9%
19時台	19	9.0%
20時以降	8	3.8%
無回答	2	1.0%
回答者数	210	100.0%

（４）長期の休み期間中（夏休み・冬休みなど）

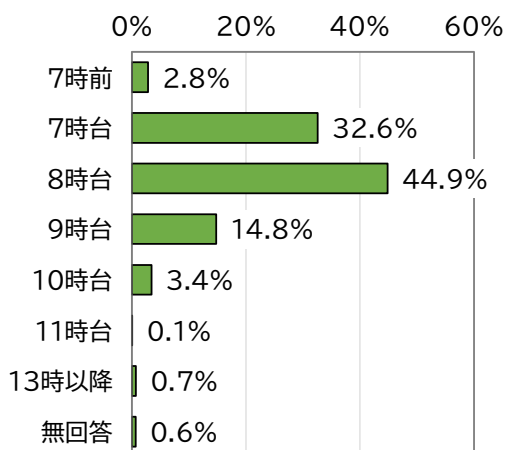
長期の休み期間中（夏休み・冬休みなど）の利用の有無は、「利用したい」が 76.0%、「利用する必要はない」が 20.7%となっています。

小学校の居場所利用の有無（長期の休み期間中）

項目	度数	比率
利用したい	1,544	76.0%
利用する必要はない	420	20.7%
無回答	67	3.3%
合計	2,031	100.0%

希望する開始時間（長期の休み期間中）

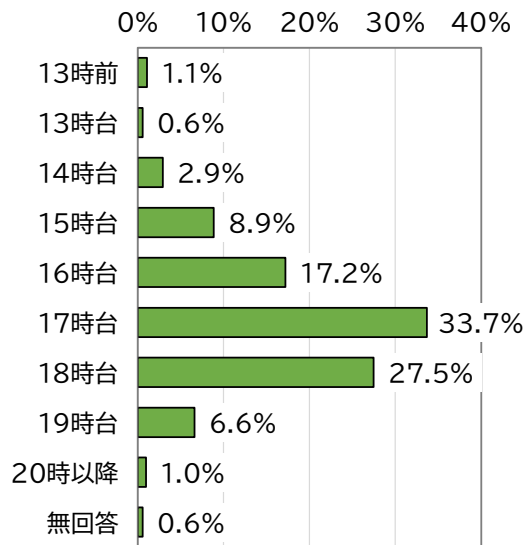
長期の休み期間中（夏休み・冬休みなど）の希望する開始時間は、「8 時台」が 44.9%と最も多く、次いで「7 時台」が 32.6%となっています。



項目	度数	比率
7時前	44	2.8%
7時台	503	32.6%
8時台	693	44.9%
9時台	229	14.8%
10時台	53	3.4%
11時台	1	0.1%
13時以降	11	0.7%
無回答	10	0.6%
回答者数	1,544	100.0%

希望する終了時間（長期の休み期間中）

長期の休み期間中（夏休み・冬休みなど）の希望する終了時間は、「17 時台」が 33.7%と最も多く、次いで「18 時台」が 27.5%となっています。

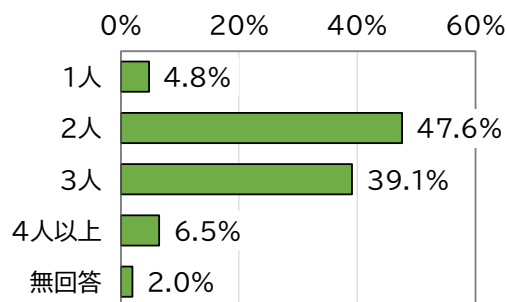


項目	度数	比率
13時前	17	1.1%
13時台	9	0.6%
14時台	45	2.9%
15時台	137	8.9%
16時台	266	17.2%
17時台	520	33.7%
18時台	424	27.5%
19時台	102	6.6%
20時以降	15	1.0%
無回答	9	0.6%
回答者数	1,544	100.0%

⑦すべての方に、子育て支援等について

問 18 あなたにとっての理想のお子さんの人数をお答えください。当てはまる番号 1 つを選んでください。

理想のお子さんの人数は、「2 人」が 47.6%、「3 人」が 39.1%となっています。

理想のお子さんの人数

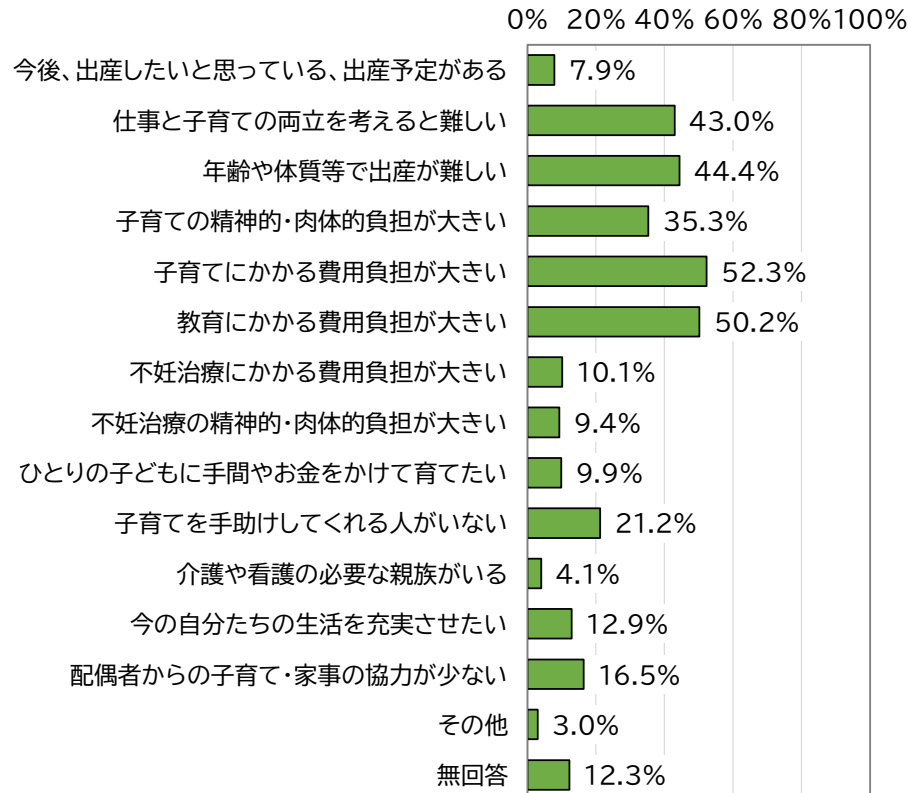
項目	度数	比率
1人	97	4.8%
2人	967	47.6%
3人	795	39.1%
4人以上	132	6.5%
無回答	40	2.0%
合計	2,031	100.0%

問 18 で、理想のお子さんの人数より現実のお子さんの人数が少ない方にうかがいます。

問 18-1 その理由を次のうちからお答えください。当てはまる番号すべてを選択してください。

理想のお子さんの人数より現実のお子さんの人数が少ない理由では、「子育てにかかる費用負担が大きい」が 52.3%と最も多く、次いで「教育にかかる費用負担が大きい」が 50.2%、「年齢や体質等で出産が難しい」が 44.4%、「仕事と子育ての両立を考えると難しい」が 43.0%となっています。

理想よりお子さんが少ない理由



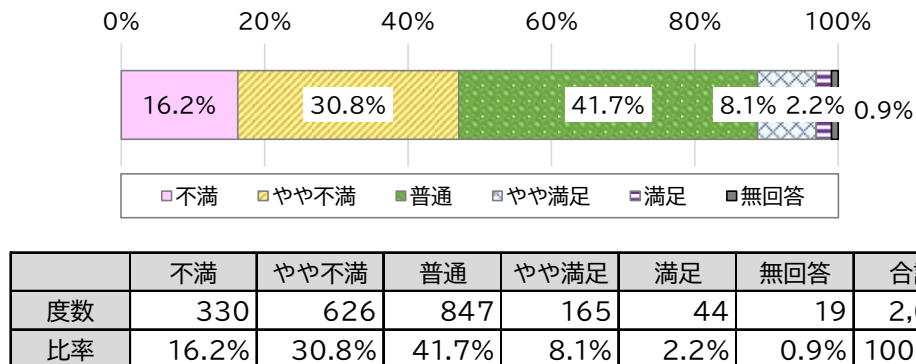
項目	度数	比率
今後、出産したいと思っている、出産予定がある	60	7.9%
仕事と子育ての両立を考えると難しい	326	43.0%
年齢や体質等で出産が難しい	337	44.4%
子育ての精神的・肉体的負担が大きい	268	35.3%
子育てにかかる費用負担が大きい	397	52.3%
教育にかかる費用負担が大きい	381	50.2%
不妊治療にかかる費用負担が大きい	77	10.1%
不妊治療の精神的・肉体的負担が大きい	71	9.4%
ひとりの子どもに手間やお金をかけて育てたい	75	9.9%
子育てを手助けしてくれる人がいない	161	21.2%
介護や看護の必要な親族がいる	31	4.1%
今の自分たちの生活を充実させたい	98	12.9%
配偶者からの子育て・家事の協力が少ない	125	16.5%
その他	23	3.0%
無回答	93	12.3%
回答者数	759	

問 19 小山市における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号 1 つを選んでください。

小山市における子育ての環境や支援への満足度については、「やや満足」「満足」を合わせた『満足』は、10.3%となっています。

一方、「不満」「やや不満」を合わせた『不満』は、47.0%となっています。また、「普通」は、41.7%となっています。

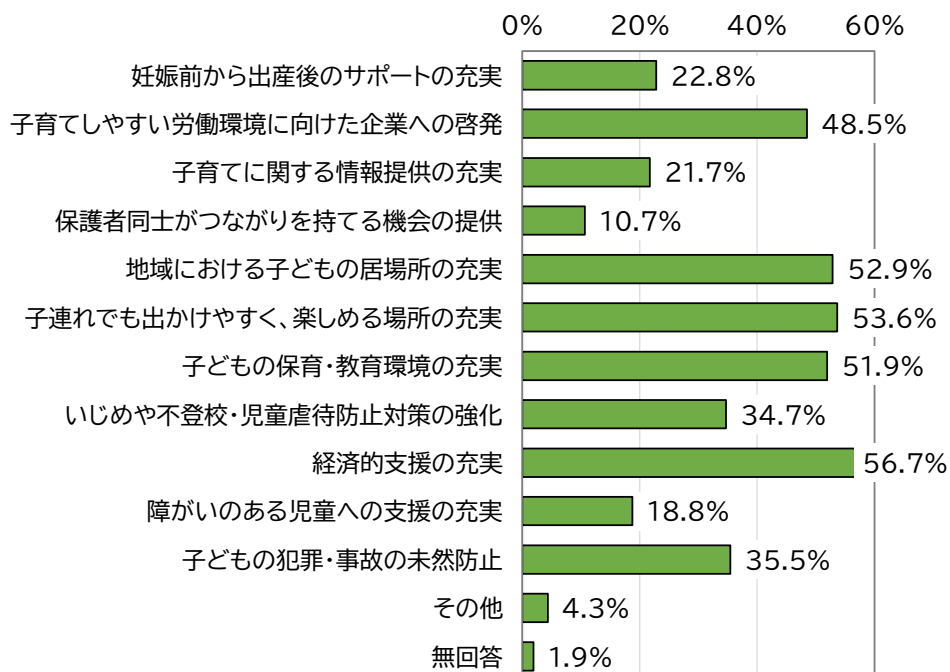
小山市の子育て環境の満足度



問 20 子育てをするうえで、どのような支援の充実を図ってほしいですか。当てはまる番号すべてを選択してください。

子育てをするうえで、充実を図ってほしい支援は、「経済的支援の充実」が 56.7%と最も多く、次いで「子連れでも出かけやすく、楽しめる場所の充実」が 53.6%、「地域における子どもの居場所の充実」が 52.9%となっています。

充実して欲しい子育ての支援



項目	度数	比率
妊娠前から出産後のサポートの充実	463	22.8%
子育てしやすい労働環境に向けた企業への啓発	985	48.5%
子育てに関する情報提供の充実	441	21.7%
保護者同士がつながりを持てる機会の提供	217	10.7%
地域における子どもの居場所の充実	1,074	52.9%
子連れでも出かけやすく、楽しめる場所の充実	1,089	53.6%
子どもの保育・教育環境の充実	1,055	51.9%
いじめや不登校・児童虐待防止対策の強化	705	34.7%
経済的支援の充実	1,151	56.7%
障がいのある児童への支援の充実	381	18.8%
子どもの犯罪・事故の未然防止	720	35.5%
その他	88	4.3%
無回答	39	1.9%
回答者数	2,031	

問 21 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

記述をカテゴリに分け、件数をカウントしました。総件数は 560 件、その内学童、放課後児童、児童館についての意見が 169 件、経済的・金銭的支援、補助金などが 105 件となっています。

カテゴリ	件数
学童、放課後児童、児童館について	169
経済的・金銭的支援、補助金について	105
公園、遊び場、居場所、安全について	90
土日、長期休暇について	43
子育て支援、ひとり親支援について	42
教育・保育、預かりについて	38
小学校、中学校、スクールバスについて	33
病院、病児病後児、検診、健診について	21
仕組みづくりについて	7
いじめ、虐待について	8
アンケートについて	6
その他	44
回答者数	560

【自由記述おもな内容】

学童、放課後児童、児童館について

- 学童の先生がかなり少ない。人手不足により、長期休みのみの学童利用ができない状態。仕事も休めない、でも預ける場所もない。改善してほしい
- 学童クラブの預かり時間をもっと延長してほしい。
- 学童保育でのいじめが多い。また、学童保育の値段が上がっているが、質が下がっていている。学校も働き方改革と言って、先生達が親身になってくれなくなった
- 学校の空き教室を有効活用して学童保育を作ることができればありがたいなと思いました
- 学童保育についてですが、朝 7 時から預けてもらえるとうごく助かります。長期休みのみ、割高になって

もいいいので学童で預かってもらえるようになったら助かります

経済的・金銭的支援、補助金について

- 今の国の支援では子育て世帯が大変なだけなので、小山市で何か出来る支援があったらいいと思う。給料は大して上がらないのに出費だけが増えていく
- 教育、育児お金がかかります。3 人大学まで奨学金なしで出せる程余裕がある家は少ない！！ぜひ大学まで補助を！！
- 小山市は子供の人数が多いのにも関わらず、小児科、安全に遊べる場所や施設、子育て支援の制度、補助金など、さまざまな面で不足していて、子育てしにくいと日頃から思っています
- インフルエンザ予防接種及び給食費の無料化
- 学童費用を控除対象にするなどして欲しい。子どもの預かり費用の負担が大きい。働いても学童費用などで消えてしまい全然稼げない

公園、遊び場、居場所、安全について

- 安全で地域で見守れる、遊具の充実した公園が増えるとありがたいと思います
- 就労のため、小学生の子の下校時から長期休みの居場所が少ないので増やして欲しい
- 公園で遊ぶ際、ボール遊びができる公園が少なすぎる。(昔はどこでも遊べたのに)
- 登下校で使用する横断歩道に信号機をつけて欲しいです。車の通りが多く、児童が待っていても停車せず、スピードを出している運転手も多いためとても危なく感じます
- 雨でも遊べる所が増えると良いと思います

土日、長期休暇について

- 普段、学童を利用していなくても、夏休み等の長期休みだけ利用可能にしてほしい
- 学童の長期休暇のみの預かりを実施して欲しい。学童の土曜日、祝日のみの預かりを実施して欲しい
- 祝日も預かってくれるところがほしい
- 親の就労に関わらず、子供が放課後や長期休みに過ごせる場所があると嬉しいです
- 夏休みなどの長期休暇の預け先を増やして欲しい。現在預けてるところがすぐいっぱいになってしまうので、シフトが出てから申し込むと頼めないことが多い。留守番させておくと、心配なことも多い

子育て支援、ひとり親支援について

- 児童館や子育て支援センターなどが近隣にないため、子ども達が遊べてなおかつ孤独に感じやすい母親のための場所を作してほしい
- ひとり親のために、子ども食堂を増やして欲しい
- 発達障害の子育て支援（自宅）が受けられるようにしてほしい
- ひとり親の家庭や、経済的に厳しい家庭でも、子供の幸せがあたり前に確保できるようになってほしいです
- 同じ子育てでも周りに友達や両親のサポートがある夫婦がいれば、転勤等の理由で友達や両親が近くにいない夫婦もいます。市の子育て支援情報は前者の方にばかり情報がいき、後者は子育てで精一杯の為調べる余裕がありません。色んな子育てがあります。その人にあった色んな支援があってもいいのではないのでしょうか

教育・保育、預かりについて

- 私は小山在住で、職場が筑西市です。そっちに向かう方面の保育所、保育園が増えてほしいです。それか預けられる時間が7時から18:30など、長くして欲しいです
- 現在の小山市の保育環境は子どもの個性を認めていない状態なので今後修正して差別のない子育て環境にし、子育て世帯全てが安心して暮らすことの出来る町になってもらいたい
- 預かりの時間が短い。都内勤務でフル勤務だとお迎えが厳しい

- 就活しながら保育園利用が出来るようにして欲しい
- 保育士不足。働きたい意志があっても、子育てとの両立(子どもの看護や子どもは元気でもクラスが学級閉鎖などで休暇を取らなくてはならないことあり休暇が足りないなど、両立が難しい)

小学校、中学校、スクールバスについて

- 小学校をはじめ老朽化が気になります。耐震工事等はされていると思いますが、トイレは全面洋式、二重サッシまたは気密性の高い窓口など、昨今の気候や子供達の健康面、精神面への配慮がもっと必要だと思います。高齢者に比べてかける予算が少ないと思います
- 中高一貫校の入学枠を多くしてほしい。情報を早めに教えて頂きたい
- スクールバスが欲しい
- 中学校の学区を柔軟に、または拡大してほしい
- 学校のトイレを全部洋式にし、体育館にエアコンをつけてください

病院、病児病後児、検診、健診について

- ここ 2、3 年、かかりつけの小児科を受診したい時に予約が取れません。なんとか予約のいらない自宅から離れた他の遠い小児科を探して受診すると、かかりつけじゃないところにあまり来ないで欲しいと言われてしまうので、こちらとしても不満に思います
- 夜間救急の小児科が無いのが不便。電話して問い合わせても診られない。と断られた。(小児科の先生が居ない為、発熱している為)
- 病気、不登校になった際のサポートが弱く、親の負担が大きい
- 夜間、祝日の小児医療が不十分
- 健診(特に二次健診)後のフォロー体制をもう少し充実させてほしいです。市(保健師等)と園、療育・医療機関等の連携をもう少し図れないのだろうか、実際に経験して思いました。保護者が全て動かなければならず、それぞれの機関に 1 から説明しなければならず、困惑しました

仕組みづくりについて

- 母親を働きやすくして欲しい
- ランダムに発生する送迎のために待機する必要がなくなるので働きたい親の就労も促されると考えます
- 3 人以上育てている家庭(少子化対策に充分貢献している家庭)をもっと優遇する制度があると、子供が多くても安心して育てられると思う
- 特色のある学校が少ない。学力の向上に努めてほしい
- 先生の負担が大きような気がします。低学年のうちはサポートの人数を増やしてほしいです

いじめ、虐待について

- 産後ケアが全く充実しておらず、重要案件から対応なのか、鬱、虐待傾向が放置状態でした
- 「いじめ」のニュースが後をたたく、その度に、教育委員会は他人事のように形式的な会見を開いていると感じています。自分事、自分の子どもが被害に遭っていたら、と考え、日々業務に取り組み、いじめの無い学校にしてほしい
- 小学生ですが、昔ではいなかったような意地悪な子がクラスに必ず一人はいるので心配になることがあります
- いじめはもちろんいじめに繋がりがねないからかいの段階での加害者へのカウンセリング、叱るだけでは問題解決しないので、担任の他にそういう話出来る専門家が学校に常駐してほしい

アンケートについて

- このアンケート用紙が封筒に入っていたが、税金の無駄では？プリント 1 枚で済むのに、封筒代と封筒に入れる作業代が無駄。その分子育てに役立てて！
- こうしたアンケート結果が何に活かされ、どのように検討改善されたかのフィードバックを直接実施いたきたい。さまざまな場面で SNS 等での一歩的な配信や紙面でのフィードバックではなく、子どもにもわか

るよう言葉で伝えていただきたい。これを入力している時間が無駄にならないようにお願いします

- このアンケート内容とは関係ありませんが、ネット回答なのに、アンケート依頼書類を丁寧に封筒にまで入れて配布する必要性ないと思います。経費削減して下さい
- このアンケートが送られてきただけで、少し救われます。このあとの行政、期待しています
- 転勤族で県内を何ヶ所か引っ越ししましたが、子どもを育てるには小山市が 1 番大変さを感じました。人口が多い市なのになぜだろう。このようなアンケートを通じて安心して子育て、そして子どもが成長していけたらと願っています。アンケートの学校への配布はとても良いが、学校で配布するなら、封筒に入れなくても良いと思います

その他

- 駅周辺だけ充実していて、田舎には少ない
- 発達障がいの子を持つ親の情報交換、交流の場をもっと増やして欲しい
- 教員に何もかも押し付けない。教員、保護者、子どもを追い詰めない。小山市に限らず結局そこだと思う
- 不登校児の対応の負担が全て母親にくる。どうにかしてほしい
- オンラインによる日本語、英語の語学学習

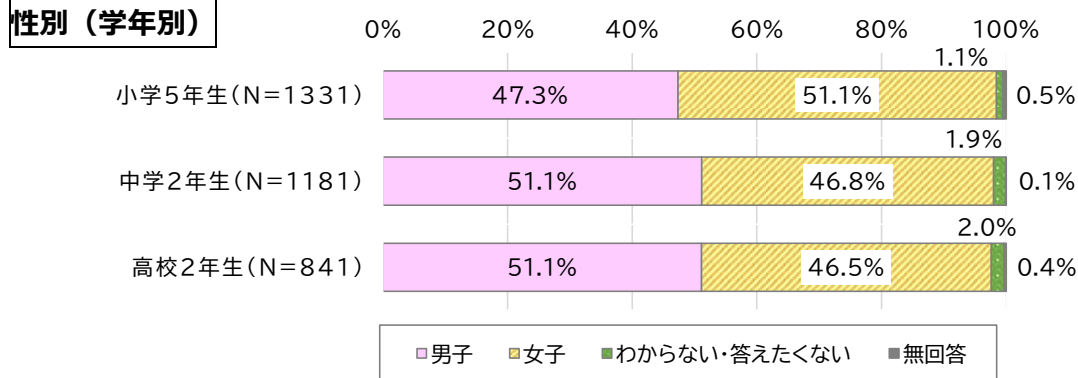
3 小学5年生調査・中学2年生調査・高校生調査

※問番号は、小学生調査を基本としています。【中学生・高校生のみ】、【高校生のみ】の設問があります。

①はじめに、あなた自身のことについておたずねします

問1 あなたの性別を教えてください。(あてはまる番号1つを選んでください)

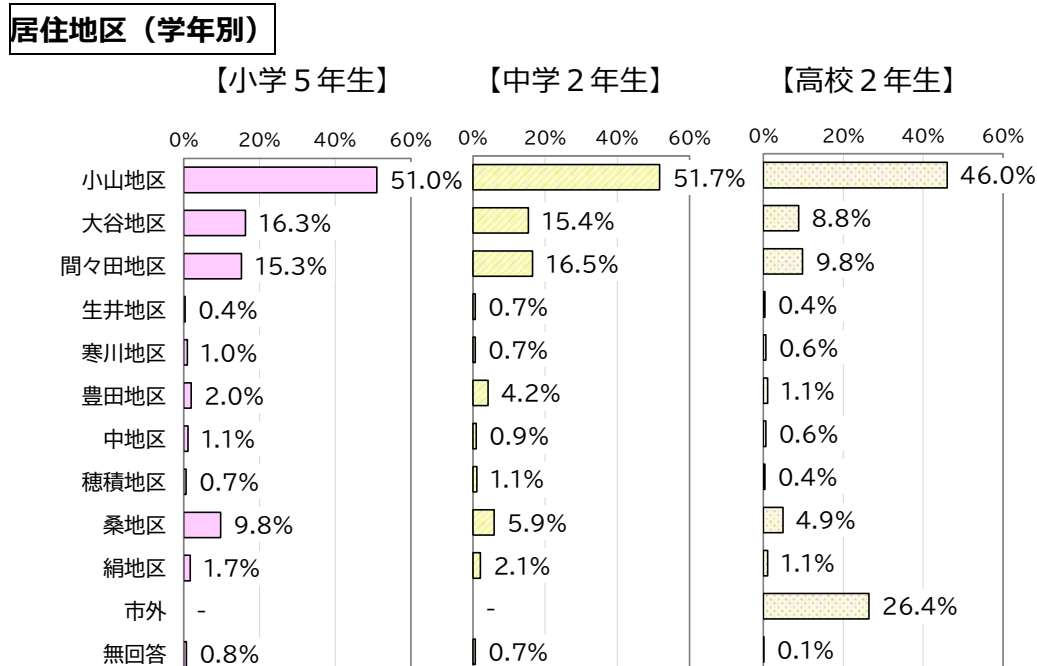
性別については、小学生でやや「女子」が多く、中学生、高校生では、「男子」が多くなっています。



項目(度数)	男子	女子	わからない・答えたくない	無回答	合計
小学5年生	630	680	14	7	1,331
中学2年生	604	553	23	1	1,181
高校2年生	430	391	17	3	841
項目(比率)	男子	女子	わからない・答えたくない	無回答	合計
小学5年生(n=1331)	47.3%	51.1%	1.1%	0.5%	100.0%
中学2年生(n=1181)	51.1%	46.8%	1.9%	0.1%	100.0%
高校2年生(n=841)	51.1%	46.5%	2.0%	0.4%	100.0%

問2 現在お住いの地区を教えてください。(あてはまる番号1つを選んでください)

お住いの地区は、高校生で「市外」がいるため、他の地区で少なくなっています。



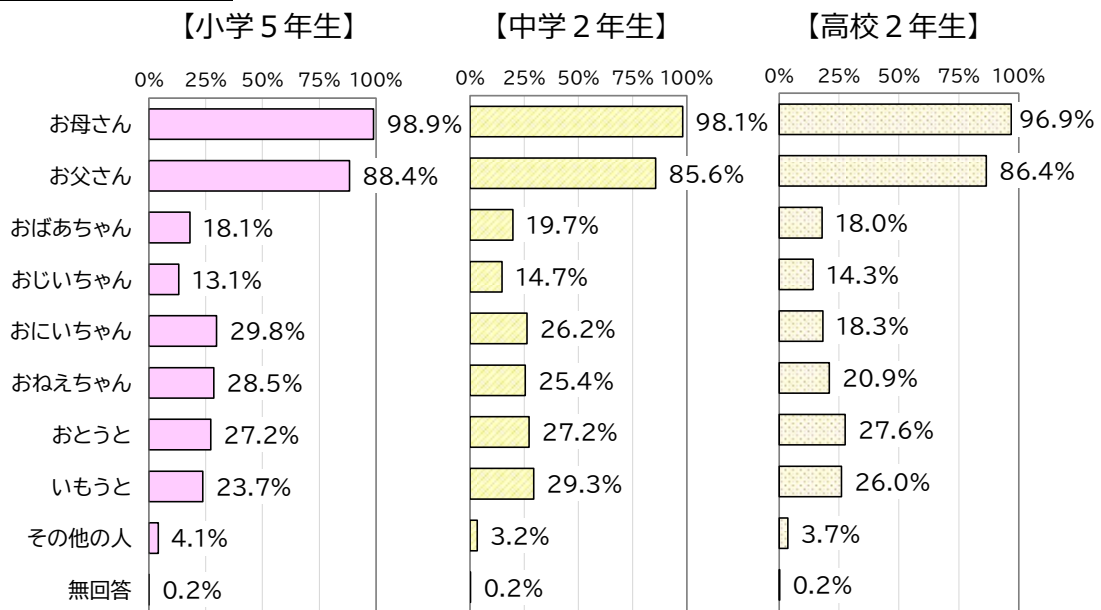
3 小学5年生調査・中学2年生調査・高校2年生調査

項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率
小山地区	679	51.0%	611	51.7%	387	46.0%
大谷地区	217	16.3%	182	15.4%	74	8.8%
間々田地区	203	15.3%	195	16.5%	82	9.8%
生井地区	5	0.4%	8	0.7%	3	0.4%
寒川地区	13	1.0%	8	0.7%	5	0.6%
豊田地区	27	2.0%	50	4.2%	9	1.1%
中地区	15	1.1%	11	0.9%	5	0.6%
穂積地区	9	0.7%	13	1.1%	3	0.4%
桑地区	130	9.8%	70	5.9%	41	4.9%
絹地区	23	1.7%	25	2.1%	9	1.1%
市外	-	-	-	-	222	26.4%
無回答	10	0.8%	8	0.7%	1	0.1%
回答者数	1,331	100.0%	1,181	100.0%	841	100.0%

問3 一緒に住んでいる家族を教えてください。(あてはまる番号すべてを選択してください)

それぞれ、「お母さん」が最も多く、次いで「お父さん」が多くなっています。

同居家族（学年別）



項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率
お母さん	1,316	98.9%	1,159	98.1%	815	96.9%
お父さん	1,176	88.4%	1,011	85.6%	727	86.4%
おばあちゃん	241	18.1%	233	19.7%	151	18.0%
おじいちゃん	175	13.1%	174	14.7%	120	14.3%
おにいちゃん	396	29.8%	310	26.2%	154	18.3%
おねえちゃん	380	28.5%	300	25.4%	176	20.9%
おとうと	362	27.2%	321	27.2%	232	27.6%
いもうと	316	23.7%	346	29.3%	219	26.0%
その他の人	55	4.1%	38	3.2%	31	3.7%
無回答	2	0.2%	2	0.2%	2	0.2%
回答者数	1,331		1,181		841	

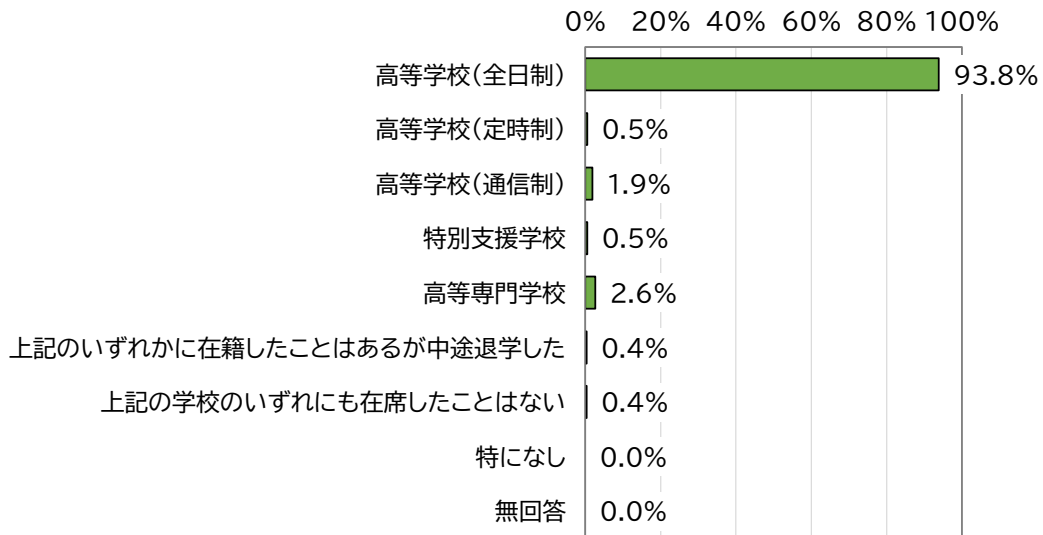
②あなたのふだんの生活や健康のことについておたずねします

【高校生のみ】

問4 あなたは、現在学校に在籍していますか。(あてはまる番号1つを選んでください)

現在学校に在籍しているかについては、「高等学校（全日制）」が93.8%となっています。

在籍している学校（高校生）



項目	度数	比率
高等学校(全日制)	789	93.8%
高等学校(定時制)	4	0.5%
高等学校(通信制)	16	1.9%
特別支援学校	4	0.5%
高等専門学校	22	2.6%
上記のいずれかに在籍したことはあるが中途退学した	3	0.4%
上記の学校のいずれにも在席したことはない	3	0.4%
特になし	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	841	100.0%

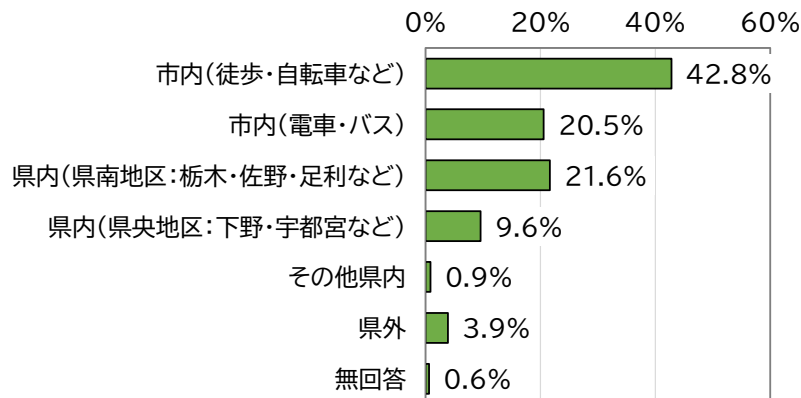
問4で「高等学校(全日制)」～「特別支援学校」学校に在籍していると回答した方にお聞きします

【高校生のみ】

問4ー1 あなたが通っている学校はどちらの地区ですか。(あてはまる番号1つを選んでください)

通っている学校の地区については、「市内(徒歩・自転車など)」が42.8%と最も多く、次いで「県内(県南地区:栃木・佐野・足利など)」が21.6%、「市内(電車・バス)」が20.5%となっています。

通っている学校の地区(高校生)



項目	度数	比率
市内(徒歩・自転車など)	348	42.8%
市内(電車・バス)	167	20.5%
県内(県南地区:栃木・佐野・足利など)	176	21.6%
県内(県央地区:下野・宇都宮など)	78	9.6%
その他県内	7	0.9%
県外	32	3.9%
無回答	5	0.6%
回答者数	813	100.0%

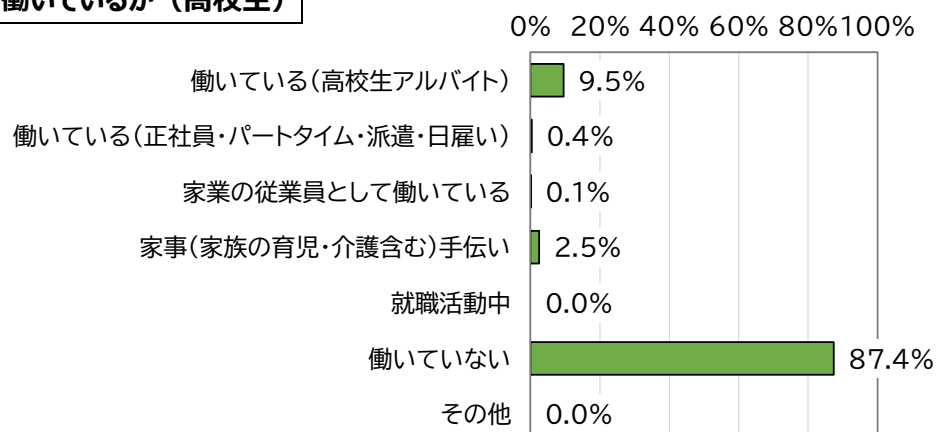
【高校生のみ】

問5 あなたは、現在働いていますか。(あてはまる番号1つを選んでください)

現在働いているかでは、「働いている(高校生アルバイト)」が9.5%となっています。

一方、「働いていない」が87.4%となっています。

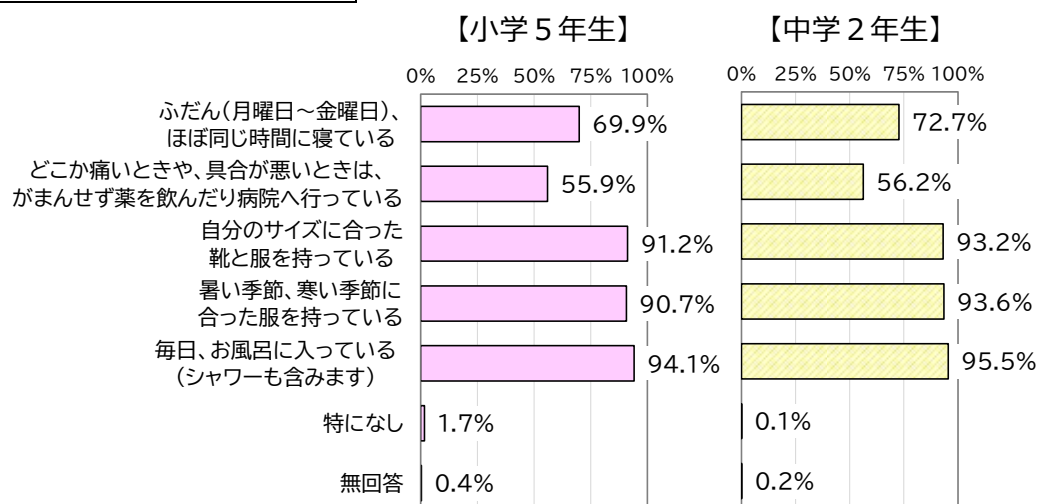
現在働いているか(高校生)



問4 あなた自身の生活について、あてはまるものはありますか。(あてはまる番号すべてを選択してください)

自身の生活について、それぞれ「毎日、お風呂に入っている(シャワーも含みます)」が最も多くなっていますが、「どこか痛いときや、具合が悪いときは、がまんせず薬を飲んだり病院へ行っている」で6割弱とやや少なくなっています。

生活のあてはまるもの（学年別）



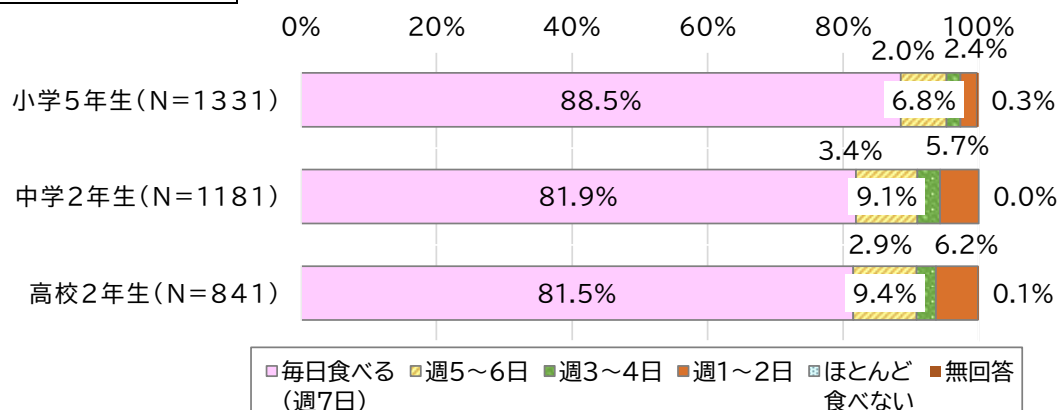
項目	小学5年生		中学2年生	
	度数	比率	度数	比率
ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ている	930	69.9%	859	72.7%
どこか痛いときや、具合が悪いときは、がまんせず薬を飲んだり病院へ行っている	744	55.9%	664	56.2%
自分のサイズに合った靴と服を持っている	1,214	91.2%	1,101	93.2%
暑い季節、寒い季節に合った服を持っている	1,207	90.7%	1,105	93.6%
毎日、お風呂に入っている(シャワーも含みます)	1,253	94.1%	1,128	95.5%
特になし	23	1.7%	1	0.1%
無回答	5	0.4%	2	0.2%
回答者数	1,331		1,181	

問5 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。次の①～③のそれぞれについて教えてください。(それぞれ、あてはまる番号1つを選んでください)

①朝食

朝食については、小学生で「毎日食べる(週5日)」が多くなっています。

朝食の頻度（学年別）



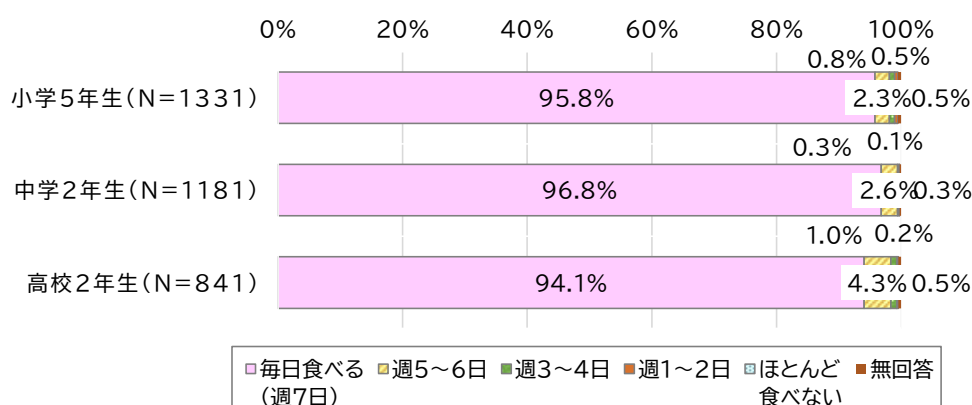
3 小学5年生調査・中学2年生調査・高校2年生調査

項目(度数)	毎日食べる (週7日)	週5～6日	週3～4日	週1～2日	ほとんど 食べない	無回答	合計
小学5年生	1,178	90	27	32	0	4	1,331
中学2年生	967	107	40	67	0	0	1,181
高校2年生	685	79	24	52	0	1	841
項目(比率)	毎日食べる (週7日)	週5～6日	週3～4日	週1～2日	ほとんど 食べない	無回答	合計
小学5年生(n=1331)	88.5%	6.8%	2.0%	2.4%	0.0%	0.3%	100.0%
中学2年生(n=1181)	81.9%	9.1%	3.4%	5.7%	0.0%	0.0%	100.0%
高校2年生(n=841)	81.5%	9.4%	2.9%	6.2%	0.0%	0.1%	100.0%

②夕食

夕食については、それぞれ「毎日食べる(週5日)」が9割を超えています。

夕食の頻度(学年別)

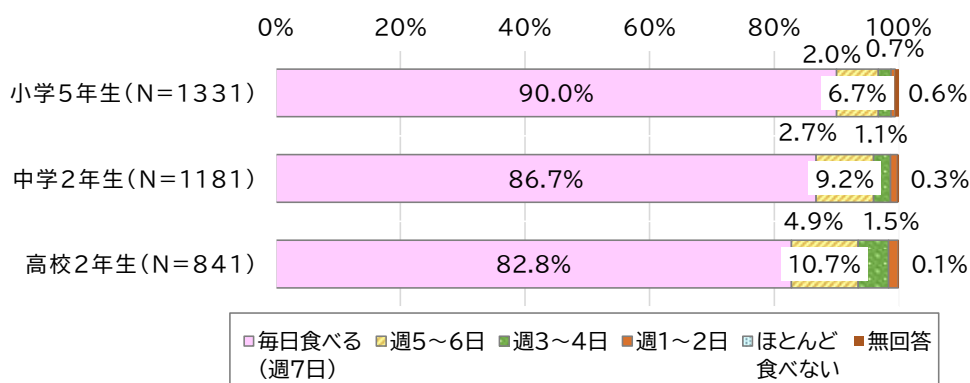


項目(度数)	毎日食べる (週7日)	週5～6日	週3～4日	週1～2日	ほとんど 食べない	無回答	合計
小学5年生	1,275	31	11	7	0	7	1,331
中学2年生	1,143	31	3	1	0	3	1,181
高校2年生	791	36	8	2	0	4	841
項目(比率)	毎日食べる (週7日)	週5～6日	週3～4日	週1～2日	ほとんど 食べない	無回答	合計
小学5年生(n=1331)	95.8%	2.3%	0.8%	0.5%	0.0%	0.5%	100.0%
中学2年生(n=1181)	96.8%	2.6%	0.3%	0.1%	0.0%	0.3%	100.0%
高校2年生(n=841)	94.1%	4.3%	1.0%	0.2%	0.0%	0.5%	100.0%

③夏休みや冬休みなどの期間の昼食

夏休みや冬休みなどの期間の昼食については、年代が高くなるにつれて「毎日食べる(週7日)」が少なくなっています。

夏休みや冬休みなどの期間の昼食の頻度(学年別)



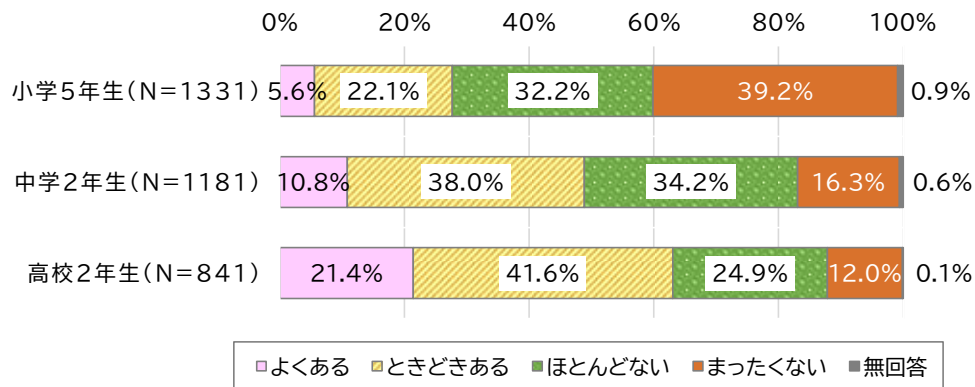
3 小学5年生調査・中学2年生調査・高校2年生調査

項目(度数)	毎日食べる (週7日)	週5～6日	週3～4日	週1～2日	ほとんど 食べない	無回答	合計
小学5年生	1,198	89	27	9	0	8	1,331
中学2年生	1,024	109	32	13	0	3	1,181
高校2年生	696	90	41	13	0	1	841
項目(比率)	毎日食べる (週7日)	週5～6日	週3～4日	週1～2日	ほとんど 食べない	無回答	合計
小学5年生(n=1331)	90.0%	6.7%	2.0%	0.7%	0.0%	0.6%	100.0%
中学2年生(n=1181)	86.7%	9.2%	2.7%	1.1%	0.0%	0.3%	100.0%
高校2年生(n=841)	82.8%	10.7%	4.9%	1.5%	0.0%	0.1%	100.0%

問6 あなたは、ふだん、ひとりで食事をすることがありますか。(あてはまる番号 1 つを選んでください)

ふだん、ひとりで食事をするかについては、年代が高くなるにつれて「よくある」「ときどきある」が多くなっています。

ひとりで食事をする頻度（学年別）



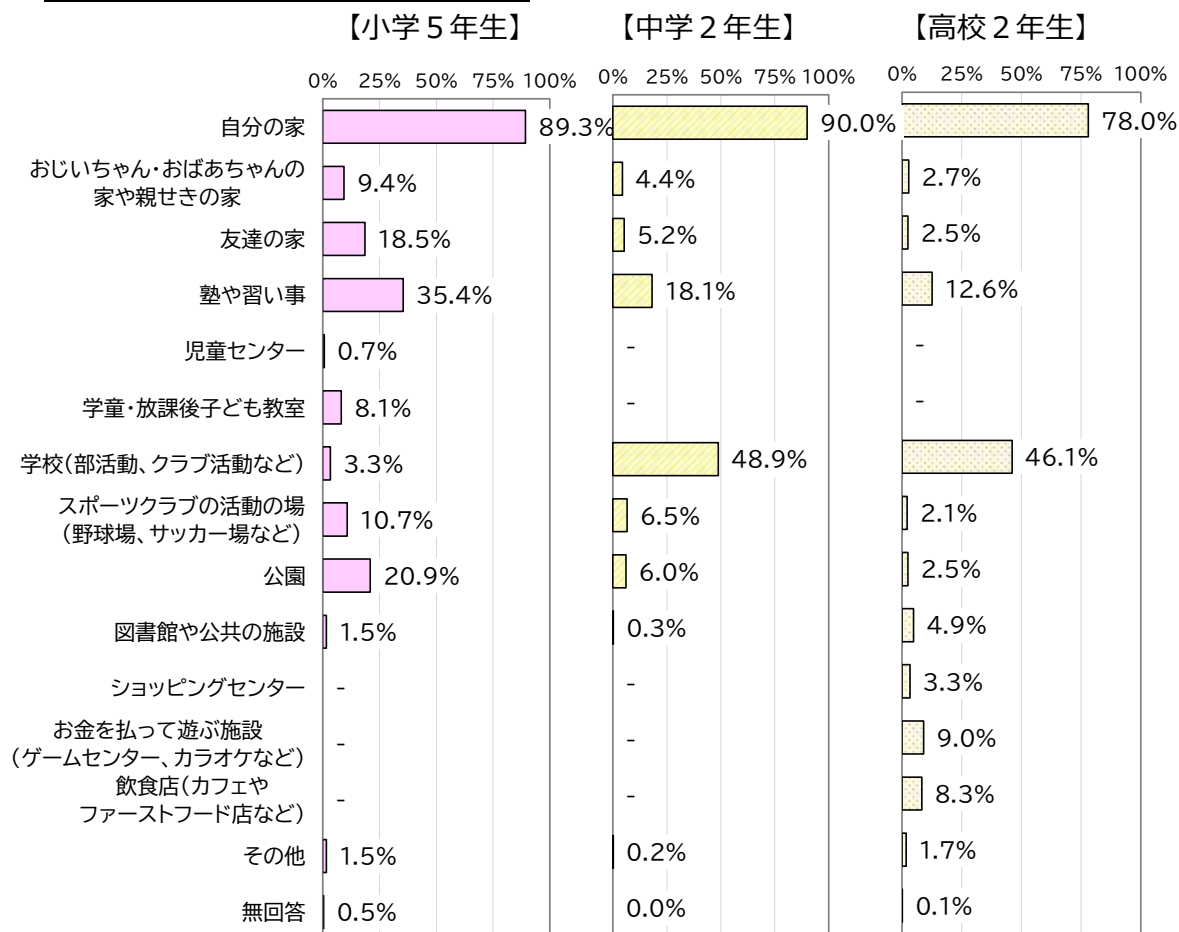
項目(度数)	よくある	ときどきある	ほとんどない	まったくない	無回答	合計
小学5年生	74	294	429	522	12	1,331
中学2年生	128	449	404	193	7	1,181
高校2年生	180	350	209	101	1	841
項目(比率)	よくある	ときどきある	ほとんどない	まったくない	無回答	合計
小学5年生(n=1331)	5.6%	22.1%	32.2%	39.2%	0.9%	100.0%
中学2年生(n=1181)	10.8%	38.0%	34.2%	16.3%	0.6%	100.0%
高校2年生(n=841)	21.4%	41.6%	24.9%	12.0%	0.1%	100.0%

3 小学5年生調査・中学2年生調査・高校2年生調査

問7 あなたは、平日の放課後(夕方6時くらいまで)、どこで過ごすことが多いですか。(あてはまる番号すべてを選択してください)

平日の放課後に過ごす場所については、どの年代でも「自分の家」が多いですが、その他の場所では、「小学生」で「塾や習い事」「公園」「友達の家」が他の年代より多く、「中学生」「高校生」では、「学校(部活動、クラブ活動など)」が多くなっています。

平日の放課後に過ごす場所(学年別)



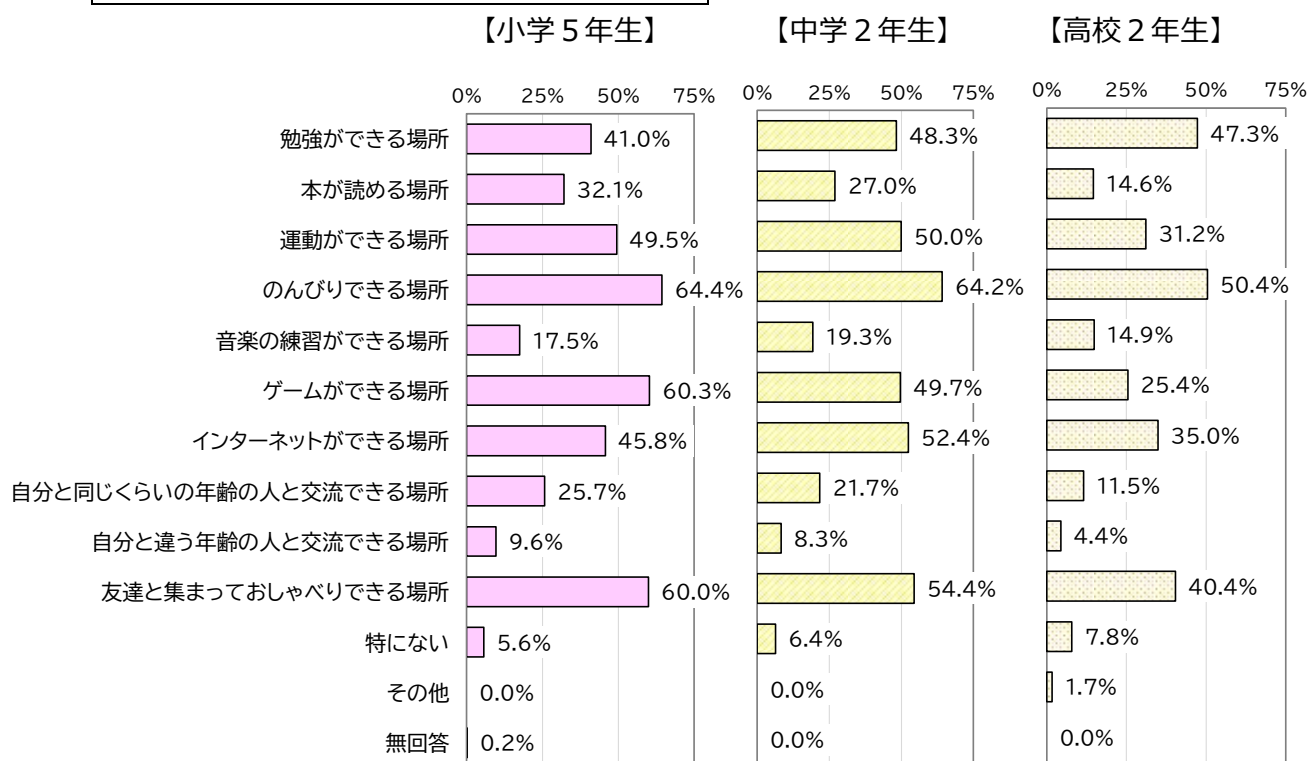
項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率
自分の家	1,188	89.3%	1,063	90.0%	656	78.0%
おじいちゃん・おばあちゃんの家や親せきの家	125	9.4%	52	4.4%	23	2.7%
友達の家	246	18.5%	62	5.2%	21	2.5%
塾や習い事	471	35.4%	214	18.1%	106	12.6%
児童センター	9	0.7%	-	-	-	-
学童・放課後子ども教室	108	8.1%	-	-	-	-
学校(部活動、クラブ活動など)	44	3.3%	577	48.9%	388	46.1%
スポーツクラブの活動の場(野球場、サッカー場など)	143	10.7%	77	6.5%	18	2.1%
公園	278	20.9%	71	6.0%	21	2.5%
図書館や公共の施設	20	1.5%	3	0.3%	41	4.9%
ショッピングセンター	-	-	-	-	28	3.3%
お金を払って遊ぶ施設(ゲームセンター、カラオケなど)	-	-	-	-	76	9.0%
飲食店(カフェやファーストフード店など)	-	-	-	-	70	8.3%
その他	20	1.5%	2	0.2%	14	1.7%
無回答	6	0.5%	0	0.0%	1	0.1%
回答者数	1,331		1,181		841	

3 小学5年生調査・中学2年生調査・高校2年生調査

問7-1 あなたは、平日の放課後(夕方6時くらいまで)に過ごす場所として、どのような場所があるとよいと思いますか。(あてはまる番号すべてを選択してください)

平日の放課後に過ごしたい場所については、「小学生」で「ゲームができる場所」「友達と集まっておしゃべりできる場所」が他の年代より多く、「中学生」で「勉強ができる場所」「インターネットができる場所」が他の年代より多くなっています。

平日の放課後に過ごしたい希望の場所（学年別）

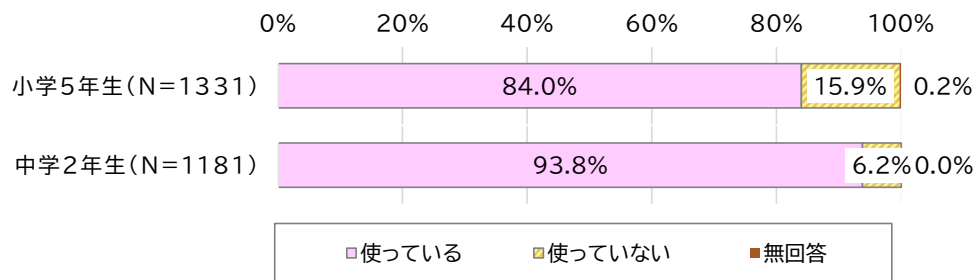


項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率
勉強ができる場所	546	41.0%	570	48.3%	398	47.3%
本が読める場所	427	32.1%	319	27.0%	123	14.6%
運動ができる場所	659	49.5%	590	50.0%	262	31.2%
のんびりできる場所	857	64.4%	758	64.2%	424	50.4%
音楽の練習ができる場所	233	17.5%	228	19.3%	125	14.9%
ゲームができる場所	803	60.3%	587	49.7%	214	25.4%
インターネットができる場所	609	45.8%	619	52.4%	294	35.0%
自分と同じくらいの年齢の人と交流できる場所	342	25.7%	256	21.7%	97	11.5%
自分と違う年齢の人と交流できる場所	128	9.6%	98	8.3%	37	4.4%
友達と集まっておしゃべりできる場所	798	60.0%	643	54.4%	340	40.4%
特にない	75	5.6%	75	6.4%	66	7.8%
その他	0	0.0%	0	0.0%	14	1.7%
無回答	2	0.2%	0	0.0%	0	0.0%
回答者数	1,331		1,181		841	

問8 学校や塾などの勉強以外で、インターネットを自由に使うことができますか。(Wi-Fi環境で使用している人も含みます)(あてはまる番号1つを選んでください)

インターネットを自由に使える状況については、「中学生」が9割を超えています。

インターネットを自由に使える状況の有無（学年別）



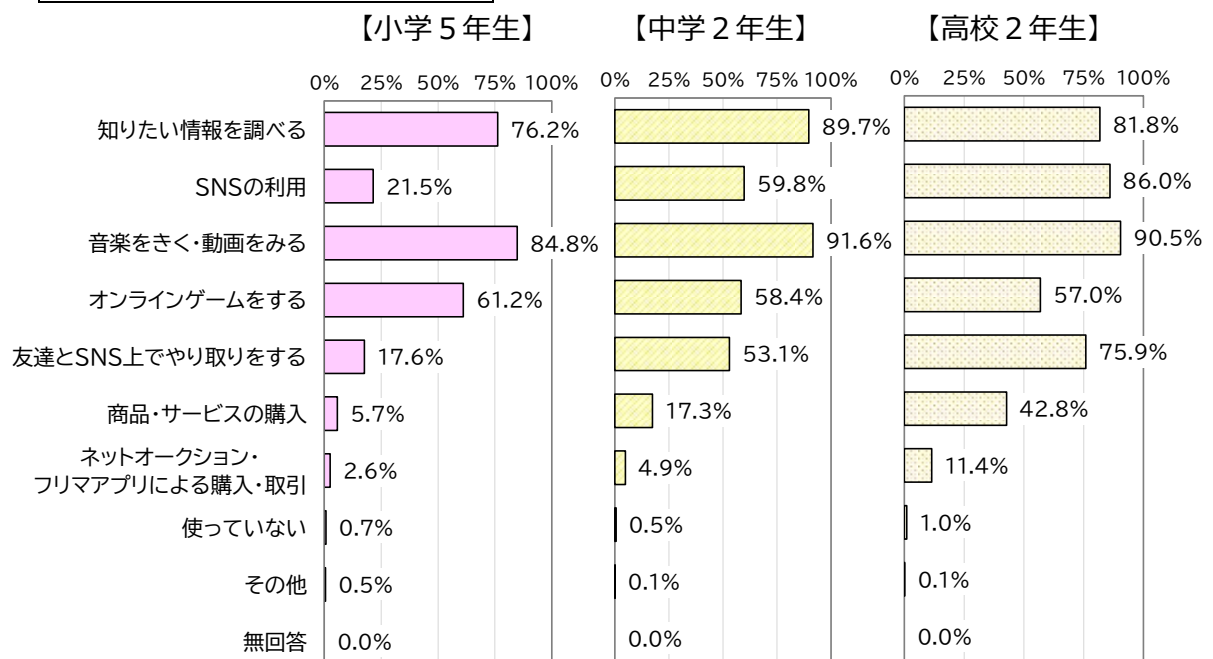
項目(度数)	使っている	使っていない	無回答	合計
小学5年生	1,118	211	2	1,331
中学2年生	1,108	73	0	1,181
高校2年生	-	-	-	-
項目(比率)	使っている	使っていない	無回答	合計
小学5年生(n=1331)	84.0%	15.9%	0.2%	100.0%
中学2年生(n=1181)	93.8%	6.2%	0.0%	100.0%
高校2年生(n=-)	-	-	-	-

問8で「使っている」と回答した方にお聞きします。

問8-1 インターネットをどのようなことに使用していますか。(あてはまる番号すべてを選択してください)※SNS とは(LINE、Facebook、Instagram、YouTube、X【旧Twitter】など)

インターネットの使用状況については、「小学生」で「オンラインゲームをする」が他の年代よりやや多く、「中学生」で「知りたい情報を調べる」が多く、「高校生」で「SNS の利用」「友達と SNS 上でやり取りをする」「商品・サービスの購入」が多くなっています。

インターネットの使用状況（学年別）



3 小学5年生調査・中学2年生調査・高校2年生調査

項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率
知りたい情報を調べる	852	76.2%	994	89.7%	688	81.8%
SNSの利用	240	21.5%	663	59.8%	723	86.0%
音楽をさく・動画をみる	948	84.8%	1,015	91.6%	761	90.5%
オンラインゲームをする	684	61.2%	647	58.4%	479	57.0%
友達とSNS上でやり取りをする	197	17.6%	588	53.1%	638	75.9%
商品・サービスの購入	64	5.7%	192	17.3%	360	42.8%
ネットオークション・フリマアプリによる購入・取引	29	2.6%	54	4.9%	96	11.4%
使っていない	8	0.7%	6	0.5%	8	1.0%
その他	6	0.5%	1	0.1%	1	0.1%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
回答者数	1,118		1,108		841	

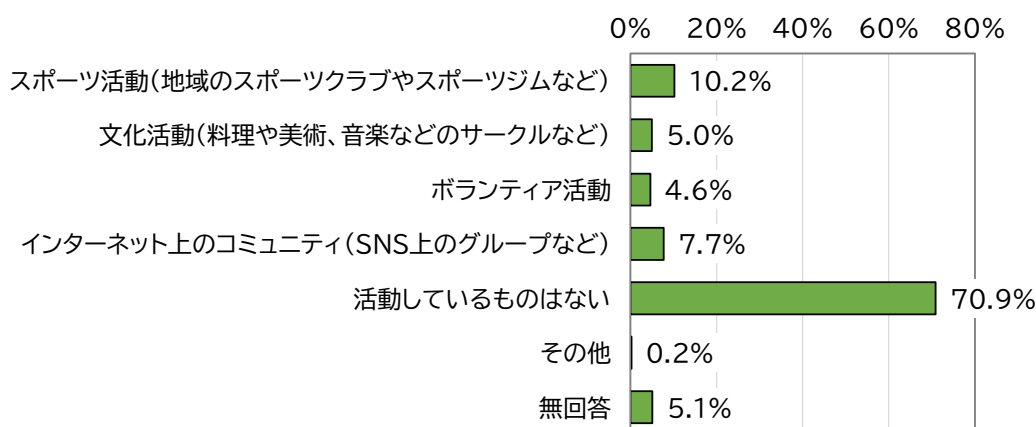
【高校生のみ】

問 11 あなたが、学校や職場以外で活動しているものはありますか。(あてはまる番号すべてを選択してください)

学校や職場以外で活動しているものは、「スポーツ活動（地域のスポーツクラブやスポーツジムなど）」が10.2%と多く、次いで「インターネット上のコミュニティ（SNS上のグループなど）」が7.7%となっています。

一方、「活動しているものはない」が70.9%となっています。

学校や職場以外の活動状況（高校生）



項目	度数	比率
スポーツ活動(地域のスポーツクラブやスポーツジムなど)	86	10.2%
文化活動(料理や美術、音楽などのサークルなど)	42	5.0%
ボランティア活動	39	4.6%
インターネット上のコミュニティ(SNS上のグループなど)	65	7.7%
活動しているものはない	596	70.9%
その他	2	0.2%
無回答	43	5.1%
回答者数	841	

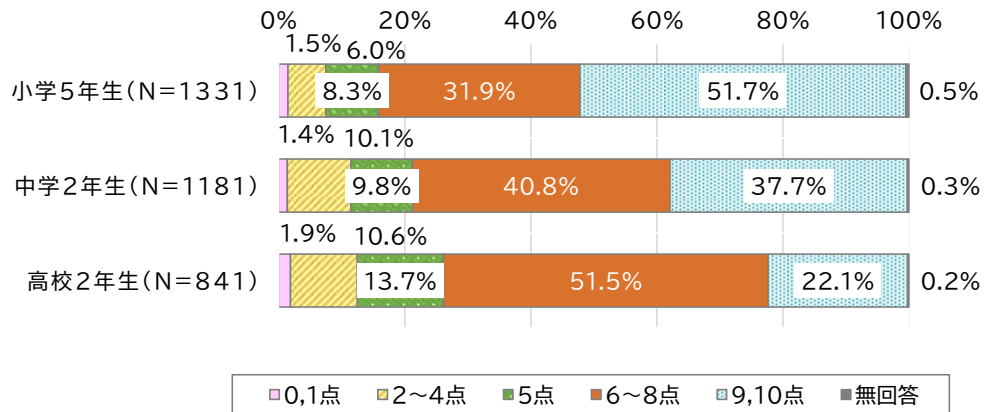
3 小学5年生調査・中学2年生調査・高校2年生調査

問9 全体として、あなたは最近の生活にどのくらい満足していますか。(満足度を0(不満)～10(満足)のいずれかの数字を選択してください)

※点数項目が多いため、まとめた数字で集計しています。

最近の生活の満足度は、年代が高くなるにつれて「満足度」が低くなっています。

生活の満足度（学年別）



項目(度数)	0,1点	2~4点	5点	6~8点	9,10点	無回答	合計
小学5年生	20	80	111	425	688	7	1,331
中学2年生	16	119	116	482	445	3	1,181
高校2年生	16	89	115	433	186	2	841
項目(比率)	0,1点	2~4点	5点	6~8点	9,10点	無回答	合計
小学5年生(n=1331)	1.5%	6.0%	8.3%	31.9%	51.7%	0.5%	100.0%
中学2年生(n=1181)	1.4%	10.1%	9.8%	40.8%	37.7%	0.3%	100.0%
高校2年生(n=841)	1.9%	10.6%	13.7%	51.5%	22.1%	0.2%	100.0%

③学校のことや勉強のことについておたずねします

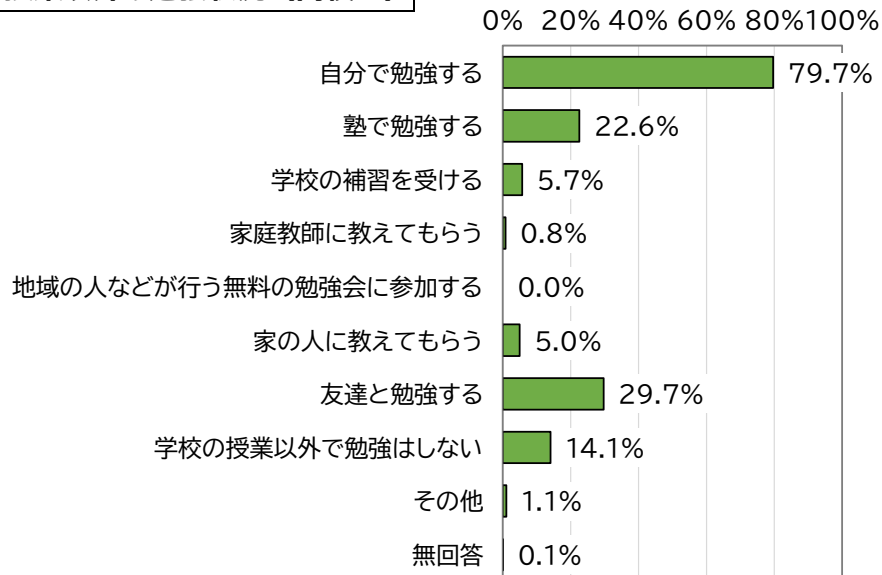
【高校生のみ】

問 13 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。

※ 勉強には学校の宿題もふくみます。(あてはまる番号すべてを選択してください)

ふだん学校の授業以外での勉強方法については、「自分で勉強する」が79.7%と最も多く、次いで「友達と勉強する」が29.7%、「塾で勉強する」が22.6%となっています。

学校の授業以外の勉強状況（高校生）



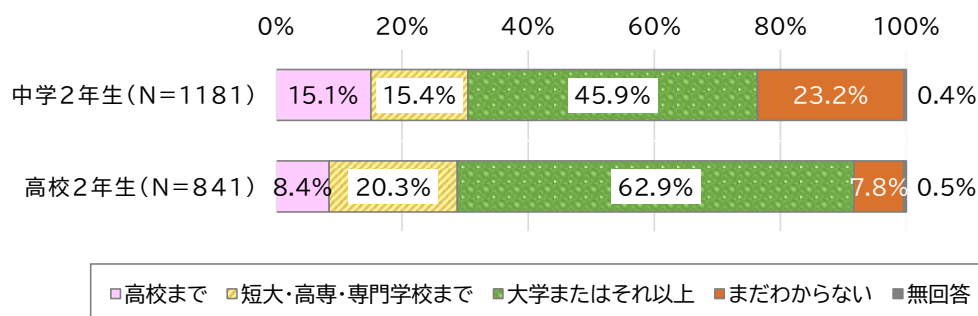
項目	度数	比率
自分で勉強する	670	79.7%
塾で勉強する	190	22.6%
学校の補習を受ける	48	5.7%
家庭教師に教えてもらう	7	0.8%
地域の人などが行う無料の勉強会に参加する	0	0.0%
家の人に教えてもらう	42	5.0%
友達と勉強する	250	29.7%
学校の授業以外で勉強はしない	119	14.1%
その他	9	1.1%
無回答	1	0.1%
回答者数	841	

【中学生・高校生のみ】

問 10 あなたは将来、どの段階まで進学したいですか。

将来の進学先については、「高校生」で「大学またはそれ以上」が6割を超え多くなっています。

将来の進学先（学年別）



3 小学5年生調査・中学2年生調査・高校2年生調査

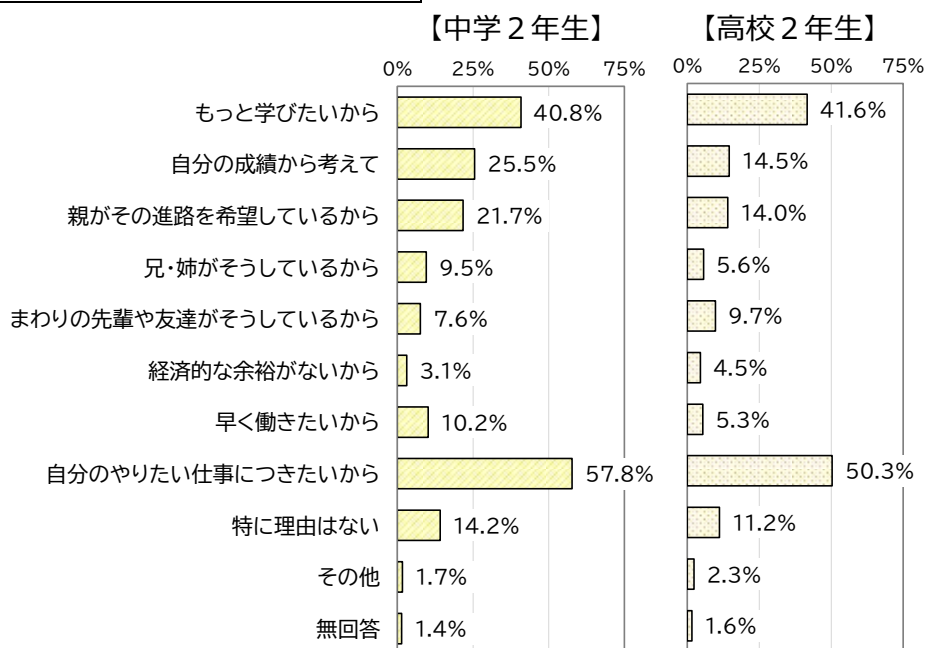
項目(度数)	高校まで	短大・高専・専門学校まで	大学またはそれ以上	まだわからない	無回答	合計
小学5年生	-	-	-	-	-	-
中学2年生	178	182	542	274	5	1,181
高校2年生	71	171	529	66	4	841
項目(比率)	高校まで	短大・高専・専門学校まで	大学またはそれ以上	まだわからない	無回答	合計
小学5年生(n=-)	-	-	-	-	-	-
中学2年生(n=1181)	15.1%	15.4%	45.9%	23.2%	0.4%	100.0%
高校2年生(n=841)	8.4%	20.3%	62.9%	7.8%	0.5%	100.0%

【中学生・高校生のみ】

問 10-1 そう思う理由を教えてください。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

将来の進学先の理由については、「中学生」で「自分の成績から考えて」「親がその進路を希望しているから」「自分のやりたい仕事につきたいから」が「高校生」より多く、「高校生」が多い項目は、「もっと学びたいから」「経済的な余裕がないから」がわずかに「中学生」より多くなっています。

将来の進学先に進みたい理由（学年別）

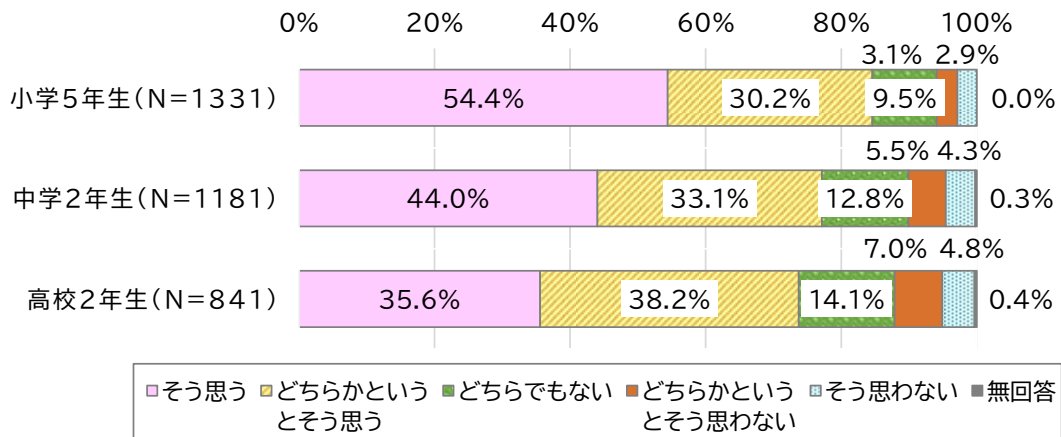


項目	中学2年生		高校2年生	
	度数	比率	度数	比率
もっと学びたいから	368	40.8%	321	41.6%
自分の成績から考えて	230	25.5%	112	14.5%
親がその進路を希望しているから	196	21.7%	108	14.0%
兄・姉がそうしているから	86	9.5%	43	5.6%
まわりの先輩や友達がそうしているから	69	7.6%	75	9.7%
経済的な余裕がないから	28	3.1%	35	4.5%
早く働きたいから	92	10.2%	41	5.3%
自分のやりたい仕事につきたいから	521	57.8%	388	50.3%
特に理由はない	128	14.2%	86	11.2%
その他	15	1.7%	18	2.3%
無回答	13	1.4%	12	1.6%
回答者数	902		771	

問10 学校は楽しいと思いますか。(あてはまる番号1つを選んでください)

学校が楽しいかについては、年代が高くなるにつれて「そう思う」「どちらかというと思う」が少なくなっています。

学校の楽しさ（学年別）



項目(度数)	そう思う	どちらかという と思う	どちらでもない	どちらかという と思う	そう思わない	無回答	合計
小学5年生	724	402	126	41	38	0	1,331
中学2年生	520	391	151	65	51	3	1,181
高校2年生	299	321	119	59	40	3	841
項目(比率)	そう思う	どちらかという と思う	どちらでもない	どちらかという と思う	そう思わない	無回答	合計
小学5年生(n=1331)	54.4%	30.2%	9.5%	3.1%	2.9%	0.0%	100.0%
中学2年生(n=1181)	44.0%	33.1%	12.8%	5.5%	4.3%	0.3%	100.0%
高校2年生(n=841)	35.6%	38.2%	14.1%	7.0%	4.8%	0.4%	100.0%

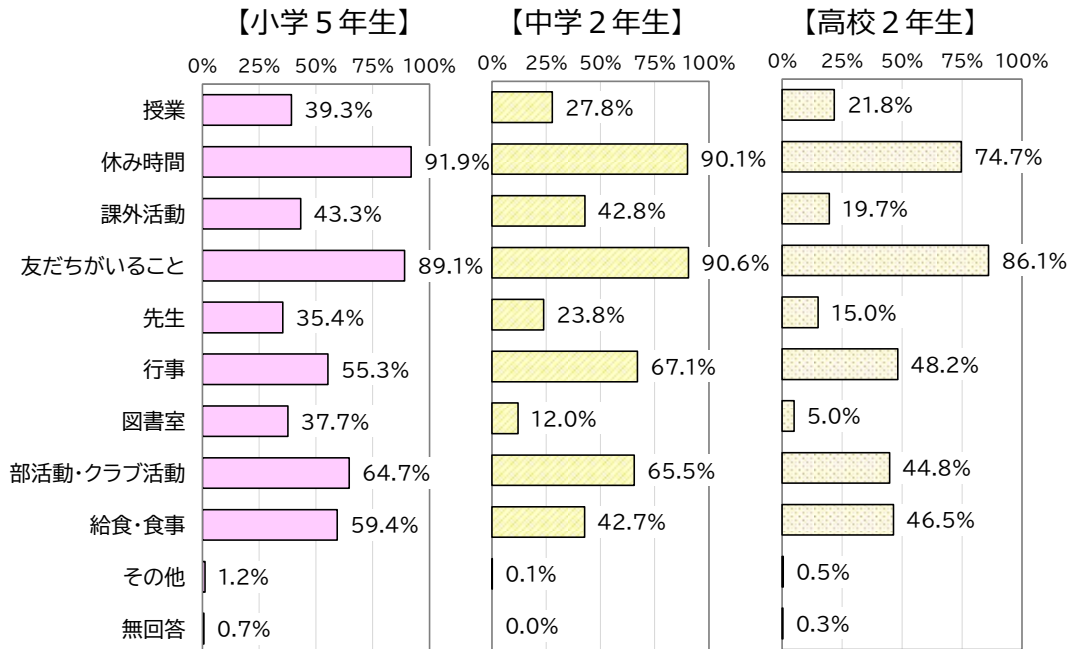
3 小学5年生調査・中学2年生調査・高校2年生調査

問10で「そう思う」～「どちらかというと思う」と回答した方にお聞きます

問10-1 どのようなところが楽しいですか。(あてはまる番号すべてを選択してください)

学校が楽しい理由については、「小学生」で「授業」「休み時間」「先生」「図書室」「給食・食事」が他の年代より多く、「中学生」で「行事」が多くなっています。

学校が楽しい理由（学年別）



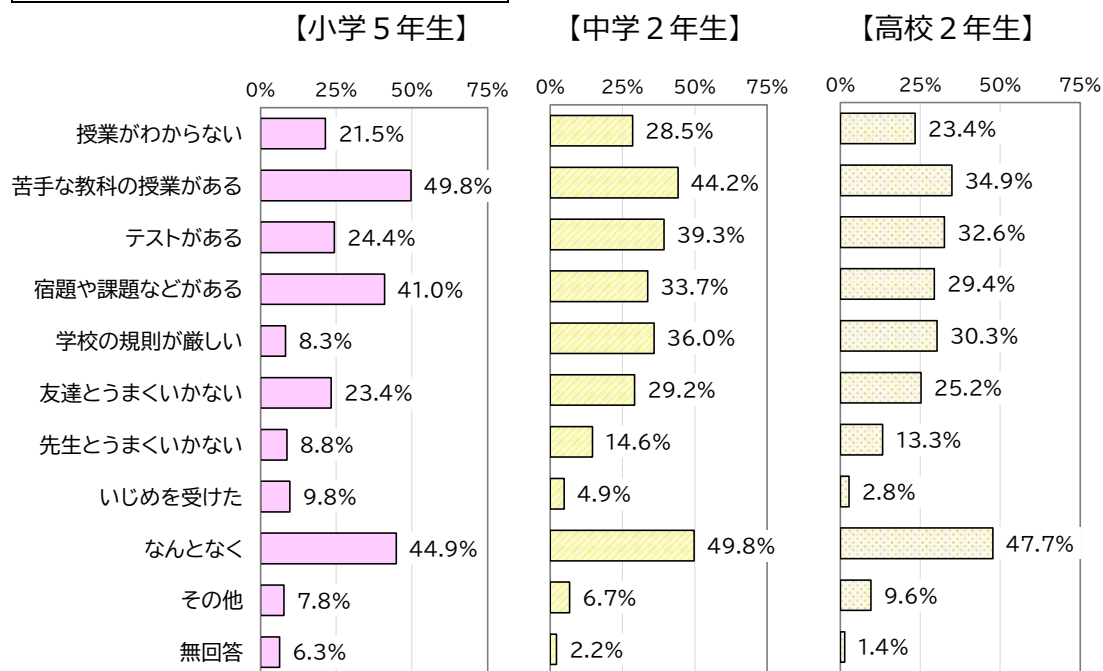
項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率
授業	442	39.3%	253	27.8%	135	21.8%
休み時間	1,035	91.9%	821	90.1%	463	74.7%
課外活動	488	43.3%	390	42.8%	122	19.7%
友だちがいること	1,003	89.1%	825	90.6%	534	86.1%
先生	399	35.4%	217	23.8%	93	15.0%
行事	623	55.3%	611	67.1%	299	48.2%
図書室	424	37.7%	109	12.0%	31	5.0%
部活動・クラブ活動	728	64.7%	597	65.5%	278	44.8%
給食・食事	669	59.4%	389	42.7%	288	46.5%
その他	13	1.2%	1	0.1%	3	0.5%
無回答	8	0.7%	0	0.0%	2	0.3%
回答者数	1,126		911		620	

問10で「どちらでもない」～「そう思わない」と回答した方にお聞きします

問10-2 そう思わない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてを選択してください)

学校が楽しいと思わない理由については、「小学生」で「苦手な教科の授業がある」「宿題や課題などがある」が他の年代より多く、「中学生」で「テストがある」「学校の規則が厳しい」「友達とうましくない」「なんとなく」が多くなっています。

学校が楽しいと思わない理由（学年別）

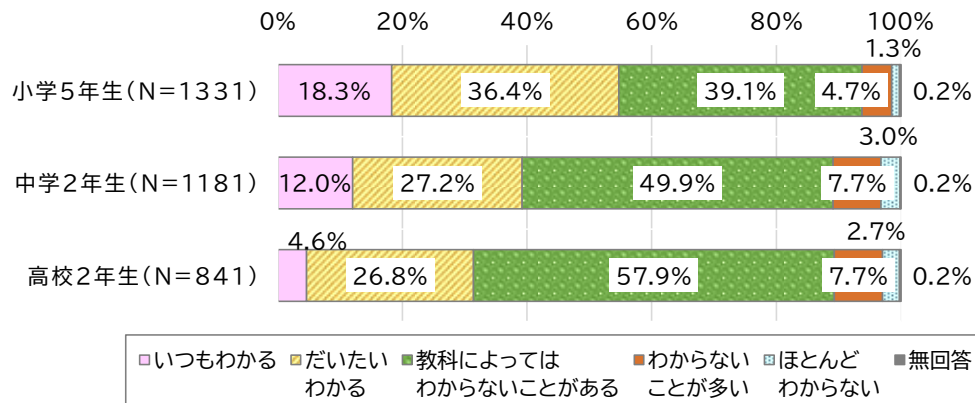


項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率
授業がわからない	44	21.5%	76	28.5%	51	23.4%
苦手な教科の授業がある	102	49.8%	118	44.2%	76	34.9%
テストがある	50	24.4%	105	39.3%	71	32.6%
宿題や課題などがある	84	41.0%	90	33.7%	64	29.4%
学校の規則が厳しい	17	8.3%	96	36.0%	66	30.3%
友達とうましくない	48	23.4%	78	29.2%	55	25.2%
先生とうましくない	18	8.8%	39	14.6%	29	13.3%
いじめを受けた	20	9.8%	13	4.9%	6	2.8%
なんとなく	92	44.9%	133	49.8%	104	47.7%
その他	16	7.8%	18	6.7%	21	9.6%
無回答	13	6.3%	6	2.2%	3	1.4%
回答者数	205		267		218	

問 11 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(あてはまる番号 1 つを選んでください)

学校の授業については、年代が上がるにつれて「教科によってはわからないことがある」が多くなっています。

学校の授業の理解度（学年別）



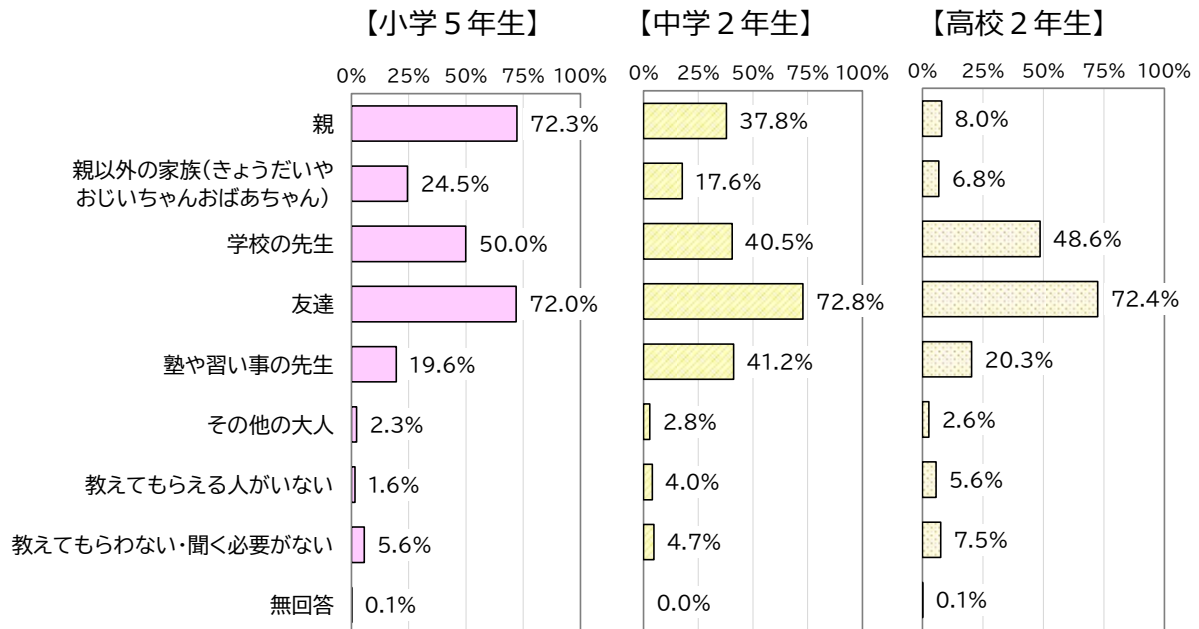
項目(度数)	いつもわかる	だいたいわかる	教科によつてはわからないことがある	わからないことが多い	ほとんどわからない	無回答	合計
小学5年生	243	485	520	63	17	3	1,331
中学2年生	142	321	589	91	36	2	1,181
高校2年生	39	225	487	65	23	2	841
項目(比率)	いつもわかる	だいたいわかる	教科によつてはわからないことがある	わからないことが多い	ほとんどわからない	無回答	合計
小学5年生(n=1331)	18.3%	36.4%	39.1%	4.7%	1.3%	0.2%	100.0%
中学2年生(n=1181)	12.0%	27.2%	49.9%	7.7%	3.0%	0.2%	100.0%
高校2年生(n=841)	4.6%	26.8%	57.9%	7.7%	2.7%	0.2%	100.0%

3 小学5年生調査・中学2年生調査・高校2年生調査

問 12 勉強がわからないとき、だれに教えてもらいますか。(あてはまる番号すべてを選択してください)

勉強を教えてもらう相手は、「小学生」で「親」が特に他の年代より多く、「中学生」で「塾や習い事の先生」が多くなっています。

勉強を教えてもらう相手（学年別）



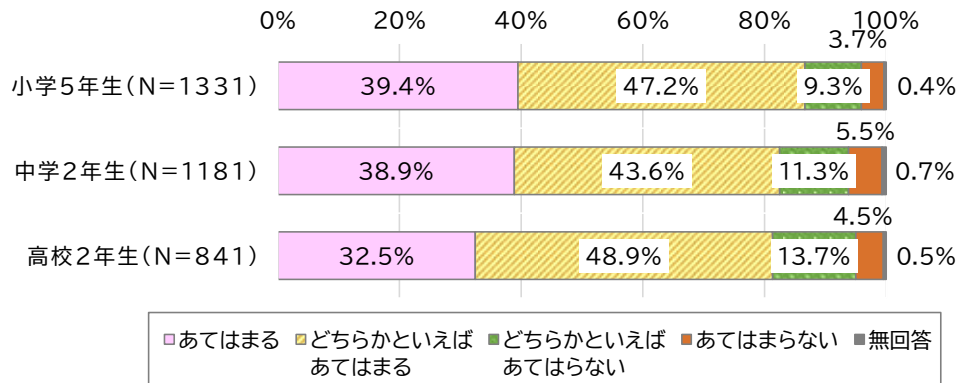
項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率
親	962	72.3%	447	37.8%	67	8.0%
親以外の家族(きょうだいやおじいちゃんおばあちゃん)	326	24.5%	208	17.6%	57	6.8%
学校の先生	665	50.0%	478	40.5%	409	48.6%
友達	958	72.0%	860	72.8%	609	72.4%
塾や習い事の先生	261	19.6%	487	41.2%	171	20.3%
その他の大人	30	2.3%	33	2.8%	22	2.6%
教えてもらえる人がいない	21	1.6%	47	4.0%	47	5.6%
教えてもらわない・聞く必要がない	75	5.6%	56	4.7%	63	7.5%
無回答	1	0.1%	0	0.0%	1	0.1%
回答者数	1,331		1,181		841	

④今の自分のことについておたずねします

問 13 以下の①～⑥のことについて、あなたはどのくらいあてはまりますか。(それぞれ、あてはまる番号 1 つを選んでください)

①自分には、よいところがあると思う(学年別)

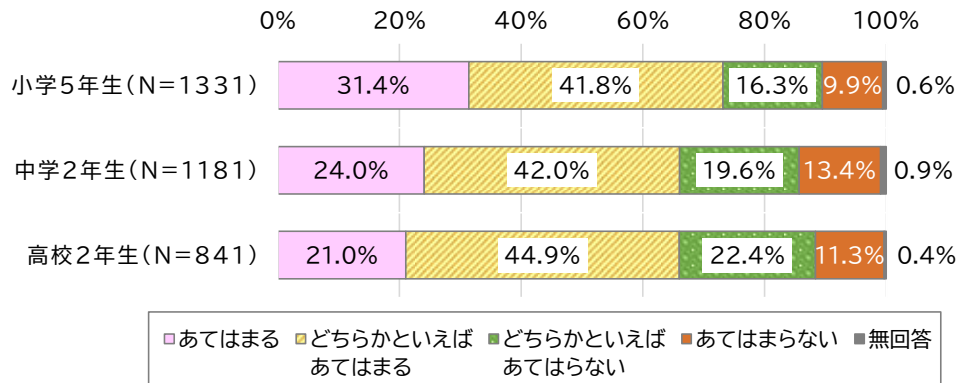
自分には、よいところがあると思うについては、年代が上がるにつれて「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」が少なくなっています。



項目(度数)	あてはまる	どちらかとい えば あてはまる	どちらかとい えば あてはらない	あてはまら ない	無回答	合計
小学5年生	525	628	124	49	5	1,331
中学2年生	459	515	134	65	8	1,181
高校2年生	273	411	115	38	4	841
項目(比率)	あてはまる	どちらかとい えば あてはまる	どちらかとい えば あてはらない	あてはまら ない	無回答	合計
小学5年生(n=1331)	39.4%	47.2%	9.3%	3.7%	0.4%	100.0%
中学2年生(n=1181)	38.9%	43.6%	11.3%	5.5%	0.7%	100.0%
高校2年生(n=841)	32.5%	48.9%	13.7%	4.5%	0.5%	100.0%

②自分のことが好きだ（学年別）

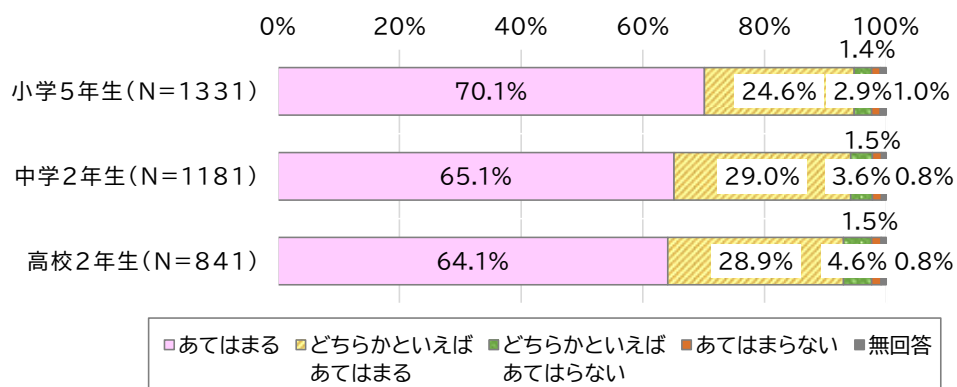
自分のことが好きだについては、年代が上がるにつれて「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」が少なくなっています。



項目(度数)	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	無回答	合計
小学5年生	418	556	217	132	8	1,331
中学2年生	284	496	232	158	11	1,181
高校2年生	177	378	188	95	3	841
項目(比率)	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	無回答	合計
小学5年生(n=1331)	31.4%	41.8%	16.3%	9.9%	0.6%	100.0%
中学2年生(n=1181)	24.0%	42.0%	19.6%	13.4%	0.9%	100.0%
高校2年生(n=841)	21.0%	44.9%	22.4%	11.3%	0.4%	100.0%

③自分の親から愛されていると思う（学年別）

自分の親から愛されていると思うについては、年代が上がるにつれて「あてはまる」が少なくなっています。

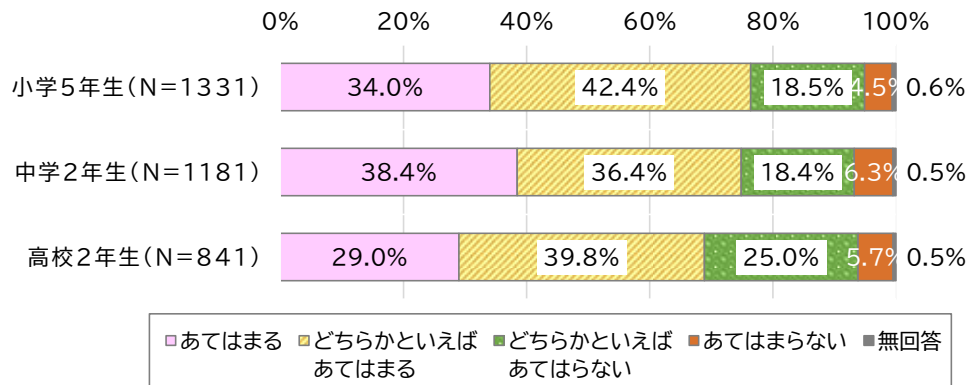


3 小学5年生調査・中学2年生調査・高校2年生調査

項目(度数)	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	無回答	合計
小学5年生	933	328	38	19	13	1,331
中学2年生	769	343	42	18	9	1,181
高校2年生	539	243	39	13	7	841
項目(比率)	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	無回答	合計
小学5年生(n=1331)	70.1%	24.6%	2.9%	1.4%	1.0%	100.0%
中学2年生(n=1181)	65.1%	29.0%	3.6%	1.5%	0.8%	100.0%
高校2年生(n=841)	64.1%	28.9%	4.6%	1.5%	0.8%	100.0%

④自分の考えをはっきり相手に伝えることができる（学年別）

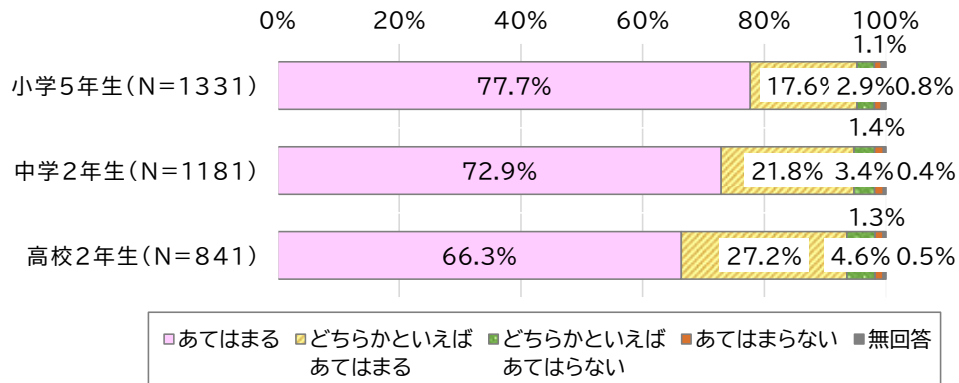
自分の考えをはっきり相手に伝えることができるについては、中学2年生で「あてはまる」が多くなっています。



項目(度数)	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	無回答	合計
小学5年生	453	564	246	60	8	1,331
中学2年生	454	430	217	74	6	1,181
高校2年生	244	335	210	48	4	841
項目(比率)	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	無回答	合計
小学5年生(n=1331)	34.0%	42.4%	18.5%	4.5%	0.6%	100.0%
中学2年生(n=1181)	38.4%	36.4%	18.4%	6.3%	0.5%	100.0%
高校2年生(n=841)	29.0%	39.8%	25.0%	5.7%	0.5%	100.0%

⑤ ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある（学年別）

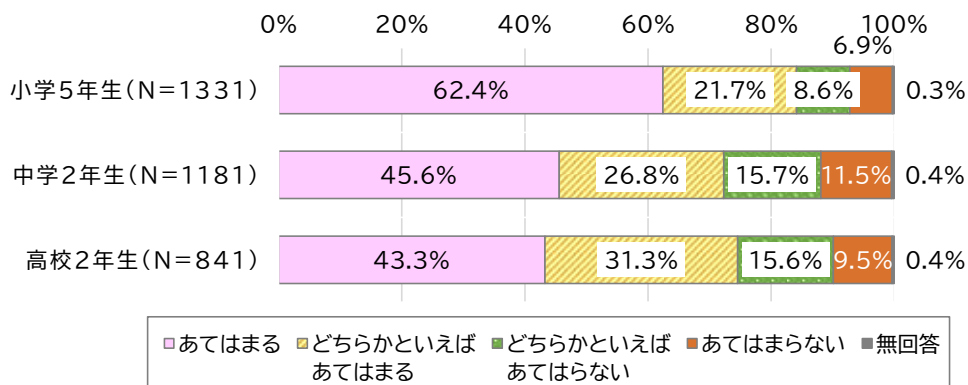
ものごとを最後までやりとげてうれしかったことは、年代が上がるにつれて「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」が少なくなっています。



項目(度数)	あてはまる	どちらかとい えば あてはまる	どちらかとい えば あてはらない	あてはまら ない	無回答	合計
小学5年生	1,034	234	38	15	10	1,331
中学2年生	861	258	40	17	5	1,181
高校2年生	558	229	39	11	4	841
項目(比率)	あてはまる	どちらかとい えば あてはまる	どちらかとい えば あてはらない	あてはまら ない	無回答	合計
小学5年生(n=1331)	77.7%	17.6%	2.9%	1.1%	0.8%	100.0%
中学2年生(n=1181)	72.9%	21.8%	3.4%	1.4%	0.4%	100.0%
高校2年生(n=841)	66.3%	27.2%	4.6%	1.3%	0.5%	100.0%

⑥ 将来の夢や目標を持っている（学年別）

将来の夢や希望を持っているかについては、年代が上がるにつれて「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」が少なくなっています。



3 小学5年生調査・中学2年生調査・高校2年生調査

項目(度数)	あてはまる	どちらかといえ あてはまる	どちらかといえ あてはらない	あてはまらない	無回答	合計
小学5年生	831	289	115	92	4	1,331
中学2年生	538	316	186	136	5	1,181
高校2年生	364	263	131	80	3	841
項目(比率)	あてはまる	どちらかといえ あてはまる	どちらかといえ あてはらない	あてはまらない	無回答	合計
小学5年生(n=1331)	62.4%	21.7%	8.6%	6.9%	0.3%	100.0%
中学2年生(n=1181)	45.6%	26.8%	15.7%	11.5%	0.4%	100.0%
高校2年生(n=841)	43.3%	31.3%	15.6%	9.5%	0.4%	100.0%

⑤将来のことについておたずねします

【高校生のみ】

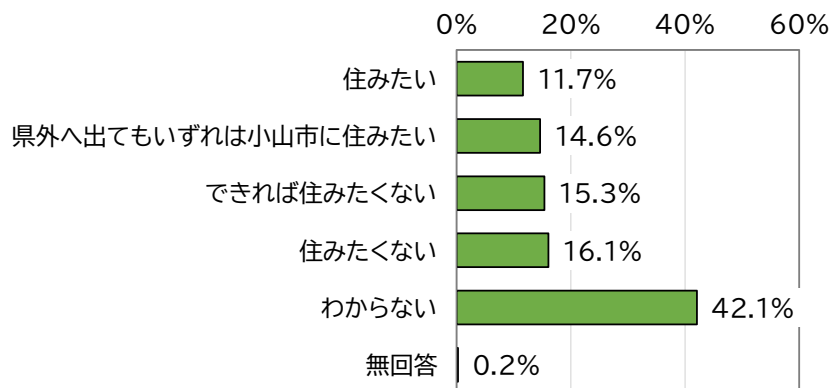
問 19 あなたは、将来も小山市に住みたいと思いますか。(あてはまる番号 1 つを選んでください)

将来も小山市に住みたいと思うかでは、「住みたい」「県外へ出てもしいずれは小山市に住みたい」を合わせた『住みたい』が 26.3%となっています。

一方、「できれば住みたくない」「住みたくない」を合わせた『住みたくない』は、31.4%となっています。

また、「わからない」は、42.1%となっています。

将来小山市に住みたいか（高校生）



項目	度数	比率
住みたい	98	11.7%
県外へ出てもしいずれは小山市に住みたい	123	14.6%
できれば住みたくない	129	15.3%
住みたくない	135	16.1%
わからない	354	42.1%
無回答	2	0.2%
合計	841	100.0%

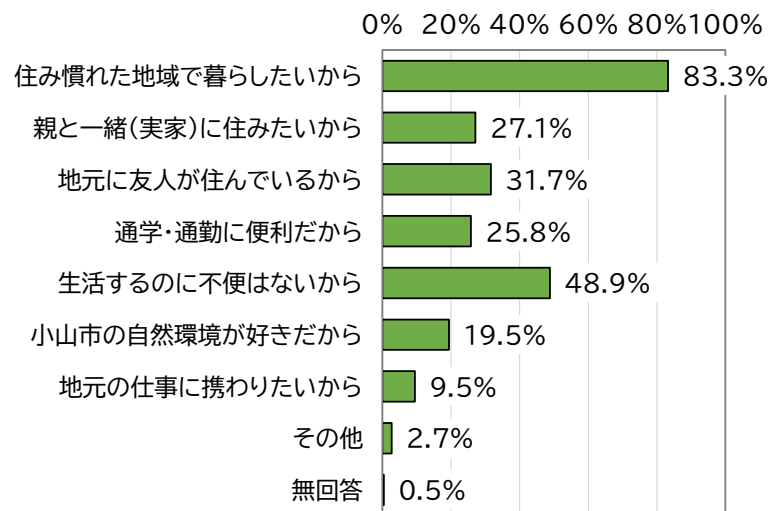
問19で「住みたい」「県外へ出てもしずれは小山市に住みたい」と回答した方にお聞きます

【高校生のみ】

問19-1 小山市に住みたい理由は何ですか。(あてはまる番号すべてを選択してください)

小山市に住みたい理由については、「住み慣れた地域で暮らしたいから」が83.3%と最も多く、次いで「生活するのに不便はないから」が48.9%、「地元友人が住んでいるから」が31.7%となっています。

将来小山市に住みたい理由（高校生）



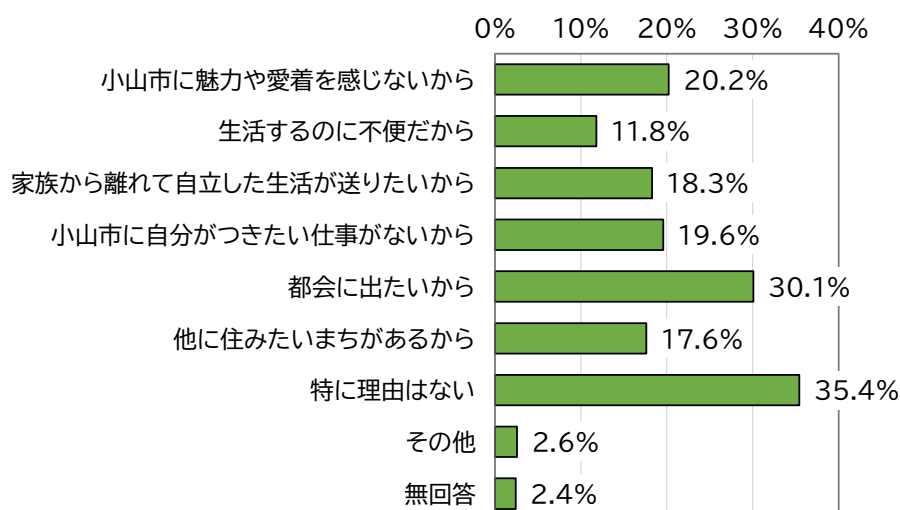
項目	度数	比率
住み慣れた地域で暮らしたいから	184	83.3%
親と一緒に(実家)に住みたいから	60	27.1%
地元友人が住んでいるから	70	31.7%
通学・通勤に便利だから	57	25.8%
生活するのに不便はないから	108	48.9%
小山市の自然環境が好きだから	43	19.5%
地元の仕事に携わりたいから	21	9.5%
その他	6	2.7%
無回答	1	0.5%
回答者数	221	

問19で「できれば住みたくない」～「わからない」と回答した方にお聞きます**【高校生のみ】**

問19-2 小山市に住みたくない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてを選択してください)

小山市に住みたくない理由については、「都会に出たいから」が30.1%と多く、次いで「小山市に魅力や愛着を感じないから」が20.2%、「小山市に自分がつきたい仕事がないから」が19.6%となっています。

一方、「特に理由はない」が35.4%となっています。

将来小山市に住みたくない理由（高校生）

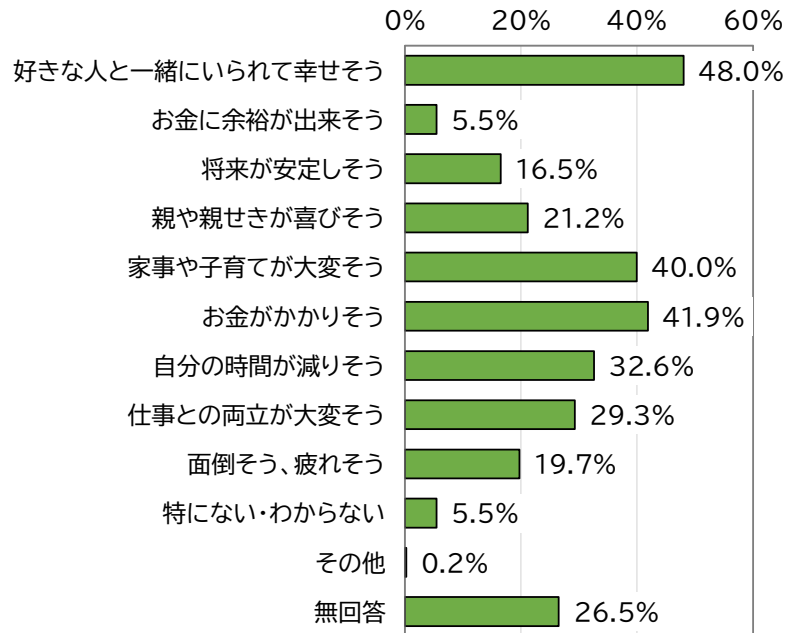
項目	度数	比率
小山市に魅力や愛着を感じないから	125	20.2%
生活するのに不便だから	73	11.8%
家族から離れて自立した生活を送りたいから	113	18.3%
小山市に自分がつきたい仕事がないから	121	19.6%
都会に出たいから	186	30.1%
他に住みたいまちがあるから	109	17.6%
特に理由はない	219	35.4%
その他	16	2.6%
無回答	15	2.4%
回答者数	618	

【高校生のみ】

問 20 あなたが結婚に対して持っているイメージを教えてください。(あてはまる番号すべてを選択してください)

結婚に対して持っているイメージについては、「好きな人と一緒にいられて幸せそう」が 48.0%と最も多く、次いで「お金がかかりそう」が41.9%、「家事や子育てが大変そう」が40.0%となっています。

結婚のイメージ（高校生）



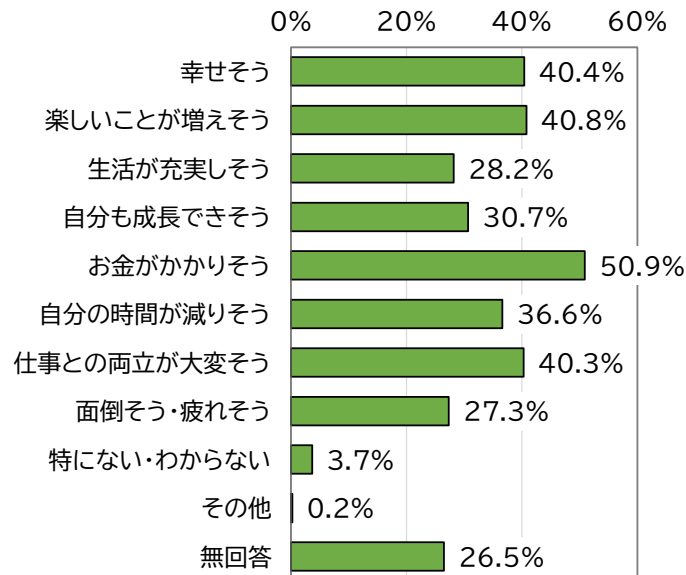
項目	度数	比率
好きな人と一緒にいられて幸せそう	404	48.0%
お金に余裕が出来るそう	46	5.5%
将来が安定しそう	139	16.5%
親や親せきが喜びそう	178	21.2%
家事や子育てが大変そう	336	40.0%
お金がかかりそう	352	41.9%
自分の時間が減りそう	274	32.6%
仕事との両立が大変そう	246	29.3%
面倒そう、疲れそう	166	19.7%
特にない・わからない	46	5.5%
その他	2	0.2%
無回答	223	26.5%
回答者数	841	

【高校生のみ】

問 21 あなたが子育てに対して持っているイメージを教えてください。（あてはまる番号すべてを選択してください）

子育てに対して持っているイメージについては、「お金がかかりそう」が 50.9%と最も多く、次いで「楽しいことが増えそう」が 40.8%、「幸せそう」が 40.4%、「仕事との両立が大変そう」が 40.3%となっています。

子育てのイメージ（高校生）



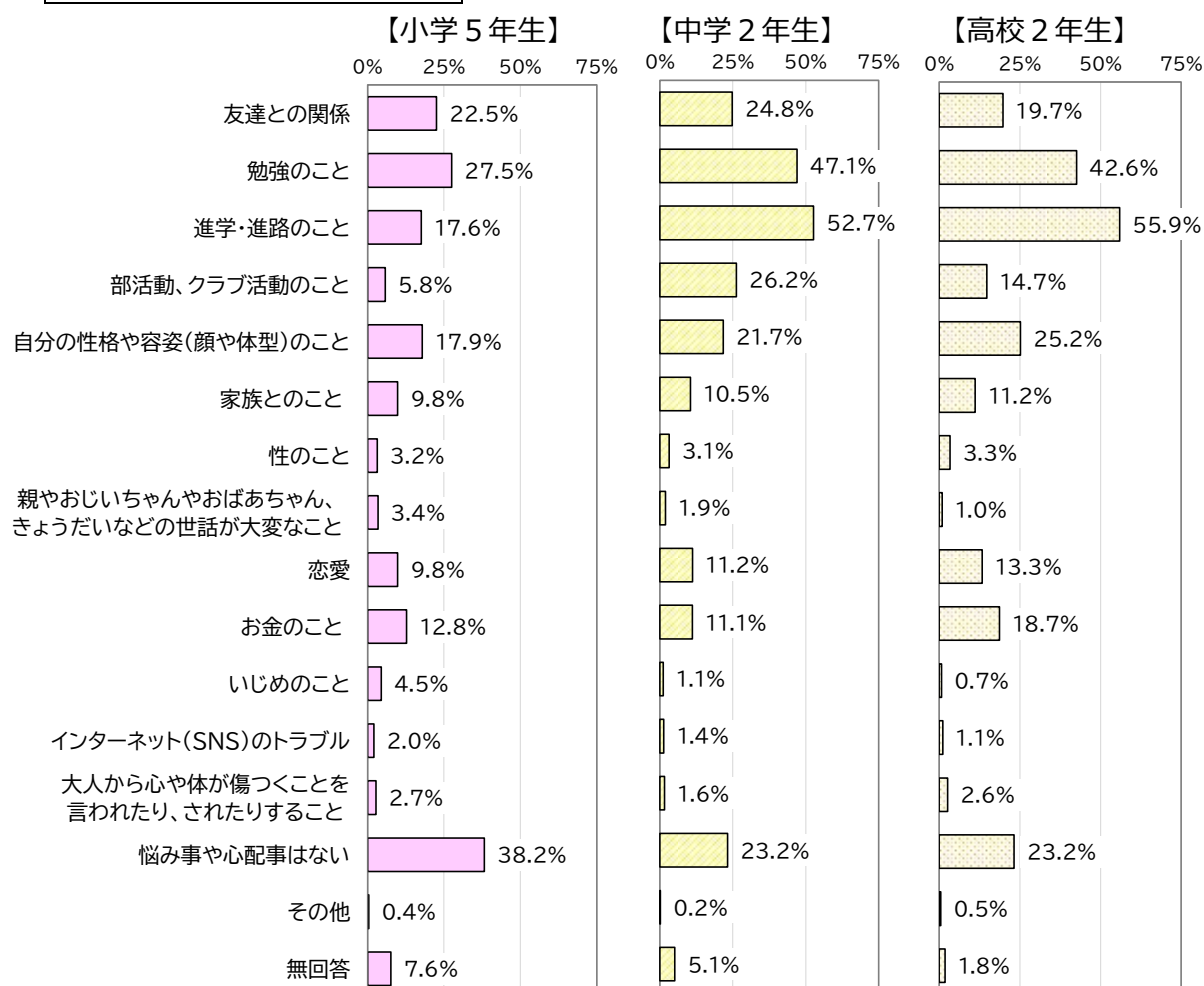
項目	度数	比率
幸せそう	340	40.4%
楽しいことが増えそう	343	40.8%
生活が充実しそう	237	28.2%
自分も成長できそう	258	30.7%
お金がかかりそう	428	50.9%
自分の時間が減りそう	308	36.6%
仕事との両立が大変そう	339	40.3%
面倒そう・疲れそう	230	27.3%
特にない・わからない	31	3.7%
その他	2	0.2%
無回答	223	26.5%
回答者数	841	

⑥悩みについておたずねします

問 14 あなたは、自分や家族のことで悩みや心配事がありますか。(あてはまる番号すべてを選択してください)

悩みや心配ごとについては、中学2年生、高校2年生で、「進学・進路のこと」が多くなっています。

悩みや心配ごとの内容（学年別）



項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率
友達との関係	300	22.5%	293	24.8%	166	19.7%
勉強のこと	366	27.5%	556	47.1%	358	42.6%
進学・進路のこと	234	17.6%	622	52.7%	470	55.9%
部活動、クラブ活動のこと	77	5.8%	309	26.2%	124	14.7%
自分の性格や容姿(顔や体型)のこと	238	17.9%	256	21.7%	212	25.2%
家族とのこと	131	9.8%	124	10.5%	94	11.2%
性のこと	42	3.2%	37	3.1%	28	3.3%
親やおじいちゃんやおばあちゃん、 きょうだいなどの世話が大変なこと	45	3.4%	23	1.9%	8	1.0%
恋愛	131	9.8%	132	11.2%	112	13.3%
お金のこと	170	12.8%	131	11.1%	157	18.7%
いじめのこと	60	4.5%	13	1.1%	6	0.7%
インターネット(SNS)のトラブル	27	2.0%	16	1.4%	9	1.1%
大人から心や体が傷つくことを 言われたり、されたりすること	36	2.7%	19	1.6%	22	2.6%
悩み事や心配事はない	509	38.2%	274	23.2%	195	23.2%
その他	5	0.4%	2	0.2%	4	0.5%
無回答	101	7.6%	60	5.1%	15	1.8%
回答者数	1,331		1,181		841	

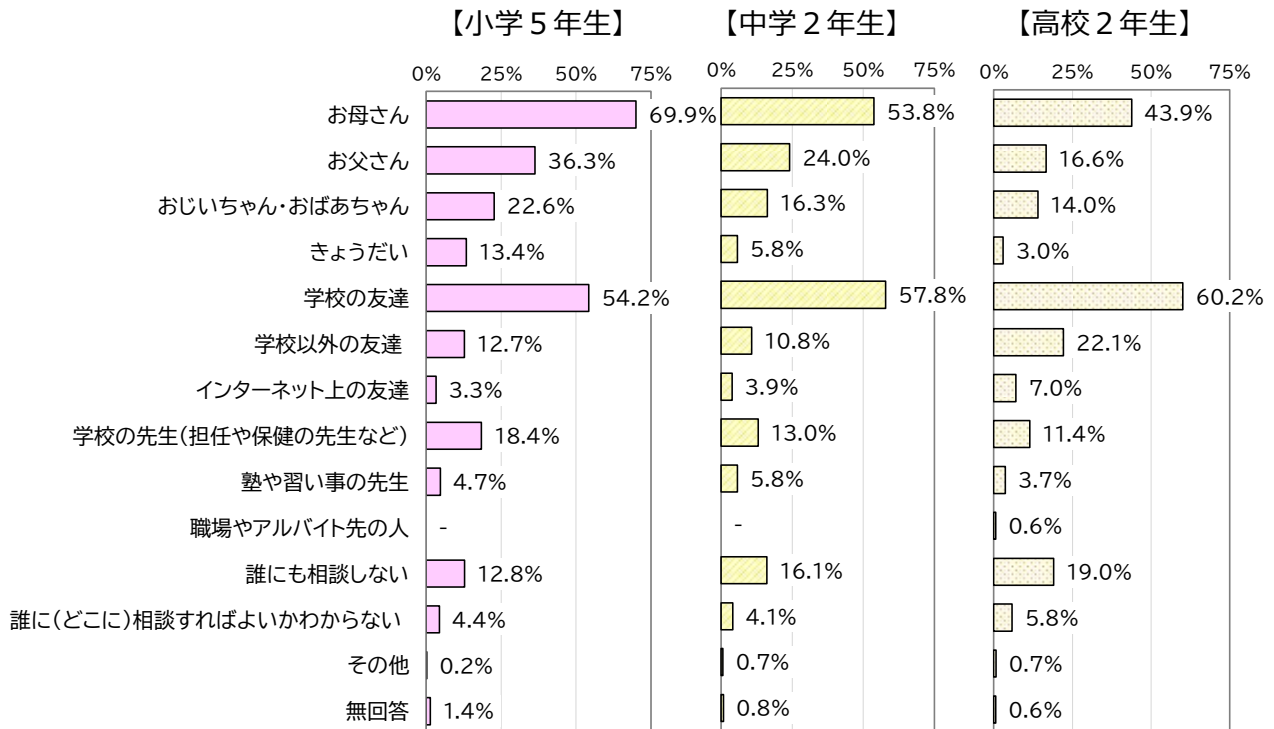
3 小学5年生調査・中学2年生調査・高校2年生調査

問15 あなたは、悩み事がある時、誰に相談しますか。(あてはまる番号すべてを選択してください)

悩みごとの相談先については、小学5年生では、「お母さん」が多く、それ以降では、「学校の友達」が多くなっています。

また、「誰にも相談しない」は、年代が上がるにつれて多くなっています。

悩みや心配ごとの相談先（学年別）



項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率
お母さん	931	69.9%	635	53.8%	369	43.9%
お父さん	483	36.3%	284	24.0%	140	16.6%
おじいちゃん・おばあちゃん	301	22.6%	192	16.3%	118	14.0%
きょうだい	178	13.4%	68	5.8%	25	3.0%
学校の友達	722	54.2%	683	57.8%	506	60.2%
学校以外の友達	169	12.7%	127	10.8%	186	22.1%
インターネット上の友達	44	3.3%	46	3.9%	59	7.0%
学校の先生(担任や保健の先生など)	245	18.4%	154	13.0%	96	11.4%
塾や習い事の先生	63	4.7%	68	5.8%	31	3.7%
職場やアルバイト先の人	-	-	-	-	5	0.6%
誰にも相談しない	170	12.8%	190	16.1%	160	19.0%
誰に(どこに)相談すればよいかわからない	59	4.4%	49	4.1%	49	5.8%
その他	2	0.2%	8	0.7%	6	0.7%
無回答	18	1.4%	10	0.8%	5	0.6%
回答者数	1,331		1,181		841	

⑦ヤングケアラーについておたずねします

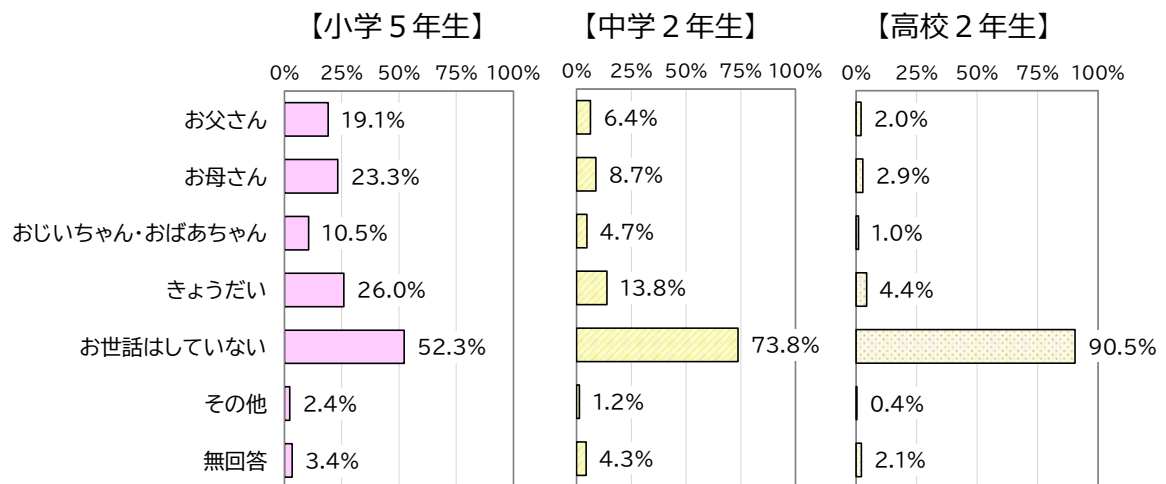
問16 あなたの家族の中に、あなたがお世話をしている人はいますか。(あてはまる番号すべてを選択してください)

※お世話とは、食事の準備や洗濯、お風呂やトイレなど大人に代わってめんどろみることです。

家族の中にお世話をしている人がいるかについては、「きょうだい」で年代が上がるにつれて、少なくなっています。

一方、お世話はしていないは、年代が上がるにつれて多くなっています。

お世話をしている人の有無（学年別）



項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率
お父さん	254	19.1%	75	6.4%	17	2.0%
お母さん	310	23.3%	103	8.7%	24	2.9%
おじいちゃん・おばあちゃん	140	10.5%	55	4.7%	8	1.0%
きょうだい	346	26.0%	163	13.8%	37	4.4%
お世話はしていない	696	52.3%	871	73.8%	761	90.5%
その他	32	2.4%	14	1.2%	3	0.4%
無回答	45	3.4%	51	4.3%	18	2.1%
回答者数	1,331		1,181		841	

問 24 で「お世話はしていない」以外を回答した方にお聞きします

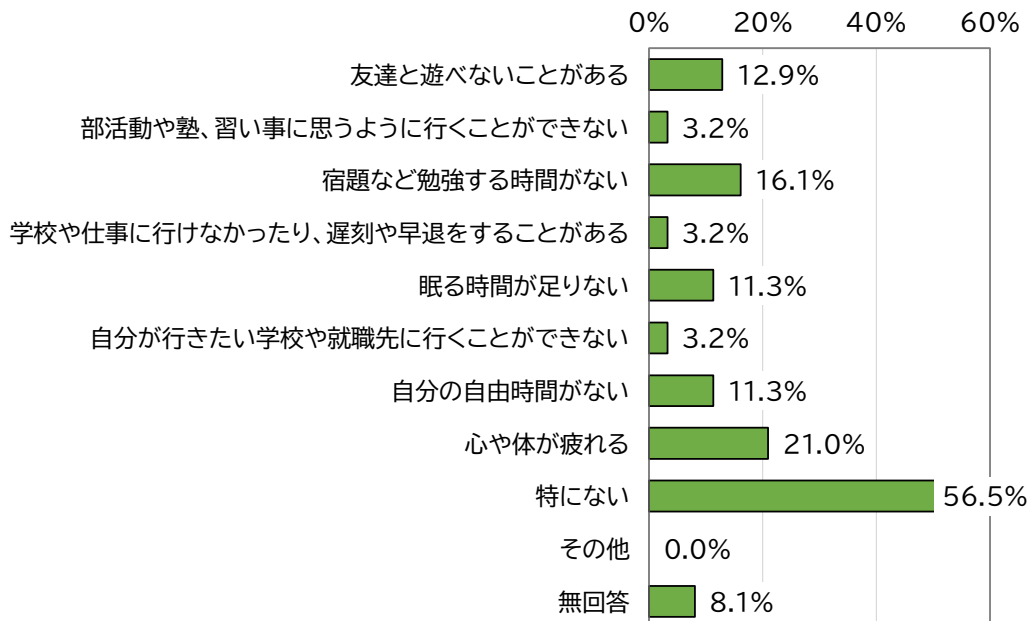
【高校生のみ】

問 24-1 お世話をしていることで、次のようなことがありますか。(あてはまる番号すべてを選択してください)

お世話をしていることで影響があることでは、「心や体が疲れる」が 21.0%と多く、次いで「宿題など勉強する時間がない」が 16.1%となっています。

一方、「特にない」が 56.5%となっています。

お世話をしている影響（高校生）



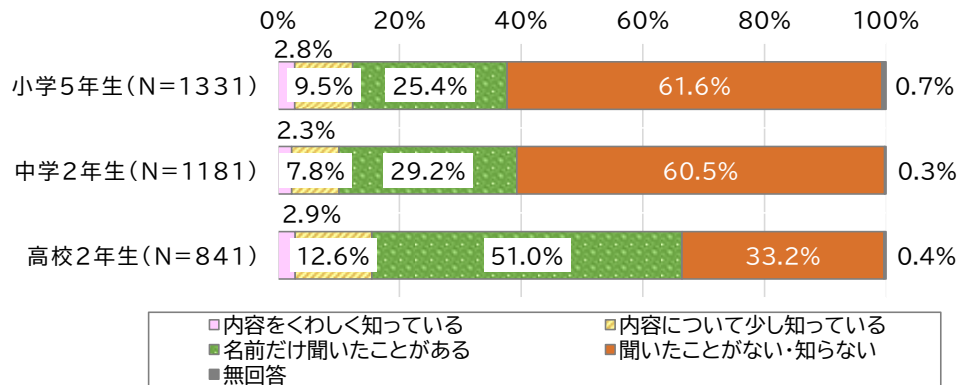
項目	度数	比率
友達と遊べないことがある	8	12.9%
部活動や塾、習い事に思うように行くことができない	2	3.2%
宿題など勉強する時間がない	10	16.1%
学校や仕事に行けなかったり、遅刻や早退をすることがある	2	3.2%
眠る時間が足りない	7	11.3%
自分が行きたい学校や就職先に行くことができない	2	3.2%
自分の自由時間がない	7	11.3%
心や体が疲れる	13	21.0%
特にない	35	56.5%
その他	0	0.0%
無回答	5	8.1%
回答者数	62	

⑧こども基本法・子どもの権利についておたずねします

問 17 あなたは、「こども基本法」と「子どもの権利条約」を知っていますか。(それぞれ、あてはまる番号 1 つを選んでください)

①こども基本法の認知度（学年別）

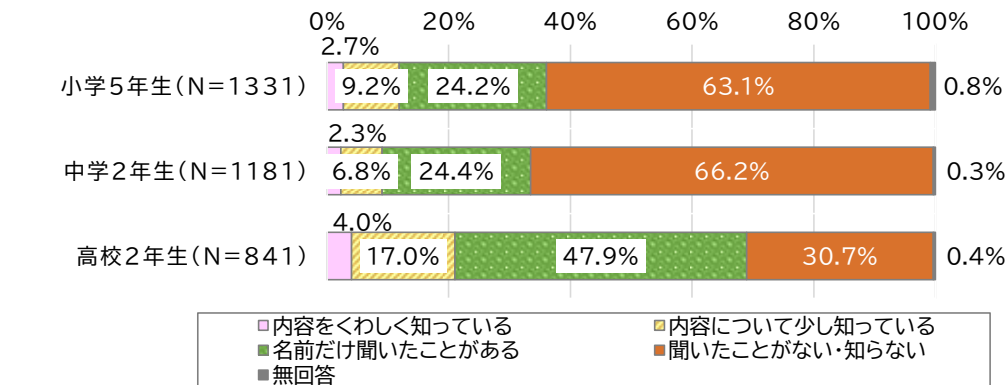
こども基本法の認知度は、高校2年生で「名前だけ聞いたことがある」が 51.0%と多くなっています。



項目(度数)	内容をくわしく知っている	内容について少し知っている	名前だけ聞いたことがある	聞いたことがない・知らない	無回答	合計
小学5年生	37	127	338	820	9	1,331
中学2年生	27	92	345	714	3	1,181
高校2年生	24	106	429	279	3	841
項目(比率)	内容をくわしく知っている	内容について少し知っている	名前だけ聞いたことがある	聞いたことがない・知らない	無回答	合計
小学5年生(n=1331)	2.8%	9.5%	25.4%	61.6%	0.7%	100.0%
中学2年生(n=1181)	2.3%	7.8%	29.2%	60.5%	0.3%	100.0%
高校2年生(n=841)	2.9%	12.6%	51.0%	33.2%	0.4%	100.0%

②子どもの権利条約の認知度（学年別）

子どもの権利条約の認知度は、高校2年生で「名前だけ聞いたことがある」が47.9%と多くなっています。



項目(度数)	内容をくわしく知っている	内容について少し知っている	名前だけ聞いたことがある	聞いたことがない・知らない	無回答	合計
小学5年生	36	122	322	840	11	1,331
中学2年生	27	80	288	782	4	1,181
高校2年生	34	143	403	258	3	841
項目(比率)	内容をくわしく知っている	内容について少し知っている	名前だけ聞いたことがある	聞いたことがない・知らない	無回答	合計
小学5年生(n=1331)	2.7%	9.2%	24.2%	63.1%	0.8%	100.0%
中学2年生(n=1181)	2.3%	6.8%	24.4%	66.2%	0.3%	100.0%
高校2年生(n=841)	4.0%	17.0%	47.9%	30.7%	0.4%	100.0%

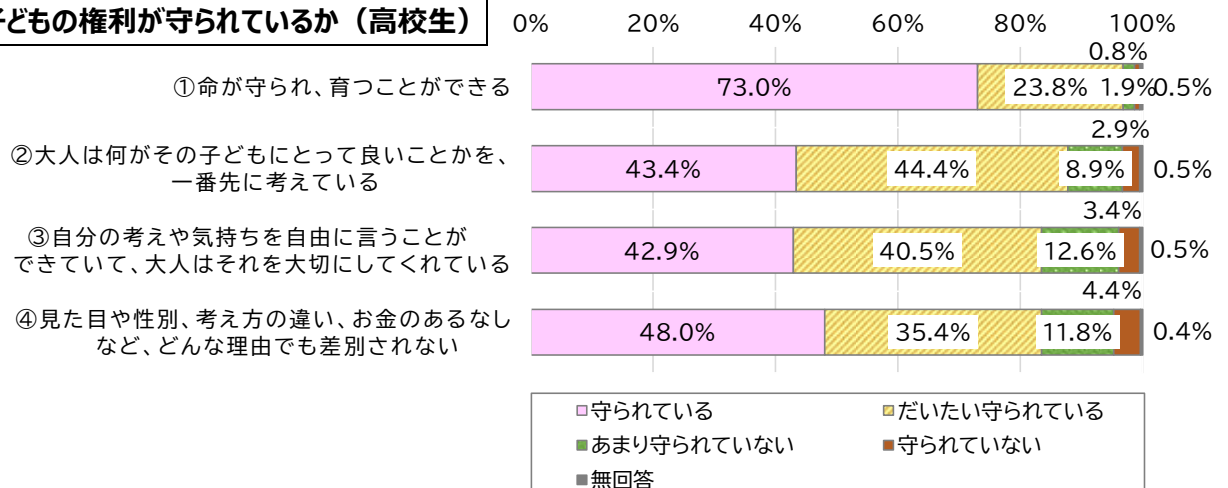
【高校生のみ】

問 26 あなたやあなたのまわりの子どもで、以下の①～④について、守られていないと思うものはありますか。(それぞれ、あてはまる番号1つを選んでください)

子どもの権利について「守られている」「だいたい守られている」を合わせた『守られている』で、「①命が守られ、育つことができる」が96.8%と最も多く、次いで「②大人は何がその子どもにとって良いことかを、一番先に考えている」が87.8%となっています。

一方、「守られていない」「あまり守られていない」を合わせた『守られていない』で「③自分の考えや気持ちを自由に言うことができいて、大人はそれを大切にしてくれている」が16.0%、「④見た目や性別、考え方の違い、お金のあるなしなど、どんな理由でも差別されない」が16.2%となっています。

子どもの権利が守られているか（高校生）



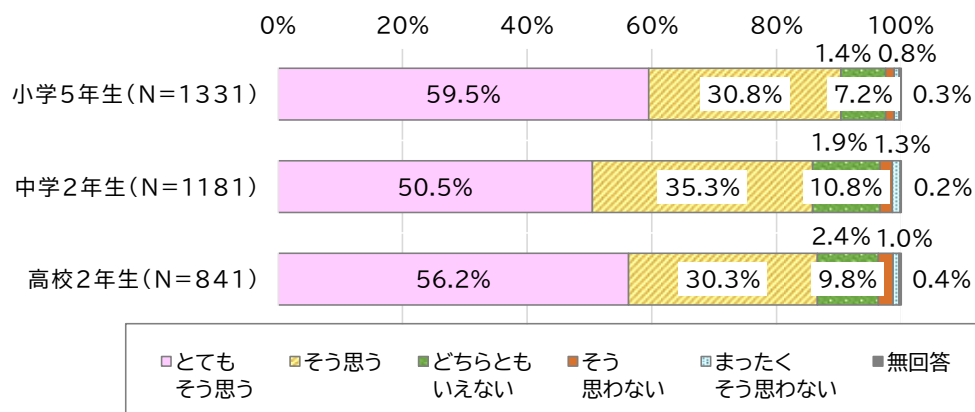
3 小学5年生調査・中学2年生調査・高校2年生調査

項目(度数)	守られている	だいたい守られている	あまり守られていない	守られていない	無回答	合計
①命が守られ、育つことができる	614	200	16	7	4	841
②大人は何がその子どもにとって良いことを、一番先に考えている	365	373	75	24	4	841
③自分の考えや気持ちを自由に言うことができる、大人はそれを大切にしてくれている	361	341	106	29	4	841
④見た目や性別、考え方の違い、お金のあるなしなど、どんな理由でも差別されない	404	298	99	37	3	841
項目(比率)	守られている	だいたい守られている	あまり守られていない	守られていない	無回答	合計
①命が守られ、育つことができる	73.0%	23.8%	1.9%	0.8%	0.5%	100.0%
②大人は何がその子どもにとって良いことを、一番先に考えている	43.4%	44.4%	8.9%	2.9%	0.5%	100.0%
③自分の考えや気持ちを自由に言うことができる、大人はそれを大切にしてくれている	42.9%	40.5%	12.6%	3.4%	0.5%	100.0%
④見た目や性別、考え方の違い、お金のあるなしなど、どんな理由でも差別されない	48.0%	35.4%	11.8%	4.4%	0.4%	100.0%

問 18 あなたのお父さん・お母さんや学校の先生は、あなたのことを決めるときに、あなたの意見を聞いて、大事にしてくれていると思いますか。(それぞれ、あてはまる番号 1 つを選んでください)

①お父さん・お母さん(または身近な人)があなたの意見を大事にしてくれるか (学年別)

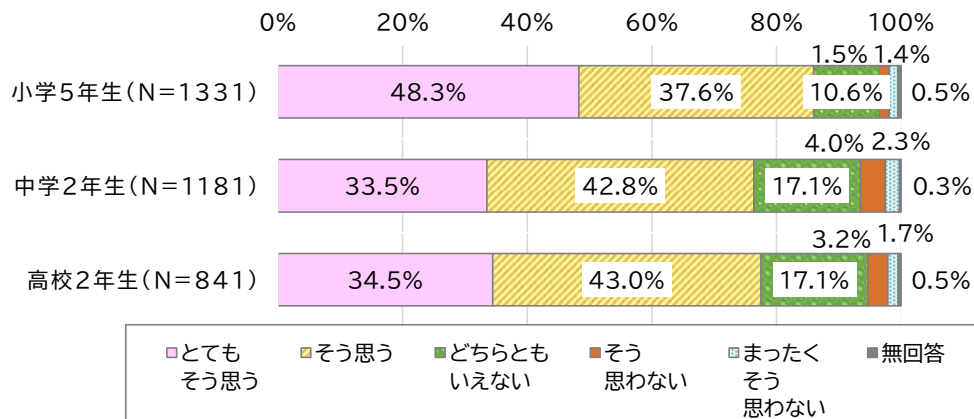
お父さん・お母さんはあなたの意見を大事にしてくれるかについては、中学2年生で「とてもそう思う」が少なくなっています。



項目(度数)	とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	まったくそう思わない	無回答	合計
小学5年生	792	410	96	18	11	4	1,331
中学2年生	596	417	128	23	15	2	1,181
高校2年生	473	255	82	20	8	3	841
項目(比率)	とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	まったくそう思わない	無回答	合計
小学5年生(n=1331)	59.5%	30.8%	7.2%	1.4%	0.8%	0.3%	100.0%
中学2年生(n=1181)	50.5%	35.3%	10.8%	1.9%	1.3%	0.2%	100.0%
高校2年生(n=841)	56.2%	30.3%	9.8%	2.4%	1.0%	0.4%	100.0%

②学校の先生(職場の人)はあなたの意見を大事にしてくれるか(学年別)

学校の先生はあなたの意見を大事にしてくれるかについては、小学5年生で「とてもそう思う」が多くなっています。



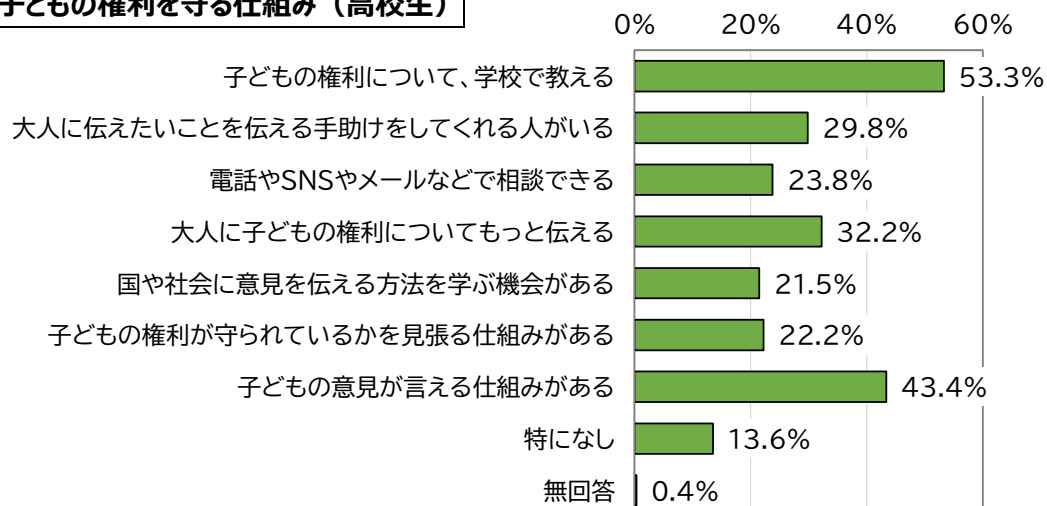
項目(度数)	とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	まったくそう思わない	無回答	合計
小学5年生	643	501	141	20	19	7	1,331
中学2年生	396	506	202	47	27	3	1,181
高校2年生	290	362	144	27	14	4	841
項目(比率)	とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	まったくそう思わない	無回答	合計
小学5年生(n=1331)	48.3%	37.6%	10.6%	1.5%	1.4%	0.5%	100.0%
中学2年生(n=1181)	33.5%	42.8%	17.1%	4.0%	2.3%	0.3%	100.0%
高校2年生(n=841)	34.5%	43.0%	17.1%	3.2%	1.7%	0.5%	100.0%

【高校生のみ】

問 28 あなたは、子どもの権利を守るために、どんな仕組みがあればいいと思いますか。
(あてはまる番号すべてを選択してください)

子どもの権利を守るために、望む仕組みについては、「子どもの権利について、学校で教える」が53.3%と多く、次いで「子どもの意見が言える仕組みがある」が43.4%、「大人に子どもの権利についてもっと伝える」が32.2%となっています。

子どもの権利を守る仕組み(高校生)



3 小学5年生調査・中学2年生調査・高校2年生調査

項目	度数	比率
子どもの権利について、学校で教える	448	53.3%
大人に伝えたいことを伝える手助けをしてくれる人がいる	251	29.8%
電話やSNSやメールなどで相談できる	200	23.8%
大人に子どもの権利についてもっと伝える	271	32.2%
国や社会に意見を伝える方法を学ぶ機会がある	181	21.5%
子どもの権利が守られているかを見張る仕組みがある	187	22.2%
子どもの意見が言える仕組みがある	365	43.4%
特になし	114	13.6%
無回答	3	0.4%
回答者数	841	

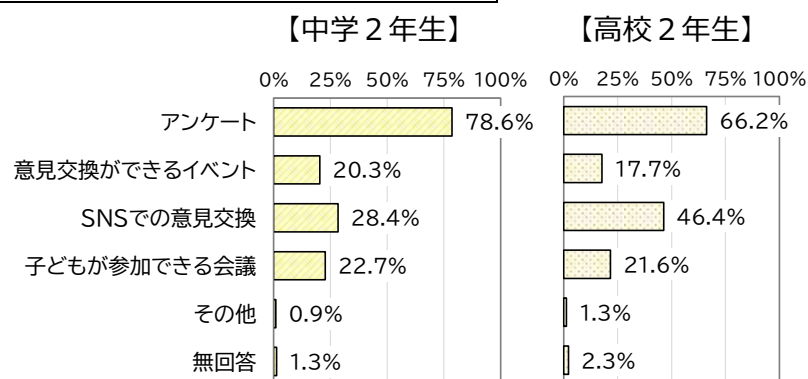
⑨子どもの意見の取り入れ方についておたずねします

【中学生・高校生のみ】

問 20 市の事業に子どもの意見を取り入れる方法について、あなたはどんな機会があれば子どもが意見を伝えやすいと思いますか。(あてはまる番号すべてを選択してください)

市の事業に子どもの意見を取り入れやすい方法は、「アンケート」がそれぞれ多くなっていますが、高校2年生で、「SNSでの意見交換」が約半数となっています。

市の事業に子ども意見を取り入れる方法（学年別）



項目	中学2年生		高校2年生	
	度数	比率	度数	比率
アンケート	928	78.6%	557	66.2%
意見交換ができるイベント	240	20.3%	149	17.7%
SNSでの意見交換	335	28.4%	390	46.4%
子どもが参加できる会議	268	22.7%	182	21.6%
その他	11	0.9%	11	1.3%
無回答	15	1.3%	19	2.3%
回答者数	1,181		841	

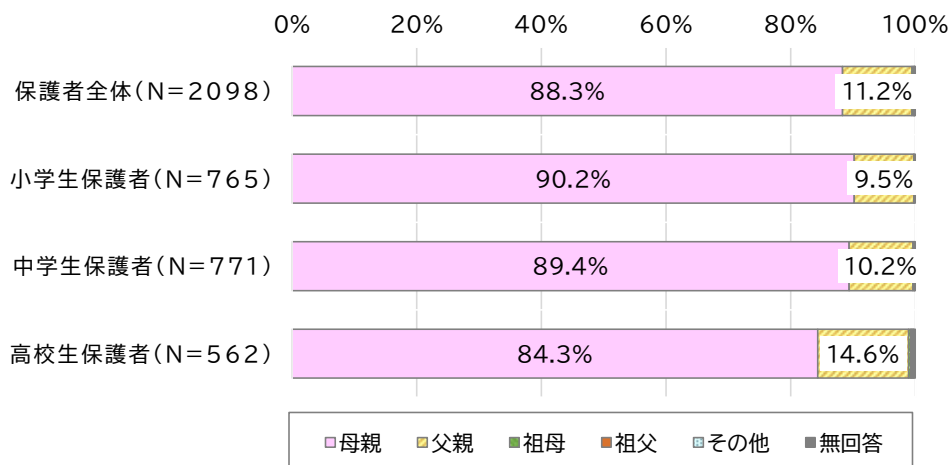
4 保護者調査（小学生・中学生・高校生）

①お子さんと、調査に回答いただく方(あなた)のことについておたずねします

問1 この調査に回答いただいている方(あなた)の、お子さんからみた続柄についてお教えください。(あてはまる番号 1 つを選んでください)

お子さんからみた続柄については、「母親」が 88.3%、「父親」が 11.2%となっています。

回答者（学年別保護者）



項目	保護者全体		小学生保護者		中学生保護者		高校生保護者	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率
母親	1,853	88.3%	690	90.2%	689	89.4%	474	84.3%
父親	234	11.2%	73	9.5%	79	10.2%	82	14.6%
祖母	6	0.3%	2	0.3%	2	0.3%	2	0.4%
祖父	1	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.2%
その他	2	0.1%	0	0.0%	1	0.1%	1	0.2%
無回答	2	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.4%
合計	2,098	100.0%	765	100.0%	771	100.0%	562	100.0%

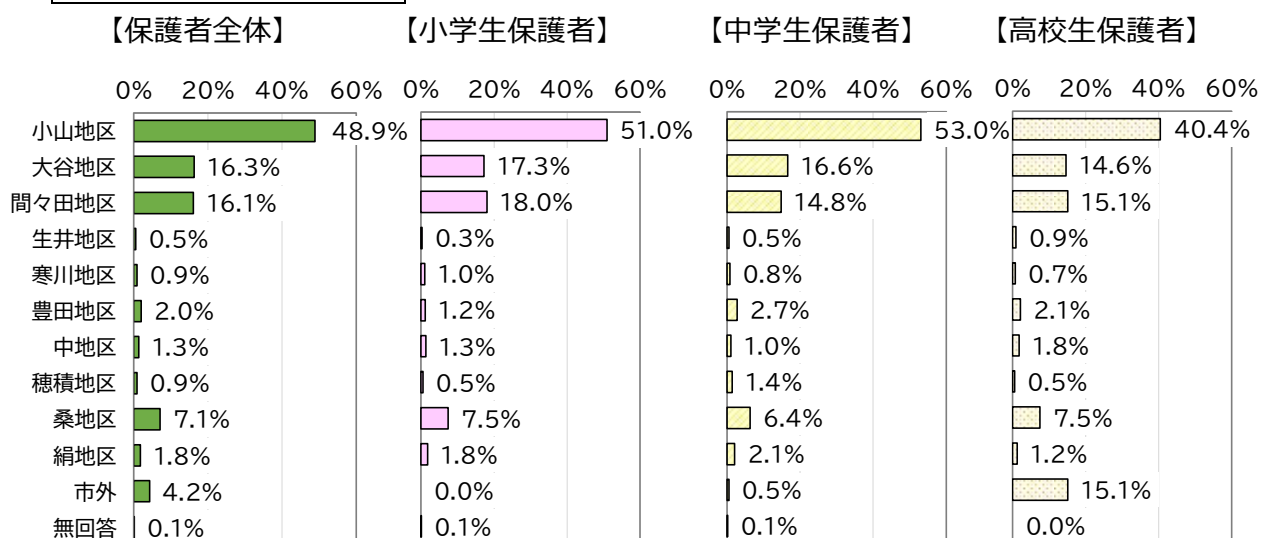
4 保護者調査（小学生・中学生・高校生）

問2 現在お住いの地区を教えてください。（あてはまる番号 1 つを選んでください）

全体の住んでいる地区は、「小山地区」が 48.9%と最も多く、次いで「大谷地区」が 16.3%、「間々田地区」が 16.1%となっています。

高校生保護者が、「市外」がいるため、「小山地区」で少なくなっています。

居住地区（学年別保護者）



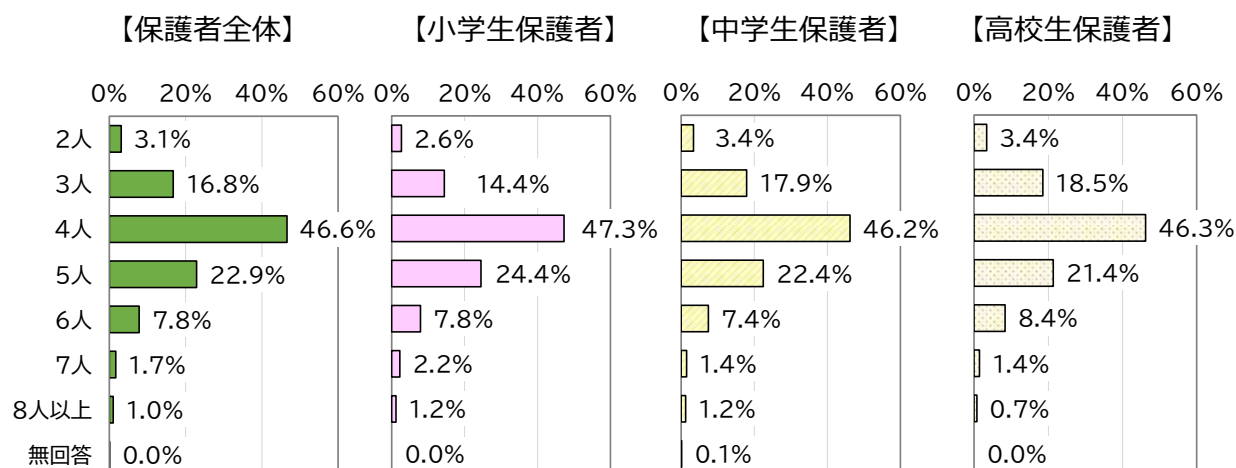
項目	保護者全体		小学生保護者		中学生保護者		高校生保護者	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率
小山地区	1,026	48.9%	390	51.0%	409	53.0%	227	40.4%
大谷地区	342	16.3%	132	17.3%	128	16.6%	82	14.6%
間々田地区	337	16.1%	138	18.0%	114	14.8%	85	15.1%
生井地区	11	0.5%	2	0.3%	4	0.5%	5	0.9%
寒川地区	18	0.9%	8	1.0%	6	0.8%	4	0.7%
豊田地区	42	2.0%	9	1.2%	21	2.7%	12	2.1%
中地区	28	1.3%	10	1.3%	8	1.0%	10	1.8%
穂積地区	18	0.9%	4	0.5%	11	1.4%	3	0.5%
桑地区	148	7.1%	57	7.5%	49	6.4%	42	7.5%
絹地区	37	1.8%	14	1.8%	16	2.1%	7	1.2%
市外	89	4.2%	0	0.0%	4	0.5%	85	15.1%
無回答	2	0.1%	1	0.1%	1	0.1%	0	0.0%
合計	2,098	100.0%	765	100.0%	771	100.0%	562	100.0%

②世帯の状況についておたずねします

問3 お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の構成と人数をお答えください。単身ふにん中の方や学業のために世帯を離れているお子さんがいる場合には、ご家族の人数に含めて教えてください。（人数を回答欄に記入してください）

①世帯人数（学年別保護者）

全体の世帯人数は、「4人」が46.6%と最も多く、次いで「5人」が22.9%、「3人」が16.8%となっています。

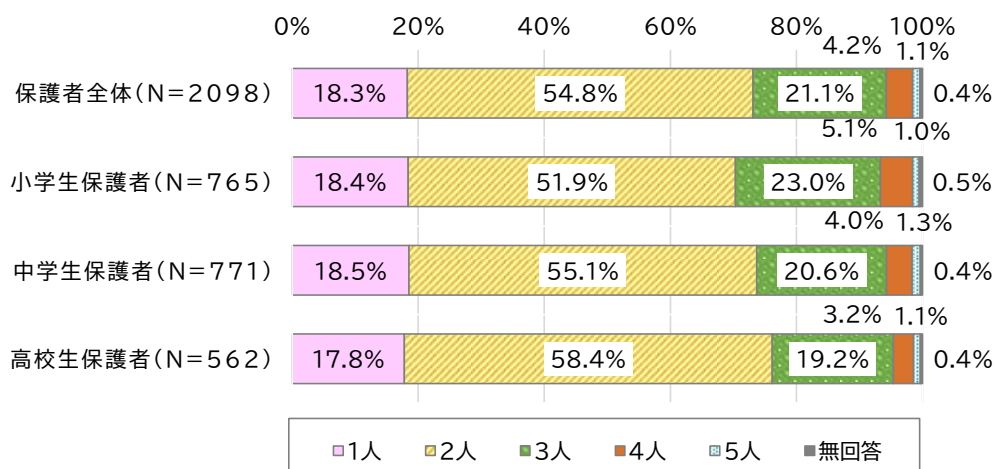


項目	保護者全体		小学生保護者		中学生保護者		高校生保護者	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率
2人	65	3.1%	20	2.6%	26	3.4%	19	3.4%
3人	352	16.8%	110	14.4%	138	17.9%	104	18.5%
4人	978	46.6%	362	47.3%	356	46.2%	260	46.3%
5人	480	22.9%	187	24.4%	173	22.4%	120	21.4%
6人	164	7.8%	60	7.8%	57	7.4%	47	8.4%
7人	36	1.7%	17	2.2%	11	1.4%	8	1.4%
8人以上	22	1.0%	9	1.2%	9	1.2%	4	0.7%
無回答	1	0.0%	0	0.0%	1	0.1%	0	0.0%
合計	2,098	100.0%	765	100.0%	771	100.0%	562	100.0%

4 保護者調査（小学生・中学生・高校生）

②世帯の子どもの人数（学年別保護者）

全体の子どもの人数は、「2 人」が 54.8%と最も多く、次いで「3 人」が 21.1%、「1 人」が 18.3%となっています。



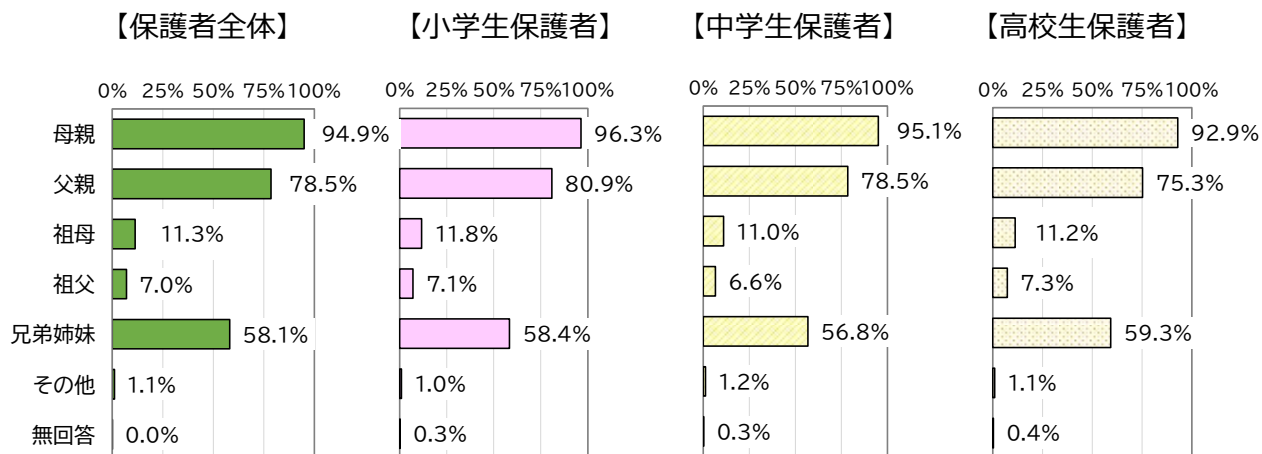
項目	保護者全体		小学生保護者		中学生保護者		高校生保護者	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率
1人	384	18.3%	141	18.4%	143	18.5%	100	17.8%
2人	1,150	54.8%	397	51.9%	425	55.1%	328	58.4%
3人	443	21.1%	176	23.0%	159	20.6%	108	19.2%
4人	88	4.2%	39	5.1%	31	4.0%	18	3.2%
5人	24	1.1%	8	1.0%	10	1.3%	6	1.1%
無回答	9	0.4%	4	0.5%	3	0.4%	2	0.4%
合計	2,098	100.0%	765	100.0%	771	100.0%	562	100.0%

4 保護者調査（小学生・中学生・高校生）

問4 あなたの世帯に含まれる方全員の、お子さんからみた続柄について教えてください。（あてはまる番号すべてを選択してください）

全体の世帯に含まれる方全員の、お子さんからみた続柄については、「母親」が 94.9%と最も多く、次いで「父親」が 78.5%となっています。

同居の家族（学年別保護者）



項目	保護者全体		小学生保護者		中学生保護者		高校生保護者	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率
母親	1,992	94.9%	737	96.3%	733	95.1%	522	92.9%
父親	1,647	78.5%	619	80.9%	605	78.5%	423	75.3%
祖母	238	11.3%	90	11.8%	85	11.0%	63	11.2%
祖父	146	7.0%	54	7.1%	51	6.6%	41	7.3%
兄弟姉妹	1,218	58.1%	447	58.4%	438	56.8%	333	59.3%
その他	23	1.1%	8	1.0%	9	1.2%	6	1.1%
無回答	1	0.0%	2	0.3%	2	0.3%	2	0.4%
回答者数	2,098		765		771		562	

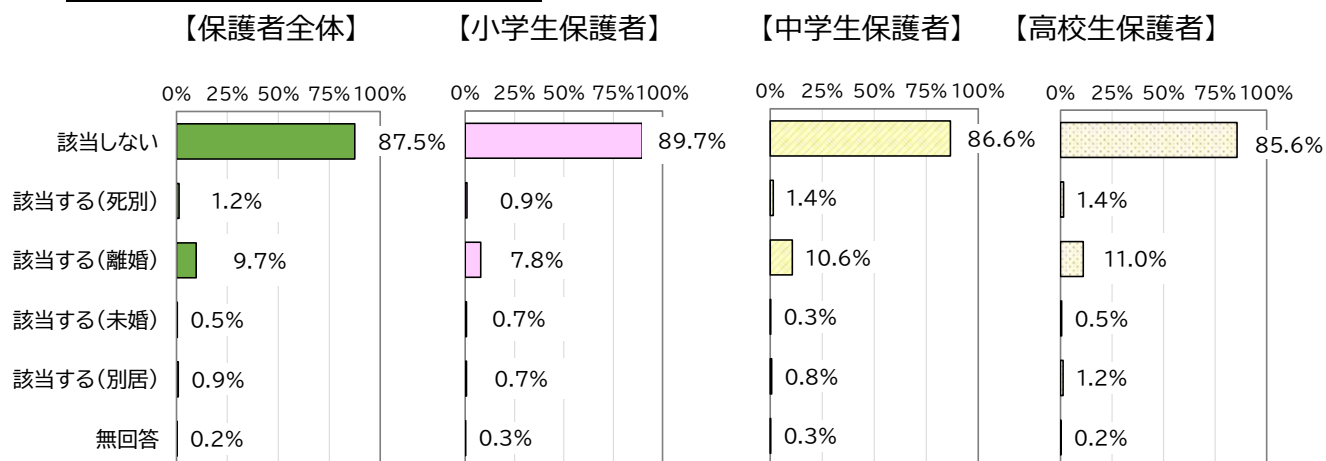
4 保護者調査（小学生・中学生・高校生）

問5 あなたの世帯は、「ひとり親世帯」に該当しますか。（あてはまる番号 1 つを選んでください）※この調査で「ひとり親世帯」とは、死別、離別、未婚などのより、現に配偶者のいない男性または女性が、18 歳未満の未婚の子どもを育てている世帯とします。

「ひとり親世帯」に該当するかでは、「該当する（離婚）」が 9.7%となっています。

一方、「該当しない」が 87.5%となっています。

ひとり親の該当状況（学年別保護者）



項目	保護者全体		小学生保護者		中学生保護者		高校生保護者	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率
該当しない	1,835	87.5%	686	89.7%	668	86.6%	481	85.6%
該当する(死別)	26	1.2%	7	0.9%	11	1.4%	8	1.4%
該当する(離婚)	204	9.7%	60	7.8%	82	10.6%	62	11.0%
該当する(未婚)	10	0.5%	5	0.7%	2	0.3%	3	0.5%
該当する(別居)	18	0.9%	5	0.7%	6	0.8%	7	1.2%
無回答	5	0.2%	2	0.3%	2	0.3%	1	0.2%
合計	2,098	100.0%	765	100.0%	771	100.0%	562	100.0%

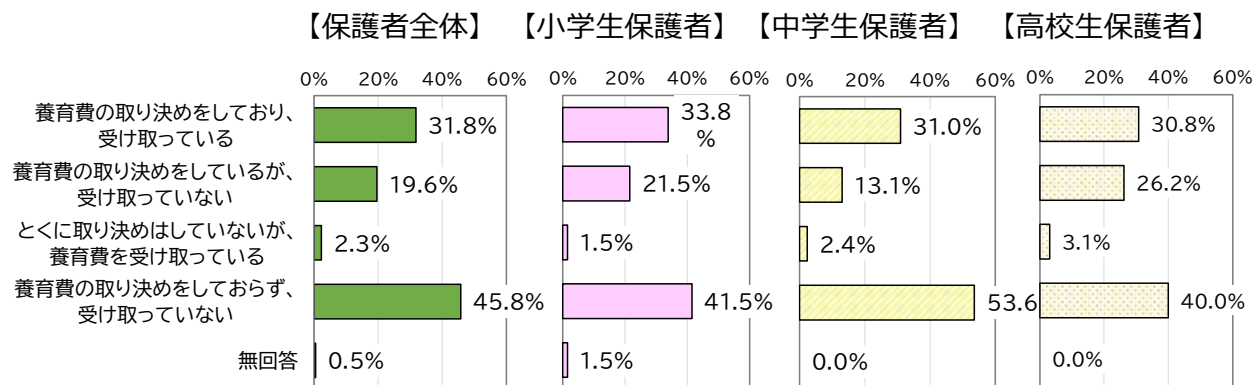
4 保護者調査（小学生・中学生・高校生）

問5でひとり親に「該当する」と回答し、離婚、未婚と回答した方にお聞きします

問6 お子さんの親(相手方)と、お子さんの養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。(あてはまる番号 1 つを選んでください)

養育費の取り決めについては、「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」が 45.8%と最も多く、次いで「養育費の取り決めをしており、受け取っている」が 31.8%、「養育費の取り決めをしているが、受け取っていない」が 19.6%となっています。

養育費の取り決め、受け取りの有無（学年別保護者）



項目	保護者全体		小学生保護者		中学生保護者		高校生保護者	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率
養育費の取り決めをしており、受け取っている	68	31.8%	22	33.8%	26	31.0%	20	30.8%
養育費の取り決めをしているが、受け取っていない	42	19.6%	14	21.5%	11	13.1%	17	26.2%
とくに取り決めはしていないが、養育費を受け取っている	5	2.3%	1	1.5%	2	2.4%	2	3.1%
養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない	98	45.8%	27	41.5%	45	53.6%	26	40.0%
無回答	1	0.5%	1	1.5%	0	0.0%	0	0.0%
合計	214	100.0%	65	100.0%	84	100.0%	65	100.0%

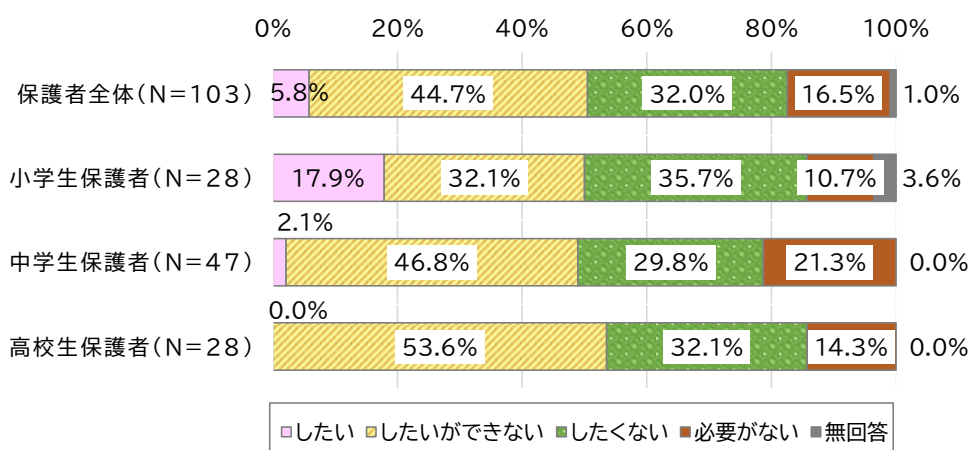
問6で「とくに取り決めはしていないが、養育費を受け取っている」、「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」養育費の取り決めをしていない方にお聞きします

問6-1 養育費の取り決めをしたいと考えていますか。（あてはまる番号 1 つを選んでください）

全体の養育費の取り決めをしたいと考えているかでは、「したいができない」が 44.7%と最も多く、次いで「したくない」が 32.0%となっています。

小学生保護者で、養育費の取り決めを「したい」が多くなっています。

養育費の取り決め希望（学年別保護者）



項目	保護者全体		小学生保護者		中学生保護者		高校生保護者	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率
したい	6	5.8%	5	17.9%	1	2.1%	0	0.0%
したいができない	46	44.7%	9	32.1%	22	46.8%	15	53.6%
したくない	33	32.0%	10	35.7%	14	29.8%	9	32.1%
必要がない	17	16.5%	3	10.7%	10	21.3%	4	14.3%
無回答	1	1.0%	1	3.6%	0	0.0%	0	0.0%
合計	103	100.0%	28	100.0%	47	100.0%	28	100.0%

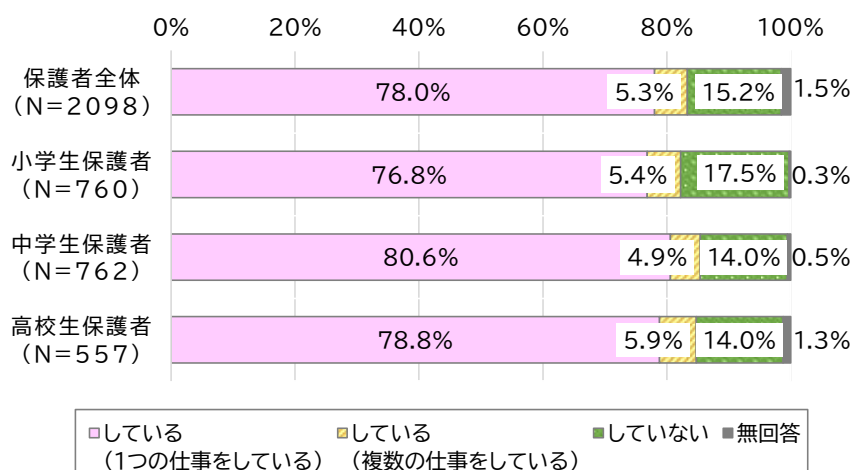
お子さんの母親と父親についておたずねします。

問7 お子さんの母親と父親は、現在収入をとまなう仕事をしていますか。（それぞれ、あてはまる番号1つを選んでください）

①母親

全体の現在収入をとまなう仕事をしているかでは、「している（1つの仕事をしている）」が78.0%と最も多くなっています。

母親の仕事の状況（学年別保護者）

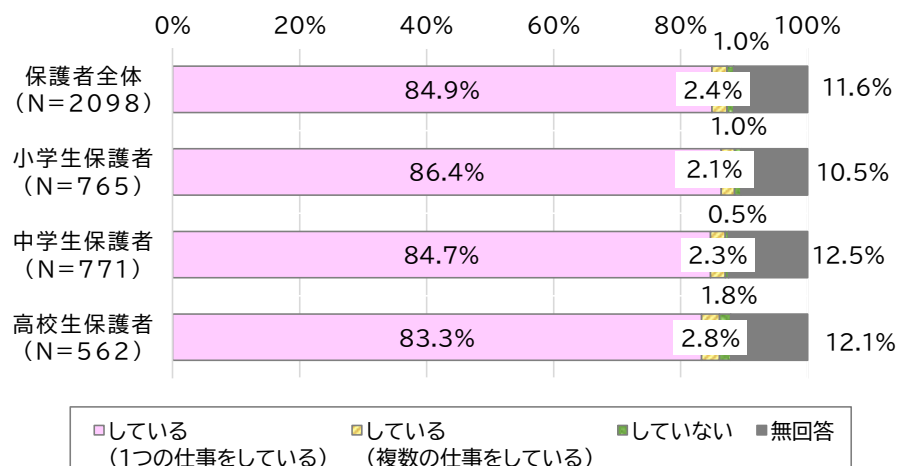


項目	保護者全体		小学生保護者		中学生保護者		高校生保護者	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率
している(1つの仕事をしている)	1,637	78.0%	584	76.8%	614	80.6%	439	78.8%
している(複数の仕事をしている)	111	5.3%	41	5.4%	37	4.9%	33	5.9%
していない	318	15.2%	133	17.5%	107	14.0%	78	14.0%
無回答	32	1.5%	2	0.3%	4	0.5%	7	1.3%
合計	2,098	100.0%	760	100.0%	762	100.0%	557	100.0%

②父親

全体の現在収入をとまなう仕事をしているかでは、「している（1つの仕事をしている）」が84.9%と最も多くなっています。

父親の仕事の状況（学年別保護者）



4 保護者調査（小学生・中学生・高校生）

項目	保護者全体		小学生保護者		中学生保護者		高校生保護者	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率
している(1つの仕事をしている)	1,782	84.9%	661	86.4%	653	84.7%	468	83.3%
している(複数の仕事をしている)	50	2.4%	16	2.1%	18	2.3%	16	2.8%
していない	22	1.0%	8	1.0%	4	0.5%	10	1.8%
無回答	244	11.6%	80	10.5%	96	12.5%	68	12.1%
合計	2,098	100.0%	765	100.0%	771	100.0%	562	100.0%

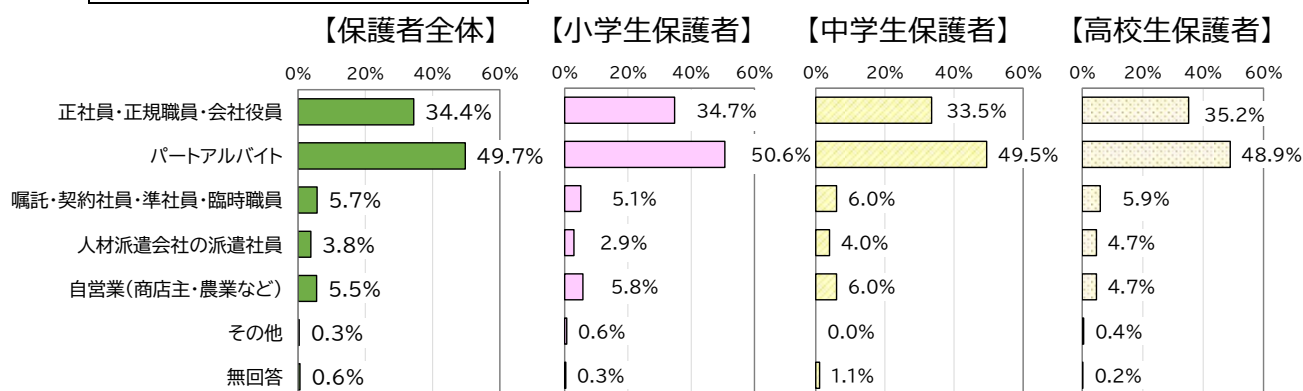
問7で「している(1つの仕事をしている)」「している(複数の仕事をしている)」仕事をしている方にお聞きします

問7-1 お子さんの母親と父親の就業形態は次のどれにあてはまりますか。複数の仕事をお持ちの方は、主な仕事についてお答えください。

①母親（あてはまる番号 1 つを選んでください）

全体の就業形態は、「パートアルバイト」が 49.7%と最も多く、次いで「正社員・正規職員・会社役員」が 34.4%となっています。

母親の就業形態（学年別保護者）



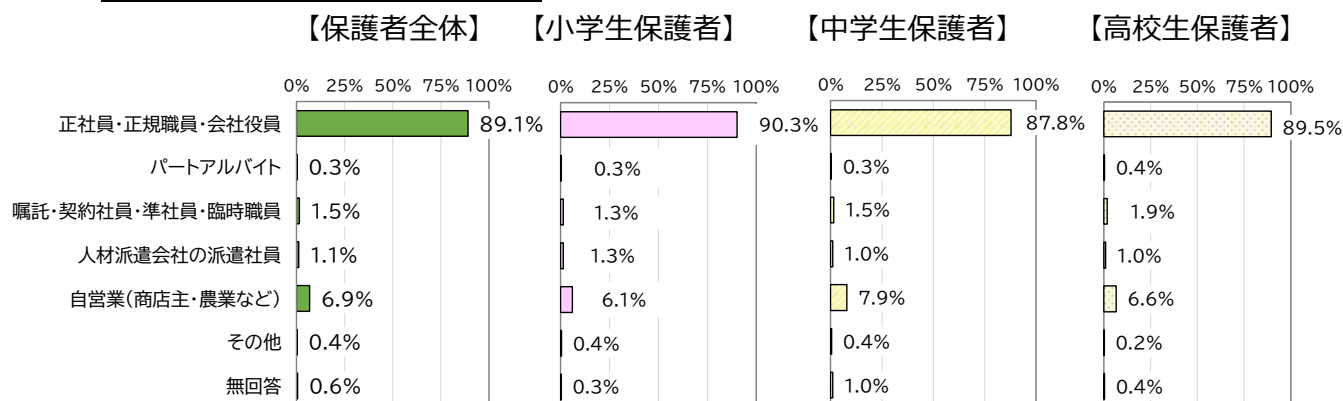
項目	保護者全体		小学生保護者		中学生保護者		高校生保護者	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率
正社員・正規職員・会社役員	601	34.4%	217	34.7%	218	33.5%	166	35.2%
パートアルバイト	869	49.7%	316	50.6%	322	49.5%	231	48.9%
嘱託・契約社員・準社員・臨時職員	99	5.7%	32	5.1%	39	6.0%	28	5.9%
人材派遣会社の派遣社員	66	3.8%	18	2.9%	26	4.0%	22	4.7%
自営業(商店主・農業など)	97	5.5%	36	5.8%	39	6.0%	22	4.7%
その他	6	0.3%	4	0.6%	0	0.0%	2	0.4%
無回答	10	0.6%	2	0.3%	7	1.1%	1	0.2%
回答者数	1,748	100.0%	625	100.0%	651	100.0%	472	100.0%

4 保護者調査（小学生・中学生・高校生）

②父親（あてはまる番号 1 つを選んでください）

全体の就業形態は、「正社員・正規職員・会社役員」が 89.1%と最も多くなっています。

父親の就業形態（学年別保護者）



項目	保護者全体		小学生保護者		中学生保護者		高校生保護者	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率
正社員・正規職員・会社役員	1,633	89.1%	611	90.3%	589	87.8%	433	89.5%
パートアルバイト	6	0.3%	2	0.3%	2	0.3%	2	0.4%
嘱託・契約社員・準社員・臨時職員	28	1.5%	9	1.3%	10	1.5%	9	1.9%
人材派遣会社の派遣社員	21	1.1%	9	1.3%	7	1.0%	5	1.0%
自営業(商店主・農業など)	126	6.9%	41	6.1%	53	7.9%	32	6.6%
その他	7	0.4%	3	0.4%	3	0.4%	1	0.2%
無回答	11	0.6%	2	0.3%	7	1.0%	2	0.4%
回答者数	1,832	100.0%	677	100.0%	671	100.0%	484	100.0%

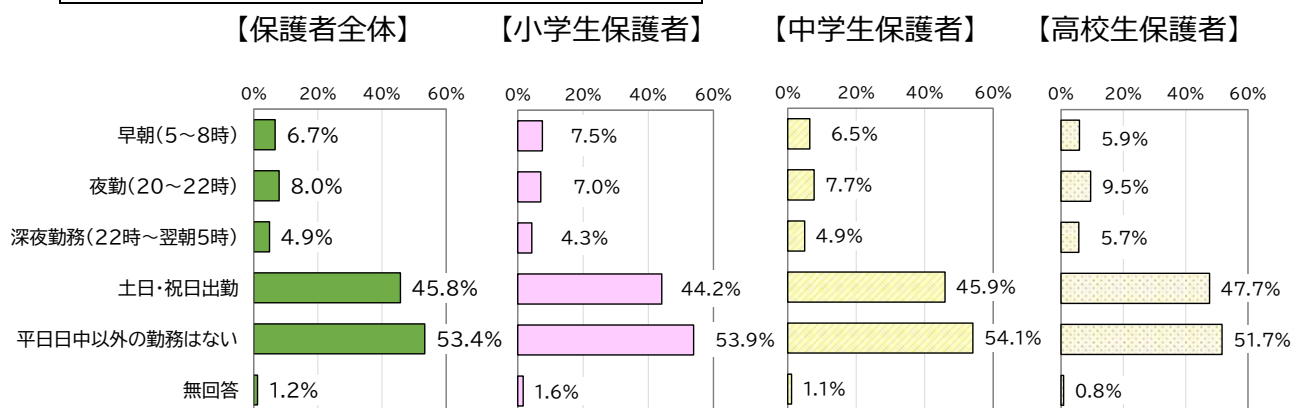
問7-2 お子さんの母親と父親は、平日の日中以外の勤務がありますか。

①母親（あてはまる番号すべてを選択してください）

全体の平日の日中以外の勤務については、「土日・祝日出勤」が 45.8%と最も多くなっています。

一方、「平日日中以外の勤務はない」が 53.4%となっています。

母親の平日日中以外の勤務状況（学年別保護者）



4 保護者調査（小学生・中学生・高校生）

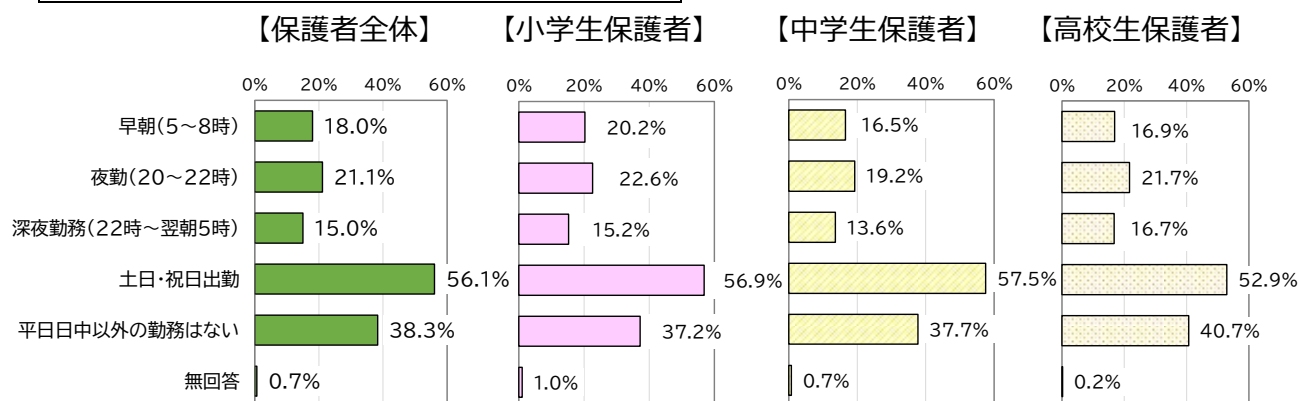
項目	保護者全体		小学生保護者		中学生保護者		高校生保護者	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率
早朝(5～8時)	117	6.7%	47	7.5%	42	6.5%	28	5.9%
夜勤(20～22時)	139	8.0%	44	7.0%	50	7.7%	45	9.5%
深夜勤務(22時～翌朝5時)	86	4.9%	27	4.3%	32	4.9%	27	5.7%
土日・祝日出勤	800	45.8%	276	44.2%	299	45.9%	225	47.7%
平日日中以外の勤務はない	933	53.4%	337	53.9%	352	54.1%	244	51.7%
無回答	21	1.2%	10	1.6%	7	1.1%	4	0.8%
回答者数	1,748		625		651		472	

②父親（あてはまる番号すべてを選択してください）

全体の平日の日中以外の勤務については、「土日・祝日出勤」が 56.1%と最も多くなっています。

一方、「平日日中以外の勤務はない」が 38.3%となっています。

父親の平日日中以外の勤務状況（学年別保護者）



項目	保護者全体		小学生保護者		中学生保護者		高校生保護者	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率
早朝(5～8時)	330	18.0%	137	20.2%	111	16.5%	82	16.9%
夜勤(20～22時)	387	21.1%	153	22.6%	129	19.2%	105	21.7%
深夜勤務(22時～翌朝5時)	275	15.0%	103	15.2%	91	13.6%	81	16.7%
土日・祝日出勤	1,027	56.1%	385	56.9%	386	57.5%	256	52.9%
平日日中以外の勤務はない	702	38.3%	252	37.2%	253	37.7%	197	40.7%
無回答	13	0.7%	7	1.0%	5	0.7%	1	0.2%
回答者数	1,832		677		671		484	

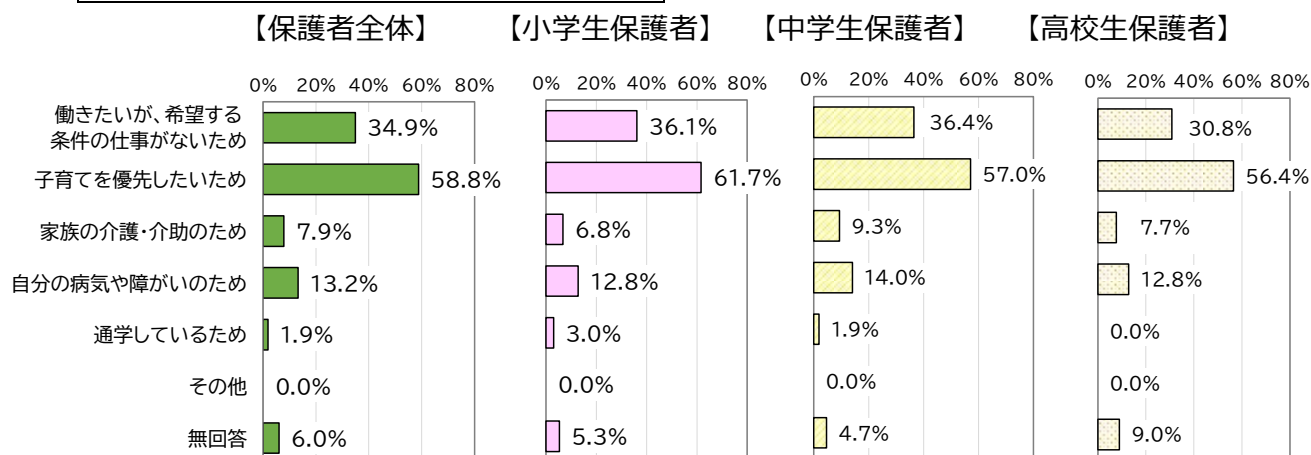
問7で「していない」と回答した方にお聞きます

問7-3 仕事をしていない理由なんでしょうか。

①母親（あてはまる番号すべてを選択してください）

全体の仕事をしていない理由については、「子育てを優先したため」が 58.8%と最も多く、次いで「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」が 34.9%となっています。

母親が仕事をしていない理由（学年別保護者）



項目	保護者全体		小学生保護者		中学生保護者		高校生保護者	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率
働きたいが、希望する条件の仕事がないため	111	34.9%	48	36.1%	39	36.4%	24	30.8%
子育てを優先したため	187	58.8%	82	61.7%	61	57.0%	44	56.4%
家族の介護・介助のため	25	7.9%	9	6.8%	10	9.3%	6	7.7%
自分の病気や障がいのため	42	13.2%	17	12.8%	15	14.0%	10	12.8%
通学しているため	6	1.9%	4	3.0%	2	1.9%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	19	6.0%	7	5.3%	5	4.7%	7	9.0%
回答者数	318		133		107		78	

②父親（あてはまる番号すべてを選択してください）

全体の仕事をしていない理由については、「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」が 31.8%となっています。

父親が仕事をしていない理由（学年別保護者）

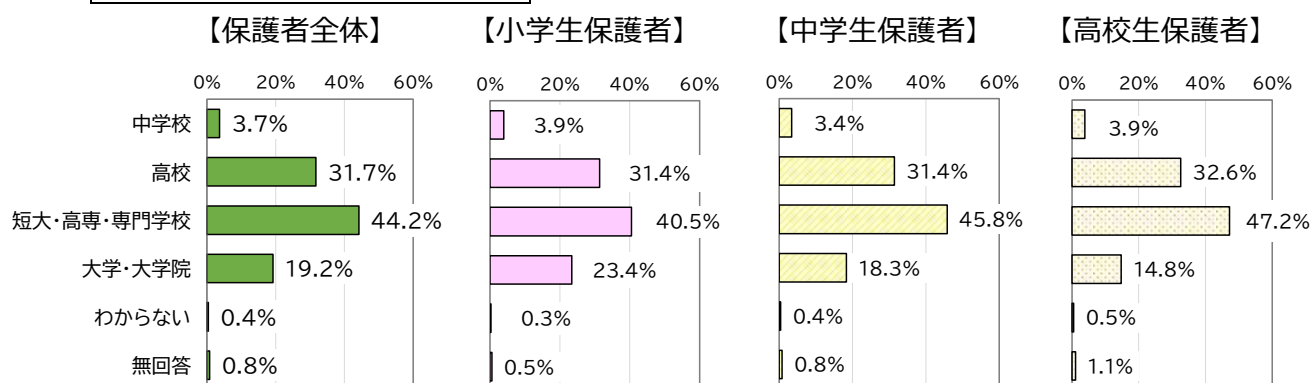
項目	保護者全体		小学生保護者		中学生保護者		高校生保護者	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率
働きたいが、希望する条件の仕事がないため	7	31.8%	3	37.5%	1	25.0%	3	30.0%
子育てを優先したため	1	4.5%	0	0.0%	1	25.0%	0	0.0%
家族の介護・介助のため	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
自分の病気や障がいのため	6	27.3%	1	12.5%	1	25.0%	4	40.0%
通学しているため	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	2	9.1%	1	12.5%	0	0.0%	1	10.0%
無回答	6	27.3%	3	37.5%	1	25.0%	2	20.0%
回答者数	22		8		4		10	

問8 お子さんの母親と父親の最終学歴は次のうちどれですか。

①母親（あてはまる番号 1 つを選んでください）

全体の母親の最終学歴については、「短大・高専・専門学校」が 44.2%と最も多く、次いで「高校」が 31.7%、「大学・大学院」が 19.2%となっています。

母親の最終学歴（学年別保護者）

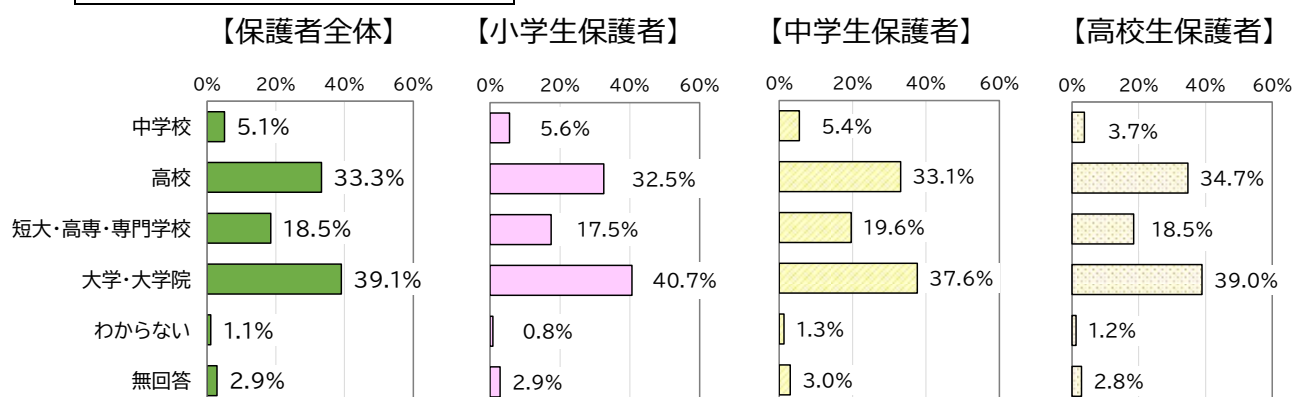


項目	保護者全体		小学生保護者		中学生保護者		高校生保護者	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率
中学校	78	3.7%	30	3.9%	26	3.4%	22	3.9%
高校	665	31.7%	240	31.4%	242	31.4%	183	32.6%
短大・高専・専門学校	928	44.2%	310	40.5%	353	45.8%	265	47.2%
大学・大学院	403	19.2%	179	23.4%	141	18.3%	83	14.8%
わからない	8	0.4%	2	0.3%	3	0.4%	3	0.5%
無回答	16	0.8%	4	0.5%	6	0.8%	6	1.1%
合計	2,098	100.0%	765	100.0%	771	100.0%	562	100.0%

②父親（あてはまる番号 1 つを選んでください）

全体の父親の最終学歴については、「大学・大学院」が 39.1%と最も多く、次いで「高校」が 33.3%、「短大・高専・専門学校」が 18.5%となっています。

父親の最終学歴（学年別保護者）



4 保護者調査（小学生・中学生・高校生）

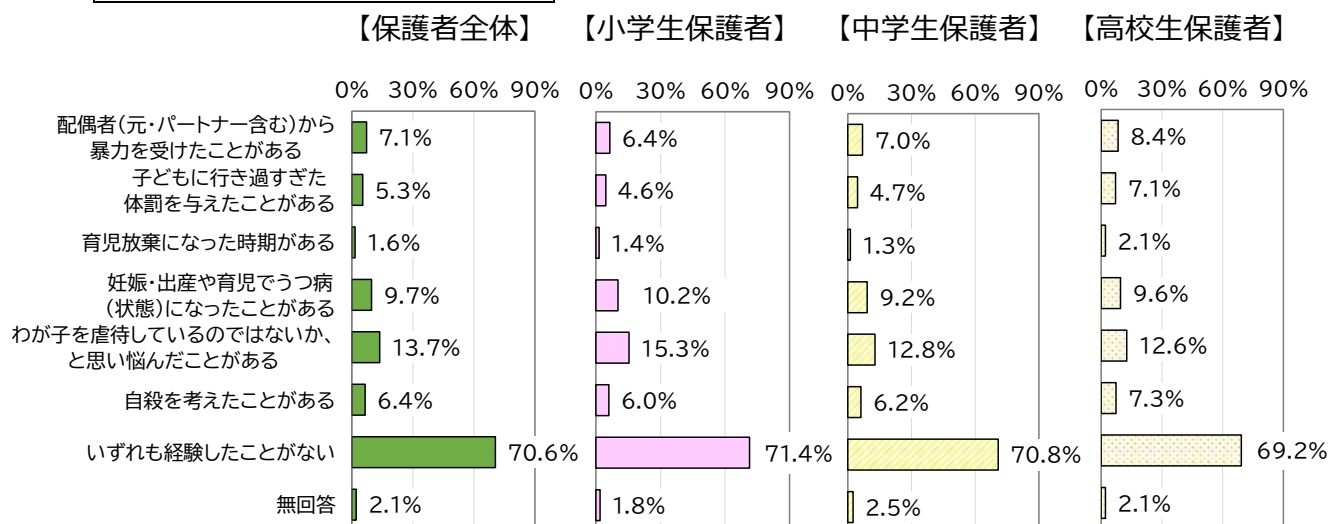
項目	保護者全体		小学生保護者		中学生保護者		高校生保護者	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率
中学校	106	5.1%	43	5.6%	42	5.4%	21	3.7%
高校	699	33.3%	249	32.5%	255	33.1%	195	34.7%
短大・高専・専門学校	389	18.5%	134	17.5%	151	19.6%	104	18.5%
大学・大学院	820	39.1%	311	40.7%	290	37.6%	219	39.0%
わからない	23	1.1%	6	0.8%	10	1.3%	7	1.2%
無回答	61	2.9%	22	2.9%	23	3.0%	16	2.8%
合計	2,098	100.0%	765	100.0%	771	100.0%	562	100.0%

問9 あなたはお子さんをもってから、以下のような経験をしたことがありますか。（あてはまる番号すべてを選択してください）

全体のお子さんをもってから、経験したことは、「わが子を虐待しているのではないか、と思い悩んだことがある」が 13.7%と最も多く、次いで「妊娠・出産や育児でうつ病（状態）になったことがある」が 9.7%となっています。

一方、「いずれも経験したことがない」が 70.6%となっています。

6つの経験の有無（学年別保護者）



項目	保護者全体		小学生保護者		中学生保護者		高校生保護者	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率
配偶者(元・パートナー含む)から暴力を受けたことがある	150	7.1%	49	6.4%	54	7.0%	47	8.4%
子どもに行き過ぎた体罰を与えたことがある	111	5.3%	35	4.6%	36	4.7%	40	7.1%
育児放棄になった時期がある	33	1.6%	11	1.4%	10	1.3%	12	2.1%
妊娠・出産や育児でうつ病(状態)になったことがある	203	9.7%	78	10.2%	71	9.2%	54	9.6%
わが子を虐待しているのではないか、と思い悩んだことがある	287	13.7%	117	15.3%	99	12.8%	71	12.6%
自殺を考えたことがある	135	6.4%	46	6.0%	48	6.2%	41	7.3%
いずれも経験したことがない	1,481	70.6%	546	71.4%	546	70.8%	389	69.2%
無回答	45	2.1%	14	1.8%	19	2.5%	12	2.1%
回答者数	2,098		765		771		562	

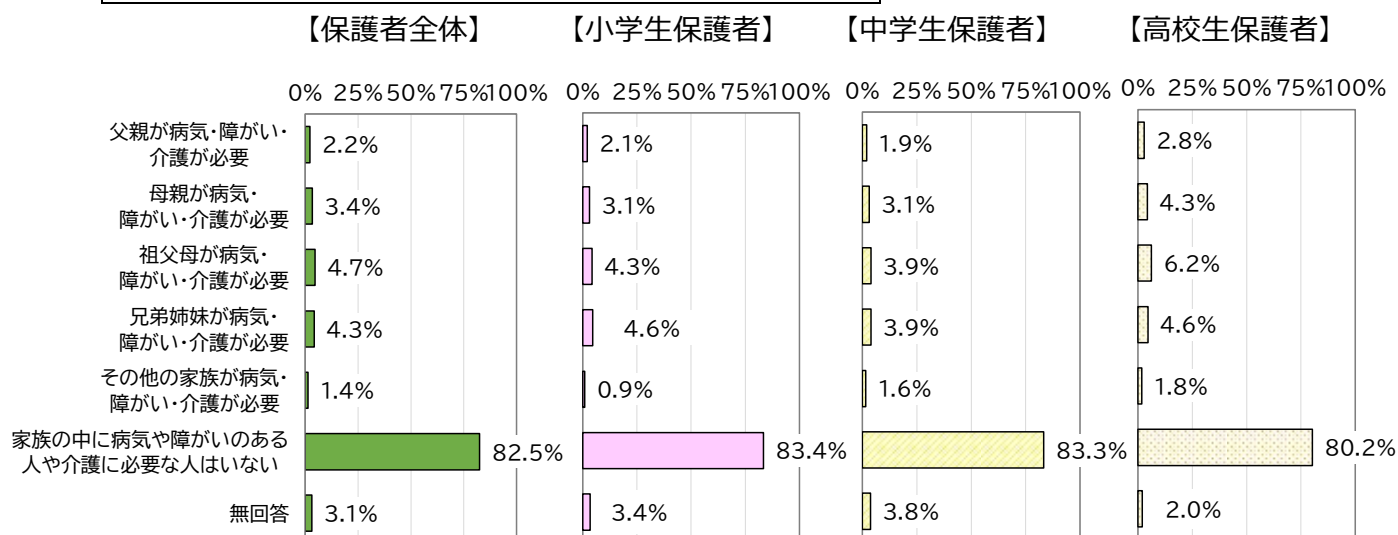
③家族の健康状態についておたずねします

問 10 病気や障がいのある家族や介護の必要な家族と一緒に住んでいますか。お子さんからみた続柄でお答えください。（あてはまる番号すべてを選択してください）

全体の病気や障がいのある家族や介護の必要な家族と一緒に住んでいるかでは、「祖父母が病気・障がい・介護が必要」が4.7%、「兄弟姉妹が病気・障がい・介護が必要」が4.3%となっています。

一方、「家族の中に病気や障がいのある人や介護に必要な人はいない」が82.5%となっています。

病気や障がいのある方、介護中の方との同居（学年別保護者）



項目	保護者全体		小学生保護者		中学生保護者		高校生保護者	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率
父親が病気・障がい・介護が必要	47	2.2%	16	2.1%	15	1.9%	16	2.8%
母親が病気・障がい・介護が必要	72	3.4%	24	3.1%	24	3.1%	24	4.3%
祖父母が病気・障がい・介護が必要	98	4.7%	33	4.3%	30	3.9%	35	6.2%
兄弟姉妹が病気・障がい・介護が必要	91	4.3%	35	4.6%	30	3.9%	26	4.6%
その他の家族が病気・障がい・介護が必要	29	1.4%	7	0.9%	12	1.6%	10	1.8%
家族の中に病気や障がいのある人や介護に必要な人はいない	1,731	82.5%	638	83.4%	642	83.3%	451	80.2%
無回答	66	3.1%	26	3.4%	29	3.8%	11	2.0%
回答者数	2,098		765		771		562	

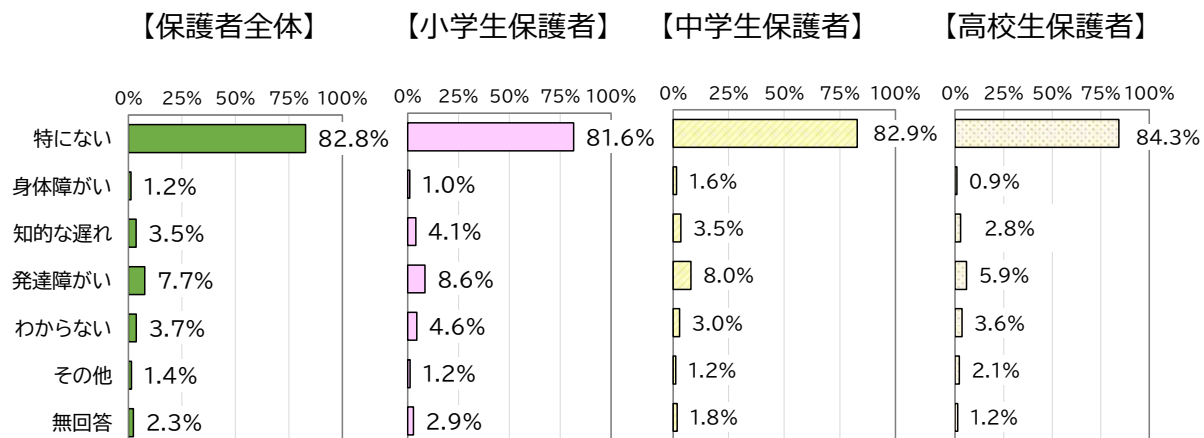
4 保護者調査（小学生・中学生・高校生）

問 11 あなたの世帯のお子さんについて、障がい等がある方(疑いを含む)はいらっしゃいますか。(あてはまる番号すべてを選択してください)

全体の障がい等がある方（疑いを含む）がいるかでは、「発達障害」が 7.7%となっています。

一方、「特にない」が 82.8%となっています。

お子さんに障がい等があるか（学年別保護者）



項目	保護者全体		小学生保護者		中学生保護者		高校生保護者	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率
特にない	1,737	82.8%	624	81.6%	639	82.9%	474	84.3%
身体障がい	25	1.2%	8	1.0%	12	1.6%	5	0.9%
知的な遅れ	74	3.5%	31	4.1%	27	3.5%	16	2.8%
発達障がい	161	7.7%	66	8.6%	62	8.0%	33	5.9%
わからない	78	3.7%	35	4.6%	23	3.0%	20	3.6%
その他	30	1.4%	9	1.2%	9	1.2%	12	2.1%
無回答	48	2.3%	22	2.9%	14	1.8%	7	1.2%
回答者数	2,098		765		771		562	

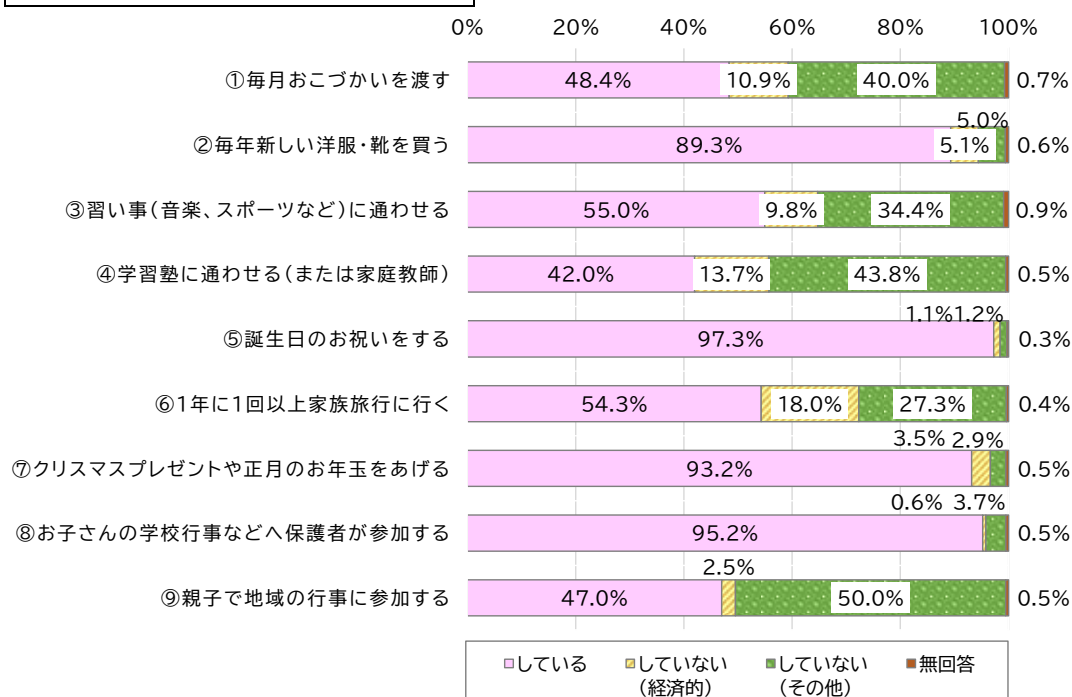
④お子さんのことについておたずねします

問 12 あなたの世帯では、お子さんに次の①～⑨のようなことをしていますか。（それぞれ、あてはまる番号1つを選んでください）

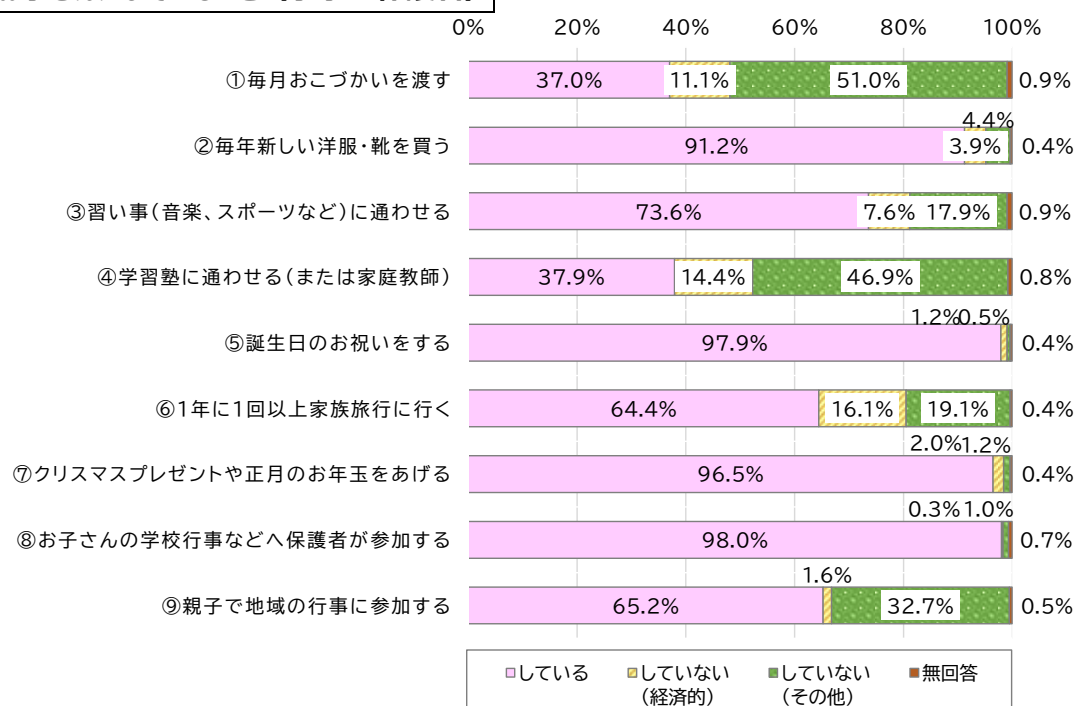
全体のお子さんに「している」ことは、「⑤誕生日のお祝いをする」が97.3%と最も多く、次いで「⑧お子さんの学校行事などへ保護者が参加する」が95.2%、「⑦クリスマスプレゼントや正月のお年玉をあげる」が93.2%となっています。

一方、「していない（経済的）」では、「⑥1年に1回以上家族旅行に行く」が18.0%、「④学習塾に通わせる（または家庭教師）」が13.7%となっています。

お子さんにしていること（保護者全体）

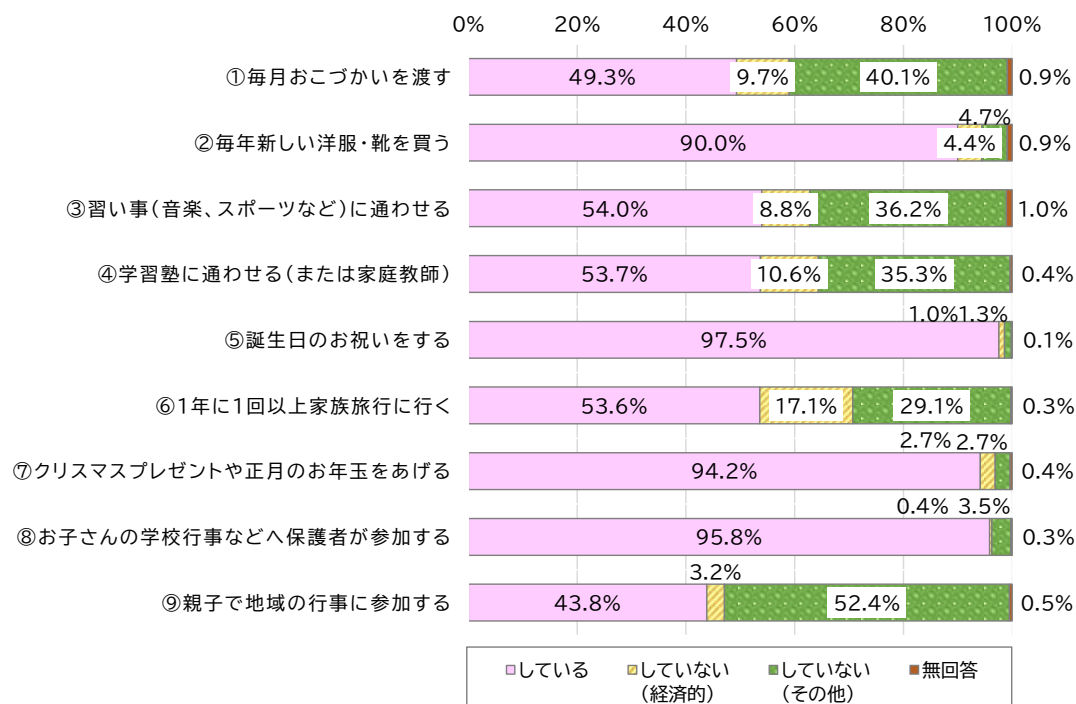


お子さんにしていること（小学生保護者）

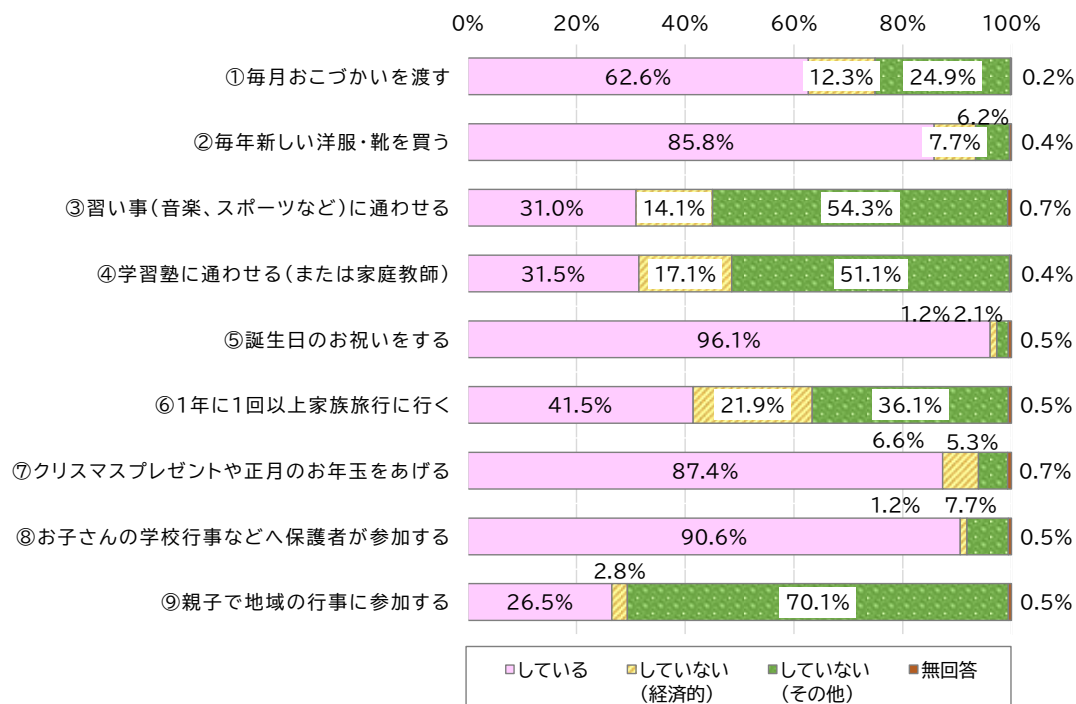


4 保護者調査（小学生・中学生・高校生）

お子さんにしていること（中学生保護者）



お子さんにしていること（高校生保護者）



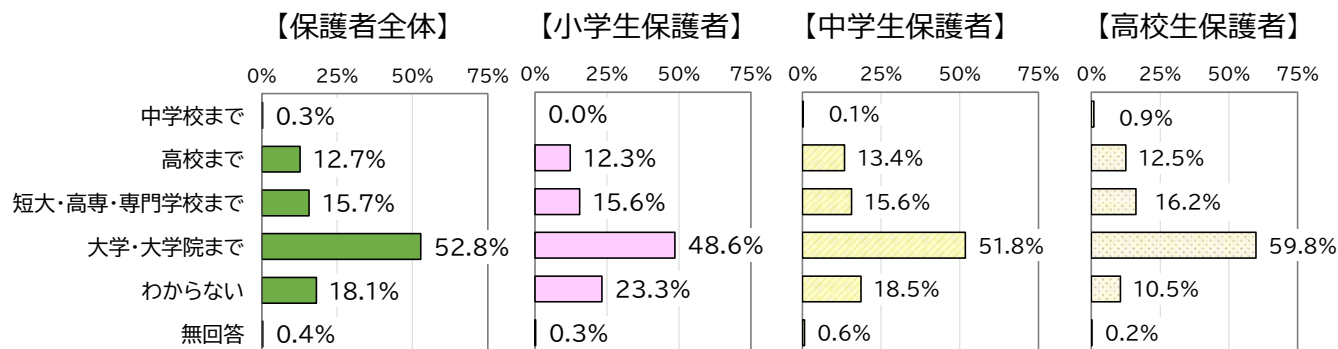
4 保護者調査（小学生・中学生・高校生）

項目(度数)	学年	している	していない (経済的)	していない (その他)	無回答	合計
①毎月おこづかいを渡す	保護者全体	1,015	229	839	15	2,098
	小学生保護者	283	85	390	7	765
	中学生保護者	380	75	309	7	771
	高校生保護者	352	69	140	1	562
②毎年新しい洋服・靴を買う	保護者全体	1,874	107	105	12	2,098
	小学生保護者	698	30	34	3	765
	中学生保護者	694	34	36	7	771
	高校生保護者	482	43	35	2	562
③習い事(音楽、スポーツなど)に通わせる	保護者全体	1,153	205	721	19	2,098
	小学生保護者	563	58	137	7	765
	中学生保護者	416	68	279	8	771
	高校生保護者	174	79	305	4	562
④学習塾に通わせる(または家庭教師)	保護者全体	881	288	918	11	2,098
	小学生保護者	290	110	359	6	765
	中学生保護者	414	82	272	3	771
	高校生保護者	177	96	287	2	562
⑤誕生日のお祝いをする	保護者全体	2,041	24	26	7	2,098
	小学生保護者	749	9	4	3	765
	中学生保護者	752	8	10	1	771
	高校生保護者	540	7	12	3	562
⑥1年に1回以上家族旅行に行く	保護者全体	1,139	378	573	8	2,098
	小学生保護者	493	123	146	3	765
	中学生保護者	413	132	224	2	771
	高校生保護者	233	123	203	3	562
⑦クリスマスプレゼントや正月のお年玉をあげる	保護者全体	1,955	73	60	10	2,098
	小学生保護者	738	15	9	3	765
	中学生保護者	726	21	21	3	771
	高校生保護者	491	37	30	4	562
⑧お子さんの学校行事などへ保護者が参加する	保護者全体	1998	12	78	10	2,098
	小学生保護者	750	2	8	5	765
	中学生保護者	739	3	27	2	771
	高校生保護者	509	7	43	3	562
⑨親子で地域の行事に参加する	保護者全体	986	53	1048	11	2,098
	小学生保護者	499	12	250	4	765
	中学生保護者	338	25	404	4	771
	高校生保護者	149	16	394	3	562
項目(比率)		している	していない (経済的)	していない (その他)	無回答	合計
①毎月おこづかいを渡す	保護者全体	48.4%	10.9%	40.0%	0.7%	100.0%
	小学生保護者	37.0%	11.1%	51.0%	0.9%	100.0%
	中学生保護者	49.3%	9.7%	40.1%	0.9%	100.0%
	高校生保護者	62.6%	12.3%	24.9%	0.2%	100.0%
②毎年新しい洋服・靴を買う	保護者全体	89.3%	5.1%	5.0%	0.6%	100.0%
	小学生保護者	91.2%	3.9%	4.4%	0.4%	100.0%
	中学生保護者	90.0%	4.4%	4.7%	0.9%	100.0%
	高校生保護者	85.8%	7.7%	6.2%	0.4%	100.0%
③習い事(音楽、スポーツなど)に通わせる	保護者全体	55.0%	9.8%	34.4%	0.9%	100.0%
	小学生保護者	73.6%	7.6%	17.9%	0.9%	100.0%
	中学生保護者	54.0%	8.8%	36.2%	1.0%	100.0%
	高校生保護者	31.0%	14.1%	54.3%	0.7%	100.0%
④学習塾に通わせる(または家庭教師)	保護者全体	42.0%	13.7%	43.8%	0.5%	100.0%
	小学生保護者	37.9%	14.4%	46.9%	0.8%	100.0%
	中学生保護者	53.7%	10.6%	35.3%	0.4%	100.0%
	高校生保護者	31.5%	17.1%	51.1%	0.4%	100.0%
⑤誕生日のお祝いをする	保護者全体	97.3%	1.1%	1.2%	0.3%	100.0%
	小学生保護者	97.9%	1.2%	0.5%	0.4%	100.0%
	中学生保護者	97.5%	1.0%	1.3%	0.1%	100.0%
	高校生保護者	96.1%	1.2%	2.1%	0.5%	100.0%
⑥1年に1回以上家族旅行に行く	保護者全体	54.3%	18.0%	27.3%	0.4%	100.0%
	小学生保護者	64.4%	16.1%	19.1%	0.4%	100.0%
	中学生保護者	53.6%	17.1%	29.1%	0.3%	100.0%
	高校生保護者	41.5%	21.9%	36.1%	0.5%	100.0%
⑦クリスマスプレゼントや正月のお年玉をあげる	保護者全体	93.2%	3.5%	2.9%	0.5%	100.0%
	小学生保護者	96.5%	2.0%	1.2%	0.4%	100.0%
	中学生保護者	94.2%	2.7%	2.7%	0.4%	100.0%
	高校生保護者	87.4%	6.6%	5.3%	0.7%	100.0%
⑧お子さんの学校行事などへ保護者が参加する	保護者全体	95.2%	0.6%	3.7%	0.5%	100.0%
	小学生保護者	98.0%	0.3%	1.0%	0.7%	100.0%
	中学生保護者	95.8%	0.4%	3.5%	0.3%	100.0%
	高校生保護者	90.6%	1.2%	7.7%	0.5%	100.0%
⑨親子で地域の行事に参加する	保護者全体	47.0%	2.5%	50.0%	0.5%	100.0%
	小学生保護者	65.2%	1.6%	32.7%	0.5%	100.0%
	中学生保護者	43.8%	3.2%	52.4%	0.5%	100.0%
	高校生保護者	26.5%	2.8%	70.1%	0.5%	100.0%

問 13 お子さんは将来、現実的に見てどの学校に進学すると思いますか。（あてはまる番号1つを選択してください）

全体の将来、現実的に見てどの学校に進学すると思うかでは、「大学・大学院まで」が 52.8%と最も多く、次いで「短大・高専・専門学校まで」が 15.7%、「高校まで」が 12.7%となっています。

子どもの将来の進学先（学年別保護者）



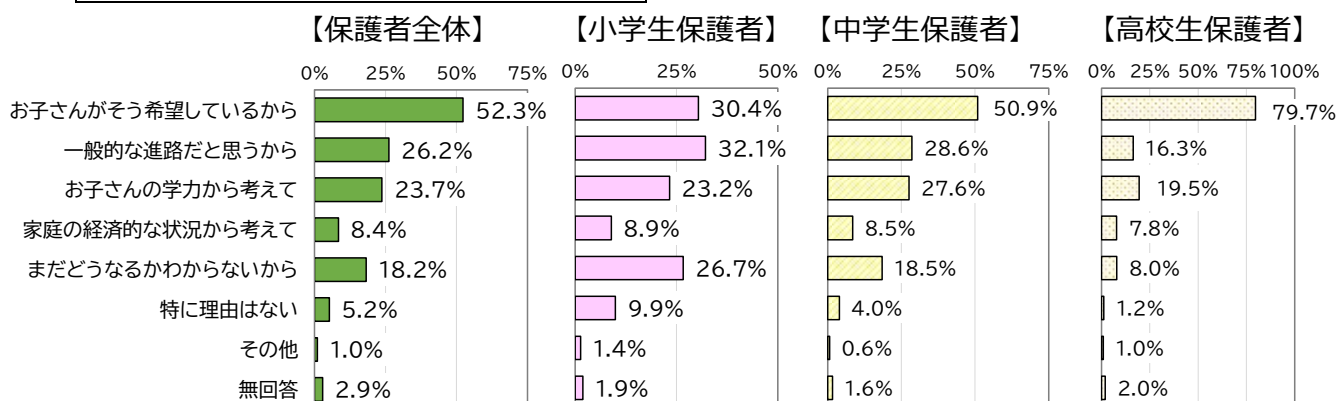
項目	保護者全体		小学生保護者		中学生保護者		高校生保護者	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率
中学校まで	6	0.3%	0	0.0%	1	0.1%	5	0.9%
高校まで	267	12.7%	94	12.3%	103	13.4%	70	12.5%
短大・高専・専門学校まで	330	15.7%	119	15.6%	120	15.6%	91	16.2%
大学・大学院まで	1,107	52.8%	372	48.6%	399	51.8%	336	59.8%
わからない	380	18.1%	178	23.3%	143	18.5%	59	10.5%
無回答	8	0.4%	2	0.3%	5	0.6%	1	0.2%
合計	2,098	100.0%	765	100.0%	771	100.0%	562	100.0%

問 13 で「中学まで」～「大学・大学院まで」と回答した方にお聞きします

問 13-1 そう考える理由は何ですか。（あてはまる番号すべてを選択してください）

将来、現実的に見てどの学校に進学すると思う理由では、「お子さんがそう希望しているから」が 52.3%と最も多く、次いで「一般的な進路だと思うから」が 26.2%、「お子さんの学力から考えて」が 23.7%となっています。

将来の進学先を考える理由（学年別保護者）



4 保護者調査（小学生・中学生・高校生）

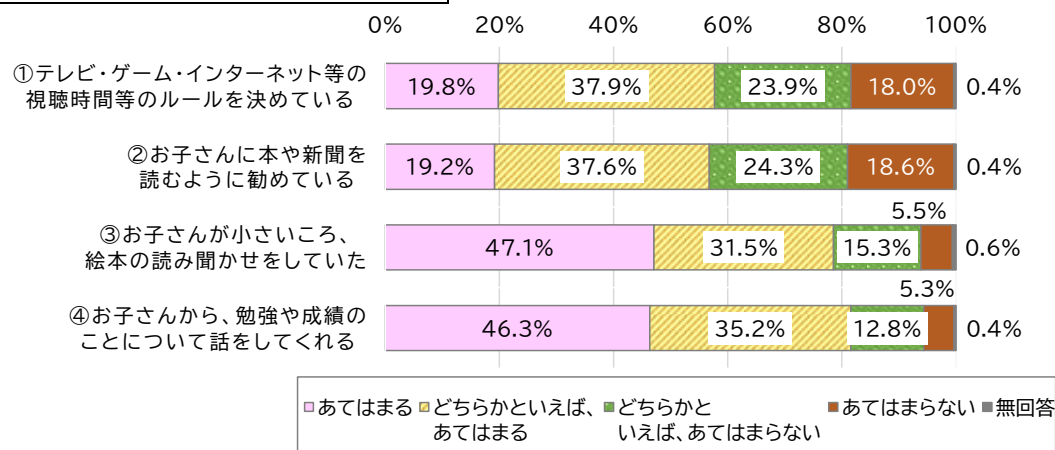
項目	保護者全体		小学生保護者		中学生保護者		高校生保護者	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率
お子さんがそう希望しているから	895	52.3%	178	30.4%	317	50.9%	400	79.7%
一般的な進路だと思うから	448	26.2%	188	32.1%	178	28.6%	82	16.3%
お子さんの学力から考えて	406	23.7%	136	23.2%	172	27.6%	98	19.5%
家庭の経済的な状況から考えて	144	8.4%	52	8.9%	53	8.5%	39	7.8%
まだどうなるかわからないから	311	18.2%	156	26.7%	115	18.5%	40	8.0%
特に理由はない	89	5.2%	58	9.9%	25	4.0%	6	1.2%
その他	17	1.0%	8	1.4%	4	0.6%	5	1.0%
無回答	49	2.9%	11	1.9%	10	1.6%	10	2.0%
回答者数	1,710		585		623		502	

問 14 あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。（それぞれ、あてはまる番号 1 つを選んでください）

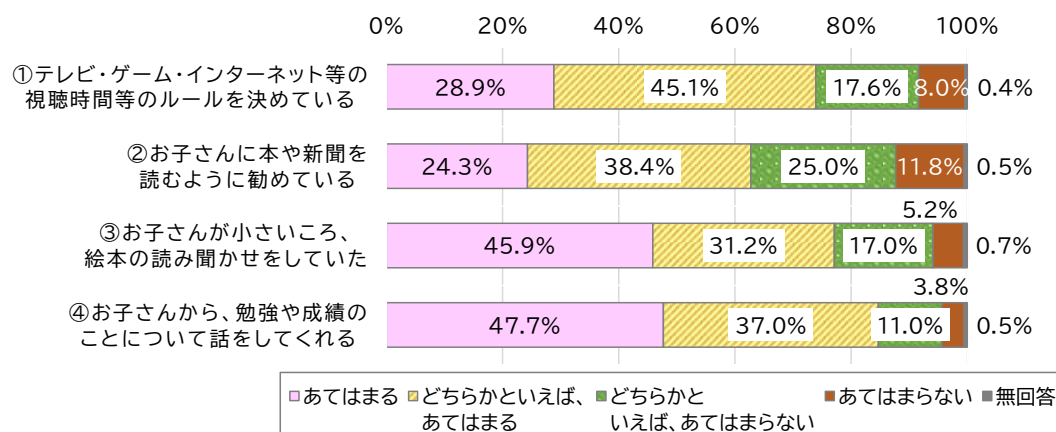
全体のお子さんの関わり方についての「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」を合わせた『あてはまる』では、「④お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる」が 81.5%と最も多く、次いで「③お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた」が 78.6%となっています。

一方、「あてはまらない」「どちらかといえば、あてはまらない」を合わせた『あてはまらない』では、「②お子さんに本や新聞を読むように勧めている」が 42.9%と最も多く、次いで「①テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている」が 41.9%となっています。

お子さんとの関わり方（保護者全体）

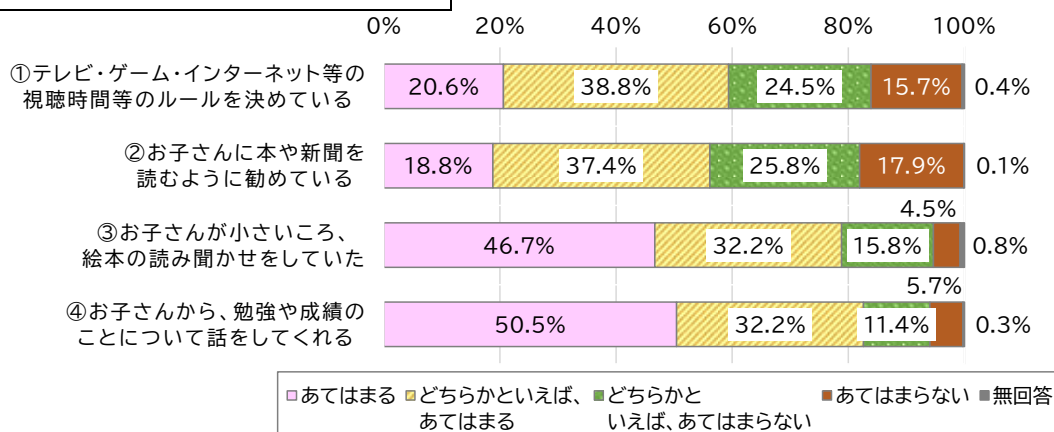


お子さんとの関わり方（小学生保護者）

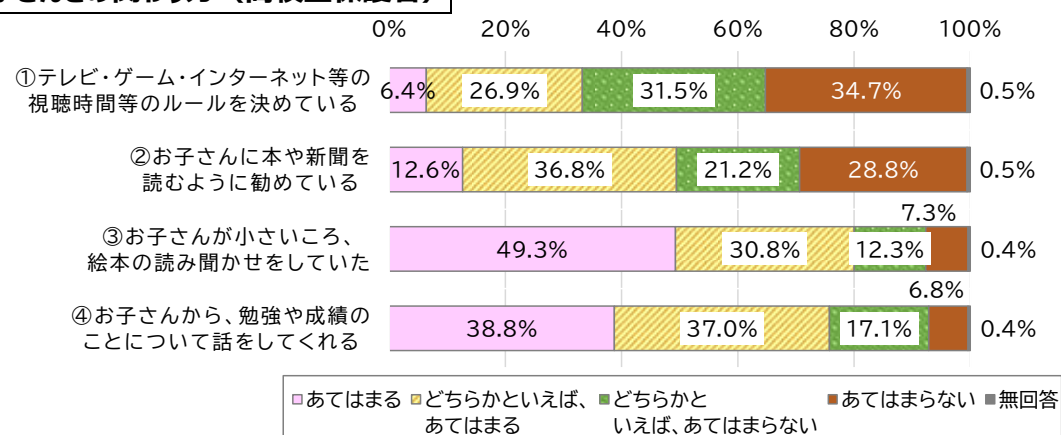


4 保護者調査（小学生・中学生・高校生）

お子さんとの関わり方（中学生保護者）



お子さんとの関わり方（高校生保護者）



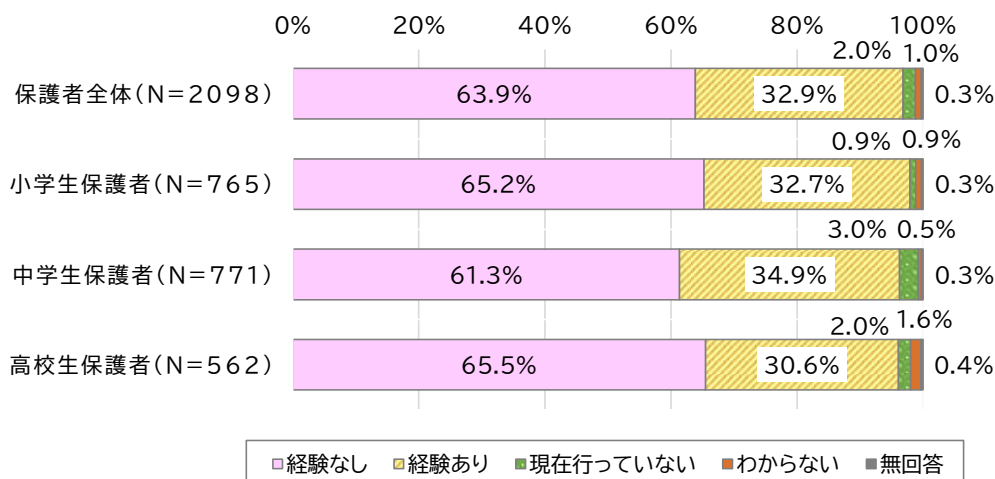
項目(度数)	学年	あてはまる	どちらかといえば、あてはまる	どちらかといえば、あてはまらない	あてはまらない	無回答	合計
①テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている	保護者全体	416	795	501	377	9	2,098
	小学生保護者	221	345	135	61	3	765
	中学生保護者	159	299	189	121	3	771
	高校生保護者	36	151	177	195	3	562
②お子さんに本や新聞を読むように勧めている	保護者全体	402	789	509	390	8	2,098
	小学生保護者	186	294	191	90	4	765
	中学生保護者	145	288	199	138	1	771
	高校生保護者	71	207	119	162	3	562
③お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた	保護者全体	988	660	321	116	13	2,098
	小学生保護者	351	239	130	40	5	765
	中学生保護者	360	248	122	35	6	771
	高校生保護者	277	173	69	41	2	562
④お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる	保護者全体	972	739	268	111	8	2,098
	小学生保護者	365	283	84	29	4	765
	中学生保護者	389	248	88	44	2	771
	高校生保護者	218	208	96	38	2	562
項目(比率)		あてはまる	どちらかといえば、あてはまる	どちらかといえば、あてはまらない	あてはまらない	無回答	合計
①テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている	保護者全体	19.8%	37.9%	23.9%	18.0%	0.4%	100.0%
	小学生保護者	28.9%	45.1%	17.6%	8.0%	0.4%	100.0%
	中学生保護者	20.6%	38.8%	24.5%	15.7%	0.4%	100.0%
	高校生保護者	6.4%	26.9%	31.5%	34.7%	0.5%	100.0%
②お子さんに本や新聞を読むように勧めている	保護者全体	19.2%	37.6%	24.3%	18.6%	0.4%	100.0%
	小学生保護者	24.3%	38.4%	25.0%	11.8%	0.5%	100.0%
	中学生保護者	18.8%	37.4%	25.8%	17.9%	0.1%	100.0%
	高校生保護者	12.6%	36.8%	21.2%	28.8%	0.5%	100.0%
③お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた	保護者全体	47.1%	31.5%	15.3%	5.5%	0.6%	100.0%
	小学生保護者	45.9%	31.2%	17.0%	5.2%	0.7%	100.0%
	中学生保護者	46.7%	32.2%	15.8%	4.5%	0.8%	100.0%
	高校生保護者	49.3%	30.8%	12.3%	7.3%	0.4%	100.0%
④お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる	保護者全体	46.3%	35.2%	12.8%	5.3%	0.4%	100.0%
	小学生保護者	47.7%	37.0%	11.0%	3.8%	0.5%	100.0%
	中学生保護者	50.5%	32.2%	11.4%	5.7%	0.3%	100.0%
	高校生保護者	38.8%	37.0%	17.1%	6.8%	0.4%	100.0%

問 15 ここ 1 年間の間に、お子さんが身体の具合が悪いという理由以外で学校に行きたくないと言ったことがありましたか。(あてはまる番号 1 つを選んでください)

全体のここ 1 年間の間に、お子さんが身体の具合が悪いという理由以外で学校に行きたくないと言ったことがあったかでは、「経験あり」が 32.9%、「現在行っていない」が 2.0%となっています。

一方、「経験なし」が 63.9%となっています。

体調不良以外で学校に行きたくないと言った経験の有無（学年別保護者）



項目(度数)	経験なし	経験あり	現在行っていない	わからない	無回答	合計
保護者全体	1,340	691	41	20	6	2,098
小学生保護者	499	250	7	7	2	765
中学生保護者	473	269	23	4	2	771
高校生保護者	368	172	11	9	2	562
項目(比率)	経験なし	経験あり	現在行っていない	わからない	無回答	合計
保護者全体(n=2098)	63.9%	32.9%	2.0%	1.0%	0.3%	100.0%
小学生保護者(n=765)	65.2%	32.7%	0.9%	0.9%	0.3%	100.0%
中学生保護者(n=771)	61.3%	34.9%	3.0%	0.5%	0.3%	100.0%
高校生保護者(n=562)	65.5%	30.6%	2.0%	1.6%	0.4%	100.0%

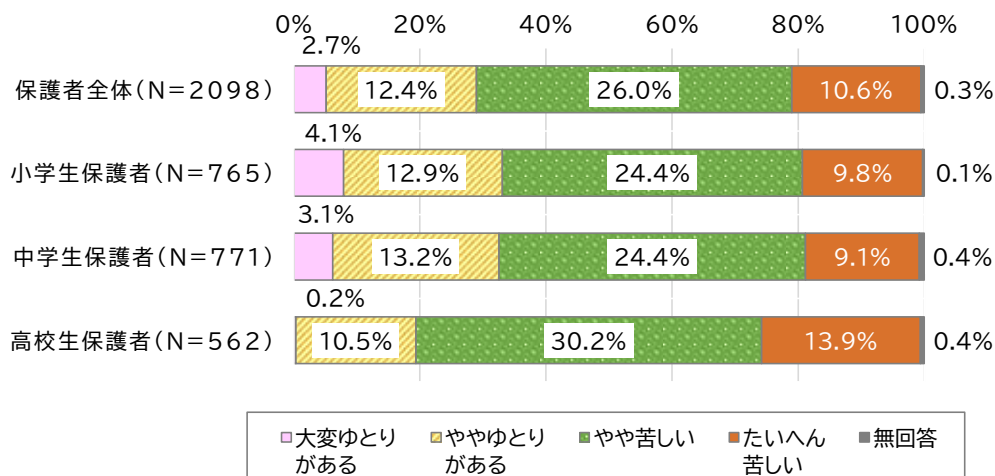
⑤あなたの世帯の暮らしの状況についておたずねします

問 16 現在の暮らしの状況を総合的にみて、どう感じていますか。（あてはまる番号 1 つを選んでください）

全体の現在の暮らしの状況については、「大変ゆとりがある」「ややゆとりがある」を合わせた『ゆとりがある』が 15.1%となっています。

一方、「やや苦しい」「たいへん苦しい」を合わせた『苦しい』は、36.6%となっています。

現在の暮らしの状況（学年別保護者）



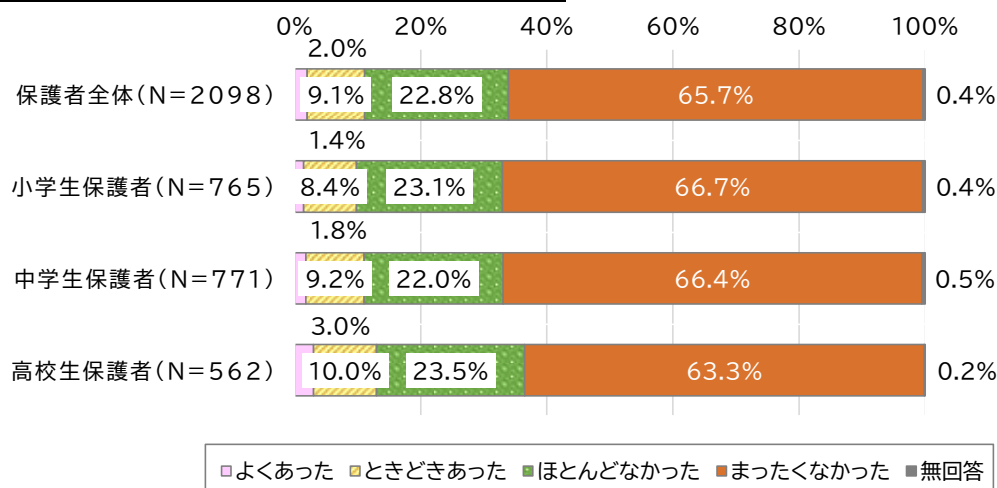
項目(度数)	大変ゆとり がある	ややゆとり がある	普通	やや苦しい	たいへん 苦しい	無回答	合計
保護者全体	56	260	1,008	545	223	6	2,098
小学生保護者	31	99	372	187	75	1	765
中学生保護者	24	102	384	188	70	3	771
高校生保護者	1	59	252	170	78	2	562
項目(比率)	大変ゆとり がある	ややゆとり がある	普通	やや苦しい	たいへん 苦しい	無回答	合計
保護者全体(n=2098)	2.7%	12.4%	48.0%	26.0%	10.6%	0.3%	100.0%
小学生保護者(n=765)	4.1%	12.9%	48.6%	24.4%	9.8%	0.1%	100.0%
中学生保護者(n=771)	3.1%	13.2%	49.8%	24.4%	9.1%	0.4%	100.0%
高校生保護者(n=562)	0.2%	10.5%	44.8%	30.2%	13.9%	0.4%	100.0%

問 17 あなたの世帯では、過去1年間にお金が足りなくて、必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、しこう品は、含みません。（あてはまる番号 1 つを選んでください）

全体の過去1年間にお金が足りなくて、必要とする食料が買えないことがあったかについては、「よくあった」「ときどきあった」を合わせた『あった』が11.1%となっています。

一方、「ほとんどなかった」「まったくなかった」を合わせた『なかった』は、88.5%となっています。

必要な食料が買えないことの有無（学年別保護者）



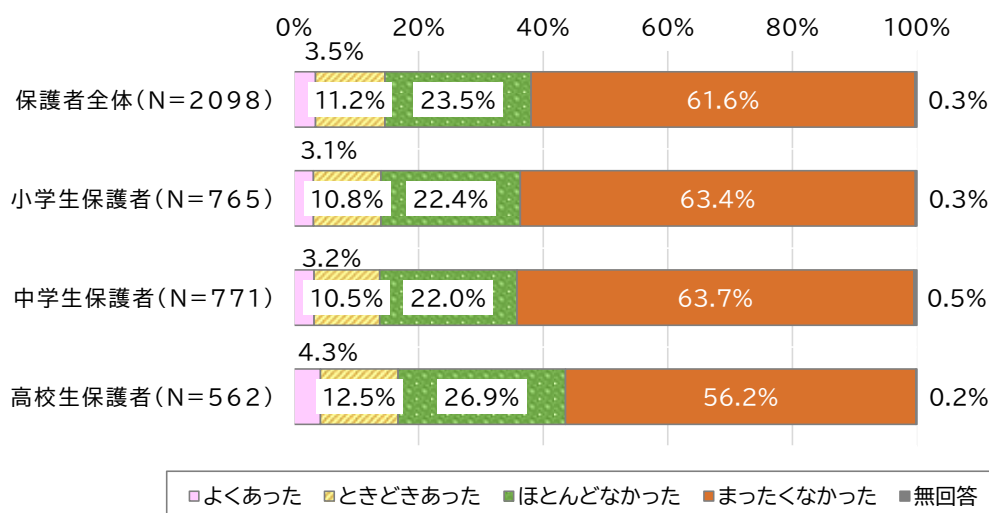
項目(度数)	よくあった	ときどきあった	ほとんどなかった	まったくなかった	無回答	合計
保護者全体	42	191	479	1,378	8	2,098
小学生保護者	11	64	177	510	3	765
中学生保護者	14	71	170	512	4	771
高校生保護者	17	56	132	356	1	562
項目(比率)	よくあった	ときどきあった	ほとんどなかった	まったくなかった	無回答	合計
保護者全体(n=2098)	2.0%	9.1%	22.8%	65.7%	0.4%	100.0%
小学生保護者(n=765)	1.4%	8.4%	23.1%	66.7%	0.4%	100.0%
中学生保護者(n=771)	1.8%	9.2%	22.0%	66.4%	0.5%	100.0%
高校生保護者(n=562)	3.0%	10.0%	23.5%	63.3%	0.2%	100.0%

問 18 あなたの世帯では、過去1年間にお金が足りなくて、必要とする衣料品が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は、含みません。（あてはまる番号1つを選んでください）

全体の過去1年間にお金が足りなくて、必要とする衣料品が買えないことがあったかについては、「よくあった」「ときどきあった」を合わせた『あった』が14.7%となっています。

一方、「ほとんどなかった」「まったくなかった」を合わせた『なかった』は、85.1%となっています。

必要な衣料品が買えないことの有無（学年別保護者）



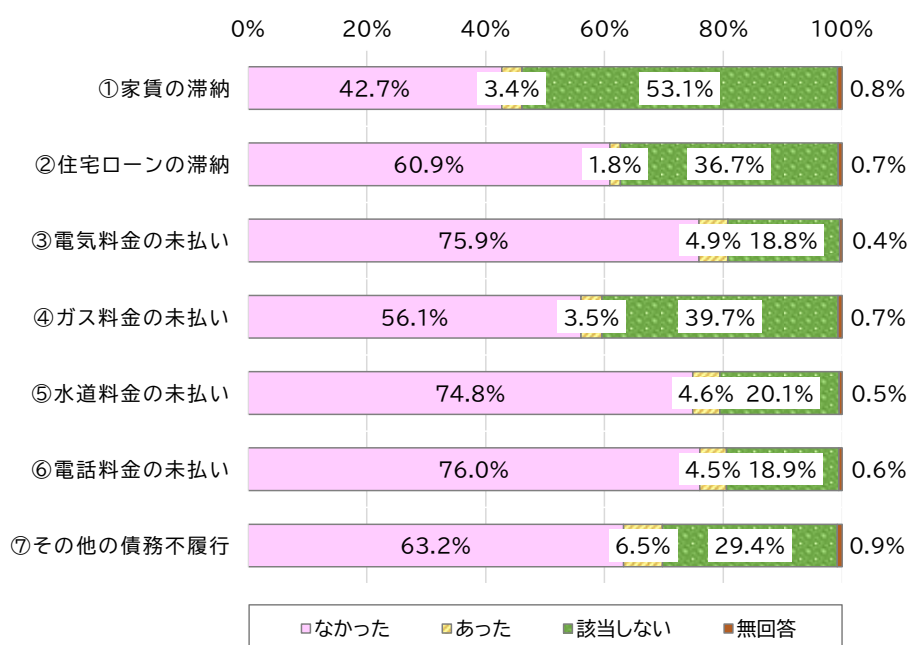
項目(度数)	よくあった	ときどきあった	ほとんどなかった	まったくなかった	無回答	合計
保護者全体	73	234	492	1,292	7	2,098
小学生保護者	24	83	171	485	2	765
中学生保護者	25	81	170	491	4	771
高校生保護者	24	70	151	316	1	562
項目(比率)	よくあった	ときどきあった	ほとんどなかった	まったくなかった	無回答	合計
保護者全体(n=2098)	3.5%	11.2%	23.5%	61.6%	0.3%	100.0%
小学生保護者(n=765)	3.1%	10.8%	22.4%	63.4%	0.3%	100.0%
中学生保護者(n=771)	3.2%	10.5%	22.0%	63.7%	0.5%	100.0%
高校生保護者(n=562)	4.3%	12.5%	26.9%	56.2%	0.2%	100.0%

問 19 あなたの世帯では、過去1年の間に、①～⑦について、経済的な理由で未払いになったことがありますか。ただし、各種の支払いや借入金がない場合などは、「該当しない」を選択してください。（それぞれ、あてはまる番号1つを選んでください）

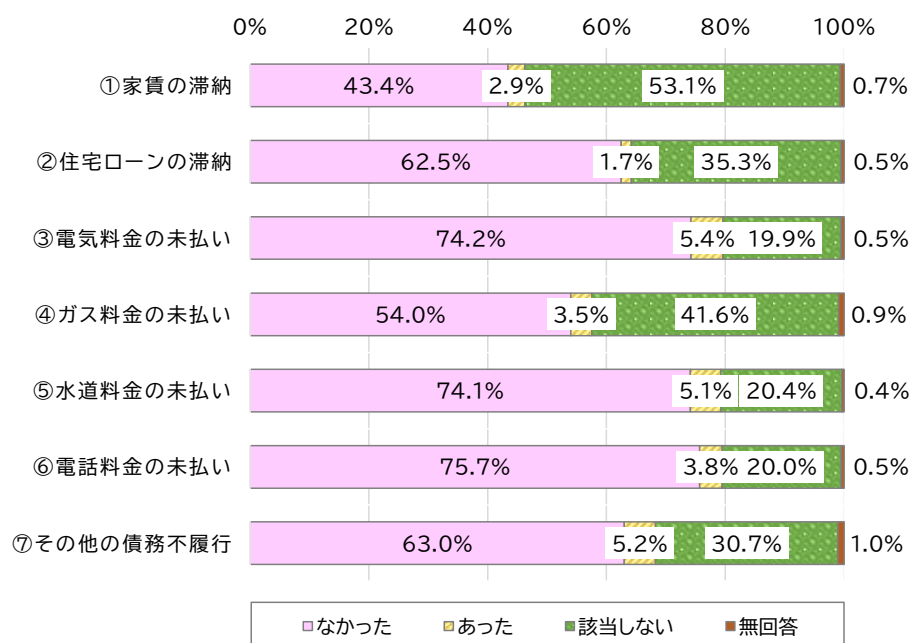
全体の過去1年の間に経済的な理由で未払いになったことがあることの「なかった」では、「⑥電話料金の未払い」が76.0%と最も多く、次いで「③電気料金の未払い」が75.9%、「⑤水道料金の未払い」が74.8%となっています。

一方、「あった」では、「⑦その他の債務不履行」が6.5%、「該当しない」では、「①家賃の滞納」が53.1%となっています。

各種支払いや借入金の未払いの有無（保護者全体）

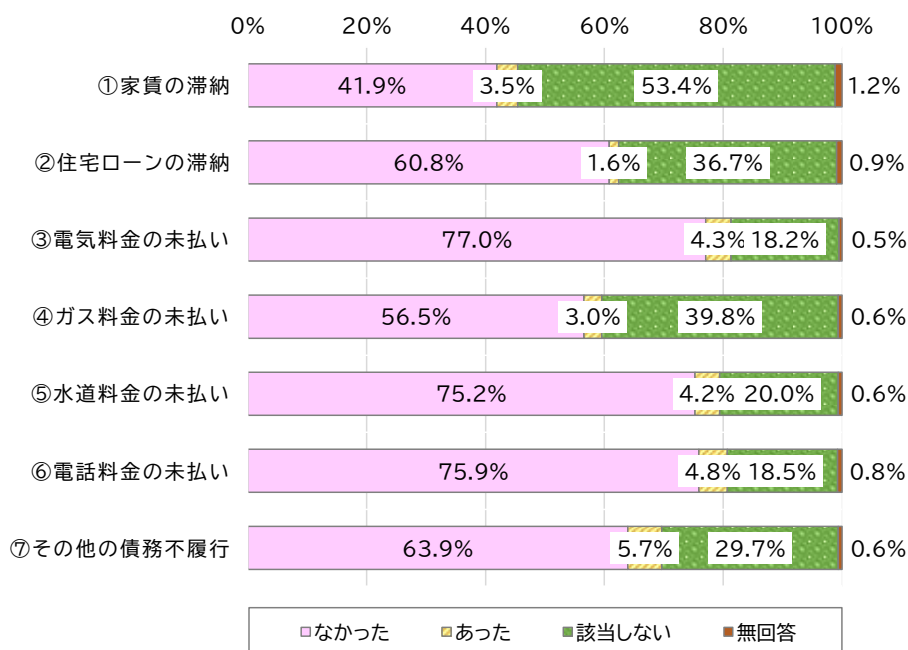


各種支払いや借入金の未払いの有無（小学生保護者）

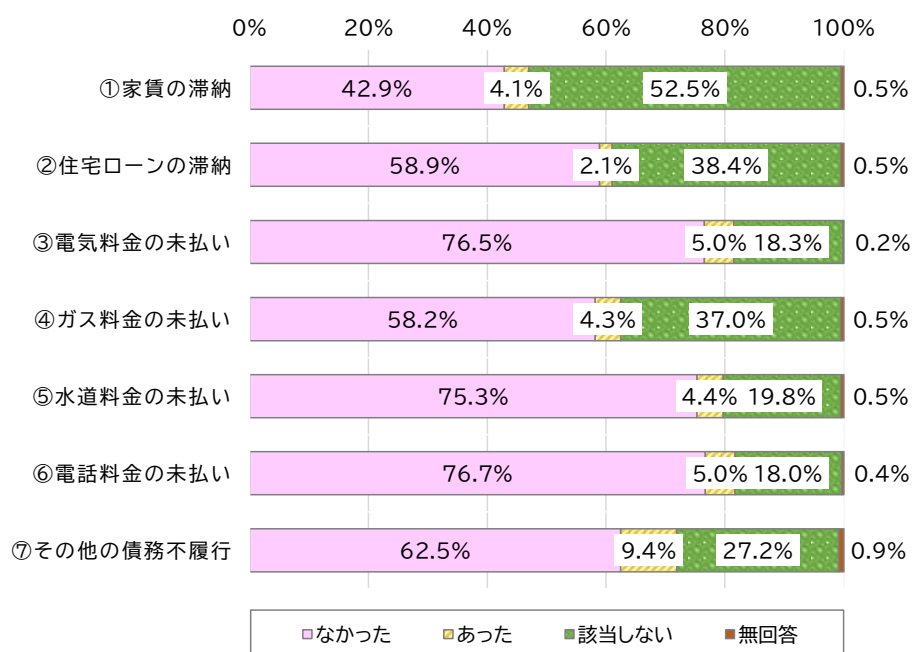


4 保護者調査（小学生・中学生・高校生）

各種支払いや借入金の未払いの有無（中学生保護者）



各種支払いや借入金の未払いの有無（高校生保護者）



4 保護者調査（小学生・中学生・高校生）

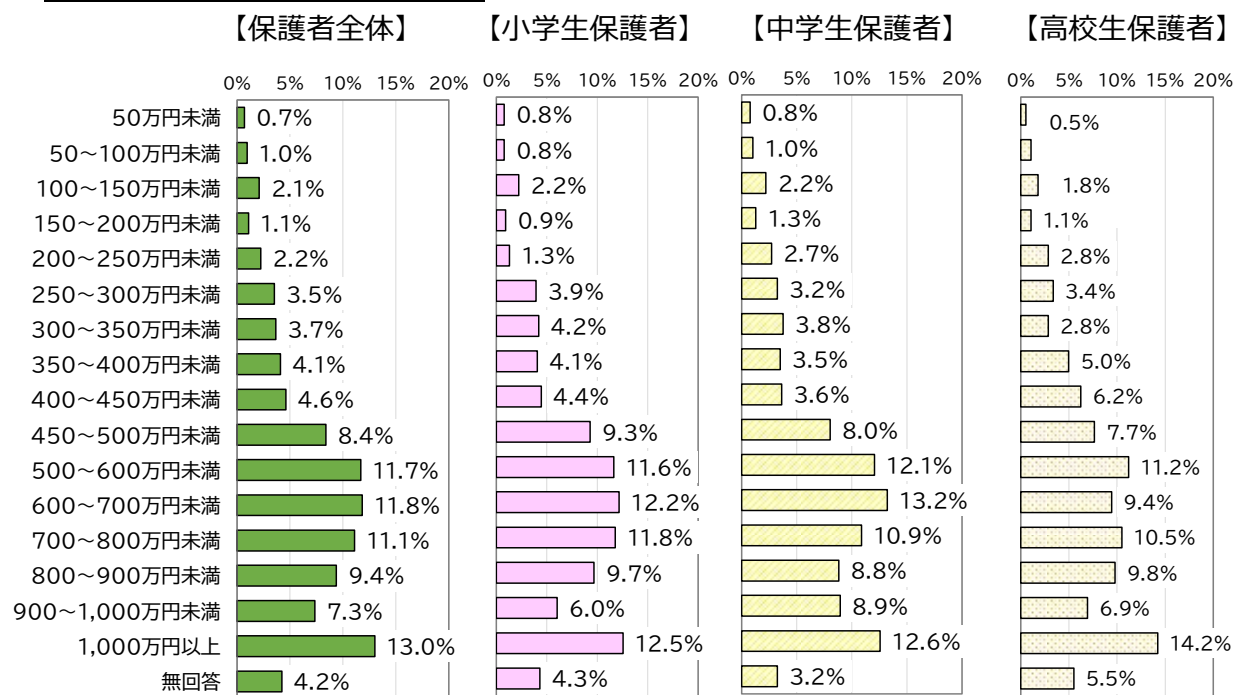
項目(度数)	学年	なかった	あった	該当しない	無回答	合計
①家賃の滞納	保護者全体	896	72	1,113	17	2,098
	小学生保護者	332	22	406	5	765
	中学生保護者	323	27	412	9	771
	高校生保護者	241	23	295	3	562
②住宅ローンの滞納	保護者全体	1,278	37	769	14	2,098
	小学生保護者	478	13	270	4	765
	中学生保護者	469	12	283	7	771
	高校生保護者	331	12	216	3	562
③電気料金の未払い	保護者全体	1,592	102	395	9	2,098
	小学生保護者	568	41	152	4	765
	中学生保護者	594	33	140	4	771
	高校生保護者	430	28	103	1	562
④ガス料金の未払い	保護者全体	1,176	74	833	15	2,098
	小学生保護者	413	27	318	7	765
	中学生保護者	436	23	307	5	771
	高校生保護者	327	24	208	3	562
⑤水道料金の未払い	保護者全体	1,570	96	421	11	2,098
	小学生保護者	567	39	156	3	765
	中学生保護者	580	32	154	5	771
	高校生保護者	423	25	111	3	562
⑥電話料金の未払い	保護者全体	1,595	94	397	12	2,098
	小学生保護者	579	29	153	4	765
	中学生保護者	585	37	143	6	771
	高校生保護者	431	28	101	2	562
⑦その他の債務不履行	保護者全体	1,326	137	617	18	2,098
	小学生保護者	482	40	235	8	765
	中学生保護者	493	44	229	5	771
	高校生保護者	351	53	153	5	562
項目(比率)		なかった	あった	該当しない	無回答	合計
①家賃の滞納	保護者全体	42.7%	3.4%	53.1%	0.8%	100.0%
	小学生保護者	43.4%	2.9%	53.1%	0.7%	100.0%
	中学生保護者	41.9%	3.5%	53.4%	1.2%	100.0%
	高校生保護者	42.9%	4.1%	52.5%	0.5%	100.0%
②住宅ローンの滞納	保護者全体	60.9%	1.8%	36.7%	0.7%	100.0%
	小学生保護者	62.5%	1.7%	35.3%	0.5%	100.0%
	中学生保護者	60.8%	1.6%	36.7%	0.9%	100.0%
	高校生保護者	58.9%	2.1%	38.4%	0.5%	100.0%
③電気料金の未払い	保護者全体	75.9%	4.9%	18.8%	0.4%	100.0%
	小学生保護者	74.2%	5.4%	19.9%	0.5%	100.0%
	中学生保護者	77.0%	4.3%	18.2%	0.5%	100.0%
	高校生保護者	76.5%	5.0%	18.3%	0.2%	100.0%
④ガス料金の未払い	保護者全体	56.1%	3.5%	39.7%	0.7%	100.0%
	小学生保護者	54.0%	3.5%	41.6%	0.9%	100.0%
	中学生保護者	56.5%	3.0%	39.8%	0.6%	100.0%
	高校生保護者	58.2%	4.3%	37.0%	0.5%	100.0%
⑤水道料金の未払い	保護者全体	74.8%	4.6%	20.1%	0.5%	100.0%
	小学生保護者	74.1%	5.1%	20.4%	0.4%	100.0%
	中学生保護者	75.2%	4.2%	20.0%	0.6%	100.0%
	高校生保護者	75.3%	4.4%	19.8%	0.5%	100.0%
⑥電話料金の未払い	保護者全体	76.0%	4.5%	18.9%	0.6%	100.0%
	小学生保護者	75.7%	3.8%	20.0%	0.5%	100.0%
	中学生保護者	75.9%	4.8%	18.5%	0.8%	100.0%
	高校生保護者	76.7%	5.0%	18.0%	0.4%	100.0%
⑦その他の債務不履行	保護者全体	63.2%	6.5%	29.4%	0.9%	100.0%
	小学生保護者	63.0%	5.2%	30.7%	1.0%	100.0%
	中学生保護者	63.9%	5.7%	29.7%	0.6%	100.0%
	高校生保護者	62.5%	9.4%	27.2%	0.9%	100.0%

4 保護者調査（小学生・中学生・高校生）

問 20 世帯全体のおおよその年間収入(税込)はいくらですか。(あてはまる番号 1 つを選んでください)※令和4年の 1 年間収入についてお答えください。(手取りではなく額面など)※収入には、同居し、生計を同一にしている家族全員の以下の収入が含まれます。

全体の世帯全体のおおよその年間収入(税込)では、「1,000 万円以上」が 13.0%と最も多く、次いで「600～700 万円未満」が 11.8%、「500～600 万円未満」が 11.7%となっています。

世帯の年間収入（学年別保護者）



項目	保護者全体		小学生保護者		中学生保護者		高校生保護者	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率
50万円未満	15	0.7%	6	0.8%	6	0.8%	3	0.5%
50～100万円未満	20	1.0%	6	0.8%	8	1.0%	6	1.1%
100～150万円未満	44	2.1%	17	2.2%	17	2.2%	10	1.8%
150～200万円未満	23	1.1%	7	0.9%	10	1.3%	6	1.1%
200～250万円未満	47	2.2%	10	1.3%	21	2.7%	16	2.8%
250～300万円未満	74	3.5%	30	3.9%	25	3.2%	19	3.4%
300～350万円未満	77	3.7%	32	4.2%	29	3.8%	16	2.8%
350～400万円未満	86	4.1%	31	4.1%	27	3.5%	28	5.0%
400～450万円未満	97	4.6%	34	4.4%	28	3.6%	35	6.2%
450～500万円未満	176	8.4%	71	9.3%	62	8.0%	43	7.7%
500～600万円未満	245	11.7%	89	11.6%	93	12.1%	63	11.2%
600～700万円未満	248	11.8%	93	12.2%	102	13.2%	53	9.4%
700～800万円未満	233	11.1%	90	11.8%	84	10.9%	59	10.5%
800～900万円未満	197	9.4%	74	9.7%	68	8.8%	55	9.8%
900～1,000万円未満	154	7.3%	46	6.0%	69	8.9%	39	6.9%
1,000万円以上	273	13.0%	96	12.5%	97	12.6%	80	14.2%
無回答	89	4.2%	33	4.3%	25	3.2%	31	5.5%
合計	2,098	100.0%	765	100.0%	771	100.0%	562	100.0%

⑥お子さんのことで相談することや場所についておたずねします

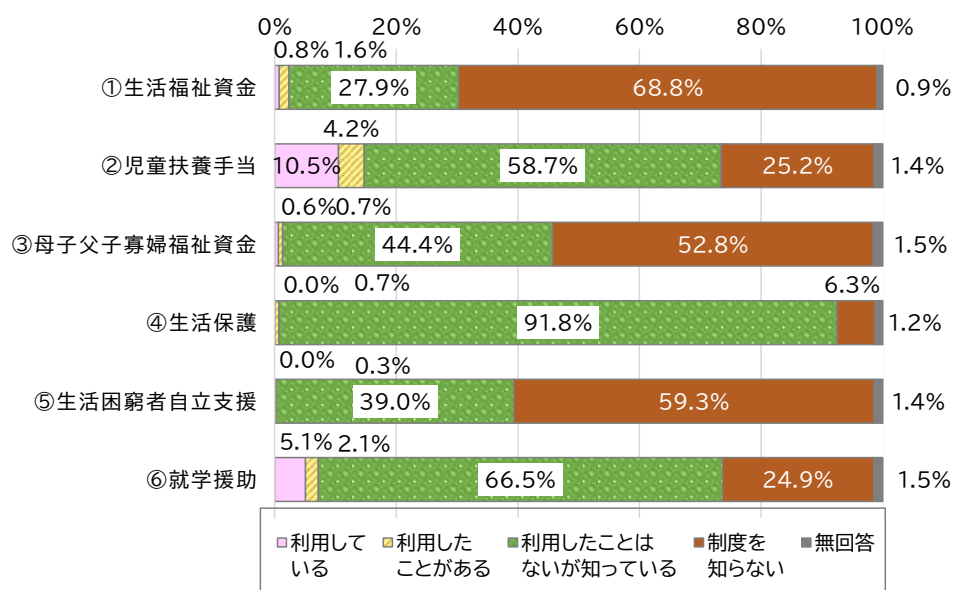
問 21 あなたは、次の①～⑥の公的制度や相談機関、支援サービスを利用したことがありますか。（それぞれ、あてはまる番号 1 つを選んでください）

全体で公的制度や相談機関、支援サービスを利用したことがあるかの「利用している」では、「②児童扶養手当」が 10.5%と最も多くなっています。

一方、「利用したことはないが知っている」では、「④生活保護」が 91.8%と最も多くなっています。

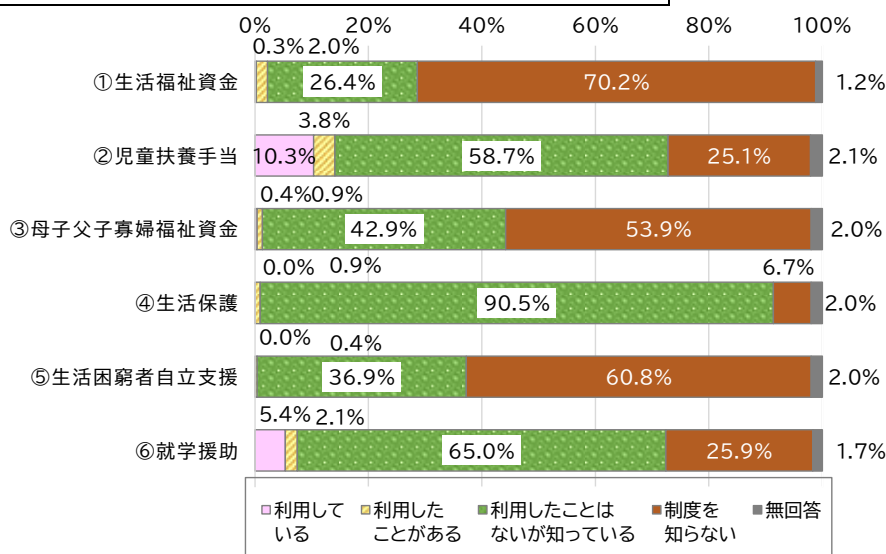
- ①生活福祉資金：所得が一定水準以下の世帯等を対象とした、低利または無利子の資金
 ②児童扶養手当：所得が一定水準以下のひとり親等世帯の支援のための手当（児童手当とは異なります）
 ③母子父子寡婦福祉資金：ひとり親の家庭が、国から貸付金を受けられる支援制度
 ④生活保護制度：病気や失業などにより生活費等に困り、他に方法がない時に一定の援助が受けられる制度
 ⑤生活困窮者自立支援制度：生活に困窮する方を専門の支援員が具体的な支援プランを作成し、課題の解決に向けた支援を行う制度
 ⑥就学援助：経済的理由により子どもの就学が困難な場合に、学用品費等を補助する制度

公的制度や相談機関、支援サービスの利用の有無（保護者全体）

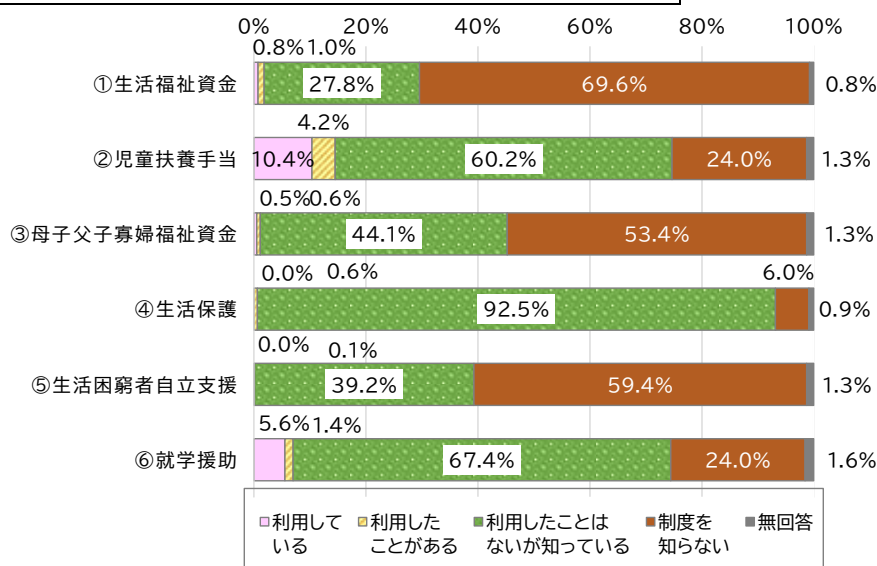


4 保護者調査（小学生・中学生・高校生）

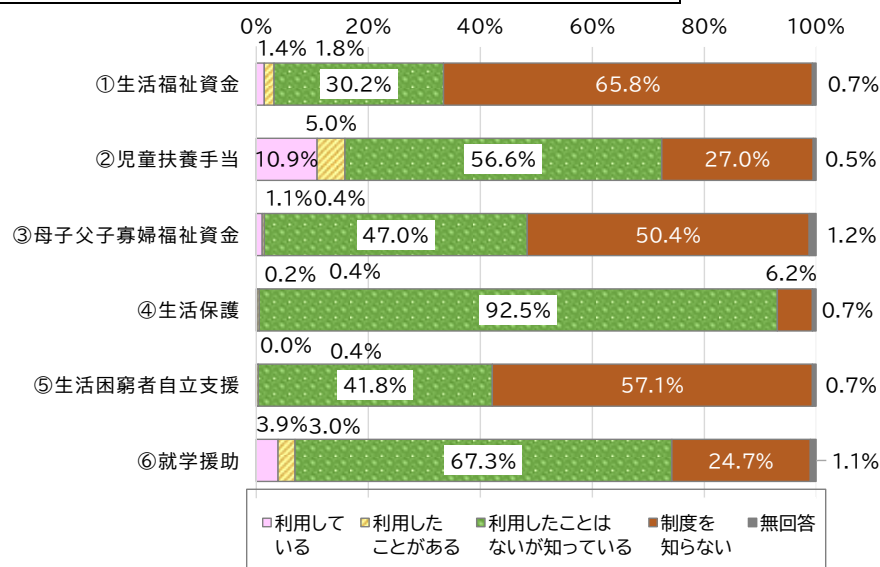
公的制度や相談機関、支援サービスの利用の有無（小学生保護者）



公的制度や相談機関、支援サービスの利用の有無（中学生保護者）



公的制度や相談機関、支援サービスの利用の有無（高校生保護者）



4 保護者調査（小学生・中学生・高校生）

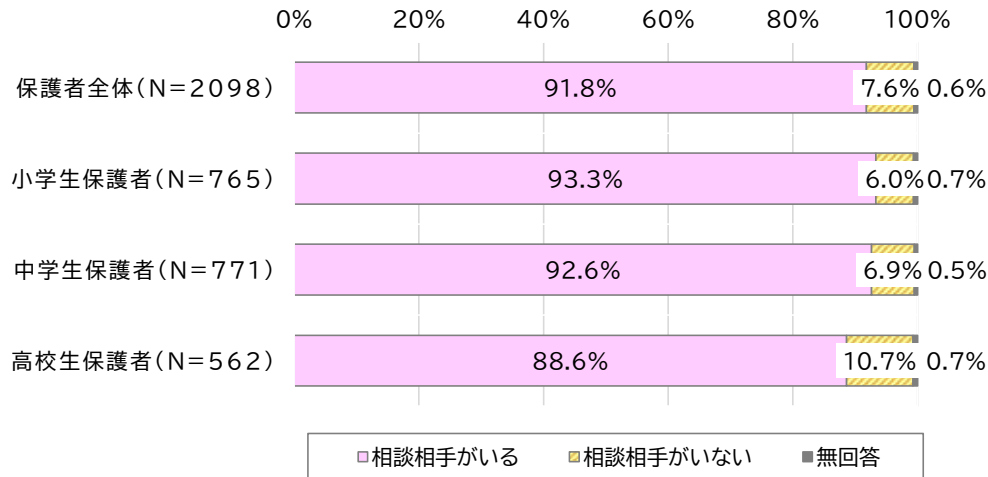
項目(度数)	学年	利用して いる	利用した ことがある	利用したことは ないが知っている	制度を 知らない	無回答	合計
①生活福祉資金	保護者全体	16	33	586	1,444	19	2,098
	小学生保護者	2	15	202	537	9	765
	中学生保護者	6	8	214	537	6	771
	高校生保護者	8	10	170	370	4	562
②児童扶養手当	保護者全体	220	89	1,231	529	29	2,098
	小学生保護者	79	29	449	192	16	765
	中学生保護者	80	32	464	185	10	771
	高校生保護者	61	28	318	152	3	562
③母子父子寡婦福祉資金	保護者全体	13	14	932	1,107	32	2,098
	小学生保護者	3	7	328	412	15	765
	中学生保護者	4	5	340	412	10	771
	高校生保護者	6	2	264	283	7	562
④生活保護	保護者全体	1	14	1925	132	26	2,098
	小学生保護者	0	7	692	51	15	765
	中学生保護者	0	5	713	46	7	771
	高校生保護者	1	2	520	35	4	562
⑤生活困窮者自立支援	保護者全体	0	6	819	1,244	29	2,098
	小学生保護者	0	3	282	465	15	765
	中学生保護者	0	1	302	458	10	771
	高校生保護者	0	2	235	321	4	562
⑥就学援助	保護者全体	106	44	1,395	522	31	2,098
	小学生保護者	41	16	497	198	13	765
	中学生保護者	43	11	520	185	12	771
	高校生保護者	22	17	378	139	6	562
項目(比率)		利用して いる	利用した ことがある	利用したことは ないが知っている	制度を 知らない	無回答	合計
①生活福祉資金	保護者全体	0.8%	1.6%	27.9%	68.8%	0.9%	100.0%
	小学生保護者	0.3%	2.0%	26.4%	70.2%	1.2%	100.0%
	中学生保護者	0.8%	1.0%	27.8%	69.6%	0.8%	100.0%
	高校生保護者	1.4%	1.8%	30.2%	65.8%	0.7%	100.0%
②児童扶養手当	保護者全体	10.5%	4.2%	58.7%	25.2%	1.4%	100.0%
	小学生保護者	10.3%	3.8%	58.7%	25.1%	2.1%	100.0%
	中学生保護者	10.4%	4.2%	60.2%	24.0%	1.3%	100.0%
	高校生保護者	10.9%	5.0%	56.6%	27.0%	0.5%	100.0%
③母子父子寡婦福祉資金	保護者全体	0.6%	0.7%	44.4%	52.8%	1.5%	100.0%
	小学生保護者	0.4%	0.9%	42.9%	53.9%	2.0%	100.0%
	中学生保護者	0.5%	0.6%	44.1%	53.4%	1.3%	100.0%
	高校生保護者	1.1%	0.4%	47.0%	50.4%	1.2%	100.0%
④生活保護	保護者全体	0.0%	0.7%	91.8%	6.3%	1.2%	100.0%
	小学生保護者	0.0%	0.9%	90.5%	6.7%	2.0%	100.0%
	中学生保護者	0.0%	0.6%	92.5%	6.0%	0.9%	100.0%
	高校生保護者	0.2%	0.4%	92.5%	6.2%	0.7%	100.0%
⑤生活困窮者自立支援	保護者全体	0.0%	0.3%	39.0%	59.3%	1.4%	100.0%
	小学生保護者	0.0%	0.4%	36.9%	60.8%	2.0%	100.0%
	中学生保護者	0.0%	0.1%	39.2%	59.4%	1.3%	100.0%
	高校生保護者	0.0%	0.4%	41.8%	57.1%	0.7%	100.0%
⑥就学援助	保護者全体	5.1%	2.1%	66.5%	24.9%	1.5%	100.0%
	小学生保護者	5.4%	2.1%	65.0%	25.9%	1.7%	100.0%
	中学生保護者	5.6%	1.4%	67.4%	24.0%	1.6%	100.0%
	高校生保護者	3.9%	3.0%	67.3%	24.7%	1.1%	100.0%

4 保護者調査（小学生・中学生・高校生）

問 22 あなたが子育てをする上で、相談相手はいますか。（あてはまる番号 1 つを選んでください）

全体の子育てをする上で、相談相手はいるかでは、「相談相手がいる」が 91.8%となっています。

子育ての相談先の有無（学年別保護者）



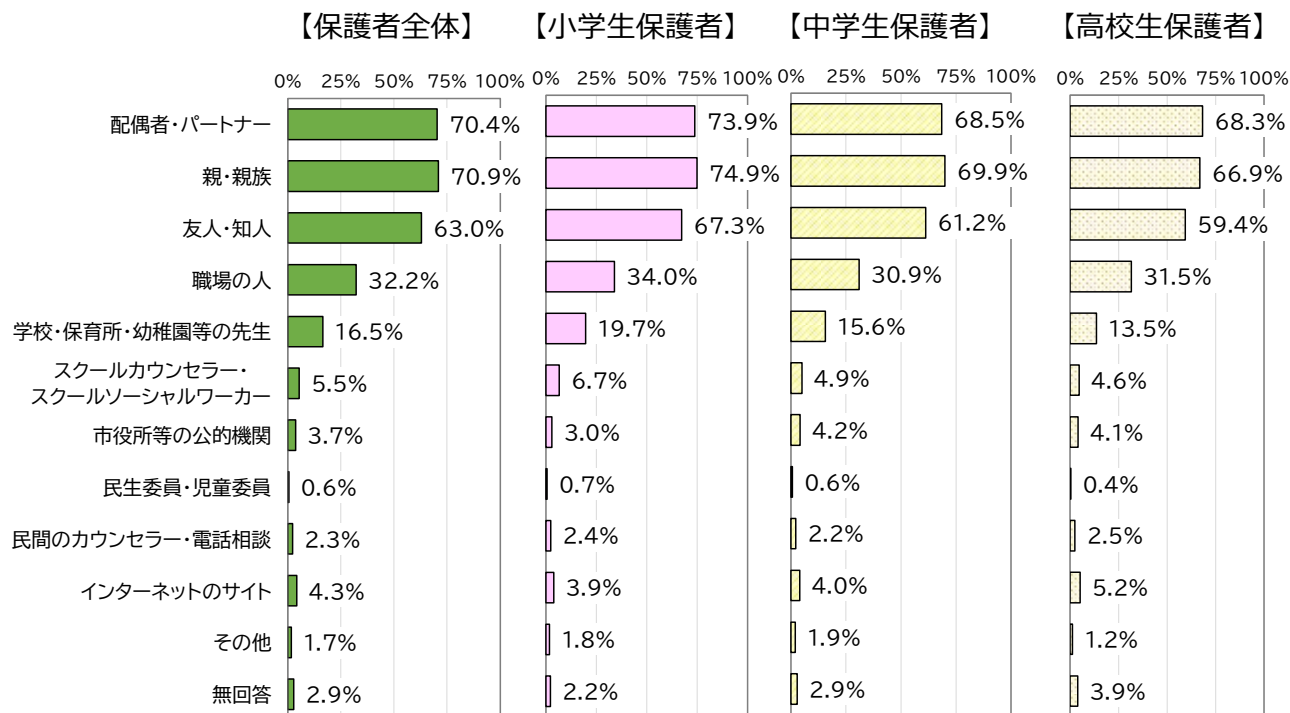
項目(度数)	相談相手がいる	相談相手がない	無回答	合計
保護者全体	1,926	159	13	2,098
小学生保護者	714	46	5	765
中学生保護者	714	53	4	771
高校生保護者	498	60	4	562
項目(比率)	相談相手がいる	相談相手がない	無回答	合計
保護者全体(n=2098)	91.8%	7.6%	0.6%	100.0%
小学生保護者(n=765)	93.3%	6.0%	0.7%	100.0%
中学生保護者(n=771)	92.6%	6.9%	0.5%	100.0%
高校生保護者(n=562)	88.6%	10.7%	0.7%	100.0%

4 保護者調査（小学生・中学生・高校生）

問 23 問 22 の相談する相手はどんな人ですか。または、相談相手がいない場合には、どんな人に相談したいと思いますか。（あてはまる番号すべてを選択してください）

全体の相談する相手、相談したい先では、「親・親族」が 70.9%と最も多く、次いで「配偶者・パートナー」が 70.4%、「友人・知人」が 63.0%となっています。

子育ての相談相手（学年別保護者）



項目	保護者全体		小学生保護者		中学生保護者		高校生保護者	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率
配偶者・パートナー	1,477	70.4%	565	73.9%	528	68.5%	384	68.3%
親・親族	1,488	70.9%	573	74.9%	539	69.9%	376	66.9%
友人・知人	1,321	63.0%	515	67.3%	472	61.2%	334	59.4%
職場の人	675	32.2%	260	34.0%	238	30.9%	177	31.5%
学校・保育所・幼稚園等の先生	347	16.5%	151	19.7%	120	15.6%	76	13.5%
スクールカウンセラー・ スクールソーシャルワーカー	115	5.5%	51	6.7%	38	4.9%	26	4.6%
市役所等の公的機関	78	3.7%	23	3.0%	32	4.2%	23	4.1%
民生委員・児童委員	12	0.6%	5	0.7%	5	0.6%	2	0.4%
民間のカウンセラー・電話相談	49	2.3%	18	2.4%	17	2.2%	14	2.5%
インターネットのサイト	90	4.3%	30	3.9%	31	4.0%	29	5.2%
その他	36	1.7%	14	1.8%	15	1.9%	7	1.2%
無回答	61	2.9%	17	2.2%	22	2.9%	22	3.9%
回答者数	2,098		765		771		562	

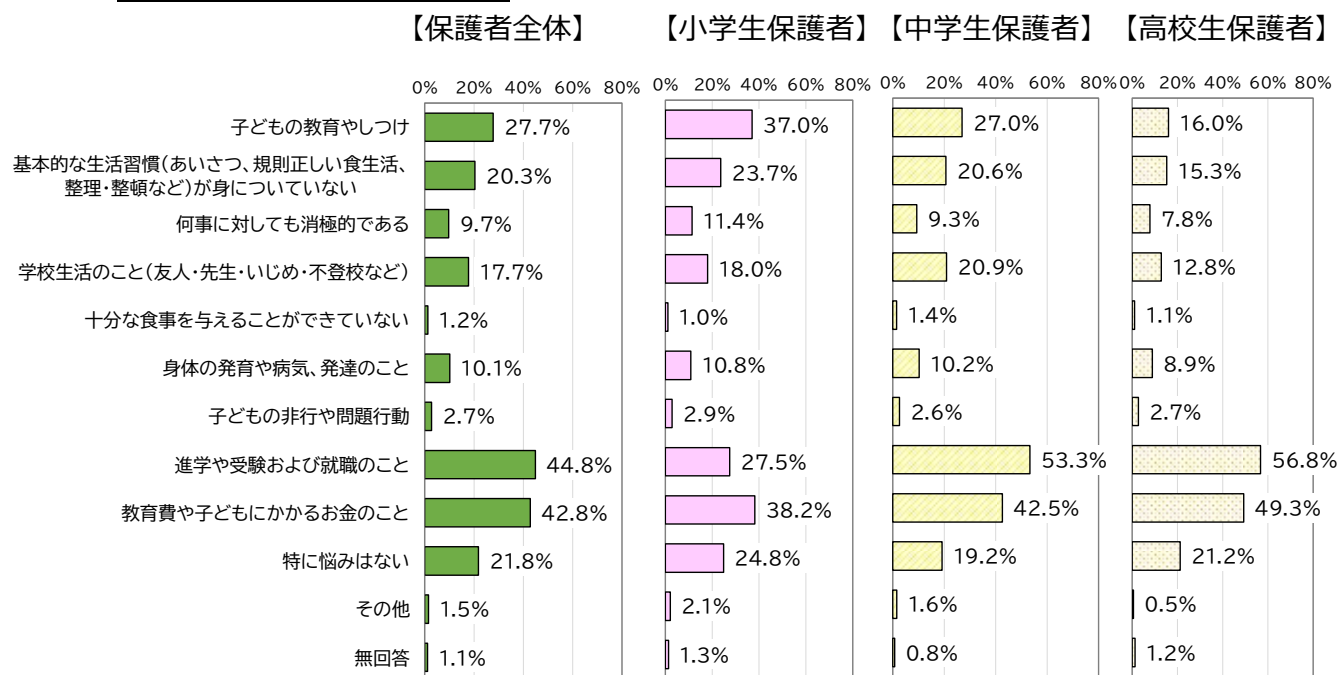
4 保護者調査（小学生・中学生・高校生）

問 24 子どものことについて、現在悩んでいることはありますか。（あてはまる番号すべてを選択してください）

全体の子どものことについて、現在悩んでいることは、「進学や受験および就職のこと」が 44.8%と最も多く、次いで「教育費や子どもにかかるお金のこと」が 42.8%、「子どもの教育やしつけ」が 27.7%となっています。

年齢が上がるにしたがって、「進学や受験及び就職のこと」「教育費や子どもにかかるお金のこと」の割合がそれぞれ高くなっています。

子どもの悩み（学年別保護者）



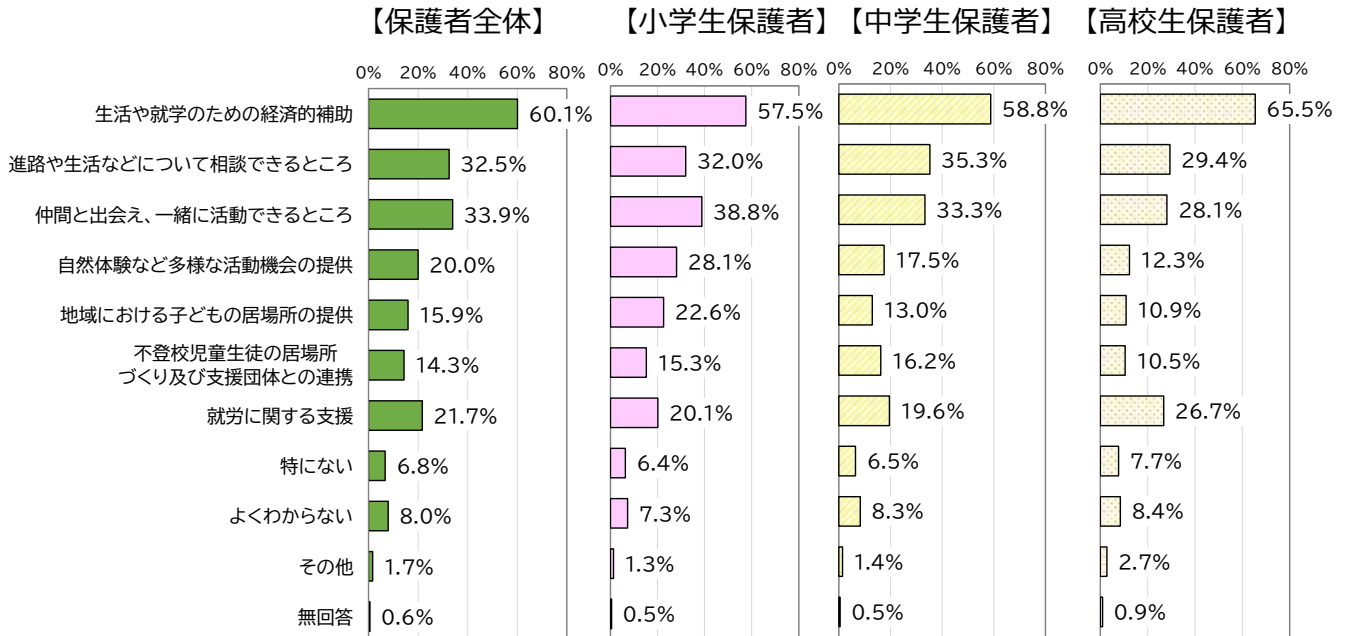
項目	保護者全体		小学生保護者		中学生保護者		高校生保護者	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率
子どもの教育やしつけ	581	27.7%	283	37.0%	208	27.0%	90	16.0%
基本的な生活習慣（あいさつ、規則正しい食生活、整理・整頓など）が身についていない	426	20.3%	181	23.7%	159	20.6%	86	15.3%
何事に対しても消極的である	203	9.7%	87	11.4%	72	9.3%	44	7.8%
学校生活のこと（友人・先生・いじめ・不登校など）	371	17.7%	138	18.0%	161	20.9%	72	12.8%
十分な食事を与えることができていない	25	1.2%	8	1.0%	11	1.4%	6	1.1%
身体の発育や病気、発達のこと	212	10.1%	83	10.8%	79	10.2%	50	8.9%
子どもの非行や問題行動	57	2.7%	22	2.9%	20	2.6%	15	2.7%
進学や受験および就職のこと	940	44.8%	210	27.5%	411	53.3%	319	56.8%
教育費や子どもにかかるお金のこと	897	42.8%	292	38.2%	328	42.5%	277	49.3%
特に悩みはない	457	21.8%	190	24.8%	148	19.2%	119	21.2%
その他	31	1.5%	16	2.1%	12	1.6%	3	0.5%
無回答	23	1.1%	10	1.3%	6	0.8%	7	1.2%
回答者数	2,098		765		771		562	

4 保護者調査（小学生・中学生・高校生）

問 25 お子さんにとって、現在、または将来的に、どの様な支援があるとよいと思いますか。（あてはまる番号すべてを選択してください）

全体の将来的に、支援があるとよいことは、「生活や就学のための経済的補助」が 60.1%と最も多く、次いで「仲間と出迎え、一緒に活動できる場所」が 33.9%、「進路や生活などについて相談できる場所」が 32.5%となっています。

必要と思われる支援（学年別保護者）



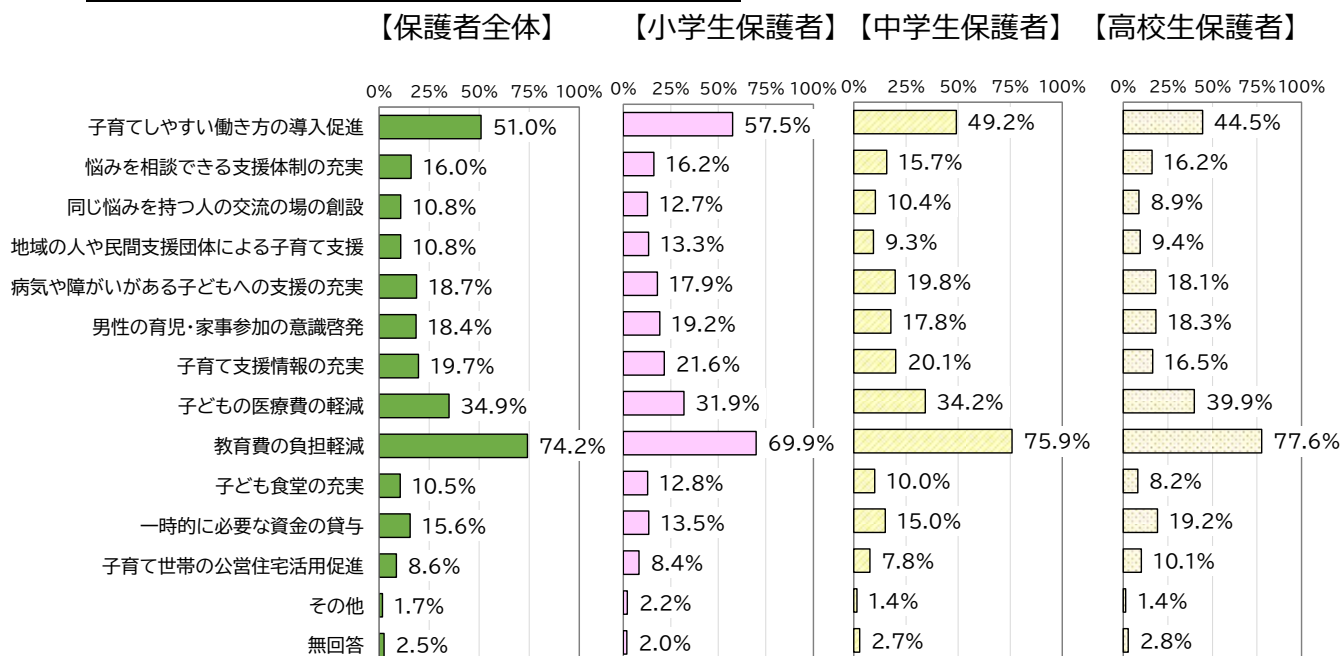
項目	保護者全体		小学生保護者		中学生保護者		高校生保護者	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率
生活や就学のための経済的補助	1,261	60.1%	440	57.5%	453	58.8%	368	65.5%
進路や生活などについて相談できる場所	682	32.5%	245	32.0%	272	35.3%	165	29.4%
仲間と出迎え、一緒に活動できる場所	712	33.9%	297	38.8%	257	33.3%	158	28.1%
自然体験など多様な活動機会の提供	419	20.0%	215	28.1%	135	17.5%	69	12.3%
地域における子どもの居場所の提供	334	15.9%	173	22.6%	100	13.0%	61	10.9%
不登校児童生徒の居場所づくり及び支援団体との連携	301	14.3%	117	15.3%	125	16.2%	59	10.5%
就労に関する支援	455	21.7%	154	20.1%	151	19.6%	150	26.7%
特にない	142	6.8%	49	6.4%	50	6.5%	43	7.7%
よくわからない	167	8.0%	56	7.3%	64	8.3%	47	8.4%
その他	36	1.7%	10	1.3%	11	1.4%	15	2.7%
無回答	13	0.6%	4	0.5%	4	0.5%	5	0.9%
回答者数	2,098		765		771		562	

4 保護者調査（小学生・中学生・高校生）

問 26 今後、充実を希望する子育て支援サービスは何ですか。（あてはまる番号すべてを選択してください）

全体の今後、充実を希望する子育て支援サービスについては、「教育費の負担軽減」が 74.2%と最も多く、次いで「子育てしやすい働き方の導入促進」が 51.0%、「子どもの医療費の軽減」が 34.9%となっています。

充実して欲しい子育て支援サービス（学年別保護者）



項目	小学生保護者		小学生保護者		中学生保護者		高校生保護者	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率
子育てしやすい働き方の導入促進	1,069	51.0%	440	57.5%	379	49.2%	250	44.5%
悩みを相談できる支援体制の充実	336	16.0%	124	16.2%	121	15.7%	91	16.2%
同じ悩みを持つ人の交流の場の創設	227	10.8%	97	12.7%	80	10.4%	50	8.9%
地域の人や民間支援団体による子育て支援	227	10.8%	102	13.3%	72	9.3%	53	9.4%
病気や障がいがある子どもへの支援の充実	392	18.7%	137	17.9%	153	19.8%	102	18.1%
男性の育児・家事参加の意識啓発	387	18.4%	147	19.2%	137	17.8%	103	18.3%
子育て支援情報の充実	413	19.7%	165	21.6%	155	20.1%	93	16.5%
子どもの医療費の軽減	732	34.9%	244	31.9%	264	34.2%	224	39.9%
教育費の負担軽減	1,556	74.2%	535	69.9%	585	75.9%	436	77.6%
子ども食堂の充実	221	10.5%	98	12.8%	77	10.0%	46	8.2%
一時的に必要な資金の貸与	327	15.6%	103	13.5%	116	15.0%	108	19.2%
子育て世帯の公営住宅活用促進	181	8.6%	64	8.4%	60	7.8%	57	10.1%
その他	36	1.7%	17	2.2%	11	1.4%	8	1.4%
無回答	52	2.5%	15	2.0%	21	2.7%	16	2.8%
回答者数	2,098		765		771		562	

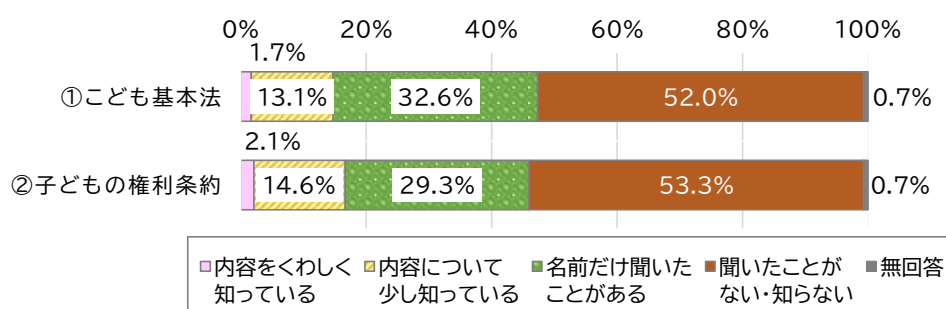
⑦子どもの権利についておたずねします

問 27 あなたは、「こども基本法」と「子どもの権利条約」を知っていますか。（それぞれ、あてはまる番号 1 つを選んでください）

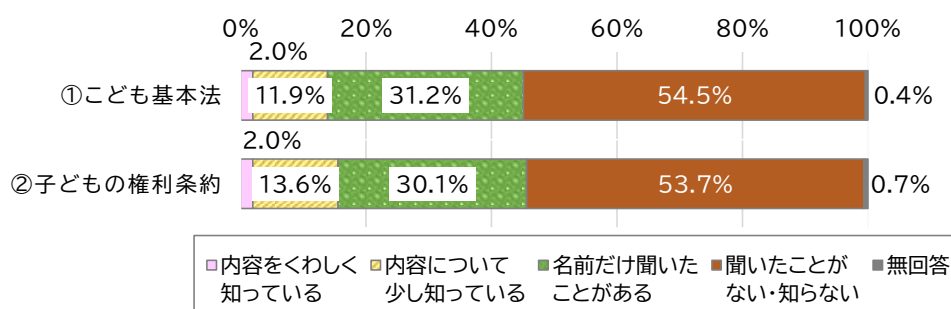
全体の「こども基本法」と「子どもの権利条約」を知っているでは、「内容をくわしく知っている」「内容について少し知っている」「名前だけ聞いたことがある」を合わせた『知っている』では、「①こども基本法」は、47.4%、「②子どもの権利条約」は、46.0%となっています。

一方、「聞いたことがない・知らない」で「①こども基本法」は、52.0%、「②子どもの権利条約」は、53.3%となっています。

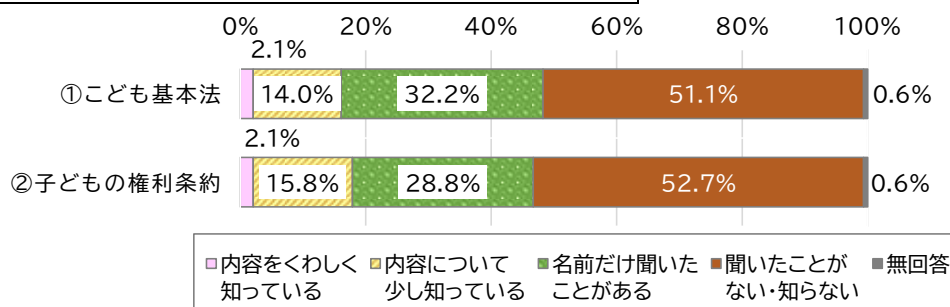
こども基本法・子どもの権利条約の認知度（保護者全体）



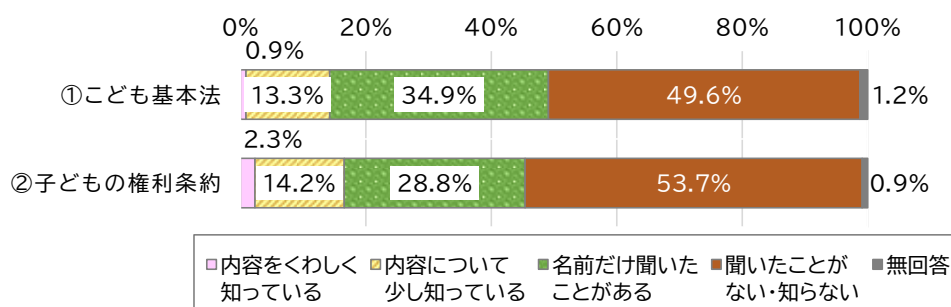
こども基本法・子どもの権利条約の認知度（小学生保護者）



こども基本法・子どもの権利条約の認知度（中学生保護者）



こども基本法・子どもの権利条約の認知度（高校生保護者）



4 保護者調査（小学生・中学生・高校生）

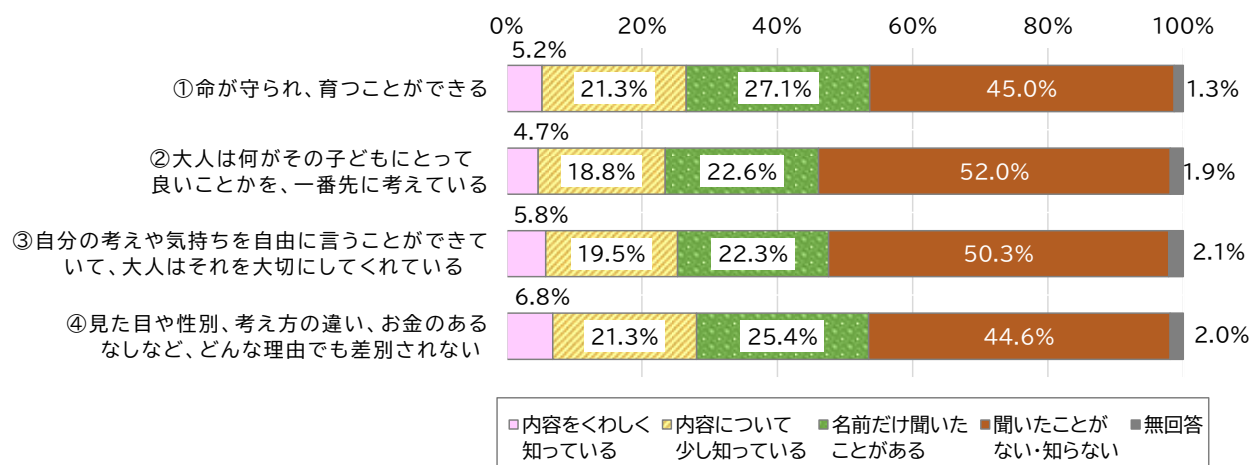
項目(度数)	学年	内容をくわしく知っている	内容について少し知っている	名前だけ聞いたことがある	聞いたことがない・知らない	無回答	合計
①こども基本法	保護者全体	36	274	683	1,090	15	2,098
	小学生保護者	15	91	239	417	3	765
	中学生保護者	16	108	248	394	5	771
	高校生保護者	5	75	196	279	7	562
②子どもの権利条約	保護者全体	44	306	614	1,119	15	2,098
	小学生保護者	15	104	230	411	5	765
	中学生保護者	16	122	222	406	5	771
	高校生保護者	13	80	162	302	5	562
項目(比率)		内容をくわしく知っている	内容について少し知っている	名前だけ聞いたことがある	聞いたことがない・知らない	無回答	合計
①こども基本法	保護者全体	1.7%	13.1%	32.6%	52.0%	0.7%	100.0%
	小学生保護者	2.0%	11.9%	31.2%	54.5%	0.4%	100.0%
	中学生保護者	2.1%	14.0%	32.2%	51.1%	0.6%	100.0%
	高校生保護者	0.9%	13.3%	34.9%	49.6%	1.2%	100.0%
②子どもの権利条約	保護者全体	2.1%	14.6%	29.3%	53.3%	0.7%	100.0%
	小学生保護者	2.0%	13.6%	30.1%	53.7%	0.7%	100.0%
	中学生保護者	2.1%	15.8%	28.8%	52.7%	0.6%	100.0%
	高校生保護者	2.3%	14.2%	28.8%	53.7%	0.9%	100.0%

問 28 あなたは、以下の①～④の子どもの権利を知っていますか(それぞれ、あてはまる番号1つを選んでください)

全体の子どもの権利を知っているかについては、「内容をくわしく知っている」「内容について少し知っている」「名前だけ聞いたことがある」を合わせた『知っている』で、「①命が守られ、育つことができる」が53.6%と最も多く、次いで「④見た目や性別、考え方の違い、お金のあるなしなど、どんな理由でも差別されない」が53.5%となっています。

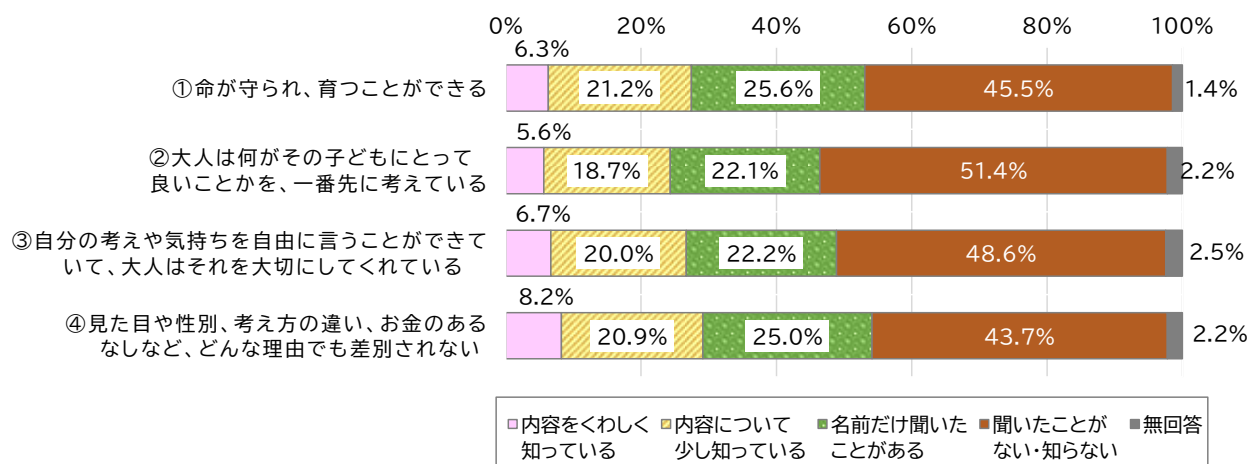
一方、「聞いたことがない・知らない」で、「②大人は何かその子どもにとって良いことかを、一番先に考えている」が、52.0%、「③自分の考えや気持ちを自由に言うことができいて、大人はそれを大切にしてくれている」が50.3%となっています。

子どもの権利の認知度（保護者全体）

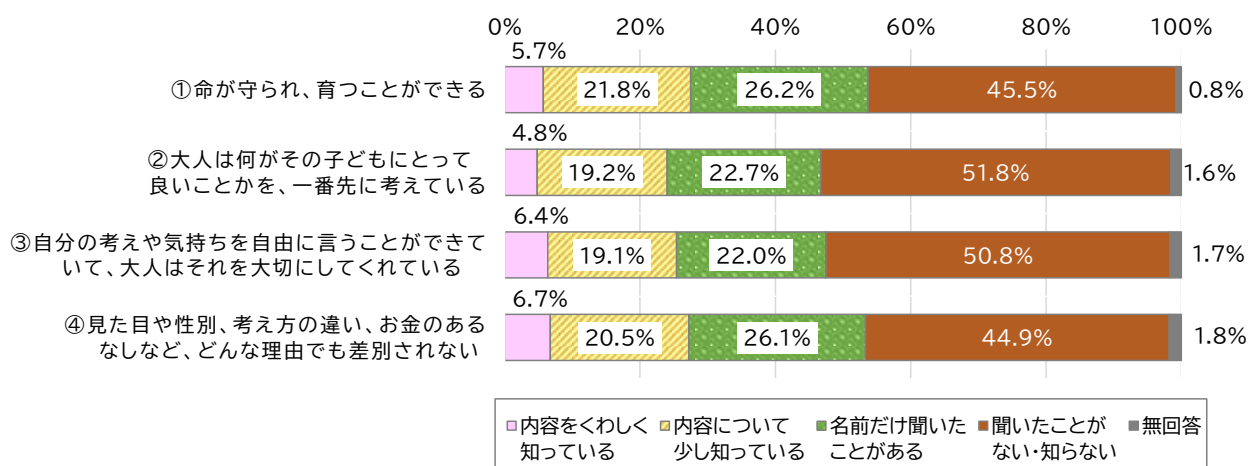


4 保護者調査（小学生・中学生・高校生）

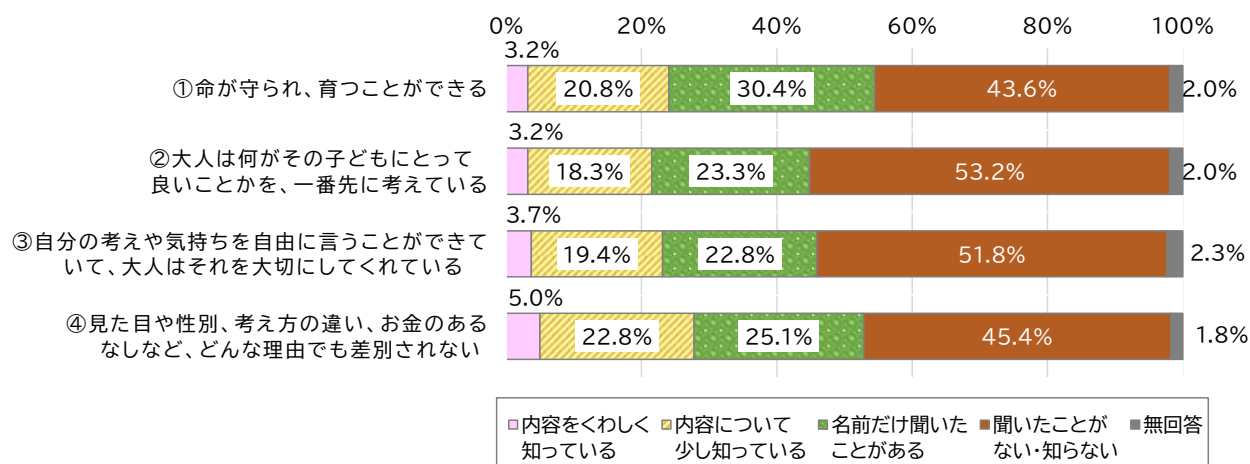
子どもの権利の認知度（小学生保護者）



子どもの権利の認知度（中学生保護者）



子どもの権利の認知度（高校生保護者）



4 保護者調査（小学生・中学生・高校生）

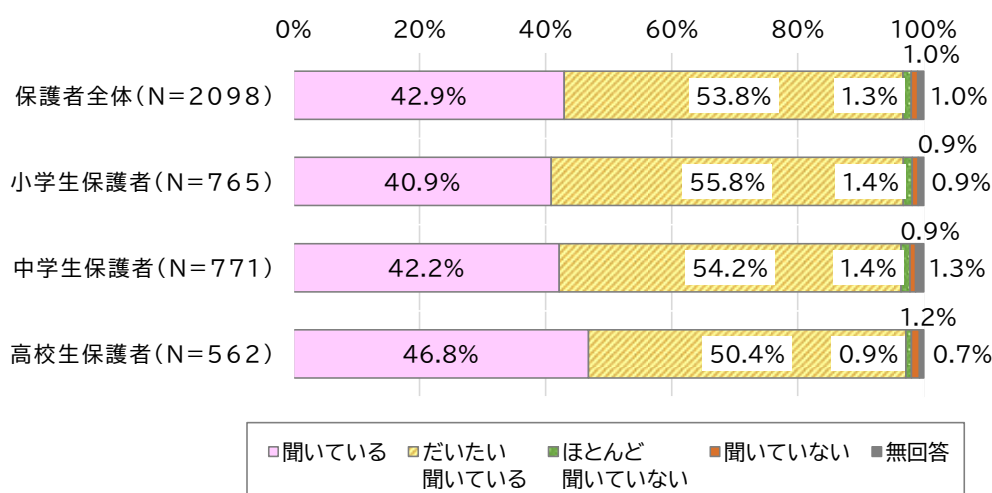
項目(度数)	学年	内容をくわしく知っている	内容について少し知っている	名前だけ聞いたことがある	聞いたことがない・知らない	無回答	合計
①命が守られ、育つことができる	保護者全体	110	447	569	944	28	2,098
	小学生保護者	48	162	196	348	11	765
	中学生保護者	44	168	202	351	6	771
	高校生保護者	18	117	171	245	11	562
②大人は何がその子どもにとって良いことかを、一番先に考えている	保護者全体	98	394	475	1,091	40	2,098
	小学生保護者	43	143	169	393	17	765
	中学生保護者	37	148	175	399	12	771
	高校生保護者	18	103	131	299	11	562
③自分の考えや気持ちを自由に言うことができいて、大人はそれを大切にしてくれている	保護者全体	121	409	468	1,055	45	2,098
	小学生保護者	51	153	170	372	19	765
	中学生保護者	49	147	170	392	13	771
	高校生保護者	21	109	128	291	13	562
④見た目や性別、考え方の違い、お金のあるなしなど、どんな理由でも差別されない	保護者全体	143	446	533	935	41	2,098
	小学生保護者	63	160	191	334	17	765
	中学生保護者	52	158	201	346	14	771
	高校生保護者	28	128	141	255	10	562
項目(比率)		内容をくわしく知っている	内容について少し知っている	名前だけ聞いたことがある	聞いたことがない・知らない	無回答	合計
①命が守られ、育つことができる	保護者全体	5.2%	21.3%	27.1%	45.0%	1.3%	100.0%
	小学生保護者	6.3%	21.2%	25.6%	45.5%	1.4%	100.0%
	中学生保護者	5.7%	21.8%	26.2%	45.5%	0.8%	100.0%
	高校生保護者	3.2%	20.8%	30.4%	43.6%	2.0%	100.0%
②大人は何がその子どもにとって良いことかを、一番先に考えている	保護者全体	4.7%	18.8%	22.6%	52.0%	1.9%	100.0%
	小学生保護者	5.6%	18.7%	22.1%	51.4%	2.2%	100.0%
	中学生保護者	4.8%	19.2%	22.7%	51.8%	1.6%	100.0%
	高校生保護者	3.2%	18.3%	23.3%	53.2%	2.0%	100.0%
③自分の考えや気持ちを自由に言うことができいて、大人はそれを大切にしてくれている	保護者全体	5.8%	19.5%	22.3%	50.3%	2.1%	100.0%
	小学生保護者	6.7%	20.0%	22.2%	48.6%	2.5%	100.0%
	中学生保護者	6.4%	19.1%	22.0%	50.8%	1.7%	100.0%
	高校生保護者	3.7%	19.4%	22.8%	51.8%	2.3%	100.0%
④見た目や性別、考え方の違い、お金のあるなしなど、どんな理由でも差別されない	保護者全体	6.8%	21.3%	25.4%	44.6%	2.0%	100.0%
	小学生保護者	8.2%	20.9%	25.0%	43.7%	2.2%	100.0%
	中学生保護者	6.7%	20.5%	26.1%	44.9%	1.8%	100.0%
	高校生保護者	5.0%	22.8%	25.1%	45.4%	1.8%	100.0%

問 29 あなたは、お子さんに関わることを決めるとき、お子さんの意見を聞いていると思いますか。(あてはまる番号1つを選んでください)

全体のお子さんに関わることを決めるとき、お子さんの意見を聞いているかでは、「聞いている」「だいたい聞いている」を合わせた『聞いている』は、96.7%となっています。

一方、「ほとんど聞いてない」「聞いてない」を合わせた『聞いていない』は、2.3%となっています。

お子さんの意見を聞いているか（学年別保護者）



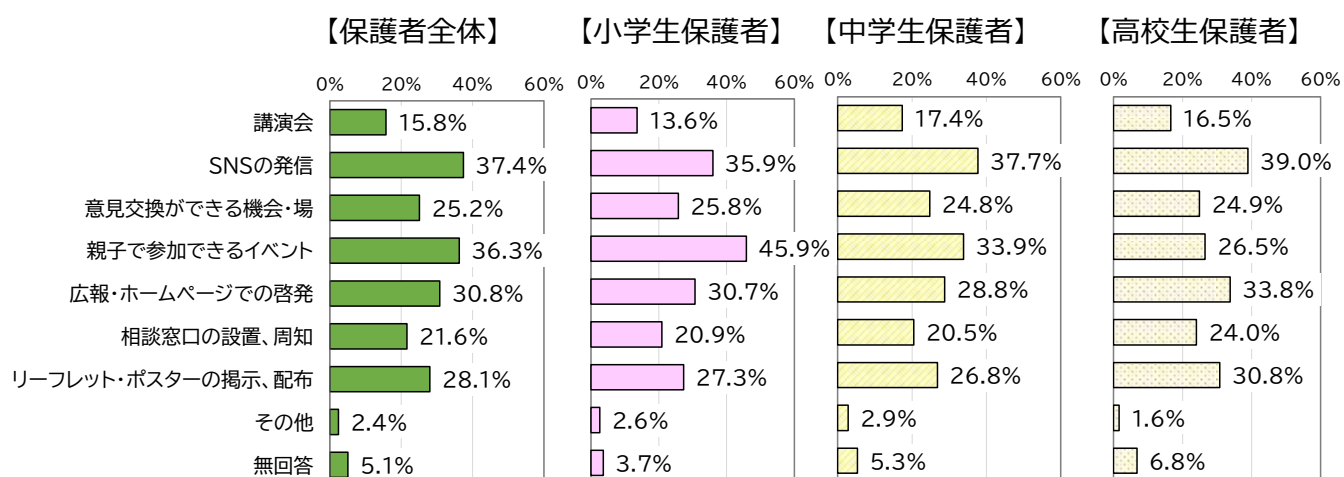
4 保護者調査（小学生・中学生・高校生）

項目(度数)	聞いている	だいたい聞いている	ほとんど聞いている	聞いていない	無回答	合計
保護者全体	901	1,128	27	21	21	2,098
小学生保護者	313	427	11	7	7	765
中学生保護者	325	418	11	7	10	771
高校生保護者	263	283	5	7	4	562
項目(比率)	聞いている	だいたい聞いている	ほとんど聞いている	聞いていない	無回答	合計
保護者全体(n=2098)	42.9%	53.8%	1.3%	1.0%	1.0%	100.0%
小学生保護者(n=765)	40.9%	55.8%	1.4%	0.9%	0.9%	100.0%
中学生保護者(n=771)	42.2%	54.2%	1.4%	0.9%	1.3%	100.0%
高校生保護者(n=562)	46.8%	50.4%	0.9%	1.2%	0.7%	100.0%

問 30 大人が子どもの権利を理解し、尊重するためには、どんな取り組みがあるか
と思いますか。(あてはまる番号すべてを選択してください)

全体の大人が子どもの権利を理解し、尊重するために必要な取り組みは、「SNS の発信」が 37.4%と最も多く、次いで「親子で参加できるイベント」が 36.3%、「広報・ホームページでの啓発」が 30.8%となっています。

子どもの権利を守るために必要な取り組み（学年別保護者）

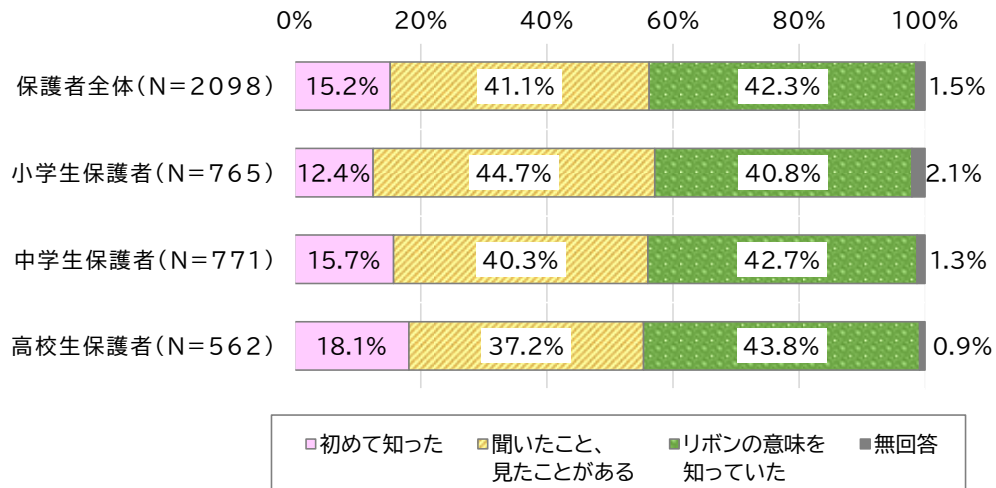


項目	保護者全体		小学生保護者		中学生保護者		高校生保護者	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率
講演会	331	15.8%	104	13.6%	134	17.4%	93	16.5%
SNSの発信	785	37.4%	275	35.9%	291	37.7%	219	39.0%
意見交換ができる機会・場	528	25.2%	197	25.8%	191	24.8%	140	24.9%
親子で参加できるイベント	761	36.3%	351	45.9%	261	33.9%	149	26.5%
広報・ホームページでの啓発	647	30.8%	235	30.7%	222	28.8%	190	33.8%
相談窓口の設置、周知	453	21.6%	160	20.9%	158	20.5%	135	24.0%
リーフレット・ポスターの掲示、配布	589	28.1%	209	27.3%	207	26.8%	173	30.8%
その他	51	2.4%	20	2.6%	22	2.9%	9	1.6%
無回答	107	5.1%	28	3.7%	41	5.3%	38	6.8%
回答者数	2,098		765		771		562	

問 31 児童虐待防止のシンボルマークのオレンジリボンを知っていますか。（あてはまる番号 1 つを選んでください）

全体の児童虐待防止のシンボルマークのオレンジリボンを知っているかは、「リボンの意味を知っていた」が 42.3%と最も多く、次いで「聞いたこと、見たことがある」が 41.1%となっています。

オレンジリボンの認知度（学年別保護者）



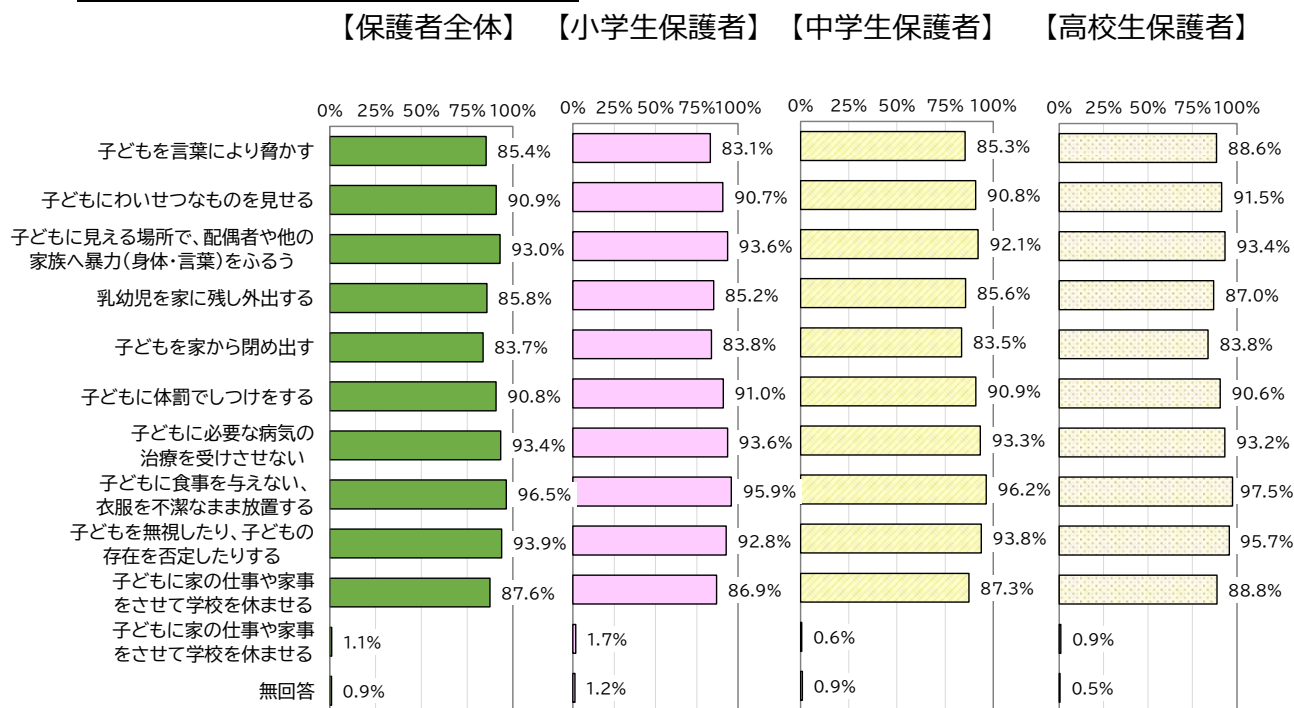
項目(度数)	初めて知った	聞いたこと、 見たことがある	リボンの意味を 知っていた	無回答	合計
保護者全体	318	862	887	31	2,098
小学生保護者	95	342	312	16	765
中学生保護者	121	311	329	10	771
高校生保護者	102	209	246	5	562
項目(比率)	初めて知った	聞いたこと、 見たことがある	リボンの意味を 知っていた	無回答	合計
保護者全体(n=2098)	15.2%	41.1%	42.3%	1.5%	100.0%
小学生保護者(n=765)	12.4%	44.7%	40.8%	2.1%	100.0%
中学生保護者(n=771)	15.7%	40.3%	42.7%	1.3%	100.0%
高校生保護者(n=562)	18.1%	37.2%	43.8%	0.9%	100.0%

4 保護者調査（小学生・中学生・高校生）

問 32 次の中であなたが児童虐待と感じるものを選択してください。（あてはまる番号すべてを選択してください）

全体の児童虐待と感じるものについては、「子どもに食事を与えない、衣服を不潔なまま放置する」が 96.5%と最も多く、次いで「子どもを無視したり、子どもの存在を否定したりする」が 93.9%、「子どもに必要な病気の治療を受けさせない」が 93.4%となっています。

児童虐待と感じるもの（学年別保護者）



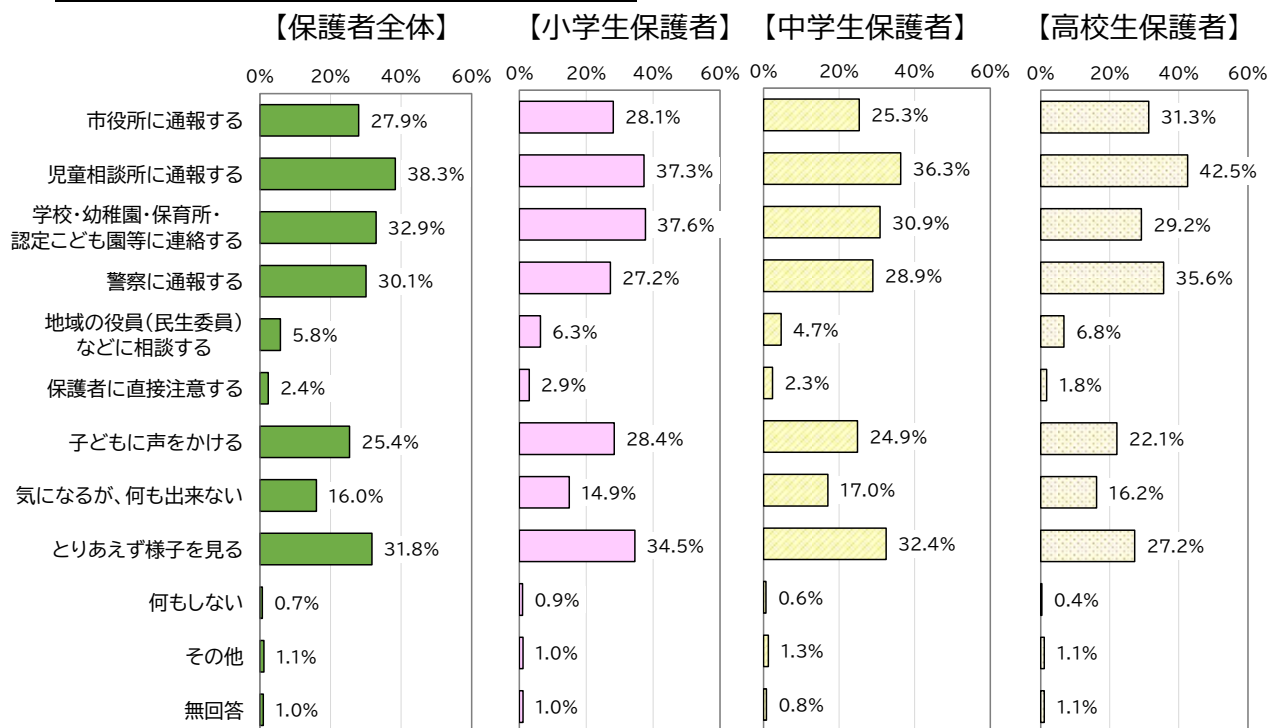
項目	保護者全体		小学生保護者		中学生保護者		高校生保護者	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率
子どもを言葉により脅かす	1,792	85.4%	636	83.1%	658	85.3%	498	88.6%
子どもにわいせつなものをさせる	1,908	90.9%	694	90.7%	700	90.8%	514	91.5%
子どもに見える場所で、配偶者や他の家族へ暴力(身体・言葉)をふるう	1,951	93.0%	716	93.6%	710	92.1%	525	93.4%
乳幼児を家に残し外出する	1,801	85.8%	652	85.2%	660	85.6%	489	87.0%
子どもを家から閉め出す	1,756	83.7%	641	83.8%	644	83.5%	471	83.8%
子どもに体罰でしつけをする	1,906	90.8%	696	91.0%	701	90.9%	509	90.6%
子どもに必要な病気の治療を受けさせない	1,959	93.4%	716	93.6%	719	93.3%	524	93.2%
子どもに食事を与えない、衣服を不潔なまま放置する	2,024	96.5%	734	95.9%	742	96.2%	548	97.5%
子どもを無視したり、子どもの存在を否定したりする	1,971	93.9%	710	92.8%	723	93.8%	538	95.7%
子どもに家の仕事や家事をさせて学校を休ませる	1,837	87.6%	665	86.9%	673	87.3%	499	88.8%
子どもに家の仕事や家事をさせて学校を休ませる	23	1.1%	13	1.7%	5	0.6%	5	0.9%
無回答	19	0.9%	9	1.2%	7	0.9%	3	0.5%
回答者数	2,098		765		771		562	

4 保護者調査（小学生・中学生・高校生）

問 33 児童虐待が行われている家庭を知ったとき、あなたなら最初にどうしますか。（あてはまる番号すべてを選択してください）

全体の児童虐待が行われている家庭を知ったとき、最初に行うことについては、「児童相談所に通報する」が 38.3%と最も多く、次いで「学校・幼稚園・保育所・認定こども園等に連絡する」が 32.9%、「とりあえず様子を見る」が 31.8%となっています。

児童虐待を知ったときの行動（学年別保護者）



項目	保護者全体		小学生保護者		中学生保護者		高校生保護者	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率
市役所に通報する	586	27.9%	215	28.1%	195	25.3%	176	31.3%
児童相談所に通報する	804	38.3%	285	37.3%	280	36.3%	239	42.5%
学校・幼稚園・保育所・認定こども園等に連絡する	690	32.9%	288	37.6%	238	30.9%	164	29.2%
警察に通報する	631	30.1%	208	27.2%	223	28.9%	200	35.6%
地域の役員(民生委員)などに相談する	122	5.8%	48	6.3%	36	4.7%	38	6.8%
保護者に直接注意する	50	2.4%	22	2.9%	18	2.3%	10	1.8%
子どもに声をかける	533	25.4%	217	28.4%	192	24.9%	124	22.1%
気になるが、何も出来ない	336	16.0%	114	14.9%	131	17.0%	91	16.2%
とりあえず様子を見る	667	31.8%	264	34.5%	250	32.4%	153	27.2%
何もしない	14	0.7%	7	0.9%	5	0.6%	2	0.4%
その他	24	1.1%	8	1.0%	10	1.3%	6	1.1%
無回答	20	1.0%	8	1.0%	6	0.8%	6	1.1%
回答者数	2,098		765		771		562	

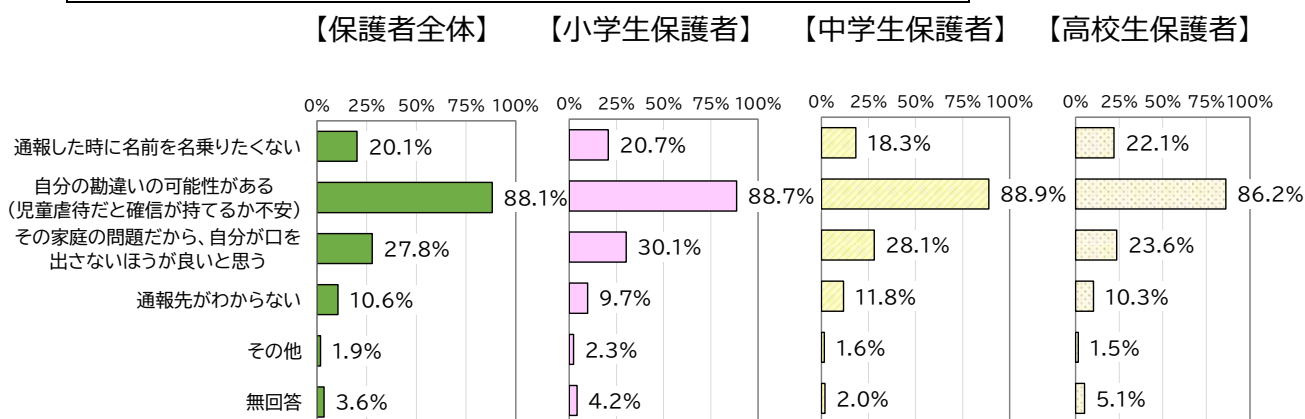
4 保護者調査（小学生・中学生・高校生）

問 33 で「気になるが、何も出来ない」または「とりあえず様子を見る」を選んだ方にお聞きします

問 33-1 その理由は以下のどれですか。（あてはまる番号すべてを選択してください）

全体の出来ない理由は、「自分の勘違いの可能性がある（児童虐待だと確信が持てるか不安）」が 88.1%と最も多く、次いで「その家庭の問題だから、自分が口を出さないほうが良いと思う」が 27.8%、「通報した時に名前を名乗りたくない」が 20.1%となっています。

児童虐待を知っても何もできない理由、様子を見る理由（学年別保護者）



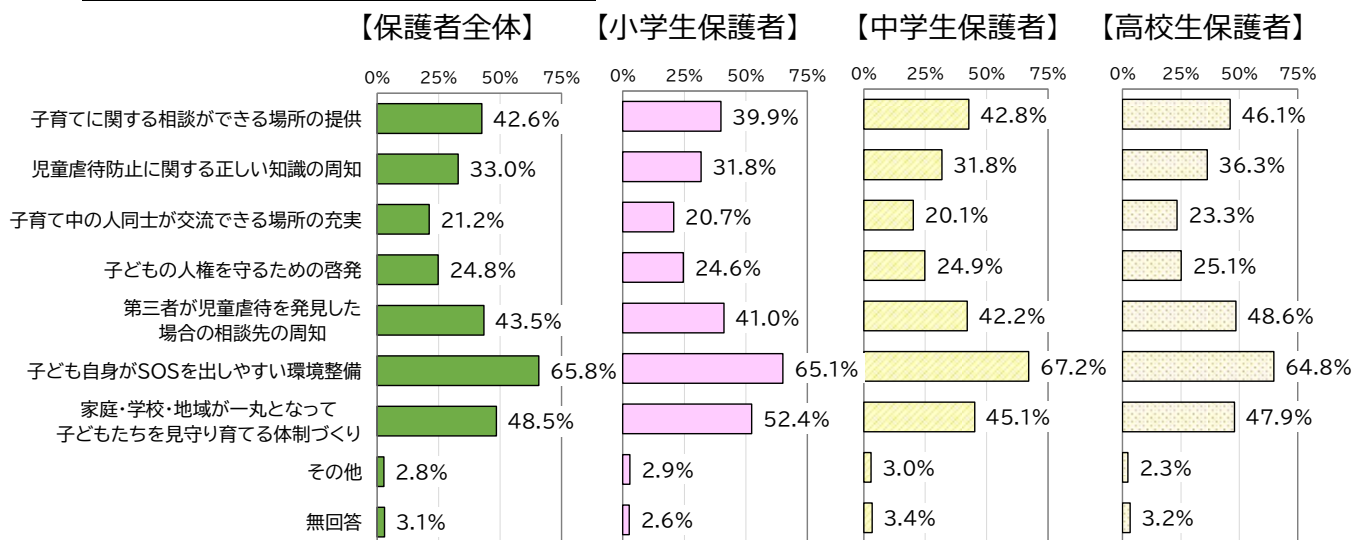
項目	保護者全体		小学生保護者		中学生保護者		高校生保護者	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率
通報した時に名前を名乗りたくない	163	20.1%	64	20.7%	56	18.3%	43	22.1%
自分の勘違いの可能性がある (児童虐待だと確信が持てるか不安)	714	88.1%	274	88.7%	272	88.9%	168	86.2%
その家庭の問題だから、自分が口を出さないほうが良いと思う	225	27.8%	93	30.1%	86	28.1%	46	23.6%
通報先がわからない	86	10.6%	30	9.7%	36	11.8%	20	10.3%
その他	15	1.9%	7	2.3%	5	1.6%	3	1.5%
無回答	29	3.6%	13	4.2%	6	2.0%	10	5.1%
回答者数	810		309		306		195	

4 保護者調査（小学生・中学生・高校生）

問 34 市が最も力を入れるべきことは何だと思いますか。あなたのお考えに近いものをお答えください。（あてはまる番号すべてを選択してください）

全体の市が最も力を入れるべきことについて思うことは、「子ども自身が SOS を出しやすい環境整備」が 65.8%と最も多く、次いで「家庭・学校・地域が一丸となって子どもたちを見守り育てる体制づくり」が 48.5%、「第三者が児童虐待を発見した場合の相談先の周知」が 43.5%となっています。

市が力を入れるべきこと（学年別保護者）



項目	保護者全体		小学生保護者		中学生保護者		高校生保護者	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率
子育てに関する相談ができる場所の提供	894	42.6%	305	39.9%	330	42.8%	259	46.1%
児童虐待防止に関する正しい知識の周知	692	33.0%	243	31.8%	245	31.8%	204	36.3%
子育て中の人同士が交流できる場所の充実	444	21.2%	158	20.7%	155	20.1%	131	23.3%
子どもの人権を守るための啓発	521	24.8%	188	24.6%	192	24.9%	141	25.1%
第三者が児童虐待を発見した場合の相談先の周知	912	43.5%	314	41.0%	325	42.2%	273	48.6%
子ども自身がSOSを出しやすい環境整備	1,380	65.8%	498	65.1%	518	67.2%	364	64.8%
家庭・学校・地域が一丸となって子どもたちを見守り育てる体制づくり	1,018	48.5%	401	52.4%	348	45.1%	269	47.9%
その他	58	2.8%	22	2.9%	23	3.0%	13	2.3%
無回答	64	3.1%	20	2.6%	26	3.4%	18	3.2%
回答者数	2,098		765		771		562	

自由記述 最後に、子どもの貧困・児童虐待防止対策、子育て支援に関してご意見がございましたらご自由にご記入ください。

記述をカテゴリに分け、件数をカウントしました。総件数は 282 件、その内金銭的、経済的支援、補助金についてが 95 件、虐待、いじめについてが 59 件となっています。

カテゴリ	件数
金銭的、経済的支援、補助金について	95
虐待、いじめについて	59
仕組みづくりについて	41
貧困について	34
子育て支援、環境づくりについて	34
アンケートについて	12
遊び場、居場所づくりについて	8
子ども食堂について	5
その他	22
回答者数	282

【自由記述おもな内容】

金銭的、経済的支援、補助金について

- 制服やジャージのリサイクルをもっとやって欲しいです。中学入学時の準備金がかかり高い。何から何まで揃えると、かなりかかる。もっと、安くして欲しい
- 高校の教育費免除、大学の教育費を一部支給等、御検討いただければ大変助かります
- 年収が上がったため、児童扶養手当がなくなった。それを当てにしていたので、収入が上がったとしても、物価も上がっているので生活が苦しい。助けて欲しい
- 学童保育の増設、増員、無償化にしてほしい
- 児童扶養手当なのですが、実家に住ませてもらった際、親の所得も関係するということに疑問を感じます

虐待、いじめについて

- ネグレクトかなと思う家庭がありますが、連絡していいのか悩んでいます
- 家庭での虐待が疑われるという学校や近隣からの報告を無視せず、迅速に対応して欲しい。かなり状況がまずいと思われる場合しか報告自体上がってこないと思うため
- 虐待防止のため、子供一人一人への聞き取り調査、近所の人への聞き取り調査を行ってください。親は都合の悪い事を隠すので、親から離れての調査をするべきです
- 虐待する前の見極めが必要、そして、どうして虐待をするのか、元から理由を探して再発防止の取組が必要
- 子供への虐待は家庭内不和と必ず繋がっていると思う。まずは保護者のケアを手厚くしなければならぬのではないかと

仕組みづくりについて

- ともかくそういう対象を早期に発見できる仕組みづくりが大切だと思います
- 学校の先生のサポート役を増やして、子供の学校での変化があれば対応してほしい
- 子供自身 SOS を送りやすい環境づくり
- 不登校になる原因として、不登校者の居場所を作るよりも、不登校の原因となる側の子供

と保護者へのカウンセリングと教室とは別の居場所の提供が必要。原因側が得をするような仕組みをなくしてほしい

- 福祉の仕事をしています。本当に、今の日本は、福祉に携わる職員が少ないのを実感しています。今は、核家族で地域に大人がいない状況も根底にあるのではないのかと思います。とにかく大人の目を増やして、子供を守れば
- 親だけでなく子供から直接話を聞く、SOS を受け取る機会を作る必要がある

貧困について

- 今の日本の企業では、諸外国と比べて給料が上がらない上に税金が高い。親の給料が上がらないことにはいくら給付金もらっても穴埋めにしかないし、子どもの貧困は増える一方だと思う
- 子供の貧困は、子どもから見て父親や母親の給料が安く、税金が高いのが原因だと思います
- 貧困層の人々は、そうだと気づけないため、判断が難しい
- 子供への虐待や貧困のニュースは本当に心が痛むので、優先的に力を入れて対策して欲しいです。本に気軽に触れ合えるように図書館をもっと作って欲しいです
- 子供の貧困に関して、そういった子供達をどう手助け出来るのか、ボランティア等がどんな形であるのか、簡単に情報が入ってくるというののかなと思います

子育て支援、環境づくりについて

- 市は子供対策に真摯に取り組んでいるとは思いますが、今の政権が予算を付けずともな対策を打つ気がないので、この先不安に感じます
- 母親が安心して子育てをできる環境を整えて欲しいです
- 自分は今のところ、まだそこまで思い悩まず子育て出来た方だと感じています。そう感じるのは、障害をもつ子の親から話を聞いて比べた時に感じます。本当に苦労されてます。どうか支援が行き届くことを願います
- 地域全体で子供を見守り育てていける環境を望みます。また給食費は無料を希望
- 子育て支援に関して、双子などの同学年の子どもに対しての優遇があるといいなと思う

アンケートについて

- なかなか難しいとはおもいますが、こういったアンケートなど、定期的にみんなが考える機会を与えて欲しいです
- このアンケート調査によって迅速に改善される事を願います
- 子ども自身からの sos が積極的に出来るよう、学校を通して子どもにアンケートや面談が学校以外のカウンセラーに簡単に出来ると良いなと思います
- 自由記述も含めこの調査結果を知りたい
- 設問が曖昧、回答に困るものがあると思う

遊び場、居場所づくりについて

- 近くの学童は、親が働いている子のみ。そうではなく、誰でもが来て遊べる学童施設が欲しい。そうすると子供達ももっと外でいろんな子達と遊べる機会が増えると思う
- 夏、室内で水遊びや、体を動かせる施設があると良い。公園の遊具が使用できない事が多いので、改善してほしい。公園に近隣市町村にあるような普通に遊べる大きめのアスレチック施設があると良いと思う。水上アスレチックや月山は管理が行き届いておらず、遊ばせづらい
- 下校後や休日に居場所がない子どものケアが必要だと思います
- 間々田地区には子どもたちが気軽に遊びに行ける児童館がない。栃木市にある児童館のように放課後や土日に開いていて、子どもたち同士で遊べる空間を是非ともつくってほしいと常々思っています

- 近くに全く公園などなく子どもを安心して遊ばせられる場所がありません。車の通りも激しく、子ども達が遊べる場所は学校しかありません。近くに公園があったらなと、ずっと思っています。

子ども食堂について

- 子ども食堂を全ての地域でできると良い
- こども食堂の周知をさせてほしい。最近まで小山市に一つあることを知らなかった。知ってから寄付をしているので、学校へのプリント配布などしたらよいのではないと思う
- 地域格差がある気がします。小山市中心部は盛んでも、外れた地区、間々田や乙女地区などでは利用出来なかったり、子ども食堂などがその一例です。色んな補助も、知らない人が多数だと思います。必要ないのが一番なのでしょうが
- 私の仕事は残業もあるので、帰りが 20 時ぐらいになってしまうので、毎日祖母がごはんを作って子供に届けてくれる。最近は周辺に子ども食堂ができ、友だちと一緒に毎回行って、そこで出来事を話してくれる。こういう場が増えてほしい

その他

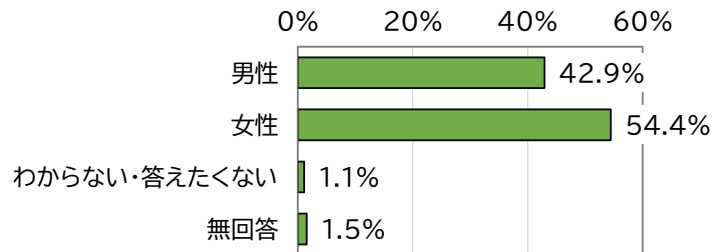
- 学校の文化祭以外でも定期的に体育着や買いすぎた文具、中古など譲って下さるイベントなど開催して欲しい
- どうせ、相談しても分からない。どう、相談すればいいのか分からない。相談したところで何かかわるのか？おおげさに捉えられても困る。相談しても状況がかわるのか？
- 発達障害のある子を持つ家庭への支援がもう少し充実するといいなと思う
- 役員業務が大変過ぎて子どもを産むことをためらうほどです。PTAの活動が、無くなることを願っています
- 障害児に対する、就学、就労、段階的な見通しが分からず悩ましい。見通しが立てられないのは辛い。一環した知識を持った相談員がいて、気軽に相談できる場所がほしい

5 若者調査

問1 あなたの性別を教えてください。(あてはまる番号 1 つを選んでください)

性別については、「男性」が 42.9%、「女性」が 54.4%となっています。

性別

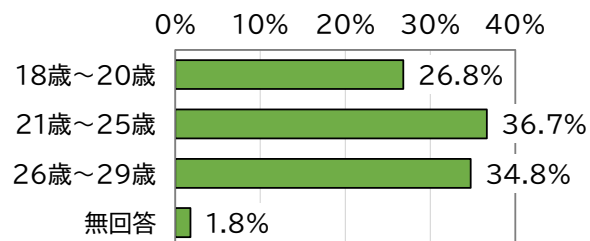


項目	度数	比率
男性	362	42.9%
女性	459	54.4%
わからない・答えたくない	9	1.1%
無回答	13	1.5%
合計	843	100.0%

問2 あなたの年齢を教えてください。(あてはまる番号 1 つを選んでください)

年齢については、「18 歳～20 歳」が 26.8%、「21 歳～25 歳」が 36.7%、「26 歳～29 歳」が 34.8%となっています。

年齢

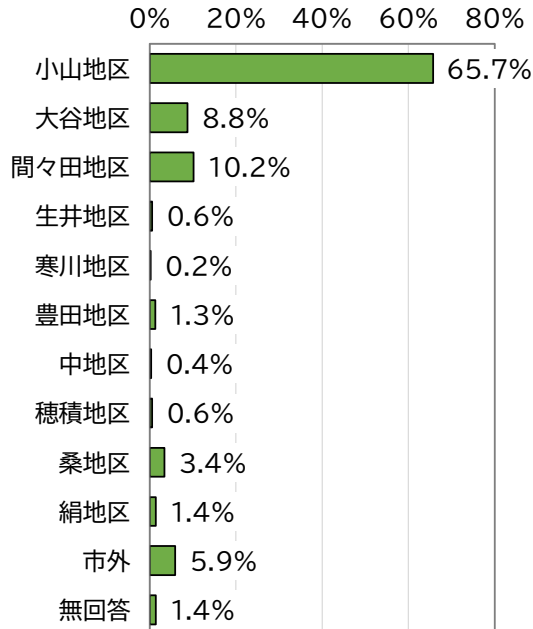


項目	度数	比率
18歳～20歳	226	26.8%
21歳～25歳	309	36.7%
26歳～29歳	293	34.8%
無回答	15	1.8%
合計	843	100.0%

問3 現在お住いの地区を教えてください。(あてはまる番号 1 つを選んでください)※ご不明な場合は、最寄りの出張所を目安に回答してください。

お住いの地区は、「小山地区」が 65.7%、「間々田地区」が 10.2%、「大谷地区」が 8.8%となっています。

居住地

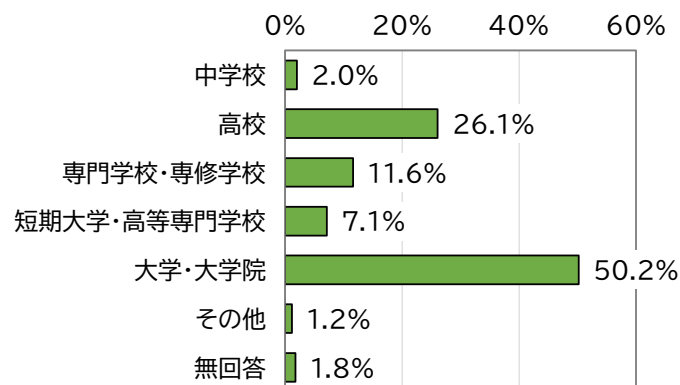


項目	度数	比率
小山地区	554	65.7%
大谷地区	74	8.8%
間々田地区	86	10.2%
生井地区	5	0.6%
寒川地区	2	0.2%
豊田地区	11	1.3%
中地区	3	0.4%
穂積地区	5	0.6%
桑地区	29	3.4%
絹地区	12	1.4%
市外	50	5.9%
無回答	12	1.4%
合計	843	100.0%

問4 あなたが最後に卒業(中退含む)した学校を教えてください。在学中の方は、現在在学している学校を教えてください。(あてはまる番号 1 つを選んでください)

最後に卒業(中退含む)した学校、現在在学している学校については、「大学・大学院」が 50.2%、「高校」が 26.1%となっています。

最終学歴



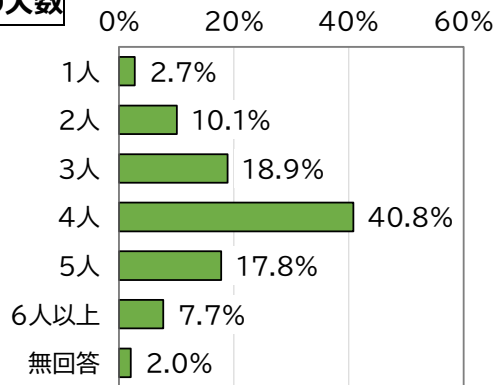
項目	度数	比率
中学校	17	2.0%
高校	220	26.1%
専門学校・専修学校	98	11.6%
短期大学・高等専門学校	60	7.1%
大学・大学院	423	50.2%
その他	10	1.2%
無回答	15	1.8%
合計	843	100.0%

①家族や家庭のことについておたずねします

問5 あなたの家族はあなたを入れて全員で何人ですか(仕事や学校などのために、一時的に家から離れて暮らしている人も人数に入れてください)。(数字を記入してください)

家族の人数については、「4人」が40.8%、「3人」が18.9%、「5人」が17.8%となっています。

家族の人数

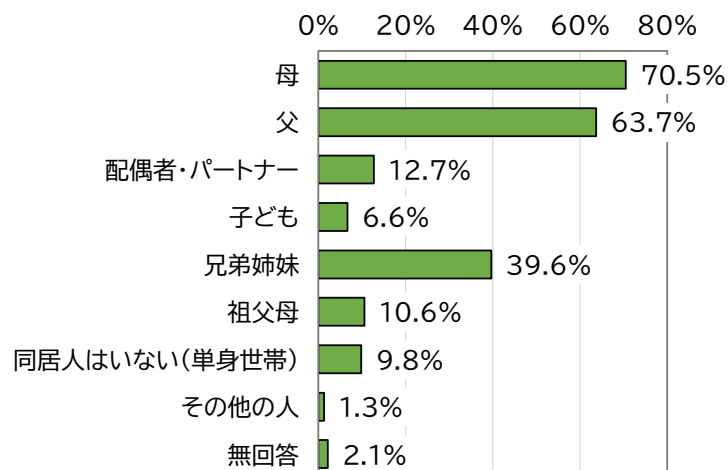


項目	度数	比率
1人	23	2.7%
2人	85	10.1%
3人	159	18.9%
4人	344	40.8%
5人	150	17.8%
6人以上	65	7.7%
無回答	17	2.0%
合計	843	100.0%

問6 一緒に住んでいる家族を教えてください。(あてはまる番号すべてを選択してください)

一緒に住んでいる家族については、「母」が70.5%、「父」が63.7%、「兄弟姉妹」が39.6%となっています。

同居の家族



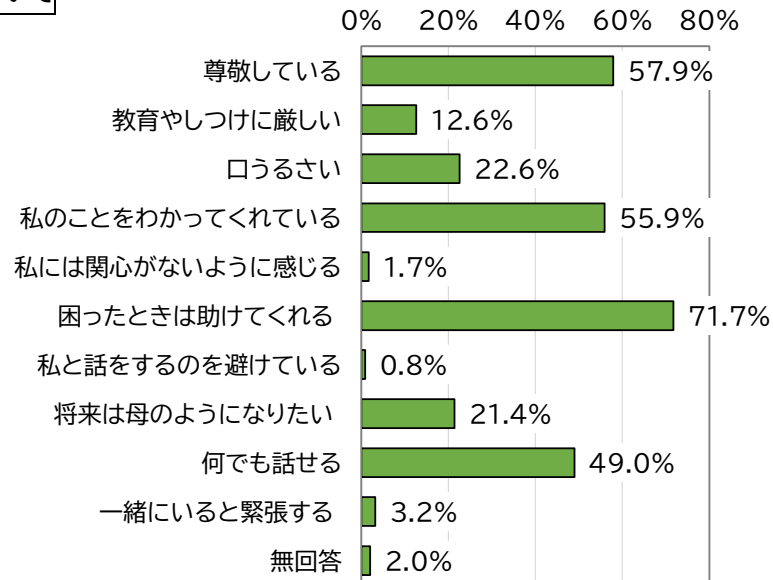
項目	度数	比率
母	594	70.5%
父	537	63.7%
配偶者・パートナー	107	12.7%
子ども	56	6.6%
兄弟姉妹	334	39.6%
祖父母	89	10.6%
同居人はいない(単身世帯)	83	9.8%
その他の人	11	1.3%
無回答	18	2.1%
回答者数	843	

問6 で「母」と同居している方にお聞きします。

問6－1 同居している「母」に対して感じていることを教えてください。(あてはまる番号すべてを選択してください)

同居している「母」に対して感じていることについては、「困ったときは助けてくれる」が 71.7%、「尊敬している」が 57.9%、「私のことをわかってくれている」が 55.9%となっています。

同居の母について

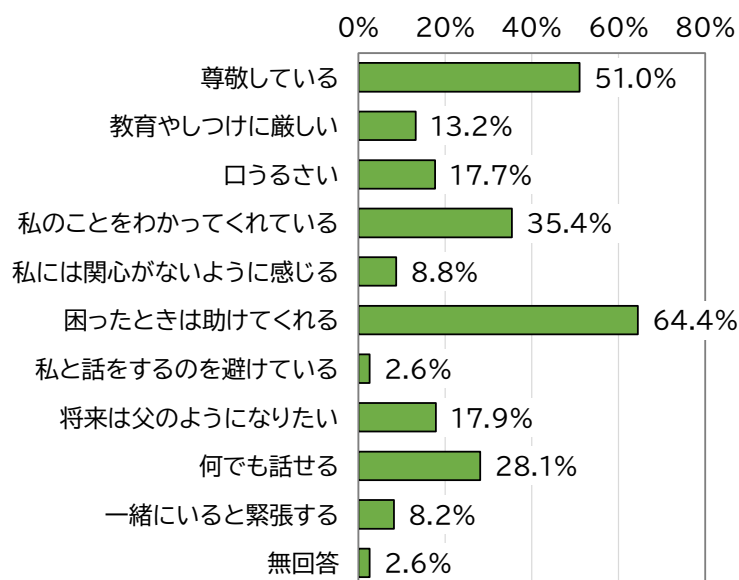


項目	度数	比率
尊敬している	344	57.9%
教育やしつけに厳しい	75	12.6%
口うるさい	134	22.6%
私のことをわかってくれている	332	55.9%
私には関心がないように感じる	10	1.7%
困ったときは助けてくれる	426	71.7%
私と話をするのを避けている	5	0.8%
将来は母のようになりたい	127	21.4%
何でも話せる	291	49.0%
一緒にいると緊張する	19	3.2%
無回答	12	2.0%
回答者数	594	

問6 で「父」と同居している方にお聞きします。

問6－2 同居している「父」に対して感じていることを教えてください。(あてはまる番号すべてを選択してください)

同居している「父」に対して感じていることについては、「困ったときは助けてくれる」が 64.4%、「尊敬している」が 51.0%、「私のことをわかってきている」が 35.4%となっています。

同居の父について

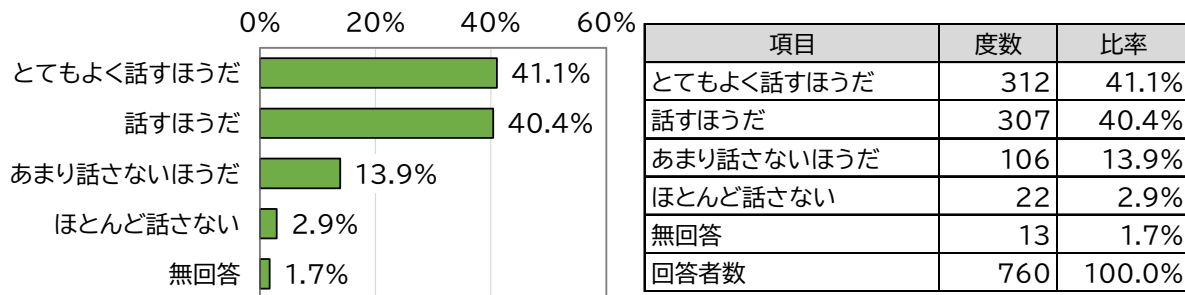
項目	度数	比率
尊敬している	274	51.0%
教育やしつけに厳しい	71	13.2%
口うるさい	95	17.7%
私のことをわかってきている	190	35.4%
私には関心がないように感じる	47	8.8%
困ったときは助けてくれる	346	64.4%
私と話をするのを避けている	14	2.6%
将来は父のようになりたい	96	17.9%
何でも話せる	151	28.1%
一緒にいると緊張する	44	8.2%
無回答	14	2.6%
回答者数	537	

問7 あなたは家でよく話をするほうですか。それとも話さないほうですか。(あてはまる番号1つを選んでください)

家でよく話をするかでは、「とてもよく話すほうだ」「話すほうだ」を合わせた『話すほうだ』が 81.5%となっています。

一方、「あまり話さないほうだ」「ほとんど話さない」を合わせた『話さない』は、16.8%となっています。

家での会話の頻度

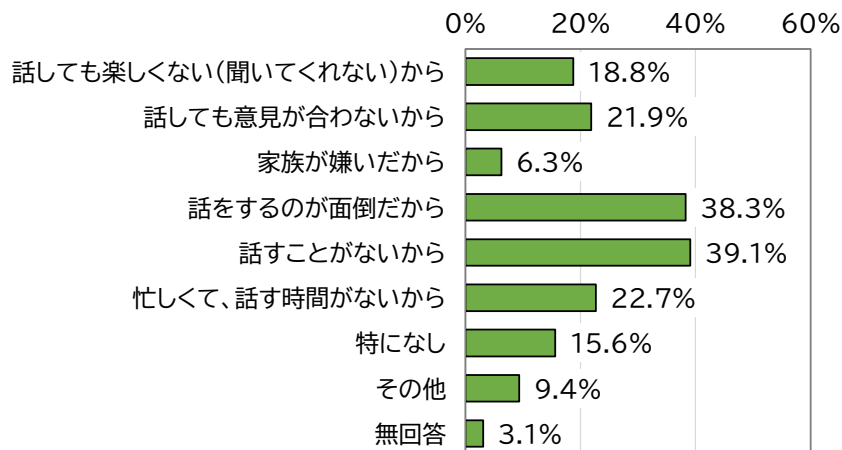


問7で「あまり話さないほうだ」「ほとんど話さない」と回答した方にお聞きます

問7-1 あなたが家で話さない主な理由は何ですか。(あてはまる番号すべてを選択してください)

家で話さない主な理由については、「話すことがないから」が 39.1%、「話をするのが面倒だから」が 38.3%、「忙しくて、話す時間がないから」が 22.7%となっています。

家で話さない理由



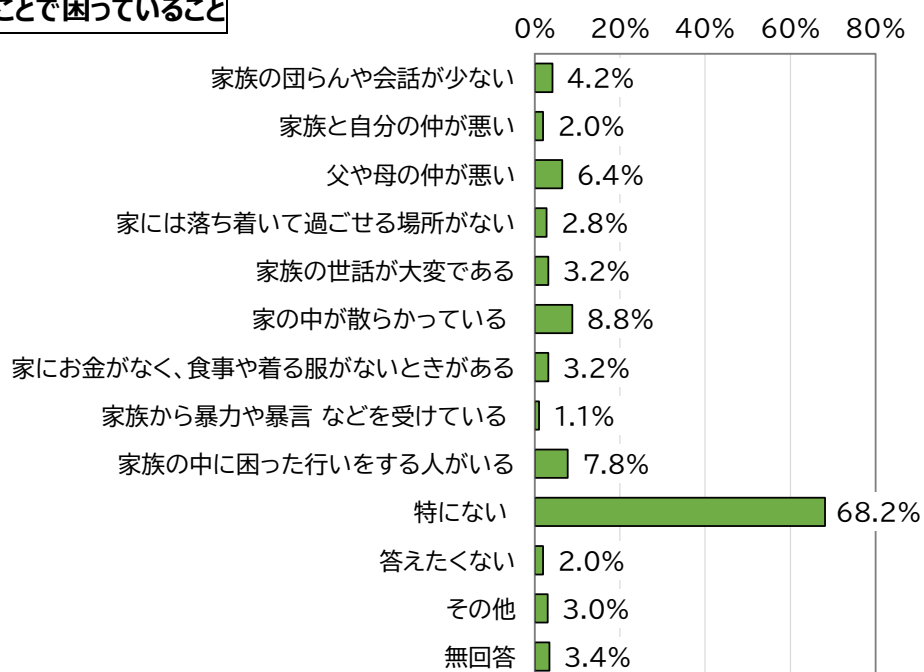
項目	度数	比率
話しても楽しくない(聞いてくれない)から	24	18.8%
話しても意見が合わないから	28	21.9%
家族が嫌いだから	8	6.3%
話をするのが面倒だから	49	38.3%
話すことがないから	50	39.1%
忙しくて、話す時間がないから	29	22.7%
特になし	20	15.6%
その他	12	9.4%
無回答	4	3.1%
回答者数	128	

問8 あなたは家族のことなどで、何か困っていることや、いやなことはありますか。(あてはまる番号すべてを選択してください)

家族のことなどで、何か困っていることや、いやなことについては、「家の中が散らかっている」が8.8%、「家族の中に困った行いをする人がいる」が7.8%となっています。

一方、「特にない」は、68.2%となっています。

家族のことで困っていること



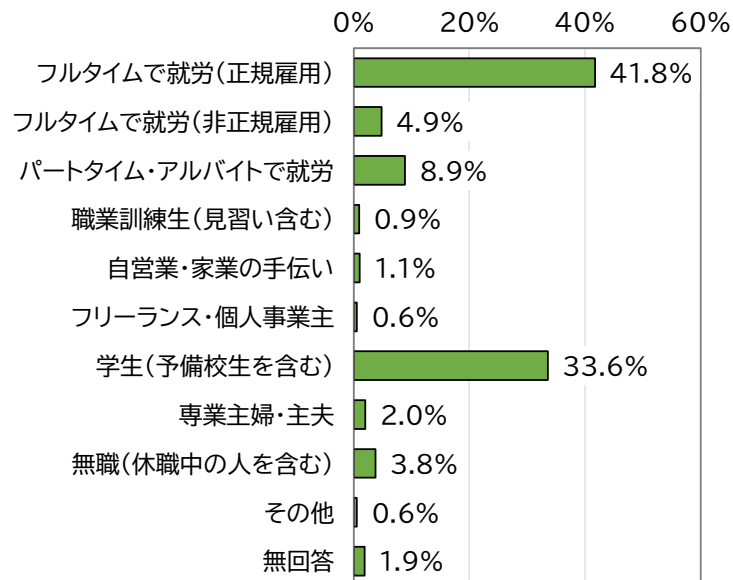
項目	度数	比率
家族の団らんや会話が少ない	32	4.2%
家族と自分の仲が悪い	15	2.0%
父や母の仲が悪い	49	6.4%
家には落ち着いて過ごせる場所がない	21	2.8%
家族の世話が大変である	24	3.2%
家の中が散らかっている	67	8.8%
家にお金がなく、食事や着る服がないときがある	24	3.2%
家族から暴力や暴言 などを受けている	8	1.1%
家族の中に困った行いをする人がいる	59	7.8%
特にない	518	68.2%
答えたくない	15	2.0%
その他	23	3.0%
無回答	26	3.4%
回答者数	760	

②就労や就学状況についておたずねします

問9 あなたの現在の就労・就学状況について教えてください。(あてはまる番号 1 つを選んでください)

現在の就労・就学状況については、「フルタイムで就労（正規雇用）」が 41.8%、「学生（予備校生を含む）」が 33.6%となっています。

現在の就労・就学状況



項目	度数	比率
フルタイムで就労(正規雇用)	352	41.8%
フルタイムで就労(非正規雇用)	41	4.9%
パートタイム・アルバイトで就労	75	8.9%
職業訓練生(見習い含む)	8	0.9%
自営業・家業の手伝い	9	1.1%
フリーランス・個人事業主	5	0.6%
学生(予備校生を含む)	283	33.6%
専業主婦・主夫	17	2.0%
無職(休職中の人を含む)	32	3.8%
その他	5	0.6%
無回答	16	1.9%
合計	843	100.0%

問9で「フルタイムで就労(正規雇用)」～「フリーランス・個人事業主」の仕事をしていると回答した方にお聞きします

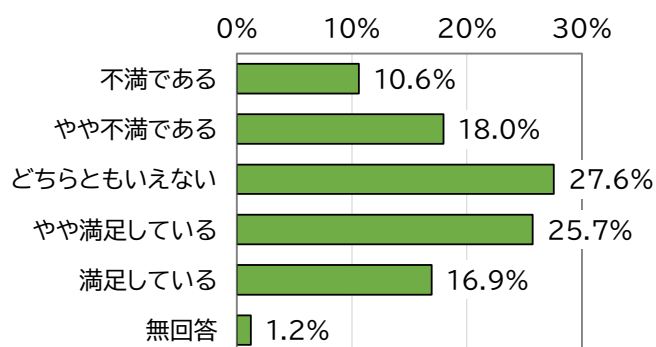
問9-1 あなたは、現在の仕事に満足していますか。(あてはまる番号 1 つを選んでください)

現在の仕事への満足度は、「不満である」「やや不満である」を合わせた『不満である』が 28.6% となっています。

一方、「やや満足している」「満足している」を合わせた『満足している』は、42.6%となっています。

また、「どちらともいえない」は、27.6%となっています。

現在の仕事の満足度



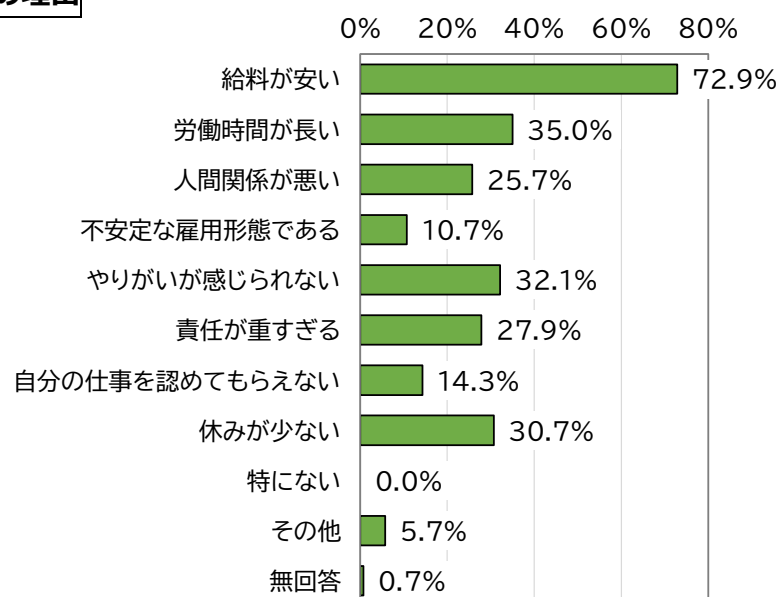
項目	度数	比率
不満である	52	10.6%
やや不満である	88	18.0%
どちらともいえない	135	27.6%
やや満足している	126	25.7%
満足している	83	16.9%
無回答	6	1.2%
回答者数	490	100.0%

問9-1で「不満である」「やや不満である」と回答した方にお聞きします

問9-2 不満に感じる理由を教えてください。(あてはまる番号すべてを選択してください)

不満に感じる理由については、「給料が安い」が 72.9%と最も多く、次いで「労働時間が長い」が 35.0%、「やりがいを感じられない」が 32.1%となっています。

仕事の不満の理由



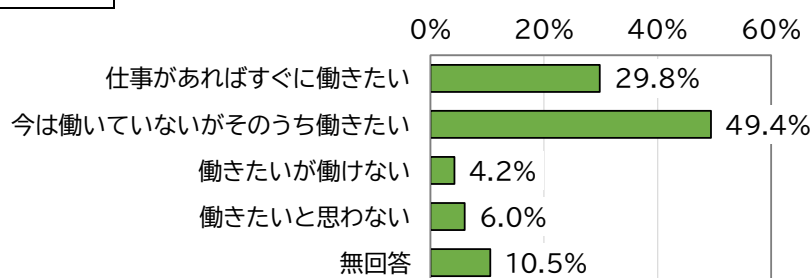
項目	度数	比率
給料が安い	102	72.9%
労働時間が長い	49	35.0%
人間関係が悪い	36	25.7%
不安定な雇用形態である	15	10.7%
やりがいを感じられない	45	32.1%
責任が重すぎる	39	27.9%
自分の仕事を認めてもらえない	20	14.3%
休みが少ない	43	30.7%
特になし	0	0.0%
その他	8	5.7%
無回答	1	0.7%
回答者数	140	

問9で「学生」～「無職」の仕事をしていないと回答した方にお聞きします

問9-3 あなたは、今後働くことについてどう考えていますか。(あてはまる番号 1 つを選んでください)

今後働くことについて考えていることは、「今は働いていないがそのうち働きたい」が49.4%と最も多く、次いで「仕事があればすぐに働きたい」が29.8%となっています。

今後働くことについて



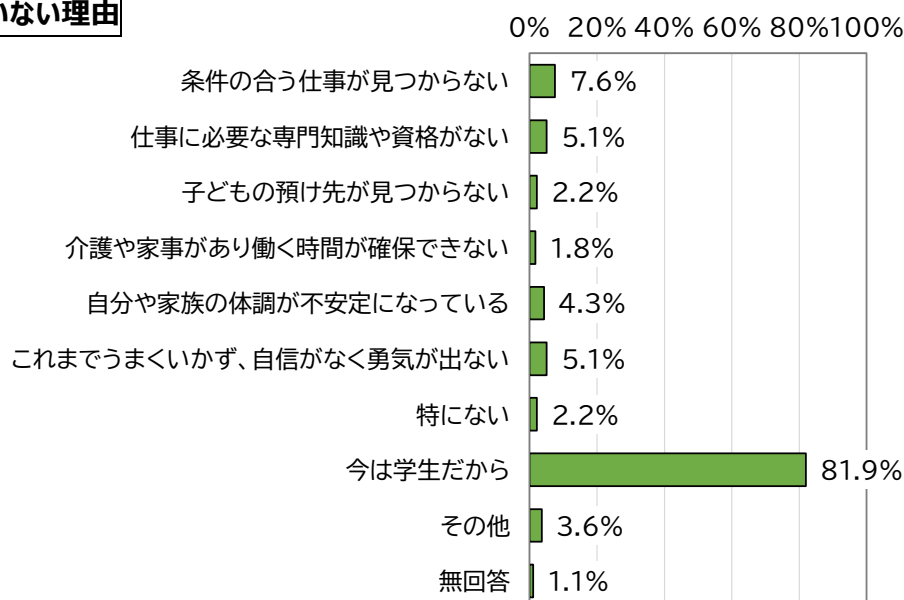
項目	度数	比率
仕事があればすぐに働きたい	99	29.8%
今は働いていないがそのうち働きたい	164	49.4%
働きたいが働けない	14	4.2%
働きたいと思わない	20	6.0%
無回答	35	10.5%
回答者数	332	100.0%

問9-3で「仕事があればすぐに働きたい」～「働きたいが働けない」と回答した方にお聞きします

問9-4 「働きたい」と思う一方、現在働けていない理由を教えてください。(あてはまる番号すべてを選択してください)

「働きたい」と思う一方、現在働けていない理由については、「今は学生だから」が 81.9%と最も多くなっています。

働いていない理由



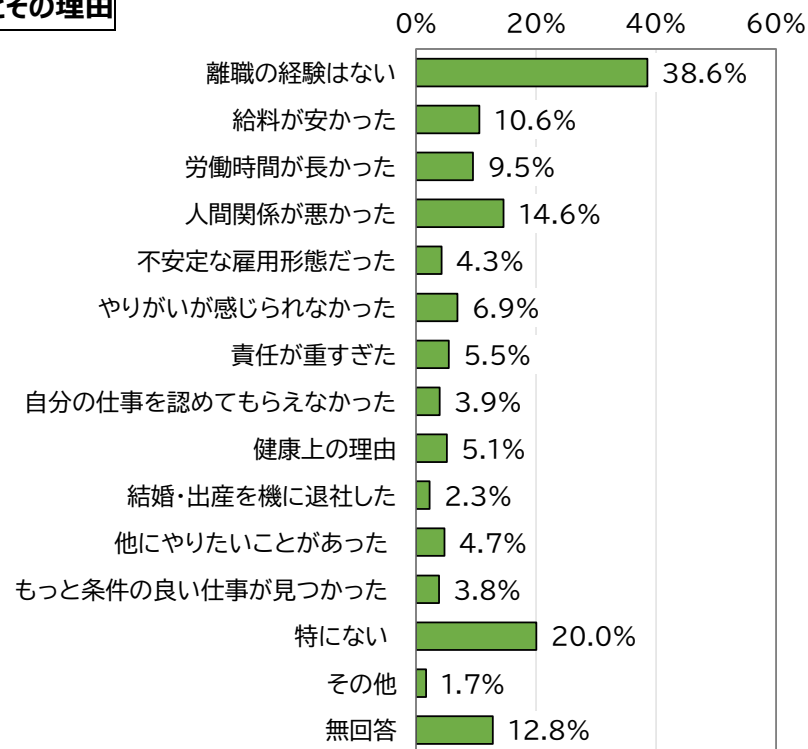
項目	度数	比率
条件の合う仕事が見つからない	21	7.6%
仕事に必要な専門知識や資格がない	14	5.1%
子どもの預け先が見つからない	6	2.2%
介護や家事があり働く時間が確保できない	5	1.8%
自分や家族の体調が不安定になっている	12	4.3%
これまでうまくいかず、自信がなく勇気が出ない	14	5.1%
特にない	6	2.2%
今は学生だから	227	81.9%
その他	10	3.6%
無回答	3	1.1%
回答者数	277	

問 10 今までに離職した経験はありますか。ある場合は、その理由を教えてください。(あてはまる番号すべてを選択してください)

今までに離職した経験、離職の理由については、「人間関係が悪かった」が 14.6%、「給料が安かった」が 10.6%となっています。

一方、「離職の経験はない」が 38.6%となっています。

離職経験とその理由



項目	度数	比率
離職の経験はない	325	38.6%
給料が安かった	89	10.6%
労働時間が長かった	80	9.5%
人間関係が悪かった	123	14.6%
不安定な雇用形態だった	36	4.3%
やりがいを感じられなかった	58	6.9%
責任が重すぎた	46	5.5%
自分の仕事を認めてもらえなかった	33	3.9%
健康上の理由	43	5.1%
結婚・出産を機に退社した	19	2.3%
他にやりたいことがあった	40	4.7%
もっと条件の良い仕事が見つかった	32	3.8%
特にない	169	20.0%
その他	14	1.7%
無回答	108	12.8%
回答者数	843	

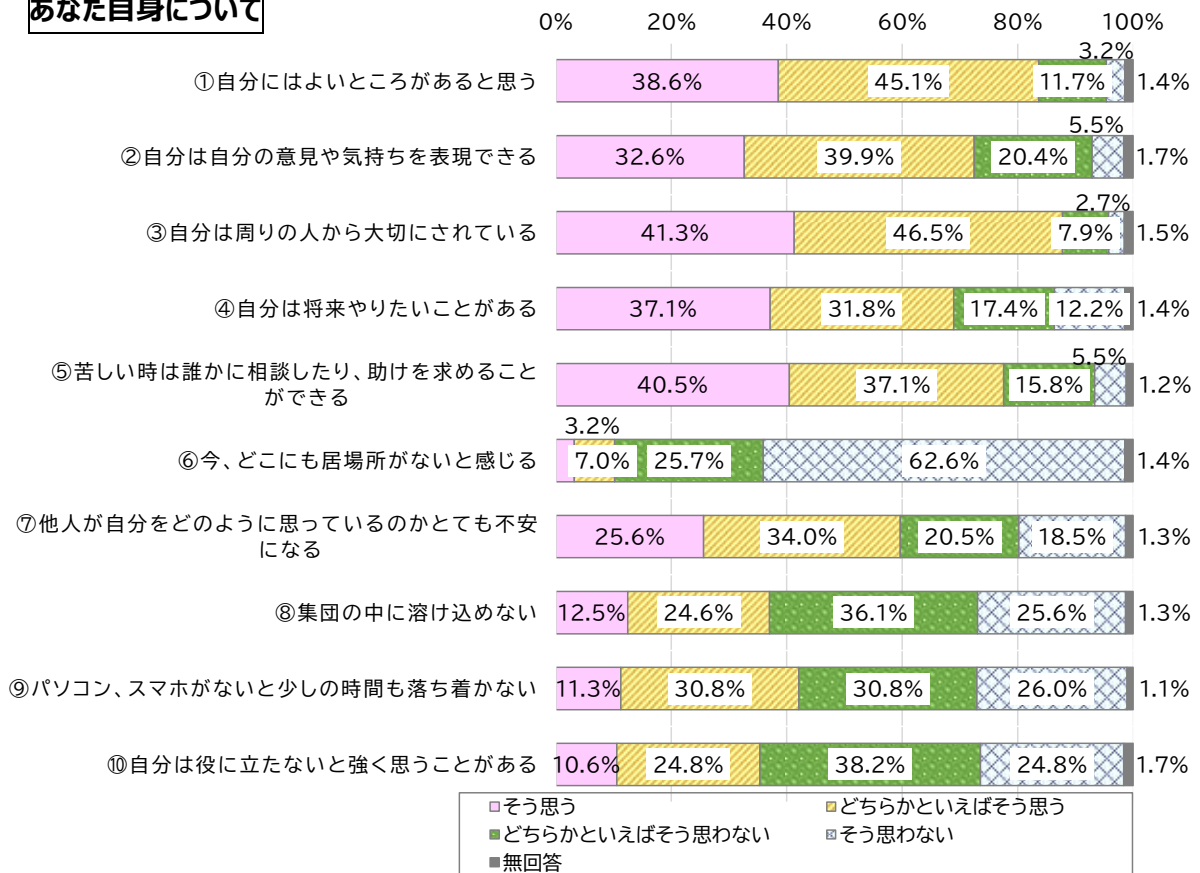
③日常的に感じることについておたずねします

問 11 次にあげられた①～⑩ことについて、あなた自身はどう思いますか。(それぞれ、あてはまる番号 1 つを選んでください)

自身のことについての「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』では、「③自分は周りの人から大切にされている」が 87.8%と最も多く、次いで「①自分にはよいところがあると思う」が 83.7%、「⑤苦しい時は誰かに相談したり、助けを求めることができる」が 77.6%となっています。

一方、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた『そう思わない』では、「⑥今、どこにも居場所がないと感じる」が 88.3%と最も多く、次いで「⑩自分は役に立たないと強く思うことがある」が 63.0%、「⑧集団の中に溶け込めない」が 61.7%となっています。

あなた自身について

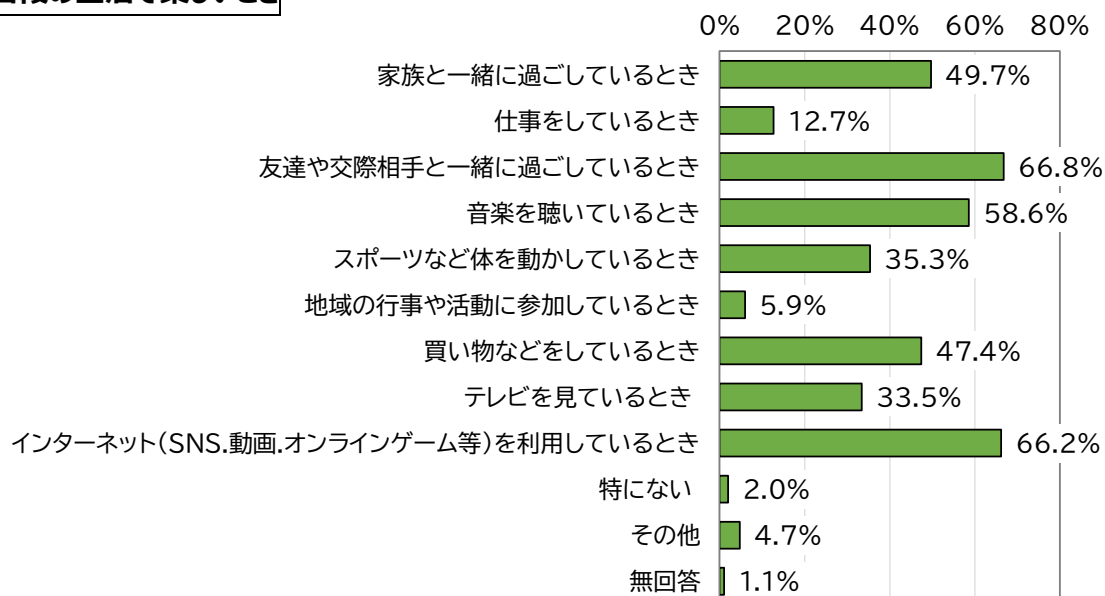


項目(度数)	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない	無回答	合計
①自分にはよいところがあると思う	325	380	99	27	12	843
②自分は自分の意見や気持ちを表現できる	275	336	172	46	14	843
③自分は周りの人から大切にされている	348	392	67	23	13	843
④自分は将来やりたいことがある	313	268	147	103	12	843
⑤苦しい時は誰かに相談したり、助けを求めることができる	341	313	133	46	10	843
⑥今、どこにも居場所がないと感じる	27	59	217	528	12	843
⑦他人が自分をどのように思っているのかとても不安になる	216	287	173	156	11	843
⑧集団の中に溶け込めない	105	207	304	216	11	843
⑨パソコン、スマホがないと少しの時間も落ち着かない	95	260	260	219	9	843
⑩自分は役に立たないと強く思うことがある	89	209	322	209	14	843
項目(比率)	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない	無回答	合計
①自分にはよいところがあると思う	38.6%	45.1%	11.7%	3.2%	1.4%	100.0%
②自分は自分の意見や気持ちを表現できる	32.6%	39.9%	20.4%	5.5%	1.7%	100.0%
③自分は周りの人から大切にされている	41.3%	46.5%	7.9%	2.7%	1.5%	100.0%
④自分は将来やりたいことがある	37.1%	31.8%	17.4%	12.2%	1.4%	100.0%
⑤苦しい時は誰かに相談したり、助けを求めることができる	40.5%	37.1%	15.8%	5.5%	1.2%	100.0%
⑥今、どこにも居場所がないと感じる	3.2%	7.0%	25.7%	62.6%	1.4%	100.0%
⑦他人が自分をどのように思っているのかとても不安になる	25.6%	34.0%	20.5%	18.5%	1.3%	100.0%
⑧集団の中に溶け込めない	12.5%	24.6%	36.1%	25.6%	1.3%	100.0%
⑨パソコン、スマホがないと少しの時間も落ち着かない	11.3%	30.8%	30.8%	26.0%	1.1%	100.0%
⑩自分は役に立たないと強く思うことがある	10.6%	24.8%	38.2%	24.8%	1.7%	100.0%

問 12 あなたは、普段の生活の中で一番楽しさを感じるのはどんなときですか。(あてはまる番号すべてを選択してください)

普段の生活の中で一番楽しさを感じるタイミングについては、「友達や交際相手と一緒に過ごしているとき」が 66.8%と最も多く、次いで「インターネット（SNS.動画.オンラインゲーム等）を利用しているとき」が 66.2%、「音楽を聴いているとき」が 58.6%となっています。

普段の生活で楽しいこと



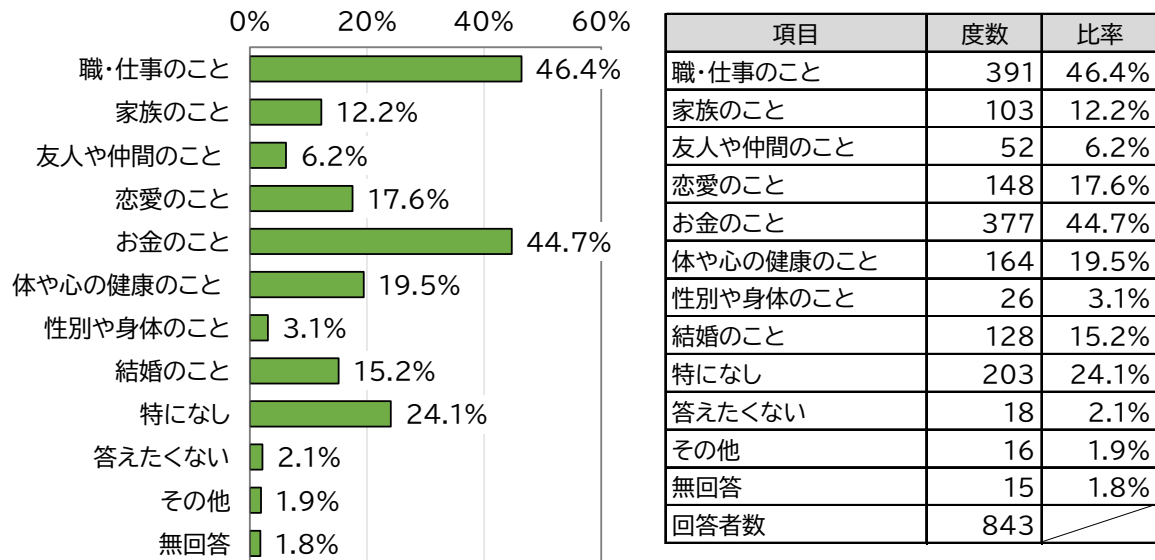
項目	度数	比率
家族と一緒に過ごしているとき	419	49.7%
仕事をしているとき	107	12.7%
友達や交際相手と一緒に過ごしているとき	563	66.8%
音楽を聴いているとき	494	58.6%
スポーツなど体を動かしているとき	298	35.3%
地域の行事や活動に参加しているとき	50	5.9%
買い物などをしているとき	400	47.4%
テレビを見ているとき	282	33.5%
インターネット(SNS.動画.オンラインゲーム等)を利用しているとき	558	66.2%
特にない	17	2.0%
その他	40	4.7%
無回答	9	1.1%
回答者数	843	

問 13 あなたは、現在困っていることや悩んでいることがありますか。(あてはまる番号すべてを選択してください)

現在困っていることや悩んでいることについては、「職・仕事のこと」が 46.4%と最も多く、次いで「お金のこと」が 44.7%、「体や心の健康のこと」が 19.5%となっています。

一方、「特になし」が 24.1%となっています。

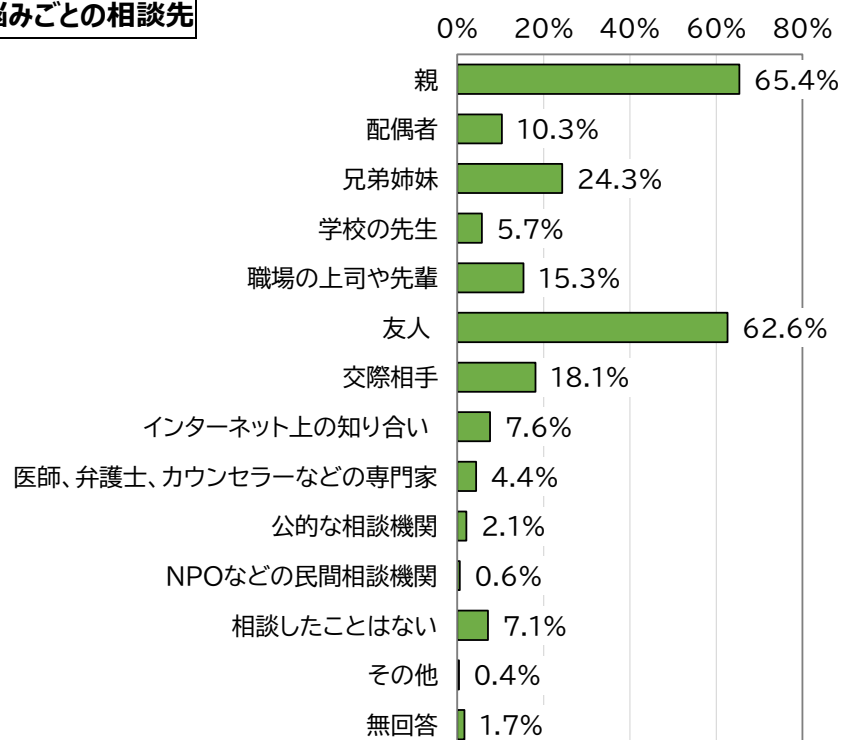
現在の困りごと悩みごと



問 14 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人(場所)を教えてください。(あてはまる番号すべてを選択してください)

困っていることや悩みごとがあるとき、相談できる先については、「親」が 65.4%と最も多く、次いで「友人」が 62.6%、「兄弟姉妹」が 24.3%となっています。

困りごと悩みごとの相談先



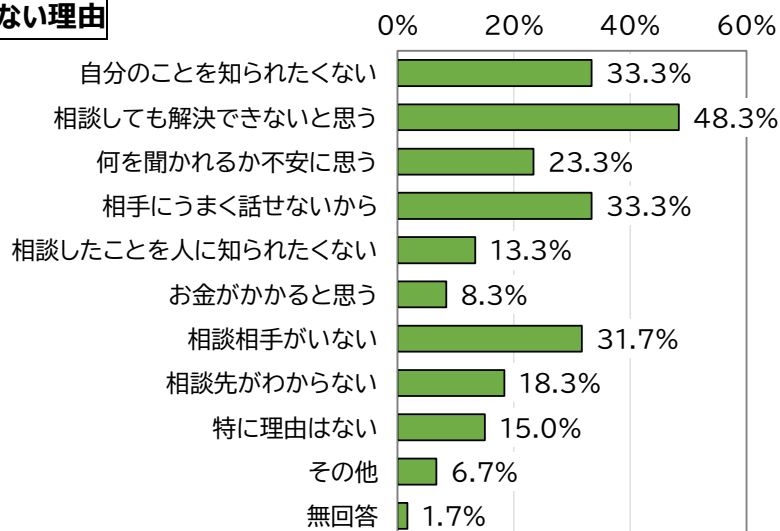
項目	度数	比率
親	551	65.4%
配偶者	87	10.3%
兄弟姉妹	205	24.3%
学校の先生	48	5.7%
職場の上司や先輩	129	15.3%
友人	528	62.6%
交際相手	153	18.1%
インターネット上の知り合い	64	7.6%
医師、弁護士、カウンセラーなどの専門家	37	4.4%
公的な相談機関	18	2.1%
NPOなどの民間相談機関	5	0.6%
相談したことはない	60	7.1%
その他	3	0.4%
無回答	14	1.7%
回答者数	843	

問 14 で「相談したことはない」と回答した方にお聞きします

問 14-1 相談したことがない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてを選択してください)

相談したことがない理由については、「相談しても解決できないと思う」が 48.3%と最も多く、次いで「自分のことを知られたくない」「相手にうまく話せないから」がともに 33.3%となっています。

相談したことがない理由



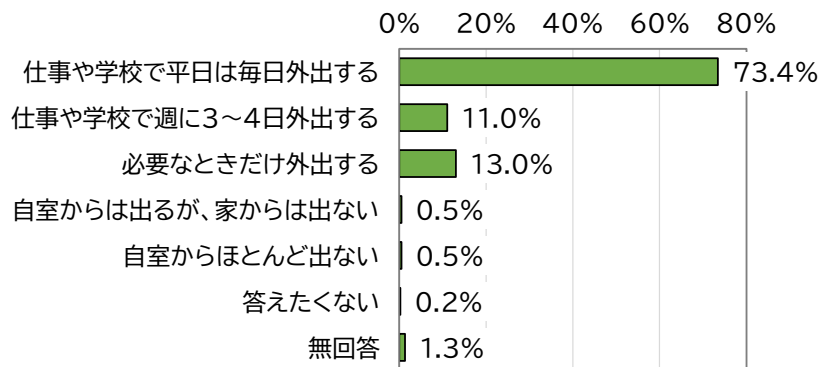
項目	度数	比率
自分のことを知られたくない	20	33.3%
相談しても解決できないと思う	29	48.3%
何を聞かれるか不安に思う	14	23.3%
相手にうまく話せないから	20	33.3%
相談したことを人に知られたくない	8	13.3%
お金がかかると思う	5	8.3%
相談相手がいない	19	31.7%
相談先がわからない	11	18.3%
特に理由はない	9	15.0%
その他	4	6.7%
無回答	1	1.7%
回答者数	60	

④日常生活についておたずねします

問 15 あなたは、1週間のうち、どのくらい外出しますか。(あてはまる番号 1 つを選んでください)

1 週間の外出頻度については、「仕事や学校で平日は毎日外出する」が 73.4%と最も多く、次いで「必要なときだけ外出する」が 13.0%、「仕事や学校で週に 3～4 日外出する」が 11.0%となっています。

外出の頻度



項目	度数	比率
仕事や学校で平日は毎日外出する	619	73.4%
仕事や学校で週に3～4日外出する	93	11.0%
必要なときだけ外出する	110	13.0%
自室からは出るが、家からは出ない	4	0.5%
自室からほとんど出ない	4	0.5%
答えたくない	2	0.2%
無回答	11	1.3%
合計	843	100.0%

問 15 で「自室からは出るが、家からは出ない」～「自室からほとんど出ない」と回答した方にお聞きします

問 15-1 あなたがその状況になってどれくらい経ちますか。(あてはまる番号 1 つを選んでください)

外出しなくなっからの期間については、「5 年以上」が 50.0%、「1 年以上～2 年未満」が 25.0%、「6 か月未満」が 12.5%となっています。

外出しなくなっからの経過期間

項目	度数	比率
6か月未満	1	12.5%
6か月以上～1年未満	0	0.0%
1年以上～2年未満	2	25.0%
2年以上～3年未満	0	0.0%
3年以上～5年未満	0	0.0%
5年以上	4	50.0%
答えたくない	0	0.0%
無回答	1	12.5%
回答者数	8	100.0%

問 15-2 あなたがそのような状況になるきっかけはなんでしたか。(あてはまる番号すべてを選択してください)

外出しなくなったきっかけについては、「就職活動がうまくいかなかったこと」が 25.0%、「不登校になったこと」が 12.5%となっています。

外出しなくなったきっかけ

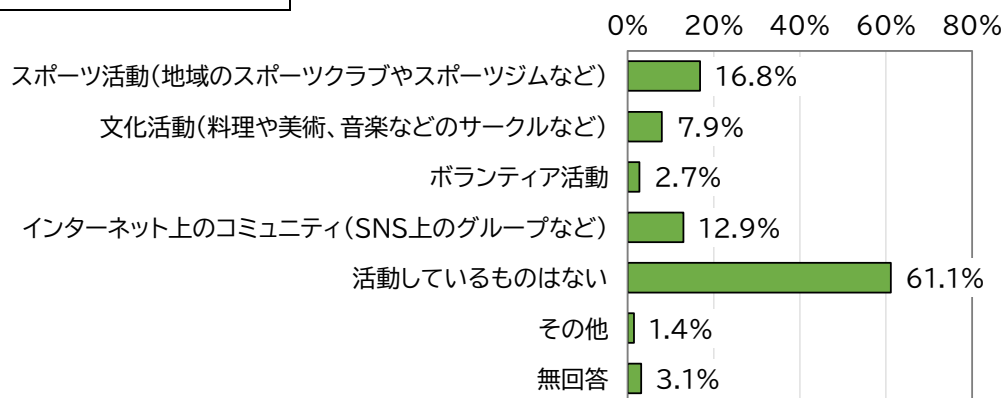
項目	度数	比率
不登校になったこと	1	12.5%
受験がうまくいかなかったこと	0	0.0%
就職活動がうまくいかなかったこと	2	25.0%
人間関係がうまくいかなかったこと	0	0.0%
病気になったこと	0	0.0%
新型コロナウイルス感染症が流行したこと	0	0.0%
特になし	3	37.5%
答えたくない	0	0.0%
その他	1	12.5%
無回答	1	12.5%
回答者数	8	

問 16 あなたが、学校や職場以外で活動しているものはありますか。(あてはまる番号すべてを選択してください)

学校や職場以外で活動しているものは、「スポーツ活動（地域のスポーツクラブやスポーツジムなど）」が 16.8%と多く、次いで「インターネット上のコミュニティ（SNS上のグループなど）」が 12.9%となっています。

一方、「活動しているものはない」が 61.1%となっています。

学校や職場以外での活動



項目	度数	比率
スポーツ活動(地域のスポーツクラブやスポーツジムなど)	142	16.8%
文化活動(料理や美術、音楽などのサークルなど)	67	7.9%
ボランティア活動	23	2.7%
インターネット上のコミュニティ(SNS上のグループなど)	109	12.9%
活動しているものはない	515	61.1%
その他	12	1.4%
無回答	26	3.1%
回答者数	843	

⑤今後や将来のことについておたずねします

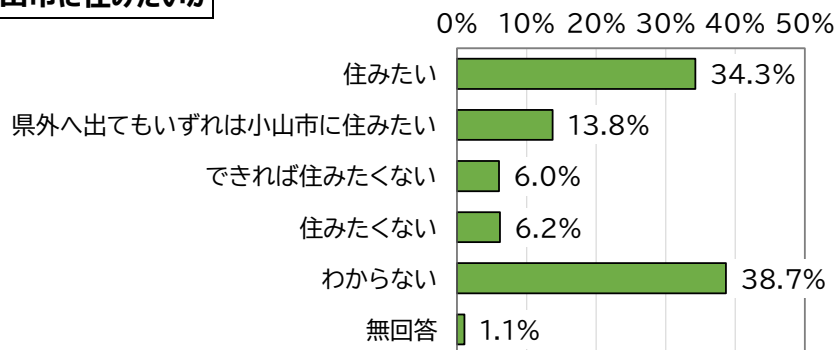
問 17 あなたは、将来も小山市に住みたいと思いますか。(あてはまる番号 1 つを選んでください)

将来も小山市に住みたいと思うかでは、「住みたい」「県外へ出てもしずれは小山市に住みたい」を合わせた『住みたい』が 48.1%となっています。

一方、「できれば住みたくない」「住みたくない」を合わせた『住みたくない』は、12.2%となっています。

また、「わからない」は、38.7%となっています。

将来小山市に住みたいか



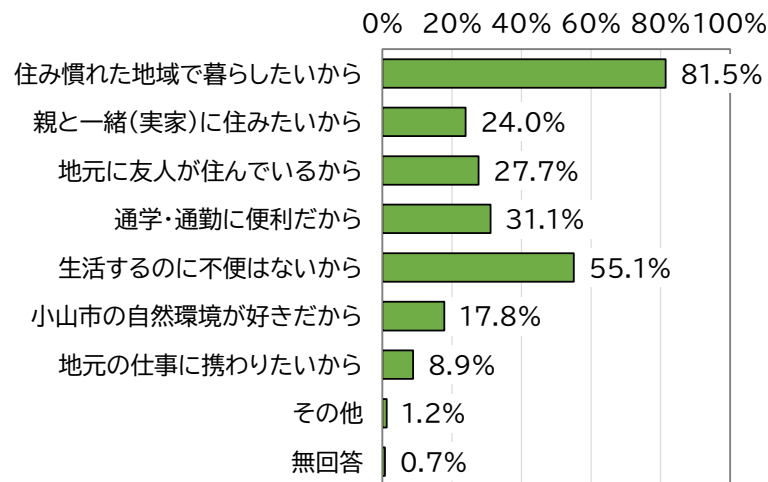
項目	度数	比率
住みたい	289	34.3%
県外へ出てもしずれは小山市に住みたい	116	13.8%
できれば住みたくない	51	6.0%
住みたくない	52	6.2%
わからない	326	38.7%
無回答	9	1.1%
合計	843	100.0%

問 17で「住みたい」「県外へ出てもしずれは小山市に住みたい」「小山市内に住みたい」と回答した方にお聞きします

問 17-1 小山市に住みたい理由は何ですか。(あてはまる番号すべてを選択してください)

小山市に住みたい理由については、「住み慣れた地域で暮らしたいから」が81.5%と最も多く、次いで「生活するのに不便はないから」が55.1%、「通学・通勤に便利だから」が31.1%となっています。

将来小山市に住みたい理由



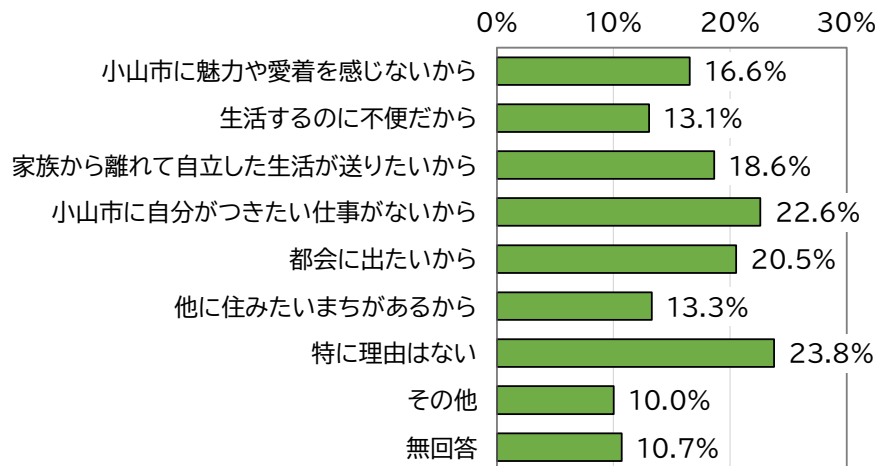
項目	度数	比率
住み慣れた地域で暮らしたいから	330	81.5%
親と一緒に(実家)に住みたいから	97	24.0%
地元で友人が住んでいるから	112	27.7%
通学・通勤に便利だから	126	31.1%
生活するのに不便はないから	223	55.1%
小山市の自然環境が好きだから	72	17.8%
地元の仕事に携わりたいから	36	8.9%
その他	5	1.2%
無回答	3	0.7%
回答者数	405	

問 17 で「できれば住みたくない」～「わからない」と回答した方にお聞きします

問 17-2 小山市に住みたくない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてを選択してください)

小山市に住みたくない理由については、「小山市に自分がつきたい仕事がないから」が 22.6%と多く、次いで「都会に出たいから」が 20.5%、「家族から離れて自立した生活を送りたいから」が 18.6%となっています。

一方、「特に理由はない」が 23.8%となっています。

将来小山市に住みたくない理由

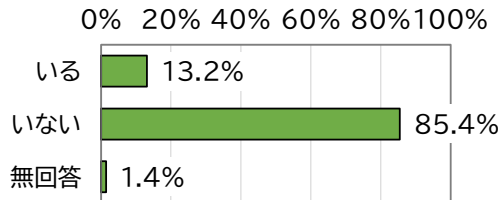
項目	度数	比率
小山市に魅力や愛着を感じないから	71	16.6%
生活するのに不便だから	56	13.1%
家族から離れて自立した生活を送りたいから	80	18.6%
小山市に自分がつきたい仕事がないから	97	22.6%
都会に出たいから	88	20.5%
他に住みたいまちがあるから	57	13.3%
特に理由はない	102	23.8%
その他	43	10.0%
無回答	46	10.7%
回答者数	429	

⑥結婚やお子さんのことについておたずねします

問 18 あなたは配偶者がいますか。(あてはまる番号 1 つを選んでください)

配偶者の有無については、「いる」が 13.2%、「いない」が 85.4%となっています。

配偶者の有無



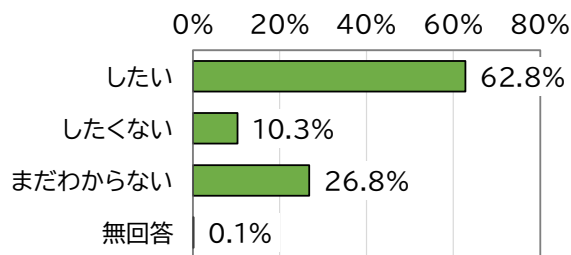
項目	度数	比率
いる	111	13.2%
いない	720	85.4%
無回答	12	1.4%
合計	843	100.0%

問 18 で「いない」と回答した方にお聞きします

問 18-1 あなたは将来結婚したいと考えていますか。(あてはまる番号 1 つを選んでください)

将来結婚したいと考えているかについては、「したい」が 62.8%、「したくない」が 10.3%、「まだわからない」が 26.8%となっています。

将来結婚をしたいか



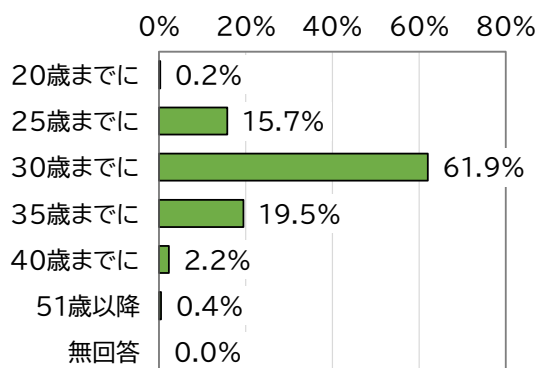
項目	度数	比率
したい	452	62.8%
したくない	74	10.3%
まだわからない	193	26.8%
無回答	1	0.1%
回答者数	720	100.0%

問 18-1 で「したい」と回答した方にお聞きします。

問 18-2 何歳ごろまでに結婚したいですか。(数字を記入)

結婚したい年齢については、「30 歳までに」が 61.9%、「35 歳までに」が 19.5%、「25 歳までに」が 15.7%となっています。

結婚したい年齢

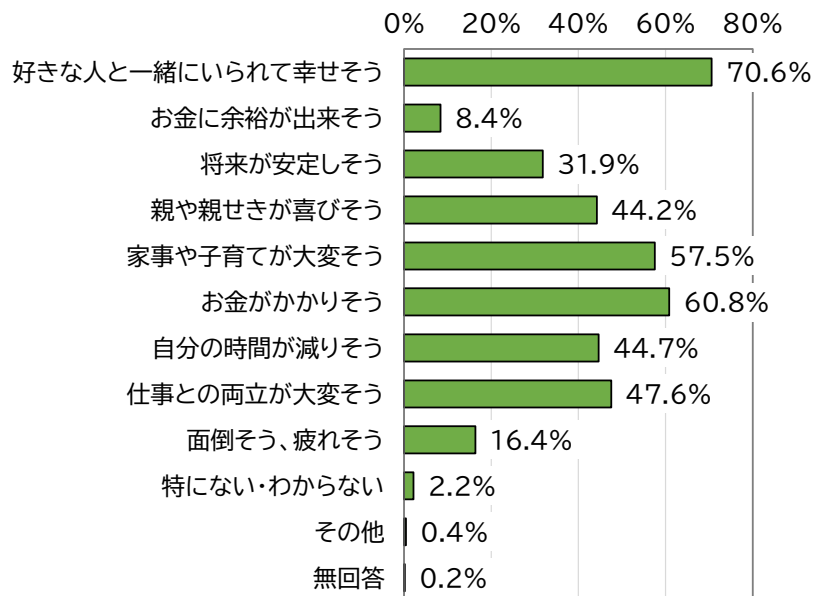


項目	度数	比率
20歳までに	1	0.2%
25歳までに	71	15.7%
30歳までに	280	61.9%
35歳までに	88	19.5%
40歳までに	10	2.2%
51歳以降	2	0.4%
無回答	0	0.0%
回答者数	452	100.0%

問 18-3 あなたが結婚に対して持っているイメージを教えてください。(あてはまる番号すべてを選択してください)

結婚に対して持っているイメージについては、「好きな人と一緒にいられて幸せそう」が 70.6%と最も多く、次いで「お金がかかりそう」が60.8%、「家事や子育てが大変そう」が57.5%となっています。

結婚のイメージ



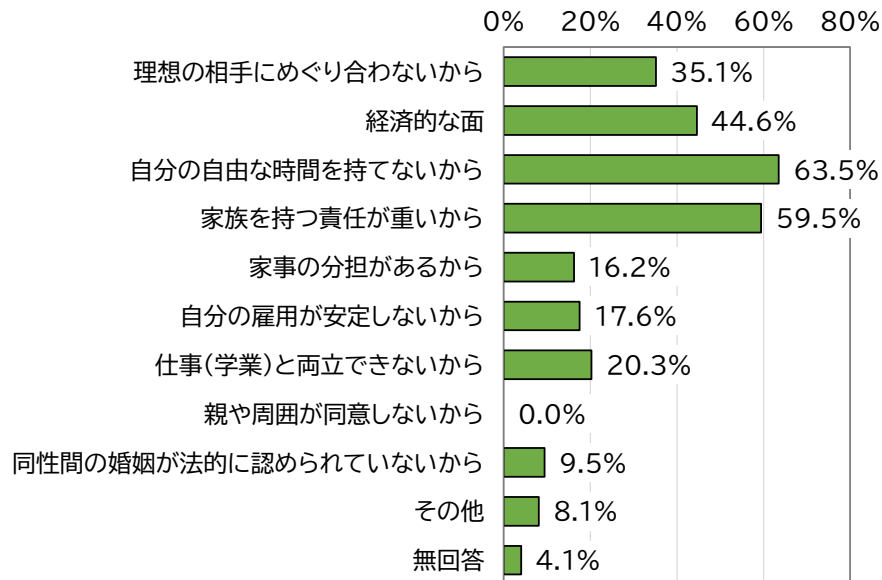
項目	度数	比率
好きな人と一緒にいられて幸せそう	319	70.6%
お金に余裕が出来るそう	38	8.4%
将来が安定しそう	144	31.9%
親や親せきが喜びそう	200	44.2%
家事や子育てが大変そう	260	57.5%
お金がかかりそう	275	60.8%
自分の時間が減りそう	202	44.7%
仕事との両立が大変そう	215	47.6%
面倒そう、疲れそう	74	16.4%
特にない・わからない	10	2.2%
その他	2	0.4%
無回答	1	0.2%
回答者数	452	

問 18-1で「したくない」と回答した方にお聞きします。

問 18-4 あなたが結婚したくないと考える理由をお答えください。(あてはまる番号すべてを選択してください)

結婚したくないと考える理由については、「自分の自由な時間を持ってないから」が 63.5%と最も多く、次いで「家族を持つ責任が重いから」が 59.5%、「経済的な面」が 44.6%となっています。

結婚したくない理由

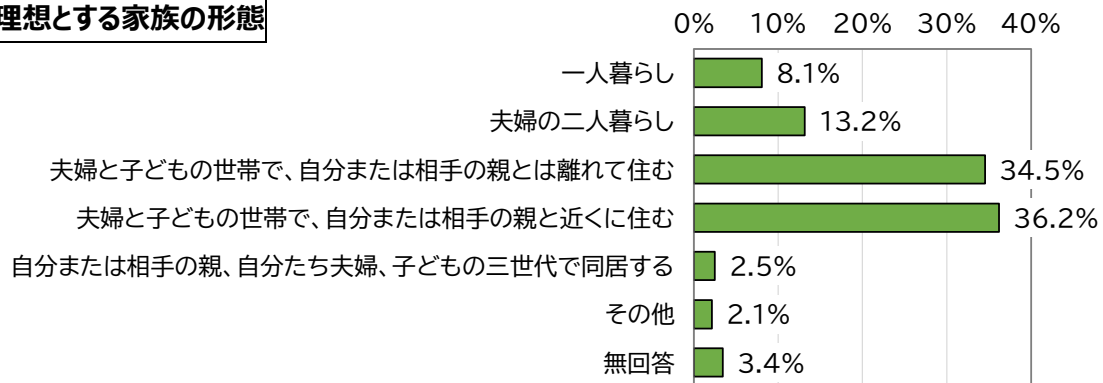


項目	度数	比率
理想の相手にめぐり合わないから	26	35.1%
経済的な面	33	44.6%
自分の自由な時間を持ってないから	47	63.5%
家族を持つ責任が重いから	44	59.5%
家事の分担があるから	12	16.2%
自分の雇用が安定しないから	13	17.6%
仕事(学業)と両立できないから	15	20.3%
親や周囲が同意しないから	0	0.0%
同性間の婚姻が法的に認められていないから	7	9.5%
その他	6	8.1%
無回答	3	4.1%
回答者数	74	

問 19 あなたが理想とする家族はどのような形態ですか。(あてはまる番号 1 つを選んでください)

理想とする家族の形態については、「夫婦と子どもの世帯で、自分または相手の親と近くに住む」が 36.2%と最も多く、次いで「夫婦と子どもの世帯で、自分または相手の親とは離れて住む」が 34.5%となっています。

理想とする家族の形態

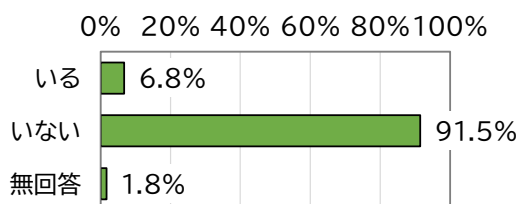


項目	度数	比率
一人暮らし	68	8.1%
夫婦の二人暮らし	111	13.2%
夫婦と子どもの世帯で、自分または相手の親とは離れて住む	291	34.5%
夫婦と子どもの世帯で、自分または相手の親と近くに住む	305	36.2%
自分または相手の親、自分たち夫婦、子どもの三世代で同居する	21	2.5%
その他	18	2.1%
無回答	29	3.4%
合計	843	100.0%

問 20 あなたは現在、子どもがいますか。(あてはまる番号 1 つを選んでください)

現在、子どもの有無は、「いる」が 6.8%、「いない」が 91.5%となっています。

現在の子どもの有無

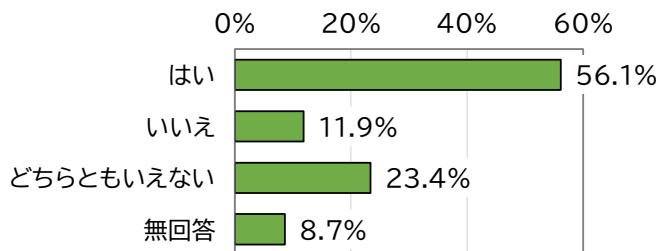


項目	度数	比率
いる	57	6.8%
いない	771	91.5%
無回答	15	1.8%
合計	843	100.0%

問 21 あなたは将来、子どもは欲しいと思いますか。(あてはまる番号 1 つを選んでください)

将来、子どもは欲しいかは、「はい」が 56.1%、「いいえ」が 11.9%、「どちらともいえない」が 23.4%となっています。

将来子どもが欲しいか



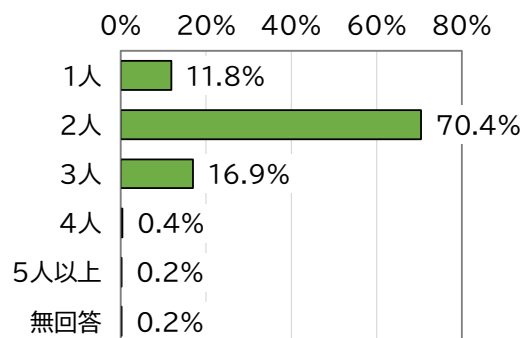
項目	度数	比率
はい	473	56.1%
いいえ	100	11.9%
どちらともいえない	197	23.4%
無回答	73	8.7%
合計	843	100.0%

問 21 で「はい」と回答した方にお聞きします。

問 21-1 人数は何人ぐらいですか。(数字を記入)

将来もうけたい子どもの人数は、「2 人」が 70.4%、「3 人」が 16.9%、「1 人」が 11.8%となっています

将来もうけたい子どもの人数



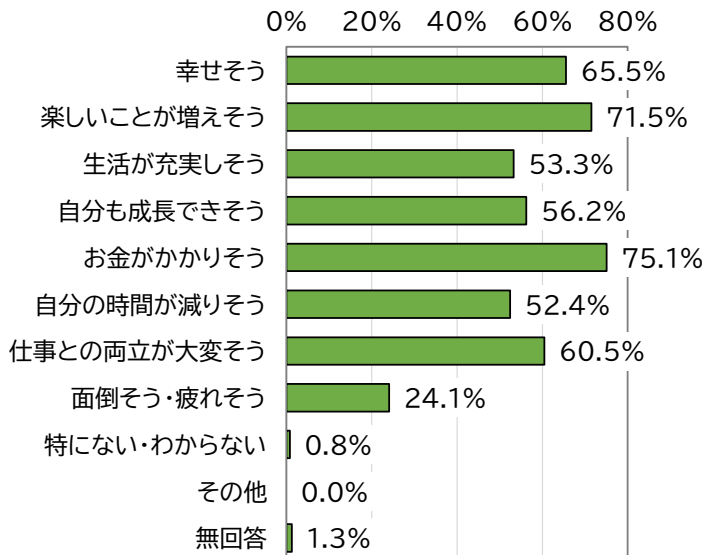
項目	度数	比率
1人	56	11.8%
2人	333	70.4%
3人	80	16.9%
4人	2	0.4%
5人以上	1	0.2%
無回答	1	0.2%
回答者数	473	100.0%

問 21 で「はい」と回答した方にお聞きします。

問 21-2 あなたが子育てに対して持っているイメージを教えてください。(あてはまる番号すべてを選択してください)

子育てに対して持っているイメージについては、「お金がかかりそう」が 75.1%と最も多く、次いで「楽しいことが増えそう」が 71.5%、「幸せそう」が 65.5%となっています。

子育てのイメージ



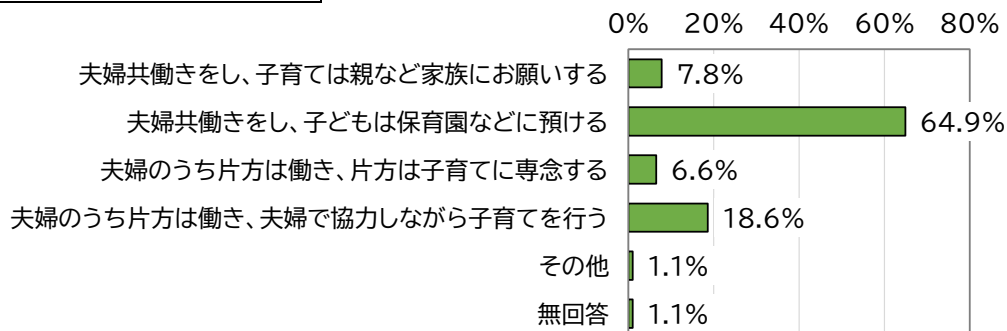
項目	度数	比率
幸せそう	310	65.5%
楽しいことが増えそう	338	71.5%
生活が充実しそう	252	53.3%
自分も成長できそう	266	56.2%
お金がかかりそう	355	75.1%
自分の時間が減りそう	248	52.4%
仕事との両立が大変そう	286	60.5%
面倒そう・疲れそう	114	24.1%
特にない・わからない	4	0.8%
その他	0	0.0%
無回答	6	1.3%
回答者数	473	

問 21 で「はい」と回答した方にお聞きします。

問 21-3 あなたが理想とする仕事(働き方)と子育てはどのような形態ですか。(あてはまる番号 1 つを選んでください)

理想とする仕事(働き方)と子育ての形態については、「夫婦共働きをし、子どもは保育園などに預ける」が 64.9%と最も多く、次いで「夫婦のうち片方は働き、夫婦で協力しながら子育てを行う」が 18.6%となっています。

理想とする仕事と子育ての形態



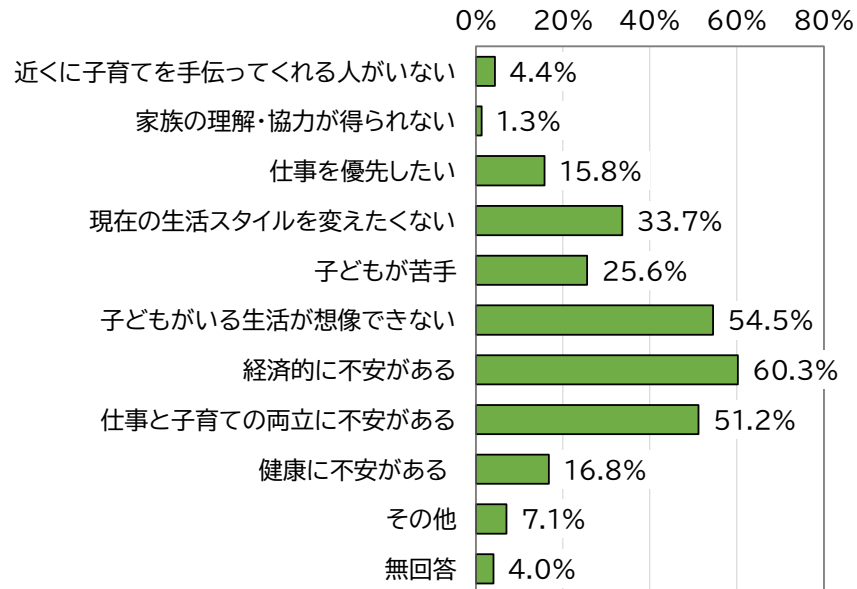
項目	度数	比率
夫婦共働きをし、子育ては親など家族にお願いする	37	7.8%
夫婦共働きをし、子どもは保育園などに預ける	307	64.9%
夫婦のうち片方は働き、片方は子育てに専念する	31	6.6%
夫婦のうち片方は働き、夫婦で協力しながら子育てを行う	88	18.6%
その他	5	1.1%
無回答	5	1.1%
回答者数	473	100.0%

問 21 で「いいえ」「どちらともいえない」と回答した方にお聞きします。

問 21-4 子どもが欲しいと思わない理由またはどちらともいえない理由は何ですか。
(あてはまる番号すべてを選択してください)

子どもを欲しいと思わない理由については、「経済的に不安がある」が 60.3%と最も多く、次いで「子どもがいる生活が想像できない」が 54.5%、「仕事と子育ての両立に不安がある」が 51.2%となっています。

子どもを欲しいと思わない理由

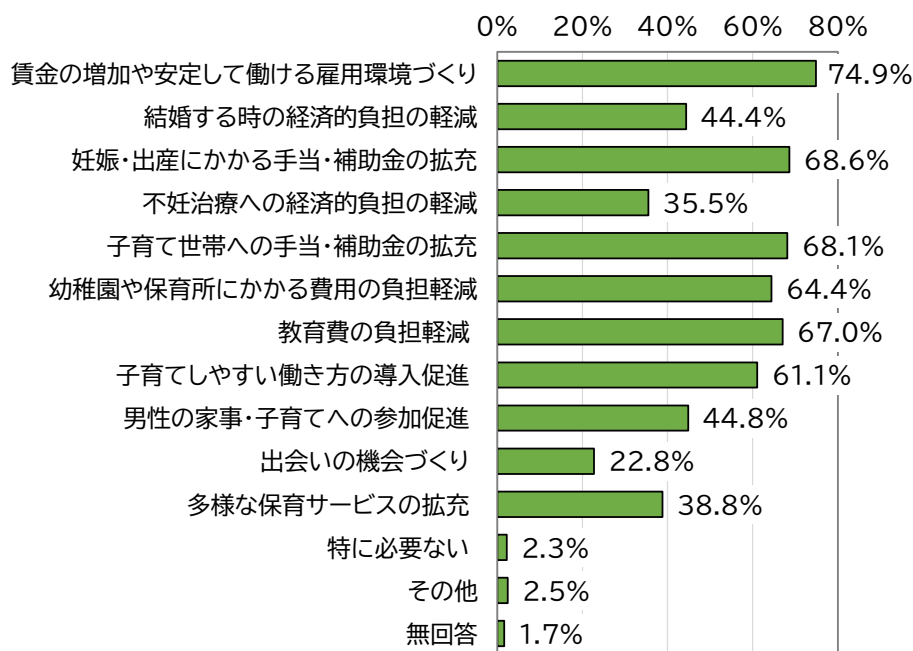


項目	度数	比率
近くに子育てを手伝ってくれる人がいない	13	4.4%
家族の理解・協力が得られない	4	1.3%
仕事を優先したい	47	15.8%
現在の生活スタイルを変えたくない	100	33.7%
子どもが苦手	76	25.6%
子どもがいる生活が想像できない	162	54.5%
経済的に不安がある	179	60.3%
仕事と子育ての両立に不安がある	152	51.2%
健康に不安がある	50	16.8%
その他	21	7.1%
無回答	12	4.0%
回答者数	297	

問 22 少子化対策として、あなたが必要だと思う支援は何ですか。(あてはまる番号すべてを選択してください)

少子化対策として、必要だと思う支援については、「賃金の増加や安定して働ける雇用環境づくり」が74.9%と最も多く、次いで「妊娠・出産にかかる手当・補助金の拡充」が68.6%、「子育て世帯への手当・補助金の拡充」が68.1%となっています。

少子化対策に必要な支援

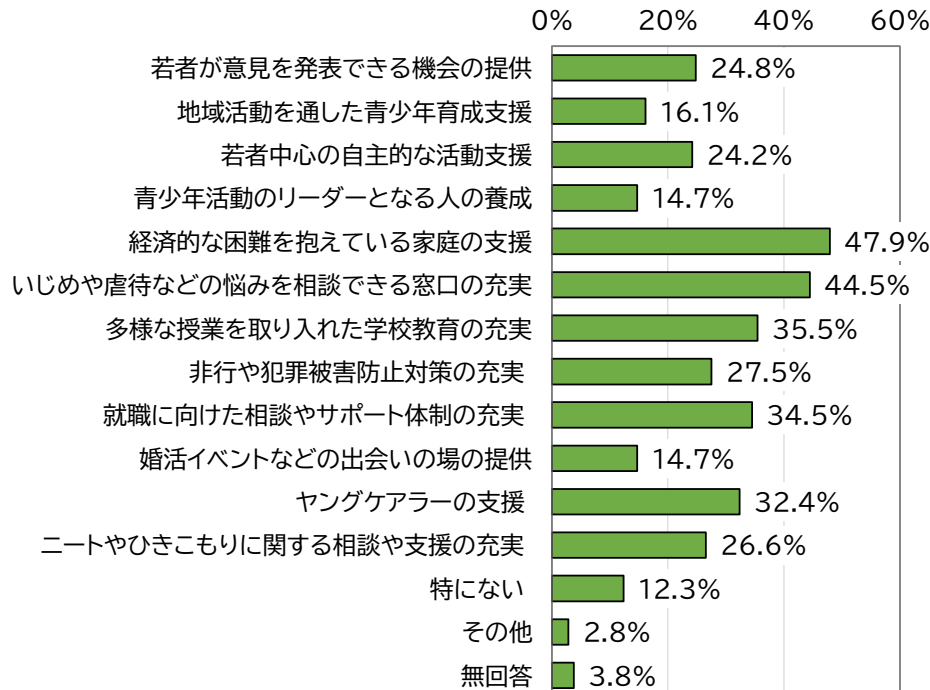


項目	度数	比率
賃金の増加や安定して働ける雇用環境づくり	631	74.9%
結婚する時の経済的負担の軽減	374	44.4%
妊娠・出産にかかる手当・補助金の拡充	578	68.6%
不妊治療への経済的負担の軽減	299	35.5%
子育て世帯への手当・補助金の拡充	574	68.1%
幼稚園や保育所にかかる費用の負担軽減	543	64.4%
教育費の負担軽減	565	67.0%
子育てしやすい働き方の導入促進	515	61.1%
男性の家事・子育てへの参加促進	378	44.8%
出会いの機会づくり	192	22.8%
多様な保育サービスの拡充	327	38.8%
特に必要ない	19	2.3%
その他	21	2.5%
無回答	14	1.7%
回答者数	843	

問 23 あなたは、市が取り組む青少年や若者の政策にどんなことを望みますか。(あてはまる番号すべてを選択してください)

市が取り組む青少年や若者の政策に望むことについては、「経済的な困難を抱えている家庭の支援」が 47.9%と最も多く、次いで「いじめや虐待などの悩みを相談できる窓口の充実」が 44.5%、「多様な授業を取り入れた学校教育の充実」が 35.5%となっています。

市が力を入れるべき青少年や若者の政策（学年別保護者）



項目	度数	比率
若者が意見を発表できる機会の提供	209	24.8%
地域活動を通した青少年育成支援	136	16.1%
若者中心の自主的な活動支援	204	24.2%
青少年活動のリーダーとなる人の養成	124	14.7%
経済的な困難を抱えている家庭の支援	404	47.9%
いじめや虐待などの悩みを相談できる窓口の充実	375	44.5%
多様な授業を取り入れた学校教育の充実	299	35.5%
非行や犯罪被害防止対策の充実	232	27.5%
就職に向けた相談やサポート体制の充実	291	34.5%
婚活イベントなどの出会いの場の提供	124	14.7%
ヤングケアラーの支援	273	32.4%
ニートやひきこもりに関する相談や支援の充実	224	26.6%
特にない	104	12.3%
その他	24	2.8%
無回答	32	3.8%
回答者数	843	

Ⅲ 調査の分析

1 クロス集計の概要

クロス集計一覧

項目	対象
2 困窮度による分析	
①保護者調査の分析	
問 5 あなたの世帯は、「ひとり親世帯」に該当しますか。	小・中・高校生保護者
問 8 お子さんの母親と父親の最終学歴は次のうちどれですか。	小・中・高校生保護者
①母親	小・中・高校生保護者
②父親	小・中・高校生保護者
問12 あなたの世帯では、お子さんに次の①～⑨のようなことをしていますか。	小・中・高校生保護者
問13 お子さんは将来、現実的に見てどの学校に進学すると思いますか。	小・中・高校生保護者
問15 ここ1年間の間に、お子さんが身体の具合が悪いという理由以外で学校に行きたくないと言ったことがありましたか。	小・中・高校生保護者
問16 現在の暮らしの状況を総合的にみて、どう感じていますか。	小・中・高校生保護者
問17 あなたの世帯では、過去1年間にお金足りなくて、必要とする食料が買えないことがありましたか。	小・中・高校生保護者
問18 あなたの世帯では、過去1年間にお金足りなくて、必要とする衣料品が買えないことがありましたか。	小・中・高校生保護者
問19 あなたの世帯では、過去1年の間に、①～⑦について、経済的な理由で未払いになったことがありましたか。	小・中・高校生保護者
②小学生・中学生・高校生調査の分析	
問 4 あなた自身の生活について、あてはまるものはありますか。	小学生、中学生
問 5 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。	小学生、中学生、高校生
①朝食	小学生、中学生、高校生
問 6 あなたは、ふだん、ひとりで食事をすることがありますか。	小学生、中学生、高校生
問 8 学校や塾などの勉強以外で、インターネットを自由に使うことができますか。	小学生
問 9 全体として、あなたは最近の生活にどのくらい満足していますか。	小学生、中学生、高校生
問10 学校は楽しいと思いますか。	小学生、中学生、高校生
問10 あなたは将来、どの段階まで進学したいですか。	中学生、高校生
問11 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。	小学生、中学生、高校生
問13 以下の①～⑥のことについて、あなたはどのくらいあてはまりますか。	中学生、高校生
②自分のことが好きだ	中学生、高校生
③自分の親から愛されていると思う	中学生、高校生
⑤ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある	中学生
⑥将来の夢や目標を持っている	中学生、高校生
問16 あなたの家族の中に、あなたが世話をしている人はいますか。	中学生、高校生
問18 あなたのお父さん・お母さんや学校の先生は、あなたのことを決めるときに、あなたの意見を聞いて、大事にしてくれていると思いますか。	小学生、中学生、高校生
①お父さん・お母さん（または身近な人）	小学生、中学生、高校生
②学校の先生・職場の人	小学生、中学生、高校生
問20 あなたが結婚に対して持っているイメージを教えてください。	高校生
問21 あなたが子育てに対して持っているイメージを教えてください。	高校生

項目	対象
3 自己肯定感や満足度による分析	
【小学生、中学生、高校生調査】自己肯定感による分析	
問9 全体として、あなたは最近の生活にどのくらい満足していますか。	小学生、中学生、高校生
問10 学校は楽しいと思いますか。	小学生、中学生、高校生
問10 あなたは将来、どの段階まで進学したいですか。	中学生、高校生
問18 あなたのお父さん・お母さんや学校の先生は、あなたのことを決めるときに、あなたの意見を聞いて、大事にしてくれていると思いますか。	小学生、中学生、高校生
①お父さん・お母さん(または身近な人)	
②学校の先生(職場の人)	小学生、中学生、高校生
【若者調査】満足度による分析	
問17 あなたは、将来も小山市に住みたいと思いますか。	若者調査
問18-1 あなたは将来結婚したいと考えていますか。	若者調査
問21 あなたは将来、子どもは欲しいと思いますか。	若者調査
項目	対象
4 若者調査の男女クロスによる分析	
問4 あなたが最後に卒業(中退含む)した学校を教えてください。在学中の方は、現在在学している学校を教えてください。	若者調査
問7 あなたは家でよく話をするほうですか。それとも話さないほうですか。	若者調査
問9 あなたの現在の就労・就学状況について教えてください。	若者調査
問10 今までに離職した経験はありますか。ある場合は、その理由を教えてください。	若者調査
問12 あなたは、普段の生活の中で一番楽しさを感じるのはどんなときですか。	若者調査
問13 あなたは、現在困っていることや悩んでいることがありますか。	若者調査
問17 あなたは、将来も小山市に住みたいと思いますか。	若者調査
問17-1 小山市に住みたい理由は何ですか。	若者調査
問17-2 小山市に住みたくない理由は何ですか。	若者調査
問18 あなたは配偶者がいますか。	若者調査
問18-3 あなたが結婚に対して持っているイメージを教えてください。	若者調査
問21 あなたは将来、子どもは欲しいと思いますか。	若者調査
問21-2 あなたが子育てに対して持っているイメージを教えてください。	若者調査
問21-4 子どもが欲しいと思わない理由またはどちらともいえない理由は何ですか。	若者調査
問22 少子化対策として、あなたが必要だと思う支援は何ですか。	若者調査

2 困窮度による分析

■ 困窮度の算出【保護者票 問 3,問 20(R5 調査)】

貧困を図る指標として「等価可処分所得」を元に区分した「困窮度」を用います。

※ 等価可処分所得：世帯の所得を世帯人数の平方根で割ったものとなります。

※ 困窮度：等価可処分所得の中央値を基準とし、以下のように区分されます。

困窮度Ⅰ	中央値の50%未満
困窮度Ⅱ	中央値の50%～60%
困窮度Ⅲ	中央値の60%～100%

※ 困窮度Ⅰの世帯員の割合を「相対的貧困率」

※ 今回、世帯の所得は選択区間の中央の値（例えば「100～200 万円」を選んだ場合は150 万円）を代表値とし、「1,000 万円以上」の項目は1,000 万円を代表値として計算しています。

■ 等価可処分所得（算出例）

例1) 4人世帯（両親+子ども2人） 世帯の可処分所得 500 万円

等価可処分所得（1人当たりの所得金額）： $500 \text{ 万円} / \sqrt{4} = 250 \text{ 万円}$

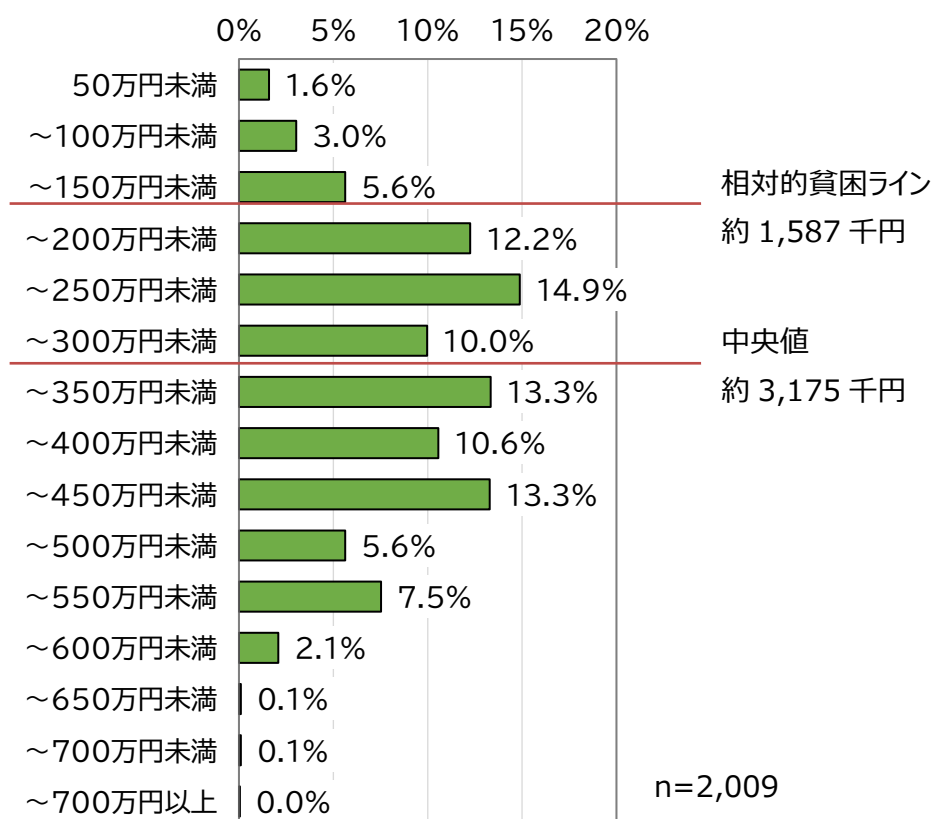
例2) 6人世帯（両親+子ども4人） 世帯の可処分所得 500 万円

等価可処分所得（1人当たりの所得金額）： $500 \text{ 万円} / \sqrt{6} \approx 204 \text{ 万円}$

例3) 3人世帯（母親+子ども2人） 世帯の可処分所得 200 万円

等価可処分所得（1人当たりの所得金額）： $200 \text{ 万円} / \sqrt{3} \approx 115 \text{ 万円}$

■ 等価可処分所得の割合



■ 困窮度の推移

中央値は、等価可処分所得が約 3,175 千円となっており、前回調査と比較すると40万円程度上がっています。これは、対象者が、前回調査は小、中学生保護者、今回調査は、高校生の保護者を含めた調査となっているため、単純な比較はできません。

困窮度Ⅰの中央値50%未満の金額は、約1,587千円未満となっています。

区分	調査年	区分金額	区分基準
中央値	平成31年	2,750,000円以上	
	令和5年	3,175,426円以上	
困窮度Ⅰ	平成31年	1,375,000円未満	中央値の50%未満
	令和5年	1,587,713円未満	
困窮度Ⅱ	平成31年	1,375,000円～1,650,000円未満	中央値の50%～60%未満
	令和5年	1,587,713円～1,905,256円未満	
困窮度Ⅲ	平成31年	1,650,000円～2,904,000円未満	中央値の60%～100%未満
	令和5年	1,905,256円～3,119,634円未満	
平均値	平成31年	2,904,000円	
	令和5年	3,119,634円	

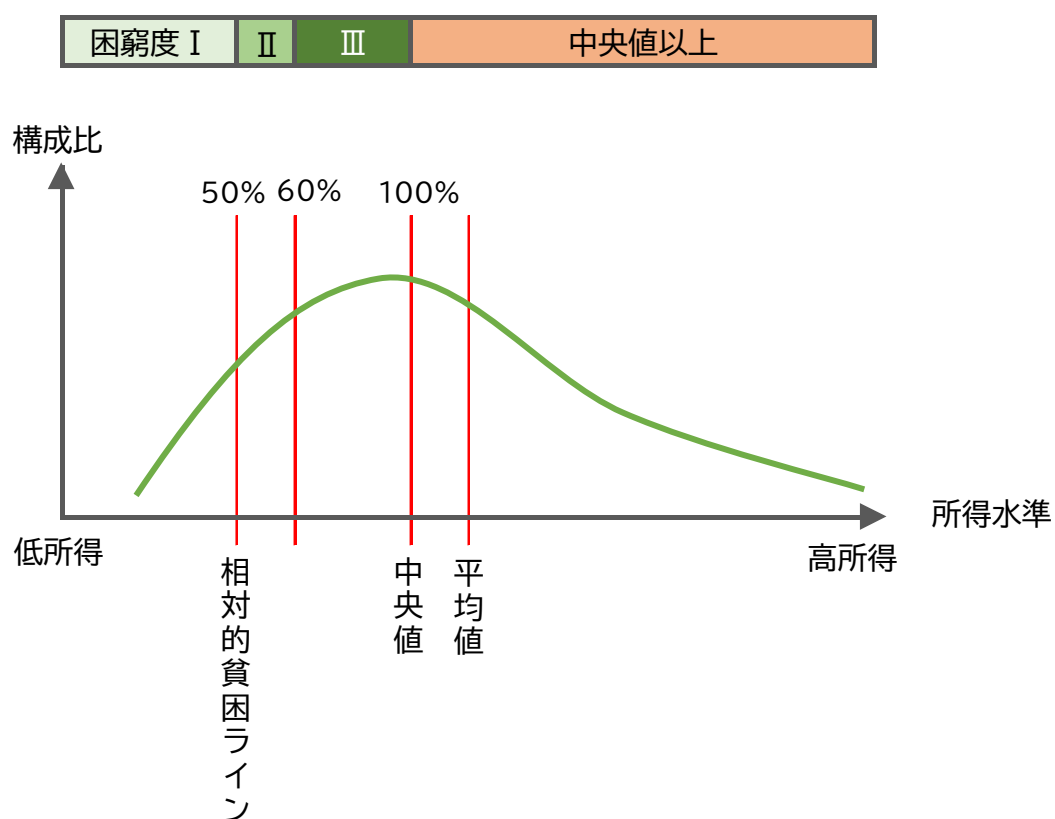
■ 子どもと保護者の揃った世帯数

対象	子ども・保護者が揃った世帯	子どものみ回答した世帯	保護者のみ回答した世帯	合 計
3 小学5年生	600	731	165	1,496
4 中学2年生	587	594	184	1,365
5 高校2年生	356	485	206	1,047
学年全体	1,543	1,810	555	3,908

■ 困窮度分析の有効回答数

対象	子どもの分析数	保護者の分析数
3 小学5年生	587	732
4 中学2年生	571	746
5 高校2年生	314	531
学年全体	1,472	2,009

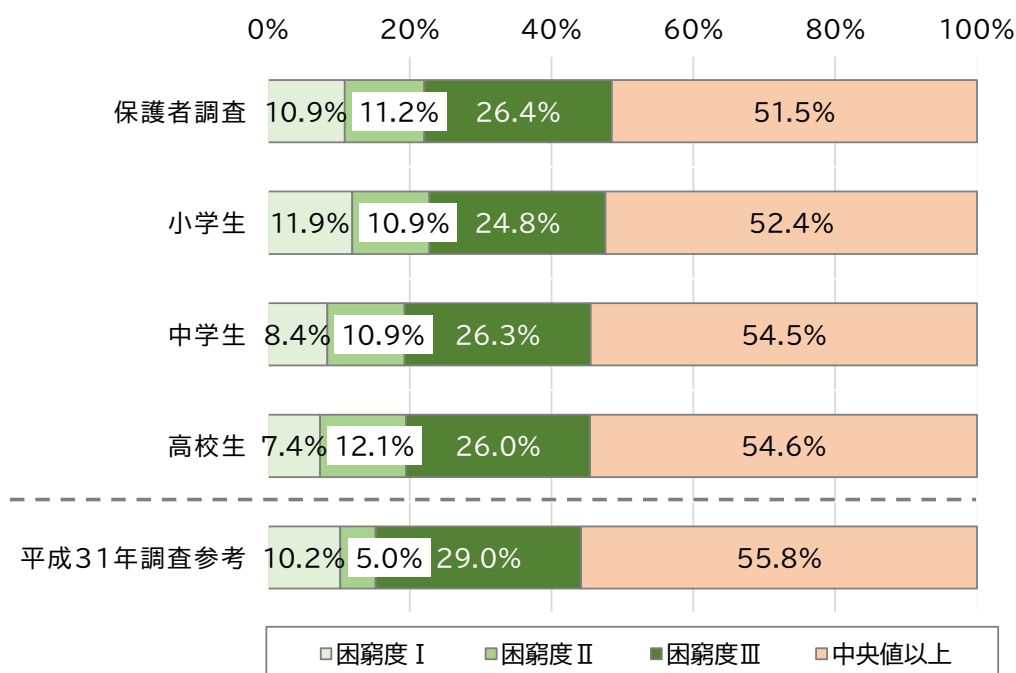
■ 困窮度のイメージ図



■ 各調査の困窮度

保護者の相対的貧困率(困窮度Ⅰ)については、10.9%となり、前回平成31年調査と比較すると0.7ポイント上がっています。

小学生調査の相対的貧困率は11.9%、中学生が8.4%、高校生が7.4%と小学生の貧困率が他の調査よりやや高くなっています。



■ 各調査の困窮度の割合

	中央値以上	困窮度Ⅲ	困窮度Ⅱ	困窮度Ⅰ	計
保護者調査	1,035	531	225	218	2,009
	51.5%	26.4%	11.2%	10.9%	100.0%
小学生	308	146	64	70	588
	52.4%	24.8%	10.9%	11.9%	100.0%
中学生	311	150	62	48	571
	54.5%	26.3%	10.9%	8.4%	100.0%
高校生	185	88	41	25	339
	54.6%	26.0%	12.1%	7.4%	100.0%
平成31年調査参考	1,267	658	113	232	2,270
	55.8%	29.0%	5.0%	10.2%	100.0%

※世帯人数、世帯の所得を回答していない方は、集計に含まれていません。

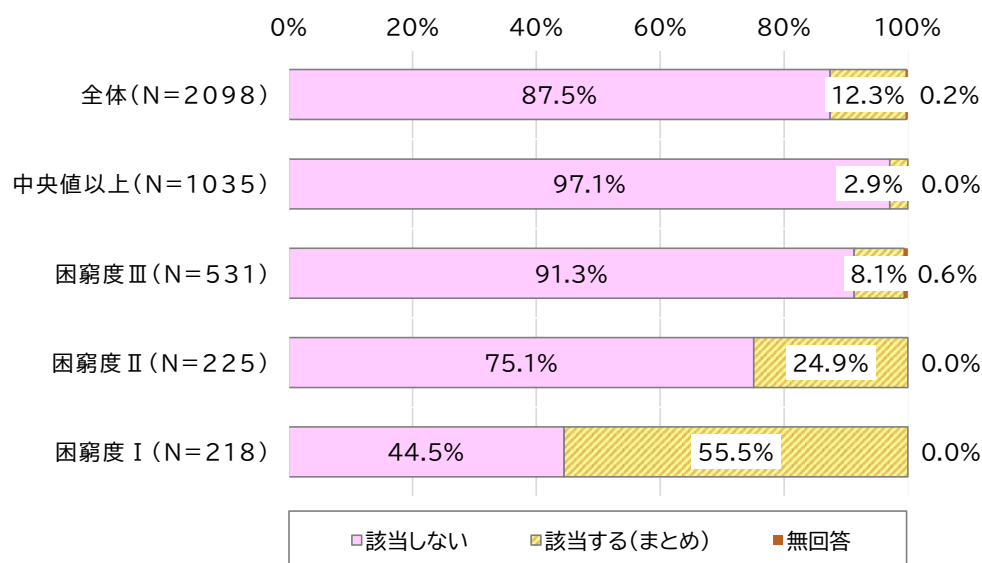
①保護者調査の分析

問5 あなたの世帯は、「ひとり親世帯」に該当しますか。(あてはまる番号 1 つを選んでください)※この調査で「ひとり親世帯」とは、死別、離別、未婚などのより、現に配偶者のいない男性または女性が、18 歳未満の未婚の子どもを育てている世帯とします。

※ひとり親世帯の理由については、それぞれ数が少ないため「該当する」としてまとめて集計しています。

世帯の状況については、困窮度が高いほど「該当する」が多くなっています。

ひとり親世帯に該当するか（困窮度別）

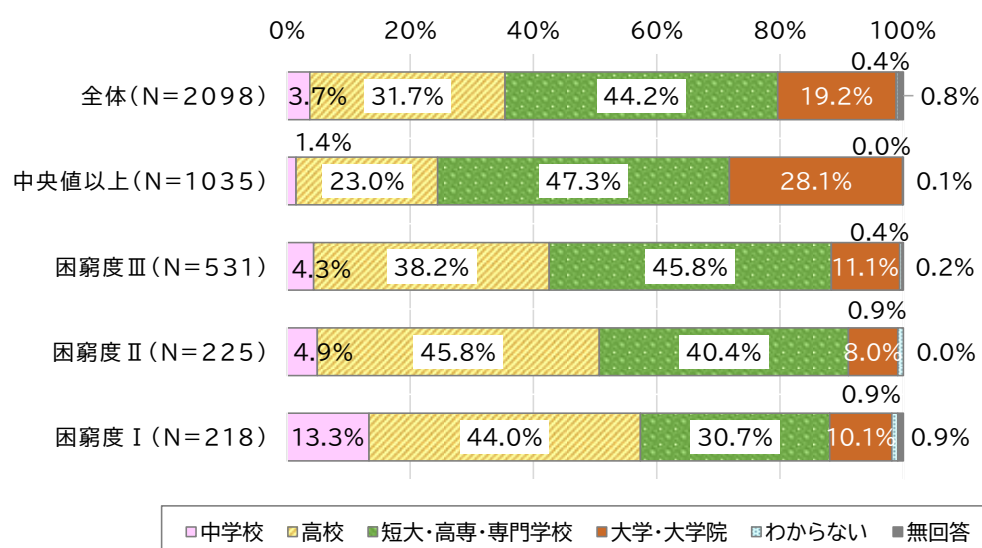


問8 お子さんの母親と父親の最終学歴は次のうちどれですか。

①母親

母親の最終学歴については、困窮度が高いほど「中学生」「高校」までが多くなっています。

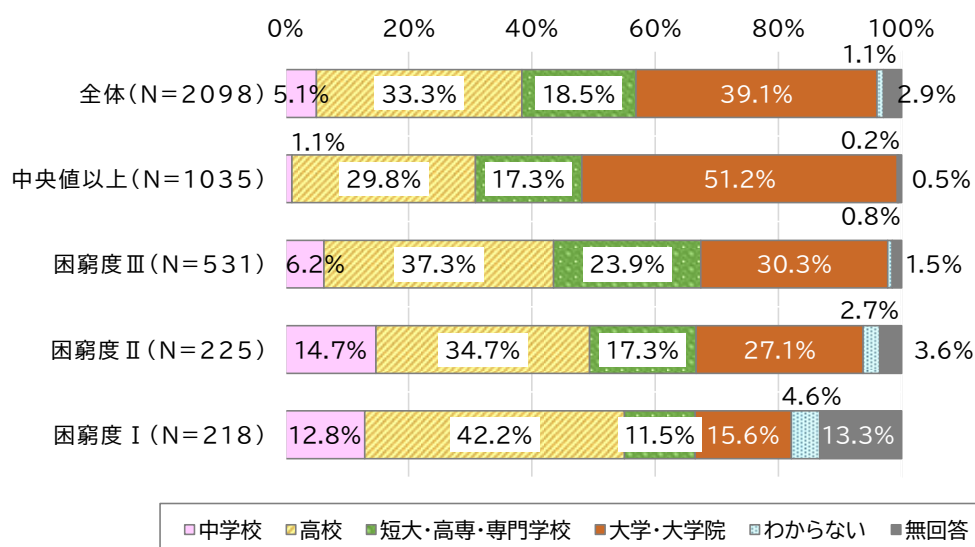
母親の最終学歴（困窮度別）



②父親

父親の最終学歴については、困窮度が高いほど「中学生」「高校」までが多くなっています。

父親の最終学歴（困窮度別）

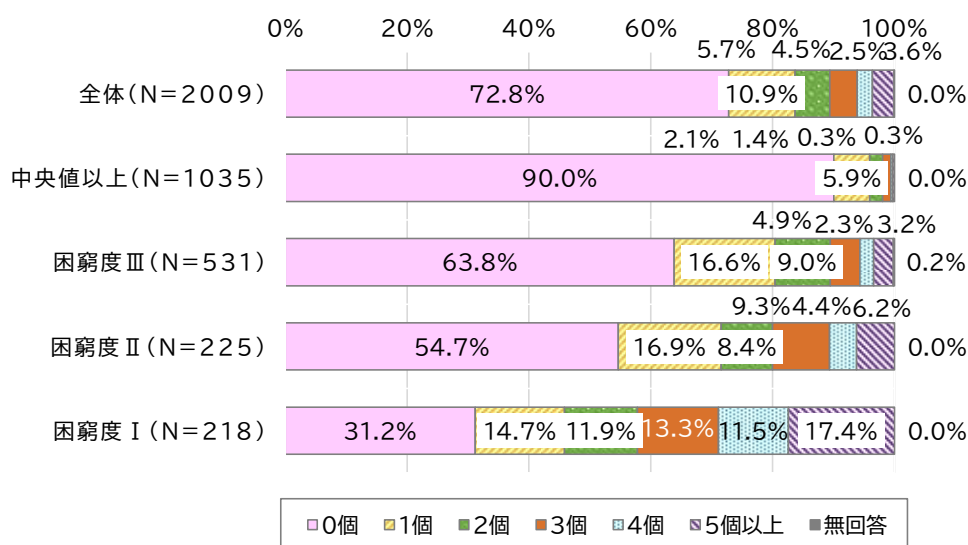


問 12 あなたの世帯では、お子さんに次の①～⑨のようなことをしていますか。(それぞれ、あてはまる番号1つを選んでください)

※①毎月のおこづかい、②新しい服・靴、③習い事、④学習塾、⑤誕生日のお祝い、⑥家族旅行、⑦クリスマスプレゼント・お年玉、⑧学校行事の参加、⑨地域の行事の参加の9項目のうち、「経済的にしていない」を選んだ個数を集計しています。

日常生活について経済的にしていない項目は、困窮度が高いほど個数が多くなっています。

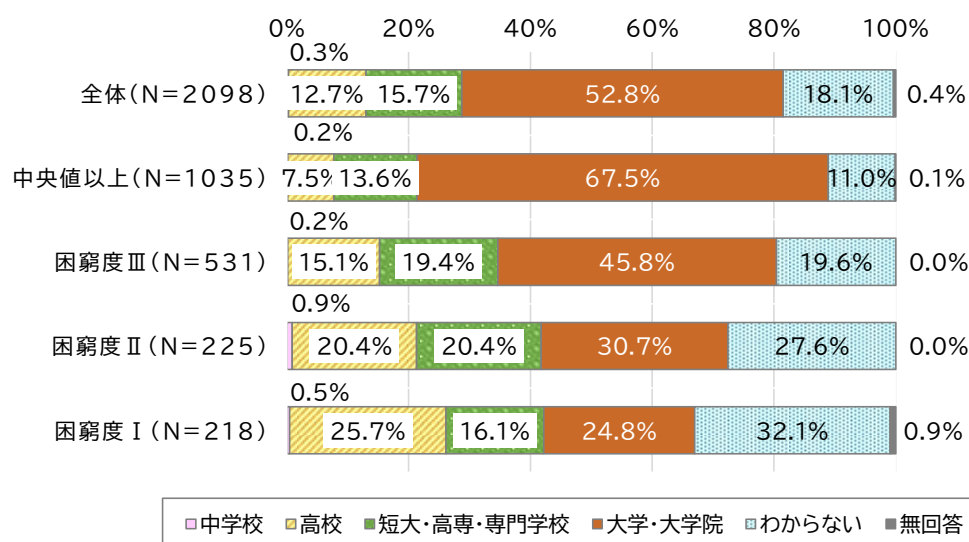
経済的にしていない項目の数（困窮度別）



問 13 お子さんは将来、現実的に見てどの学校に進学すると思いますか。(あてはまる番号1つを選択してください)

お子さんの進学先については、困窮度が高いほど「高校」までが多い傾向となっています。

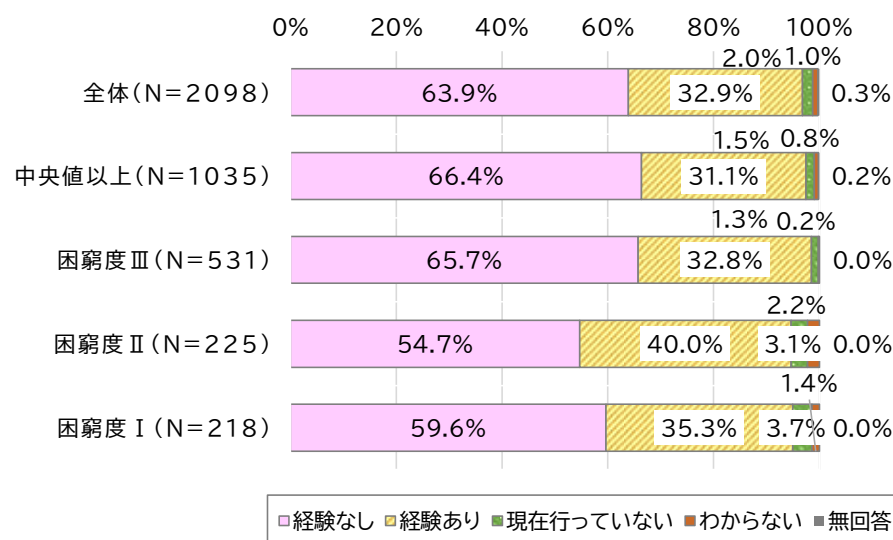
子どもの将来の進学先（困窮度別）



問 15 ここ 1 年間の間に、お子さんが身体の具合が悪いという理由以外で学校に行きたくないと言ったことがありましたか。(あてはまる番号 1 つを選んでください)

体調不良以外で学校に行きたくないと言ったことがあったかについては、「困窮度Ⅱ」で「経験あり」がやや多くなっています。

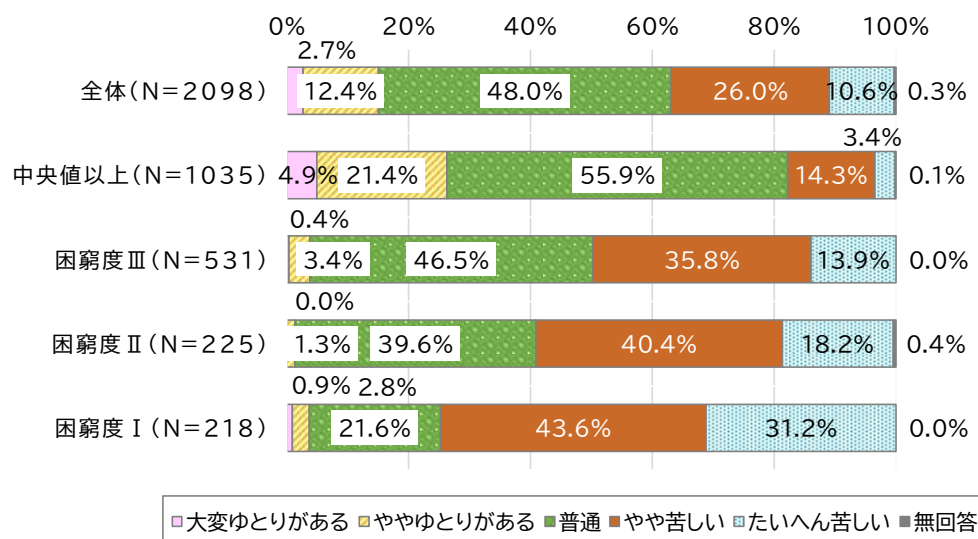
体調不良以外で学校に行きたくないと言った経験の有無（困窮度別）



問 16 現在の暮らしの状況を総合的にみて、どう感じていますか。(あてはまる番号 1 つを選んでください)

暮らしの状況と困窮度は、比例しており、困窮度が高いほど『苦しい』が、多くなっています。

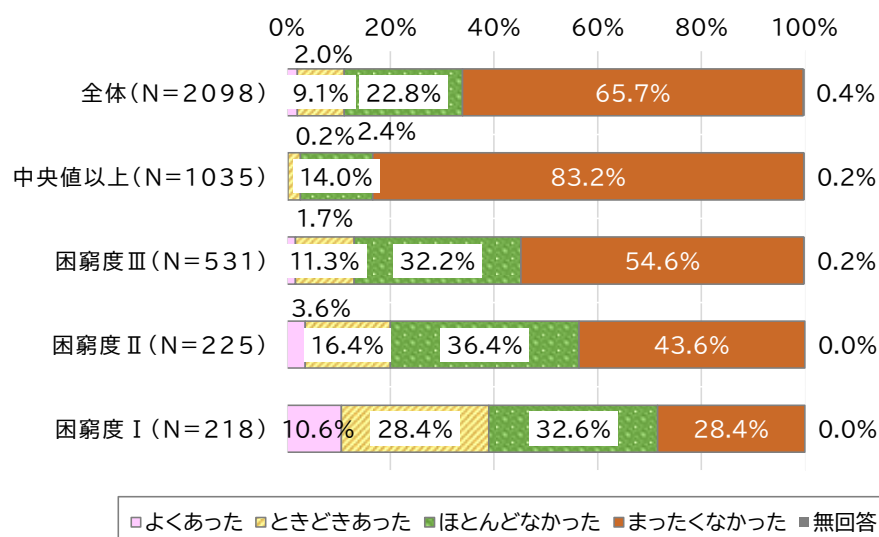
現在の暮らしの状況（困窮度別）



問 17 あなたの世帯では、過去1年間にお金が足りなくて、必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、しこう品は、含みません。(あてはまる番号 1 つを選んでください)

必要な食料が買えないことがあったかについては、困窮度が高いほど『あった』が、多くなっています。

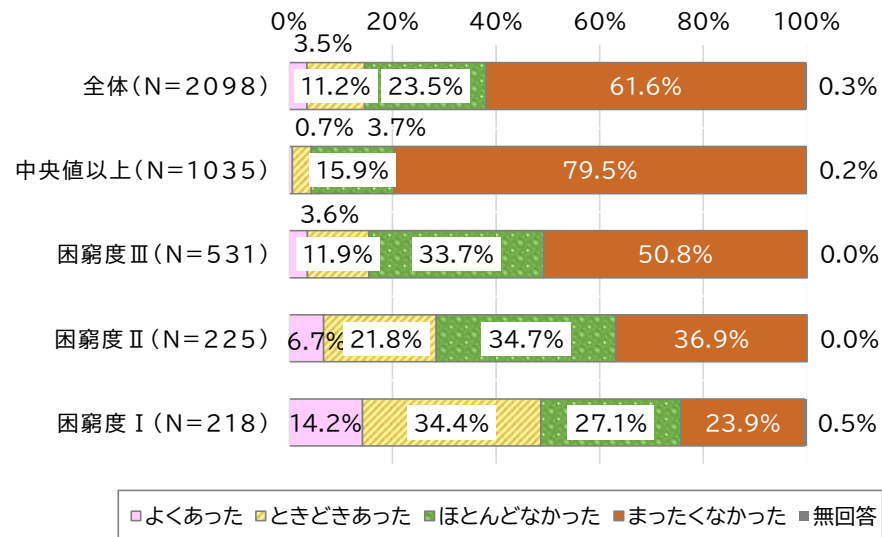
必要な食料が買えないことの有無（困窮度別）



問 18 あなたの世帯では、過去1年間にお金が足りなくて、必要とする衣料品が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は、含みません。(あてはまる番号1つを選んでください)

必要な衣料品が買えないことがあったかについては、困窮度が高いほど『あった』が、多くなっています。

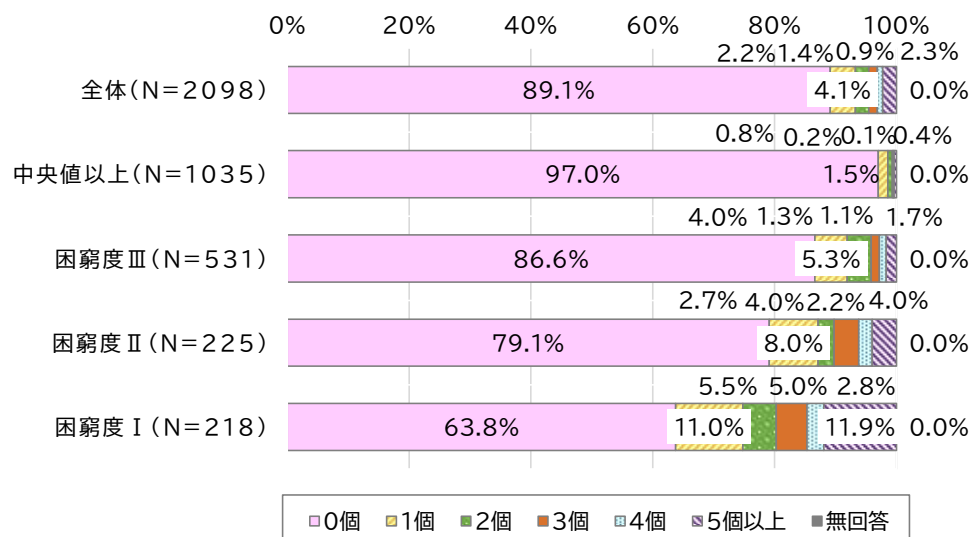
必要な衣料品が買えないことの有無（困窮度別）



問 19 あなたの世帯では、過去1年の間に、①～⑦について、経済的な理由で未払いになったことがありましたか。ただし、各種の支払いや借入金がない場合などは、「該当しない」を選択してください。(それぞれ、あてはまる番号1つを選んでください)

※①家賃、②住宅ローン、③電気料金、④ガス料金、⑤水道料金、⑥電話料金、⑦その他債務不履行の7項目のうち、「経済的な理由で未払いがあった」を選んだ個数を集計しています。
各種支払いや借入金などの経済的に未払いになった項目は、困窮度が高いほど個数が多くなっています。

各種支払いや借入金の未払い経験の個数（困窮度別）



②小学生・中学生・高校生調査の分析

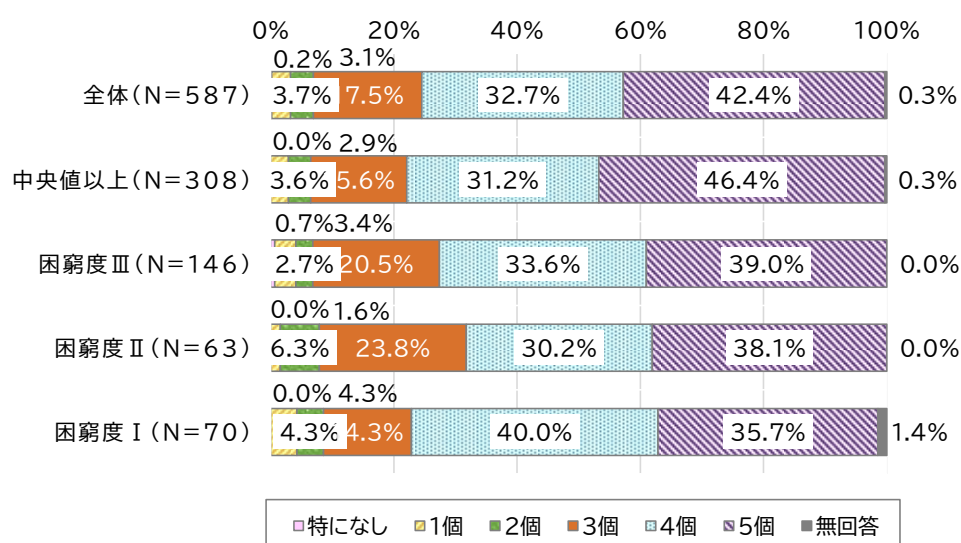
問4 あなた自身の生活について、あてはまるものはありますか。(あてはまる番号すべてを選択してください)

※①普段は同じ就寝時間、②がまんせず菓を飲んだり、病院へ行く、③自分のサイズの靴と服がある、④季節に合った服がある、⑤毎日お風呂に入るの 5 項目のうち、選んだ個数を集計しています。

①小学生調査

日常生活のあてはまるものについては、困窮度Ⅱで、「3個」までが多くなっています。

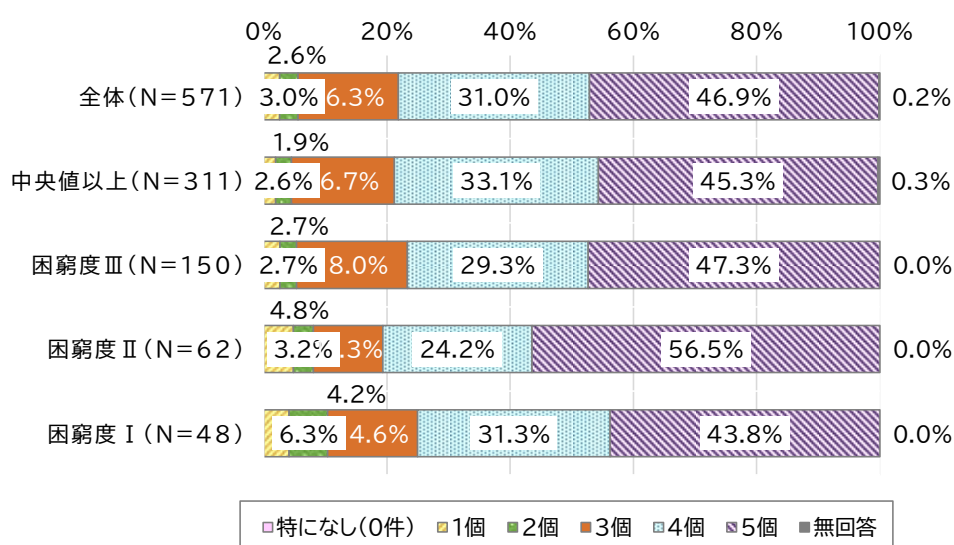
自分の生活であてはまる個数（小学生・困窮度別）



②中学生調査

日常生活のあてはまるものについては、困窮度Ⅰで、「3個」までが多くなっています。

自分の生活であてはまる個数（中学生・困窮度別）

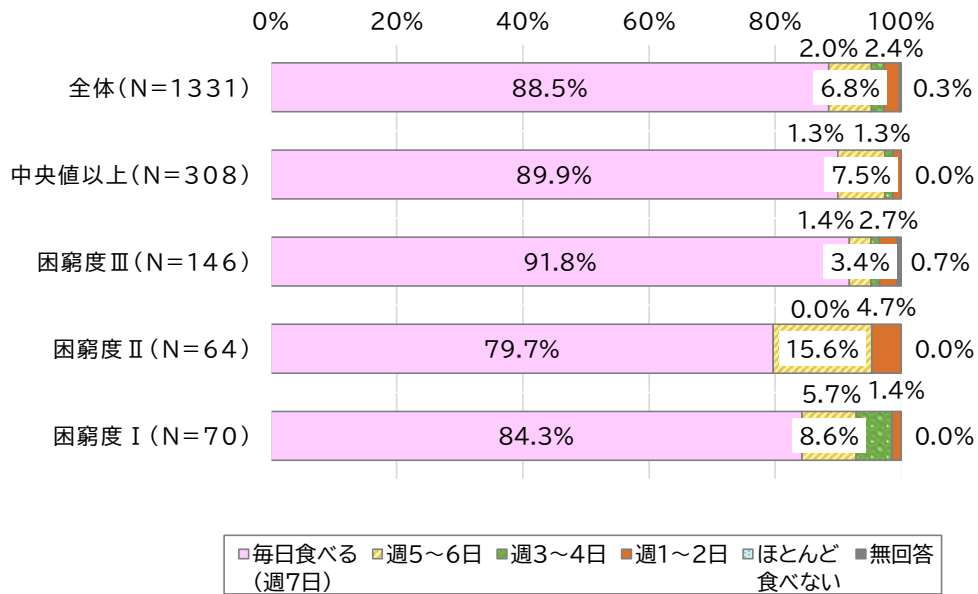


問5 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。次の①～③のそれぞれについて教えてください。(それぞれ、あてはまる番号1つを選んでください)

①小学生調査：①朝食

朝食については、困窮度Ⅱで、「毎日食べる」が少なくなっています。

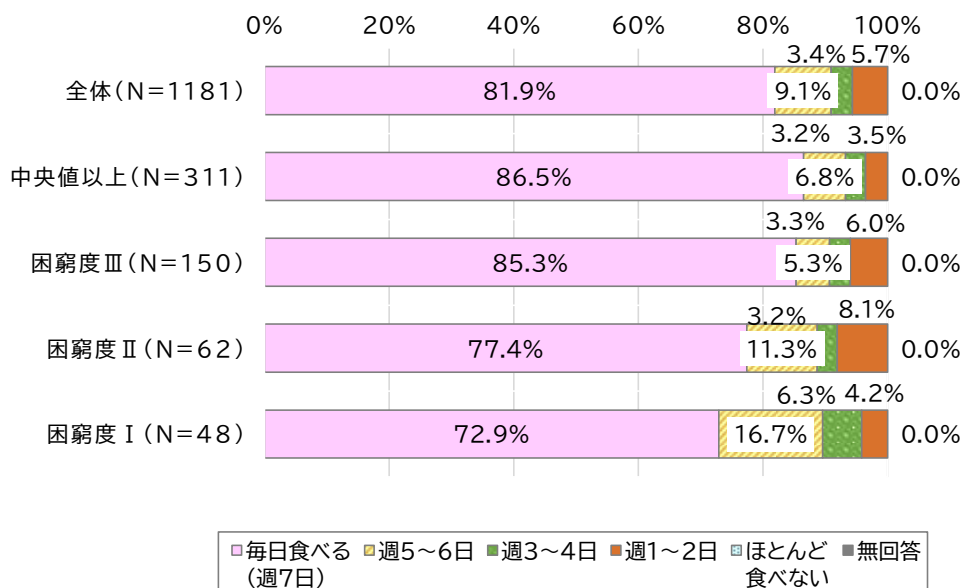
朝食の頻度（小学生・困窮度別）



②中学生調査：①朝食

朝食については、困窮度が高いほど、「毎日食べる」が少なくなっています。

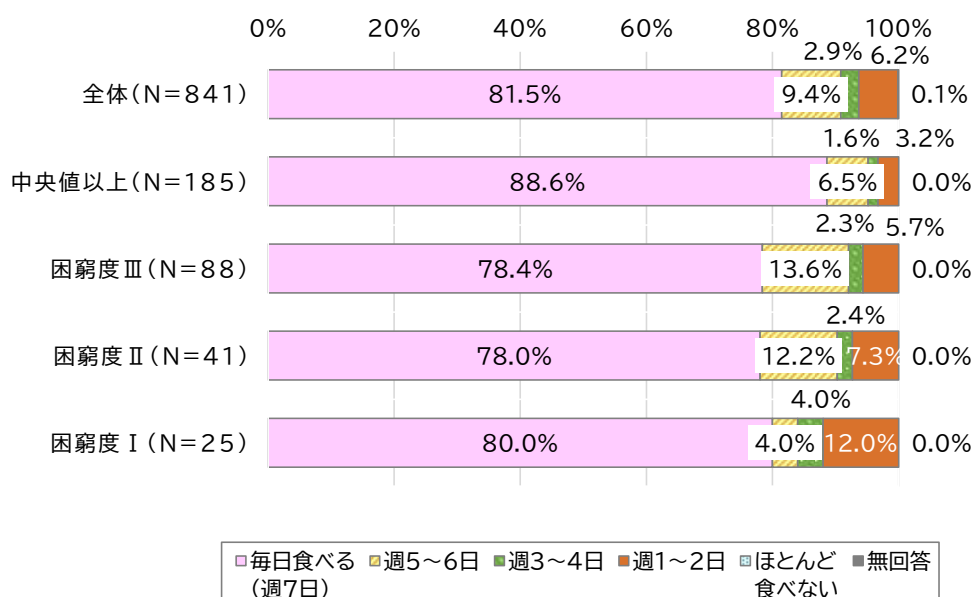
朝食の頻度（中学生・困窮度別）



③ 高校生調査：① 朝食

朝食については、困窮度Ⅱ、困窮度Ⅲで、「毎日食べる」が少なくなっています。

朝食の頻度（高校生・困窮度別）

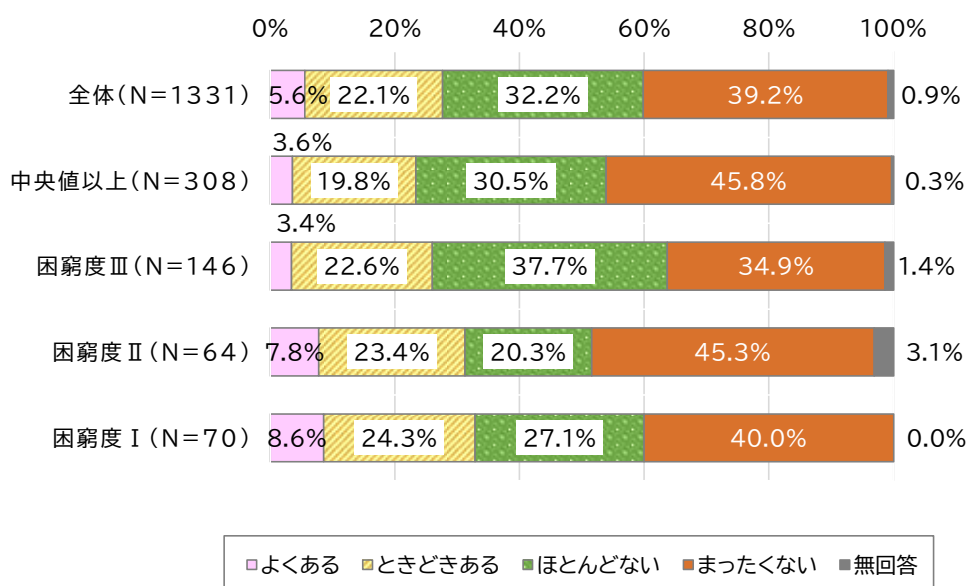


問6 あなたは、ふだん、ひとりで食事をすることがありますか。(あてはまる番号 1 つを選んでください)

① 小学生調査

ひとりで食事をするかについては、困窮度が高いほど、『ある』が多くなっています。

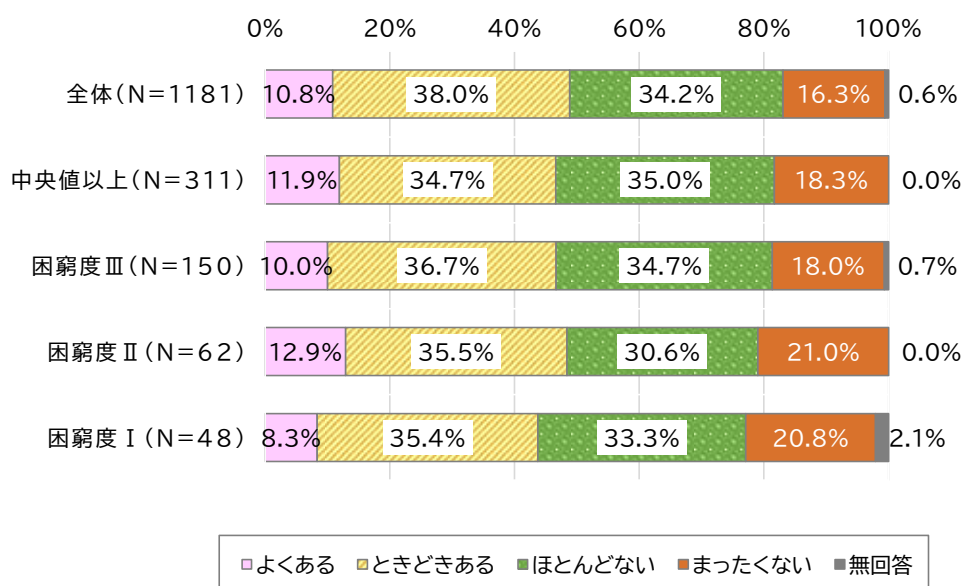
ひとりで食事をする頻度（小学生・困窮度別）



②中学生調査

ひとりで食事をするかについては、困窮度Ⅱで、『ある』が多くなっています。

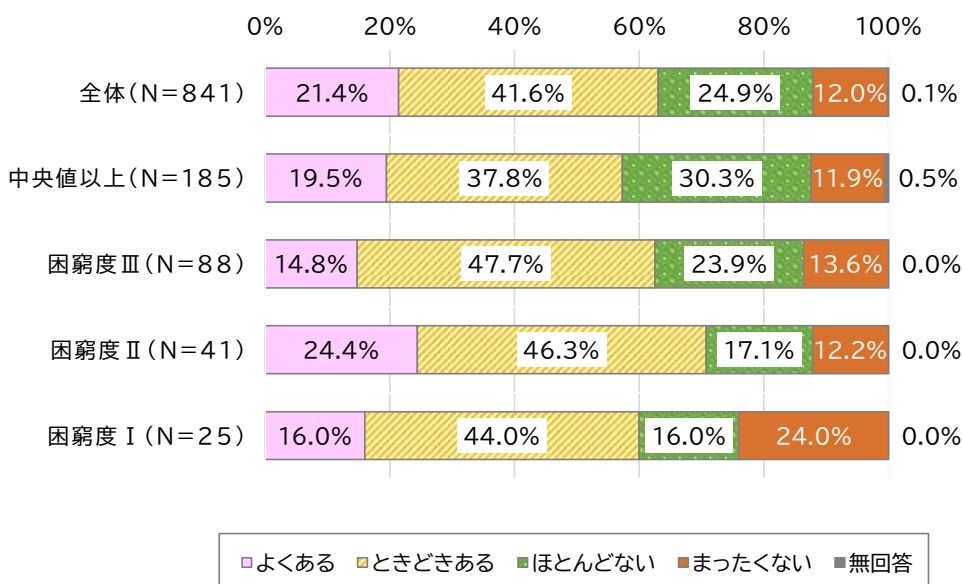
ひとりで食事をする頻度（中学生・困窮度別）



③高校生調査

ひとりで食事をするかについては、困窮度Ⅱで、『ある』が多くなっています。

ひとりで食事をする頻度（高校生・困窮度別）

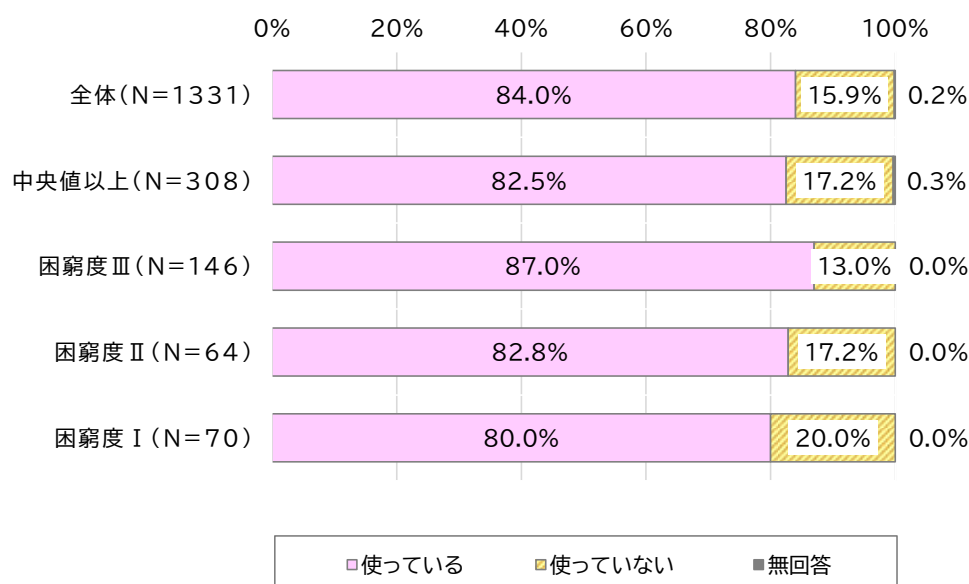


問8 学校や塾などの勉強以外で、インターネットを自由に使うことができますか。(Wi-Fi環境で使用している人も含みます)(あてはまる番号1つを選んでください)

①小学生調査

インターネットを自由に使っているかについては、困窮度Ⅲで「使っている」が多くなっています。

インターネットを自由に使える状況の有無（小学生・困窮度別）



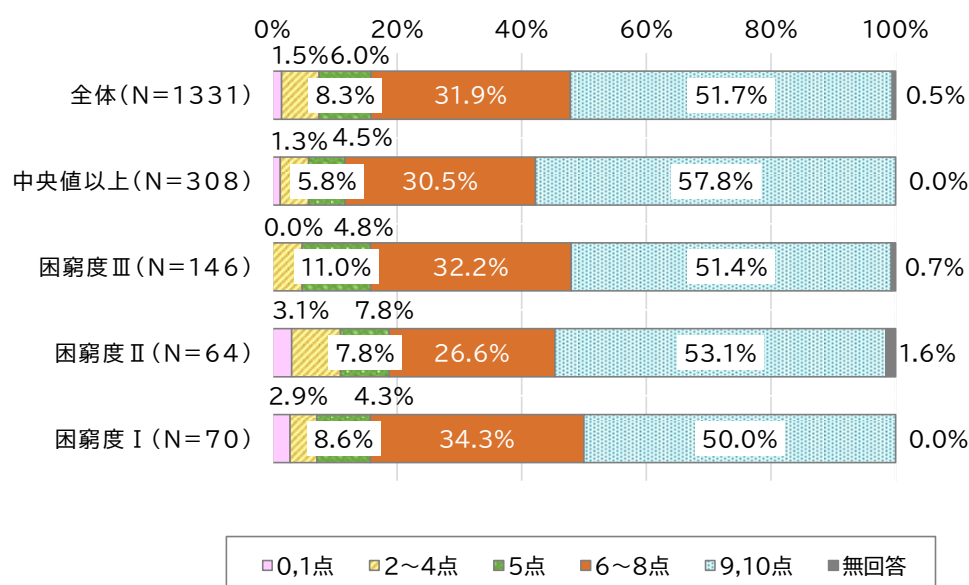
問9 全体として、あなたは最近の生活にどのくらい満足していますか。(満足度を0(不満)～10(満足)のいずれかの数字を選択してください)

※項目が多く、比較が難しいためまとめた数字で比較

①小学生調査

生活の満足度については、困窮度Ⅱで4点までの不満が多くなっています。

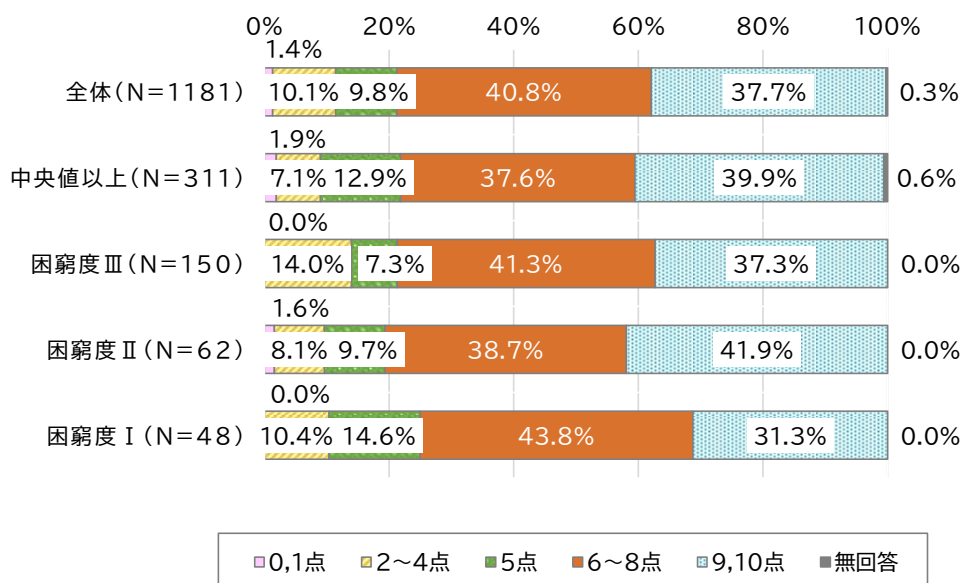
生活の満足度（小学生・困窮度別）



②中学生調査

生活の満足度については、困窮度Ⅲで4点までの不満が多くなっています。

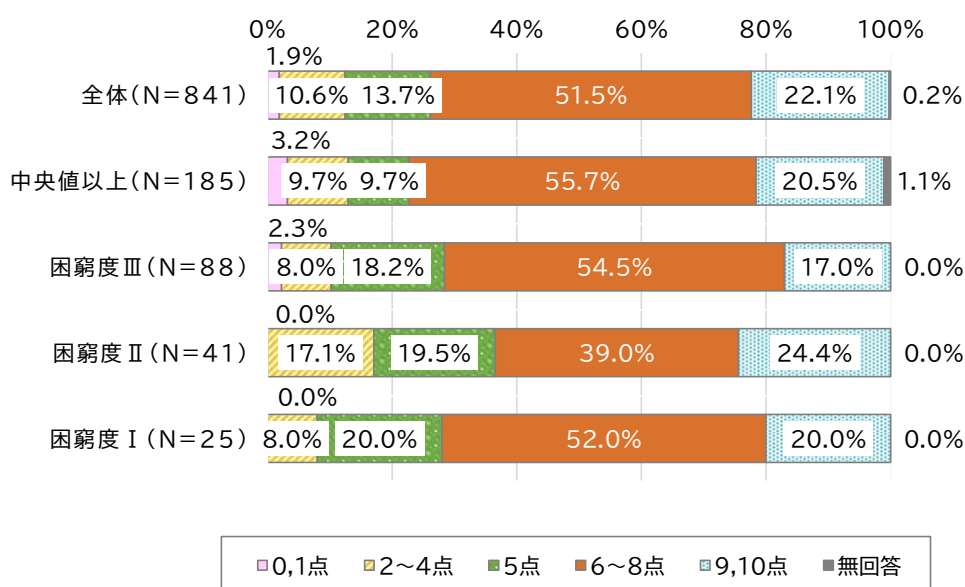
生活の満足度（中学生・困窮度別）



③高校生調査

生活の満足度については、困窮度Ⅱで4点までの不満が多くなっています。

生活の満足度（高校生・困窮度別）

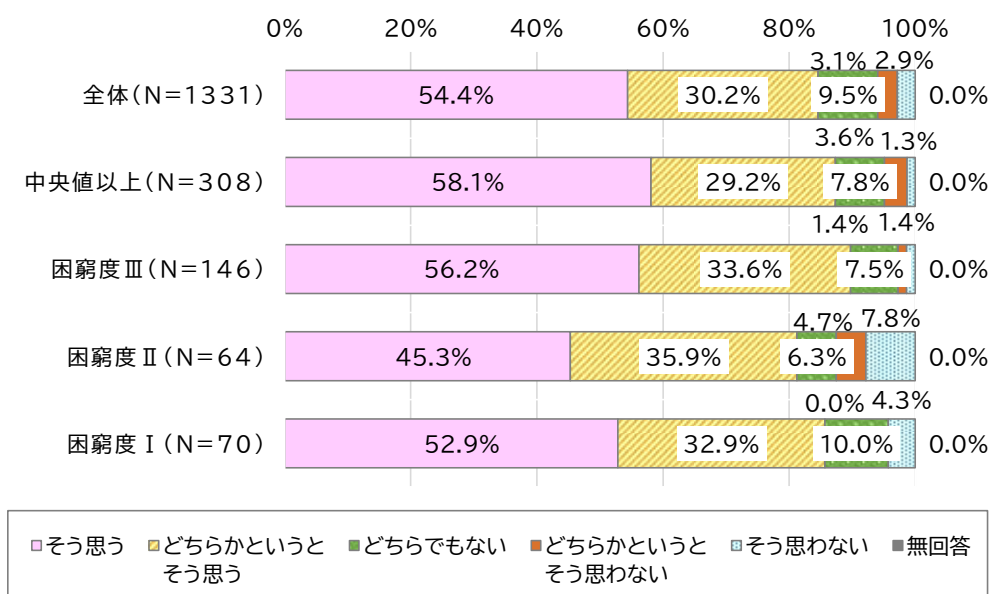


問 10 学校は楽しいと思いますか。(あてはまる番号 1 つを選んでください)

①小学生調査

学校が楽しいかについては、困窮度Ⅱで『そう思わない』が多く、『そう思う』が少なくなっています。

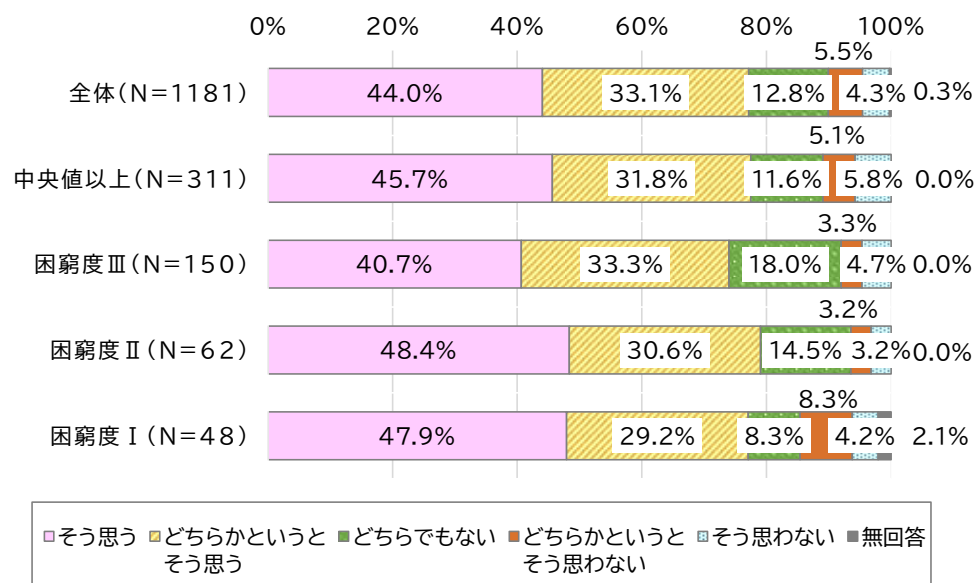
学校の楽しさ（小学生・困窮度別）



②中学生調査

学校が楽しいかについては、困窮度Ⅰで『そう思わない』が多く、困窮度Ⅲで『そう思う』が少なくなっています。

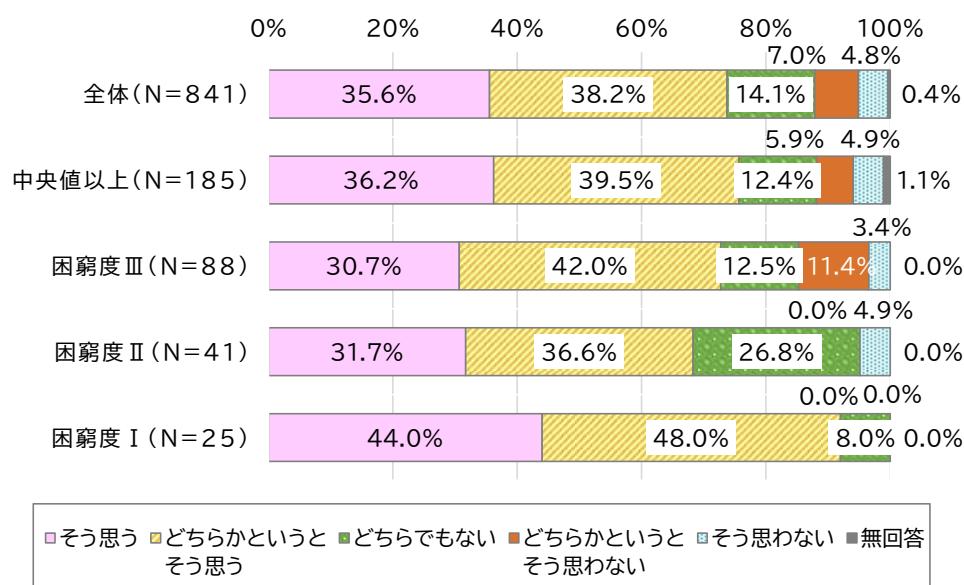
学校の楽しさ（中学生・困窮度別）



③ 高校生調査

学校が楽しいかについては、困窮度Ⅲで『そう思わない』が多く、困窮度Ⅱで『そう思う』が少なくなっています。

学校の楽しさ（高校生・困窮度別）

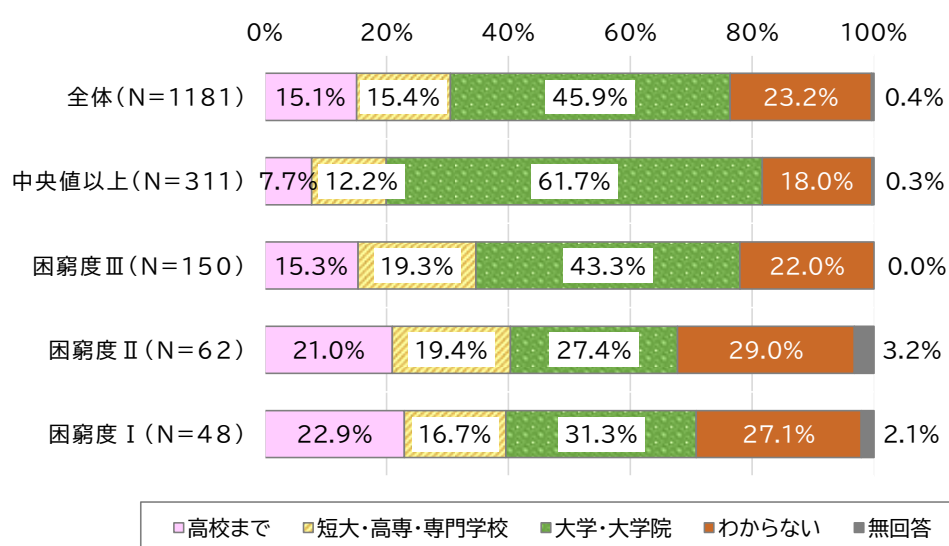


【中学生、高校生】問10 あなたは将来、どの段階まで進学したいですか。(あてはまる番号1つを選んでください)

② 中学生調査

将来の進学先については、困窮度が高いほどで「高校まで」が多くなっています。

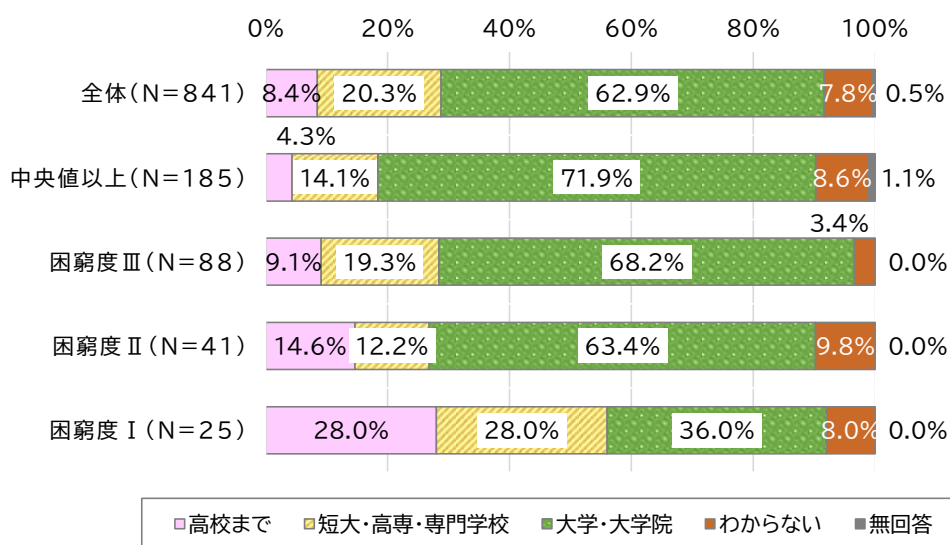
将来の希望の進学先（中学生・困窮度別）



③ 高校生調査

将来の進学先については、困窮度が高いほど「高校まで」が多くなっています。

将来の希望の進学先（高校生・困窮度別）

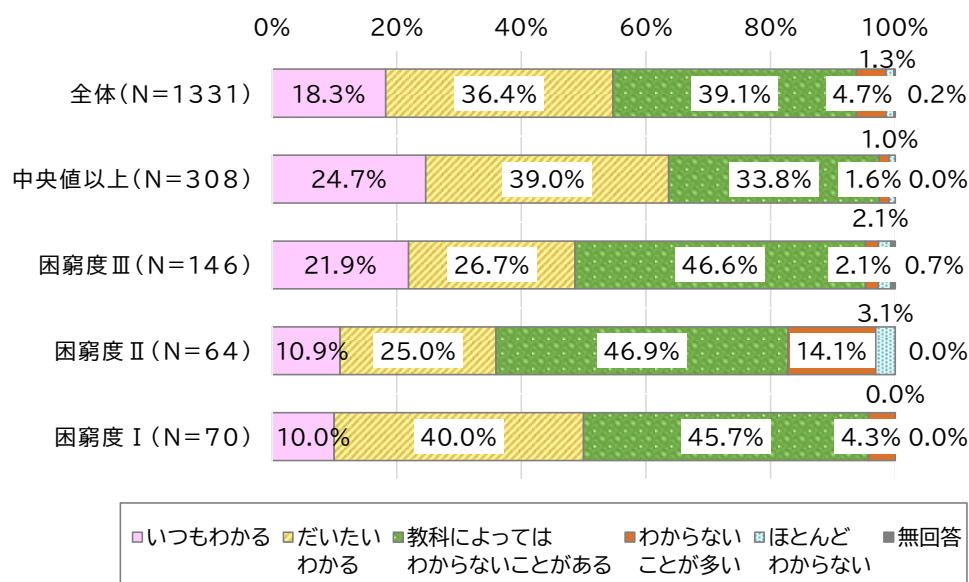


問 11 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(あてはまる番号 1 つを選んでください)

① 小学生調査

授業がわからないことがあるかについては、困窮度Ⅱで「わからないことが多い」が多くなっています。

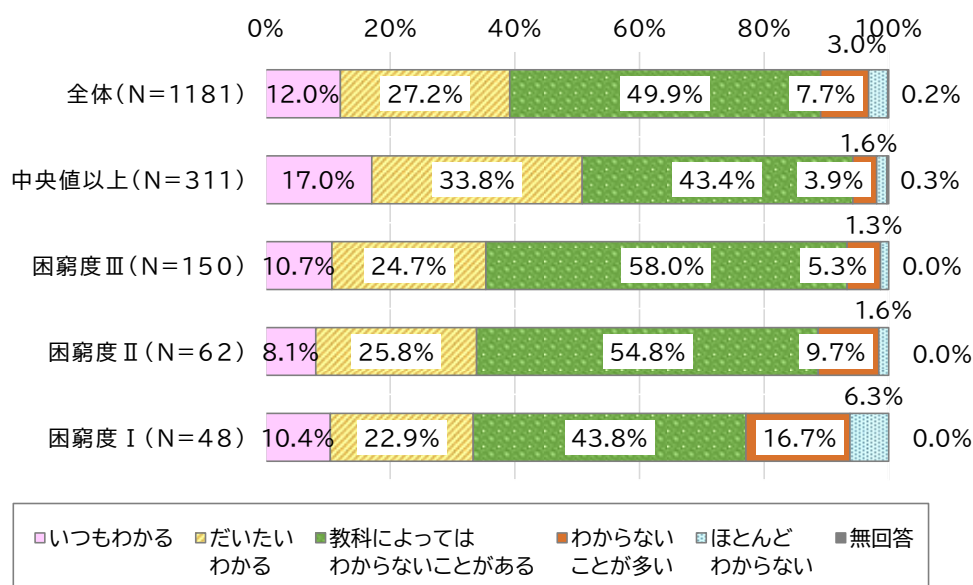
学校の授業の理解度（小学生・困窮度別）



②中学生調査

授業がわからないことがあるかについては、困窮度が高いほど「わからないことが多い」「ほとんどわからない」が多くなっています。

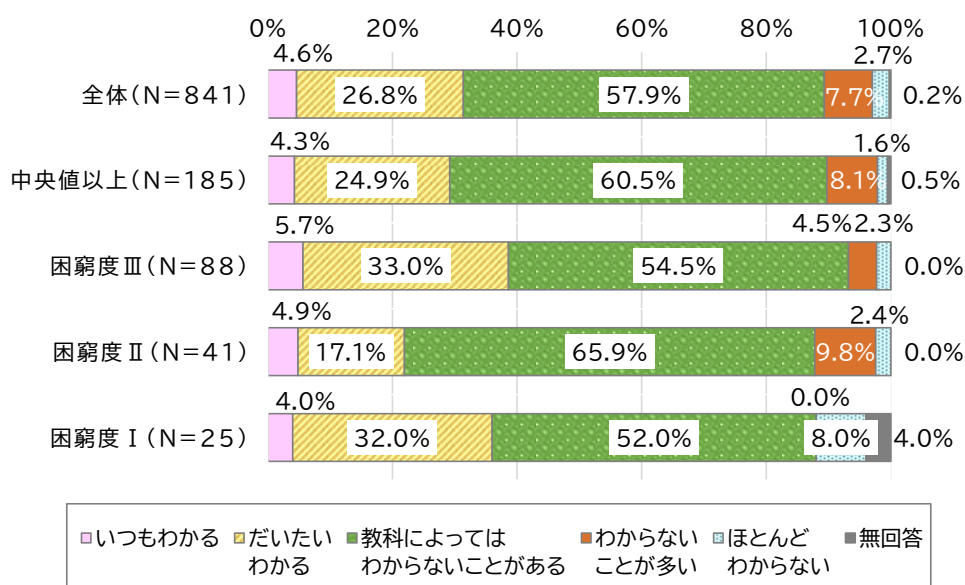
学校の授業の理解度（中学生・困窮度別）



③高校生調査

授業がわからないことがあるかについては、困窮度Ⅱで「教科によってはわからないことがある」「わからないことが多い」が多くなっています。

学校の授業の理解度（高校生・困窮度別）

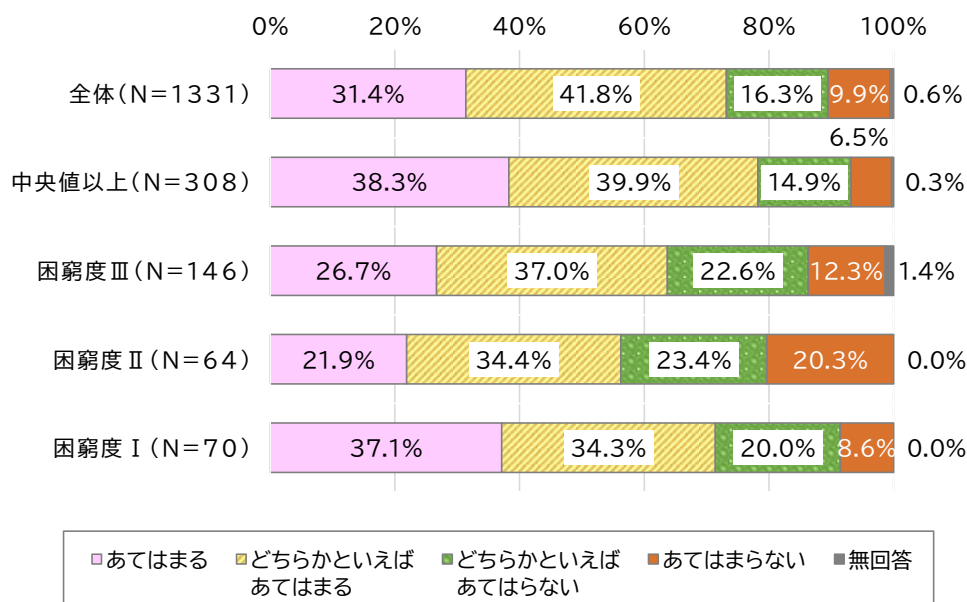


問 13 以下の①～⑥のことについて、あなたはどのくらいあてはまりますか。(それぞれ、あてはまる番号 1 つを選んでください)

①小学生調査：②自分のことが好きだ

自分のことが好きかについては、困窮度Ⅱで『あてはまらない』が多くなっています。

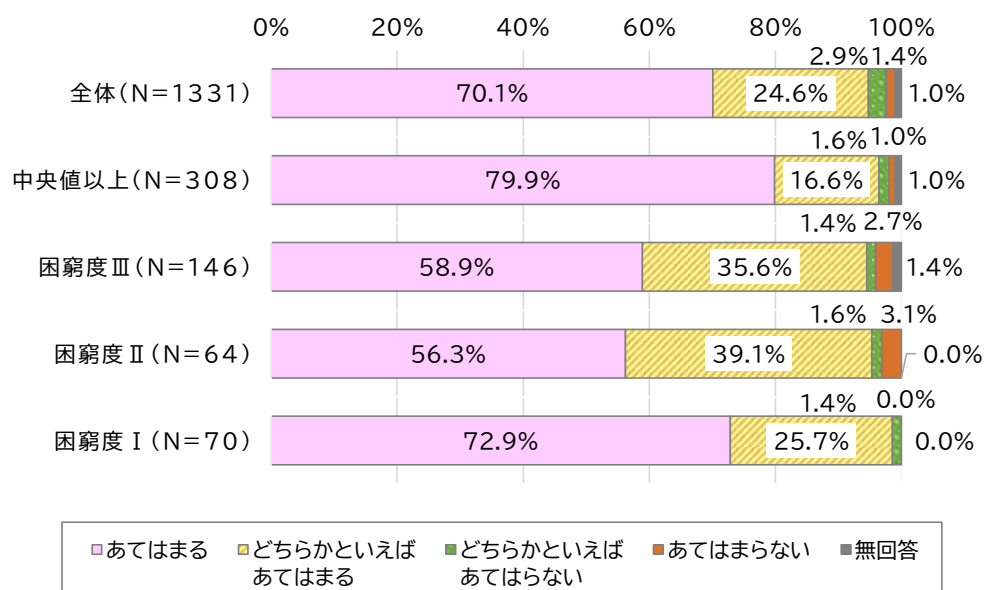
②自分のことが好きだ（小学生・困窮度別）



①小学生調査：③自分の親から愛されていると思う

親から愛されていると思うかについては、困窮度Ⅱ、困窮度Ⅲで「あてはまる」が少なくなっています。

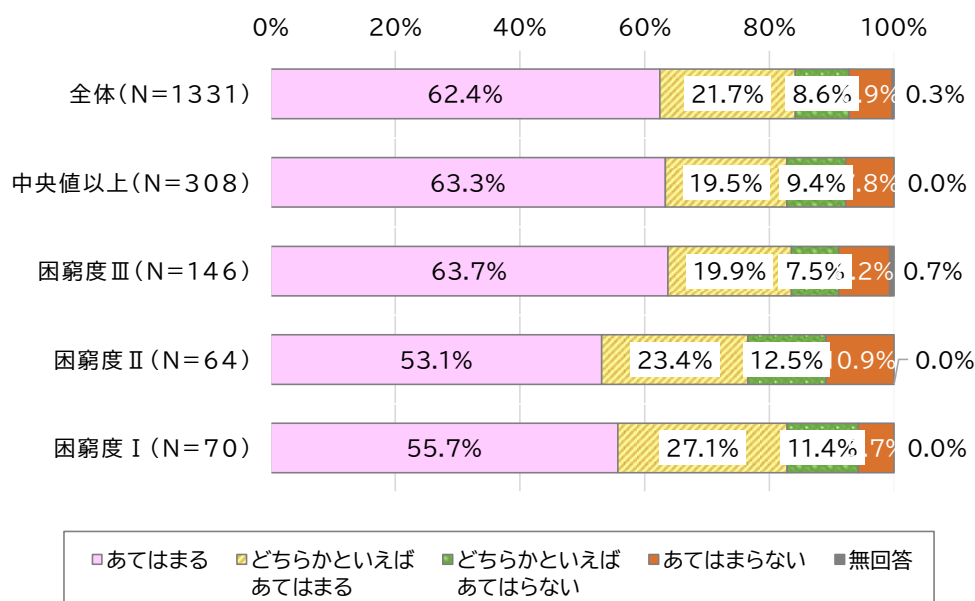
③自分の親から愛されていると思う（小学生・困窮度別）



①小学生調査：⑥将来の夢や目標を持っている

将来の夢や目標を持っているかについては、困窮度Ⅱで『あてはまらない』が多くなっています。

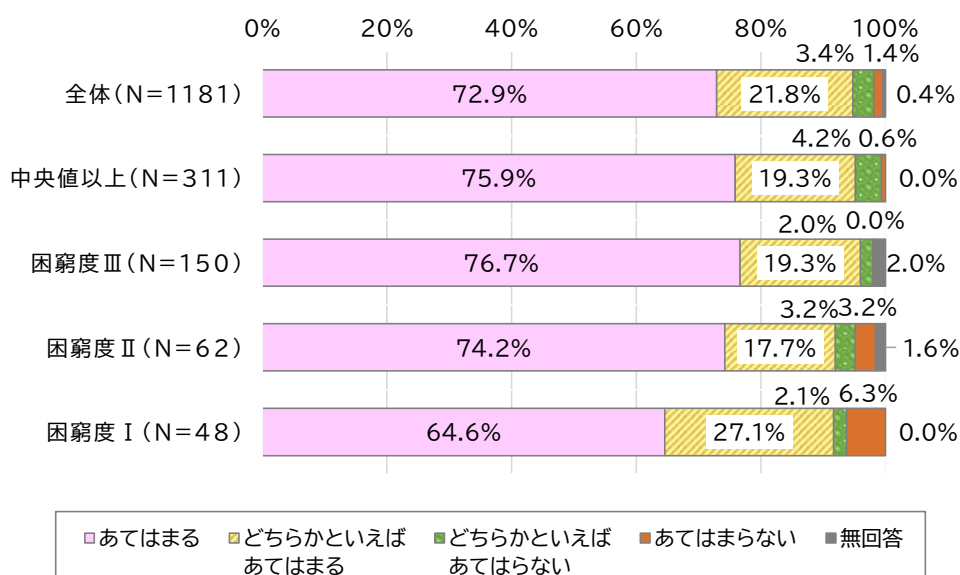
⑥将来の夢や目標を持っている（小学生・困窮度別）



②中学生調査：⑤ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある

ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがあるかについては、困窮度が高いほど「あてはまる」が少なくなっています。

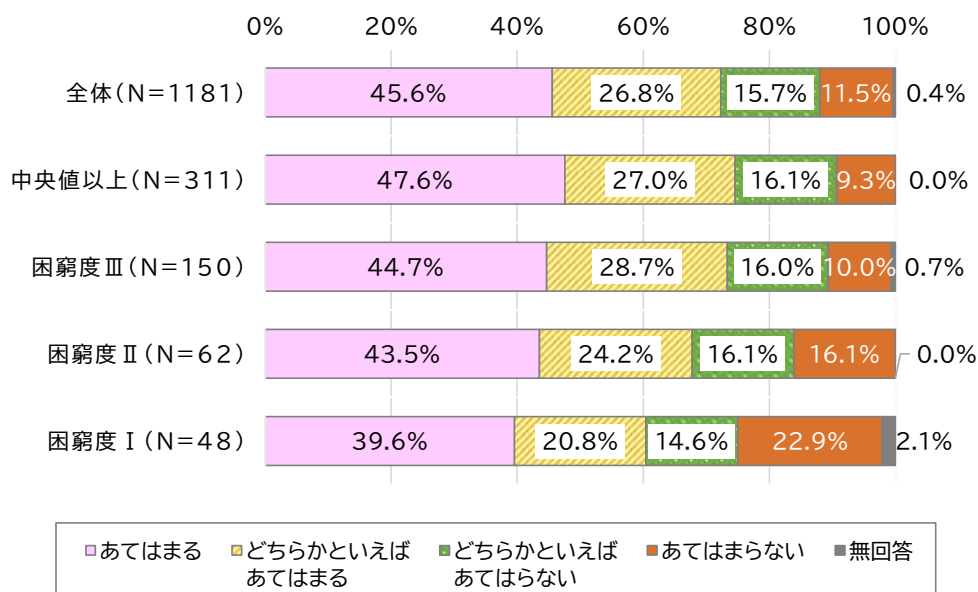
⑤ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある（中学生・困窮度別）



②中学生調査：⑥将来の夢や目標を持っている

将来の夢や目標を持っているかについては、困窮度が高いほど『あてはまらない』が多くなっています。

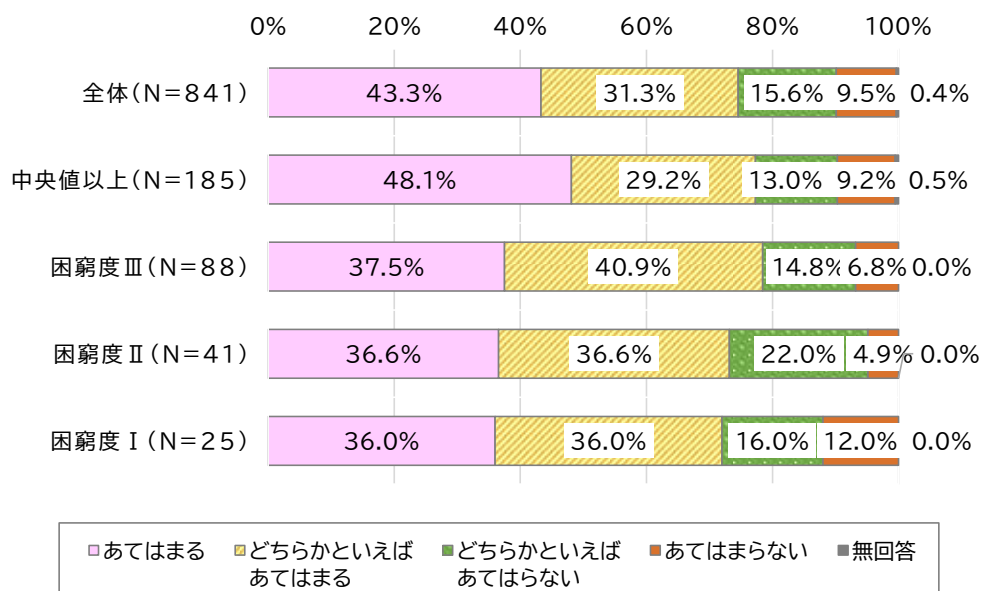
⑥将来の夢や目標を持っている（中学生・困窮度別）



③高校生調査：⑥将来の夢や目標を持っている

将来の夢や目標を持っているかについては、困窮度が高いほど『あてはまらない』が多くなっています。

⑥将来の夢や目標を持っている（高校生・困窮度別）



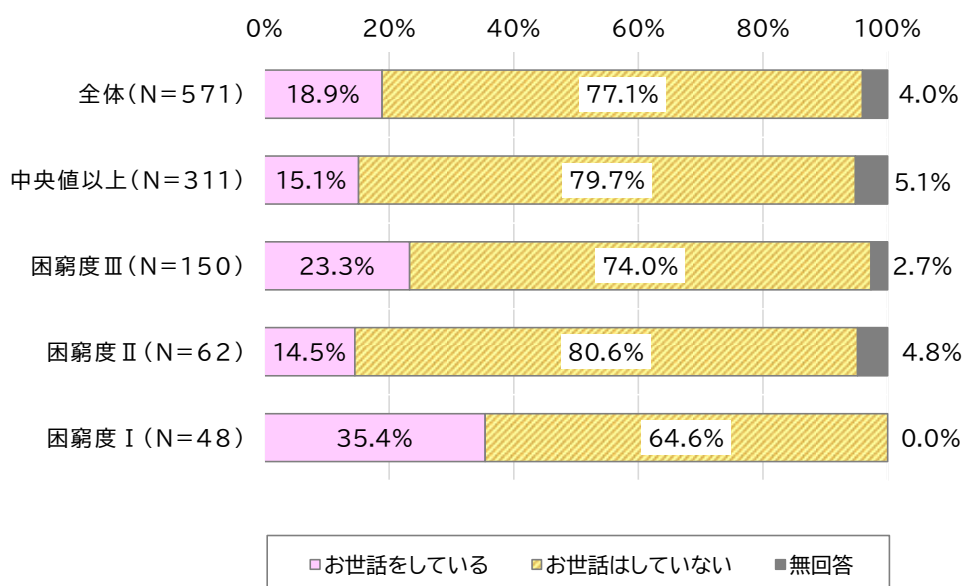
問 16 あなたの家族の中に、あなたがお世話をしている人はいますか。(あてはまる番号すべてを選択してください)※お世話とは、食事の準備や洗濯、お風呂やトイレなど大人に代わってめんどうみることです。

※家族のいずれかにお世話をしている人を『お世話をしている』でまとめて集計

②中学生調査

お世話をしている人がいるかについては、困窮度Ⅰで『お世話をしている』が多くなっています。

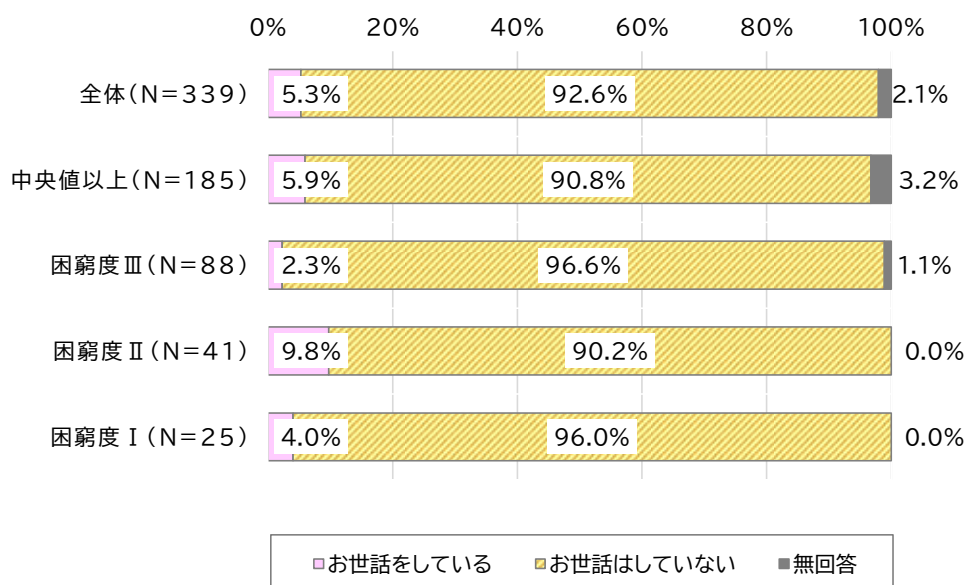
お世話をしている人の有無（中学生・困窮度別）



③高校生調査

お世話をしている人がいるかについては、困窮度Ⅱで『お世話をしている』が多くなっています。

お世話をしている人の有無（高校生・困窮度別）

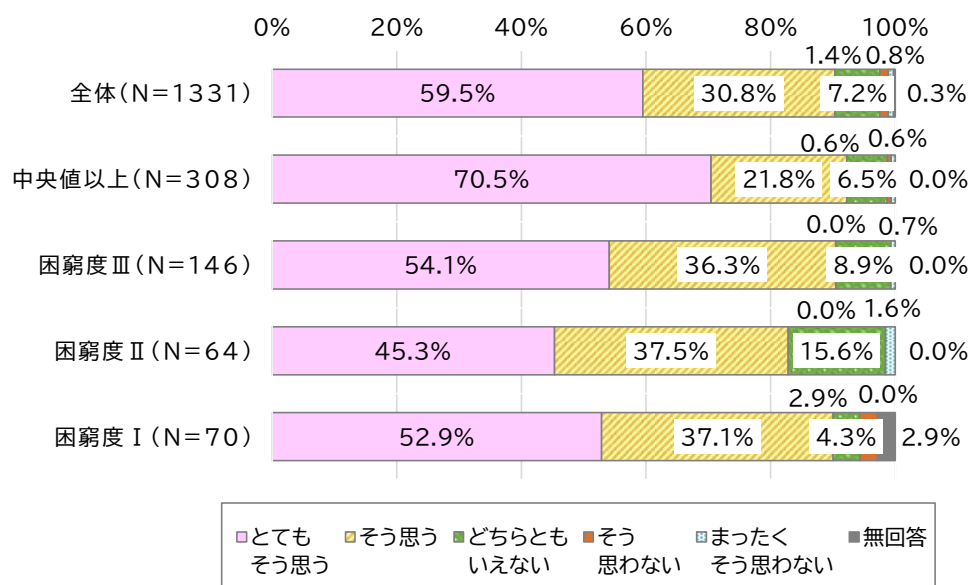


問 18 あなたのお父さん・お母さんや学校の先生は、あなたのことを決めるときに、あなたの意見を聞いて、大事にしてくれていると思いますか。(それぞれ、あてはまる番号 1 つを選んでください)

①小学生調査：①お父さん・お母さん（または身近な人）

あなたのことを決めるとき意見を聞いてくれているかについては、困窮度Ⅱで『そう思う』が少なくなっています。

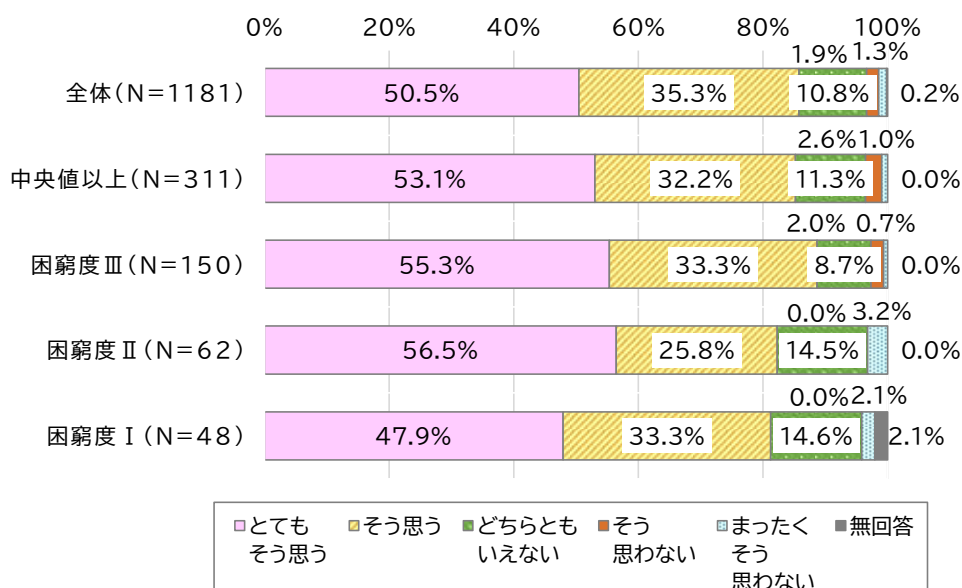
①お父さん・お母さんがあなたの意見を大事にしてくれるか（小学生・困窮度別）



②中学生調査：①お父さん・お母さん（または身近な人）

あなたのことを決めるとき意見を聞いてくれているかについては、困窮度Ⅰで『そう思う』が少なくなっています。

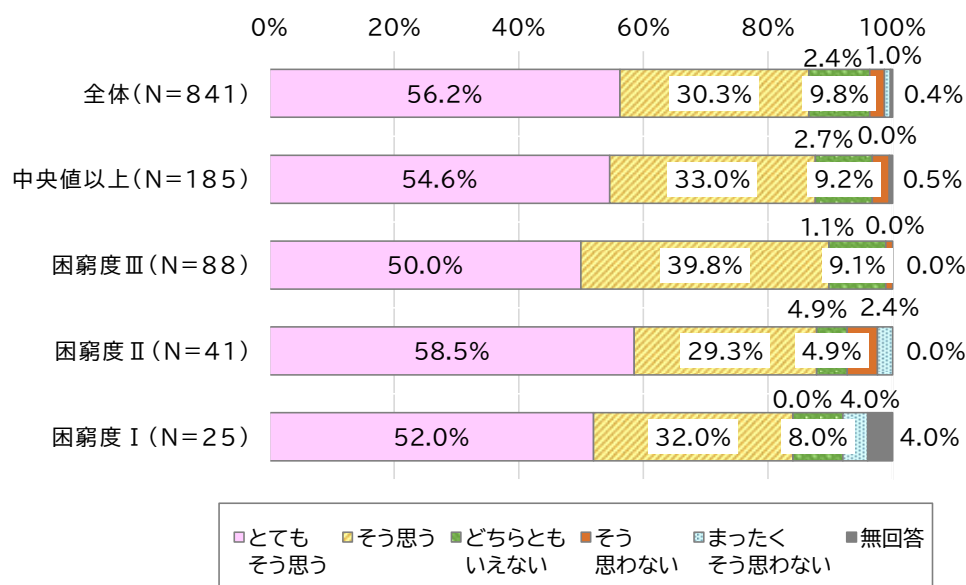
①お父さん・お母さんがあなたの意見を大事にしてくれるか（中学生・困窮度別）



③ 高校生調査：①お父さん・お母さん（または身近な人）

あなたのことを決めるとき意見を聞いてくれているかについては、困窮度Ⅰで『そう思う』が少なくなっています。

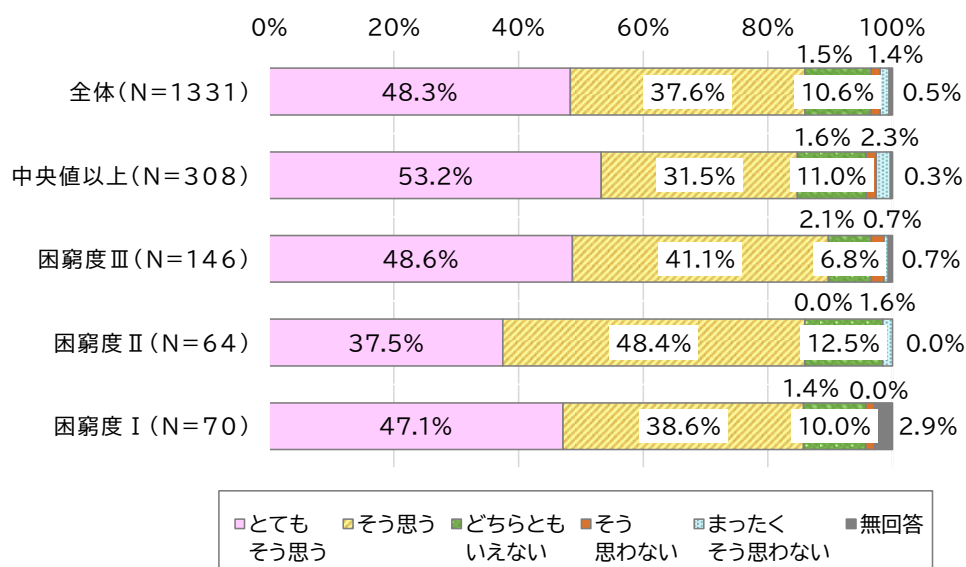
①お父さん・お母さんがあなたの意見を大事にしてくれるか（高校生・困窮度別）



①小学生調査：②学校の先生

あなたのことを決めるとき意見を聞いてくれているかについては、困窮度Ⅱで「とてもそう思う」が少なくなっています。

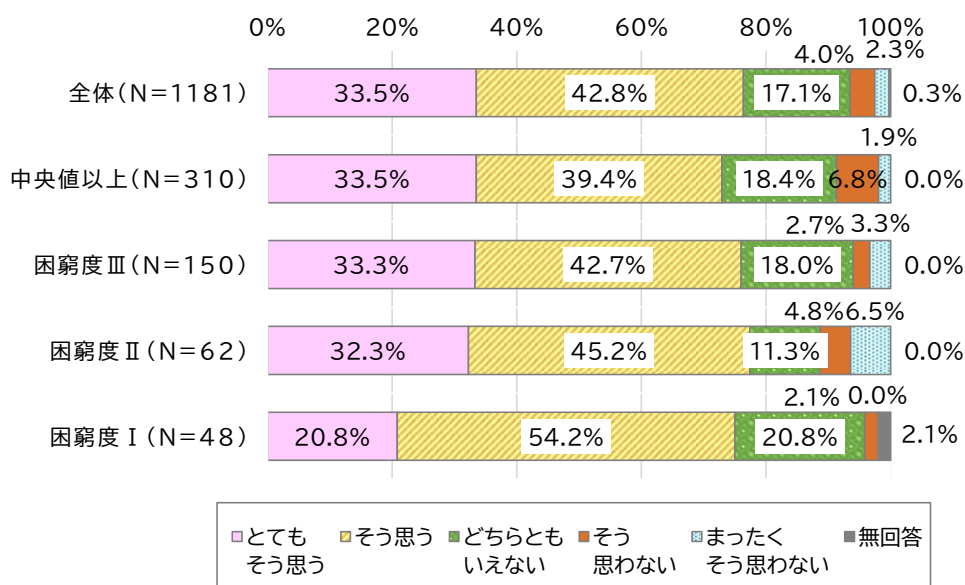
②学校の先生があなたの意見を大事にしてくれるか（小学生・困窮度別）



②中学生調査：②学校の先生

あなたのことを決めるとき意見を聞いてくれているかについては、困窮度Ⅰで「とてもそう思う」が少なくなっています。

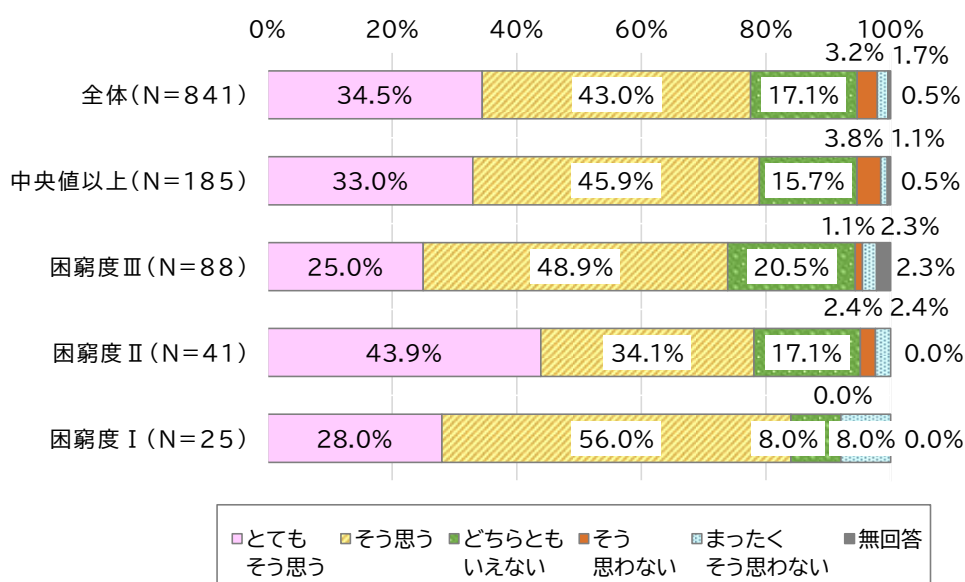
②学校の先生があなたの意見を大事にしてくれるか（中学生・困窮度別）



③高校生調査：②学校の先生・職場の人

あなたのことを決めるとき意見を聞いてくれているかについては、困窮度Ⅲで『そう思う』が少なくなっています。

②学校の先生・職場の人があなたの意見を大事にしてくれるか（高校生・困窮度別）



【高校生】問 20 あなたが結婚に対して持っているイメージを教えてください。(あてはまる番号すべてを選択してください)

③高校生調査

結婚のイメージについては、「好きな人と一緒にいられて幸せそう」がどの段階でも多いですが、困窮度が高いほど「お金がかかりそう」「家事や子育てが大変そう」が多くなっています。

結婚のイメージ（高校生・困窮度別）

項目	全体(n=841)		中央値以上 (n=185)		困窮度Ⅲ(n=88)		困窮度Ⅱ(n=41)		困窮度Ⅰ(n=25)	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率
好きな人と一緒にいられて幸せそう	404	48.0%	92	49.7%	38	43.2%	17	41.5%	10	40.0%
お金に余裕が出来るそう	46	5.5%	11	5.9%	6	6.8%	1	2.4%	2	8.0%
将来が安定しそう	139	16.5%	32	17.3%	9	10.2%	4	9.8%	3	12.0%
親や親せきが喜びそう	178	21.2%	42	22.7%	16	18.2%	5	12.2%	4	16.0%
家事や子育てが大変そう	336	40.0%	70	37.8%	37	42.0%	15	36.6%	10	40.0%
お金がかかりそう	352	41.9%	73	39.5%	31	35.2%	18	43.9%	8	32.0%
自分の時間が減りそう	274	32.6%	57	30.8%	26	29.5%	12	29.3%	5	20.0%
仕事との両立が大変そう	246	29.3%	47	25.4%	19	21.6%	9	22.0%	7	28.0%
面倒そう、疲れそう	166	19.7%	35	18.9%	20	22.7%	6	14.6%	2	8.0%
特にない・わからない	46	5.5%	11	5.9%	6	6.8%	3	7.3%	0	0.0%
その他	2	0.2%	1	0.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	223	26.5%	48	25.9%	26	29.5%	12	29.3%	11	44.0%
回答者数	841		185		88		41		25	

【高校生】問 21 あなたが子育てに対して持っているイメージを教えてください。(あてはまる番号すべてを選択してください)

③高校生調査

子育てのイメージについては、「お金がかかりそう」がどの段階でも多くなっています。

子育てのイメージ（高校生・困窮度別）

項目	全体(n=841)		中央値以上 (n=185)		困窮度Ⅲ(n=88)		困窮度Ⅱ(n=41)		困窮度Ⅰ(n=25)	
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率
幸せそう	340	40.4%	83	44.9%	26	29.5%	15	36.6%	9	36.0%
楽しいことが増えそう	343	40.8%	78	42.2%	29	33.0%	14	34.1%	8	32.0%
生活が充実しそう	237	28.2%	49	26.5%	22	25.0%	10	24.4%	7	28.0%
自分も成長できそう	258	30.7%	56	30.3%	24	27.3%	9	22.0%	10	40.0%
お金がかかりそう	428	50.9%	98	53.0%	41	46.6%	22	53.7%	11	44.0%
自分の時間が減りそう	308	36.6%	68	36.8%	33	37.5%	17	41.5%	3	12.0%
仕事との両立が大変そう	339	40.3%	71	38.4%	35	39.8%	14	34.1%	9	36.0%
面倒そう・疲れそう	230	27.3%	49	26.5%	30	34.1%	10	24.4%	2	8.0%
特にない・わからない	31	3.7%	6	3.2%	6	6.8%	2	4.9%	0	0.0%
その他	2	0.2%	1	0.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	223	26.5%	48	25.9%	26	29.5%	12	29.3%	11	44.0%
回答者数	841		185		88		41		25	

3 自己肯定感や満足度による分析

【小学生、中学生、高校生調査】自己肯定感による分析

①自分にはよいところがある【小学生調査:問 13①、中学生調査:問 14①、高校生調査:問 18①】によるクロス集計

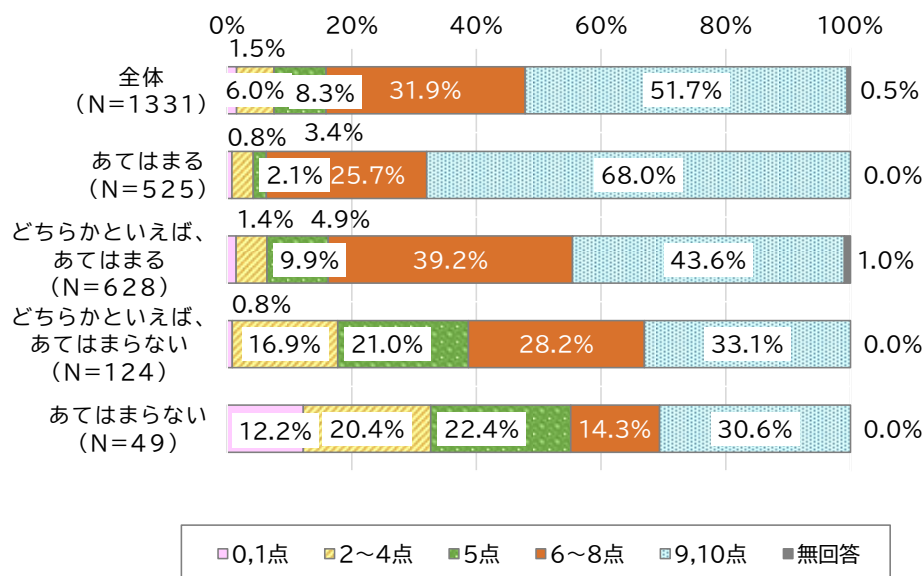
問9 全体として、あなたは最近の生活にどのくらい満足していますか。(満足度を0(不満)～10(満足)のいずれかの数字を選択してください)

※点数項目が多いため、まとめた数字で集計しています。

①小学生調査

自分にはよいところがある自己肯定感と生活の満足度については、自己肯定感が高いほど生活の満足度の点数が高くなっています。

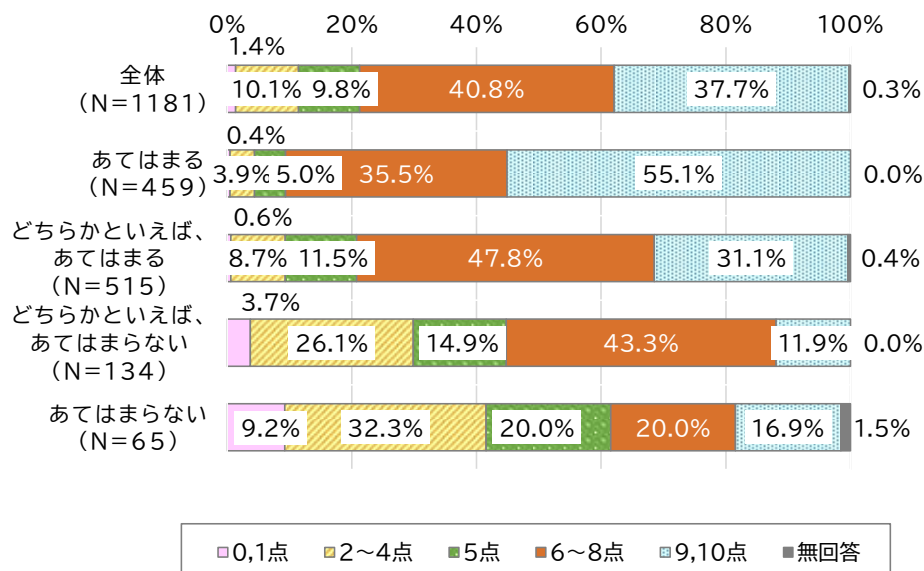
自己肯定感と生活の満足度（小学生）



②中学生調査

自分にはよいところがある自己肯定感と生活の満足度については、自己肯定感が高いほど生活の満足度の点数が高くなっています。

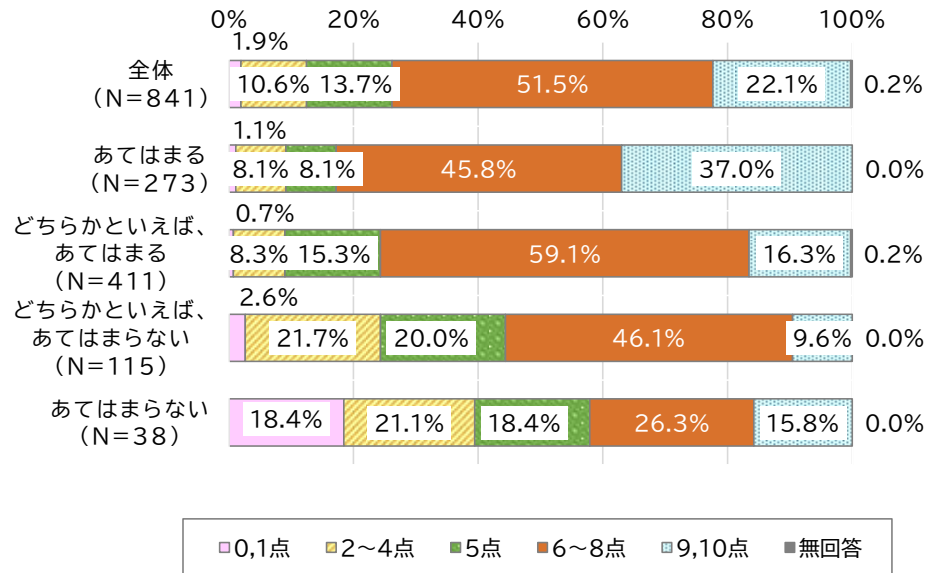
自己肯定感と生活の満足度（中学生）



③ 高校生調査

自分にはよいところがある自己肯定感と生活の満足度については、自己肯定感が高いほど生活の満足度の点数が高くなっています。

自己肯定感と生活の満足度（高校生）

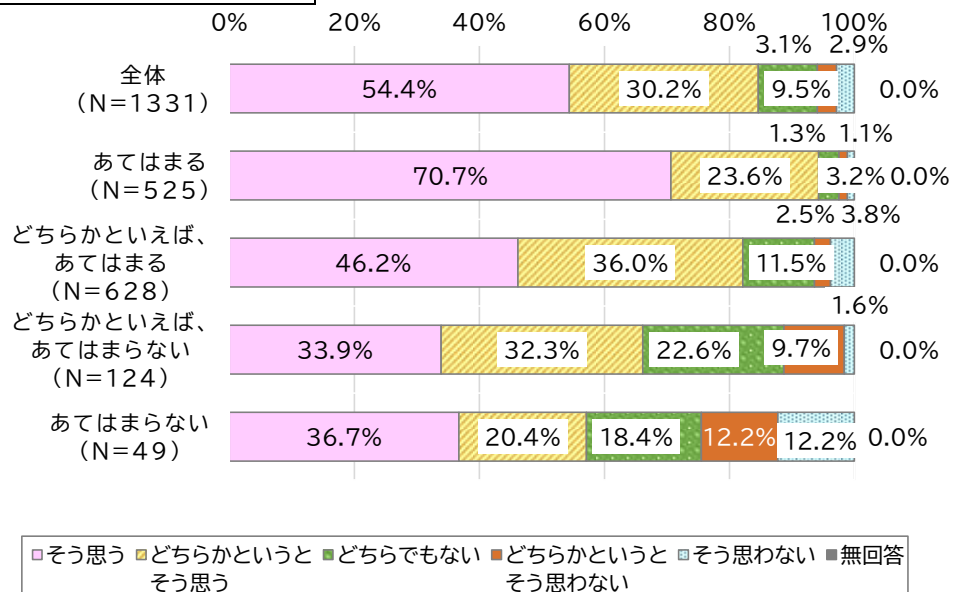


問 10 学校は楽しいと思いますか。(あてはまる番号 1 つを選んでください)

① 小学生調査

自分にはよいところがある自己肯定感と学校が楽しいかについては、自己肯定感が高いほど学校が楽しい『そう思う』が高くなっています。

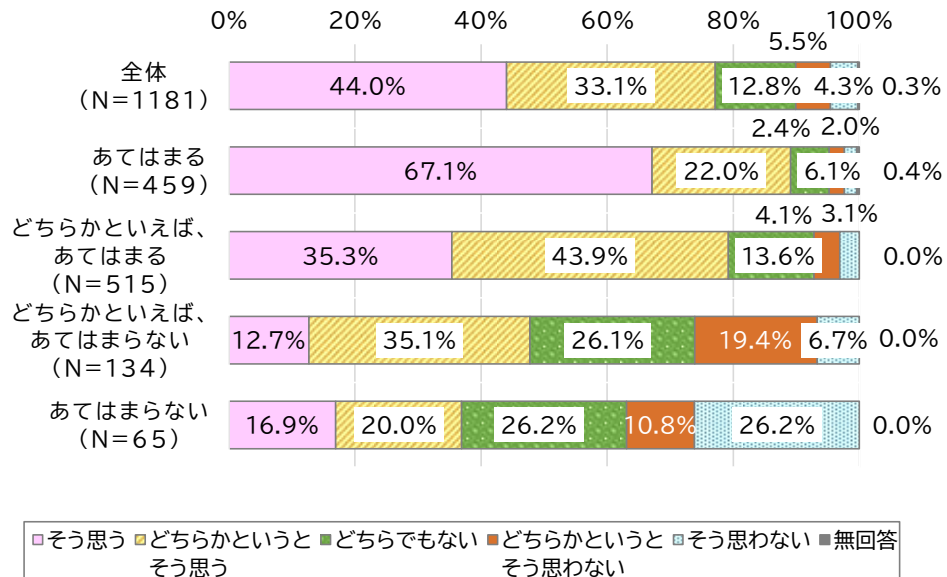
自己肯定感と学校の楽しさ（小学生）



②中学生調査

自分にはよいところがある自己肯定感と学校が楽しいかについては、自己肯定感が高いほど学校が楽しい『そう思う』が高くなっています。

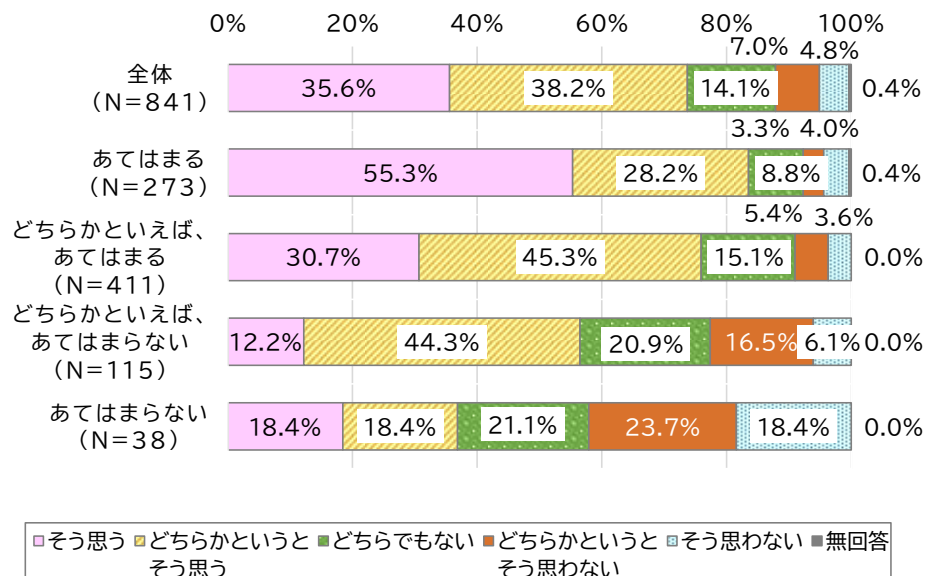
自己肯定感と学校の楽しさ（中学生）



③高校生調査

自分にはよいところがある自己肯定感と学校が楽しいかについては、自己肯定感が高いほど学校が楽しい『そう思う』が高くなっています。

自己肯定感と学校の楽しさ（高校生）

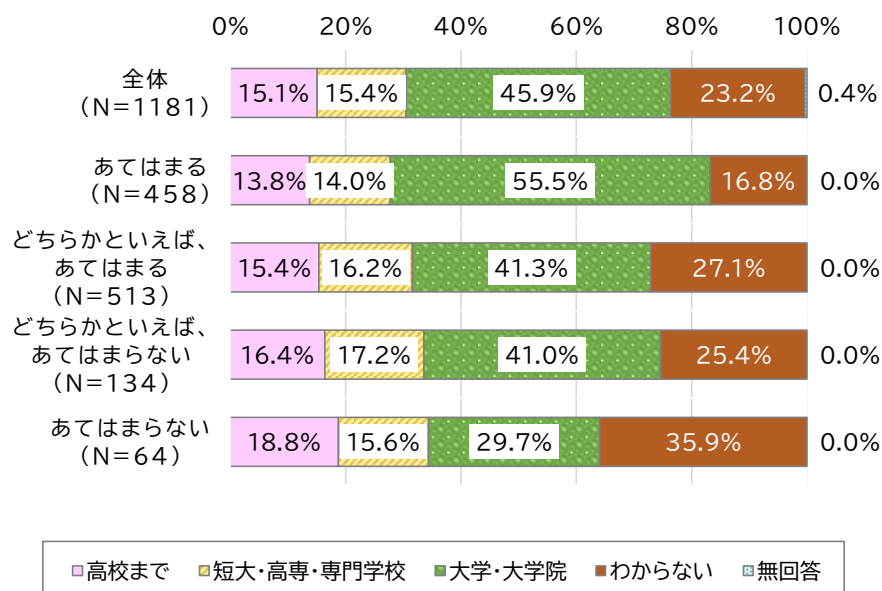


【中学生・高校生】問 10 あなたは将来、どの段階まで進学したいですか。(あてはまる番号1つを選んでください)

②中学生調査

自分にはよいところがある自己肯定感と将来の進学先については、自己肯定感が高いほど「大学・大学院」が多くなっています。

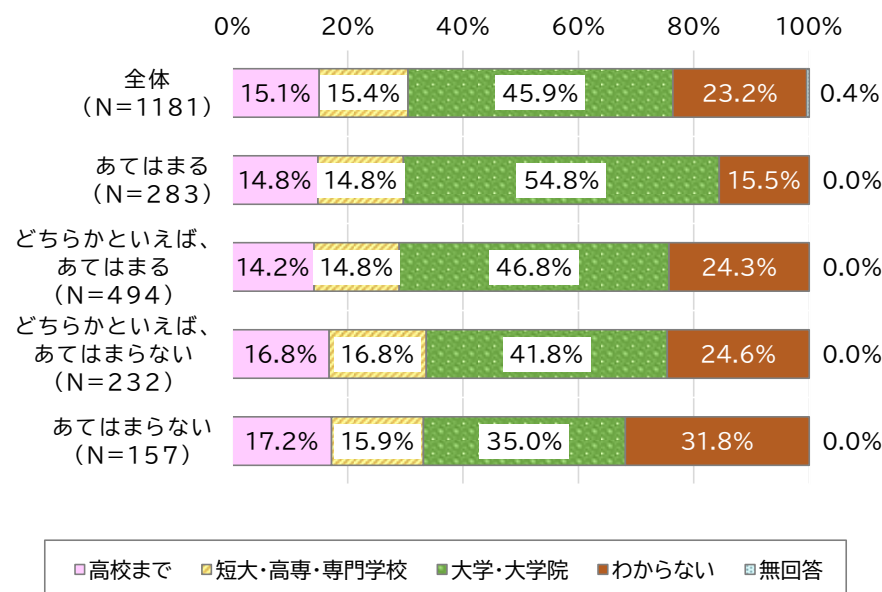
自己肯定感と将来の進学先（中学生）



③高校生調査

自分にはよいところがある自己肯定感と将来の進学先については、自己肯定感が高いほど「大学・大学院」が多くなっています。

自己肯定感と将来の進学先（高校生）

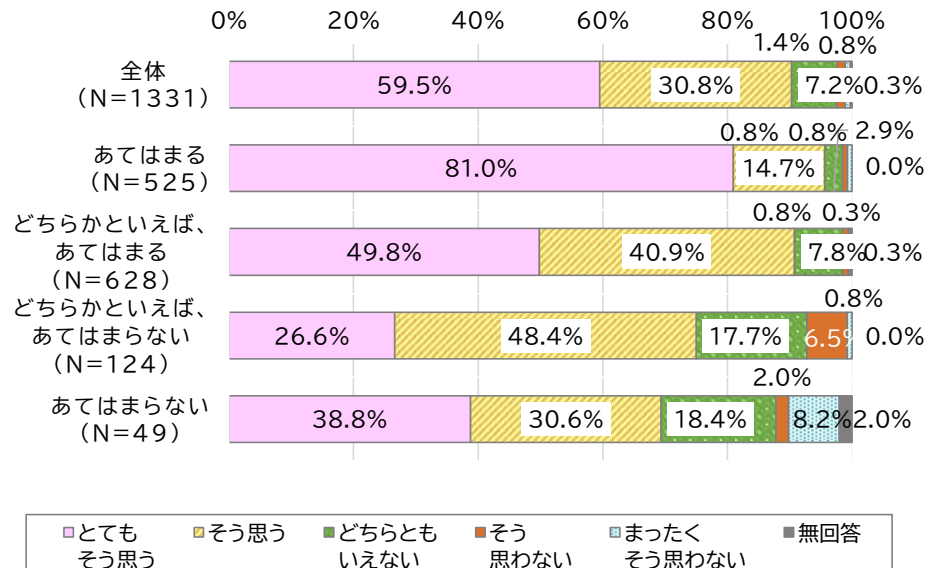


問 18 あなたのお父さん・お母さんや学校の先生は、あなたのことを決めるときに、あなたの意見を聞いて、大事にしてくれていると思いますか。(それぞれ、あてはまる番号 1 つを選んでください)

①小学生調査：①お父さん・お母さん(または身近な人)

自分にはよいところがある自己肯定感とあなたの意見を聞いてくれるかについては、自己肯定感が高いほど聞いてくれる『そう思う』が高くなっています。

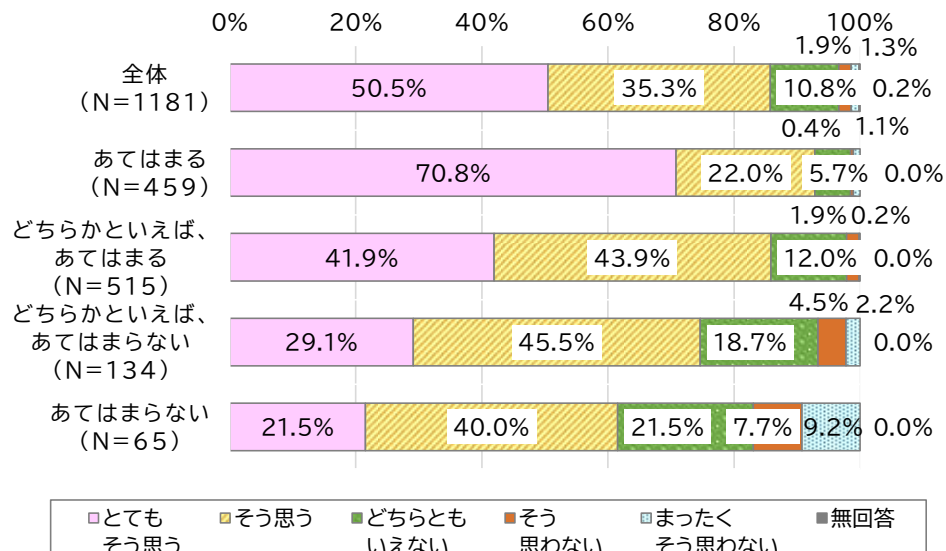
自己肯定感と①お父さん・お母さんが意見を聞いてくれるか（小学生）



②中学生調査：①お父さん・お母さん(または身近な人)

自分にはよいところがある自己肯定感とあなたの意見を聞いてくれるかについては、自己肯定感が高いほど聞いてくれる『そう思う』が高くなっています。

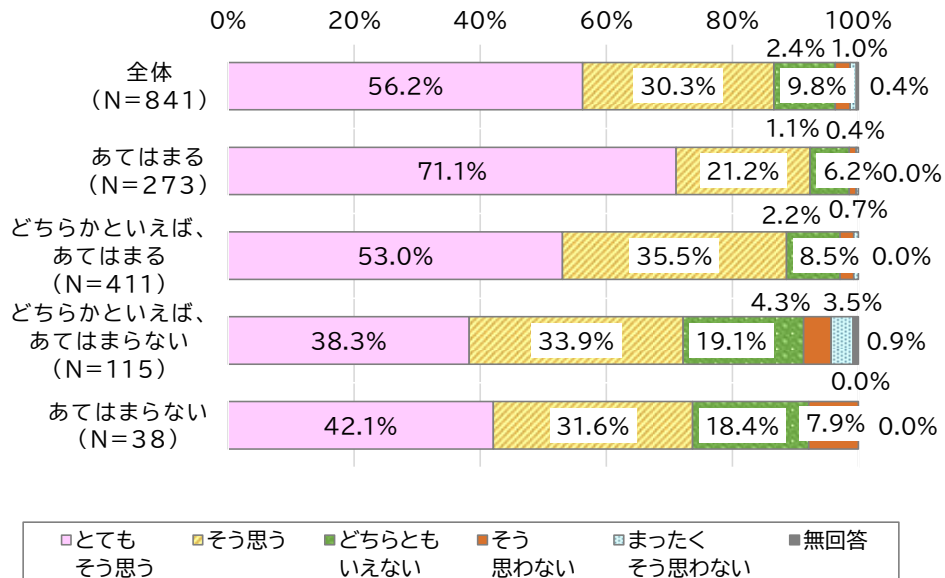
自己肯定感と①お父さん・お母さんが意見を聞いてくれるか（中学生）



③ 高校生調査：①お父さん・お母さん(または身近な人)

自分にはよいところがある自己肯定感とあなたの意見を聞いてくれるかについては、自己肯定感が高いほど聞いてくれる『そう思う』が高くなっています。

自己肯定感と①お父さん・お母さんが意見を聞いてくれるか（高校生）

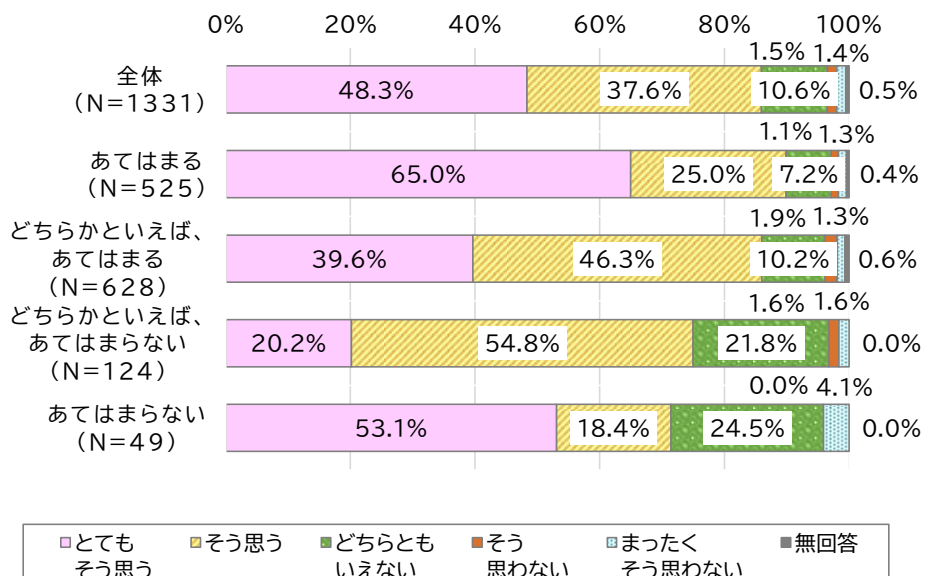


①小学生調査：②学校の先生

自分にはよいところがある自己肯定感とあなたの意見を聞いてくれるかについては、自己肯定感が高いほど聞いてくれる『そう思う』が高くなっています。

自己肯定感の「どちらかといえばあてはまらない」では、「とてもそう思う」が特に低くなっています。

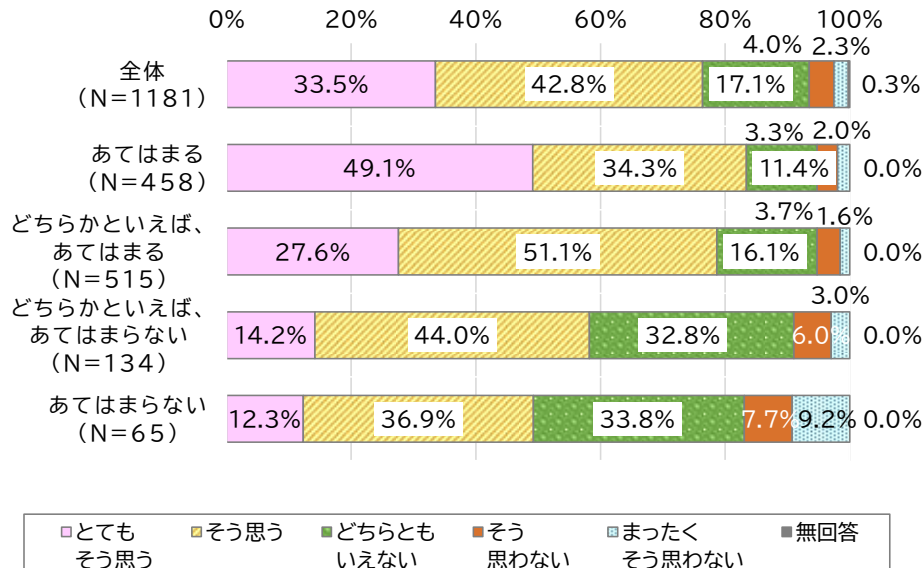
自己肯定感と②学校の先生が意見を聞いてくれるか（小学生）



②中学生調査：②学校の先生

自分にはよいところがある自己肯定感とあなたの意見を聞いてくれるかについては、自己肯定感が高いほど聞いてくれる『そう思う』が高くなっています。

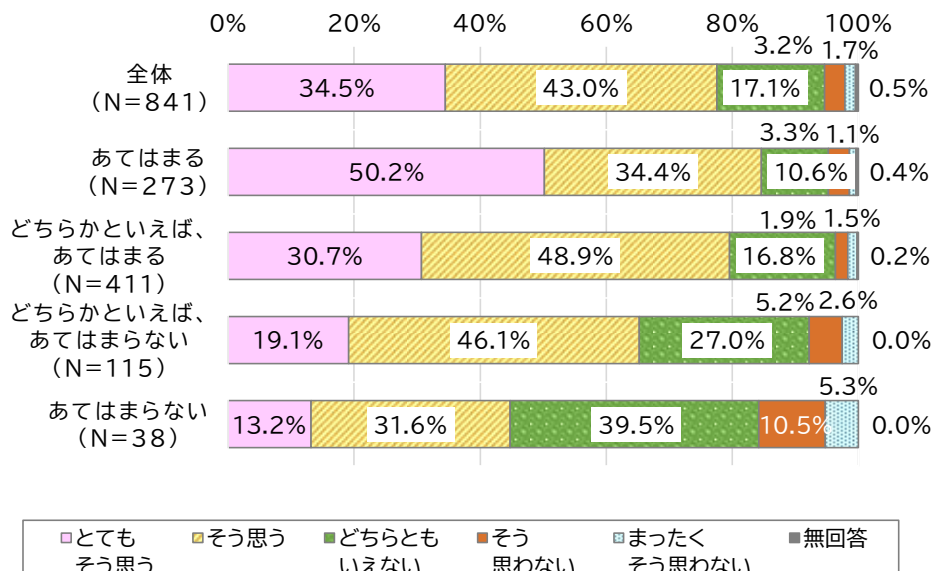
自己肯定感と②学校の先生が意見を聞いてくれるか（中学生）



③高校生調査：②学校の先生、職場の人

自分にはよいところがある自己肯定感とあなたの意見を聞いてくれるかについては、自己肯定感が高いほど聞いてくれる『そう思う』が高くなっています。

自己肯定感と②学校の先生、職場の人が意見を聞いてくれるか（高校生）

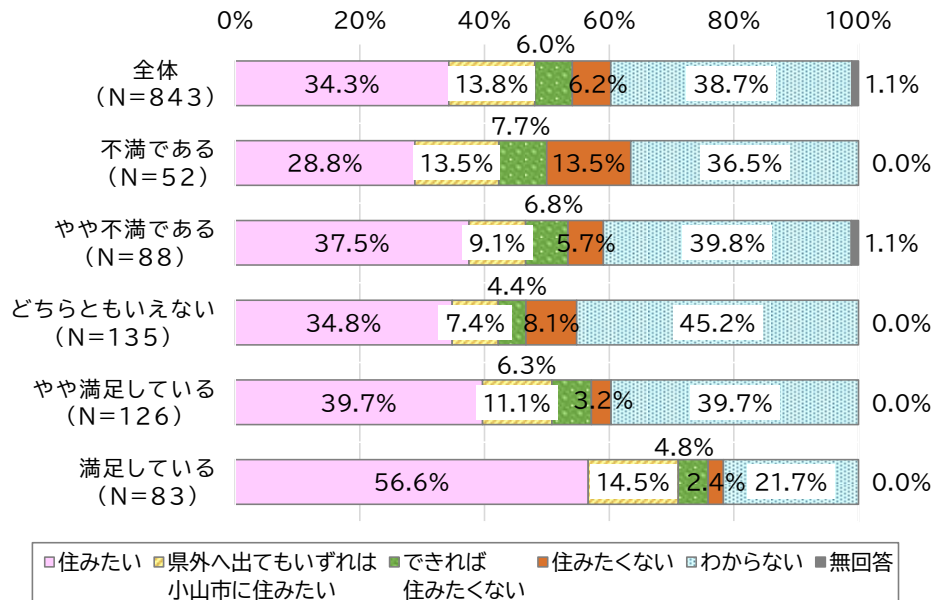


【若者調査】満足度による分析

問 17 あなたは、将来も小山市に住みたいと思いますか。(あてはまる番号 1 つを選んでください)

生活の満足度と将来の小山市への居住については、満足度が高いほど「住みたい」が多くなっています。

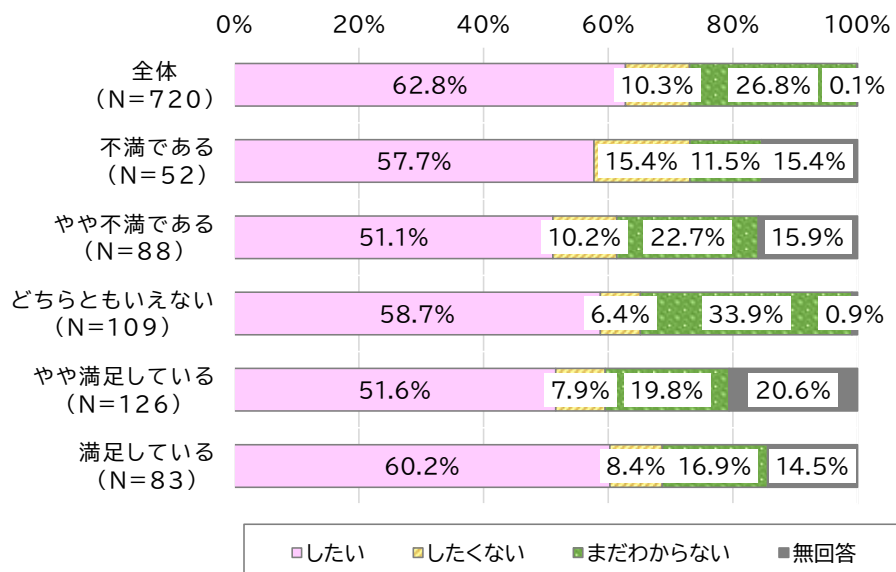
生活の満足度と将来小山市に住みたいか（若者）



問 18-1 あなたは将来結婚したいと考えていますか。(あてはまる番号 1 つを選んでください)

生活の満足度と将来の結婚したいかについては、「満足している」で結婚「したい」がやや多くなっています。

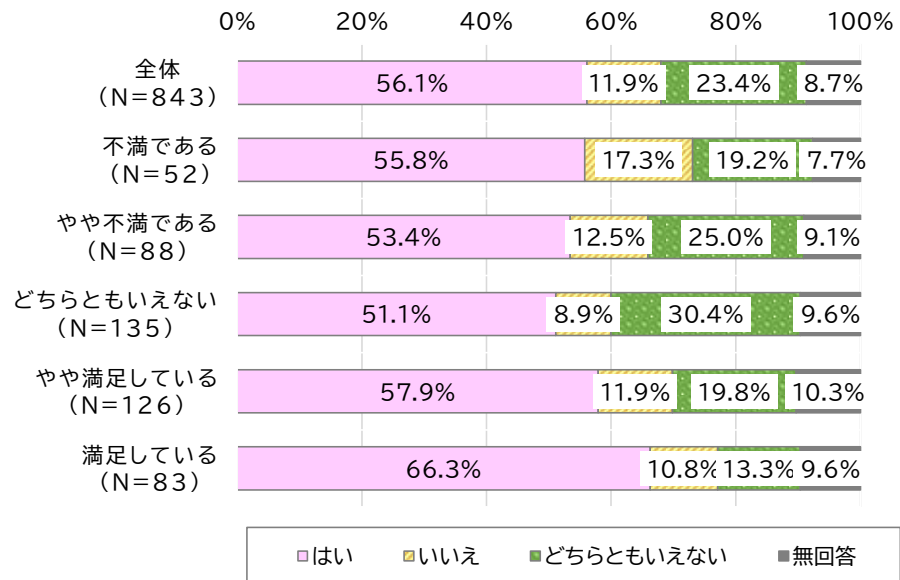
生活の満足度と将来結婚したいか（若者）



問 21 あなたは将来、子どもは欲しいと思いますか。(あてはまる番号 1 つを選んでください)

生活の満足度と将来の子どもが欲しいかについては、満足度が高いほど子どもが欲しい「はい」が多くなっています。

生活の満足度と将来子どもが欲しいか（若者）

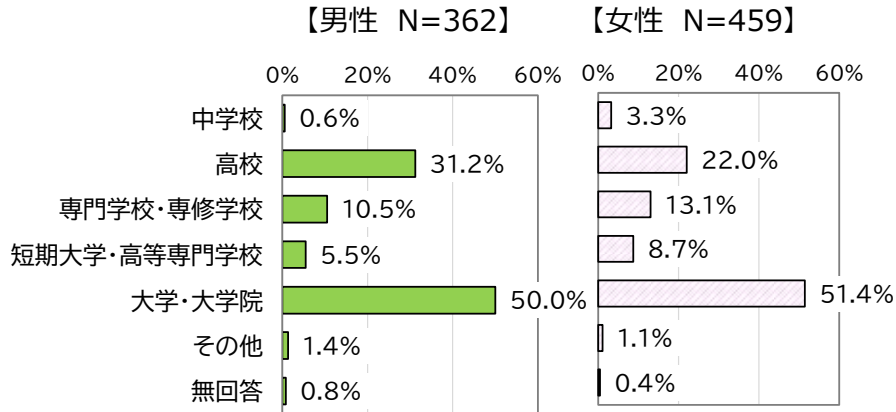


4 若者調査の男女クロスによる分析

問4 あなたが最後に卒業(中退含む)した学校を教えてください。在学中の方は、現在在学している学校を教えてください。(あてはまる番号1つを選んでください)

最後に卒業(中退含む)した学校、現在在学している学校については、「高校」で「女性」より「男性」が9.2ポイント多くなっています。

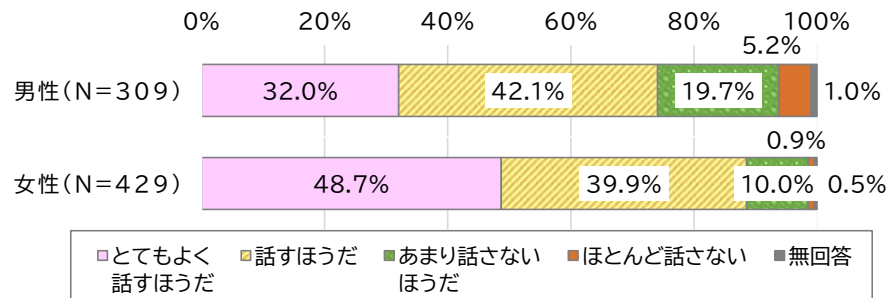
最終学歴(男女別)



問7 あなたは家でよく話をするほうですか。それとも話さないほうですか。(あてはまる番号1つを選んでください)

家でよく話をするかでは、『話すほうだ』で「男性」より「女性」が14.5ポイント多くなっています。

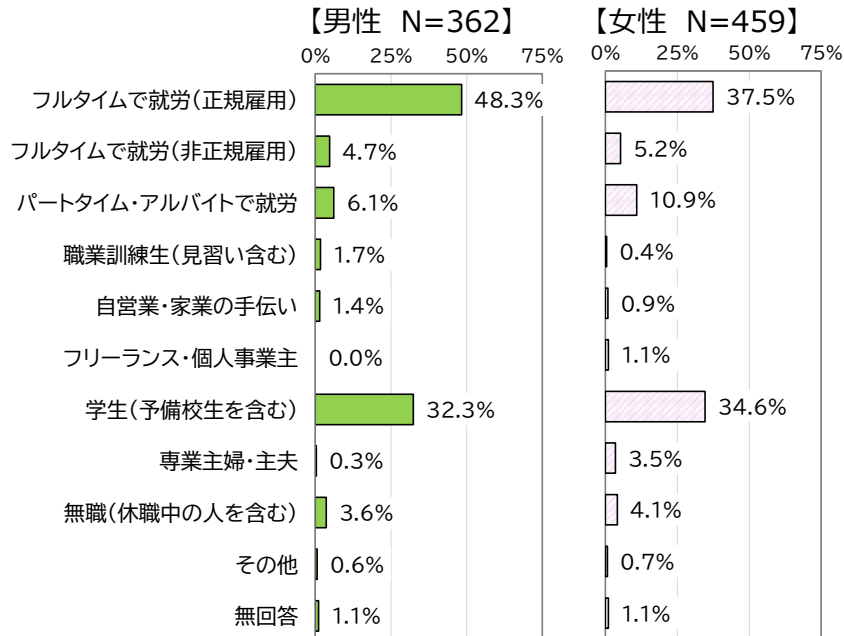
家での会話の頻度(男女別)



問9 あなたの現在の就労・就学状況について教えてください。(あてはまる番号 1 つを選んでください)

現在の就労・就学状況については、「フルタイムで就労（正規雇用）」で「女性」より「男性」が 10.8 ポイント多く、「パートタイム・アルバイトで就労」で「男性」より「女性」が 4.8 ポイント多くなっています。

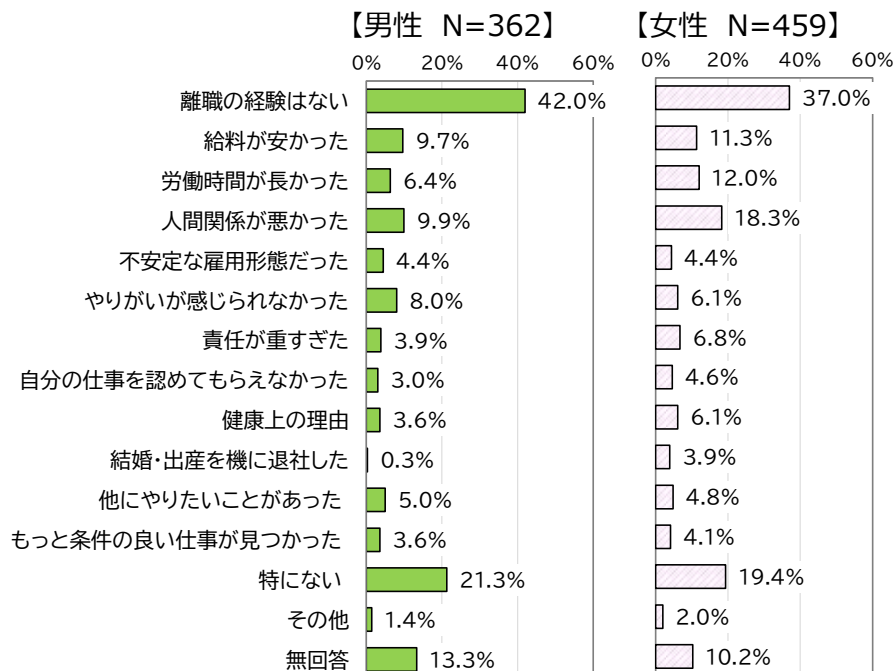
現在の就労・就学状況（男女別）



問10 今までに離職した経験はありますか。ある場合は、その理由を教えてください。(あてはまる番号すべてを選択してください)

今までに離職した経験、離職の理由については、「人間関係が悪かった」で「男性」より「女性」が 8.4 ポイント多くなっています。

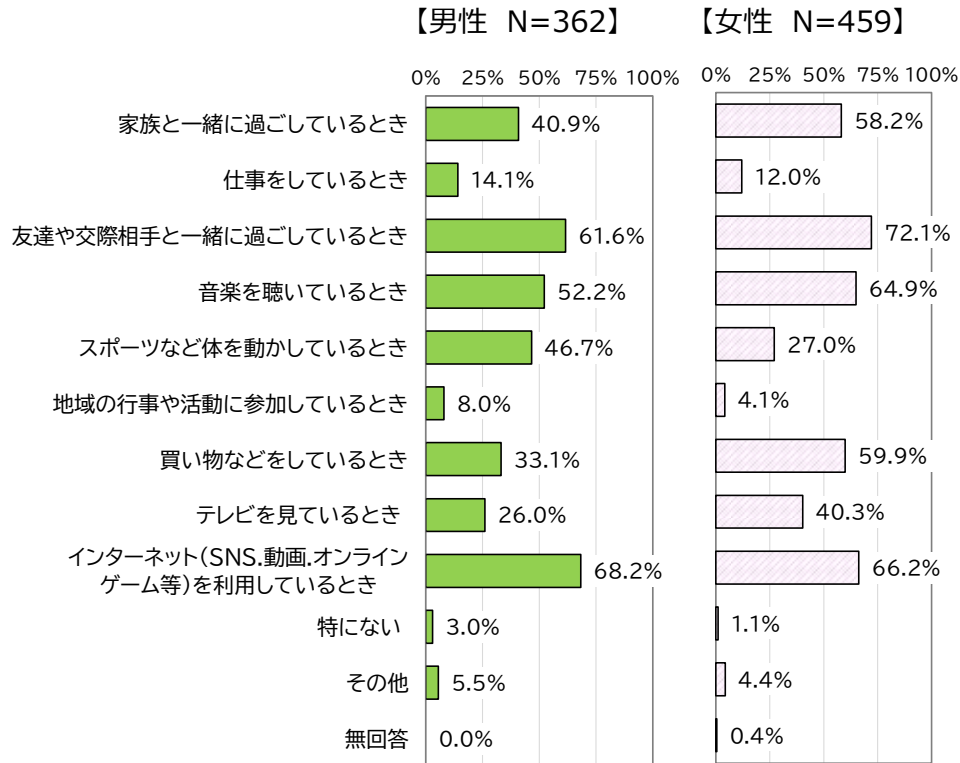
離職経験とその理由（男女別）



問 12 あなたは、普段の生活の中で一番楽しさを感じるのはどんなときですか。(あてはまる番号すべてを選択してください)

普段の生活の中で一番楽しさを感じるタイミングについては、「男性」より「女性」が 10 ポイント以上多い項目は、「家族と一緒に過ごしているとき」「友達や交際相手と一緒に過ごしているとき」「音楽を聴いているとき」「買い物などをしているとき」「テレビを見ているとき」となっています。

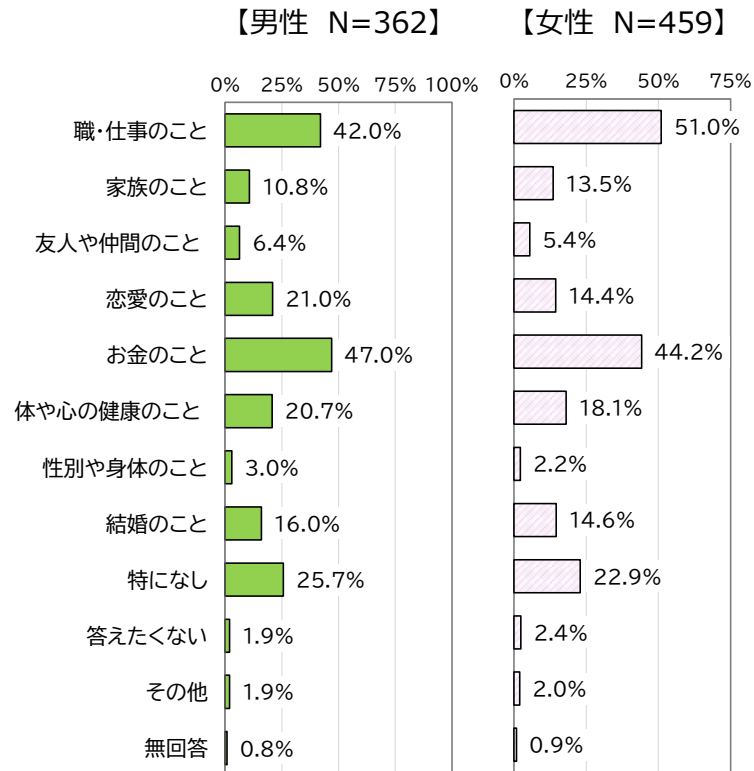
普段の生活で楽しいこと（男女別）



問 13 あなたは、現在困っていることや悩んでいることがありますか。(あてはまる番号すべてを選択してください)

現在困っていることや悩んでいることについては、「職・仕事のこと」で「男性」より「女性」が 9.0 ポイント多くなっています。

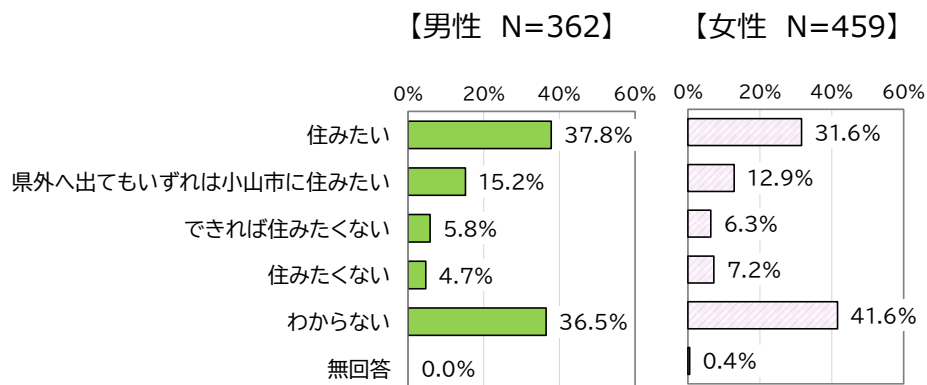
現在の困りごと悩みごと（男女別）



問 17 あなたは、将来も小山市に住みたいと思いますか。(あてはまる番号 1 つを選んでください)

将来も小山市に住みたいと思うかでは、『住みたい』で「女性」より「男性」が 8.5 ポイント多くなっています。

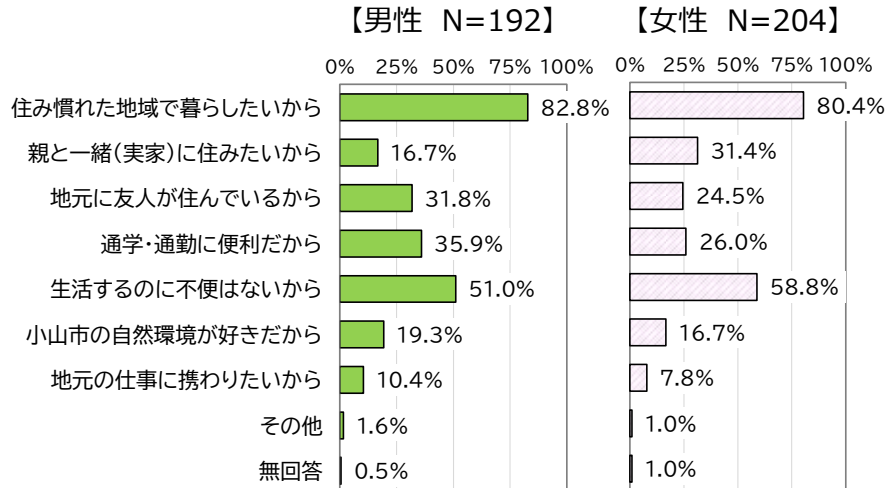
将来小山市に住みたいか（男女別）



問 17-1 小山市に住みたい理由は何ですか。(あてはまる番号すべてを選択してください)

小山市に住みたい理由については、「親と一緒に（実家）に住みたいから」で「男性」より「女性」が 14.7 ポイント多く、「通学・通勤に便利だから」で「女性」より「男性」が 9.9 ポイント多くなっています。

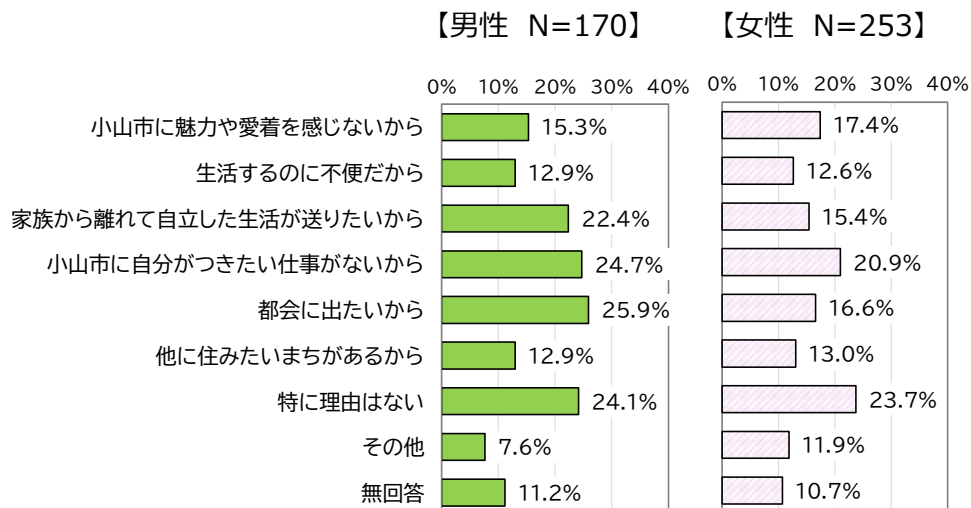
将来小山市に住みたい理由（男女別）



問 17-2 小山市に住みたくない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてを選択してください)

小山市に住みたくない理由については、「都会に出たいから」で「女性」より「男性」が 9.3 ポイント多くなっています。

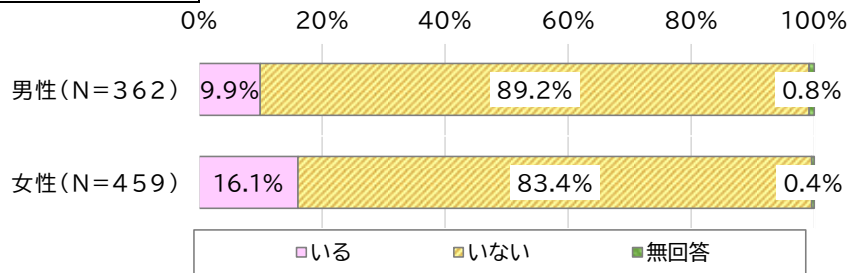
将来小山市に住みたくない理由（男女別）



問 18 あなたは配偶者がいますか。(あてはまる番号 1 つを選んでください)

配偶者の有無については、「いる」で「男性」より「女性」が 6.2 ポイント多くなっています。

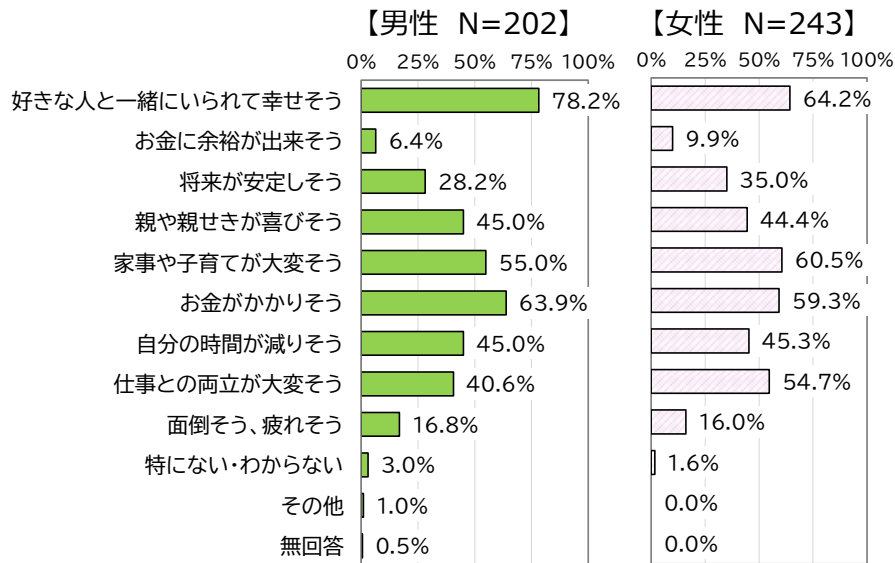
配偶者の有無（男女別）



問 18-3 あなたが結婚に対して持っているイメージを教えてください。(あてはまる番号すべてを選択してください)

結婚に対して持っているイメージについては、「好きな人と一緒にいられて幸せそう」で「女性」より「男性」が 14.0 ポイント多く、「仕事との両立が大変そう」で「男性」より「女性」が 14.1 ポイント多くなっています。

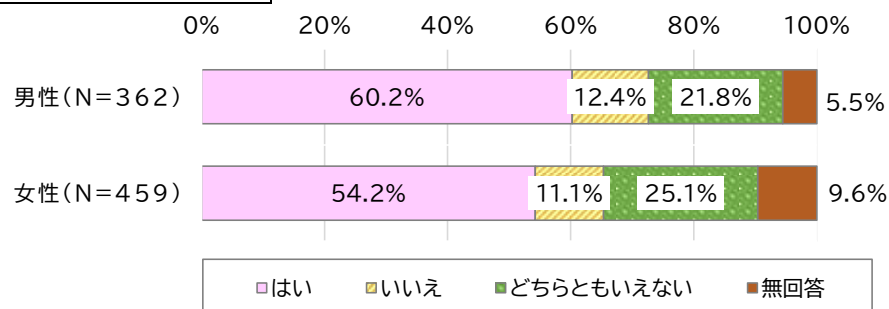
結婚のイメージ（男女別）



問 21 あなたは将来、子どもは欲しいと思いますか。(あてはまる番号 1 つを選んでください)

将来、子どもは欲しいかは、「はい」で「女性」より「男性」が 6.0 ポイント多くなっています。

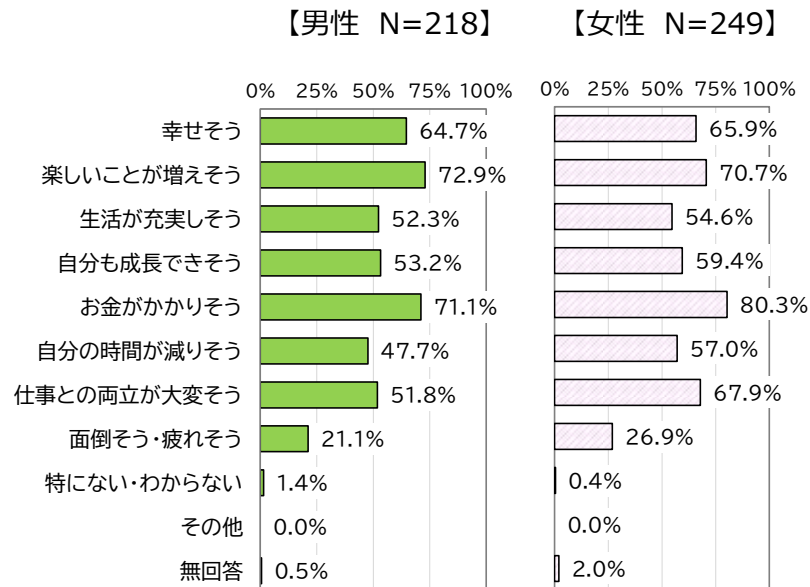
将来子どもが欲しいか（男女別）



問 21-2 あなたが子育てに対して持っているイメージを教えてください。(あてはまる番号すべてを選択してください)

子育てに対して持っているイメージについては、「仕事との両立が大変そう」で「男性」より「女性」が16.1ポイント多くなっており、さらに「お金がかかりそう」「自分の時間が減りそう」で「女性」の方が約9ポイント多くなっています。

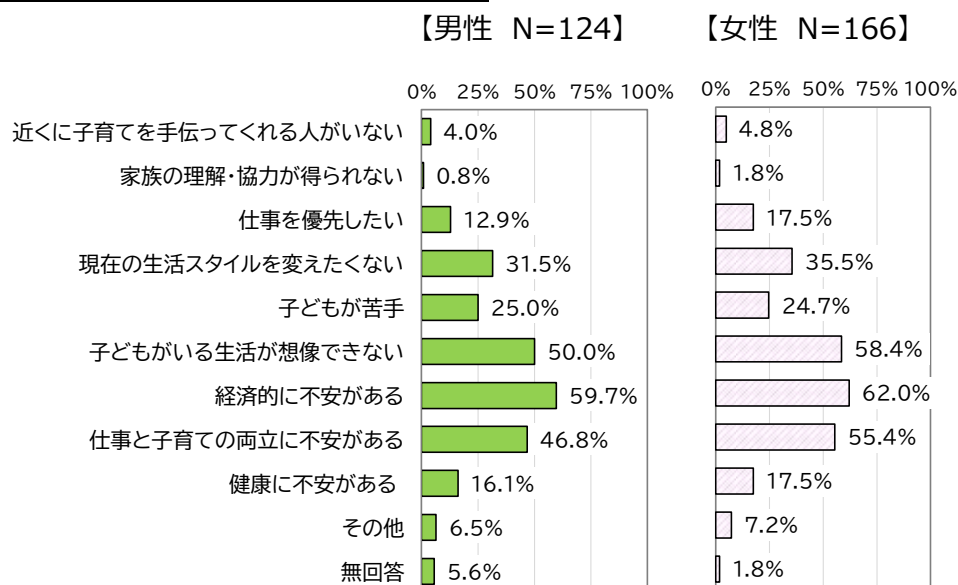
子育てのイメージ（男女別）



問 21-4 子どもが欲しいと思わない理由またはどちらともいえない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてを選択してください)

子どもを欲しいと思わない理由については、「仕事と子育ての両立に不安がある」で「男性」より「女性」が8.6ポイント多くなっています。

子どもを欲しいと思わない理由（男女別）

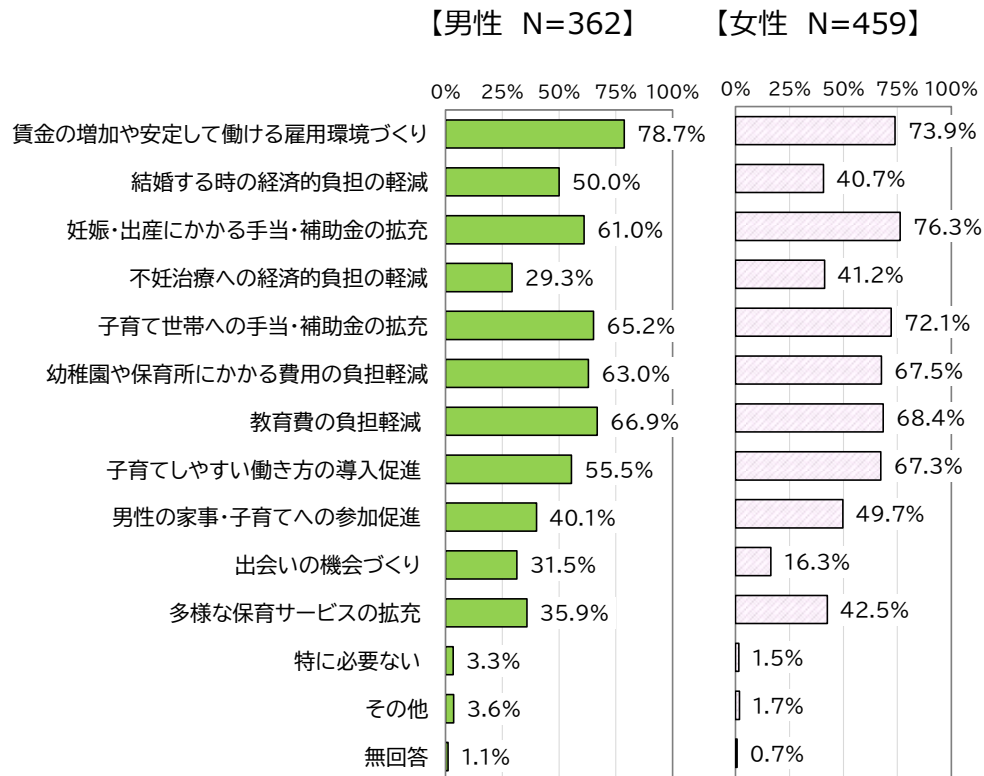


問 22 少子化対策として、あなたが必要だと思う支援は何ですか。(あてはまる番号すべてを選択してください)

少子化対策として、必要だと思う支援については、「妊娠・出産にかかる手当・補助金の拡充」「不妊治療への経済的負担の軽減」「子育てしやすい働き方の導入促進」で「男性」より「女性」が10ポイント以上多くなっています。

また、「出会いの機会づくり」で「女性」より「男性」が15.2ポイント多くなっています。

少子化対策に必要な支援（男女別）



IV 考察

1 就学前調査・小学生保護者の前回比較によるまとめ

○母親の就労状況(今回問9、前回問12)

フルタイムの就労が、今回 33.5%、前回 28.0%、就労していないが、今回 23.0%、前回 33.0%、パート・アルバイトの就労状況は変化がありませんでした。

○教育保育の利用状況(今回問12、前回問15)

幼稚園や保育所などの定期的な教育・保育事業を現在利用している方は、今回 74.2%、前回 69.3%と利用率が 4.9 ポイント上がっています。

■考察

母親の就労状況は、働いていないからフルタイムの就労へと移行しており、共働き世帯の増加がうかがえます。このため、定期的な教育・保育事業の利用が増えていることにもつながっており、この状況は今後も続くと思われます。少子化ではありますが、幼稚園、保育所、認定こども園などの施設は今後も継続して確保していく必要があると考えられます。

【就学前】

○母親、現在パート・アルバイト等の方の今後の就労希望(今回問10、前回問13)

現在、パート・アルバイト等で働いている方の、今後の意向は、見込がある、見込みがないを合わせて、フルタイムへの転換希望が今回 48.0%（うち見込みがないが 39.5%）、前回 33.9%となっています。

○母親、現在就労していない方の今後の就労希望(今回問11、前回問14)

現在働いていない母親の就労希望は、1年以内、1年より先を合わせて就労したいが、今回 78.8%、前回 62.9%となっています。その際の就労形態は、パート・アルバイト等が約9割と今回前回で変化はありませんでした。

【小学生】

○母親、現在パート・アルバイト等の方の今後の就労希望(今回問9、前回問9)

現在、パート・アルバイト等で働いている方の、今後の意向は、見込がある、見込みがないを合わせて、フルタイムへの転換希望が今回 39.0%（うち見込みがないが 31.9%）、前回 24.8%となっています。

○母親、現在就労していない方の今後の就労希望(今回問 10、前回問 10)

現在働いていない母親の就労希望は、1 年以内、1 年より先を合わせて就労したいが、今回 75.1%、前回 45.3%となっています。その際の就労形態は、パート・アルバイト等が約 9 割と今回前回で変化はありませんでした。

■考察

今後の母親の就労希望は、就学前保護者及び小学生保護者については、パート・アルバイト等からフルタイムへの転換、就労していないからパート・アルバイトへの就労希望が前回より大幅に増えていることから、就学前では、教育・保育事業の確保、小学生では学童保育クラブ、放課後子ども教室などの確保が必要となります。

また、フルタイムへの意向があっても見込みがない方も多くいることから母親の就労支援についても検討していく必要があります。

○定期的な教育・保育事業の利用状況、希望の事業(今回問 12-1、問 13、前回 15-1、問 16)

平日の保育所、幼稚園などの利用状況と今後の利用意向については、「幼稚園」で今回 14.4%、前回 28.6%、今後の利用意向 33.6%、「認可保育所(園)」で今回 43.2%、前回 33.3%、今後の利用意向 44.1%、「認定こども園」で、今回 32.0%、前回 19.2%、今後の利用意向 51.7%となっています。

また、預かり保育は、今回 19.1%、前回 10.7%、今後の利用意向 41.6%となっています。

○定期的な教育・保育事業を利用していない理由(今回問 12-3、前回問 15-5)

事業を利用していない理由については、子どもが小さいため今後考えている、利用する必要がないなどが約 4 割弱ですが、利用したいが、保育・教育の事業に空きがないとの回答は今回 15.9%、前回 13.5%となっています。

■考察

平日の利用状況は、幼稚園から認定こども園への移行が見られます。これは幼稚園から認定こども園への施設側の移行に伴うことと考えられます。今後の利用意向についても認定こども園への利用希望が 5 割を超え、さらに認定こども園の利用者が増えることが想定されることから、施設側の体制整備が必要となっていきます。認可保育所(園)については、前回より利用率が増え、施設の拡充していることがうかがえます。今後の利用意向は、現状利用とあまり差がないことから、認可保育所(園)の整備に関しては、利用者の動向をさらに注視しながら、定員の増だけでなく、各年齢の応じた教育プログラムや専門職の適正配置、施設の更新など機能の強化をしていくことも重要となってきます。

また、預かり保育の利用者は増加しており、さらに今後の利用希望もかなり高いことから、地域ごとに利用状況・希望を把握し、必要時に利用できる体制を整備していくことも重要となっております。

希望している教育・保育事業に空きがなく利用できていないとの回答もあることから、なぜ利用できていないか、保護者、子どものニーズをさらに把握し、他の事業で代替的な利用ができないかなど情報提供や相談体制を充実していく必要があります。

○地域の子育て支援事業の利用状況、利用希望(今回問 14、問 15、前回問 17、問 18)

市内の子育て支援事業の現在の利用状況については、今回 10.4%、前回 9.7%となっており、今後の新たな利用意向については、今回 31.5%、前回 18.7%となっています。

■考察

現在の利用状況は、約 1 割で変わりはありませんが、今後の利用したい方は 12.8 ポイント増えていることから、現状の利用状況を踏まえ、利用者が増えた際の受け入れ態勢ができているかななどを地域ごとの状況を把握していく必要があります。

○定期的な教育・保育事業の土曜・休日、長期休み期間中の利用(今回問 17、問 18、前回問 20、問 21)

土曜日に月に 1～2 回利用の利用希望は、今回 30.3%、前回 23.1%、日曜日に月に 1～2 回利用希望は、今回 17.4%、前回 15.1%となっています。

長期休み期間中の利用希望は、毎日、週に数日利用したいを合わせ、今回 69.3%、前回 68.0%となっています。

■考察

土曜日の月に 1～2 回の利用希望が 7.2 ポイント増え、日曜日では変化はありませんが、一定程度の利用希望者がおり、体制を整えていく必要があります。

また、長期休みについては、7 割の方が利用を希望しているため利用の頻度を把握し、体制整備を検討する必要があります。

○病気の際の対応(今回問 19、問 19-1、前回問 22、問 22-1)

病気などで平日の定期的な教育保育を利用できなかったことがある方は、今回 66.3%、前回 80.1%となっています。またその対処方法は、父親が休んだが今回 55.6%、前回 28.4%、母親が休んだが今回 80.2%、前回 73.3%となっています。

その際にできれば病児・病後児保育の利用したいかについては、利用したいが今回 49.1%、前回 29.5%となっています。

■考察

利用できなかった方が減っている中で、対処方法としては、父親が休んだが 27.2 ポイント増え、父親の育児参加が増えているのがわかります。また、働き方改革で休暇取得を推奨するような取り組みも進んでいることも背景にあると考えられます。

また、病児・病後児の保育施設の利用希望は、19.6 ポイント増えており、休暇はとりやすくても繁忙期などタイミングによっては取得が難しい時には、施設があることはとても重要なため、更なる拡充が必要となっています。

○短期入所生活援助事業(ショートステイ)の利用希望(今回問 22【変更設問】)

今回のニーズ調査において国で変更を示した設問で、ショートステイの利用希望を聞いています。利用したいとの回答は 10.1%、その際の理由については、育児の疲れや不安が 73.9%、保護者の病気が 66.9%となっています。

■考察

保護者の病気によりショートステイの利用がありましたが、育児疲れや不安による利用したい方もいるため今後の利用希望を注視していく必要があります。

【就学前】

○小学校へ行った際の平日の放課後や休日の過ごし方(今回問 23、問 24、前回問 26、問 27)

平日の放課後の過ごし方で、低学年のうちは学童保育クラブが今回 68.4%、前回 38.1%、放課後子ども教室が今回 33.3%、前回 8.6%となっています。高学年になると学童保育クラブが今回 47.4%、前回 23.2%、放課後子ども教室が今回 26.3%、前回 8.6%となっています。

○放課後の安全な居場所(今回問 27【★新規設問】)

小学校内に放課後安全に過ごせる場所の利用希望については、平日で 87.1%が利用したい、土曜日は 27.2%、日曜日・祝日は 13.2%となっています。その際の利用終了時間は、17 時台と 18 時台がそれぞれ多くなっています。

また、長期休み期間中の利用希望は 80.7%となっており、平日の利用希望と同程度となっています。

【小学生】

○平日の放課後や休日の過ごさせたい場所(今回問 13、問 14、前回問 13、問 14)

平日の放課後の過ごさせたい場所は、低学年のうちは学童保育クラブが今回 42.2%、前回 31.7%、放課後子ども教室が今回 9.2%、前回 7.5%となっています。高学年になると学童保育クラブが今回 26.7%、前回 20.7%、放課後子ども教室が今回 11.5%、前回 7.9%となっています。

○放課後の安全な居場所(今回問 17【★新規設問】)

小学校内に放課後安全に過ごせる場所の利用希望については、平日は 80.6%、土曜日は 22.5%、日曜日・祝日は 10.3%が利用したいとなっています。その際の利用終了時間は、17 時台と 18 時台がそれぞれ多くなっています。

また、長期休み期間中の利用希望は 76.0%となっており、平日の利用希望と同程度となっています。

■考察

保護者の就労の有無にかかわらず、平日放課後の小学校に安全な居場所の要望は、就学前保護者で 9 割弱、小学生保護者で約 8 割と多くの方が希望していることから、市として早急な対応が必要な事業と考えられます。

土曜、日曜・祝日については、利用希望を注視しながら事業の検討が必要ですが、長期休みの期間中は約 8 割の方が利用を希望しており、速やかに対応することが必要と考えられます。

○母親の育児休業の取得について(今回問 28、前回問 30)

母親の育児休業については、取得したまたは取得中が今回 60.1%、前回 39.0%となっており、また、取得していない理由は、職場に育児休業制度がなかったが今回 24.3%、前回 18.8%となっています。

父親の育児休業については、取得したまたは取得中が今回 18.5%、前回 4.5%となっています。取得していない理由は、育児休業がとりにくい雰囲気や 49.5%、収入減となるためが 39.1%となっています。

■考察

育児休業の取得は、母親で約 6 割、父親は約 2 割となり、母親、父親ともに取得率は上昇しているので、ここ数年で育児休業の取得に対する企業側の意識も変化してきていると考えられます。しかし、母親に比べ父親の取得率はまだまだ低く、父親の育児休業の取得向上が今後の少子化対策や産後うつなどへの対策になると考えられます。

また、育児休業を取得していない理由として、母親では、育児休業制度がないが 2 割を超え、父親は職場の雰囲気や収入減が、ネックとなっているようです。しかし、育児・介護休業法が改正され、今後は企業側の積極的な取得に向けた取り組みや収入減への対策も踏まえ、市の事業周知や国の事業を有効活用するため、母親、父親、企業へ向けた情報発信を行っていく必要があります。

【就学前】

○お子さんの人数(今回問 3、★問 29)

現在お子さんの人数は、1 人が 44.6%、2 人が 38.6%、3 人が 12.7%となっていますが、理想のお子さんの人数は、1 人が 5.6%、2 人が 48.7%、3 人が 38.3%となっており、現実より希望の人数が少ないことがうかがえます。

また、希望よりお子さんが少ない理由は、子育ての費用負担が大きい 64.0%、教育の費用負担が大きい 58.8%、不妊治療の費用負担が大きいとの回答も 14.6%となっています。一方で今後出産予定があるとの回答も 37.0%となっています。

【小学生】

○お子さんの人数(今回問 3、★問 18)

現在お子さんの人数は、1 人が 20.9%、2 人が 50.8%、3 人が 22.6%となっていますが、理想のお子さんの人数は、1 人が 4.8%、2 人が 47.6%、3 人が 39.1%となっており、現実より希望の人数が少ないことがうかがえます。

また、希望よりお子さんが少ない理由は、子育ての費用負担が大きい 52.3%、教育の費用負担が大きい 50.2%、不妊治療の費用負担が大きいとの回答も 10.1%となっています。

■考察

子育て費用、教育費、不妊治療費など経済的な面をサポートすることで、現在よりもお子さんを多く生みたいと思う方も多数いると考えられるため、費用による支援の方策を検討する必要があります。

また、就学前では、今後の出産予定があるとの回答も 4 割弱となっているため、お子さんを増やしたいと考えている方へも、どのような支援が必要で有効か確認しながら、適切な支援を行うことで少子化対策になると考えられます。

【就学前】

○小山市の子育て環境や支援の満足度(今回問 30、前回問 33)

子育て環境や支援の満足度は、「満足（満足+やや満足）」が今回 11.5%、前回 19.6%、「不満（不満+やや不満）」が今回 49.7%、前回 29.9%となっています。

○小山市の子育て支援の充実して欲しいこと(★今回問 31)

子育て支援の充実を図って欲しい項目は、子どもと出かけて楽しめる場所の充実が 70.6%、経済的支援の充実が 65.8%、保育・教育環境の充実が 60.6%、子育てしやすい労働環境に向けた企業への啓発が 50.7%となっています。

【小学生】

○小山市の子育て環境や支援の満足度(今回問 19、前回問 19)

子育て環境や支援の満足度は、「満足（満足+やや満足）」が今回 10.3%、前回 30.8%、「不満（不満+やや不満）」が今回 47.0%、前回 14.2%となっています。

○小山市の子育て支援の充実して欲しいこと(★今回問 20)

子育て支援の充実を図って欲しい項目は、経済的支援の充実が 56.7%、子どもと出かけて楽しめる場所の充実が 53.6%、子どもの居場所の充実が 52.9%、保育・教育環境の充実が 51.9%、子育てしやすい労働環境に向けた企業への啓発が 50.7%となっています。

■ 考察

就学前保護者で、満足度が 8.1 ポイント減り、不満度が 19.8 ポイントの増、小学生保護者で満足度が 20.5 ポイント減り、不満度が 32.8 ポイント増えており、市で行っている子育て支援がなかなか市民に届いていないことがうかがえます。行っている支援の更なる周知と要望の高い、「楽しい場所の充実」、「経済支援」、「保育・教育環境の整備」、「子どもの居場所の充実」を重点的に取り組むとともに、充実した取り組みを市民が利用しやすい方策を検討していく必要があります。

2 小学生・中学生・高校生の年代による傾向のまとめ

○夏休みや冬休みの昼食について(小学生問5、中学生問5、高校生問6)

長期休みのお昼ご飯は、毎日食べるでは、小学生が 90.0%、中学生が 86.7%、高校生が 82.8%となっており、年代が上がるにつれて、毎日食べる割合が少なくなっています。

○ふだん、ひとりで食事をしているか(小学生問6、中学生問6、高校生問7)

ひとりでの食事は「ある（よくある+ときどきある）」で、小学生が 27.7%、中学生が 48.8%、高校生が 63.0%と顕著に年代が上がるにつれて、ひとりで食べる頻度が高くなっています。

○平日の過ごす場所(小学生問7、中学生問7、高校生問8)

自宅はどの年代も多いですが、塾や習い事で小学生が 35.4%、中学生が 18.1%、高校生が 12.6%となっています。また、部活動やクラブ活動の学校にいる小学生が 3.3%、中学生が 48.9%、高校生が 46.1%となっています。

■ 考察

食事に関しては、成長にともなってひとりで食べられるようになり、中学生では学校の部活動が増え、高校生では学校に加え、遊ぶ施設や飲食店なども平日の放課後に過ごす場所が増えることから生活サイクルも家族とそろわなくなってくることから、食事をひとりで食べる回数が増えていると考えられます。

○インターネットの使用状況(小学生問8-1、中学生問8-1、高校生問10)

インターネットの使用内容は、SNS で小学生が 21.5%、中学生 59.8%、高校生が 86.0%となっています。また、友達との SNS も同様に小学生が 17.6%、中学生 53.1%、高校生が 75.9%となっています。

■ 考察

スマートフォンは知りたい情報がすぐに調べられるなど便利な反面、年代が上がるにつれて、SNS への依存度が高くなっており、スマートフォンを使用している時間も増えていると考えられます。過度な使用は、睡眠不足が引き起こされたり、勉強時間の減少により学業に悪影響を及ぼす可能性があります。また、SNS 利用が多いことから、リアルな人間関係が希薄になる心配も指摘されています。

○最近の生活の満足度(小学生問 9、中学生問 9、高校生問 12)

満足度が高い 9~10 点は、小学生が 51.7%、中学生が 37.7%、高校生が 22.1%と年代が上がるにつれて満足度の減少がみられます。

○学校は楽しいか(小学生問 10、中学生問 11、高校生問 15)

学校の楽しいかについては、「そう思う(そう思う+どちらかといえばそう思う)」で小学生が 84.6%、中学生が 77.1%、高校生で 73.8%と年代が高くなるにつれて楽しいと思うが少なくなっています。

○学校が楽しい理由、楽しくない理由(小学生問 10-1、問 10-2、中学生問 11-1、問 11-2、高校生問 15-1、問 15-2)

学校が楽しい理由については、授業、先生、図書館で年代下がるにつれて割合が高くなっています。

また、楽しいと思わない理由については、苦手な教科の授業がある、宿題や課題があるで年代が下がるにつれて割合が高くなっています。

■考察

最近の生活の満足度と学校の楽しさは、小学生で満足度と楽しいが高く、年齢が上がった高校生はそれぞれ低くなっており、学校が楽しいと生活の満足度も高くなっていることがうかがえます。

○将来の進学先(中学生問 10、問 10-1、高校生問 14、問 14-1)

将来の進学先は、大学またはそれ以上で中学生が 45.9%、高校生が 62.9%となっており、中学生ではまだわからないとの回答が 23.2%となっています。

進学先を決める理由については、中学生、高校生ともに同じような傾向となっていますが、自分の成績、親が希望、自分のやりたい仕事のためが、中学生の割合がやや高くなっています。

■考察

中学生では決められなかった進路を、自分のやりたい仕事につきたいため、高校に入り進路先を決めている状況がうかがえます。

○学校の授業がわからないこと(小学生問 11、問 12、中学生問 12、問 13、高校生問 16、問 17)

学校の授業の理解度は、教科によってわからないことがあるが小学生 39.1%、中学生 49.9%、高校生 57.9%となっています。

また、勉強のわからない際の教えてもらう相手では、親に教えてもらう小学生が 72.3%、中学生が 37.8%、高校生が 8.0%となっており、年齢が上がるにつれて親の割合は低くなっています。

○悩みや心配事、相談先について(小学生問 14、問 15、中学生問 15、問 16、高校生問 22、問 23)

悩みや心配は進路・進学のことでは、小学生が 17.6%、中学生が 52.7%、高校生が 55.9%、勉強のことでは小学生が 27.5%、中学生が 47.1%、高校生が 42.6%となっています。

相談先ではお母さん、お父さんは年代が上がると減り、学校の友達は年代が上がるとやや増える傾向があります。

■考察

学校の授業は、年齢が上がるとわからないことが増える傾向にあり、教えてもらう相手は、年齢が上がり親から教えてもらうことが少なくなり、悩みや心配ごとの相談先も親から学校の友達へ移行しています。勉強がわからないときや相談事がある時に友達がいることは、学校生活のなかではとても重要と考えられます。

○こども基本法と子どもの権利条約の認知度(小学生問 17、中学生問 18、高校生問 25)

こども基本法、子どもの権利条約ともに高校生の認知度が高く、こども基本法は、内容を詳しく知っている、内容について少し知っている、名前だけ聞いたことがあるを合わせた「知っている」で 66.5%、子どもの権利条約の認知度は 68.9%となっています。小学生、中学生は、それぞれ 4 割弱となっています。

○子どもの権利(高校生問 26)

4 項目すべてで「守られている(守られている+だいたい守られている)」が 8 割を超えていますが、「守られていない(守られていない+あまり守られていない)」が、「自分の考えや気持ちを自由に言うことができいて、大人はそれを大切にしてくれている」で 16.0%と他の項目よりやや高くなっています。

○子どもの権利を守るための仕組み(高校生問 28)

子どもの権利を守るための仕組みづくりには、学校で教える 53.3%、子どもの意見が言える仕組み 43.4%、大人に子どもの権利を伝える 32.2%となっています。

■考察

子どもの権利を守るために、自分たちの権利を守ることを学校で教え、子ども自身が意見を言える環境を用意し、その意見に対し大人は耳を傾け尊重することが重要と回答しています。子どもたち自身が未来についてどのように考え、かかわる人たちがそれを理解し、行動することが必要です。

そのため、こども基本法や子どもの権利条約は、内容までわかるよう学校で教えることが大切です。

○市の事業に子どもの意見を取り入れる方法(中学生問 20、高校生問 29)

子どもの意見を取り入れる方法は、アンケートで中学生が 78.6%、高校生が 66.2%とそれぞれ最も多く、次いで SNS での意見交換で中学生が 28.4%、高校生が 46.4%となっています。

■ 考察

中学生、高校生ともにアンケートと SNS での意見交換で伝えやすさにやや違いがあるため、中学生、高校生それぞれの特徴に合わせた意見の機会を提供することが重要となります。

○学校や職場以外で活動していること(高校生問 11)

活動しているものはスポーツ活動が 10.2%、インターネット上のコミュニティが 7.7%、文化活動が 5.0%、ボランティア活動が 4.6%となっています。

一方、7 割の方が活動しているものはないと回答しています。

○授業以外での勉強方法(高校生問 13)

授業以外では自分で勉強するが 79.7%、友達と勉強するが 29.7%、塾で勉強するが 22.6%となっています。

■ 考察

学校・職場以外では、活動していない方が多くを占めていますが、ボランティア活動は 39 名ですが、さらに増やしたい活動ですので、活動の場を広げる検討が必要です。

また、自分で勉強することが 8 割となっており、わからなくなった際には相談できる場所が必要と考えられます。

○将来も小山市に住みたいか(高校生問 19、問 19-1、問 19-2)

小山市に住みたい、いずれは住みたいを合わせて 26.3%の方が小山市に住みたい、住みたくない、できれば住みたくないを合わせて 31.4%が小山市を離れたいと考えています。また、わからないが 42.1%となっています。

住みたい理由は、住み慣れた地域に住みたいが 83.3%、生活に不便はないからが 48.9%となっています。

わからないを含めた住みたくない理由は、都会に出たいが 30.1%、小山市に魅力や愛着を感じないからが 20.2%、小山市に自分がつきたい仕事がないが、19.6%、自立した生活がしたいが 18.3%、他に住みたいまちがあるが 17.6%となっています。また、とくに理由はないが 35.4%となっています。

■ 考察

まだわからないという方が 4 割となっており、理由についても特にないが 4 割弱となっていることから、明確にどちらか決めている方は理由があると考えられ、今後も気持ちを変えることは難しいかと思われます。しかし、わからないという方に小山市の魅力や愛着を持ってもらえる取り組みを行うことで、小山市へ定着していく気持ちが芽生えれば、今後予想される人口減少が緩やかになることも考えられます。

○結婚のイメージ、子育てのイメージ(高校生問 20、問 21)

結婚のイメージは、プラスイメージで好きな人と居られて幸せそう 48.0%ですが、マイナスイメージで家事や子育てが大変そう 40.0%、お金がかかりそう 41.9%、仕事との両立が大変そう 29.3%となっています。

また、子育てのイメージは、プラスイメージで楽しいことが増えそう 40.8%、幸せそう 40.4%、マイナスイメージでお金がかかりそう 50.9%、仕事との両立が大変そう 40.3%となっています。

■考察

結婚や子育てに関してプラスのイメージもたくさんありますが、お金や仕事については、マイナスのイメージも多くあることから、金銭面、仕事の働き方などの施策について、現在の支援の拡充と周知を行うとともに、更なる施策を検討していく必要があると考えられます。

3 生活困窮度によるまとめ

①保護者調査のまとめ

○ひとり親の困窮度(保護者問 5)

困窮度Ⅰでひとり親に該当する方は、55.5%と半数を超え、困窮度Ⅱでは、24.9%となっています。

○現在の暮らしの状況(保護者問 16)

現在の暮らしを総合的にみて、中央値以上では「ゆとりがある(大変ゆとりがある+ややゆとりがある)」が、26.3%となっています。「苦しい(大変苦しい+やや苦しい)」では、困窮度Ⅰが 74.8%、困窮度Ⅱが 58.6%、困窮度Ⅲが 49.7%となっています。

■考察

暮らしの状況と困窮度は、困窮度が高いほど、暮らしが苦しいとの回答が多いことから、相関関係があると考えられ、困窮度でクロス集計を行うことは暮らしの状況で集計することと同様の結果になると考えられます。

また、困窮度Ⅰにひとり親が半数を超え多いことから、困窮度Ⅰの回答は、ひとり親の意見が大きく反映された結果となります。

○母親・父親の最終学歴(保護者問 8)

母親、父親ともに困窮度が高くなるほど、中学、高校の割合が高く、また、大学・大学院は、中央値以上の父親に多くなっています。

○お子さんの進学先(保護者問 13)

お子さんの将来の進学先は、中央値以上で大学・大学院の割合が高く、困窮度が高いほど高校とわからないが高くなっています。

■ 考察

保護者の学歴で困窮度が高い家庭は、学歴が低く、中央値以上になると学歴が高くなる傾向があります。また、お子さんの進学先は、困窮度が高いほど大学・大学院の割合が少なくなっています。

したがって、保護者の学歴で現在の困窮度に影響があり、現在の困窮度で、お子さんの進学先に影響を与えていることがうかがえます。

お子さんの進学先は、ご家庭の困窮度に関係なく本人の希望がかなえられるような支援を検討する必要があります。

○お子さんに経済的にしていない9項目の数(保護者問 12)

お子さんに①おこづかい、②新しい服・靴、③スポーツなどの習い事、④学習塾、⑤誕生日のお祝い、⑥家族旅行、⑦クリスマスプレゼントやお年玉、⑧学校行事の保護者参加、⑨地域行事の親子参加の9つの項目のうち、経済的にしていないとの回答個数は、困窮度が高いほど個数が多くなり、困窮度 I で5個以上では17.4%となっています。

○ここ1年の必要な食料が買えないこと(保護者問 17)

必要な食料が買えないことが、困窮度が高いほど「あった（よくあった+ときどきあった）」の割合が高く、困窮度 I で39.0%となっています。

○ここ1年の必要な衣料品が買えないこと(保護者問 18)

必要な衣料品が買えないことが、困窮度が高いほど「あった（よくあった+ときどきあった）」の割合が高く、困窮度 I で48.6%となっています。

○世帯の経済的な理由で滞納や未払いになった7項目の数(保護者問 19)

世帯の①家賃、②住宅ローン、③電気料金、④ガス料金、⑤水道料金、⑥電話料金、⑦その他債務不履行の7つの項目のうち滞納や未払いのあった回答校数は、困窮度が高いほど個数が多くなり、困窮度 I で5個以上では、11.9%となっています。

■ 考察

困窮度が高い家庭ほど、経済的にお子さんにできていないことが増え、世帯でも食料や衣料品が買えなかったり、各種固定費についても支払えなかったことが多くなっています。

ご家庭の状況により、今ある経済的な支援制度を周知し利用してもらうとともに、最低限の生活は維持できるよう相談体制の強化を図ることも重要と考えられます。

②小学生、中学生、高校生調査のまとめ

○週にどのくらい食事をしているか①朝食(小学生問5、中学生問5、高校生問 6)

朝食を毎日食べている割合は、小学生、中学生、高校生それぞれ困窮度が高くなると毎日食べる割合が低くなる傾向となっています。

○ふだんひとりで食事をすることがあるか(小学生問 6、中学生問 6、高校生問 7)

ひとりでの食事は小学生で困窮度が高いほど「ある（よくある+ときどきある）」の割合が高くなっています。

■考察

朝食の頻度やひとりでの食事があるかについては、困窮度による影響がややある結果となっています。困窮度による子どもの食事が不便にならないよう、該当すると思われるお子さんについては、学校での状況をきめ細やかに把握しておく必要があります。

○インターネットの利用状況(小学生問 8)

勉強以外でインターネットを自由に使えるかについては、小学生で困窮度が高いほど使っていない割合が高くなる傾向にあります。

○最近の生活の満足度(小学生問 9、中学生問 9、高校生問 12)

最近の生活の満足度は、小学生、中学生で困窮度が高くなると 9,10 点の満足度が低くなる傾向にあります。

○学校が楽しいと思うか(小学生問 10、中学生問 11、高校生問 15)

学校が楽しいと思うかでは、小学生で困窮度が高くなると「そう思う」の割合が低くなる傾向があります。

■考察

インターネットの利用状況、生活の満足度、学校が楽しいかについては、各調査ごとに困窮度で、やや傾向はあるものの顕著な差は見られませんでした。今後もお子さんの状況を注視しておく必要があります。

○将来の進学先(中学生問 10、高校生問 14)

将来の進学先は、中学生、高校生でそれぞれ困窮度が高いほど高校までの割合が高くなっています。

○学校の授業がわからないこと(中学生問 11、高校生問 16)

学校の授業がわからないことについては、中学生調査で困窮度が高いほど「わかる(いつもわかる+だいたいわかる)」の割合が低くなっています。

■考察

進学先や勉強の理解度は、困窮度による差がややあることから、困窮度の高いお子さんの進学先や授業の理解度を注視しておく必要があります。

○自己肯定感や将来の希望について(小学生問 13、中学生問 14、高校生問 18)

中学生で⑤ものごとを最後までやりとげてうれしかったことがあるでは、困窮度が高いほどあてはまる割合が低くなっています。また、中学生、高校生で⑥将来の夢や希望を持っているでは、困窮度が高いほど「あてはまる(あてはまる+どちらかといえばあてはまる)」の割合が低くなっています。

■考察

自己肯定感や将来の希望は、困窮度による差がややあることから、困窮度の高いお子さんを注視しておく必要があります。

○家族の中に世話をしている人がいるか(中学生問 16、高校生問 24)

あなたがお世話をしているひとがいるとの回答は、困窮度 I で 35.4%と特に多くなっています。

■考察

家族の中のお世話をしているとの回答は、ヤングケアラーとなるため状況把握に努め、サポート体制を構築しておく必要があります。

○結婚のイメージ、子育てのイメージ(高校生問 20、問 21)

結婚のイメージは、好きな人と一緒にいられて幸せそうで、困窮度が高くなるほど選択する割合が少なくなっています。また、子育てのイメージも幸せそうで困窮度が高くなるほど選択する割合が少なくなっています。

【自己肯定感による分析①自分にはよいところがある】 (小学生問 13、中学生問 14、高校生問 18)

自己肯定感の度合いを自分にはよいところがあるに「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」「どちらかといえばあてはまらない」「あてはまらない」の項目によるクロス集計

○最近の生活の満足度(小学生問 9、中学生問 9、高校生問 12)

最近の生活の満足度は、小学生、中学生、高校生それぞれにやや差はあるものの、自己肯定感の高い「あてはまる」項目で多いのは 9, 10 点、6～8 点の満足度の高い項目が多く、反対に「あてはまらない」項目で多いのは、不満の高い 0, 1 点、2～4 点が多くなっています。

○学校が楽しいと思うか(小学生問 10、中学生問 11、高校生問 15)

学校が楽しいと思うかでは、小学生、中学生、高校生それぞれにやや差はあるものの、自己肯定感の高い「あてはまる」項目で多いのはそう思う、どちらかといえばそう思うの学校が楽しいと思う項目が多く、反対に「あてはまらない」項目で多いのは、学校が楽しいと思わない項目のそう思わない、どちらかとそう思わないが多くなっています。

■ 考察

自己肯定感の高い方ほど最近生活には満足しており、学校も楽しいと感じています。生活の満足度は、学校、家庭、家庭の経済状況、家族や友達などの人間関係など様々な要因に影響されるものですが、自己肯定感の高い方は、それらを前向きにとらえることができます。反対に、自己肯定感が低い方は、生活の満足度や学校においても不満や楽しくないと感じていることから、自分を否定的に評価し、自信を持ちにくいことがあり、心理的なストレスになると考えられます。

○将来の進学先(中学生問 10、高校生問 14)

将来の進学先では、中学生、高校生ともに自己肯定感の高い方ほど大学・大学院の割合が高くなっています。自己肯定感の低い方ほど高校までの割合が高くなっています。

○あなたの意見を父母や先生は聞いてくれるか(小学生問 18、中学生問 19、高校生問 27)

それぞれの調査で自己肯定感の高い方ほど、お父さんお母さんは、意見を聞いてくれる『そう思う』の割合が高くなっています。

また、学校の先生（高校生では職場の人を含む）においても、意見を言聞いてくれる『そう思う』の割合が高くなっています。

■ 考察

子どもの権利において、重要な意見を聞いて大切にしてくれるかでは、自己肯定感が高い人ほど、家庭や学校で意見を聞いてくれていると感じていることがうかがえます。

また、将来の進学先についても、自己肯定感が高いと大学・大学院へ行きたいと考えています。

現在の生活や将来と自己肯定感については、自己肯定感が高いから、生活に満足しているのか、学校が楽しいのか、将来の進学先を高いところに設定するのか、意見を聞いてくれるから自己肯定感が高いのか、それらが複合的な要素として自己肯定感につながると考えられます。

自己肯定感の向上には、本人の意識によるところは大きいですが、成功体験の積み重ねと、身近な人との良好な人間関係も大切なことから、本人を理解し受け入れ、周囲のサポートや支援の双方向からの取り組みが必要と考えられます。

4 若者調査のまとめ

○同居している母親、父親に感じていること(若者調査問 6-1、問6-2)

同居している母親、父親に感じていることは、困ったときは助けてくれるが、母親 71.7%、父親 64.6%と最も多くなっており、次いで尊敬しているが母親 57.9%、父親 51.0%となっています。

○家でよく話をするか、話さない場合その理由(若者調査問 7、問 7-1)

家での話は、とてもよく話すほうだ 41.4%、話すほうだ 40.4%と8割の方が話すと回答していますが、残りの16.8%の方は話さないほうだと回答しており、その理由は、話すことがないから 39.1%、話をするのが面倒だから 38.3%となっています。

○家族のことで困っていることいやなこと(若者調査問 8)

家族の困りごととは 68.2%の方が特にないと回答していますが、内容は家の中が散らかっている 8.8%、家族の中に困った行いをする人がいる 7.8%となっています。

■考察

同居している母親や父親の困ったときの信頼度や、尊敬している割合はそれぞれ母親と父親で違いはありますが、5 割を超え高いと考えられます。

また、家で会話も 8 割が会話をしていることから、家庭円満な状況がうかがえます。あまり家で話さない方は、家庭が不満で話さないのではなく、話下手な理由と考えられます。

しかし、話しても楽しくない、意見が合わない、家族が嫌いなどの意見も少数ですが回答があるため、家族ではない友達や学校、職場、市の窓口など困ったときの相談先が、それぞれ個人であることが大切だと思われます。

市の窓口では、困ったときの相談先として思いついてもらえるよう、常に周知と P R をしていくことが必要となってきます。

○就労・就学の状況と満足度(若者調査問 9、問9-1、問9-2)

現在の就労状況は、フルタイム(正規・非正規)とパートタイム・アルバイトで就労を合わせ 55.6%となっています。また、学生は 33.6%となっています。

就労している方の仕事の満足度は、「不満(不満+やや不満)」が 28.6%、「満足(満足+やや満足)」が 42.6%と満足が不満を上回っています。不満の理由は給料が安い 72.9%で最も多くなっています。

○離職した経験と理由(若者調査問 10)

離職の理由は、人間関係が 14.6%、給料が安い 10.6%、労働時間が長い 9.5%とそれぞれ 1 割前後となっています。回答者は学生もいるため離職の経験はないとの回答も約 4 割となっています。

■考察

若者調査の回答者は、半数が就労を超える方が就労しており、3 人に 1 人は学生となっています。就労している方の仕事の満足度は、満足の方は充実した仕事をしていることがうかがえますが、不満の方は給料が安いと不満を抱えています。

ここ数年で、国の施策や企業側も賃上げなどの動きがあるので、給料上昇は見込まれますが、若者世代だけでなく何歳になっても理想の給与をもらうというのは、難しい現実があることも事実です。

また、離職経験の理由として、給与以外では、人間関係や長時間労働などもあり、パワハラ・セクハラなども問題にされる世の中になったことや、働き方改革で長時間労働に対して、施策も充実しつつありますので、個々の事情に応じて柔軟な働き方ができるようになることで、徐々に改善されていくと思われます。

○普段の生活で楽しいこと(若者調査問 12)

普段の生活では、友人や交際相手と一緒に過ごしているときが 66.8%、インターネットしているときが 66.2%、音楽を聴いているときが 58.6%となっています。

男女のクロス集計では、男性より女性の方が家族、友人、交際相手と一緒にの時・音楽・買い物・テレビなど多くの項目で楽しいと感じています。

○現在困っていること、悩んでいること(若者調査問 13)

現在の困りごとは、仕事のことが 46.4%、お金のことが 44.7%となっており、結婚のことは 15.2%となっています。

○困りごと、悩みごとの相談先(若者調査問 14、問 14-1)

相談先としては、親が 65.4%、友人が 62.6%となっています。相談したことがない方もおり、その理由は、相談しても解決できない 48.3%、自分のことを知られたくないと相手にうまく話せないからそれぞれ 33.3%となっています。また、相談先がない 31.7%、相談先がわからない 18.3%となっています。

■考察

普段の生活は、さまざまなことで楽しさを感じている一方で、困っていることや悩み事もあり、相談先は親や友人と身近な人となっています。

困りごとの中で公的な相談機関に相談することで解決できそうなことについては、SNS などを活用し公的機関から情報発信をしていくことで、若者が必要な情報が目に触れる機会が増えると思われる。

また、相談先がない方へのアプローチも SNS を活用することも相談先の一つになると考えられます。

○外出の頻度(若者調査問 15)

ほとんどの方は毎日、3～4 日、必要な時には外出すると回答していますが、8 名の方は、家から出ない 0.5%、自室から出ない 0.5%となっています。その状態の期間は、5 年以上が 50.0%、1 年～2 年が 25.0%、6 か月未満が 12.5%となっています。きっかけは、特にないが 37.5%、就職活動がうまくいかなかった 25.0%、不登校が 12.5%となっています。

■考察

家から出られない方もアンケートに答えてくれた中に数名いました。就職活動がうまくいわずにそのような状態になる方については、適切なタイミングで就労支援などを行うか、相談してもらえるような相談先が周知されていることが必要と思われる。

○将来も小山市に住みたいか(若者問 17、問 17-1、問 17-2)

小山市に住みたい、いずれは住みたいを合わせて 48.1%の方が小山市に住みたい、住みたくない、できれば住みたくないを合わせて 12.2%が小山市を離れたいと考えています。また、わからないが 38.7%となっています。

住みたい理由は、住み慣れた地域に住みたいが 81.5%、生活に不便はないからが 55.1%となっています。

わからないを含めた住みたくない理由は、小山市に自分がつきたい仕事がないが 22.6%、都会に出たいが 20.5%、自立した生活がしたいが 18.6%、小山市に魅力や愛着を感じないからが 16.6%となっています。また、とくに理由はないが 23.8%となっています。

男女のクロス集計では、女性より男性の方が小山市に将来住みたいと回答しており、女性は親と一緒に住みたいとの回答が多くなっています。

男性の小山市を離れたい理由は、都会に出たいからが 25.9%となっています。

■考察

まだわからないという方が約 4 割となっており、わからないという方に小山市の魅力や愛着を持ってもらえる取り組みを行うことで、小山市へ定着していく気持ちが芽生えれば、今後予想される人口減少が緩やかになることも考えられます。

また、男女共同の世の中ですが、ターゲットを絞って小山市に、住みたい、住み続けたい人を増やす事業も有効と考えられます。

○結婚について(若者問 18、問 18-1、問 18-2、問 18-3、問 18-4)

配偶者の有無については、いるが 13.2%、いないが 85.4%となっています。いない方の今後の結婚願望は、62.8%がしたいと回答する中で、したくないが 10.3%、わからないが 26.8%となっています。また、何歳までに結婚したいかについては、30 歳までが 61.9%で最も多くなっています。

結婚のイメージは、プラスイメージで好きな人と一緒にいられて幸せそう 70.6%、親や親せきが喜びそう 44.2%、マイナスイメージでお金がかかりそう 60.8%、家事や子育てが大変そう 57.5%となっています。

男女のクロス集計では、女性の結婚のイメージは、仕事と両立が大変そうとの回答が男性より多くなっています。

■考察

結婚については、結婚していない方の中で、6 割を超える方がしたいと回答しており、まだわからないと回答した方が結婚へ前向きになるような事業を検討する必要があります。また、結婚と仕事の両立しやすいサポートとはどんなことなのか、さらなる情報収集が必要となります。

結婚のプラスイメージもありますが、お金、家事・子育て、仕事については、マイナスのイメージもあることから、金銭的な支援、子育て支援、仕事の働き方などの施策について、現在の支援の拡充と周知を行うとともに、更なる施策を検討していく必要があると考えられます。

○家族の形や子どもについて(若者問 19、問 20、問 21、問 21-1、問 21-2、問 21-3、問 21-4)

理想とする家族の形は、夫婦と子どもの世帯（親と離れて住む+近くに住む）が 70.7%でお子さんがいる家庭を望んでいます。現在お子さんがいる方はまだ 6.8%ですが、将来子どもが欲しい方は 56.1%と半数を超えています。欲しい子どもの人数は、2 人が 70.4%で最も多くなっています。

子育てのイメージは、プラスイメージで楽しいことが増えそう 71.5%、幸せそう 65.5%、マイナスイメージでお金がかかりそう 75.1%で最も多く、仕事と両立が大変そう 60.5%となっています

理想とする仕事と子育ての形態は、夫婦共働きで、子どもを保育園に預けるが 64.9%となっています。

子どもが欲しいと回答していない方の理由については、経済的な不安がある 60.3%、仕事と子育ての両立に不安があるが 51.2%となっています。

男女のクロス集計では、女性の子育てのイメージは、仕事と両立が大変そうとの回答が男性より多くなっています。

■考察

将来子どもを欲しいとの回答が 6 割弱で、その人数は 2 人が理想となっています。

子どもを欲しいと思っていても、お金や仕事との両立など、マイナスのイメージも多くあることから、金銭面、仕事の働き方、さらには子育て支援などの施策について、現在の支援の拡充と周知を行うとともに、更なる施策を検討していく必要があると考えられます。これは、将来子どもをまだ欲しいと決めているいどちらともいえない方の理由と同じであり、しっかりと支援が確保されることで、子どもを欲しいと思う方が増えると考えられ、特に女性へのアプローチも重要となります。

また、理想の仕事と子育ての形態は、共働きで保育園に預けるが多いことから、子どもが生まれた際には、その受け皿となる保育所などが不足にならないよう、利用動向を把握しながら整備する必要があります。

○少子化対策、青少年や若者支援について(若者問 22、問 23)

少子化対策の必要な支援は、賃金の増加や安心して働ける雇用環境づくりが 74.9%、妊娠・出産に係る手当・補助金の拡充が 68.6%、子育て世帯への手当・補助金の拡充が 68.1%となっています。また、幼稚園、保育園、教育費などの費用負担の軽減措置も高くなっています。

市の取り組みで青少年や若者に必要な政策については、経済的な困難を抱えている家庭の支援が 47.5%、いじめや虐待などの悩みを相談できる窓口の充実が 44.5%となっています。また、学校教育の充実や就職に向けた相談やサポート体制の充実、ヤングケアラーの支援なども 3 割を超えています。

男女のクロス集計では、女性はさまざまな経済支援との回答が多く、男性は出会いの機会づくりが求められています。

■考察

少子化対策及び若者の政策支援について、どちらも経済的な不安や負担感が多くの方が抱えている問題ということがうかがえます。現在でも多くの支援や補助金などありますが、それらの支援を必要な方にまずは周知することで、その負担感は少なくなり、さらに事業や支援の拡充を進め、受ける際には速やかに対応できる支援体制を構築していくことも重要となってきます。

また、婚活イベントなど出会いの機会を増やし、結婚を希望する人々が希望をかなえられるような環境を整備することで、少子化対策へつながると考えられます。

資料（調査票）

小山市子ども・子育て支援事業計画に関する ニーズ調査票【就学前児童】

◎各設問の指示にしたがって、当てはまる番号に○印を付けてください。

1. お住まいの地域について

問 1 お住まいの地区で当てはまる番号 1 つに○をつけてください。
※ご不明な場合は、最寄りの出張所を目安に回答してください。

1. 小山地区	2. 大谷地区
3. 間々田地区	4. 生井地区
5. 寒川地区	6. 豊田地区
7. 中地区	8. 穂積地区
9. 桑地区	10. 絹地区

2. 封筒の宛名のお子さんご家族の状況について

問 2 宛名のお子さんの生年月月について、「平成」・「令和」か「西暦」に○をつけ口内に数字でご記入ください（数字は一律に一字）。

平成・令和・西暦	1	2	3	5	年	0	0	月	生まれ
----------	---	---	---	---	---	---	---	---	-----

問 3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月を「平成」・「令和」か「西暦」に○をつけ口内に数字でご記入ください（数字は一律に一字）。

きょうだいの数	0	人	末子の生年月						
平成・令和・西暦			3	5	年	0	0	月	生まれ

問 4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんから見た関係でお答えください。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 母親	2. 父親	3. その他（ ）
-------	-------	-----------

問 5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる	2. 配偶者はいない
-----------	------------

問 6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主にに行っているのはどなたですか。お子さんから見た関係で当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 父母ともに	2. 主に母親
3. 主に父親	4. 主に祖父母
5. その他（ ）	

3. 子育て環境について

問 7 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

問 8 子育て（教育を含む）をする上で、どのようなサポートがあればよいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 親の就業の有無に関わらず気軽に利用できる保育サービスの充実
2. 保育所・認定こども園・幼稚園の預け時間（開始・終了時間）の拡大
3. 子育て支援情報サイトによるイベントや支援情報の定期配信
4. 病児・病後児保育の実施場所・受入れ枠の拡大
5. 夜間や休日の小児科医の充実
6. ベビーシッターの充実
7. 職場の理解
8. 地域ごとの親子交流会の充実
9. アプリやLINE を活用した相談窓口の設置
10. 保護者向けの育児相談や講習の機会の充実
11. その他（ ）

4. 宛名のお子さんの保護者の就労状況について

問 9 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業・家族従事者含む）をうかがいます。次の（1）から（2）-2までの設問にお答えください。

※1:フルタイムは、1週5日程度・1日8時間程度の就労（以下の設問も同様）

※2:パート・アルバイト等は、フルタイム以外（以下の設問も同様）

（1）母親【父子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム※1で就労している	⇒ (1) -1 へ
2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等※2で就労している	
4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	
6. これまで就労したことがない	⇒ (2) へ

（1）-1 (1) で「1.～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（口内に数字でご記入ください。数字は一律に一字。）

1 週当たり	0	日	1 日当たり	0	0	時
--------	---	---	--------	---	---	---

（1）-2 (1) で「1.～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間
は、必ず（例）08時～18時のように、24時間制でお答えください。（口内に数字でご記入ください。数字は一律に一字。）

家を出る時間	0	0	時	帰宅時間	0	0	時
--------	---	---	---	------	---	---	---

（2）父親【母子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイムで就労している	⇒ (2) -1 へ
2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等で就労している	
4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	
6. これまで就労したことがない	⇒ 問 11 へ

（2）-1 (2) で「1.～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください（口内に数字でご記入ください。数字は一律に一字。）

1 週当たり	0	日	1 日当たり	0	0	時
--------	---	---	--------	---	---	---

（2）-2 (2) で「1～4」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間
は、必ず（例）08時～18時のように、24時間制でお答えください（口内に数字でご記入ください。数字は一律に一字。）

家を出る時間	0	0	時	帰宅時間	0	0	時
--------	---	---	---	------	---	---	---

問 10 問 9の（1）または（2）で「3.」「4.」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 11 へお進みください。フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

（1）母親

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

（2）父親

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

問 11 問 9 の (1) または (2) で「5.」「6.」(現在は就労していない・今まで就労したことがない) に○をつけた方にかがいます。該当しない方は、問 12 へお進みください。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ 1 つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください (数字は一律に一字)。

(1) 母親

1. 子育てや家事に専念したい (就労の予定はない)

2. 1 年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい

3.

すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい

⇒希望する就労形態

ア. フルタイム

イ. パートタイム、アルバイト等

→ 1 週当たり 日 1 日当たり 時間

(2) 父親

1. 子育てや家事に専念したい (就労の予定はない)

2. 1 年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい

3.

すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい

⇒希望する就労形態

ア. フルタイム

イ. パートタイム、アルバイト等

→ 1 週当たり 日 1 日当たり 時間

5. 宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

※ここである「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問 12-1 に示した事業が含まれます。

問 12 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用してありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 利用している ⇒ 問 12-1 へ

2. 利用していない ⇒ 問 12-3 へ

問 12-1 問 12 で「1. 利用している」に○をつけた方にかがいます。宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園 (通常の就園時間の利用)

2. 預かり保育 (認定こども園・幼稚園)

3. 市立・私立認可保育所 (園) (国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの)

4. 認定こども園 (保護者の就労等に関わらず、幼稚園と保育施設が一体となった施設で子どもを預かるもの)

5. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用のために運営する施設)

6. その他の認可外の保育施設 (認可外保育施設：都道府県の認可を受けていないが届出を行った施設で、通常保育、一時預かり等のサービスを提供するもの)

7. 居宅訪問型保育 (ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)

8. ファミリー・サポート・センター (育児の援助を行う人と育児の援助を必要とする人が会員の登録をし、お子さんの一時預かりや保育施設の送迎等の相互援助活動を行う事業)

9. その他 ()

問 12-2 問 12 で「1. 利用している」に○をつけた方にかがいます。平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1 週当たり何日、1 日当たり何時間 (何時から何時まで) かを、口内に具体的な数字でご記入ください (一枠内に数字は一字)。時間は、必ず (例) 0 9 時～1 8 時のように 2 4 時間制でご記入ください。

(1) 現在

1 週当たり 日 1 日当たり 時間 (時から 時まで)

(2) 希望

1 週当たり 日 1 日当たり 時間 (時から 時まで)

問 12-3 問 12 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は
何ですか。理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 利用する必要がない (子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないためなど)
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため、() 歳くらいになったら利用しようと考えている
9. その他 ()

問 13 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお
子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えくだ
さい。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定
の利用者負担が発生します。認可保育園の場合、世帯収入に応じた利用額が認定されていま
す。

1. 幼稚園 (通常の就園時間の利用)	2. 預かり保育 (認定こども園・幼稚園)
3. 市立・私立認可保育所 (園) (国が定める最低基準に適合した施設で都道 府県等の認可を受けたもの)	4. 認定こども園 (保護者の就労等に関わらず、幼稚園と保育施 設が一体となった施設で子どもを預かるも の)
5. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用のために運営する施設)	6. その他の認可外の保育施設 (認可外保育施設：都道府県の認可を受けて いないが届出を行った施設で、通常保育、一 時預かり等のサービスを提供するもの)
7. 居宅訪問型保育 (ベビーシッターのような保育者が子どもの 家庭で保育する事業)	8. ファミリー・サポート・センター (育児の援助を行う人と育児の援助を必要と する人が会員の登録をし、お子さんの一時 預かりや保育施設の送迎等の相互援助活動 を行う事業)
9. その他 ()	

問 13-1 問 13 で「1. 幼稚園 (通常の就園時間の利用)」または「2. 預かり保育 (認定こども園・
幼稚園)」に○をつけ、かつ3～9にも○をつけた方にうかがいます。特に幼稚園 (幼稚園の
預かり保育をあわせて利用する場合を含む) の利用を強く希望しますか。当てはまる番号に
○をつけてください。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問 13-2 教育・保育事業を利用する上で重視する条件についてうかがいます。当てはまる番号すべ
てに○をつけてください。

1. 教育・保育の内容	2. 教員・保育者の資質
3. 施設や設備	4. 自宅の近くにある
5. 職場の近くにある	6. 駅の近くにある
7. 保育時間	8. 利用時間
9. 認可の有無	10. その他 ()

6. 宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

問 14 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点 (身近な地域における相談や親同士との交流の
場) を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。
また、おおよその利用回数 (頻度) を口内に数字でご記入ください (一枠内に数字は一字)。

1. 地域子育て支援拠点事業 (いちごクラブ・マロンのいえ・ミッキークラブ・えくぼちゃん クラブ・こぐまクラブ・すまいる・にっこりちゃん) ⇒ 1週当たり 回 もしくは 1ヶ月当たり 回程度	2. その他当該自治体で実施している類似の事業 (しらすぎ・うさぎっこ・かるがも・おおやっこ・ つむぎっこ・子育てサロン) ⇒ 1週当たり 回 もしくは 1ヶ月当たり 回程度
3. 利用していない	

問 15 問 14 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利
用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思われますか。当てはまる番号 1 つに○をつ
けて、おおよその利用回数 (頻度) を口内に数字でご記入ください (一枠内に数字は一字)。
なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

1. 利用していないが、今後利用したい ⇒ 1週当たり 回 もしくは 1ヶ月当たり 回程度	2.すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい ⇒ 1週当たり 更に 回 もしくは 1ヶ月当たり 更に 回程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	

問 16 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑫の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

	A 知っている	B これまでに 利用したこと がある	C 今後 利用したい
①母親学級、家族学級 (マタニティクラス)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
②保健センターの情報・相談事業 (乳幼児健診・相談・教室など)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
③家庭教育に関する学級・講座	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
④教育相談センター・青少年相談室	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑤保育所や認定こども園・幼稚園の園庭等 の開放	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑥地域子育て支援拠点・子育てひろば (身近な地域における相談や親同士の 交流の場)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑦児童センター	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑧ファミリーサポートセンター (会員制によるお子さんの一時預かり等 の相互援助活動)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑨市の家庭児童相談員・スクールソーシャル ワーカー	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑩子育て支援相談室「ほほえみ」、 外国人ふれあい子育てサロン (子育て支援情報の提供する施設)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑪おやまっ子子育てナビ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑫キッズランドおやま (小山駅西口「ロブレビル」内)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ

7. 宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問 17 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) 0 9 時～1 8 時のように2 4 時間制でご記入ください(数字は一律に一字)。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※教育・保育事業とは、認定こども園・幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない	] ⇒利用したい時間帯
2. ほぼ毎週利用したい	
3. 月に1～2回は利用したい	
	0 0 時から 0 0 時まで

(2) 日曜・祝日

1. 利用する必要はない	] ⇒利用したい時間帯
2. ほぼ毎週利用したい	
3. 月に1～2回は利用したい	
	0 0 時から 0 0 時まで

問 18 認定こども園(1号)・「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休み期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) 0 9 時～1 8 時のように2 4 時間制でご記入ください(数字は一律に一字)。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない	] ⇒利用したい時間帯
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい	
3. 休みの期間中、週に数日程度利用したい	
	0 0 時から 0 0 時まで

8. 宛名のお子さんの病気の療養の対応について(平日の教育・保育を利用する方のみ)

問 19 幼稚園や保育園などの「平日の定期的な教育・保育の事業」を利用している保護者の方にかかいます。利用していらっしゃる方やらない方は、問 20 にお進みください。この1 年間に、宛名のお子さんが病気やケガなどの理由により利用しなかったことはありませんか。

1. ある ⇒ 問 19-1 へ	2. ない ⇒ 問 20 へ
------------------	----------------

問19-1 問19で「1.ある」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんが病氣やけがで普救院に利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一律に一字)。

1 年間の対処方法	日 数
ア. 父親が休んだ	日
イ. 母親が休んだ	日
ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	日
エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	日
オ. 病児・病後児の保育を利用した	日
カ. ベビーシッターを利用した	日
キ. ファミリー・サポート・センターを利用した	日
ク. 子どもだけで留守番をさせた	日
ケ. その他	日

※「キ・ファミリー・サポート・センター」には「病児・緊急対応強化事業」による利用も含まれます。

問19-2 問19-1で「ア」「イ」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われませんか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください（数字は一律に一字）。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ 日 ⇒ 問19-3へ
2. 利用したいとは思わない ⇒ 問19-4へ

問19-3 問19-2で「1. でできれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方いらっしゃいます。子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか、当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他（ ）

問19-4 問19-2で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病児・病後児を他人にみてもらうのは不安
2. 事業の質に不安がある
3. 事業の利便性（立地や利用可能時間、日数など）がよくない
4. 利用料が高い
5. 親が仕事を休んで対応する
6. その他（ ）

9. 宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 20 宛名のお子さんについて、不定期（親の通院、就労等）で利用している事業はありますか？ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、一年間の利用日数（おおよそ）も□内に数字でご記入ください（数字は一律に一字）。

利用している事業・日数		
1. 保育所の一時預かり		日
2. 預かり保育 (認定こども園・幼稚園)		日
3. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)		日
4. 夜間養護等事業：トワイライトステイ (児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業)		日
5. ベビーシッター		日
6. その他 ()		日
7. 利用していない	⇒ 問 20-1 へ	

問 20-1 問 20 で「7. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。現在利用していない理由は何か。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がある
2. 利用したい事業が地域にない
3. 事業の質に不安がある
4. 事業の利便性（立地や利用可能時間、日数など）が良くない
5. 利用料が高い
6. 事業の利用方法（手続き等）がわからない
7. その他（ ）

問25 問23または問24で、「6. 学童保育クラブ」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日・祝日に、学童保育クラブの利用希望はありますか。(1)
(2) それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください(数字は一律に一字)。

(1) 土曜日

1. 低学年 (1～3年生)の間は利用したい	⇒利用したい時間帯
2. 高学年 (4～6年生)になっても利用したい	□□時から□□時まで
3. 利用する必要はない	

(2) 日曜日・祝日

1. 低学年 (1～3年生)の間は利用したい	⇒利用したい時間帯
2. 高学年 (4～6年生)になっても利用したい	□□時から□□時まで
3. 利用する必要はない	

問26 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休み期間中の学童保育クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください(数字は一律に一字)。

1. 低学年 (1～3年生)の間は利用したい	⇒利用したい時間帯
2. 高学年 (4～6年生)になっても利用したい	□□時から□□時まで
3. 利用する必要はない	

問27 宛名のお子さんについて、保護者の就労している、就労していないに関わらず、児童が放課後等に大人の目に見守られて安全に過ごせる居場所が小学校にあたら、利用したいですか。それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、利用したい場合は、希望する週当たり日数、利用したい時間帯を、□内に(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください(数字は一律に一字)。

(1) 平日 (月曜日から金曜日)

1. 利用したい	週□□日くらい	⇒利用したい時間帯
2. 利用する必要はない		⇒下校時から□□時まで

(2) 土曜日

1. 利用したい	⇒利用したい時間帯
2. 利用する必要はない	□□時から□□時まで

(3) 日曜日・祝日

1. 利用したい	⇒利用したい時間帯
2. 利用する必要はない	□□時から□□時まで

(4) 長期の休み期間中 (夏休み・冬休みなど)

1. 利用したい	⇒利用したい時間帯
2. 利用する必要はない	□□時から□□時まで

11. すべての方に、職場の両立支援制度について

問28 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由をお答えください。

母親 (いずれかに○)	父親 (いずれかに○)
1. 働いてなかった	1. 働いてなかった
2. 取得した (取得中である)	2. 取得した (取得中である)
3. 取得していない	3. 取得していない

⇒ 取得していない理由 (下から番号を選んでご記入ください)【いくつでも】 ()

⇒ 取得していない理由 (下から番号を選んでご記入ください)【いくつでも】 ()

1. 職場に育児休業をとりにくい雰囲気があった

2. 仕事が忙しかった

3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった

4. 仕事に戻るのが難しそうだった

5. 昇級・昇格などが遅れそうだった

6. 収入減となり、経済的に苦しくなる

7. 保育所 (園) などに預けることができた

8. 配偶者が育児休業制度を利用した

9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった

10. 子育てや家事に専念するために退職した

11. 職場に育児休業の制度がなかった (就業規定に定めがなかった)

12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった

13. その他 ()

問28-1 問28で「2. 取得した (取得中である)」に○をつけた方にうかがいます。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である
3. 育児休業取得後に離職した

(2) 父親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である
3. 育児休業取得後に離職した

問28-2 問28-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

育児休業からは、「実隙」にお子さんが何歳何ヶ月の時に職場復帰しましたか。また、お勤めの先の育児休業の制度の期間内で、お子さんが何歳何ヶ月のときまで取りかかったですか。□内に具体的な数字でご記入ください。(一枠内に数字は一字)。

(1) 母親

実際の取得期間	0	0	0	ヶ月
希望	0	0	0	ヶ月

(2) 父親

実際の取得期間	0	0	0	ヶ月
希望	0	0	0	ヶ月

問 28-3 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたいですか。□内に具体的な数字でご記入ください。(一枠内に数字は一字)。

(1) 母親

(2) 父親

○ 歳 ○ ヶ月 ○ 歳 ○ ヶ月

問28-4 問28-2で実際の復帰時期と希望の時期が異なる方にうかがいます。

希望の時期に職場復帰した理由についてうかがいます。

(1)「希望」より早く復帰した方 ※当ではまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

1. 希望する保育所に入るため
2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他（ ）

②父親

1. 希望する保育所に入るため
2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他 ()

(2)「希望」より遅く復帰した方 ※当ではまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

1. 希望する保育所に入らなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が悪わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
6. その他（ ）

②父親

1. 希望する保育所に入れなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
6. その他（ ）

12. すべての方に、子育て支援等について

問 29 あなたにとっての理想のお子さんの人数をお答えください。当ではまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 1人	2. 2人	3. 3人	4. 4人以上
-------	-------	-------	---------

問29で、理想のお子さんの人数より現実のお子さんの方が少ない方がいます。

問29-1 その理由を次のうちからお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 今後、出産したいと思っている、出産予定がある
2. 仕事と子育ての両立を考えると難しい
3. 年齢や体質等で出産が難しい
4. 子育ての精神的・肉体的負担が大きい
5. 子育てにかかる費用負担が大きい
6. 教育にかかる費用負担が大きい
7. 不妊治療にかかる費用負担が大きい
8. 不妊治療の精神的・肉体的負担が大きい
9. ひとりの子どもに手間やお金をかけて育てたい
10. 子育てを手助けしてくれる人がいない
11. 介護や看護の必要な親族がいる
12. 今の自分たちの生活を充実させたい
13. 配偶者からの子育て・家事の協力が少ない
14. その他（

問 30 小山市における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

1	2	3	4	5
不満	やや不満	普通	やや満足	満足

問31 子育てをするうえで、どのような支援の充実を図ってほしいですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 妊娠前から出産後のサポートの充実
2. 子育てしやすい労働環境に向けた企業への啓発
3. 子育てに関する情報提供の充実
4. 保護者同士がつながりを持てる機会の提供
5. 地域における子どもの居場所の充実
6. 子連れでも出かけやすく、楽しめる場所の充実
7. 子どもの保育・教育環境の充実
8. いじめや不登校・児童虐待防止対策の強化
9. 経済的支援の充実
10. 障がいのある児童への支援の充実
11. 子どもの犯罪・事故の未然防止
12. その他（ ）

問32 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

.....

調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。

小山市子ども・子育て支援事業計画に関する

ニーズ調査票【就学児童】

◎各設問の指示にしたがって、当てはまる番号に○印を付けてください。

1. お住まいの地域について

問1 お住まいの地区で当てはまる番号1つに○を付けてください。
※ご不明な場合は、最寄りの出張所を目安に回答してください。

1. 小山地区	2. 大谷地区
3. 間々田地区	4. 生井地区
5. 寒川地区	6. 豊田地区
7. 中地区	8. 穂積地区
9. 桑地区	10. 絹地区

2. 封筒の宛名のお子さんご家族の状況について

問2 宛名のお子さんの生年月月について、「平成」か「西暦」に○をつけ口内に数字でご記入ください
い（数字は一律に一字）。

平成	・	西暦	1	2	3	5	年	0	0	月	生	ま	れ
----	---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月を「平成」か「西暦」に○をつけ口内に数字でご記入ください（数字は一律に一字）。

きょうだい数	0	人	末子の生年月	平成	・	西暦			3	5	年	0	0	月	生	ま	れ
--------	---	---	--------	----	---	----	--	--	---	---	---	---	---	---	---	---	---

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○を付けてください。

1. 母親	2. 父親	3. その他（
-------	-------	---------

問5 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○を付けてください。

1. 父母ともに	2. 主に母親
3. 主に父親	4. 主に祖父母
5. その他（	）

3. 子育て環境について

問6 日頃、宛名のお子さんをみてももらえる親族・知人はいですか。当てはまる番号すべてに○を付けてください。

1. 日常的に祖父母等の親族にみてももらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてももらえる
3. 日常的に子どもをみてももらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてももらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

問7 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○を付けてください。

1. 配偶者はいる	2. 配偶者はいない
-----------	------------

4. 宛名のお子さんの保護者の就労状況について

問8 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業・家族従事者含む）をうかがいます。次の（1）から（2）-2までの設問にお答えください。

※1:フルタイムは、1週5日程度・1日8時間程度の就労(以下の設問も同様)
※2:パート・アルバイト等は、フルタイム以外(以下の設問も同様)

(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号1つに○を付けてください。

1. フルタイム※1で就労している	⇒ (1) -1へ
2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等※2で就労している	
4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	
6. これまで就労したことがない	⇒ (2) へ

(1) -1 (1) で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(口内に数字でご記入ください。数字は一律に一字。)

1 週当たり	0	日	1 日当たり	0	0	時間
--------	---	---	--------	---	---	----

(1) -2 (1) で「1. ～4.」(就労している)に○をつけた方)にうかがいます。家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)08時～18時のように、24時間制でお答えください。(□内に数字でご記入ください。数字は一律に一字。)

家を出る時間	○	○	時	帰宅時間	○	○	時
--------	---	---	---	------	---	---	---

(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイムで就労している	⇒ (2) -1へ	
2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である		
3. パート・アルバイト等で就労している		
4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である		
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない		⇒問10へ
6. これまで就労したことがない		

(2) -1 (2) で、「1. ～4.」(就労している)に○をつけた方)にうかがいます。週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください(□内に数字でご記入ください。数字は一律に一字)。

1 週当たり	○	日	1 日当たり	○	○	時間
--------	---	---	--------	---	---	----

(2) -2 (2) で、「1. ～4.」(就労している)に○をつけた方)にうかがいます。家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)08時～18時のように、24時間制でお答えください(□内に数字でご記入ください。数字は一律に一字)。

家を出る時間	○	○	時	帰宅時間	○	○	時
--------	---	---	---	------	---	---	---

問9 問8の(1)または(2)で「3.」「4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問11へお進みください。フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

問10 問8の(1)または(2)で「5.」「6.」(現在は就労していない・今まで就労したことがない)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問11へお進みください。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください(数字は一律に一字)。

(1) 母親

1. 子育てや家事に専念したい(就労の予定はない)	⇒希望する就労形態 ア. フルタイム イ. パートタイム、アルバイト等 →1週当たり ○ 日 1日当たり ○ 時間
2. 1年より先、一番下の子どもが○ 〇 歳になったところに就労したい	
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい	
⇒希望する就労形態	

(2) 父親

1. 子育てや家事に専念したい(就労の予定はない)	⇒希望する就労形態 ア. フルタイム イ. パートタイム、アルバイト等 →1週当たり ○ 日 1日当たり ○ 時間
2. 1年より先、一番下の子どもが○ 〇 歳になったところに就労したい	
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい	
⇒希望する就労形態	

5. 宛名のお子さんの病気の際の対応について

問11 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで学校を休んだり、学童保育クラブを利用できなかったことはありますか。

1. あった ⇒ 問11-1へ	2. なかった ⇒ 問12へ
-----------------	----------------

問11-1 問11で、「1. あった」に○をつけた方にかがいます。宛名のお子さんが病氣やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対応方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一律に一字）。

1年間の対処方法	日 数
ア. 父親が休んだ	日
イ. 母親が休んだ	日
ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	日
エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	日
オ. 病児・病後児の保育を利用した	日
カ. ベビーシッターを利用した	日
キ. ファミリー・サポート・センターを利用した	日
ク. 子どもだけで留守番をさせた	日
ケ. その他	日

※「キ・ファミリー・サポート・センター」には「病児・緊急対応強化事業」による利用も含まれます。

問11-2 問11-1で「ア」「イ」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当ではまる番号1つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ 日 ⇒ 問 11-3 へ

2. 利用したいとは思わない ⇒ 問 11-4 へ

問11-3 問11-2で、「1. であれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方いらっしゃいます。子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか、当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他（ ）

問11-4 問11-2で、「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病児・病後児を他人にみてもうのは不安
2. 質に不安がある
3. 利便性（立地や利用可能時間、日数など）がよくない
4. 利用料が高い
5. 親が仕事を休んで対応する
6. その他（ ）

6. 宛名のお子さんの放課後の過ごし方について

問12 宛名のお子さんについて、平日のお子さんの放課後の過ごし方について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。また、「放課後子ども教室等小学校内」、「児童保育クラブ」の場合には、利用時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず(例)18時のように24時間制でご記入ください(数字は枠に一字)。

場 所	日 数
1. 自宅	週 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 日くらい
4. 児童センター	週 日くらい
5. 放課後子ども教室※ ¹ 等小学校内	週 日くらい、 ⇒下校時から 時まで
6. 学童保育クラブ※ ²	週 日くらい、 ⇒下校時から 時まで
7. ファミリー・サポート・センター事業※ ³ の利用	週 日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週 日くらい

※1「放課後子ども教室」：地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取り組みです。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

※２「学童保育クラブ」：保護者が就労等により昼間家庭にいない場合など（放課後や夏休み等）に、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。

※3「ファミリー・サポート・センター事業」：育児の援助を行う人と育児の援助を必要とする人が会員の登録をし、お子さんの一時預かりや保育施設の送迎等の相互援助活動を行う事業です。

※問 13、問 14 はすべての方にかがいます。宛名のお子さんが設問の学年に当てはまらない場合も、「希望」としてお答えください。

問 13 宛名のお子さんについて、小学校低学年（１～３年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後子ども教室等小学校内」、「学童保育クラブ」の場合には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）１８時のように２４時間制でご記入ください（数字は一律に一字）。

場 所	日 数
1. 自宅	週 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 日くらい
4. 児童センター	週 日くらい
5. 放課後子ども教室等の小学校内	週 日くらい、 ⇒下校時から 時まで
6. 学童保育クラブ	週 日くらい、 ⇒下校時から 時まで
7. ファミリー・サポート・センター事業の利用	週 日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週 日くらい

問 14 宛名のお子さんについて、小学校高学年（４～６年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後子ども教室等小学校内」、「学童保育クラブ」の場合には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）１８時のように２４時間制でご記入ください（数字は一律に一字）。

場 所	日 数
1. 自宅	週 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 日くらい
4. 児童センター	週 日くらい
5. 放課後子ども教室等の小学校内	週 日くらい、 ⇒下校時から 時まで
6. 学童保育クラブ	週 日くらい、 ⇒下校時から 時まで
7. ファミリー・サポート・センター事業の利用	週 日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週 日くらい

問 15 問 13 または問 14 で、「6. 学童保育クラブ」に○をつけた方にかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育クラブの利用希望はありますか。（１）（２）それぞれについて、当てはまる番号１つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に（例）０９時～１８時のように２４時間制でご記入ください（数字は一律に一字）。

（１）土曜日

1. 低学年（１～３年生）の間は利用したい	⇒利用したい時間帯
2. 高学年（４～６年生）になっても利用したい	時から 時まで
3. 利用する必要はない	

（２）日曜日・祝日

1. 低学年（１～３年生）の間は利用したい	⇒利用したい時間帯
2. 高学年（４～６年生）になっても利用したい	時から 時まで
3. 利用する必要はない	

問 16 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休み期間中の学童保育クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号１つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に（例）０９時～１８時のように２４時間制でご記入ください（数字は一律に一字）。

1. 低学年（１～３年生）の間は利用したい	⇒利用したい時間帯
2. 高学年（４～６年生）になっても利用したい	時から 時まで
3. 利用する必要はない	

問 17 宛名のお子さんについて、保護者の就労している、就労していないに関わらず、児童が放課後等に大人の目に見守られて安全に過ごせる居場所が小学校にあたら、利用したいですか。それぞれについて、当てはまる番号１つに○をつけてください。また、利用したい場合は、希望する週当たり日数、利用したい時間帯を、□内に（例）０９時～１８時のように２４時間制でご記入ください（数字は一律に一字）。

（１）平日（月曜日から金曜日）

1. 利用したい	週 日くらい	⇒利用したい時間帯
2. 利用する必要はない		⇒下校時から 時まで

（２）土曜日

1. 利用したい	⇒利用したい時間帯
2. 利用する必要はない	時から 時まで

（３）日曜日・祝日

1. 利用したい	⇒利用したい時間帯
2. 利用する必要はない	時から 時まで

（４）長期の休み期間中（夏休み・冬休み等）

1. 利用したい	⇒利用したい時間帯
2. 利用する必要はない	時から 時まで

7. すべての方に、子育て支援等について

問 18 あなたにとっての理想のお子さんの人数をお答えください。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

	1. 1人	2. 2人	3. 3人	4. 4人以上
1. 1人				
2. 2人				
3. 3人				
4. 4人以上				

問18で、理想のお子さんの人数より現実のお子さん的人数が少ない方にうかがいます。

問18—1 その理由を次のうちからお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 今後、出産したいと思っている、出産予定がある
2. 仕事と子育ての両立を考えると難しい
3. 年齢や体質等で出産が難しい
4. 子育てでの精神的・肉体的負担が大きいの
5. 子育てにかかる費用負担が大きいの
6. 教育にかかる費用負担が大きいの
7. 不妊治療にかかる費用負担が大きいの
8. 不妊治療の精神的・肉体的負担が大きいの
9. ひとりの子どもに手間やお金をかけて育てたい
10. 子育てを手助けしてくれる人がいない
11. 介護や看護の必要な親族がいる
12. 今の自分たちの生活を充実させたい
13. 配偶者からの子育て・家事の協力が少ない
14. その他（ ）

問 19 小山市における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号 1 つに○をついてください。

1	2	3	4	5
不満	やや不満	普通	やや満足	満足

9

問20 子育てをするうえで、どのような支援の充実を図ってほしいですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 妊娠前から出産後のサポートの充実
2. 子育てしやすい労働環境に向けた企業への啓発
3. 子育てに関する情報提供の充実
4. 保護者同士がつながりを持てる機会の提供
5. 地域における子どもの居場所の充実
6. 子連れでも出かけやすく、楽しめる場所の充実
7. 子どもの保育・教育環境の充実
8. いじめや不登校・児童虐待防止対策の強化
9. 経済的支援の充実
10. 障がいのある児童への支援の充実
11. 子どもの犯罪・事故の未然防止
12. その他（

問21 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がありましたら、ご自由に記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。

はじめに、あなた自身のことについておたずねします

問1 あなたの性別を教えてください。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 男子 2. 女子 3. わからない・答えたくない

問2 現在お住いの地区を教えてください。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 小山地区 2. 大谷地区 3. 間々田地区 4. 生井地区 5. 寒川地区
6. 豊田地区 7. 中地区 8. 穂積地区 9. 桑地区 10. 絹地区

問3 一緒に住んでいる家族を教えてください。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. お母さん 2. お父さん 3. おばあちゃん 4. おじいちゃん 5. おにいちゃん
6. おねえちゃん 7. おとうと 8. いもうと 9. その他の人

問4 あなた自身の生活について、あてはまるものはありますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. ふだん（月曜日～金曜日）、ほぼ同じ時間に寝ている
2. どこか痛いときや、具合が悪いときは、がまんせず薬を飲んだり病院へ行っている
3. 自分のサイズに合った靴と服を持っている
4. 暑い季節、寒い季節に合った服を持っている
5. 毎日、お風呂に入っている（シャワーも含みます）
6. 特になし

あなたのふだんの生活や健康のことについておたずねします

問5 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。次の①～③のそれぞれについて教えてください。
い。(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください)

	毎日食べる (週7日)	週5～6日	週3～4日	週1～2日、 ほとんど 食べない
①朝食	1	2	3	4
②夕食	1	2	3	4
③夏休みや冬休みなどの期間の昼食	1	2	3	4

問6 あなたは、ふだん、ひとりで食事をすることがありますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. よくある 2. ときどきある 3. ほとんどない 4. まったくない

問7 あなたは、平日の放課後（夕方6時くらいまで）、どこで過ごすことが多いですか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 自分の家
2. おじいちゃん・おばあちゃんの家や親せきの家
3. 友達の家
4. 塾や習い事
5. 児童センター
6. 学童・放課後子ども教室
7. 学校（部活動、クラブ活動など）
8. スポーツクラブの活動の場（野球場、サッカー場など）
9. 公園
10. 図書館
11. その他（ ）

問7－1 あなたは、平日の放課後（夕方6時くらいまで）に過ごす場所として、どのような場所があると思いますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 勉強ができる場所
2. 本が読める場所
3. 運動ができる場所
4. のんびりできる場所
5. 音楽の練習ができる場所
6. ゲームができる場所
7. インターネットができる場所
8. 自分と同じくらいの年齢の人と交流できる場所
9. 自分と違う年齢の人と交流できる場所
10. 友達と集まっておしゃべりできる場所
11. 特にない
12. その他（ ）

問8 学校や塾などの勉強以外で、インターネットを自由に使うことができますか。(Wi-Fi 環境で使用している人も含みます) (あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 使っている 2. 使っていない

問8で「1. 使っている」と回答した方にお聞きます。

問8-1 インターネットをどのようなことに使用していますか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 知りたい情報を調べる	2. SNSの利用
3. 音楽をきく・動画をみる	4. オンラインゲームをする
5. 友達とSNS上でやり取りをする	6. 商品・サービスの購入
7. ネットオークション・フリマアプリによる購入・取引	
8. 使っていない	
9. その他 ()	

※SNSとは (LINE、Facebook、Instagram、YouTube、X【旧 Twitter】 など)

問9 全体として、あなたは最近の生活にどのくらい満足していますか。
(満足度を0 (不満) ～10 (満足) のいずれかの数字に○をつけてください)

0：まったく満足していない ←=====→ 10：十分に満足している										
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

学校のことや勉強のことについておたずねします

問10 学校は楽しいと思いますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. そう思う
2. どちらかというと思う
3. どちらでもない
4. どちらかというと思うわない
5. そう思わない

問10で「1～2」と回答した方にお聞きます

問10-1 どのようなところが楽しいですか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 授業	2. 休み時間
3. 課外活動	4. 友だちがいること
5. 先生	6. 行事
7. 図書室	8. 部活動・クラブ活動
9. 給食	10. その他 ()

問10で「3～5」と回答した方にお聞きます

問10-2 そう思わない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 授業がわからない	2. 苦手な教科の授業がある
3. テストがある	4. 宿題や課題などがある
5. 学校の規則が厳しい	6. 友達とうまくいかない
7. 先生とうまくいかない	8. いじめを受けた
9. などとなく	10. その他 ()

問11 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 何もわかる
2. だいたいわかる
3. 教科によってはわからないことがある
4. わからないことが多い
5. ほとんどわからない

問12 勉強がわからないとき、だれに教えてもらいますか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 親	2. 親以外の家族 (きょうだいやおじいちゃんおばあちゃん)
3. 学校の先生	4. 友達
5. 塾や習い事の先生	6. その他の大人
7. 教えてもらえる人がいない	8. 教えてもらわない・聞く必要がない

問13 以下の①～⑥のことについて、あなたはどのくらいあてはまりますか。
(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください)

	あてはまる	どちらかと いえばあて はまる	どちらかと いえばあて はまらない	あてはらな い
①自分には、よいところがあると思う	1	2	3	4
②自分のことが好きだ	1	2	3	4
③自分の親から愛されていると思う	1	2	3	4
④自分の考えをはっきり相手に伝えることができる	1	2	3	4
⑤ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある	1	2	3	4
⑥将来の夢や目標を持っている	1	2	3	4

問 14 あなたは、自分や家族のことで悩みや心配事がありますか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 友達との関係	2. 勉強のこと
3. 進学・進路のこと	4. 部活動、クラブ活動のこと
5. 自分の性格や容姿（顔や体型）のこと	6. 家族のこと
7. 性のこと	
8. 親やおじいちゃんやおばあちゃん、きょうだいなどの世話が大変なこと	
9. 恋愛	10. お金のこと
11. いじめのこと	12. インターネット（SNS）のトラブル
13. 大人から心や体が傷つくことを言われたり、されたりすること	
14. 悩み事や心配事はない	15. その他（ ）

問 15 あなたは、悩み事がある時、誰に相談しますか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. お母さん	2. お父さん
3. きょうだい	4. おじいちゃんやおばあちゃん
5. 学校の友達	6. 学校以外の友達
7. インターネット上の友達	8. 学校の先生（担任や保健の先生など）
9. 塾や習い事の先生	10. 誰にも相談しない
11. 誰に（どこに）相談すればよいかわからない	
12. その他（ ）	

問 16 あなたの家族の中に、あなたがお世話をしている人はいいますか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください)
※お世話とは、食事の準備や洗濯、お風呂やトイレなど大人に代わってめんどうみることです。

1. お父さん	2. お母さん
3. おじいちゃん・おばあちゃん	4. きょうだい
5. お世話はしていない	6. その他（ ）

子どもの権利についておたずねします

問 17 あなたは、「こども基本法」と「子どもの権利条約」を知っていますか。
(それぞれ、あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

	内容をくわしく知っている	内容について少し知っている	名前だけ聞いたことがある	聞いたことがない・知らない
①こども基本法	1	2	3	4
②子どもの権利条約	1	2	3	4

問 18 あなたのお父さん・お母さんや学校の先生は、あなたのことを決めるときに、あなたの意見を聞いて、大事にしてくれていると思いますか。

(それぞれ、あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

	とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	まったくそう思わない
①お父さん・お母さん (または身近な人)	1	2	3	4	5
②学校の先生	1	2	3	4	5

アンケートはこれで終わります。ご協力ありがとうございました。

はじめに、あなた自身のことについておたずねします

問1 あなたの性別を教えてください。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 男子	2. 女子	3. わからない・答えない
-------	-------	---------------

問2 現在お住いの地区を教えてください。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 小山地区	2. 大谷地区	3. 間々田地区	4. 生井地区	5. 寒川地区
6. 豊田地区	7. 中地区	8. 穂積地区	9. 桑地区	10. 絹地区

問3 一緒に住んでいる家族を教えてください。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. お母さん	2. お父さん	3. おばあちゃん	4. おじいちゃん	5. おにいちゃん
6. おねえちゃん	7. おとうと	8. いもうと	9. その他の人	

問4 あなた自身の生活について、あてはまるものはありますか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ている
2. どこか痛いときや、具合が悪いときは、がまんせず薬を飲んだり病院へ行っている
3. 自分のサイズに合った靴と服を持っている
4. 暑い季節、寒い季節に合った服を持っている
5. 毎日、お風呂に入っている (シャワーも含みます)
6. 特になし

あなたのふだんの生活や健康のことについておたずねします

問5 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。次の①～③のそれぞれについて教えてください。
い。(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください)

	毎日食べる (週7日)	週5～6日	週3～4日	週1～2日、 ほとんど 食べない
①朝食	1	2	3	4
②夕食	1	2	3	4
③夏休みや冬休みなどの期間の昼食	1	2	3	4

問6 あなたは、ふだん、ひとりで食事をすることがありますか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. よくある	2. ときどきある	3. ほとんどない	4. まったくない
---------	-----------	-----------	-----------

問7 あなたは、平日の放課後、どこで過ごす多いですか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 自分の家
2. おじいちゃん・おばあちゃんの家や親せきの家
3. 友達の家
4. 塾や習い事
5. 学校 (部活動、クラブ活動など)
6. スポーツクラブの活動の場 (野球場、サッカー場など)
7. 公園
8. 図書館
9. その他 ()

問7-1 あなたは、平日の放課後 (夕方6時くらいまで) に過ごす場所として、どのような場所があるとよいと思いますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 勉強ができる場所
2. 本が読める場所
3. 運動ができる場所
4. のんびりできる場所
5. 音楽の練習ができる場所
6. ゲームができる場所
7. インターネットができる場所
8. 自分と同じくらいの年齢の人と交流できる場所
9. 自分と違う年齢の人と交流できる場所
10. 友達と集まっておしゃべりできる場所
11. 特になし
12. その他 ()

問8 学校や塾などの勉強以外で、インターネットを自由に使うことができますか。(Wi-Fi 環境で
使用している人も含みます) (あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 使っている	2. 使っていない
----------	-----------

問8で「1. 使っている」と回答した方にお聞きます。

問8-1 インターネットをどのようなことに使用していますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 知りたい情報を調べる	2. SNSの利用
3. 音楽をきく・動画をみる	4. オンラインゲームをする
5. 友達とSNS上でやり取りをする	6. 商品・サービスの購入
7. ネットオークション・フリマアプリによる購入・取引	
8. 使っていない	
9. その他 ()	

※SNSとは (LINE、Facebook、Instagram、YouTube、X【旧 Twitter】 など)

問9 全体として、あなたは最近の生活にどのくらい満足していますか。

(満足度を0 (不満) ~10 (満足) のいずれかの数字に○をつけてください)

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

学校のことや勉強のことについておたずねします

問10 あなたは将来、どの段階まで進学したいですか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 高校まで	2. 短大・高専・専門学校まで
3. 大学またはそれ以上	4. まだわからない ⇒ 問11へ

問10で「1~3」と回答した方にお聞きます

問10-1 そう思う理由を教えてください。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. もっと学びたいから	2. 自分の成績から考えて
3. 親がその進路を希望しているから	4. 兄・姉がそうしているから
5. まわりの先輩や友達がそうしているから	6. 経済的な余裕がないから
7. 早く働きたいから	8. 自分のやりたい仕事につきたいから
9. 特に理由はない	10. その他 ()

問11 学校は楽しいと思いますか (あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. そう思う
2. どちらかというとそう思う
3. どちらでもない
4. どちらかというとそう思わない
5. そう思わない

問11で「1~2」と回答した方にお聞きます

問11-1 どのようなところが楽しいですか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 授業	2. 休み時間
3. 課外活動	4. 友だちがいること
5. 先生	6. 行事
7. 図書室	8. 部活動・クラブ活動
9. 給食	10. その他 ()

問11で「3~5」と回答した方にお聞きます

問11-2 そう思わない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 授業がわからない	2. 苦手な教科の授業がある
3. テストがある	4. 宿題や課題などがある
5. 学校の規則が厳しい	6. 友達とうまくいかない
7. 先生とうまくいかない	8. いじめを受けた
9. などとなく	10. その他 ()

問12 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. いつもわかる
2. だいたいわかる
3. 教科によってはわからないことがある
4. わからないことが多い
5. ほとんどわからない

問13 勉強がわからないとき、だれに教えてもらいますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 親	2. 親以外の家族 (きょうだいやおじいちゃんおばあちゃん)
3. 学校の先生	4. 友達
5. 塾や習い事の先生	6. その他の大人
7. 教えてもらえる人がいない	8. 教えてもらわない・聞く必要がない

問 14 以下の①～⑥のことについて、あなたはどのくらいあてはまりますか。

(それぞれ、あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

	あてはまる	どちらかと いえばあて はまる	どちらかと いえばあて はらない	あてはらな い
①自分には、よいところがあると思う	1	2	3	4
②自分のことが好きだ	1	2	3	4
③自分の親から愛されていると思う	1	2	3	4
④自分の考えをはっきり相手に伝えることができる	1	2	3	4
⑤ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある	1	2	3	4
⑥将来の夢や目標を持っている	1	2	3	4

問 15 あなたは、自分や家族のことで悩みや心配事がありますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 友達との関係	2. 勉強のこと
3. 進学・進路のこと	4. 部活動、クラブ活動のこと
5. 自分の性格や容姿（顔や体型）のこと	6. 家族とのこと
7. 性のこと	
8. 親やおじいちゃんやおばあちゃん、きょうだいなどの世話が大変なこと	
9. 恋愛	10. お金のこと
11. いじめのこと	12. インターネット（SNS）のトラブル
13. 大人から心や体が傷つくことを言われたり、されたりすること	
14. 悩み事や心配事はない	15. その他（ ）

問 16 あなたは、悩み事がある時、誰に相談しますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. お母さん	2. お父さん
3. きょうだい	4. おじいちゃんやおばあちゃん
5. 学校の友達	6. 学校以外の友達
7. インターネット上の友達	8. 学校の先生(担任や保健の先生など)
9. 塾や習い事の先生	10. 誰にも相談しない
11. 誰に（どこに）相談すればよいかわからない	
12. その他（ ）	

問 17 あなたの家族の中に、あなたがお世話をしている人はいいますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

※お世話とは、食事の準備や洗濯、お風呂やトイレなど大人に代わってめんどううみることです。

1. お父さん	2. お母さん
3. おじいちゃん・おばあちゃん	4. きょうだい
5. お世話はしていない	6. その他（ ）

子どもの権利についておたずねします

問 18 あなたは、「こども基本法」と「子どもの権利条約」を知っていますか。

(それぞれ、あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

	内容をくわ しく知って いる	内容につい て少し知っ ている	名前だけ聞 いたことが ある	聞いたこと がない・知 らない
①こども基本法	1	2	3	4
②子どもの権利条約	1	2	3	4

問 19 あなたのお父さん・お母さんや学校の先生は、あなたのことを決めるときに、あなたの意見を聞いて、大事にしてくれていると思いますか。

(それぞれ、あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

	とても そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そう 思わない	まったくそ う思わない
①お父さん・お母さん (または身近な人)	1	2	3	4	5
②学校の先生	1	2	3	4	5

問 20 市の事業に子どもの意見を取り入れる方法について、あなたはどんな機会があれば子どもが意見を伝えやすいと思いますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. アンケート
2. 意見交換ができるイベント
3. SNS での意見交換
4. 子どもが参加できる会議
5. その他（ ）

アンケートはこれで終わります。ご協力ありがとうございました。

⑤高校生(本人)

はじめに、あなた自身のことについておたずねします

問1 あなたの性別を教えてください。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 男子

2. 女子

3. わからない・答えたくない

問2 現在お住いの地区を教えてください。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 小山市地区

2. 大谷地区

3. 間々田地区

4. 生井地区

5. 寒川地区

6. 豊田地区

7. 中地区

8. 穂積地区

9. 桑地区

10. 絹地区

11. 市外

問3 一緒に住んでいる家族を教えてください。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 母

2. 父

3. 祖母

4. 祖父

5. 兄

6. 姉

7. 弟

8. 妹

9. その他の人

あなたのふだんの生活や健康のことについておたずねします

問4 あなたは、現在学校に在籍していますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 高等学校(全日制)

2. 高等学校(定時制)

3. 高等学校(通信制)

4. 特別支援学校

5. 高等専門学校

6. 上記のいずれかに在籍したことはあるが中途退学した

7. 上記の学校のいずれにも在席したことはない

問4で「1～4」学校に在籍していると回答した方にお聞きします

問4ー1 あなたが通っている学校はどちらの地区ですか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 市内(徒歩・自転車など)

2. 市内(電車・バス)

3. 県内(県南地区：栃木・佐野・足利など)

4. 県内(県央地区：下野・宇都宮など)

5. その他県内

6. 県外

問5 あなたは、現在働いていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 働いている(高校生アルバイト)

2. 働いている(正社員・パートタイム・派遣・日雇い)

3. 家業の従業員として働いている

4. 家事(家族の育児・介護含む)手伝い

5. 就職活動中

6. 働いていない

7. その他()

1

問6 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。次の①～③のそれぞれについて教えてください。(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください)

	毎日食べる (週7日)	週5～6日	週3～4日	週1～2日、 ほとんど 食べない
①朝食	1	2	3	4
②夕食	1	2	3	4
③夏休みや冬休みなどの期間の昼食	1	2	3	4

問7 あなたは、ふだん、ひとりで食事をすることがありますか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. よくある

2. ときどきある

3. ほとんどない

4. まったくない

問8 あなたは、平日(学校や仕事に行く日)の夕方は、どこで過ごすことが多いですか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 自分の家

2. 祖父母の家や親せきの家

3. 友達の家

4. 塾や習い事

5. 学校(部活動、クラブ活動など)

6. スポーツクラブの活動の場(野球場、サッカー場など)

7. 公園

8. 図書館や公共の施設

9. ショッピングセンター

10. お金を払って遊ぶ施設(ゲームセンター、カラオケなど)

11. 飲食店(カフェやファーストフード店など)

12. その他()

2

問9 あなたは、平日（学校や仕事に行く日）の夕方に過ごす場所として、どのような場所があると思いますか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1. 勉強ができる場所
2. 本が読める場所
3. 運動ができる場所
4. のんびりできる場所
5. 音楽の練習ができる場所
6. ゲームができる場所
7. インターネットができる場所
8. 自分と同じくらいの年齢の人と交流できる場所
9. 自分と違う年齢の人と交流できる場所
10. 友達と集まっておしゃべりできる場所
11. 特にない
12. その他（ ）

問10 学校や塾などの勉強以外で、インターネットをどのようなことに使用していますか。

(Wi-Fi環境で使用している人も含みます)

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 知りたい情報を調べる
2. SNSの利用
3. 音楽をきく・動画をみる
4. オンラインゲームをする
5. 友達とSNS上でやり取りをする
6. 商品・サービスの購入
7. ネットオークション・フリマアプリによる購入・取引
8. 使っていない
9. その他（ ）

※SNSとは(LINE、Facebook、Instagram、YouTube、X【旧Twitter】など)

問11 あなたが、学校や職場以外で活動しているものはありますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. スポーツ活動（地域のスポーツクラブやスポーツジムなど）
2. 文化活動（料理や美術、音楽などのサークルなど）
3. ボランティア活動
4. インターネット上のコミュニティ（SNS上のグループなど）
5. 活動しているものはない
6. その他（ ）

問12 全体として、あなたは最近の生活にどのくらい満足していますか。
(満足度を0(不満)～10(満足)のいずれかの数字に○をつけてください)

0:まったく満足していない											10:十分に満足している
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	

学校のことや勉強のことについておたずねします。

問13 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。※ 勉強には学校の宿題もふくみます。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 自分で勉強する
2. 塾で勉強する
3. 学校の補習を受ける
4. 家庭教師に教えてもらう
5. 地域の人などが行う無料の勉強会に参加する
6. 家の人に教えてもらう
7. 友達と勉強する
8. 学校の授業以外で勉強はしない
9. その他（ ）

問14 あなたは将来、どの段階まで進学したいですか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 高校まで
2. 短大・高専・専門学校まで
3. 大学またはそれ以上
4. まだわからない ⇒ 問15へ

問14で「1~3」と回答した方にお聞きます

問14-1 そう思う理由を教えてください。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. もっと学びたいから
2. 自分の成績から考えて
3. 親がその進路を希望しているから
4. 兄・姉がそうしているから
5. まわりの先輩や友達がそうしているから
6. 経済的な余裕がないから
7. 早く働きたいから
8. 自分のやりたい仕事につきたいから
9. 特に理由はない
10. その他（ ）

問15 学校は楽しいと思いますか（あてはまる番号1つに○をつけてください）

1. そう思う	⇒ 問 15-1 へ
2. どちらかというとそう思う	⇒ 問 15-1 へ
3. どちらでもない	⇒ 問 15-2 へ
4. どちらかというとそう思わない	⇒ 問 15-2 へ
5. そう思わない	⇒ 問 15-2 へ

問15で「1~2」と回答した方にお聞きます

問15-1 どのようなところが楽しいですか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 授業
2. 休み時間
3. 課外活動
4. 友だちがいること
5. 先生
6. 行事
7. 図書室
8. 部活動・クラブ活動
9. 食事
10. その他（ ）

問15で「3～5」と回答した方にお聞きます

問15-2 そう思わない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 授業がわからない
2. 授業がわかる
3. テストがある
4. 宿題や課題などがある
5. 学校の規則が厳しい
6. 友達とうまくいかない
7. 先生とうまくいかない
8. いじめを受けた
9. なんとなく
10. その他（ ）

問16 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. いつもわかる
2. だいたいわかる
3. 教科によってはわからないことがある
4. わからないことが多い
5. ほとんどわからない

問17 勉強がわからないとき、だれに教えてもらいますか。

(あ) であらう番号をつけてください

1. 親
2. 親以外の家族（兄弟姉妹や祖父母）
3. 学校の先生
4. 友達
5. 塾や習い事の先生
6. その他の大人
7. 教えてもらえる人がいない
8. 教えてもらわない・聞く必要がない

問18 以下の①～⑥のことについて、あなたはどのくらいあてはまりますか。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください)

	あてはまる あてはまらない	どちらかとい えはあてはま らない	どちらかとい えはあてはま らない	あてはまら ない
①自分には、よいところがあると思う	1	2	3	4
②自分のことが好きだ	1	2	3	4
③自分の親から愛されていると思う	1	2	3	4
④自分の考えをばっさり相手に伝えることができる	1	2	3	4
⑤ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある	1	2	3	4
⑥将来の夢や目標を持っている	1	2	3	4

将来のことについておたずねします

問19 あなたは、将来小山市に住みたいと思いますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 住みたい	⇒ 問 19 - 1 へ
2. 県外へ出てほしい	⇒ 問 19 - 1 へ
3. できれば住みたくない	⇒ 問 19 - 2 へ
4. 住みたくない	⇒ 問 19 - 2 へ
5. わからない	⇒ 問 19 - 2 へ

問19で「1, 2」小山市に住みたいと回答した方にお聞きます

問19-1 小山市に住みたい理由は何か。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 住み慣れた地域で暮らしたいから
2. 親と一緒に（実家）に住みたいから
3. 地元で友人が住んでいるから
4. 通学・通勤に便利だから
5. 生活するのに不便はないから
6. 小山市の自然環境が好きだから
7. 地元の仕事に携わりたいから
8. その他（ ）

問 19 で「3～5」小山市に住みたくない、わかなないと回答した方にお聞きします

問 19－2 小山市に住みたくない理由は何か。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1. 小山市に魅力や愛着を感じないから	
2. 生活するのに不便だから	
3. 家族から離れて自立した生活を送りたいから	
4. 小山市に自分がつきたい仕事がないから	
5. 都会に出たいから	
6. 他に住みたいまちがあるから	
7. 特に理由はない	
8. その他（ ）	

問 20 あなたが結婚に対して持っているイメージを教えてください。

（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1. 好きな人と一緒にいられて幸せそう	2. お金に余裕が出来るそう
3. 将来が安定しそう	4. 親や親せきが喜びそう
5. 家事や子育てが大変そう	6. お金がかかりそう
7. 自分の時間が減りそう	8. 仕事との両立が大変そう
9. 面倒そう、疲れそう	10. 特にない・わからない
11. その他（ ）	

問 21 あなたが子育てに対して持っているイメージを教えてください。

（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1. 幸せそう	2. 楽しいことが増えそう
3. 生活が充実しそう	4. 自分も成長できそう
5. お金がかかりそう	6. 自分の時間が減りそう
7. 仕事との両立が大変そう	8. 面倒そう・疲れそう
9. 特にない・わからない	10. その他（ ）

あなたがふだん考えていることについておたずねします

問 22 あなたは、自分や家族のことで悩みや心配事がありますか。

（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1. 友達との関係	2. 勉強のこと
3. 進学・進路のこと	4. 部活動、クラブ活動のこと
5. 自分の性格や容姿（顔や体型）のこと	6. 家族のこと
7. 性のこと	
8. 親や祖父母、兄弟姉妹などの世話が大変なこと	
9. 恋愛	10. お金のこと
11. いじめのこと	12. インターネット（SNS）でのトラブル
13. 大人から心や体が傷つくことを言われたり、されたりすること	
14. 悩み事や心配事はない	15. その他（ ）

問 23 あなたは、悩み事がある時、誰に相談しますか。

（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1. 母親	2. 父親
3. 兄弟姉妹	4. 祖父母
5. 学校の友達	6. 学校以外の友達
7. インターネット上の友達	8. 学校の先生（担任や保健の先生など）
9. 塾や習い事の先生	10. 職場やアルバイト先の人
11. 誰にも相談しない	
12. 誰に（どこに）相談すればよいかわからない	
13. その他（ ）	

問 24 あなたの家族の中に、あなたがお世話をしている人はいいますか。

（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

※お世話とは、食事の準備や洗濯、お風呂やトイレなど大人に代わってめんどうみることです。

1. 父親	2. 母親
3. 祖父母	4. 兄弟姉妹
5. お世話はしていない	⇒問 25 へ
6. その他（ ）	

問 24 で「5」以外を回答した方にお聞きします

問 24－1 お世話をしていることで、次のようなことがありますか。

（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1. 友達と遊べないことがある
2. 部活動や塾、習い事に思うように行くことができない
3. 宿題など勉強する時間がない
4. 学校や仕事に行けなかったり、遅刻や早退をすることがある
5. 眠る時間が足りない
6. 自分が行きたい学校や就職先に行くことができない
7. 自分の自由時間がない
8. 心や体が疲れる
9. 特にない
10. その他（ ）

子どもの権利についておたずねします

問 25 あなたは、「こども基本法」と「子どもの権利条約」を知っていますか。
(それぞれ、あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

	内容をくわしく知っている	内容について少し知っている	名前だけ聞いたことがある	聞いたことがない・知らない
①こども基本法	1	2	3	4
②子どもの権利条約	1	2	3	4

問 26 あなたやあなたのまわりの子どもで、以下の①～④について、守られていないと思うものがありますか。(それぞれ、あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

	守られている	だいたい守られている	あまり守られていない	守られていない
①命が守られ、育つことができる	1	2	3	4
②大人は何かその子どもにとって良いことを、いちばん先に考えている	1	2	3	4
③自分の考えや気持ちを自由に言うことができる	1	2	3	4
④見た目や性別、考え方の違い、お金のあるなしなど、どんな理由でも差別されない	1	2	3	4

子どもたちには、どんな権利があるの？

この条約の定める権利には、大きく分けると以下のようなものがあります。



生きる権利

住む場所や食べ物があり、医療を受けられるなど、命が守られること



育つ権利

勉強したり遊んだりして、もって生まれた能力を十分に伸ばしながら成長できること



守られる権利

紛争に巻き込まれず、誰にもなつたら保護され、暴力や搾取、有害な労働などから守られること



参加する権利

自由に意見を表したり、団体を作ったりできること。

問 27 あなたの父母や学校の先生、職場の人は、あなたことを決めるときに、あなたの意見を聞いて、大事にしてくれていると思いますか。

(それぞれ、あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

	とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	まったく思わない
①父母(または身近な人)	1	2	3	4	5
②学校の先生・職場の人	1	2	3	4	5

問 28 あなたは、子どもの権利を守るために、どんな仕組みがあればいいと思いますか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 子どもの権利について、学校で教える
2. 大人に伝えたいことを伝える手助けをしてくれる人がいる
3. 電話やSNSやメールなどで相談できる
4. 大人に子どもの権利についてもっと伝える
5. 国や社会に意見を伝える方法を学ぶ機会がある
6. 子どもの権利が守られているかを見張る仕組みがある
7. 子どもの意見が言える仕組みがある
8. 特になし

問 29 市の事業に子どもの意見を取り入れる方法について、あなたはどんな機会があれば子どもが意見を伝えやすいと思いますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. アンケート
2. 意見交換ができるイベント
3. SNSでの意見交換
4. 子どもが参加できる会議
5. その他 ()

アンケートはこれで終わります。ご協力ありがとうございました。

お子さんと、調査に回答いただく方（あなた）のことについておたずねします

問1 この調査に回答いただいている方（あなた）の、お子さんから見た籍柄についてお教えください。
い。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

1. 母親	2. 父親	3. 祖母
4. 祖父	5. その他（ ）	

問2 現在お住いの地区を教えてください。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

1. 小山区	2. 大谷地区	3. 間々田地区	4. 生井地区	5. 寒川地区	
6. 豊田地区	7. 中地区	8. 穂積地区	9. 桑地区	10. 絹地区	11. 市外

世帯の状況についておたずねします

問3 お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の構成と人数をお答えください。単身ふにん
中の方や学業のために世帯を離れているお子さんがいる場合には、ご家族の人数に含めて教えて
ください。（人数を回答欄に記入してください）

①世帯人数(あなたを含めて)	() 人
②世帯員のうち子どもの人数	() 人

問4 あなたの世帯に含まれる方全員の、お子さんから見た籍柄についてお教えください。
（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1. 母親	2. 父親	3. 祖母
4. 祖父	5. 兄弟姉妹	6. その他（ ）

問5 あなたの世帯は、「ひとり親世帯」に該当しますか。
（あてはまる番号1つに○をつけてください）

1. 該当しない	2. 該当する（死別）	3. 該当する（離婚）
4. 該当する（未婚）	5. 該当する（別居）	

※この調査で「ひとり親世帯」とは、死別、離別、未婚などのより、現に配偶者のいない男性または
女性が、18歳未満の未婚の子どもを育てている世帯とします。

問5で「3、4」該当すると回答し、離婚、未婚と回答した方にお聞きます

問6 お子さんの親（相手方）と、お子さんの養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在
受け取っていますか。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

1. 養育費の取り決めをしており、受け取っている	⇒問7へ
2. 養育費の取り決めをしているが、受け取っていない	
3. とくに取り決めはしていないが、養育費を受け取っている	
4. 養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない	⇒問6-1へ

問6で「3、4」養育費の取り決めをしていない方にお聞きます

問6-1 養育費の取り決めをしたいと考えていますか。
（あてはまる番号1つに○をつけてください）

1. したい	2. したいができない	3. したくない	4. 必要がない
--------	-------------	----------	----------

お子さんの母親と父親についておたずねします

※ひとり親世帯に該当する場合は、あなた（記入者）のことのみお答えください。

問7 お子さんの母親と父親は、現在収入をともなう仕事をしていますか。
（それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください）

	している (1つの仕事をしている) ⇒問7-1, 2へ	している (複数の仕事をしている) ⇒問7-1, 2へ	していない ⇒問7-3へ
①母親	1	2	3
②父親	1	2	3

問7で「1、2」仕事をしている方にお聞きます

問7-1 お子さんの母親と父親の就業形態は次のどれにあてはまりますか。複数の仕事をお持ちの
方は、主な仕事についてお答えください。

①母親（あてはまる番号1つに○をつけてください）

1. 正社員・正規職員・会社役員	2. パートアルバイト
3. 嘱託・契約社員・準社員・臨時職員	4. 人材派遣会社の派遣社員
5. 自営業(商店主・農業など)	6. その他

②父親（あてはまる番号1つに○をつけてください）

1. 正社員・正規職員・会社役員	2. パートアルバイト
3. 嘱託・契約社員・準社員・臨時職員	4. 人材派遣会社の派遣社員
5. 自営業(商店主・農業など)	6. その他

問7-2 お子さんの母親と父親は、平日の日中以外の勤務がありますか。

①母親（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1. 早朝（5～8時）	2. 夜勤（20～22時）	3. 深夜勤務（22時～翌朝5時）
4. 土日・祝日出勤	5. 平日日中以外の勤務はない	

②父親（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1. 早朝（5～8時）	2. 夜勤（20～22時）	3. 深夜勤務（22時～翌朝5時）
4. 土日・祝日出勤	5. 平日日中以外の勤務はない	

問7で「3」現在仕事していないを方にお聞きします

問7-3 仕事をしていない理由なんですか。

①母親（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1. 働きたいが、希望する条件の仕事がないため	2. 子育てを優先したため
3. 家族の介護・介助のため	4. 自分の病気や障がいのため
5. 通学しているため	6. その他（ ）

②父親（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1. 働きたいが、希望する条件の仕事がないため	2. 子育てを優先したため
3. 家族の介護・介助のため	4. 自分の病気や障がいのため
5. 通学しているため	6. その他（ ）

問8 お子さんの母親と父親の最終学歴は次のうちどれですか。

①母親（あてはまる番号1つに○をつけてください）

1. 中学校	2. 高校	3. 短大・高専・専門学校
4. 大学・大学院	5. わからない	

②父親（あてはまる番号1つに○をつけてください）

1. 中学校	2. 高校	3. 短大・高専・専門学校
4. 大学・大学院	5. わからない	

問9 あなたはお子さんをもってから、以下のような経験をしたことがありますか。

（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1. 配偶者（元・パートナー含む）から暴力を受けたことがある
2. 子どもに行き過ぎた体罰を与えたことがある
3. 育児放棄になった時期がある
4. 妊娠・出産や育児でうつ病（状態）になったことがある
5. わが子を虐待しているのではないか、と思い悩んだことがある
6. 自殺を考えたことがある
7. いずれも経験したことがない

家族の健康状態についておたずねします

問10 病気や障がいのある家族や介護の必要な家族と一緒に住んでいますか。お子さんからみた続柄でお答えください。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1. 父親が病気・障がい・介護が必要	2. 母親が病気・障がい・介護が必要
3. 祖父母が病気・障がい・介護が必要	4. 兄弟姉妹が病気・障がい・介護が必要
5. その他の家族が病気・障がい・介護が必要	
6. 家族の中に病気や障がいのある人や介護に必要な人はいない	

問11 あなたの世帯のお子さんについて、障がい等がある方（疑いを含む）はいらっしゃいますか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1. 特にない	2. 身体障がい	3. 知的な遅れ
4. 発達障がい	5. わからない	6. その他（ ）

お子さんのことについておたずねします

問12 あなたの世帯では、お子さんに次の①～⑨のようなことをしていますか。

（それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください）

	している	していない（経済的）	していない（その他）
①毎月おこづかいを渡す	1	2	3
②毎年新しい洋服・靴を買う	1	2	3
③習い事（音楽、スポーツなど）に通わせる	1	2	3
④学習塾に通わせる（または家庭教師）	1	2	3
⑤誕生日のお祝いをする	1	2	3
⑥1年に1回以上家族旅行に行く	1	2	3
⑦クリスマスプレゼントや正月のお年玉をあげる	1	2	3
⑧お子さんの学校行事などへ保護者が参加する	1	2	3
⑨親子で地域の行事に参加する	1	2	3

問13 お子さんは将来、現実的に見てどの学校に進学すると思いますか。

（あてはまる番号1つに○をつけてください）

1. 中学まで	2. 高校まで	3. 短大・高専・専門学校まで
4. 大学・大学院まで	5. わからない	

問 18 あなたの世帯では、過去 1 年間に お金 が足りなくて、必要とする衣料品が買えないことがあ
りましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は、含みません。
(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. よくあった	2. ときどきあった	3. ほとんどなかった	4. まったくなかった
----------	------------	-------------	-------------

問 19 あなたの世帯では、過去 1 年の間に、①～⑦について、経済的な理由で未払いになったことがあ
りましたか。ただし、各種の支払いや借入金がない場合などは、「該当しない」を選択してく
ださい。(それぞれ、あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

	なかった	あった	該当しない
①家賃の滞納	1	2	3
②住宅ローンの滞納	1	2	3
③電気料金の未払い	1	2	3
④ガス料金の未払い	1	2	3
⑤水道料金の未払い	1	2	3
⑥電話料金の未払い	1	2	3
⑦その他の債務不履行	1	2	3

問 20 世帯全体のおおよその年間収入(税込)はいくらですか。
(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)
※令和 4 年の 1 年間収入についてお答えください。(手取りではなく額面など)
※収入には、同居し、生計を同一にしている家族全員の以下の収入が含まれます。

- ・勤め先収入(定期収入、賞与等)
- ・事業収入(原材料費、人件費、営業上の諸経費等を除く)、内職収入(材料費等を除く)
- ・公的年金・恩給、その他の社会保障給付金(生活保護、児童手当、児童扶養手当等)
- ・農林漁業収入(農機具等の材料費、営業上の諸経費等を除く)
- ・財産収入(預貯金利子、家賃収入等。家・土地などの資産売却代金や生命保険・損害保険からの受
取金等は除く。)
- ・その他の収入(仕送り、養育費、個人年金、各種祝い金等)

1. 50 万円未満	2. 50～100 万円未満
3. 100～150 万円未満	4. 150～200 万円未満
5. 200～250 万円未満	6. 250～300 万円未満
7. 300～350 万円未満	8. 350～400 万円未満
9. 400～450 万円未満	10. 450～500 万円未満
11. 500～600 万円未満	12. 600～700 万円未満
13. 700～800 万円未満	14. 800～900 万円未満
15. 900～1000 万円未満	16. 1000 万円以上

問 13 で「1～4」と回答した方にお聞きします
問 13-1 そう考える理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. お子さんがそう希望しているから	2. 一般的な進路だと思うから
3. お子さんの学力から考えて	4. 家庭の経済的な状況から考えて
5. まだどうなるかわからないから	6. 特に理由はない
7. その他	

問 14 あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。
(それぞれ、あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

	あてはまる	どちらかとい えば、あ てはまら ない	どちらかとい えば、あ てはまら ない
①テレビ・ゲーム・インターネット等の 視聴時間等のルールを決めている	1	2	3
②お子さんに本や新聞を読むように 勧めている	1	2	3
③お子さんが小さいころ、絵本の読み 聞かせをしていた	1	2	3
④お子さんから、勉強や成績のことに ついて話をしてくれる	1	2	3

問 15 ここ 1 年間の間に、お子さんが身体の具合が悪いという理由以外で学校に行きたくないと言
ったことがありますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. 経験なし	2. 経験あり
3. 現在行っていない	4. わからない

あなたの世帯の暮らしの状況についておたずねします

問 16 現在の暮らしの状況を総合的にみて、どう感じていますか。
(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. 大変ゆとりがある	2. ややゆとりがある	3. 普通
4. やや苦しい	5. たいへん苦しい	

問 17 あなたの世帯では、過去 1 年間に お金 が足りなくて、必要とする食料が買えないことがあ
りましたか。ただし、しこう品は、含みません。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. よくあった	2. ときどきあった	3. ほとんどなかった	4. まったくなかった
----------	------------	-------------	-------------

お子さんのことで相談することや場所についておたずねします

問21 あなたは、次の①～⑥の公的制度や相談機関、支援サービスを利用したことがありますか。
(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください)

	利用している	利用したこと がある	利用したこと はないが 知っている	制度を 知らない
①生活福祉資金	1	2	3	4
②児童扶養手当	1	2	3	4
③母子父子寡婦福祉資金	1	2	3	4
④生活保護	1	2	3	4
⑤生活困窮者自立支援	1	2	3	4
⑥就学援助	1	2	3	4

①生活福祉資金：所得が一定水準以下の世帯等を対象とした、低利または無利子の資金貸付

②児童扶養手当：所得が一定水準以下のひとり親等世帯の支援のための手当（児童手当とは異なります）

③母子父子寡婦福祉資金：ひとり親の家庭が、国から貸付金を受けられる支援制度

④生活保護制度：病氣や失業などにより生活費等に困り、他に方法がない時に一定の援助が受けられる制度

⑤生活困窮者自立支援制度：生活に困窮する方を専門の支援員が具体的な支援プランを作成し、課題の解

決に向けた支援を行う制度

⑥就学援助：経済的理由により子どもが就学が困難な場合、教科用品、書籍等を補助する。

問22 あなたが子育てをする上で、相談相手はいますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 相談相手がいる

問23 問22の相談する相手はどんな人ですか。または、相談相手がない場合には、どんな人に相談したいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1. 配偶者・パートナー
2. 親・親族
3. 友人・知人
4. 職場の人
5. 学校・保育所・幼稚園等の先生
6. スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー
7. 市役所等の公的機関
8. 民生委員・児童委員
9. 民間のカウンセラー・電話相談
10. インターネットのサイト
11. その他（ ）

問24 子どものことについて、現在悩んでいることはありますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 子どもの教育やしつけ
2. 基本的な生活習慣（あいさつ、規則正しい食生活、整理・整頓など）が身についていない
3. 何事に対しても消極的である
4. 学校生活のこと（友人・先生・いじめ・不登校など）
5. 十分な食事を与えることができていない
6. 身体の発育や病気、発達のこと
7. 子どもの非行や問題行動
8. 進学や受験および就職のこと
9. 教育費や子どもにかかるお金のこと
10. 特に悩みはない
11. その他（

問25 お子さんにとって、現在、または将来的に、どのような支援があると思いますか。

(あ)はまる番号をつけてください(い)

1. 生活や就学のための経済的補助
2. 進路や生活などについて相談できるところ
3. 仲間と出会え、一緒に活動できるところ
4. 自然体験など多様な活動機会の提供
5. 地域における子ども居場所の提供
6. 不登校児童生徒の居場所づくり及び支援団体との連携
7. 就労に関する支援
8. 特にない
9. よくわからない
10. その他（

問26 今後、充実を希望する子育て支援サービスは何ですか。

(あてはまる番号をつけてください)

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 子育てしやすい働き方の導入促進 | 2. 悩みを相談できる支援体制の充実 |
| 3. 同じ悩みを持つ人の交流の場の創設 | 4. 地域の人や民間支援団体による子育て支援 |
| 5. 病氣や障がいがある子どもへの支援の充実 | 6. 男性の育児・家事参加の意識啓発 |
| 7. 子育て支援情報の充実 | 8. 子どもの医療費の軽減 |
| 9. 教育費の負担軽減 | 10. 子ども食堂の充実 |
| 11. 一時的に必要な資金の貸与 | 12. 子育て世帯の公営住宅活用促進 |
| 13. その他（ | 13. その他（ |

子どもの権利についておたずねします

問 27 あなたは、「こども基本法」と「子どもの権利条約」を知っていますか。
(それぞれ、あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

	内容をくわしく知っている	内容について少し知っている	名前だけ聞いたことがある	聞いたことがない・知らない
①こども基本法	1	2	3	4
②子どもの権利条約	1	2	3	4

問 28 あなたは、以下の①～④の子どもの権利を知っていますか
(それぞれ、あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

	内容をくわしく知っている	内容について少し知っている	名前だけ聞いたことがある	聞いたことがない・知らない
①命が守られ、育つことができる	1	2	3	4
②大人は何かその子どもにとって良いことを、一歩先に考えている	1	2	3	4
③自分の考えや気持ちを自由に言うことができいて、大人はそれを大切にしてくれている	1	2	3	4
④見た目や性別、考え方の違い、お金のあるなしなど、どんな理由でも差別されない	1	2	3	4

子どもたちには、どんな権利があるの？

この条約の定める権利には、大きく分けると以下のようなものがあります。



生きる権利

住む場所や食べ物があり、医療を受けられるなど、命が守られること



育つ権利

勉強したり遊んだりして、もって生まれた能力を十分に伸ばしながら成長できること



守られる権利

紛争に巻きこまれず、誰民になつたら保護され、暴力や搾取、有害な労働などから守られること



参加する権利

自由に意見を表したり、団体を作ったりできること。

問 29 あなたは、お子さんに関わることを決めるとき、お子さんの意見を聞いていると思いますか。
(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. 聞いている 2. だいたい聞いている 3. ほとんど聞いている 4. 聞いていない

問 30 大人が子どもの権利を理解し、尊重するためには、どんな取り組みがあると思いますか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 講演会 2. SNS の発信
3. 意見交換ができる機会・場 4. 親子で参加できるイベント
5. 広報・ホームページでの啓発 6. 相談窓口の設置、周知
7. リーフレット・ポスターの掲示、配布 8. その他 ()

問 31 児童虐待防止のシンボルマークのオレンジリボンを知っていますか。
(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. 初めて知った 2. 聞いたこと、見たことがある 3. リボンの意味を知っていた

問 32 次の中であなたが児童虐待と感じるものに○をつけてください。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 子どもを言葉により脅かす
2. 子どもにわいせつなものをさせる
3. 子どもに見える場所で、配偶者や他の家族へ暴力（身体・言葉）をふるう
4. 乳幼児を家に残し外出する
5. 子どもを家から閉め出す
6. 子どもに体罰でしつけをする
7. 子どもに必要な病気の治療を受けさせない
8. 子どもに食事を与えない、衣服を不潔のまま放置する
9. 子どもを無視したり、子どもの存在を否定したりする
10. 子どもに家の仕事や家事をさせて学校を休ませる
11. その他 ()

問 33 児童虐待が行われている家庭を知ったとき、あなたなら最初にどうしますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 市役所に通報する
2. 児童相談所に通報する
3. 学校・幼稚園・保育所・認定こども園等に連絡する
4. 警察に通報する
5. 地域の役員（民生委員）などに相談する
6. 保護者に直接注意する
7. 子どもに声をかける
8. 気になるが、何も出来ない
9. とりあえず様子を見る
10. 何もしない
11. その他 ()

問 33 で「8. 気になるが、何も出来ない」または「9. とりあえず様子を見る」を選んだ方にお聞きします

問 33-1 その理由は以下のどれですか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 通報した時に名前を名乗りたくない
2. 自分の勘違いの可能性がある（児童虐待だと確信が持てるか不安）
3. その家庭の問題だから、自分が口を出さないほうが良いと思う
4. 通報先がわからない
5. その他 ()

問 34 市が最も力を入れるべきことは何だと思いますか。あなたのお考えに近いものをお答えください。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 子育てに関する相談ができる場所の提供
2. 児童虐待防止に関する正しい知識の周知
3. 子育て中の人同士が交流できる場所の充実
4. 子どもの人権を守るための啓発
5. 第三者が児童虐待を発見した場合の相談先の周知
6. 子ども自身が SOS を出しやすい環境整備
7. 家庭・学校・地域が丸となって子どもたちを見守り育てる体制づくり
8. その他 ()

自由記述 最後に、子どもの貧困・児童虐待防止対策、子育て支援に関してご意見がございましたら自由にご記入ください。

--

アンケートはこれで終わります。ご協力ありがとうございました。

はじめに、あなた自身のことについておたずねします

問1 あなたの性別を教えてください。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 男性 2. 女性 3. わからない・答えたくない

問2 あなたの年齢を教えてください。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 18歳～20歳 2. 21歳～25歳 3. 26歳～29歳

問3 現在お住いの地区を教えてください。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

※ご不明な場合は、最寄りの出張所を目安に回答してください。

1. 小山地区 2. 大谷地区 3. 間々田地区 4. 生井地区 5. 寒川地区
6. 豊田地区 7. 中地区 8. 穂積地区 9. 桑地区 10. 絹地区
11. 市外

問4 あなたが最後に卒業（中退含む）した学校を教えてください。

在学中の方は、現在在学している学校を教えてください。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 中学校 2. 高校
3. 専門学校・専修学校 4. 短期大学・高等専門学校
5. 大学・大学院 6. その他（ ）

家族や家庭のことについておたずねします

問5 あなたの家族はあなたを入れて全員で何人ですか（仕事や学校などのために、一時的に家から離れて暮らしている人も人数に入れてください）。（数字を記入してください）

（ ）人 ※あなたを含めて

問6 一緒に住んでいる家族を教えてください。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 母 2. 父 3. 配偶者・パートナー
4. 子ども 5. 兄弟姉妹 6. 祖父母
7. 同居人はいない(単身世帯) ⇒ 問9へ
8. その他の人（ ）

問6 で「1. 母」と同居している方にお聞きします。

問6－1 同居している「母」に対して感じていることを教えてください。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 尊敬している 2. 教育やしつけに厳しい
3. 口うるさい 4. 私のことをわかってくれている
5. 私には関心がないように感じる 6. 困ったときは助けてくれる
7. 私と話をすることを避けている 8. 将来は母のようになりたい
9. 何でも話せる 10. 一緒にいると緊張する

問6 で「2. 父」と同居している方にお聞きします。

問6－2 同居している「父」に対して感じていることを教えてください。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 尊敬している 2. 教育やしつけに厳しい
3. 口うるさい 4. 私のことをわかってくれている
5. 私には関心がないように感じる 6. 困ったときは助けてくれる
7. 私と話をすることを避けている 8. 将来は父のようになりたい
9. 何でも話せる 10. 一緒にいると緊張する

問7 あなたは家でよく話をするほうですか。それとも話さないほうですか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. とてもよく話すほうだ 2. 話すほうだ
3. あまり話さないほうだ ⇒問7－1へ
4. ほとんど話さない ⇒問7－1へ

問7で「3, 4」と回答した方にお聞きします

問7－1 あなたが家で話さない主な理由は何ですか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 話しても楽しくない(聞いてくれない)から
2. 話しても意見が合わないから
3. 家族が嫌いだから
4. 話をするのが面倒だから
5. 話すことがないから
6. 忙しくて、話す時間がないから
7. 特になし
8. その他（ ）

問8 あなたは家族のことで、何か困っていることや、いやなことはありますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 家族の団らんや会話が少ない 2. 家族と自分の仲が悪い
3. 父や母の仲が悪い 4. 家には落ち着いて過ごせる場所がない
5. 家族の世話が大変である 6. 家の中が散らかっている
7. 家にお金がなく、食事や着る服がないときがある 8. 家族から暴力や暴言 などを受けている
9. 家族の中に困った行いをする人がいる 10. 特になし
11. 答えたくない 12. その他（ ）

就労や就学状況についておたずねします

問9 あなたの現在の就労・就学状況について教えてください。
(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

- | | |
|--------------------|----------------------------------|
| 1. フルタイムで就労 (正規雇用) | 2. フルタイムで就労 (非正規雇用) |
| 3. パートタイム・アルバイトで就労 | 4. 職業訓練生 (見習い含む) |
| 5. 自営業・家業の手伝い | 6. フリーランス・個人事業主 |
| 7. 学生 (予備校生を含む) | 8. 専業主婦・主夫 |
| 9. 無職 (休職中の人を含む) | 10. その他 () |

問9で「1～6」の仕事をしていると回答した方にお聞きします

問9-1 あなたは、現在の仕事に満足していますか。
(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

- | | |
|--------------|---------|
| 1. 不満である | |
| 2. やや不満である | |
| 3. どちらともいえない | ⇒問 10 ハ |
| 4. やや満足している | ⇒問 10 ハ |
| 5. 満足している | ⇒問 10 ハ |

問9-1で「1, 2」と回答した方にお聞きします

問9-2 不満に感じる理由を教えてください。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

- | | |
|----------------------------------|--|
| 1. 給料が安い | |
| 2. 労働時間が長い | |
| 3. 人間関係が悪い | |
| 4. 不安定な雇用形態である | |
| 5. やりがいが感じられない | |
| 6. 責任が重すぎる | |
| 7. 自分の仕事を認めてもらえない | |
| 8. 休みが少ない | |
| 9. 特にない | |
| 10. その他 () | |

問9で「7～9」の仕事をしていないと回答した方にお聞きします

問9-3 あなたは、今後働くことについてどう考えていますか。
(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

- | | |
|----------------------|---------|
| 1. 仕事があればすぐに働きたい | |
| 2. 今は働いていないがそのうち働きたい | |
| 3. 働きたいが働けない | |
| 4. 働きたいと思わない | ⇒問 10 ハ |

問9-3で「1～3」と回答した方にお聞きします

問9-4 「働きたい」と思う一方、現在働けていない理由を教えてください。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

- | | |
|---------------------------------|--|
| 1. 条件の合う仕事が見つからない | |
| 2. 仕事に必要な専門知識や資格がない | |
| 3. 子どもの預け先が見つからない | |
| 4. 介護や家事があり働く時間が確保できない | |
| 5. 自分や家族の体調が不安定になっている | |
| 6. これまでうまくいかず、自信がなく勇気が出ない | |
| 7. 特にない | |
| 8. 今は学生だから | |
| 9. その他 () | |

問 10 今までに離職した経験はありますか。ある場合は、その理由を教えてください。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

- | | |
|----------------------------------|--|
| 1. 離職の経験はない | |
| 2. 給料が安かった | |
| 3. 労働時間が長かった | |
| 4. 人間関係が悪かった | |
| 5. 不安定な雇用形態だった | |
| 6. やりがいが感じられなかった | |
| 7. 責任が重すぎた | |
| 8. 自分の仕事を認めてもらえなかった | |
| 9. 健康上の理由 | |
| 10. 結婚・出産を機に退社した | |
| 11. 他にやりたいことがあった | |
| 12. もっと条件の良い仕事が見つかった | |
| 13. 特にない | |
| 14. その他 () | |

日常的感じることにについておたずねします

問 11 次にあげられた①～⑩ことについて、あなた自身はどう思いますか。
(それぞれ、あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

	そう思う	どちらかといえそう思う	どちらかといえそう思わない
①自分にはよいところがあると思う	1	2	3
②自分は自分の意見や気持ちを表現できる	1	2	3
③自分は周りの人から大切にされている	1	2	3
④自分は将来やりたいことがある	1	2	3
⑤苦しい時は誰かに相談したり、助けを求めることができる	1	2	3
⑥今、どこにも居場所がないと感じる	1	2	3
⑦他人が自分をどのように思っているのかとても不安になる	1	2	3
⑧集団の中に溶け込めない	1	2	3
⑨パソコン、スマホがないと少しの時間も落ち着かない	1	2	3
⑩自分は役に立たないと強く思うことがある	1	2	3

問 12 あなたは、普段の生活の中で一番楽しさを感じるのとはどんなときですか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 家族と一緒に過ごしているとき	2. 仕事をしているとき
3. 友達や交際相手と一緒に過ごしているとき	4. 音楽を聴いているとき
5. スポーツなど体を動かしているとき	6. 地域の行事や活動に参加しているとき
7. 買い物などをしているとき	8. テレビを見ているとき
9. インターネット (SNS、動画、オンラインゲーム等) を利用しているとき	
10. 特になし	
11. その他 ()	

問 13 あなたは、現在困っていることや悩んでいることがありますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 就職・仕事のこと	2. 家族のこと	3. 友人や仲間のこと
4. 恋愛のこと	5. お金のこと	6. 体や心の健康のこと
7. 性別や身体のこと	8. 結婚のこと	9. 特になし
10. 答えたくない	11. その他 ()	

問 14 あなたは困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人(場所)を教えてください。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 親	2. 配偶者	3. 兄弟姉妹
4. 学校の先生	5. 職場の上司や先輩	6. 友人
7. 交際相手	8. インターネット上の知り合い	
9. 医師、弁護士、カウンセラーなどの専門家	10. 公的な相談機関	
11. NPOなどの民間相談機関	12. 相談したことはない	⇒問 14-1へ
13. その他 ()		

問 14 で「12. 相談したことはない」と回答した方にお聞きします

問 14-1 相談したことがない理由は何か。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 自分のことを知られたくない	2. 相談しても解決できないと思う
3. 何を聞かれるか不安に思う	4. 相手にうまく話せないから
5. 相談したことを人に知られたくない	6. お金がかかると思う
7. 相談相手がいない	8. 相談先がわからない
9. 特に理由はない	10. その他 ()

日常生活についておたずねします

問 15 あなたは、1週間のうち、どのくらい外出しますか。

(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. 仕事や学校で平日は毎日外出する	⇒問 16へ
2. 仕事や学校で週に3～4日外出する	⇒問 16へ
3. 必要ときだけ外出する	⇒問 16へ
4. 自宅からは出るが、家からは出ない	
5. 自宅からほとんど出ない	
6. 答えたくない	⇒問 16へ

問 15 で「4～5」と回答した方にお聞きします

問 15-1 あなたがその状況になってどれくらい経ちますか。

(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. 6か月未満	2. 6か月以上～1年未満	3. 1年以上～2年未満
4. 2年以上～3年未満	5. 3年以上～5年未満	6. 5年以上
7. 答えたくない		

問 15-2 あなたがそのような状況になるきっかけはなんでしたか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 不登校になったこと	2. 受験がうまくいかなかったこと
3. 就職活動がうまくいかなかったこと	4. 人間関係がうまくいかなかったこと
5. 病気になったこと	6. 新型コロナウイルス感染症が流行したこと
7. 特になし	8. 答えたくない
9. その他 ()	

問 16 あなたが、学校や職場以外で活動しているものがありますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. スポーツ活動(地域のスポーツクラブやスポーツジムなど)
2. 文化活動(料理や美術、音楽などのサークルなど)
3. ボランティア活動
4. インターネット上のコミュニティ(SNS上のグループなど)
5. 活動しているものはない
6. その他()

今後や将来のことについておたずねします

問 17 あなたは、将来も小山市に住みたいと思いますか。

(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. 住みたい ⇒問 17-1 △
2. 県外へ出てほしい場合は小山市に住みたい ⇒問 17-1 △
3. できれば住みたくない ⇒問 17-2 △
4. 住みたくない ⇒問 17-2 △
5. わからない ⇒問 17-2 △

問 17 で「1, 2」小山市内に住みたいと回答した方にお聞きします

問 17-1 小山市に住みたい理由は何か。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 住み慣れた地域で暮らしたいから
2. 親と一緒に(実家)に住みたいから
3. 地元で友人が住んでいるから
4. 通学・通勤に便利だから
5. 生活するのに不便はないから
6. 小山市の自然環境が好きだから
7. 地元の仕事に携わりたいから
8. その他()

問 17 で「3～5」小山市に住みたくない、わからないと回答した方にお聞きします

問 17-2 小山市に住みたくない理由は何か。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 小山市の魅力や愛着を感じないから
2. 生活するのに不便だから
3. 家族から離れて自立した生活を送りたいから
4. 小山市に自分がつきたい仕事がないから
5. 都会に出たいから
6. 他に住みたいまちがあるから
7. 特に理由はない
8. その他()

結婚やお子さんのことについておたずねします

問 18 あなたは配偶者がいますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. いる ⇒問 19 △
2. いない

問 18 で「2. いない」と回答した方にお聞きします

問 18-1 あなたは将来結婚したいと考えていますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. したい ⇒問 18-2, 3 △
2. したくない ⇒問 18-3, 4 △
3. まだわからない

問 18-1 で「1. したい」と回答した方にお聞きします。

問 18-2 何歳ごろまでに結婚したいですか。(数字を記入)

() 歳

問 18-3 あなたが結婚に対して持っているイメージを教えてください。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 好きな人と一緒にいられて幸せそう
2. お金に余裕が出来るそう
3. 将来が安定しそう
4. 親や親せきが喜びそう
5. 家事や子育てが大変そう
6. お金がかかりそう
7. 自分の時間が減りそう
8. 仕事との両立が大変そう
9. 面倒そう、疲れそう
10. 特にない・わからない
11. その他()

問 18-1 で「2. したくない」と回答した方にお聞きします。

問 18-4 あなたが結婚したくないと考える理由をお答えください。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 理想の相手にめぐり合わないから
2. 経済的な面
3. 自分の自由な時間を持ってないから
4. 家族を持つ責任が重いから
5. 家事の負担があるから
6. 自分の雇用が安定しないから
7. 仕事(学業)と両立できないから
8. 親や周囲が同意しないから
9. 同性間の婚姻が法的に認められていないから
10. その他()

問 19 あなたが理想とする家族はどのような形態ですか。

(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. 一人暮らし
2. 夫婦の二人暮らし
3. 夫婦と子どもの世帯で、自分または相手の親とは離れて住む
4. 夫婦と子どもの世帯で、自分または相手の親と近くに住む
5. 自分または相手の親、自分たち夫婦、子どもの三世代で同居する
6. その他 ()

問 20 あなたは現在、子どもがいますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. いる	2. いない
-------	--------

問 21 あなたは将来、子どもは欲しいと思いますか。

(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. はい	⇒問 21-1, 2, 3へ
2. いいえ	⇒問 21-4へ
3. どちらともいえない	⇒問 21-2, 4へ

問 21で「1. はい」と回答した方にお聞きます。

問 21-1 人数は何人ぐらいですか。(数字を記入)

() 人

問 21-2 あなたが子育てに対して持っているイメージを教えてください。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 幸せそう	2. 楽しいことが増えそう
3. 生活が充実しそう	4. 自分も成長できそう
5. お金がかかりそう	6. 自分の時間が減りそう
7. 仕事との両立が大変そう	8. 面倒そう・疲れそう
9. 特にない・わからない	10. その他 ()

問 21-3 あなたが理想とする仕事(働き方)と子育てはどのような形態ですか。

(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. 夫婦共働きをし、子育ては親など家族に願っている
2. 夫婦共働きをし、子どもは保育園などに預ける
3. 夫婦のうち片方は働き、片方は子育てに専念する
4. 夫婦のうち片方は働き、夫婦で協力しながら子育てを行う
5. その他 ()

問 21で「2, 3」と回答した方にお聞きます。

問 21-4 子どもが欲しいと思わない理由またはどちらともいえない理由は何ですか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 近くに子育てを手伝ってくれる人がいない
2. 家族の理解・協力が得られない
3. 仕事を優先したい
4. 現在の生活スタイルを変えたくない
5. 子どもが苦手
6. 子どもがいる生活が想像できない
7. 経済的に不安がある
8. 仕事と子育ての両立に不安がある
9. 健康に不安がある
10. その他 ()

問 22 少子化対策として、あなたが必要だと思う支援は何ですか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 賃金の増加や安定して働ける雇用環境づくり
2. 結婚する時の経済的負担の軽減
3. 妊娠・出産にかかる手当・補助金の拡充
4. 不妊治療への経済的負担の軽減
5. 子育て世帯への手当・補助金の拡充
6. 幼稚園や保育所にかかる費用の負担軽減
7. 教育費の負担軽減
8. 子育てしやすい働き方の導入促進
9. 男性の家事・子育てへの参加促進
10. 出合いの機会づくり
11. 多様な保育サービスの拡充
12. 特に必要ない
13. その他 ()

問 23 あなたは、市が取り組む青少年や若者の政策にどんなことを望みますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 若者が意見を発表できる機会の提供
2. 地域活動を通した青少年育成支援
3. 若者中心の自主的な活動支援
4. 青少年活動のリーダーとなる人の養成
5. 経済的な困難を抱えている家庭の支援
6. いじめや虐待などの悩みを相談できる窓口の充実
7. 多様な授業を取り入れた学校教育の充実
8. 非行や犯罪被害防止対策の充実
9. 就職に向けた相談やサポート体制の充実
10. 婚活イベントなどの出会いの場の提供
11. ヤングケアラーの支援
12. ニートやひきこもりに関する相談や支援の充実
13. 特にない
14. その他 ()

アンケートはこれで終わります。ご協力ありがとうございます。

小山市子ども・子育て支援事業計画に関する調査報告書

令和6年3月

小山市役所 保健福祉部 子育て家庭支援課 子育て政策係

〒323-8686 栃木県小山市中央町 1-1-1

TEL : 0285 (22) 9604 (直通)
